ＩＳＳＮ　１８８０　－　０１１４
国総研プロジェクト研究報告第37号
平　成　２　４　年　２　月

国土技術政策総合研究所
プロジェクト研究報告

PROJECT RESEARCH REPORT of
National Institute for Land and Infrastructure Management

No.37　　February 2012

建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究（その１）

建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための
評価・対策技術に関する研究

Research on Evaluation Technologies and Measures to Protect People from Accidents inside Buildings in Daily Life（Part 1）

Research on Evaluation Technologies and Measures to Protect People from Accidents inside Buildings in Daily Life

国土交通省　国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure,Trasnport and Tourism,Japan

国土技術政策総合研究所プロジェクト研究報告　　Project Research Report of NILIM
第 37 号　　2012 年 2 月　　No.37　February　2012

建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究
建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究（その１）

西山　功（2008年4月～2010年3月）

Research on Evaluation Technologies and Measures to Protect People from Accidents inside Buildings in Daily Life
- Research on Evaluation Technologies and Measures to Protect People from Accidents inside Buildings in Daily Life（Part 1）-

Isao Nishiyama（Apr.2008 - Mar.2010）

概要

建物利用者の日常的な生活行動における事故の低減を目的として、事故事例及びそれら事故の防止対策や知見、関連情報を集積した知識ベースの開発を行い、2009年8月より、インターネット上で公開した。

ｷｰﾜｰﾄﾞ　：　日常事故、安全安心、ナレッジベース、事故情報システム

Synopsis

This research and development aims at building user's safety in daily life for a public architectural space and also has aimed to construct the knowledge base which has accumulated the accident case, knowledge concerning the prevention of accidents, and the measures technology. This knowledge base has been open to the public on the Internet since August, 2009.

Key Words : Building Related Accidents, Safety Life, Knowledge Base, Accident information system

建築研究部長　　Director of Building Department

はじめに

国土交通省国土技術政策総合研究所では、建築物等の安全確保のため、平成 18 年度から平成 21 年度までの 4 カ年にわたって、国土交通省国土技術政策総合研究所のプロジェクト研究「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究」を実施した。本プロジェクト研究は、以下の２つの研究課題より構成されている。

- プロジェクト研究「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究（その１）」:「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究」（平成 18 年度～平成 21 年度）
- プロジェクト研究「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究（その２）」:「建築設備等の安全性能確保のための制御システム等の設計・維持保全技術の開発」（平成 19 年度～平成 21 年度）

本報告書は、プロジェクト研究「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究（その１）」として、建物利用者の日常生活での行動における安全確保、すなわち日常災害の低減を目標として検討した成果について、とりまとめ、報告するものである。

＜目次＞

はじめに

ページ

第１章　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
1.1　背景・目的　・・１
1.2　研究内容および本報告書の構成　・・２
1.3　実施体制　・・３

第２章　日常災害・事故に関するデータ収集および分析・・・・・・・・・・・・・・５
2.1　転倒・転落事故死者数の経年変化・予測　・・５
2.1.1　分析の背景　・・５
2.1.2　人口動態統計による指標の検討　・・５
2.1.3　25 年間（1979 年～2004 年）の転倒・転落事故死者数の経年変化　・・１０
2.1.4　年齢階級別にみた転倒・転落の死亡率　・・１３
2.1.5　転倒・転落による死亡の年齢階級分析と死亡者数の将来推計と他リスクとの比較　・・１７
2.1.6　まとめ　・・１９
2.2　アンケート調査による事故実態把握調査について　・・２３
2.2.1　インターネットを利用したアンケート調査の概要　・・２３
2.2.2　予備調査結果　・・２５
2.2.3　「建物内の日常事故遭遇」本調査Ａ結果　・・４０
2.2.4　「建物内の日常事故遭遇」本調査Ｂ結果　・・５５
2.3　既往調査結果の分析　・・６３
2.3.1　アンケート調査等の結果分析　・・６３
2.3.2　モニター調査比較分析　・・６８
2.4　実務者を対象とした日常安全に関する意識調査及びヒアリング　・・７７
2.4.1　実施概要　・・７７
2.4.2　調査結果　・・７８
2.4.3　実務者ヒアリング　・・８２

第３章　「建物事故予防ナレッジベース」の構築について・・・・・・・・・・・・・８９
3.1　知識ベースの構成　・・８９
3.1.1　知識ベースのコンセプト　・・８９
3.1.2　システム構成　・・９０
3.2　ウェブサイトの構成　・・９３

3.3　利用シナリオ別使い方ガイド　・・１０７

第４章　「建物事故予防ナレッジベース」のユーザビリティ向上及び普及方策について
・・・・・・・・・・・・・・１２９
4.1　工夫事例の収集　・・１２９
4.1.1　予備調査　・・１２９
4.1.2　工夫事例の収集　・・１３０
4.2　ナレッジベースのシステム改善のためのユーザビリティ調査　・・１３２
4.3　システム改善　・・１３３
4.3.1　ユーザビリティ調査結果の反映　・・１３３
4.3.2　建物事故予防ナレッジベースの各種機能等追加　・・１３８
4.4　シンポジウムの開催　・・１４７

（資料編）
参考資料１　「建物内の日常事故遭遇について調査」－アンケート調査票
・・・・・・・・・・・・・・１５５
参考資料２　「建物内における日常事故のモニター調査」－モニター調査・調査票
・・・・・・・・・・・・・・１６７
参考資料３　「建物事故予防ナレッジベース」に納められたデータ
・・・・・・・・・・・・・・１７５
①モニター調査
②報道記事
③判例
④学校事故事例
参考資料４　「事故事例から学ぶべきこと」
・・・・・・・・・・・・・・２７３
参考資料５　「建物内での日常事故に関するアンケート調査」－意識調査・調査票
・・・・・・・・・・・・・・２９７

第１章　概要

1.1　背景・目的

高齢社会が進み、廊下で転ぶ、階段から転落するなど建物内での事故が多発している。また近年、回転自動ドアやエレベーターによる機械系の建築設備による事故が発生し、それが社会に大きな影響を及ぼしたことなど、地震時や火災時といった非日常的な災害とは別の、日常的な生活時に起こる事故が問題視されてきている。

自宅を含む建物内や屋外での年間の転倒・転落による死者数について、人口動態統計をもとに試算したところ、2004 年度では 6,400 人強と算出され、これは当時の道路交通事故による死者数に匹敵するものであり、その後、道路交通事故による死者数の減少から、近年では転倒・転落の死者数が上回るものとなっている[注1)]。このような現状を踏まえると、建物利用者の、普段の生活や行動において発生する事故（日常事故）について着目し、それらの事故発生原因メカニズムの解明と、それを踏まえた事故防止策を講ずることが急務であるといえる。

建物周辺で起こる日常事故は実際の事例を見ると、利用者、建築設計者、建物管理者のそれぞれが、その危険性を認識し少しの配慮をするだけで予防できるものも少なくない。しかしながら、火災や交通事故などの非日常的な事故に比べ、日常的に広範囲にわたって起こるため、その実態や情報を一元的に把握する仕組みがなく、またそのために関係者に正しい情報が伝わらず、結果として意識や認識が高まらないこともあり、対策がおざなりになっている事例も多く見られる。したがって事故低減のためにはまず、実際の事故事例を幅広く収集、公開することにより、建築設計者、建物管理者を含めた人々が事故の実態を正しく認識、共有できるような仕組みを構築することが重要であると考える。

以上のような背景のもと、国土技術政策総合研究所では、ユーザーの生活行動の安全確保を実現することを目標として、不特定多数の者が利用し、対象範囲が広範にわたる一方で、安全確保への責任の所在が不明確であるためにこれまで積極的な検討がなされてこなかった公共的な建築空間及びその周辺（以下、「公共的な空間」という。）において、人間行動に起因する人身危害について、事故事例データを収集し、実態の把握と事故発生原因の整理を行い、関連する情報や知見、対策技術等を集積した知識ベースを構築することを目標とした、本研究開発を実施したものである[注2)]。

注１）　2004 年における道路交通事故による死者数は、7,358 人、2009 年の死者数は、4,914 人である。（(社) 新交通管理システム協会 HP より）

注 2)　研究開発の成果として、「建物事故予防ナレッジベース」を開発し、2009 年 8 月よりインターネット上での公開を開始している。　(http://www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp/kjkb/)

1.2　研究内容および本報告書の構成

本報告書の構成とともに、研究内容について記す。

まず、日常災害の実態を把握することを目的として行った、事例収集および内容分析について第２章に記した。建物利用者（事故の被害者）側の実態把握として、２つの分析を行った。１つは、人口動態統計から、年間の転倒・転落事故による死者数を算出し、概数及び経年変化を把握し、人口の将来推計等を基に、転倒・転落事故による死者数の将来予測を行った。もう１つは、これまで実態が明らかになっていなかったヒヤリ・ハット経験（事故には至らなかったが、そうなった可能性のある経験）も含めた日常災害に関するアンケート調査を実施し、その概観の把握及び詳細分析を行ったものである。建物の設計・施工や、供用後の維持管理に関わる供給者（実務者）側の実態把握として、アンケートによる意識調査やヒアリング調査を実施し、その結果をとりまとめた。

第３章では、「建物事故予防ナレッジベース」（知識ベース）の内容について取りまとめ、紹介している。はじめに「建物事故予防ナレッジベース」のコンセプト及びシステムの全体構成、事故事例のデータソース（出典）について紹介し、サイトの全体構成として情報の関連付けを示し、サイトの各構成要素について概説している。また、利用目的別の操作ガイドについても記載した。さらに、「事故パターン一覧『空間編』」を、章末参考資料として付記している。

第４章では、公開を開始した後、サイトを運用しつつ、「建物事故予防ナレッジベース」へ改良を加えた事項と、日常災害の防止の啓発、及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及のための活動について報告する。「建物事故予防ナレッジベース」の改良に係る事項として、事故事例の収集のみならず、工夫事例の収集を積極的に行うことを目的として、実務者を対象としたヒアリング調査を行った結果をまとめたものと、ユーザビリティ（使いやすさ）の向上とサイトの機能を充実させる改善点について記した。また、日常災害の防止の啓発、及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及のための活動として開催されたシンポジウムについて概説した。

1.3　実施体制

本研究の実施に当たり、国土技術政策総合研究所、日常災害に関する学識経験者及び有識者、設計実務者等で構成される検討委員会「建築空間におけるユーザーの行動安全確保に関する検討委員会」（H18 年度～H20 年度）を設置し、その指導のもとに検討を進めた。

建築空間におけるユーザーの行動安全確保に関する検討委員会　委員構成

【H18 年度】

委 員 長：直井　英雄　　東京理科大学 教授
委　　員：吉村　英祐　　大阪大学 大学院工学研究科 助教授
：布田　　健　　独立行政法人 建築研究所建築生産研究グループ 主任研究員
：高木　堯男　　財団法人 日本建築設備・昇降機センター　認定評価部長
：松川　淳子　　株式会社 生活構造研究所 代表取締役会長
：田鴎　裕美　　株式会社 建築プラス環境設計事務所 取締役
：佐藤　貴美　　佐藤貴美法律事務所
幹　　事：高見　真二　　国土交通省 国土技術政策総合研究所
建築研究部 基準認証システム研究室長
：河野　　守　　同　建築研究部防火基準研究室長
：砺波　　匡　　同　住宅研究部　住宅計画研究室長
：丸山　素道　　同　建築研究部　環境・設備基準研究室長
：西田　和生　　同　建築研究部　構造基準研究室 主任研究官
：城谷　泰朗　　同　住宅研究部　住宅ストック高度化研究室 主任研究官
：小野久美子　　同　構造基準研究室 研究官
：野口　和也　　同　構造基準研究室 研究官
事 務 局：財団法人 日本建築防災協会
：株式会社 環境計画研究所

【H19 年度・H20 年度】

委 員 長：吉村　英祐　　大阪工業大学 工学部建築学科 教授
委　　員：直井　英雄　　東京理科大学 工学部建築学科 教授
：布田　　健　　独立行政法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員
：高木　堯男　　財団法人 日本建築設備・昇降機センター　認定評価部長（H19）
：中里　真朗　　財団法人 日本建築設備・昇降機センター　認定評価部長（H20）
：加藤　正宜　　財団法人 ベターリビング 住宅部品技術・評価部長
：松川　淳子　　株式会社 生活構造研究所 代表取締役会長
：田鴎　裕美　　株式会社 建築プラス環境設計事務所 取締役
：佐藤　貴美　　佐藤貴美法律事務所

幹　　事：河野　　守　　国土交通省 国土技術政策総合研究所
建築研究部 建築品質研究官
：高見　真二　　同　建築研究部 基準認証システム研究室長
：丸山　素道　　同　建築研究部　環境・設備基準研究室長
：左海　冬彦　　同　住宅研究部　住宅計画研究室長
：西田　和生　　同　建築研究部　構造基準研究室 主任研究官
：野口　和也　　同　建築研究部　構造基準研究室 研究官
：小野久美子　　同　建築研究部　構造基準研究室 研究官

事 務 局：株式会社 環境計画研究所

第２章　日常災害・事故に関するデータ収集および分析

本章では、日常災害の実態を把握することを目的として行った、事例収集および内容分析について述べる。2.1 節から 2.3 節までは、建物利用者（事故の被害者）側の実態把握について取りまとめたものである。2.1 節では、人口動態統計から、年間の転倒・転落事故による死者数を算出し、概数及び経年変化を把握した。さらに人口の将来推計等を基に、転倒・転落事故による死者数の将来予測を行った。2.2 節は、これまで実態が明らかになっていなかったヒヤリ・ハット経験（事故には至らなかったが、そうなった可能性のある経験）も含めた日常災害に関するアンケート調査の概要を、2.3 節では、前節のアンケート調査等の詳細分析を報告した。2.4 節では、建物の設計・施工や、供用後の維持管理に関わる供給者（実務者）側の実態把握として、アンケートによる意識調査やヒアリング調査の結果を記載した。

2.1　転倒・転落事故死者数の経年変化・予測

2.1.1　分析の背景

建築空間におけるユーザの日常安全に関する諸対策・施策を講じるためには、またその効果を長期的にモニターするためには、事故の実態を計ることは非常に重要である。しかしながら、現状では、火災や交通事故による死傷者数統計に匹敵するような日常災害による死傷者数に関する統計は整備されていない。特に、家庭内を除いた不特定多数の者が利用できる、公共的な空間における日常災害による死傷者数を正確に示すことは困難である。

そこで、人口動態統計（厚生労働省）を用いて、日常災害による事故死者数を定量化し、これまでの経年的な変化を考察することにより、公共的な空間における転倒・転落による死者数を表す指標を提案する。さらに、今後の人口推計を用いて、将来の転倒・転落事故死者数を予測する。

2.1.2　人口動態統計による指標の検討

厚生省大臣官房統計情報部で行っている人口動態調査は、各市区町村に届け出られた出生届、死亡届、死産届、婚姻届及び離婚届とその添付資料である出生証明書、死亡診断書(死体検案書)及び死産証書(死胎検案書)から人口動態調査票を作成し、集計・公表している。

本調査における死亡原因は、WHO が勧告した「国際疾病分類（ICD)」に基づき分類されているが、この ICD は、死因分類の国際的統一を図るため 1900 年に初めて作成され、その後は、医学の進展に伴いおよそ 10 年ごとに改訂が行われている。

（http://www.mhlw.go.jp/toukei/sippei/icd.html より）

以下では、1979 年（昭和 54 年）から 1994 年（平成 6 年）までの分類方法である ICD-9 と、現行の死因分類であり、1995 年（平成 7 年）から最新の 2004 年（平成 16 年）までを

対象としたICD-10がそれぞれ対象とした期間毎に、日常災害に関する死者数について推計するものである。

（１）1995年（平成7年）～2004年（平成16年）における日常災害による死者数の推計

ICD-10に基づく死因分類のうち、建築物内または周辺での日常行動に関連すると考えられる死因は、以下の転倒・転落に係る5項目、生物によらない機械的な力への暴露に係る2項目及び生物による機械的な力への暴露に係る2項目の計9項目である。

以下に、ICD-10からの抜粋を記載する。

死因基本コード　死因

（転倒・転落）

W01　スリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面上での転倒

W03　他人との衝突又は他人に押されることによる同一平面上でのその他の転倒

W10　階段及びステップからの転落及びその上での転倒

W13　建物又は建造物からの転落

W17　その他の転落

（生物によらない機械的な力への暴露）

W23　物体内又は物体間への補足、圧挫、圧入又は挟まれ

W24　持ち上げ装置及び伝達装置との接触、他に分類されないもの

（生物による機械的な力への暴露）

W51　他人との衝突

W52　群衆又は人の殺到による衝突、押され又は踏まれ

ICD-10では、これらの死因について、発生場所を以下の10に分類して整理している。

(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
家（庭）	居住施設	学校、施設及び公共の地域	スポーツ施設及び競技場	街路及びハイウェイ	商業及びサービス施設	工業及び建築現場	農場	その他の明示された場所	詳細不明の場所

日常災害を考える上では、発生場所は、「家庭」、「公共的建築空間」、「街路等」、「その他」に分けて考えることが適切であろう。ここでは、ICD-10の分類を以下の通り分類する。

分類	発生場所
家庭	(0) 家（庭）
公共的建築空間	(1) 居住施設、(2) 学校、施設及び公共の地域、(3) スポーツ施設及び競技場、(5) 商業及びサービス施設
街路等	(4) 街路及びハイウェイ
その他	(6) 工業及び建築現場、(7) 農場、(8) その他の明示された場所

建築物内または建築物周辺での日常行動に関連すると考えられる死因の中で、公共的建築空間・街路等を発生場所とする死因は、（転倒・転落）が圧倒的に多く、（生物によらない機械的な力への暴露）、（生物による機械的な力への暴露）は非常に少ない。そのため、以下では（転倒・転落）のみを検討の対象とする。

「(9) 詳細不明の場所」について、人口動態統計をより整理した結果が表 2.1.1 である。（転倒･転落）に関して死亡場所が(9)のほとんどは「W01 スリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面状での転倒」を死因とするもので、中でも 80 歳以上が圧倒的に多く、65 歳以上では 90%を超えることが分った。

表 2.1.1　詳細不明の場所を発生場所とする不慮の事故の分析

年	件数／死者数　※カッコ内は割合（%）				割合（%）
	総数	うち転倒・転落によるもの	80 歳以上の転倒・転落	65～79 歳の転倒・転落	65 歳以上の割合（転倒・転落）
H7	1,052	919（87.4*）	714（77.7**）	146（15.9**）	93.6***
H8	1,103	984（89.2）	798（81.1）	147（14.9）	96.0
H9	1,126	993（88.2）	812（81.8）	140（14.1）	95.9
H10	1,295	1,174（90.7）	980（83.5）	148（12.6）	96.1
H11	1,479	1,388（93.8）	1,139（82.1）	195（14.0）	96.1
H12	1,459	1,382（94.7）	1,159（83.9）	169（12.2）	96.1
H13	1,531	1,463（95.6）	1,260（86.1）	162（11.1）	97.2
H14	1,652	1,536（93.0）	1,291（84.0）	204（13.3）	97.3
H15	1,997	1,830（91.6）	1,496（81.7）	279（15.2）	96.9
H16	1,814	1,678（92.5）	1,422（84.7）	217（12.9）	97.6

*；転倒・転落による死者数を総数で除したもの。
**；80 歳以上、または 65～79 歳の転倒・転落による死者数を、それぞれ転倒・転落による死者数で除したもの。
***；80 歳以上、および 65～79 歳の転倒・転落による死者数の割合を足し合わせたもの。

前述のとおり、人口動態統計における死亡統計の死因は、死亡診断書（死体検案書）等から ICD に基づき分類されたものである。

死亡診断書においては、「死亡したところの種別」の項目があり、その様式は次のようなものである。

死亡したところの種別	1 病院　2 診療所　3 介護老人保健施設　4 助産所　5 老人ホーム 6 自宅　7 その他

さらに、外因死の場合は「傷害が発生したところの種別」を別途記載することになって

おり、その様式は次のようなものである。

傷害が発生したところの種別	1 住居　2 工場及び建築現場　3 道路　4 その他（　　）

この二箇所の記述欄および、死亡した場所の住所、施設名称、(外因死の追加事項である)「手段及び状況」などから、ICD-10 の発生場所の分類に従って振り分けられているものと思われる。

後述するように、転倒・転落による（死亡者の）発生場所における「(9) 詳細不詳の場所」の割合は高く、無視できる値でないことから、「(9) 詳細不詳の場所」に分類されたものについても、傷害発生の場所を改めて検討する必要がある。死亡診断書の「傷害が発生したところの種別」の回答における「1 住居」、「2 工場及び建築現場」、「3 道路」については、ICD-10 の発生場所の中の、「(0) 家（庭)」、「(6) 工業及び建築現場」、「(4) 街路及びハイウェイ」に直接対応するものと考えられるので、「(9)詳細不明の場所」の死者数については、それ以外の項目に、初めから分類されていた死亡者数の割合と等しくなるように按分して、それぞれに加えた数も考察の対象とした（具体的な数値の例、計算方法については、章末の参考資料を参照されたい)。

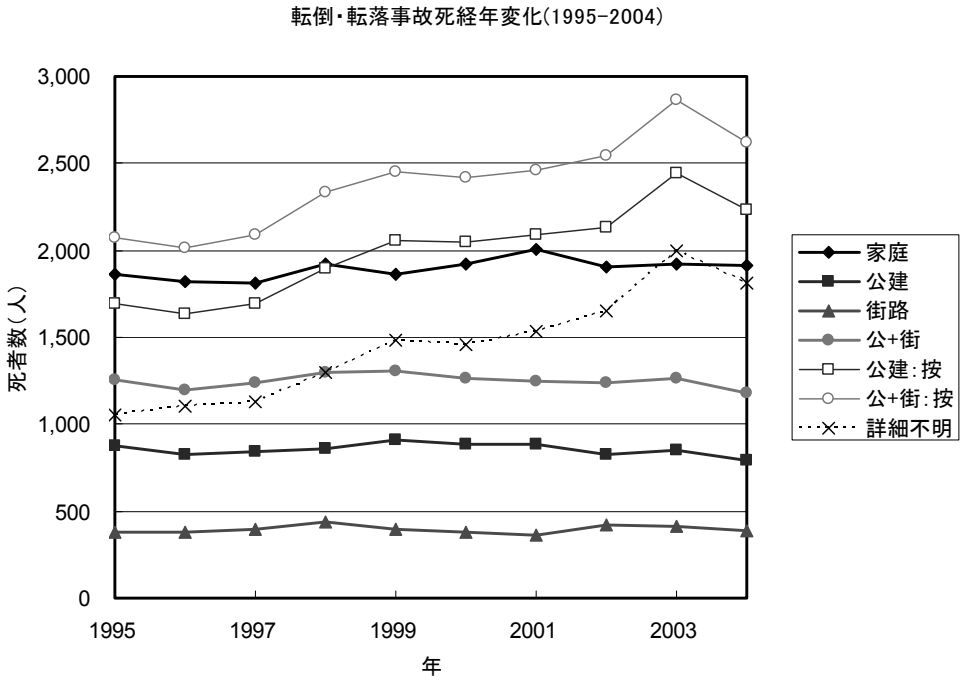


図 2.1.1 転倒・転落事故死者数の経年変化（1995-2004）

ここで考えている指標は、厳密な分類別死者数の絶対数を割り出すことを目的としているのではなく、経年的な傾向を検討することを目的としているので、対象としている期間について発生場所を「(9) 詳細不明の場所」とする死者数の傾向が同様であれば、十分有効

な指標といえよう。

図 2.1.1 は、この指標を含めて、1995 年（平成 7 年）～2004 年（平成 16 年）の 10 年間の転倒・転落関係の事故死者数の経年的変化を推計したものである。

図 2.1.1 によれば、家庭内外とも、1995～2004 年の 10 年間で転倒・転落による事故死者数は大きく変化していない。その一方で、場所詳細不明者数がほぼ倍増しており、「(9) 詳細不明の場所」を按分した前項の提案指標（図 2.1.1 中「公建：按」及び「公＋街：按」）では、死亡者数が増加しており、また、2003 年の家庭内以外の死亡者の総数が概ね 2,600 人を超えていることがわかる（因みに、転倒・転落総数（W00～W17）は、5,911→6,412 と増加している）。

（２）1979 年（昭和 54 年）～1994 年（平成 6 年）における日常災害による死者数の推計

人口動態調査では、この期間は ICD-9 に基づく死因分類で統計がとられている。また、死亡診断書の書式も 1995 年以降とは異なっている。

発生場所の分類については、以下の 10 に分類されている。

(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
家庭	農場	鉱山及び採石場	工業用区域及び敷地	レクレーション及びスポーツのための場所	街路及び公道	公衆用建築物	収容施設	その他の明示された場所	詳細不明の場所

ICD-10 と若干の差はあるが、以下の通り分けて考えるのが適切である。

分類	発生場所
家庭	(0) 家庭
公共的建築空間	(4) レクレーション及びスポーツのための場所、(6) 公衆用建築物、(7) 収容施設
街路等	(5) 街路及び公道
その他	(1) 農場、(2) 鉱山及び採石場、(3) 工業用区域及び敷地、(8) その他の明示された場所

この期間の死亡診断書では、外因死の追加事項において傷害発生の場所は選択肢が無く、以下の様式となっている。

場所名の具体的記載欄	

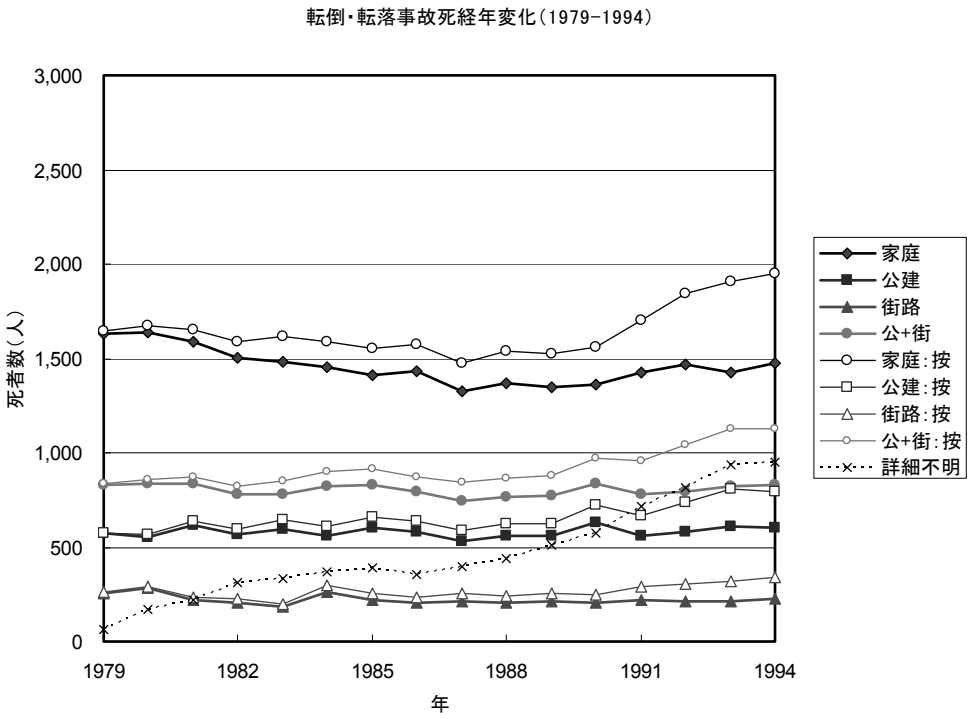


図 2.1.2　転倒・転落事故死者数の経年変化（1979-1994）

従って、「詳細不明の場所」に分類された死亡者数を他の(0)～(8)までの全ての項目に、先ほどと同様に按分して、それぞれに加えた数も考察の対象とする。

この指標を含めて、1979 年（昭和 54 年）～1994 年（平成 6 年）の 16 年間の経年的変化を考察したものが図 2.1.2 である。図でも明らかなように、この 16 年間に「詳細不明の場所」に分類されたものが激増しており、この按分を含めると死者数は漸増しているといえよう。（図 2.1.2 中「家庭：按」、「公建：按」、「街路：按」及び「公＋街：按」）

2.1.3　26 年間（1979 年～2004 年）の転倒・転落事故死者数の経年変化

1994 年以前の 16 年間の不慮の墜落と、1995 年以降の 10 年間の転倒・転落の総数の経年変化を図示したものが図 2.1.3 である。統計の取り方が変わった 1995 年にギャップがあるが、全体としてはこの 20 年ほどは増加傾向にあるといえる。

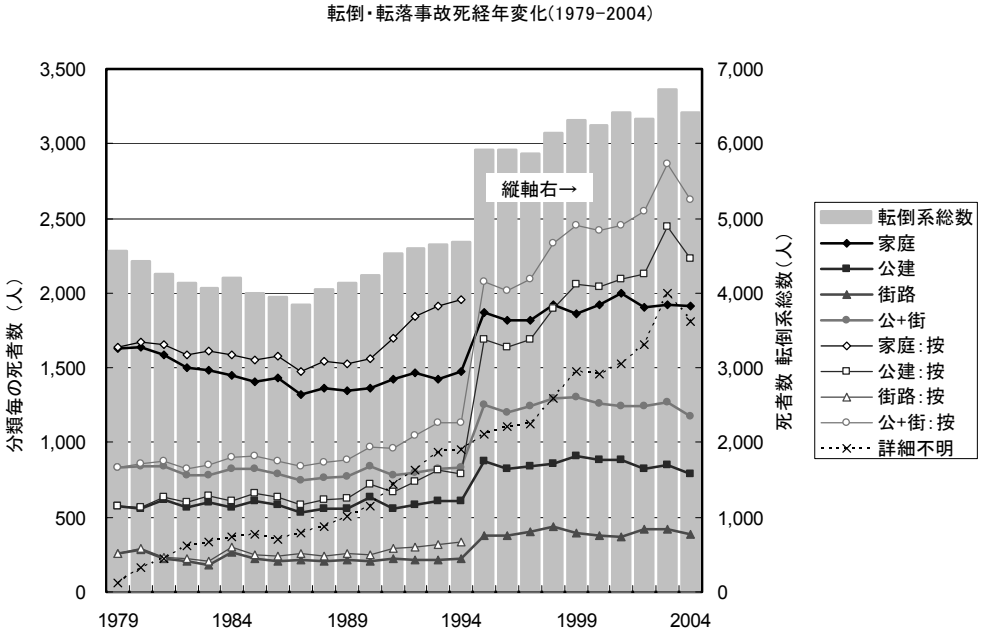


図 2.1.3　転倒・転落事故死者数の経年変化（1979-2004）

図のように、この 26 年間で「詳細不明の場所」に分類される死者数はほぼ一貫して増加傾向にある。この傾向は、統計方法の変わった 1994 年以前と 1995 年以降とで違いがない。一方で、その他の場所に分類される死者数は 1994 年以前と 1995 年以降でギャップを示している。図中にはないが、1994 年の「不慮の墜落」総数が 4,690 であったのに対し、1995 年の「転倒・転落」総数は 5,911 となっておりここにもギャップが存在する。

ギャップが生じたことの主な要因としては、①ICD が 1995 年に ICD-9 から ICD-10 に移行するにあたり死因コードや表現等に若干の変更があったこと（表 2.1.2 参照）、また、②同時期に死亡診断書における外因死の場合の追加記入事項の書式に大きな変更があったこと（前項に記載）の 2 点があげられる。

表 2.1.2　ICD-9 と ICD-10 転倒・転落関係の対応

ICD-9		ICD-10	
記号	死因	記号	死因
E880～E888	不慮の墜落	W00-W19*	転倒・転落
E885	スリップ､つまづきあるいはよろめきによる同一平面上での転倒	W01	スリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面上での転倒
E886	他人による又は他人との衝突、押し合いあるいは突き合いによる同一面上での転倒	W03	他人との衝突又は他人に押されることによる同一平面上でのその他の転倒
E880	階段又はステップからの墜落又は上での転倒	W10	階段及びステップからの転落及びその上での転倒
E882	建物又はその他の建造物からの墜落	W13	建物又は建造物からの転落
E884.9	その他の転落	W17	その他の転落

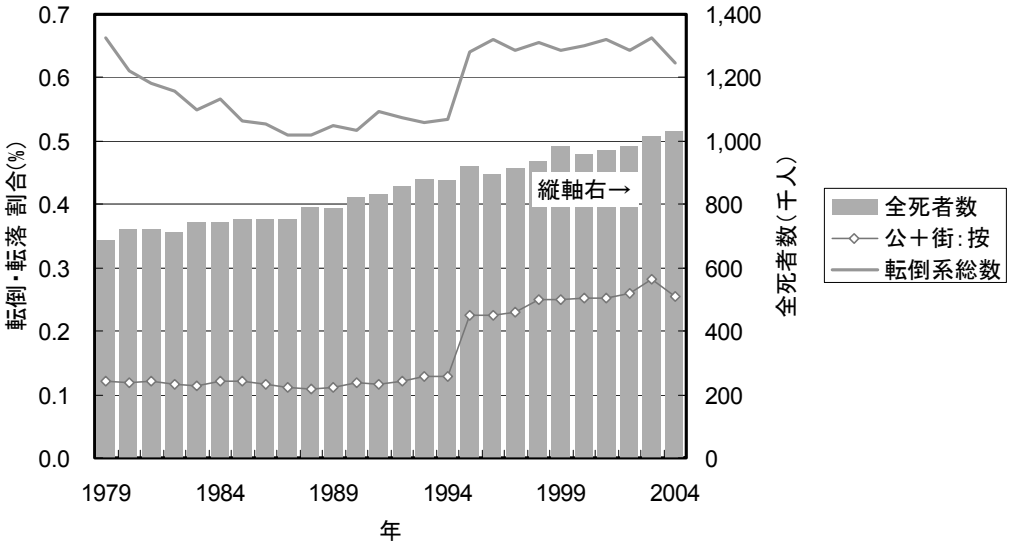


図 2.1.4　日常災害による死者数に対する転倒・転落による死者数の割合の経年変化（1979-2004）

図 2.1.4 は日常災害による全死者数（右縦軸）と公共的建築空間及び街路等で発生した転倒・転落事故死者数（左縦軸）並びに転倒系死者総数の全死者数に対する割合（左縦軸）の経年変化をしている。全死者数は漸増状況にある。転倒総死者数の全死者数に対する割合はこの数年でほぼ一定の値となっている。従って、死者の増加の主な原因が人口の年齢構成の変化だとすれば、日常災害の対策を講じなければ、今後ますます死者数が増加することが予想される。

図 2.1.5 は、死亡率（人口 10 万人当たりの死者数）の経年変化を示したものである。最近の 10 年間については死亡率は漸増状況にあり、その傾向は、転倒関係についても同様である。

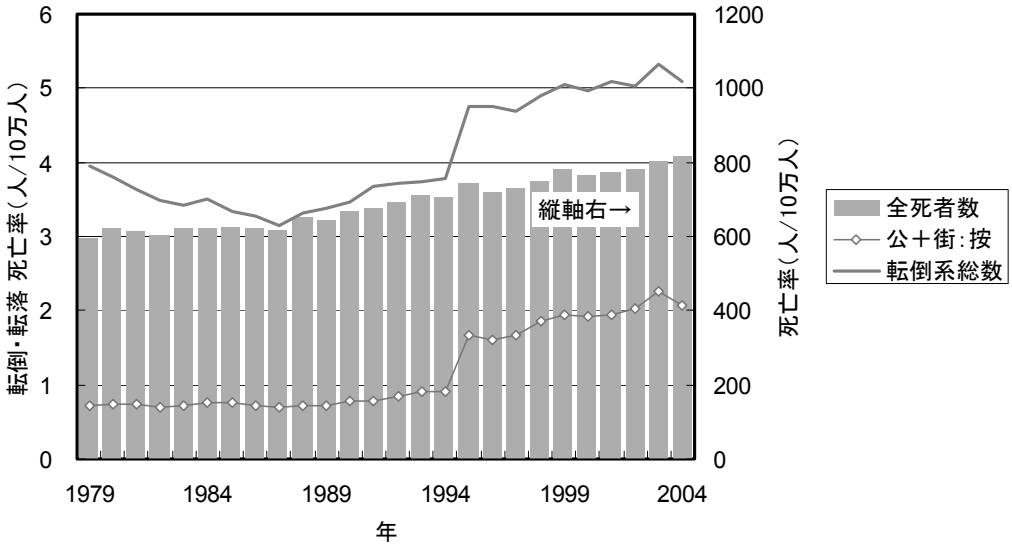


図 2.1.5　死者数および転倒・転落による死者の割合の経年変化（1979-2004）

2.1.4　年齢階級別にみた転倒・転落の死亡率

ここでは、人口動態統計に掲げられた年齢階級死亡表をもとに、各階級（0～4 歳、5～14 歳、15～44 歳、45～64 歳、65～79 歳、80 歳以上）の転倒・転落による死亡率とその経年変化をまず考察する。1995 年から 3 年毎に年齢階級別の死者数、死亡率（各階級の人口 10 万人当たりの死者数）を集計したものが表 2.1.3 である。表において、転倒・転落の発生場所の分類は前節までと同様とした。

表 2.1.3 より次のことが分る。まず、15 歳以上の年齢階級では、年齢が高くなるほど公共的な空間、家庭内を問わず転倒・転落による死亡率が高くなる傾向があり、15～44 歳に対して、80 歳以上の高齢者が公共的な空間で転倒・転落により死に至るリスクは 100 倍以上も高い。一方で、14 歳以下の年齢階級では公共的な空間での転倒・転落による死亡率が非常に小さい。

経年的な死亡率の変化について分析するため、45～64 歳、64～79 最、80 歳以上の年齢階級について 1995 年以降の 10 年間の死者数を集計したものが表 2.1.3 であり、この間の公共的な空間での転倒・転落による死亡率の変化を年齢階級別に示したものが図 2.1.6 である。

図 2.1.6 より次のことが分る。45～64 歳及び 65～79 歳については、死亡率の変化は小さく、後年はやや減少傾向を示している。これに対して、80 歳以上の死亡率は変化が大きく、90 年代後半に増加した後、2003 年を除くと約 29%程度に収束しているようにみえる。

図 2.1.7 は、この間の 80 歳以上の高齢者に占める、年齢階級別割合の推移を示したものである。図のように、1995 年～1999 年の年次において、80 歳以上の高齢者に占める 85 歳以上の割合の推移は、80 歳以上の高齢者の転倒・転落による死亡率の推移と、非常によく対応している。

これまでのデータをもう少し詳しく見てみると、1995～2004 年における 80 歳以上の高齢者の転倒・転落等による死亡率の推移は：

① 家庭内：漸減

② 公共的建築空間+街路等（按分なし）：漸減

③ 公共的建築空間+街路等（按分あり）：図 2.1.6 の変化

という傾向にある。他の年齢階級に関しては、ほぼ安定（一定の値）で推移している。

つまり、死亡率は 80 歳以上の③のみが増加の後安定化し、その増分は「場所不詳」に起因していることがうかがえる。

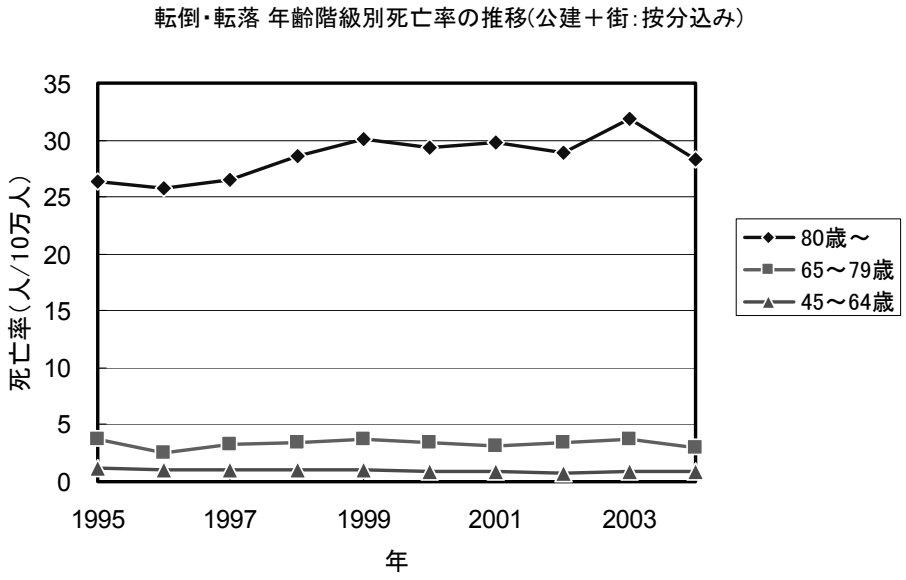


図 2.1.6 転倒・転落による年齢階級別死亡率の推移

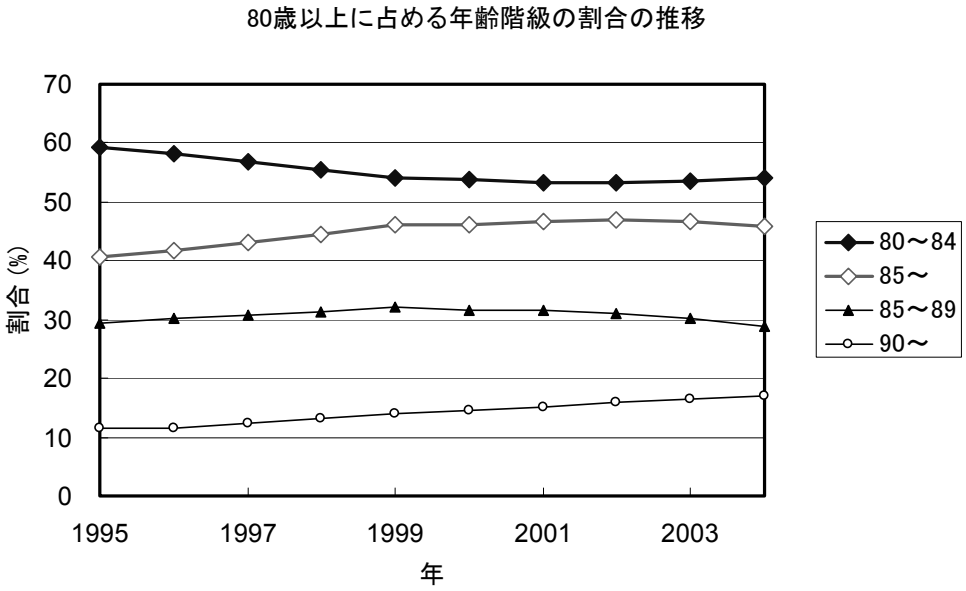


図 2.1.7　80 歳以上に占める各年齢階級割合の推移

表 2.1.3 転倒・転落による年齢階級別年間死者数及び死亡率（3 年毎）

80～

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	3,881	284	380	1,021	740	7.3	9.8	26.3	19.1	39.8	42.6	106.4	56.9
1998	4,432	288	415	1,269	756	6.5	9.4	28.6	17.1	32.7	35.7	100.8	51.7
2001	5,085	301	406	1,514	736	5.9	8.0	29.8	14.5	31.1	34.3	122.7	42.1
2004	5,969	302	415	1,693	707	5.1	7.0	28.4	11.8	32.6	35.2	129.1	41.4
					平均	6.20	8.52	28.27	15.61				

65～79

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	14,380	256	390	533	535	1.8	2.7	3.7	3.7	9.7	11.8	15.0	11.1
1998	16,007	254	402	545	580	1.6	2.5	3.4	3.6	8.0	9.6	12.0	11.0
2001	17,703	288	429	563	689	1.6	2.4	3.2	3.9	8.6	10.4	13.1	11.3
2004	18,907	228	394	577	693	1.2	2.1	3.1	3.7	7.8	10.6	13.9	12.8
					平均	1.55	2.43	3.34	3.73				

45～64

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	34,969	227	348	399	376	0.65	1.00	1.14	1.08	3.53	4.33	4.62	3.21
1998	35,579	203	333	377	379	0.57	0.94	1.06	1.07	2.87	3.57	3.73	3.23
2001	35,537	195	293	323	374	0.55	0.82	0.91	1.05	2.89	3.55	3.75	3.06
2004	35,446	176	263	303	339	0.50	0.74	0.85	0.96	3.20	3.76	3.89	3.34
					平均	0.57	0.87	0.99	1.04				

15～44

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	52,196	96	120	129	175	0.18	0.23	0.25	0.34	1.00	1.00	1.00	1.00
1998	50,332	100	132	143	166	0.20	0.26	0.28	0.33	1.00	1.00	1.00	1.00
2001	49,454	94	115	120	170	0.19	0.23	0.24	0.34	1.00	1.00	1.00	1.00
2004	49,630	77	98	109	142	0.16	0.20	0.22	0.29	1.00	1.00	1.00	1.00
					平均	0.18	0.23	0.25	0.32				

5～14

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	14,018	7	9	12	10	0.050	0.064	0.086	0.071	0.27	0.28	0.35	0.21
1998	12,992	11	12	14	11	0.085	0.092	0.108	0.085	0.43	0.35	0.38	0.26
2001	12,284	4	4	4	6	0.033	0.033	0.033	0.049	0.17	0.14	0.13	0.14
2004	11,998	4	4	4	8	0.033	0.033	0.033	0.067	0.21	0.17	0.15	0.23
					平均	0.05	0.06	0.06	0.07				

0～4

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	5,995	3	4	4	29	0.050	0.067	0.067	0.48	0.27	0.29	0.27	1.44
1998	5,913	3	4	4	30	0.051	0.068	0.068	0.51	0.26	0.26	0.24	1.54
2001	5,844	1	1	1	27	0.017	0.017	0.017	0.46	0.09	0.07	0.07	1.34
2004	5,736	3	3	4	20	0.052	0.052	0.070	0.35	0.34	0.26	0.32	1.22
					平均	0.04	0.05	0.06	0.45				

総計

年	人口（千人）	死者数（人）				死亡率（人／10万人）				15～44に対するリスク比			
		公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭	公建	公建＋街	按分込み	家庭
1995	125,439	873	1,251	2,098	1,865	0.696	0.997	1.673	1.49	3.78	4.34	6.77	4.43
1998	125,255	859	1,298	2,352	1,922	0.686	1.036	1.878	1.53	3.45	3.95	6.61	4.65
2001	125,907	883	1,248	2,525	2,002	0.701	0.991	2.005	1.59	3.69	4.26	8.26	4.63
2004	127,686	790	1,177	2,690	1,909	0.619	0.922	2.107	1.50	3.99	4.67	9.59	5.23
					平均	0.68	0.99	1.92	1.53				

2.1.5　転倒・転落による死亡の年齢階級分析と死亡者数の将来推計と他リスクとの比較

（1）転倒・転落による死亡の年齢階級分析と死亡者数の将来推計

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）は、日本の人口の将来推計を行っており、近年では平成 18 年 12 月推計として、出生率、死亡率をそれぞれ低位、中位、高位と仮定した場合（全 9 通り）の推計表をホームページにて公表している。このうち「表 1－9 男女年齢各歳別人口：出生中位（死亡中位）推計」を使えば、2055 年までの年齢階級区分の推計人口（中位推計）を算出することができる。

上述の 1995 年～2004 年の死亡率推移を考慮して、年齢階級別の死亡率を表 2.1.4 の通り仮定して、この値が変化しないものとして、中位推計人口をもとに 2005 年から 2055 年までの公共的な空間における転倒・転落による死亡者数を予測したものが図 2.1.8 である。図中には、年齢階級の内訳が示され、また、推計人口（単位 千人：折れ線、右縦軸）も併せて示している。

表 2.1.4 転倒・転落による死亡率仮定値

年齢階級	死亡率（人/10 万人）
0～4	0.06
5～14	0.06
15～44	0.25
45～64	0.8
65～79	3.3
80～	28.5

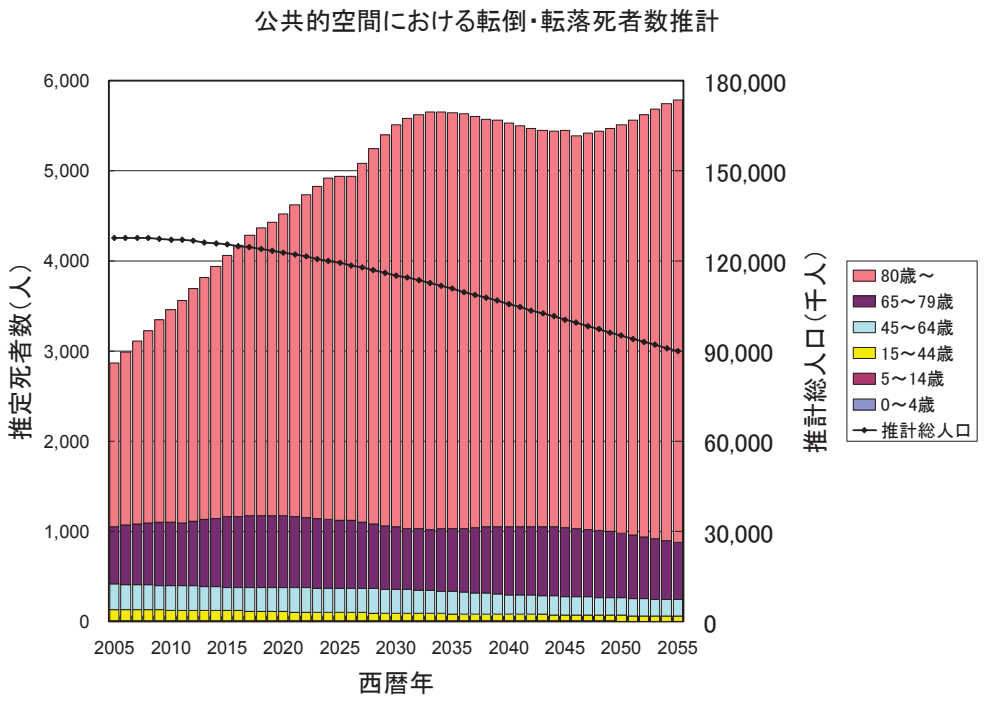


図 2.1.8 転倒･転落による死者数の将来推計

日本では、既に2006年から人口減少が始まったとされるが、今後10年強での減少は3,000人程度と推計されている。この間、公共的な空間の安全性が何も変化しないとすると、そこでの転倒・転落による死者は年間 120 人程度ずつ線形的に増加し、2015 年には 4,000 人を超える可能性がある。その後年間増加数はやや小さくなるが 2028 年には死者は 5,000 人を超え、2034 年には 5,651 人で一旦ピークを迎えることが、本手法からは予測される。

（※注）「表 1－9 男女年齢各歳別人口：出生中位（死亡中位）推計」
http://www.ipss.go.jp/pp-newest/j/newest03/02_syosai/01/Mm1-9.xls

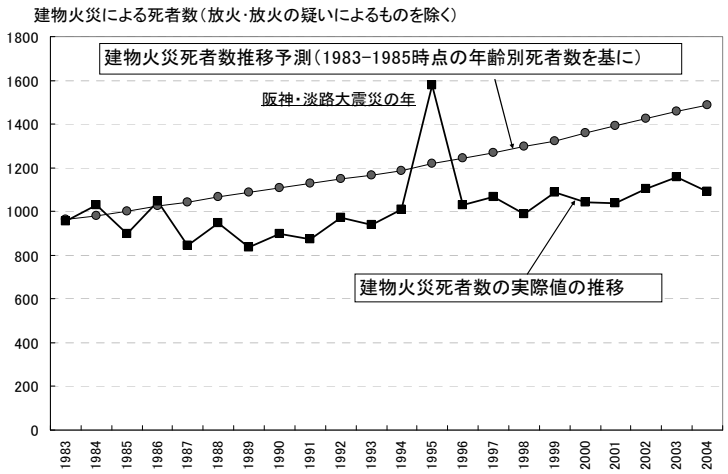
（２）他の死亡リスク（火災によるリスク）との比較

転倒・転落により死亡するリスクの程度について、既往文献による他の災害（火災リスク）の死亡リスクの試算データと比較し、検討を行った。

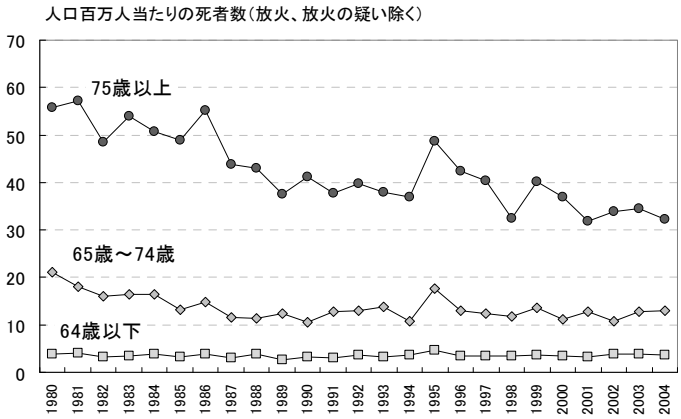
関沢・野竹（2006）によると、5 歳ごとの年齢階級（原著では年齢グループと記されている）でみた住宅火災による死亡率は 41 歳以降増加し、81 歳以上では 4.61（2004 年のデータ）である。すなわち、80 歳以上の高齢者については転倒・転落による死亡率は火災の 6 倍程度もあることになる。

関沢・野竹（2006）は、1983 年～1987 年の年齢別火災死亡率が将来も変化しないと仮定して、防災対策の現状が変わらず人口構成の高齢化のみ進展するとした場合に、1983 年から 2004 年までの建物火災死者数推移予測を算出し、実際の死者数の推移とを比較している（図 2.1.9）。これによると、人口の高齢化が進んだにもかかわらず、火災死者数は予測ほどには増えていない。さらに、75 歳以上の年齢区分の住宅火災による死亡率は大きく低下していることを報告している（図 2.1.9）。この理由に関してはまだ詳しく論じられていないが、一部においては、高齢者の行動能力の向上、住宅の火災安全性の向上などが要因であると推測されている。

最近 10 年間の転倒・転落による死亡率の推移を見る限りは、高齢者の行動能力が向上しているとは言い難いく、住宅の火災安全性の向上が火災リスクの減少につながったと推測されるとすれば、設計上の配慮の実現がリスク低減につながった火災安全性と、設計上の配慮が充実していない日常安全性との傾向の違いは興味深いといえる。



建物火災による死者数の予測値と実数値の推移（放火によるものを除く）



年齢区分別に見た住宅火災による死者発生率の推移

（いずれも関沢・野竹[1] より）

図 2.1.9 火災リスクの推移

2.1.6 まとめ

人口動態統計を元にした分析から、公共的な建築空間およびその周辺における日常災害による事故死のほとんどは転倒・転落に起因することを明らかにした。さらに、死亡診断書において傷害発生場所が詳細不明として取り扱われるケースが過去26年間で大幅に増加しており、これを加えなければ公共的建築空間等における転倒・転落死者数を定量化できないことを示した。その手法として、死亡診断書において選択できない場所に、詳細不明の場所での死者数を按分することを提案し、これに基づいて、公共的な空間における転倒・転落死者数の指標とすることを提案した。

この指標を用いて、過去 1979 年～2004 年までの死者数、死亡率の経年変化を分析した。さらに、年齢階級別の死亡率を分析し、この死亡率と人口の将来推計を用いて、今後 50 年間の公共的な空間における転倒・転落死者数を推計したところ、これからますます進むと予測される人口構成の高齢化という背景において、転倒・転落による死亡のリスクが深刻なものであるといえ、改めて日常災害に対する状況の把握や、事故防止・事故予防対策の必要性の高さがうかがえる。

また、転倒・転落による死亡のリスクの深刻さについては、建築物に関する災害の一つである火災のリスクと比較した分析によると、火災のリスクよりも深刻であるという結果となった。

参考文献

1) 関沢 愛、野竹 宏彰：住宅火災による死者発生リスクと高齢社会、火災、Vol. 56、No. 6、pp. 9-14、2006 年 12 月

参考資料１　分析シートの例；平成 16 年人口動態統計の分析－ICD-10 による分類

H16人口動態統計第9表（１２－１）からの分析　　交通事故以外の不慮の事故

		Total	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
死因基本コード	死因	総数	家（庭）	居住施設	学校、施設及び公共の地域	スポーツ施設及び競技場	街路及びハイウェイ	商業及びサービス施設	工業及び建築現場	農場	その他の明示された場所	詳細不明の場所
W00-X59	不慮の損傷のその他の外因	27,642	11,205	1,140	1,475	52	660	664	824	275	3,281	8,066
W00-W17	転倒・転落	6,412	2,201	225	444	26	414	250	362	75	601	1,814
W01	スリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面上での転倒	3,530	998	159	239	2	283	67	15	14	75	1,678
W03	他人との衝突又は他人に押されることによる同一平面上でのその他の転倒	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
W10	階段及びステップからの転落及びその上での転倒	671	429	6	29	2	25	86	8	5	53	28
W13	建物又は建造物からの転落	772	386	21	78	3	7	69	115	7	72	14
W17	その他の転落	725	98	1	12	0	71	14	149	34	277	69
W23	物体内又は物体間への補足、圧挫、圧入又は挟まれ	45	6	0	3	0	2	1	22	2	4	5
W24	持ち上げ装置及び伝達装置との接触、他に分類されないもの	107	3	0	2	1	2	7	73	4	13	2
W01,03,10の小計		4,204	1,427	165	269	5	309	153	23	19	128	1,706
W01,03,10,13の小計		4,976	1,813	186	347	8	316	222	138	26	200	1,720
W01,03,10,13,17の小計		5,701	1,911	187	359	8	387	236	287	60	477	1,789
W01,03,10,13,17,23,24の小計		5,853	1,920	187	364	9	391	244	382	66	494	1,796

W01,03,10の小計	(1)+(2)+(3)+(5)	592	街路	309	合計	901	
W01,03,10,13の小計	(1)+(2)+(3)+(5)	763	街路	316	合計	1,079	
W01,03,10,13,17の小計	(1)+(2)+(3)+(5)	790	街路	387	合計	1,177	
W01,03,10,13,17,23,24の小計	(1)+(2)+(3)+(5)	804	街路	391	合計	1,195	

W01,03,10の小計 按分	公建	1,428	街路		合計			
W13 按分	公建	10	街路		合計			
W17 按分	公建	6	街路		合計			
W23+W24 按分	公建	3	街路		合計			
W01,03,10の小計 按分	公建	2,020	街路	309	合計	2,329	家庭	1,427
W01,03,10,13の小計 按分	公建	2,201	街路	316	合計	2,517	家庭	1,813
W01,03,10,13,17の小計 按分	公建	2,234	街路	387	合計	2,621	家庭	1,911
W01,03,10,13,17,23,24の小計 按分	公建	2,251	街路	391	合計	2,642	家庭	1,920

参考資料２　分析シートの例；昭和 54 年人口動態統計の分析－ICD-9 による分類

S54 人口動態統計第7表からの分析　　交通事故以外の不慮の事故

		Total	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
国際基本分類番号 ICD-9	死因	総数	家庭	農場	鉱山及び採石場	工業用区域及び敷地	レクレーション及びスポーツのための場所	街路及び公道	公衆用建築物	収容施設	その他の明示された場所	詳細不明の場所
E880～E888	不慮の墜落	4,569	1,786	59	17	748	46	285	347	261	956	64
E885	スリップ、つまづきあるいはよろめきによる同一平面上での転倒	1,394	850	9	2	31	9	173	49	140	117	14
E886	他人による又は他人との衝突、押し合いあるいは突き合いによる同一面上での転倒	16	1	0	0	0	7	1	5	2	0	0
E880	階段又はステップからの墜落又は上での転倒	610	342	0	0	16	3	7	159	38	37	8
E882	建物又はその他の建造物からの墜落	835	320	4	2	276	7	26	90	27	82	1
E884.9	その他の転落	894	115	35	9	249	9	50	22	4	397	4
E919.2	機械による不慮の事故（昇降機器）	181	3	1	0	155	1	3	5	0	13	0
	同（従業中）	158	0	0	0	140	1	3	4	0	10	0
E886.0	スポーツ中	10	0	0	0	0	7	0	3	0	0	0
E880.0	不慮の墜落（エスカレータ）	5	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1
	同（従業中）	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	E885, E886, E880の小計	2,020	1,193	9	2	47	19	181	213	180	154	22
	前項+E882の小計	2,855	1,513	13	4	323	26	207	303	207	236	23
	前項＋E884.9の小計	3,749	1,628	48	13	572	35	257	325	211	633	27
	前項＋E919.2の小計	3,930	1,631	49	13	727	36	260	330	211	646	27

E885, E886, E880の小計	(4)+(6)+(7)	412	街路	181	合計	593		
前項+E882の小計	(4)+(6)+(7)	536	街路	207	合計	743		
前項＋E884.9の小計	(4)+(6)+(7)	571	街路	257	合計	828		
前項＋E919.2の小計	(4)+(6)+(7)	577	街路	260	合計	837		
E885, E886, E880の小計 按分	公建	5	街路	2	合計	7	家庭	9
E882 按分	公建	0	街路	0	合計	0	家庭	0
E884.9 按分	公建	0	街路	0	合計	0	家庭	5
E919.2 按分	公建	0	街路	0	合計	0	家庭	0
E885, E886, E880の小計+按分	公建	417	街路	183	合計	600	家庭	1,202
前項+E882の小計+按分	公建	541	街路	209	合計	750	家庭	1,522
前項＋E884.9の小計+按分	公建	576	街路	259	合計	835	家庭	1,642
前項＋E919.2の小計+按分	公建	582	街路	262	合計	844	家庭	1,645

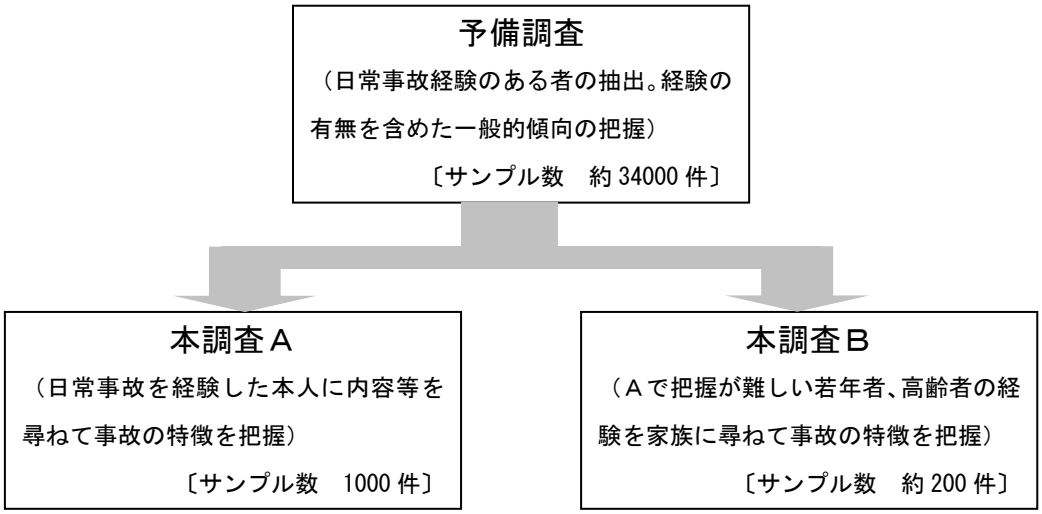
2.2　アンケート調査による事故実態把握調査について

2.2.1　インターネットを利用したアンケート調査の概要

一般の市民が建物内で、どの程度日常事故に遭遇しているか、その実態を把握するためにインターネットによるアンケート調査を行った。調査の概要は以下の通りである。

■ 調査日程：平成１８年１０月～１１月

■ 調査の流れ



■ 調査事項（詳細については次ページ以降の調査結果概要参照）

① 建物内（自宅を除く）で起きた日常事故の実態。

② 日常事故が起きた要因・状況に対する経験者等の意識。

■ 留意事項

① 今回の調査では、公共的な空間での日常事故の実態を把握することを主眼に置いたため、自宅内での事故は調査対象から除いた。

② 例示した建物内でおきた日常事故の種類は表 2.2.1 の通りである。

③ 日常事故にはケガには至らなかったヒヤリ・ハットした経験も含むこととした。

④ 事故の程度の区分については、表 2.2.2 の通りである。

表 2.2.1　日常事故の種類

墜落事故：バルコニー・窓・吹抜などから落下する事故
転落事故：階段から転げ落ちる事故
転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故
落下物による事故：タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故
ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故
はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故
こすり：建物のざらざらした表面でこすって傷つけられる事故
鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故
やけど：ボイラーやストーブなどでやけどする事故
感電：コンセントなどで感電する事故
ガス中毒事故：ガス器具などで中毒する事故
溺水事故：浴槽などで溺れる事故

表 2.2.2　事故の程度の分類

ヒヤリ、ハットした	〔略称：ヒヤリ、ハット〕
痛かった出来事に遭った（特に処置しなかった）	〔　〃　：痛かった　〕
軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	〔　〃　：軽度のケガ　〕
中程度のケガをした（通院で治療した等）	〔　〃　：中度のケガ　〕
重いケガをした（救急車で運ばれた、入院した等）	〔　〃　：重度のケガ　〕

その結果について、設問毎に集計したものを次項に記載する。
各調査の調査票については、巻末参考資料１を参照のこと。

2.2.2　予備調査結果

①　調査概要

□ 調査日程 平成 18 年 10 月 13 日～31 日

□ 調査の趣旨

- 本調査の回答者を選択するための調査（日常事故経験がない者を除く等のフィルタリング）
- 事故実態の大まかな傾向把握

□ 調査概要

○発信数　約 11 万件

ネット登録者の制約から 15 歳以上。

○回収数　34,095 件

○質問内容（詳細は別添資料）

Ｑ１．事故の種類と事故の程度との関係

Ｑ２．事故の時期と事故の程度との関係

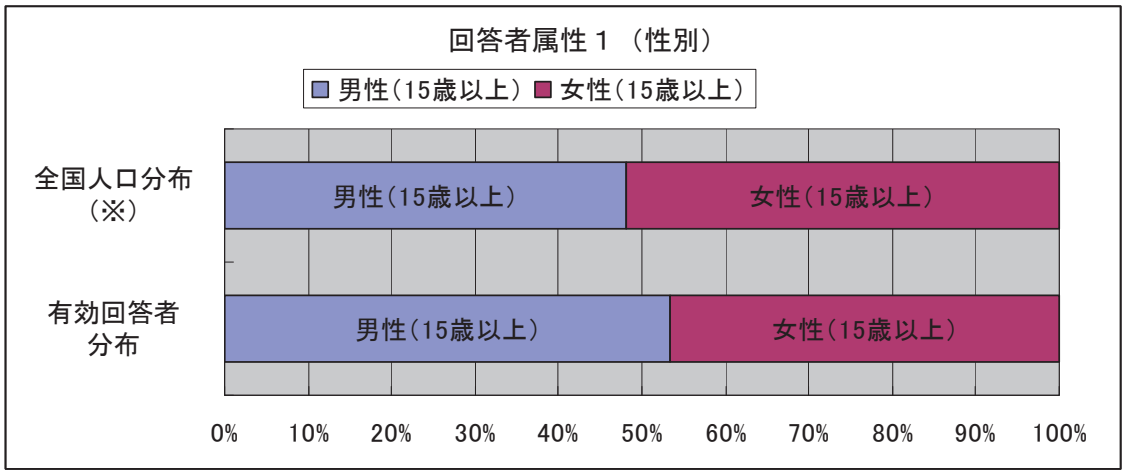
Ｑ３．事故の場所と事故の程度との関係

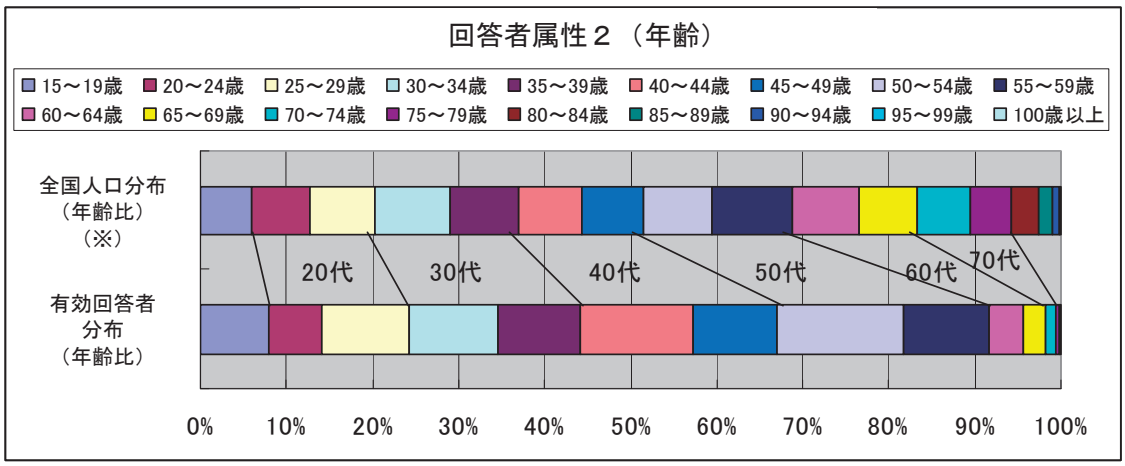
（Ｑ１～Ｑ３は１つの表を分割したもの）

Ｑ４．同居家族の事故の把握

回答者属性について、集計したグラフを次頁に掲載する。

② 回答者属性について





（※）平成 17 年度　国勢調査による

60 代以上についてはインターネット・アンケート会社に登録している者が少ないので、登録者全員に送付しているが偏りが生じている。

〔その他の属性データ〕（省略）

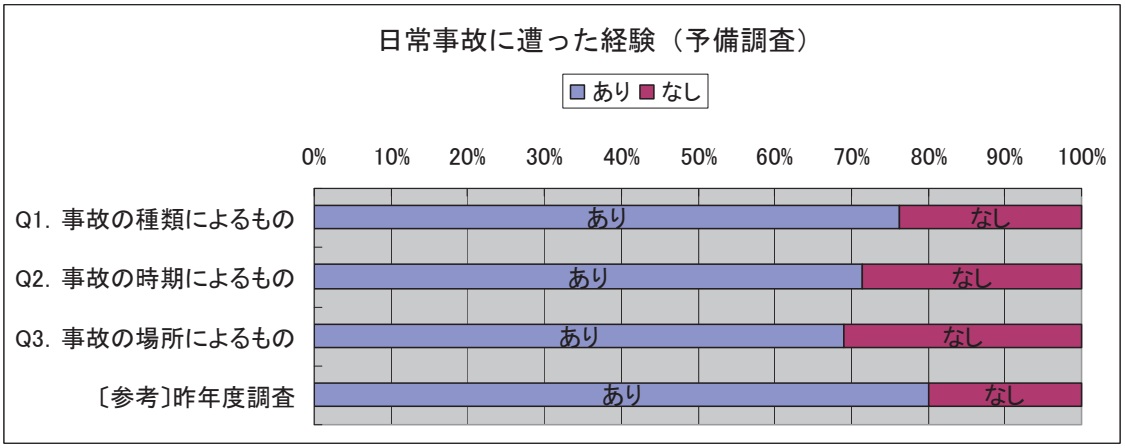
・居住地域（都道府県）
・職業
・未婚・既婚
・子供の有無

③　予備調査結果の全体集計及び考察

【全体的な留意事項】

予備調査は本来本調査で質問する対象者を選択するために行っている。このため、①サンプル数が多い、②質問数は少なく内容は簡単、③母標本すなわち質問送付者・回答者とも特筆すべき傾向を有していない、という特徴がある。

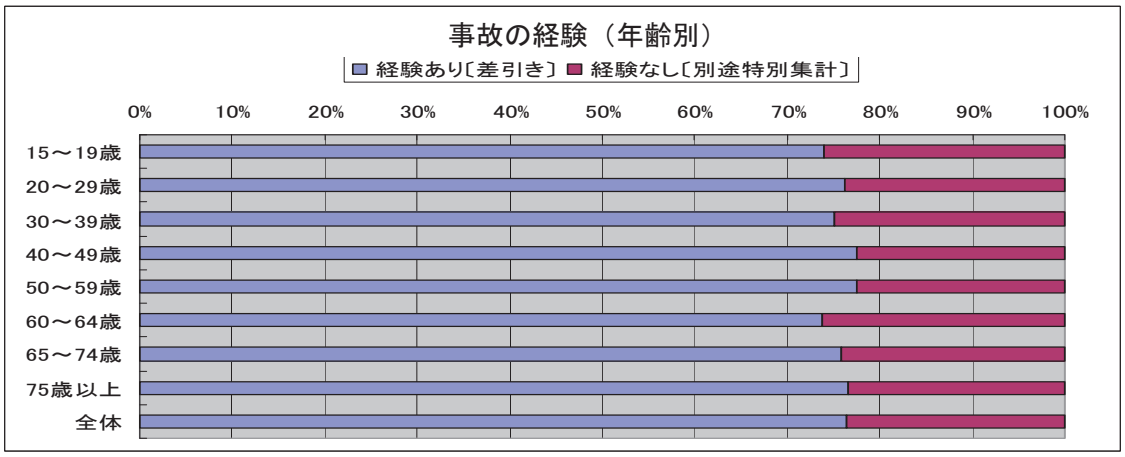
Ｑ１～Ｑ３の質問では「ヒヤリ・ハット」「痛かった」「軽度のケガ」「中度のケガ」「重度のケガ」ごとに直近の事故について種類、時期、及び場所を尋ねている。本調査においてケガの程度に応じたフィルタリングをかける可能性を考慮したためである（単に直近の事例とするとヒヤリ・ハットばかりになるおそれがある）。したがって、合算したデータをみる場合には注意を要する。おおまかな傾向の把握にとどめ、本調査で同様の質問をしている場合にはそちらの結果を利用したほうが信頼できる。



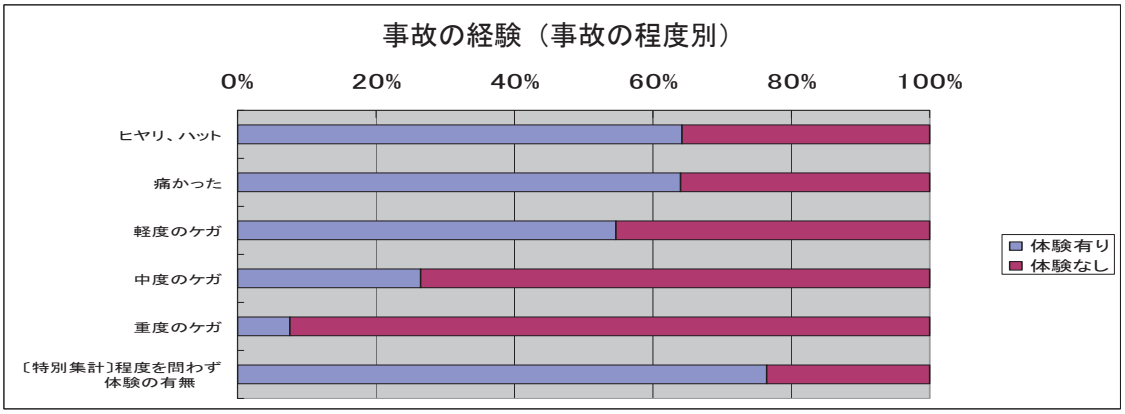
上図は、日常事故にあった経験の有無を集計したグラフであり、Ｑ１（事故の種類）、Ｑ２（事故の時期）、Ｑ３（事故の場所）のそれぞれの集計結果を併記したものである。これらは本来は同じ結果となるはずであるが、質問によって誤差が生じているが、昨年度調査も参考にすると、おおむね全体の７～８割が事故経験ありと見られる。

今回の調査では、昨年度調査に比べて事故の種類の例示に「やけど」や「感電」なども加えたため、高めの結果が出ても良さそうだが、いずれも低く出ている。原因としては、①調査サンプルの誤差、②事故の種類・範囲の表現方法の違い、による差ではないかと思われる。②については、昨年度は「事故に遭った、または事故に至らなかったが危ないと感じた体験」として、「床で滑る」「段差につまずく」「ドアに挟まれる、ぶつかる」「階段・エスカレーターで転ぶ」「窓・ベランダから転落する」の例示を上げており、今回は事故の種類を「墜落事故」「転落事故」…「溺水事故」「その他の事故」と定義・解説をおいた上で「本調査でいう日常事故には実際にケガをしたというものから危ないと感じた、ヒヤリ・ハットしたというものまで含みます」と注意を加えたため、「滑った」、「つまづいた」とい

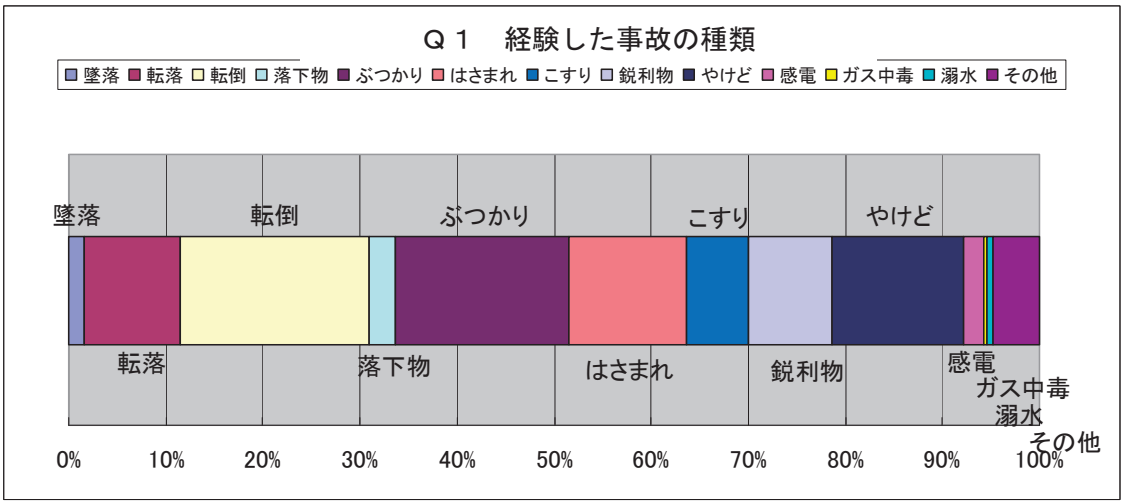
った事故が顕在化しなかった体験・記憶は範囲に含めなかった可能性が考えられる。



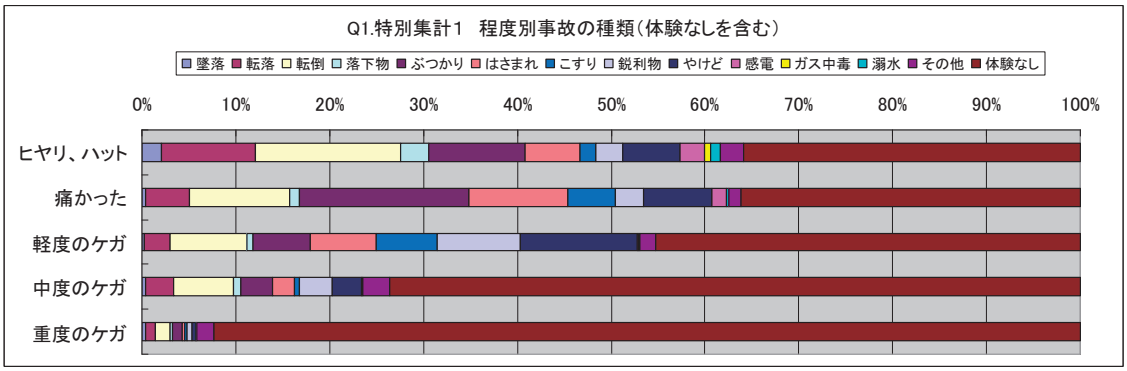
これは、日常事故経験の有無をＱ１に基づいて年齢別に集計したグラフである。年齢による事故経験率にはあまり差がない。ただし、本集計は、事故の経験の有無のみを示しており、経験の頻度や程度はあらわしていない。

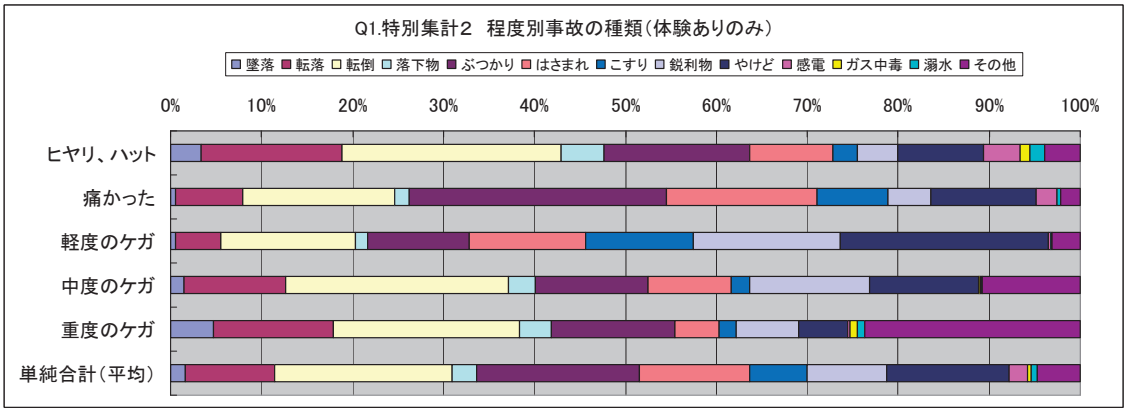


これは、日常事故経験の有無をＱ１に基づいて事故の程度別に集計したグラフである。重大な事故になるほど経験者が減るのは常識的な傾向がみてとれる。「ヒヤリ・ハット」と「痛かった」の差があまりないのは、前述のとおり表現方法による影響と思われる。



これは、程度を問わず事故の経験ありと回答した者が経験した事故の種類について、単純集計したグラフである。「転倒」、「ぶつかり」、「やけど」が比較的多い結果となった。



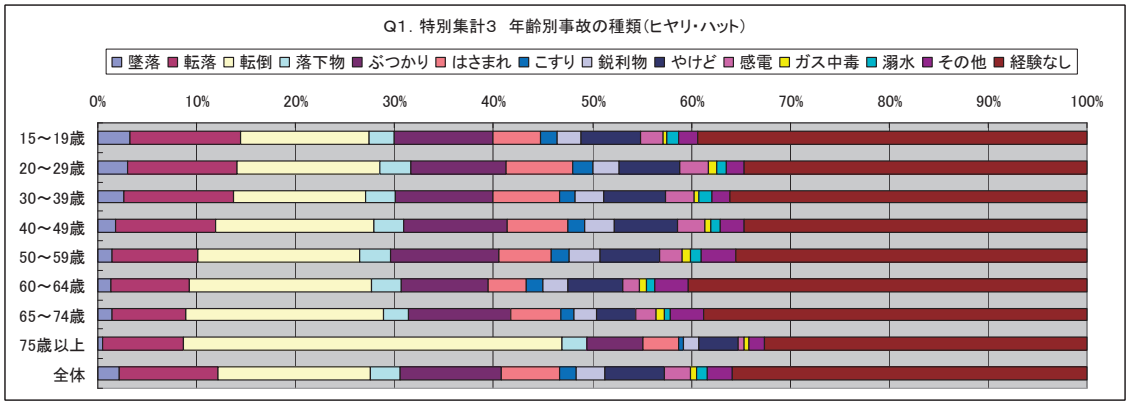


上の２つのグラフは、Ｑ１の結果から、事故の程度別に事故の種類を集計したものである。「Ｑ１．特別集計１」は、事故の体験なしを含む回答全数を集計したもので、「Ｑ１．特別集計２」は、事故体験があったもののみを抽出して集計したものである。

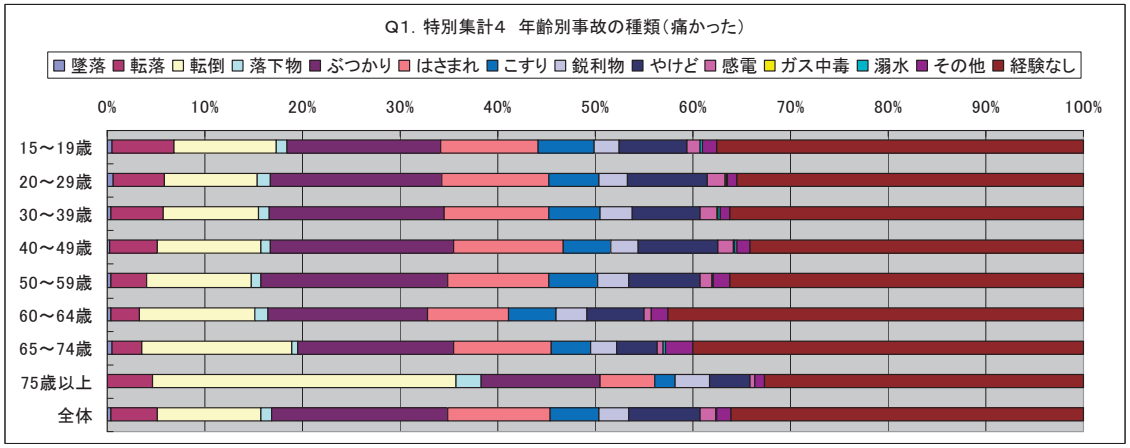
「ヒヤリ・ハット」では「転倒」が多く、「痛かった」では「ぶつかり」が多く、「軽度のケガ」では「やけど」が比較的多い。

以下、「事故の程度」毎に、年齢層と事故の種類の関係を集計した結果を示す。

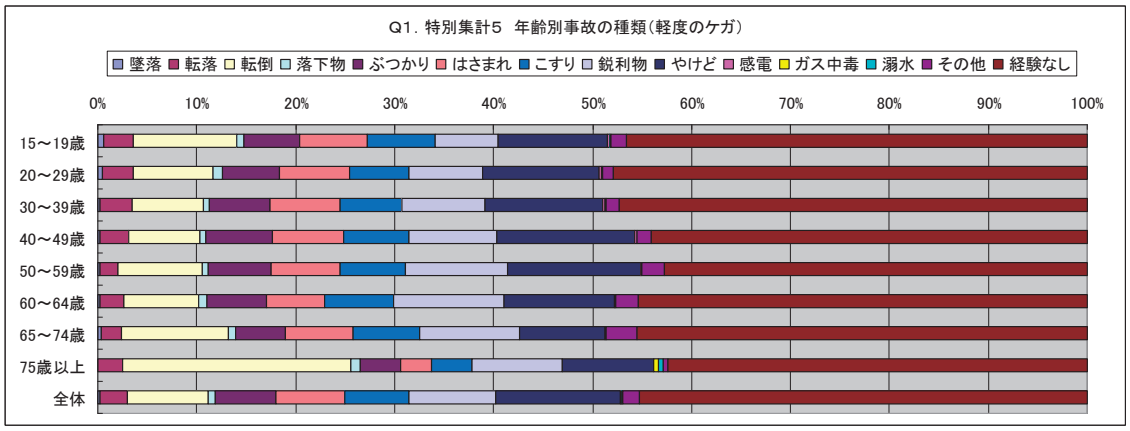
④　「事故の程度」毎の年齢層と事故種類の関係



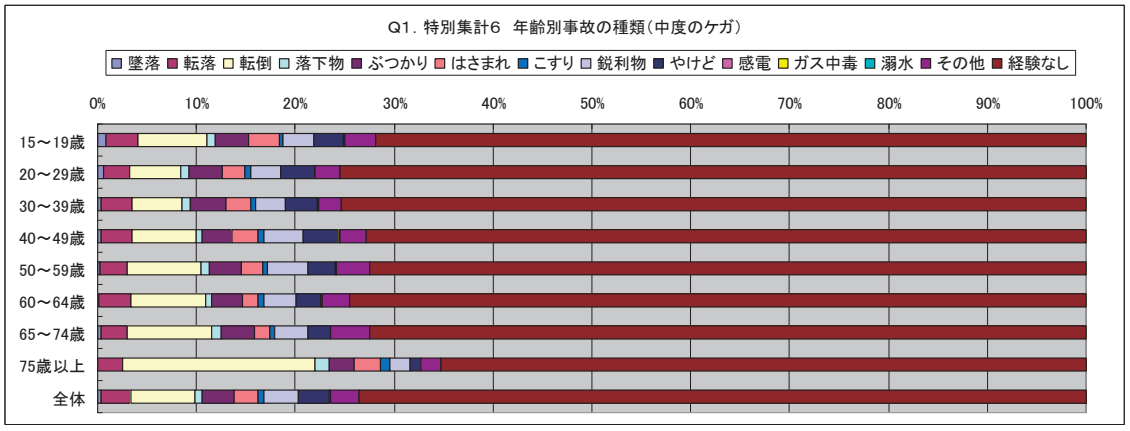
「ヒヤリ・ハット」について年齢別に集計した結果、最多の「転倒」は高齢になるほど比率が高くなり、逆に「転落」は若年での比率がやや高い傾向となった。

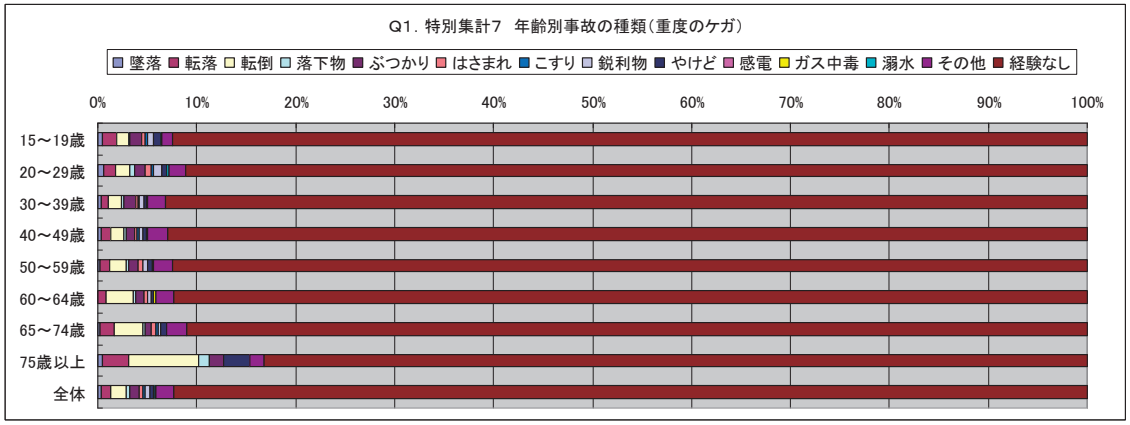


「痛かった」について年齢別に集計したものについては、最多の「ぶつかり」は 20 代から 50 代で高い比率を占める。「転倒」は高齢になると増加し、75 歳以上では突出して多い。「転落」は若年でやや高くなる傾向が見られた。



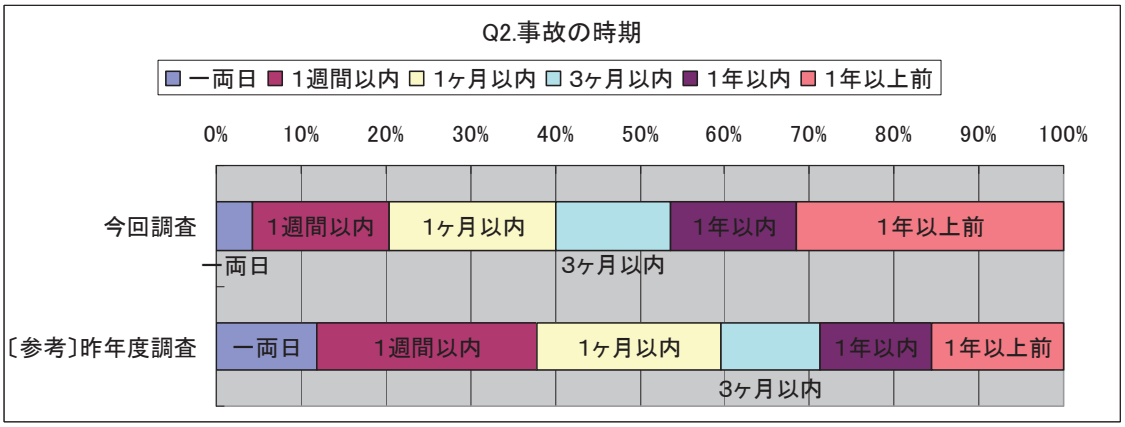
「軽度のケガ」について年齢別に集計した結果、最多の「やけど」は年齢にかかわらず比較的多いものであることがわかる。また、「転倒」は若年と高齢で比率が高くなる傾向で 75 歳以上では顕著となった。



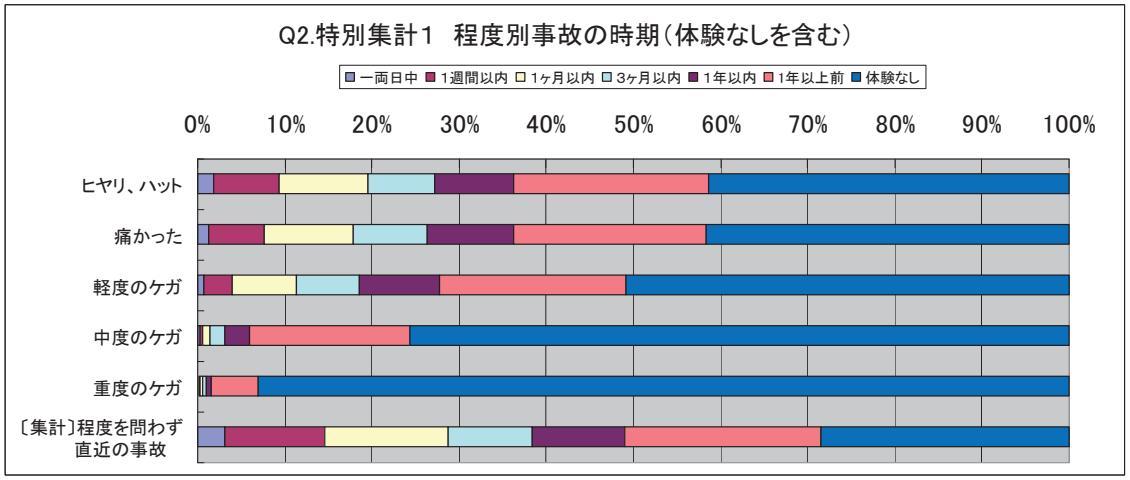


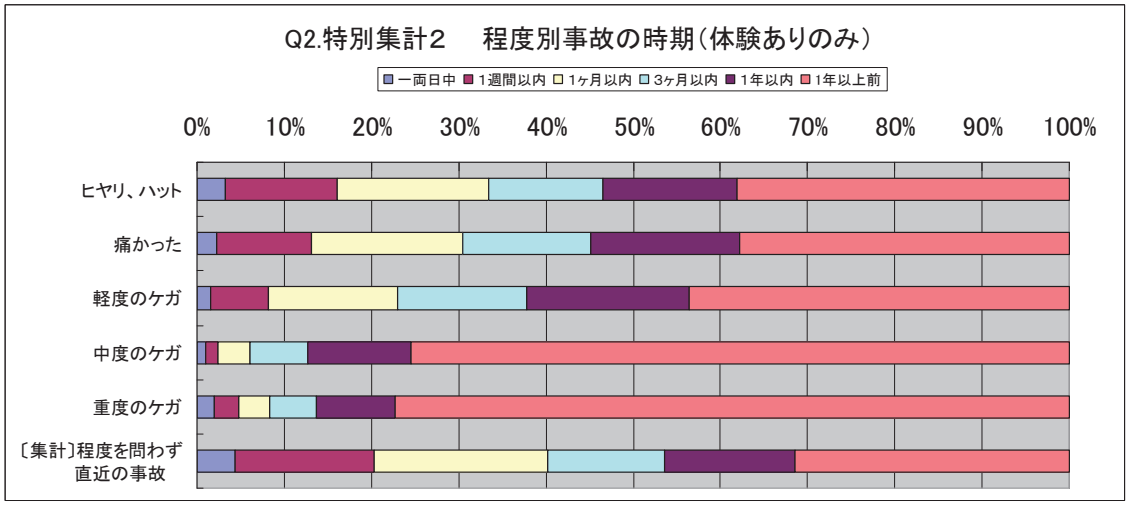
「中度のケガ」と「重度のケガ」について年齢別に集計したものからは、高齢者、特に 75 歳以上で事故経験が多くなり、種類としては「転倒」が多い。「転落」は若年と高齢で高くなる傾向が見られた。

⑤　事故に遭遇した時期に関する集計



いずれかの程度において事故の経験ありと回答した者（回答者全体の約７～８割）を対象に、程度にかかわらずもっとも最近事故にあった時期を集計したグラフである。約２割の者が一週間以内に、約４割の者が１ヶ月以内に日常事故を経験したと回答した。

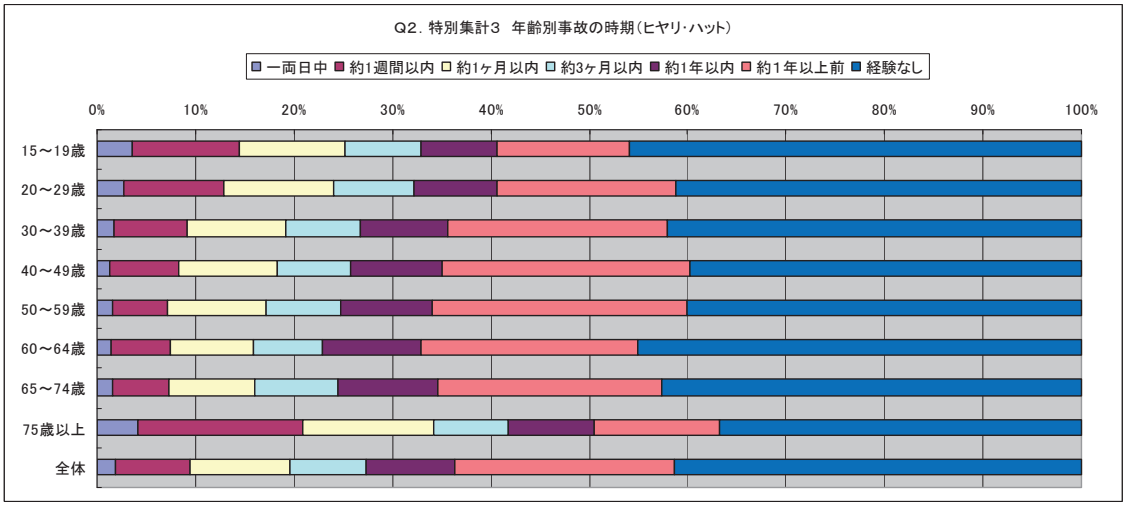




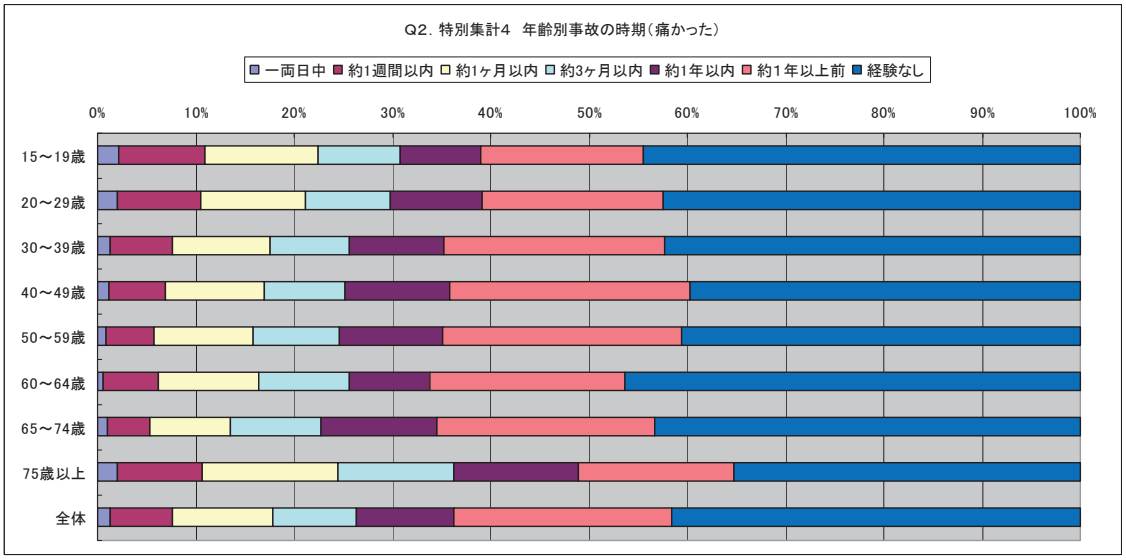
上図および、前ページの「Ｑ２.特別集計１・２」は、事故の程度別に事故の時期を集計したグラフである。「Ｑ２．特別集計１」は、事故の体験なしを含む回答全数を集計したもので、「Ｑ２．特別集計２」は、事故体験があったもののみを抽出して集計したものである。

１ヶ月以内に経験した事故のほとんどは「軽度のケガ」以下であり、その一方で、病院での治療または入院に相当する「中度のケガ」と「重度のケガ」を１ヶ月以内に経験した者も約７００件と回答者全体の約２％存在しているという結果となった。

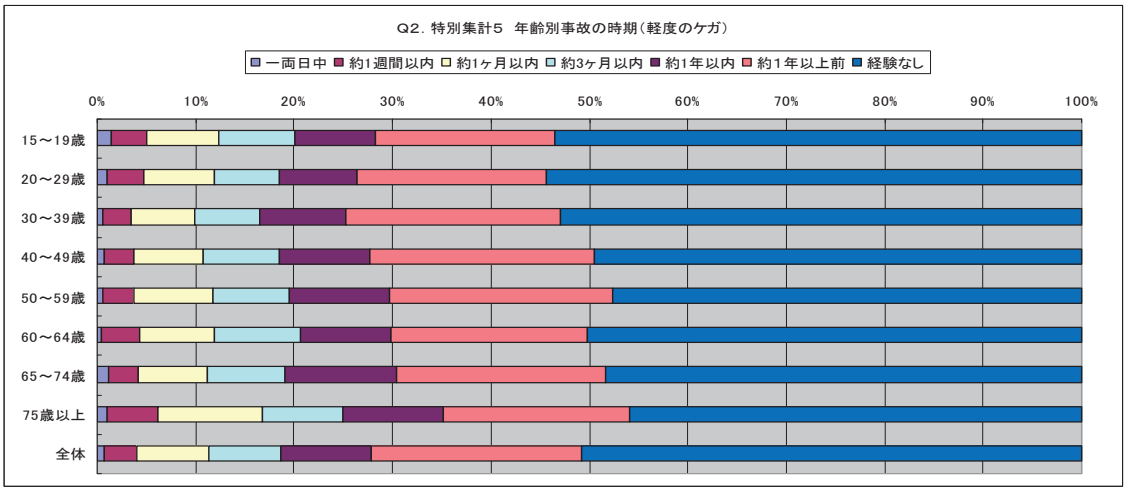
⑥　「事故の程度」毎の年齢層と遭遇時期の関係



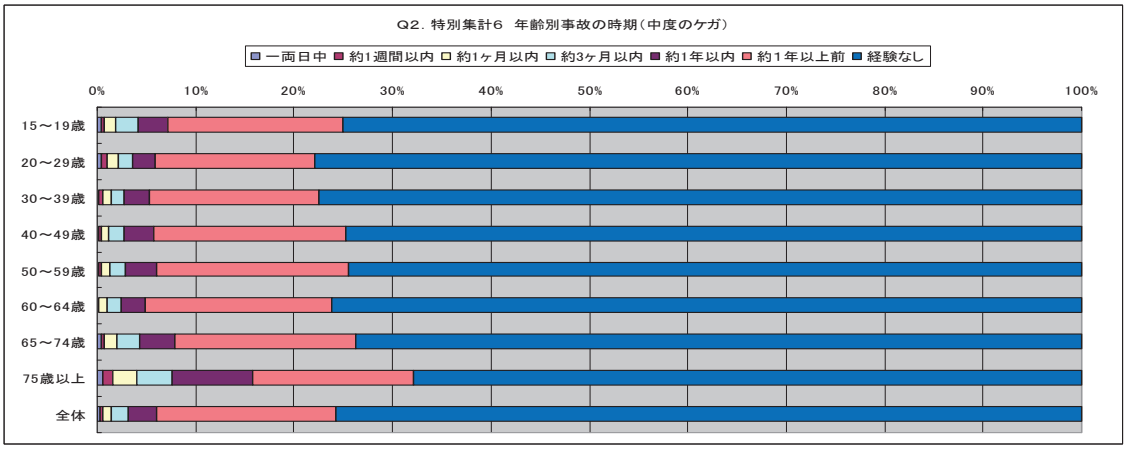
「ヒヤリ・ハット」について年齢別に集計した結果については、若年者と高齢者において「一両日中」「約１週間以内」「約１ヶ月以内」「約３ヶ月以内」の比率が高いのが明らかとなった。また、若年者も「ヒヤリ・ハット」する機会が多いという結果となった。

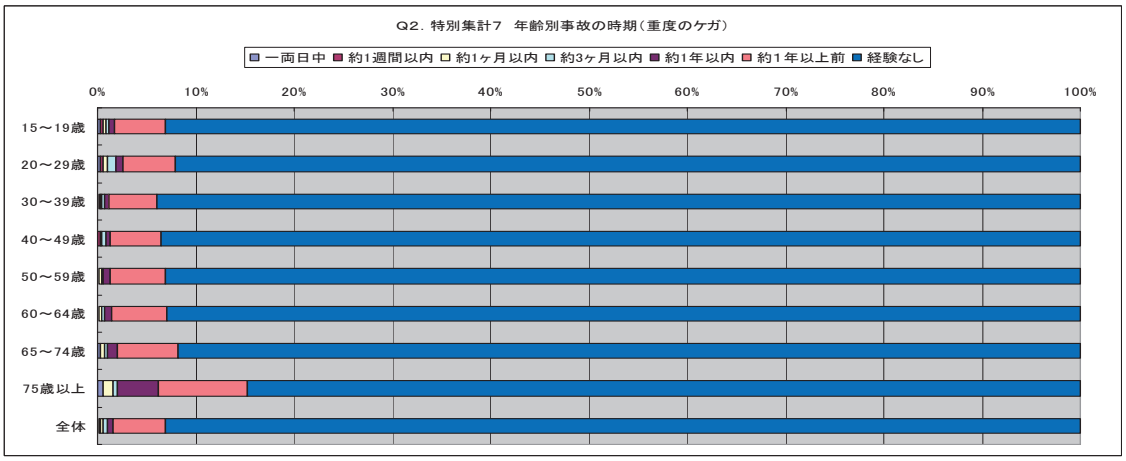


「痛かった」についても、「ヒヤリ・ハット」と同じ傾向がみられた。若年者も「痛かった」経験をする機会が多いという結果となった。



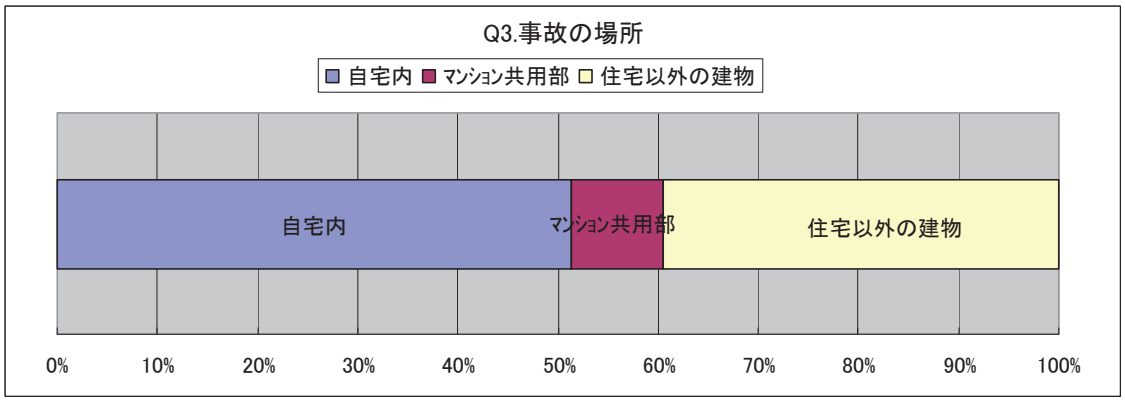
「軽度のケガ」について年齢別に集計したものついても、やはり若年者と高齢者において「一両日中」「約１週間以内」「約 1 ヶ月以内」の比率が高いが、全体に占める割合（経験したことがある率）は低い結果となった。





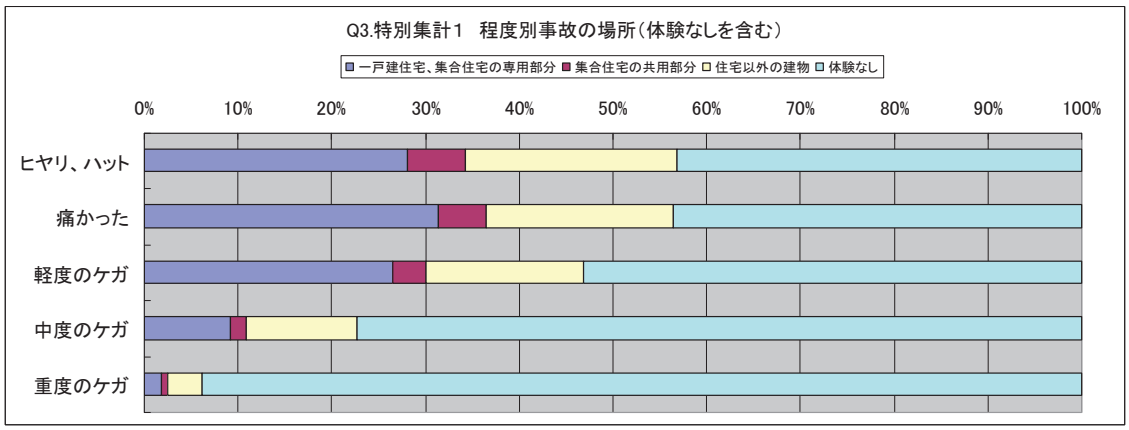
「中度のケガ」「重度のケガ」について年齢別に集計したものでは、全体に占める割合（経験したことがある率）は低いが、やはり時期にかかわらず若年者と高齢者が事故にあった経験が多いという結果が見られた。

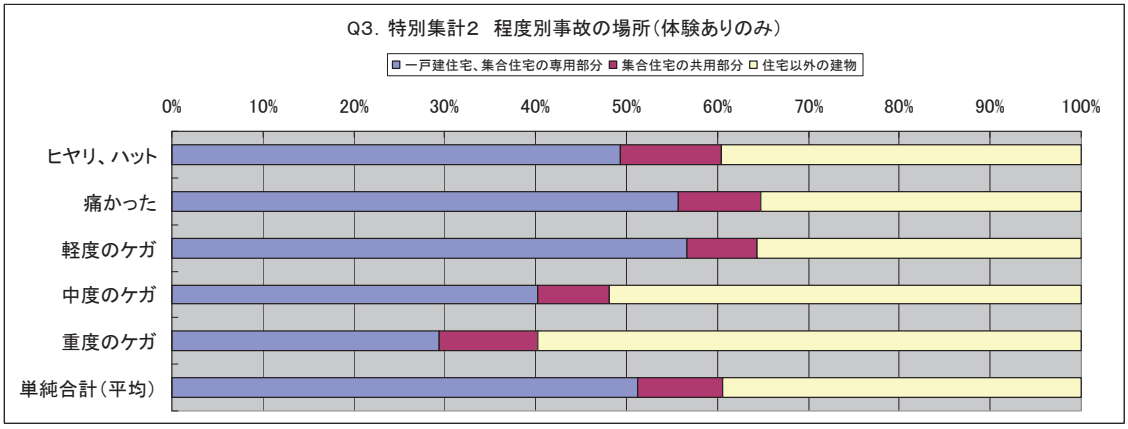
⑦　事故の場所に関する集計及び考察



いずれかの程度において事故の経験ありと回答した者（回答者全体の約７～８割）を対象に、もっとも最近事故にあった場所を集計したもの。事故の程度別の発生頻度の問題

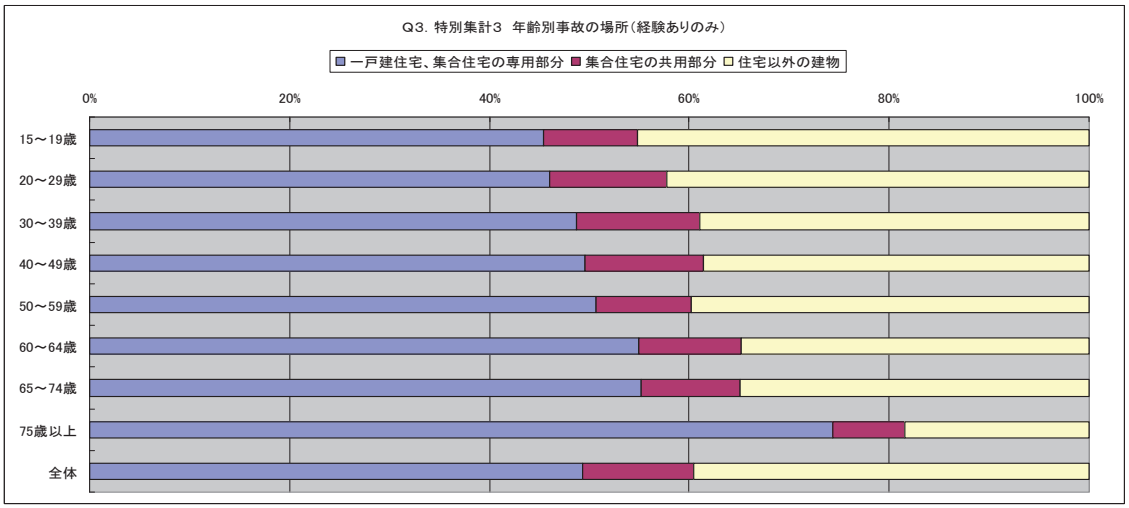
があるが、おおまかな傾向としては日常事故の半分あまりが自宅内部で発生している。

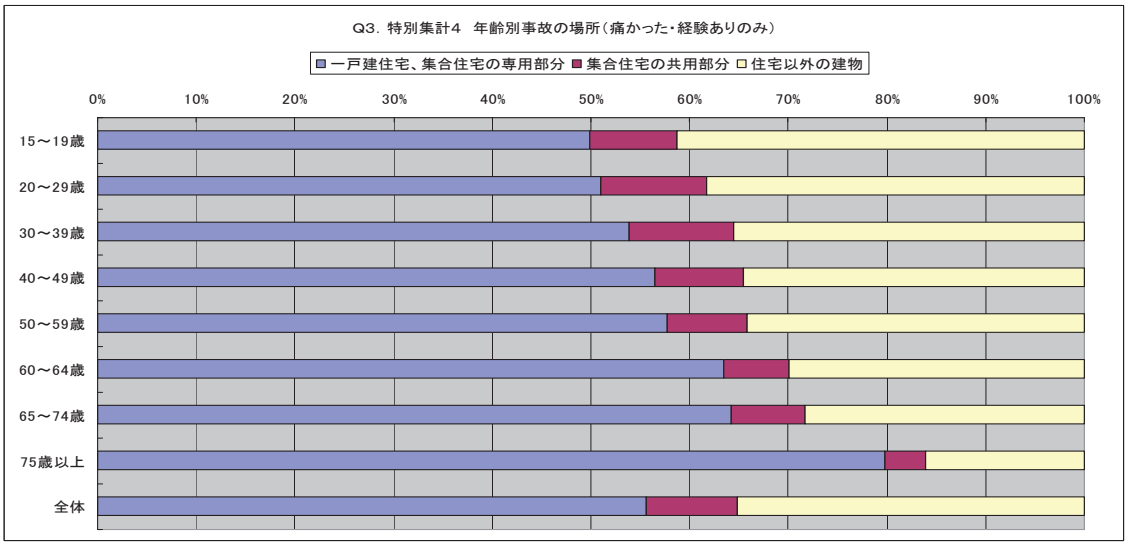


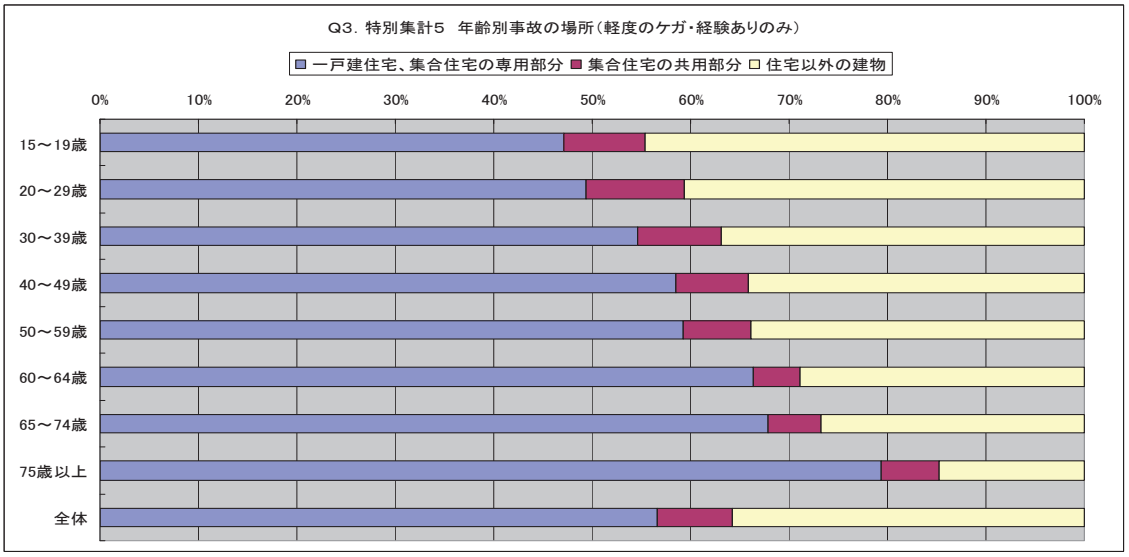


事故の程度別に事故の場所を集計した。「Ｑ３．特別集計１」は、事故の体験なしを含む回答全数を集計したもので、「Ｑ３．特別集計２」は、事故体験があったもののみを抽出して集計したものである。

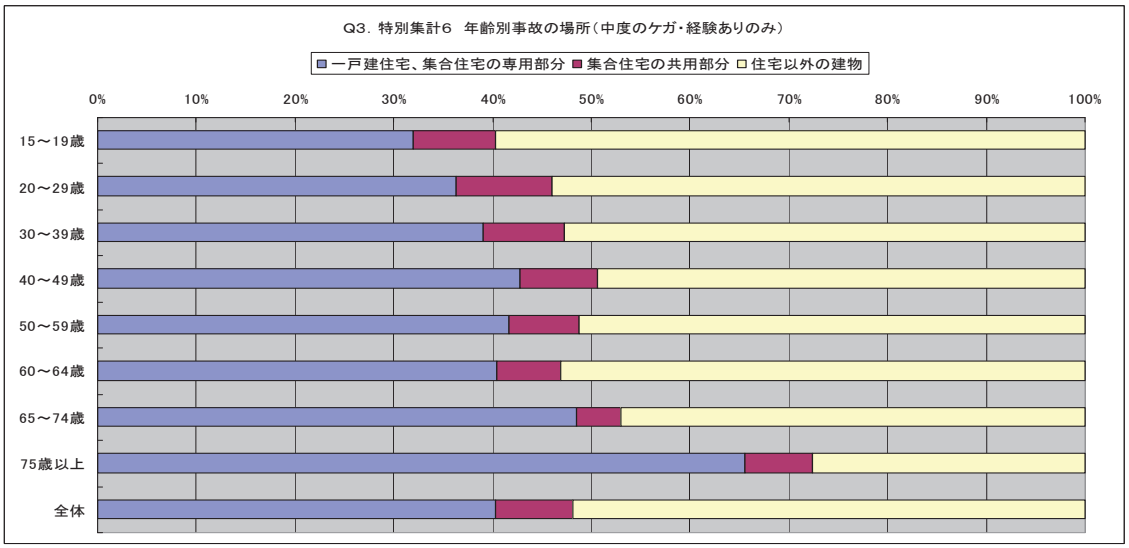
「ヒヤリ・ハット」「痛かった」「軽度のケガ」は自宅内部が比較的多いが、ケガの程度が重くなるほど自宅以外の建物で発生した比率が高くなるという結果となった。

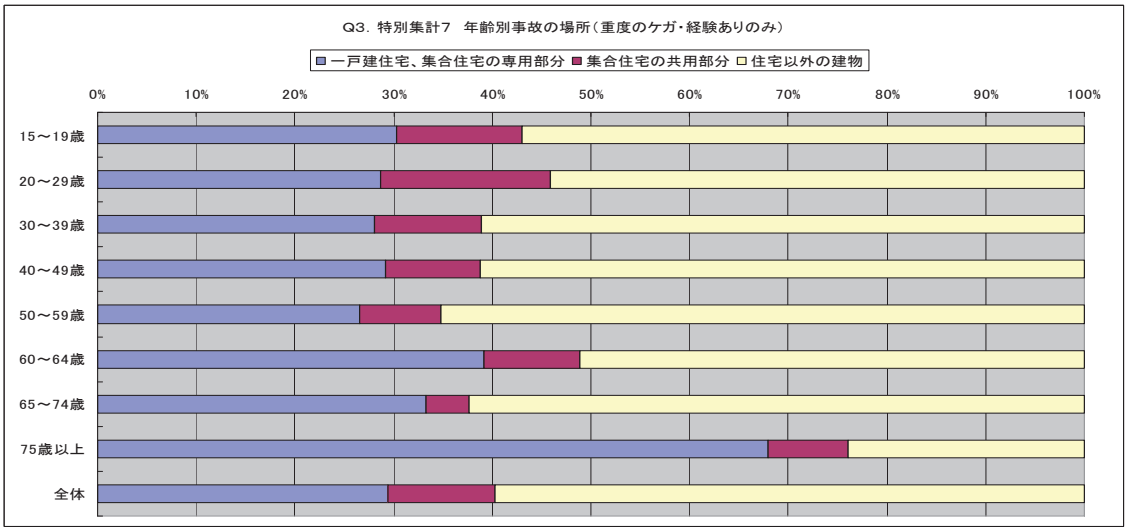

Q3. 特別集計3　年齢別事故の場所（経験ありのみ）
一戸建住宅、集合住宅の専用部分
集合住宅の共用部分
住宅以外の建物
0%
20%
40%
60%
80%
100%
15～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65～74歳
75歳以上
全体


Q3. 特別集計4　年齢別事故の場所（痛かった・経験ありのみ）
一戸建住宅、集合住宅の専用部分
集合住宅の共用部分
住宅以外の建物
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
15～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65～74歳
75歳以上
全体


Q3. 特別集計5　年齢別事故の場所（軽度のケガ・経験ありのみ）
一戸建住宅、集合住宅の専用部分
集合住宅の共用部分
住宅以外の建物
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
15～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65～74歳
75歳以上
全体

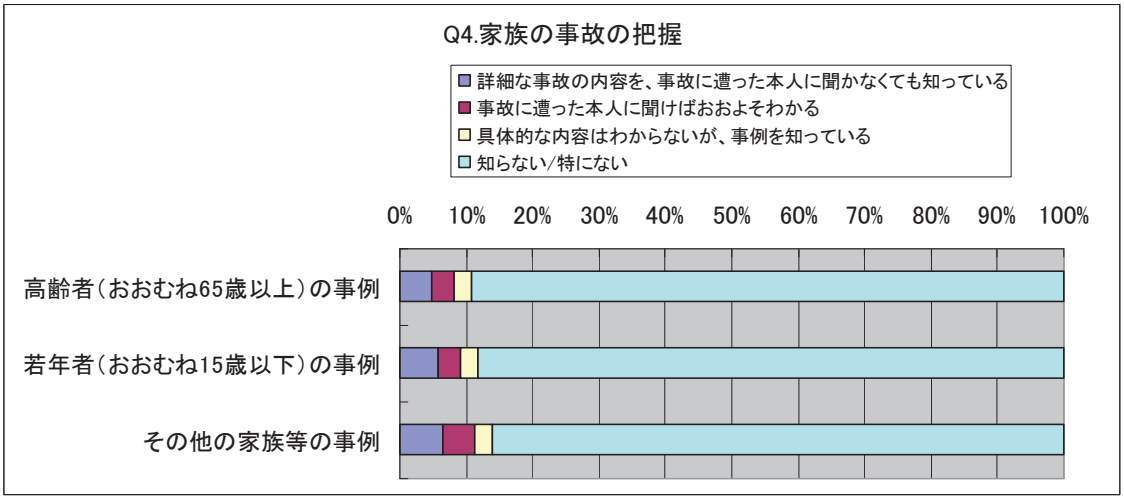
これら３つのグラフは、「ヒヤリ・ハット」「痛かった」「軽いケガ」について年齢別に集計したものである。高齢になるほど自宅内部での事故が増える傾向となった。





上記２つは、それぞれ「中度のケガ」「重度のケガ」について年齢別に集計したグラフである。高齢者ほど自宅内部での事故が多いが、全体的には外部で事故に遭うケースが過半数以上を占めている。

⑧　家族が遭遇した事故の把握について



同居家族の事故事例を把握している者は少数であった。ただし、回答者には未婚者が全体の 1/3、既婚者でも、子供がいない回答者が 1/2、相当数の単身者も含まれると見込まれるため、本結果をもって、同居家族の事故を知らないと一般的には言えない。

2.2.3 「建物内の日常事故遭遇」本調査Ａ結果

本調査Ａ：日常事故を経験した本人に内容等を尋ねて事故の特徴を把握する調査

① 調査概要

□ 調査日程 平成 18 年 11 月 10 日～17 日

□ 調査の流れ

○発信数 約 2100 件 （回収数が下記 1000 件となるように補充しつつ発信）

予備調査において、自宅以外で最近（3 ヶ月以内）に事故の経験があると回答した者を本調査の回答者対象とした（それ以外のフィルタリングはかけていない）。

○回収数 1000 件

基本的に性別・年齢が 16 歳以上の日本人人口全体と相似になるよう予備調査結果から選択。ただし、高齢者（特に 70 代以上）はサンプル数が少ないため、もともとの 40 代～60 代の回答者を確保した上で、適宜 60 代、50 代、40 代から 70 代以上の回答者の割合分について補充している。詳細は回答者属性参照のこと。

○質問内容

最も最近の事故 1 つについて質問（Q26 以外）

Ｑ１．事故の種類

Ｑ２．事故の程度

Ｑ３．事故の時期

Ｑ４．事故の時間帯

Ｑ５．事故場所の日常性

Ｑ６．事故発生時の日常性

Ｑ７．Ｑ６の非日常性の内容

Ｑ８．事故の起きた建物の種類

Ｑ９．事故の起きた建物内の場所

Q10. ～Q17. 事故の起きた状況（建物内の場所別）

Q18. 事故の起きたときの持ち物等

Q19. 事故の起きたときの体の調子

Q20. 他の人の影響

Q21. 事故の状況や原因（記述による補足）

Q22. 事故の責任

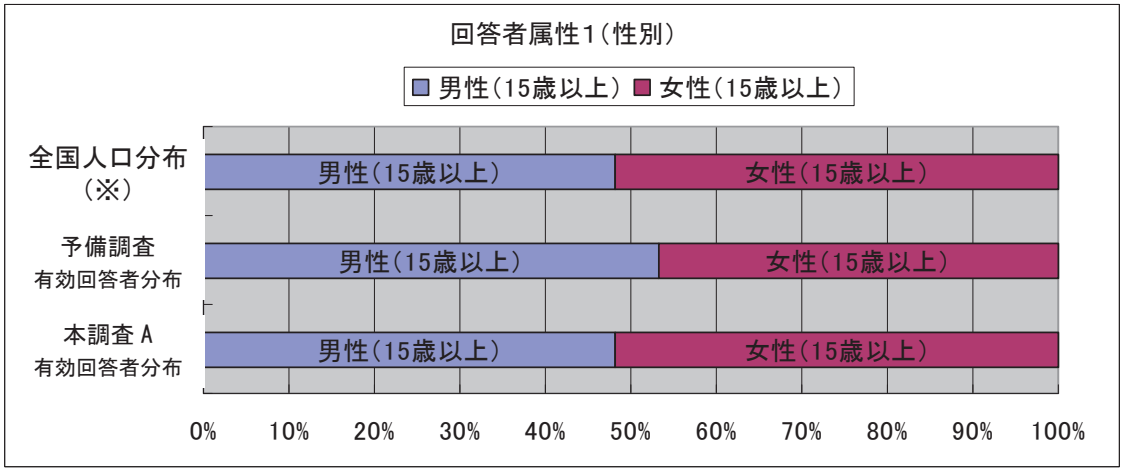
Q23. 建物関係者の事故把握

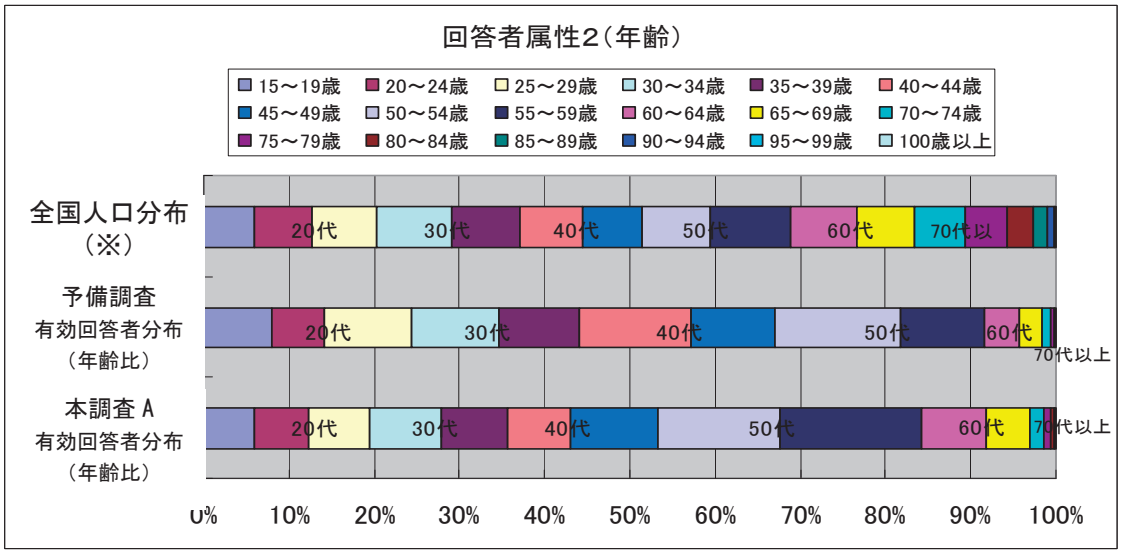
Q24. 事故後の改善

Q25．改善の内容

Q26．建物内の危ないと感じる場所

② 回答者属性について





（※）平成 17 年度　国勢調査による

グラフ上「回答者属性１（性別）」に示すように、男女比については全国人口分布と同じになるように回答者の割り付けを行った。

また、グラフ下「回答者属性（年齢）」に示すように、年齢（世代）についても、なるべく全国人口分布と相似となるよう回答を求めたが、インターネット調査という特性上、60 歳以上、特に 70 歳以上の登録者は少ない。そのため、登録している高齢者で最近の事故経験のある者を年代の上から 70 歳以上の枠に割り付けた結果、50 代が多い分布となっている。

なお、その他の属性データとして、「居住地域（都道府県）」、「職業」、「未婚／既婚」、「子供の有無」があるが、集計結果については割愛する。

③　本調査Ａの結果の全体集計及び考察

【全体的な留意事項】

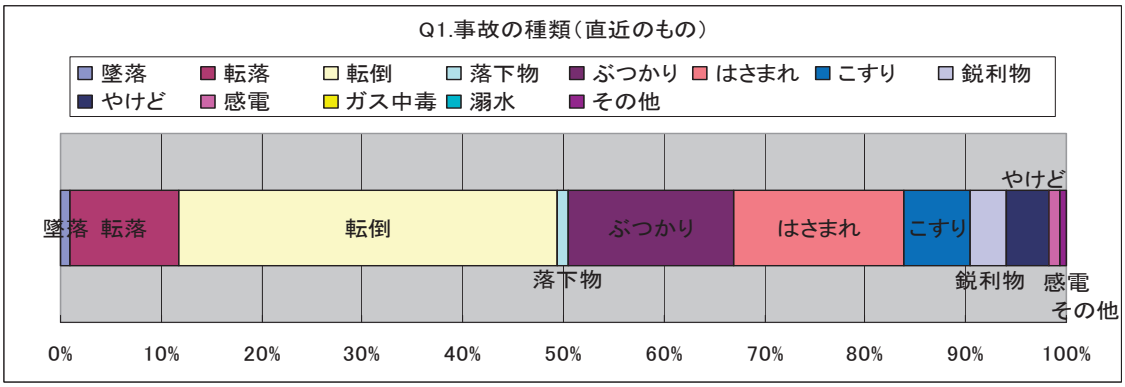
ｉ）予備調査と本調査の尋ね方の相違点

・予備調査では事故の程度（ヒヤリ・ハット、痛かった、軽度のケガ、中度のケガ、重度のケガの５区分）ごとに種類・時期・場所を尋ねている。すなわち一人が５件について回答しているが、本調査では直近の事故１つを尋ねた。

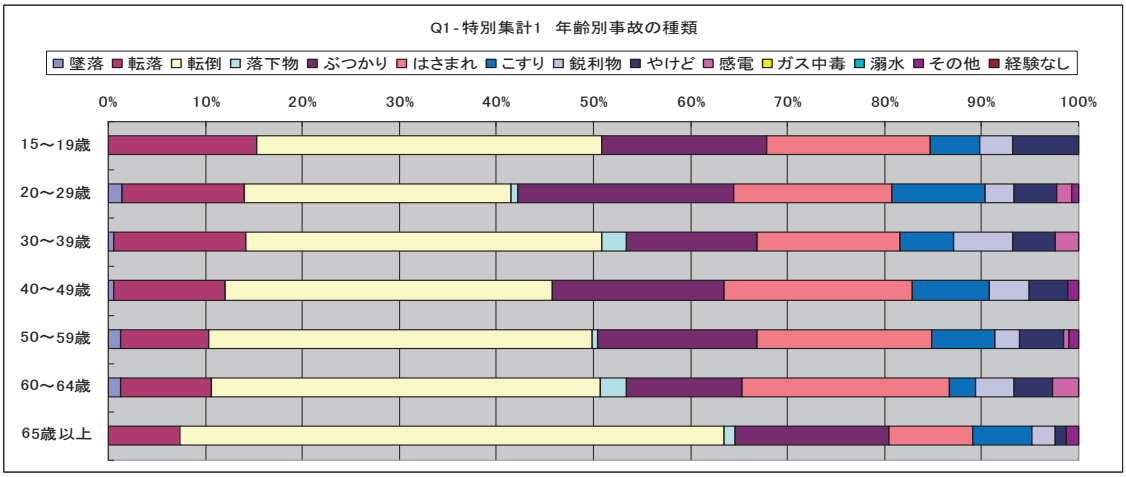
ⅱ）昨年度行った本調査との相違点

・昨年度はもっとも重い事故１つについて尋ねたが、今回は直近の事故について尋ねた。

・昨年度は事故の種類を「転落」「転倒」「はさまれ」「ぶつかり」までの例示としていたが、今回は人口動態の分類等を参考に「やけど」「感電」なども含めて幅広に尋ねた。また、昨年度は「転落した」「転落しそうになった」の選択肢を示したが、今回は「転落事故」として両者を含めた。

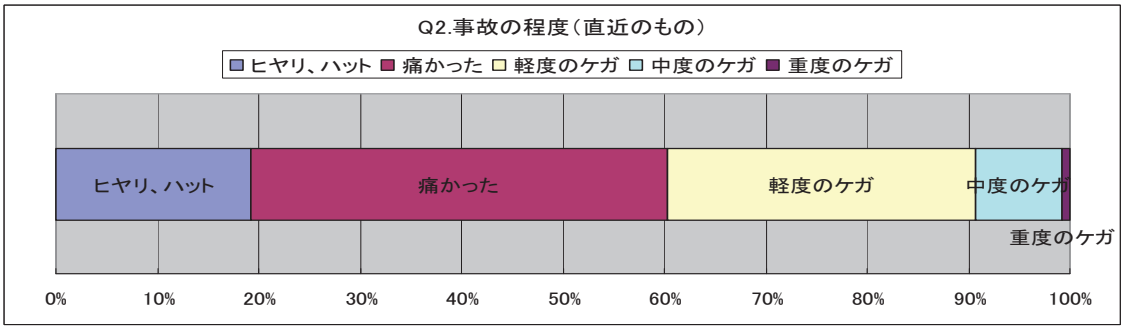


直近の事故について事故の種類を集計したグラフである。「転倒」が 38%、「はさまれ」「ぶつかり」が各々17%を占める。比較的軽微な事故が多いと思われる。



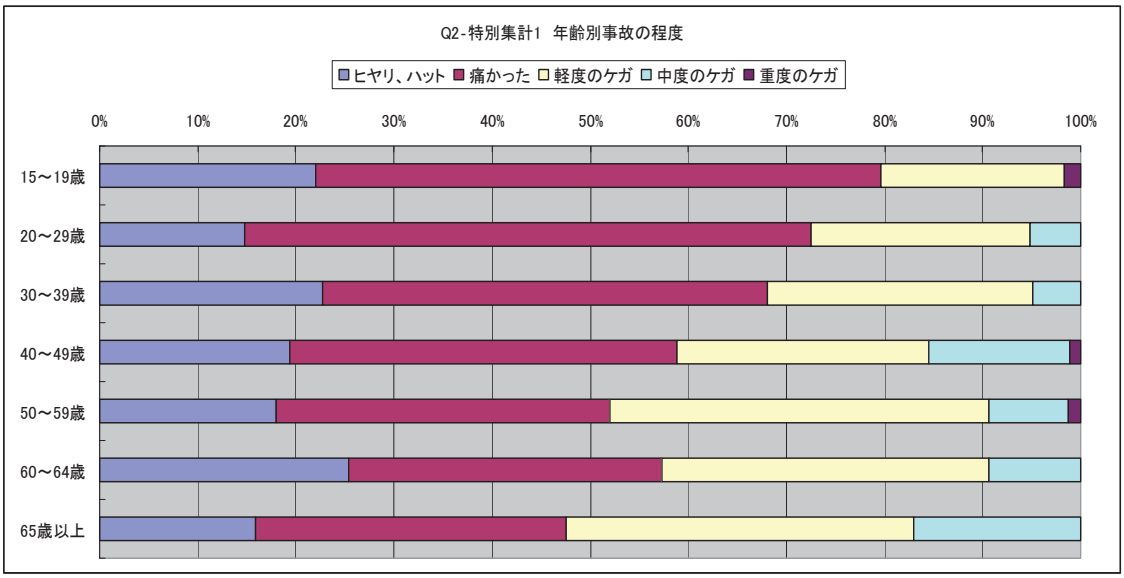
上図は、事故の種類を年齢別に集計したグラフである。65 歳以上の高齢者では「転倒」が非常に多く、「はさまれ」が少ない。年齢が低くなるほど「転落」「ぶつかり」が増える傾向がある。

④　「事故の程度」に関する集計及び考察



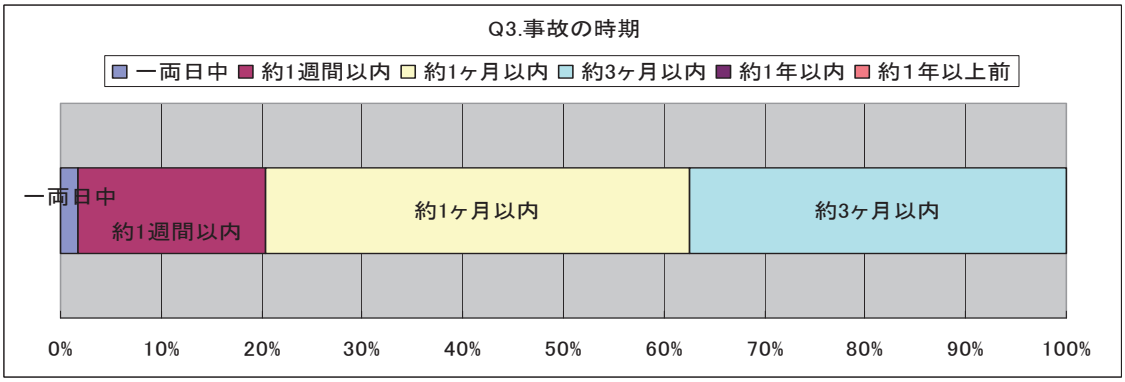
これは、直近の事故について程度を集計したグラフである。「軽度のケガ」以下が９割、「中度のケガ」以上が約１割という結果となった。病院や消防などで把握される日常事故の陰には、その数十倍の多い事故・未然事故があると思われる。

「ヒヤリ・ハット」が「痛かった」より少ないのは、事故の種類を明確に定義して示したために、実際に起きた事例に回答者の意識が傾いたためと思われる。



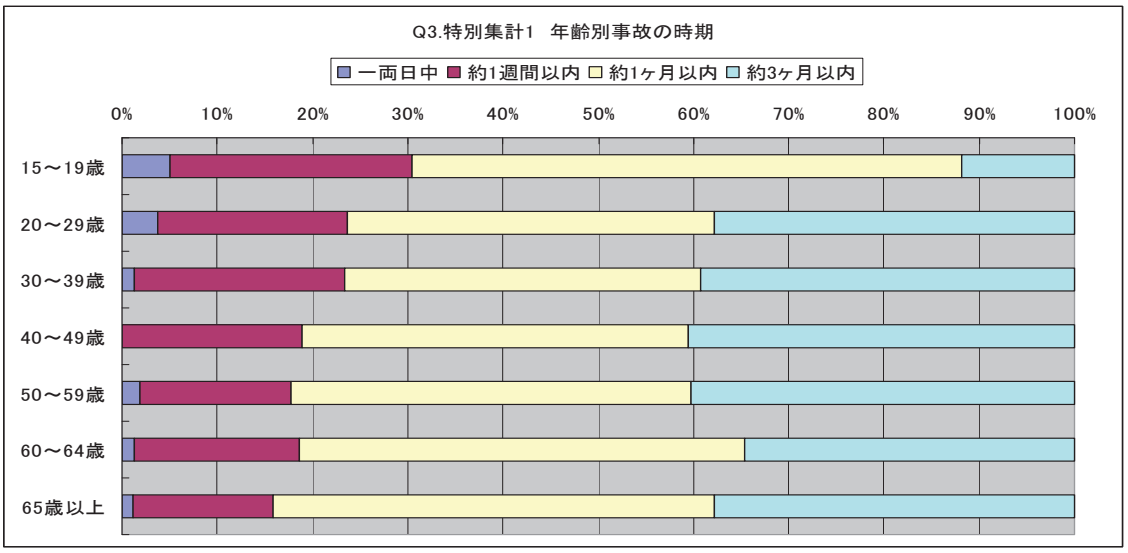
これは、事故の種類を年齢別に集計したグラフである。年齢別にみると高齢者ほど「軽度のケガ」「中度のケガ」「重度のケガ」に至りやすいことが顕著にあらわれている。

⑤　事故に遭遇した時期・時間帯等に関する集計

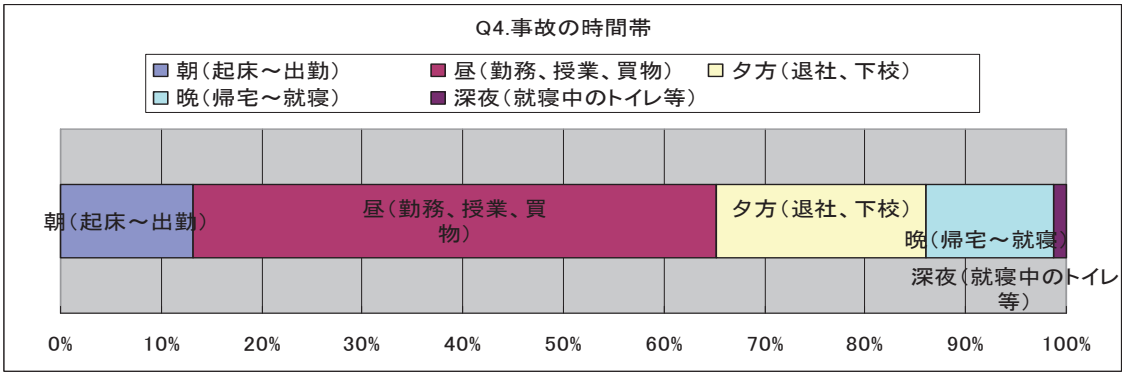


上図は、直近の事故について遭遇した時期集計したグラフである。本調査では３ヶ月以内に事故の経験がある者のみ質問したため、「約１年以内」と「約１年以上前」は現れていない。一方、具体的内容まで尋ねているので曖昧な回答は捨象されていると考えられる。

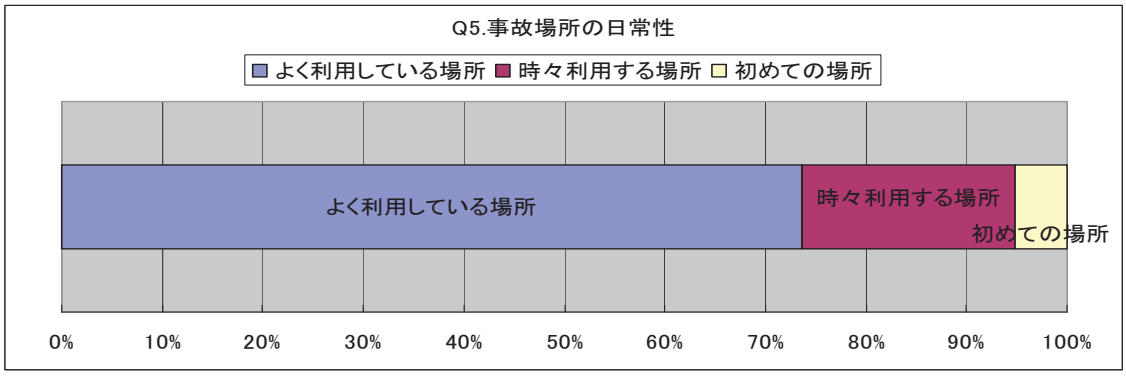
「一両日中」が約２％、「約１週間以内」が約 19％、「約１ヶ月以内」が約 42％と期間の長さの割合に近い。「約３ヶ月以内」が約３８％であるのは、記憶が薄れているか、より最近に日常事故にあったのかであると思われる。全般的には事故にあっていない者の存在などを考えても２人に１人は１ヶ月に１度くらい日常事故に遭っている若しくは遭いそうになっていると考えられる。



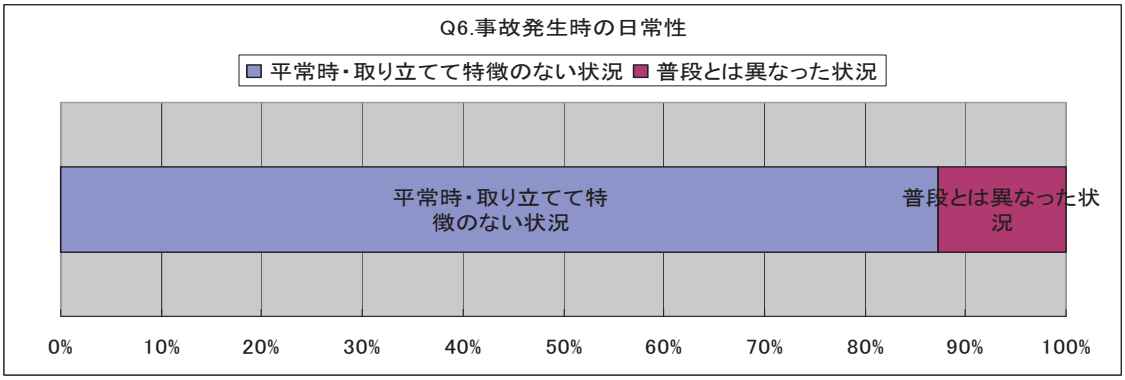
これは、事故の時期を年齢別に集計したグラフである。若年者（15～19 歳）の方が頻繁に日常事故に遭っていると見られる。Ｑ２における、ケガに遭いやすいのは高齢者という傾向とは逆の結果となった。



これは、事故の時間帯を集計したグラフであるが、この結果からは特段の傾向は見られなかった。自宅内を除いているので深夜が少ないのは当然であろう。

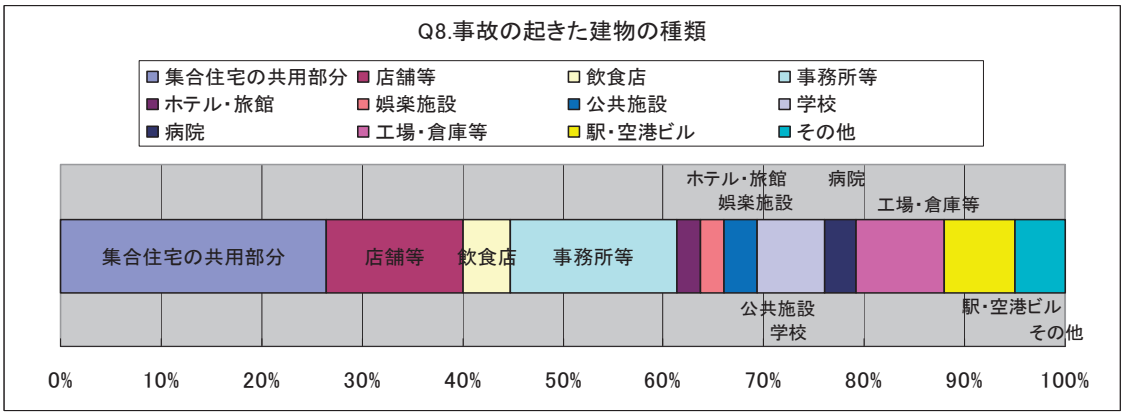


これは、事故に遭遇した場所の日常性集計したグラフである。各々の場所にどの程度の時間滞在しているかは不明であるが、慣れている場所でも事故は結構起こると考えられる。

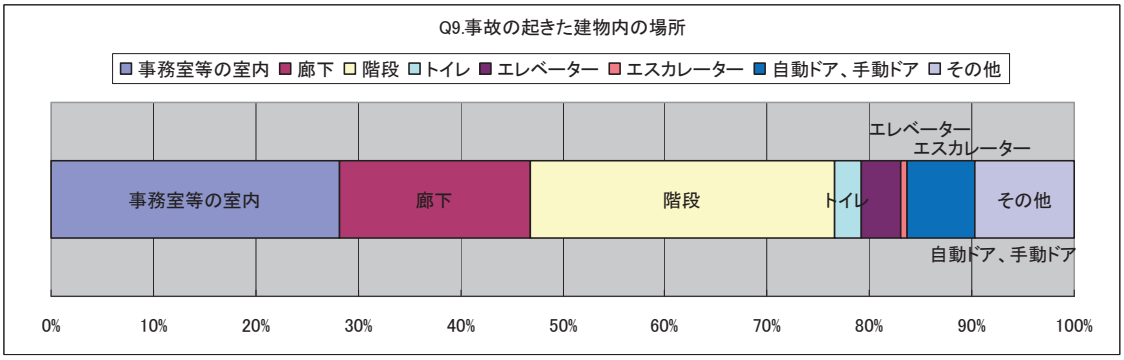


事故に遭った状況の日常性を集計したグラフである。「平常時」が約９割となっており、普段とは異なった状況の内容をＱ７で具体的に尋ねたが、「急いでいた」、「床が濡れていた」、などが多かった。

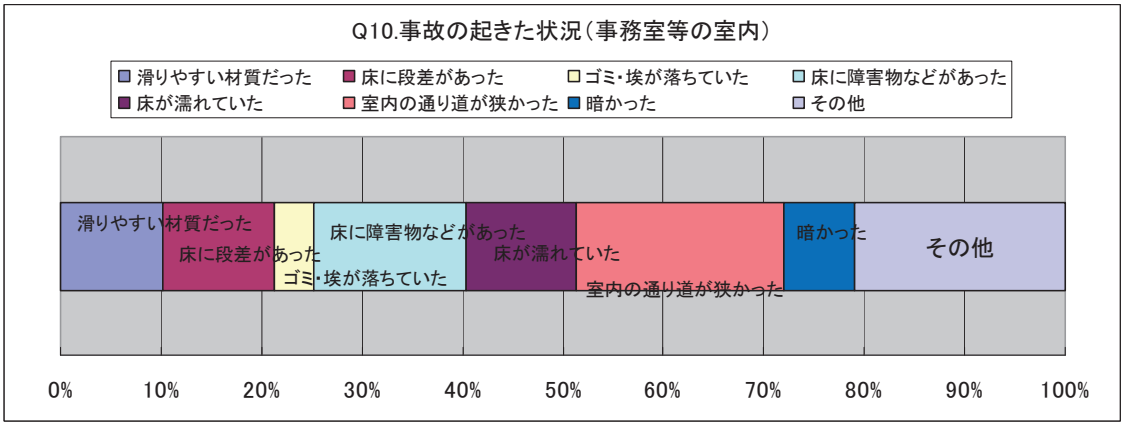
⑥　事故の起きた建物の種類、場所、場所毎の事故の起きた状況等についての集計



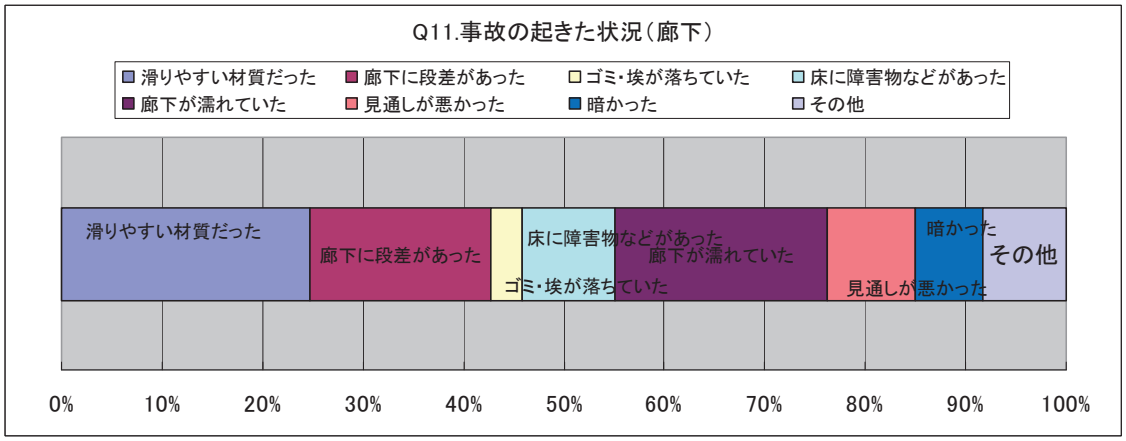
事故に遭った建物の種類集計したグラフである。自宅以外のうち集合住宅の共用部分が約２割となっており、予備調査と比べてほぼ同様の結果となった。非住宅の建物では事務所と店舗が多い。



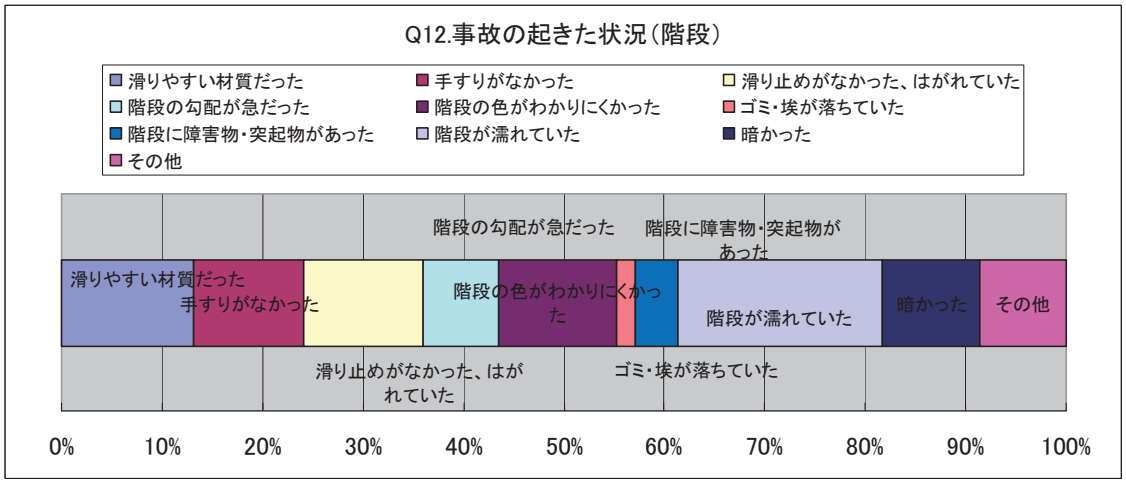
事故に遭った建物内の場所を集計したグラフである。事故の起きた建物内の場所は室内、階段、廊下が７割以上であり、エレベーター、エスカレーターでの事故事例は少なかった。



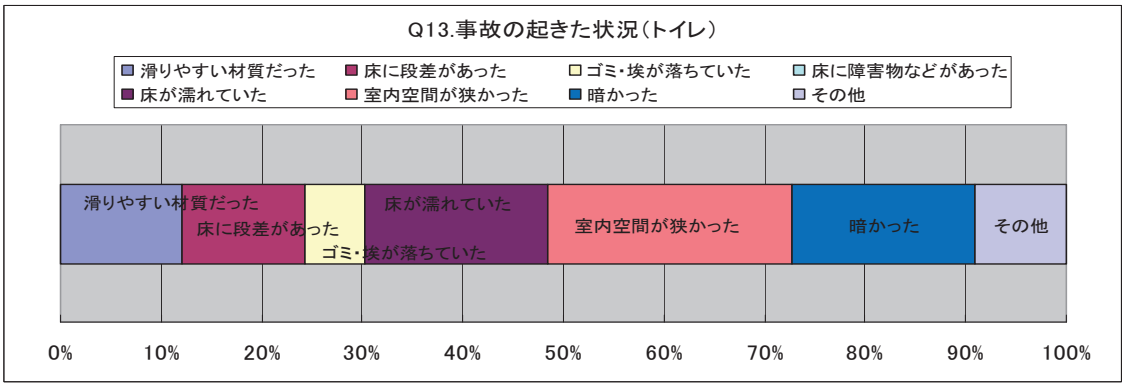
「事務室等の室内」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したグラフである。「通路幅」、「障害物」、「床濡れ」などの要因が大きい。特に、後者２つは管理面の問題につながる要因であるといえる。



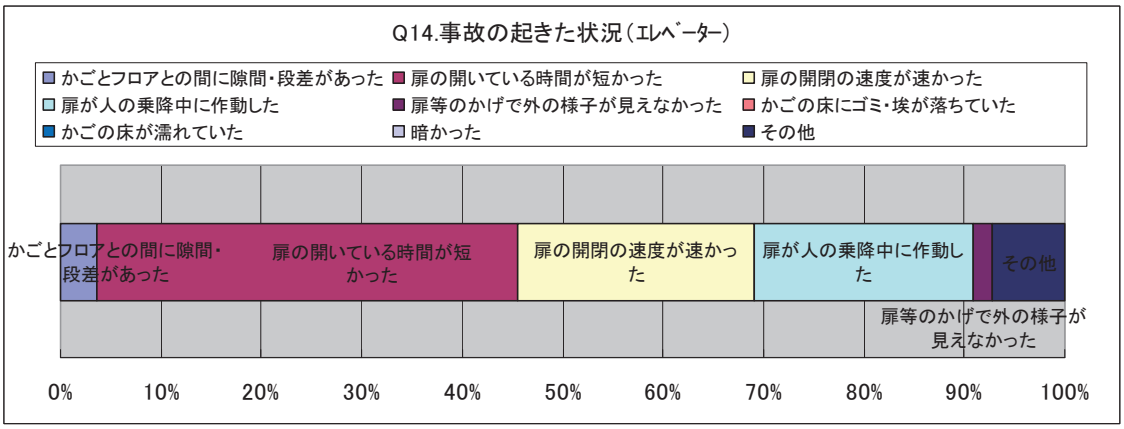
このグラフは、「廊下」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したものである。「濡れていた」、「滑りやすかった」が多い結果となった。廊下での事故は材質、段差など設計面の要因も大きいといえる。



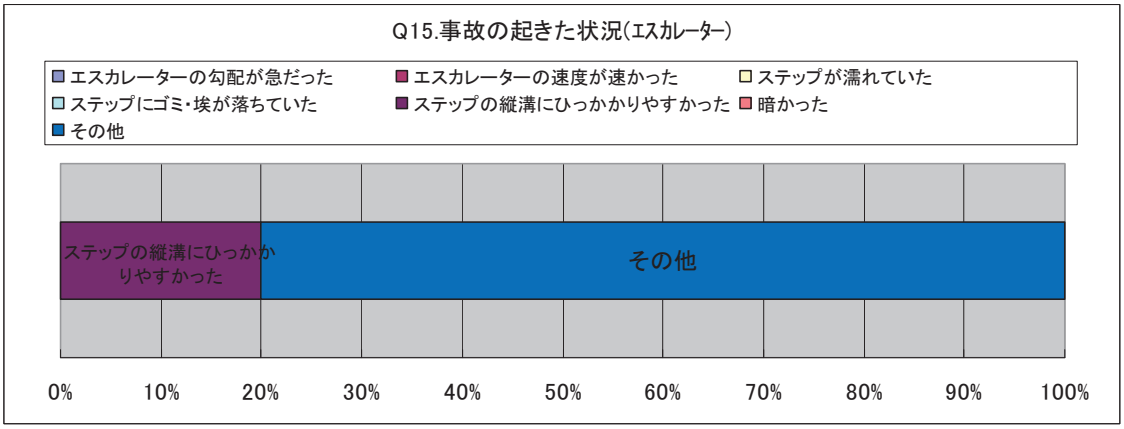
このグラフは、「階段」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したものである。「濡れていた」をはじめ滑りに関しての回答が多い。「手すり」、「滑り止め」、「勾配」など階段独特の要因も大きい。



「トイレ」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したグラフが上図である。「狭い」、「暗い」、「濡れている」、が多い結果となった。

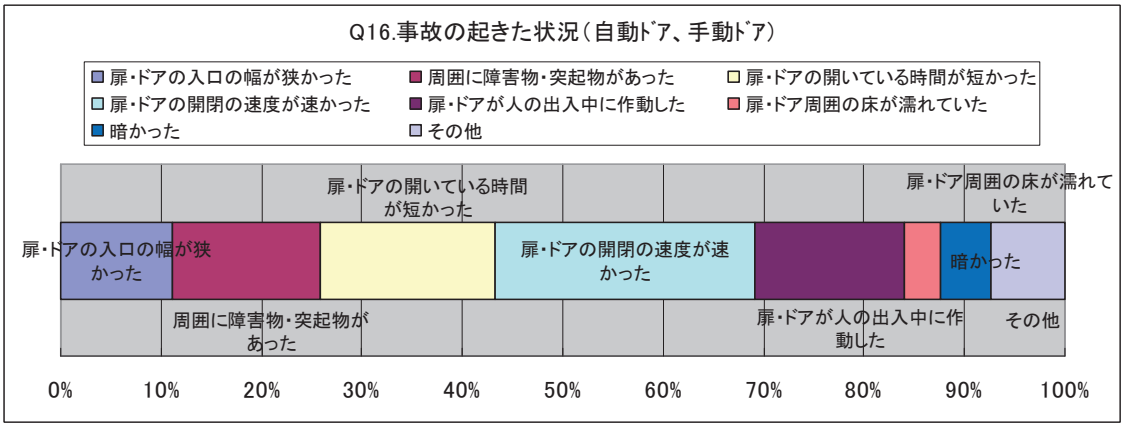


これは、「エレベーター」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したグラフである。「扉の開閉」に際しての事故が多く、「段差」、「死角」という回答は少なかった。



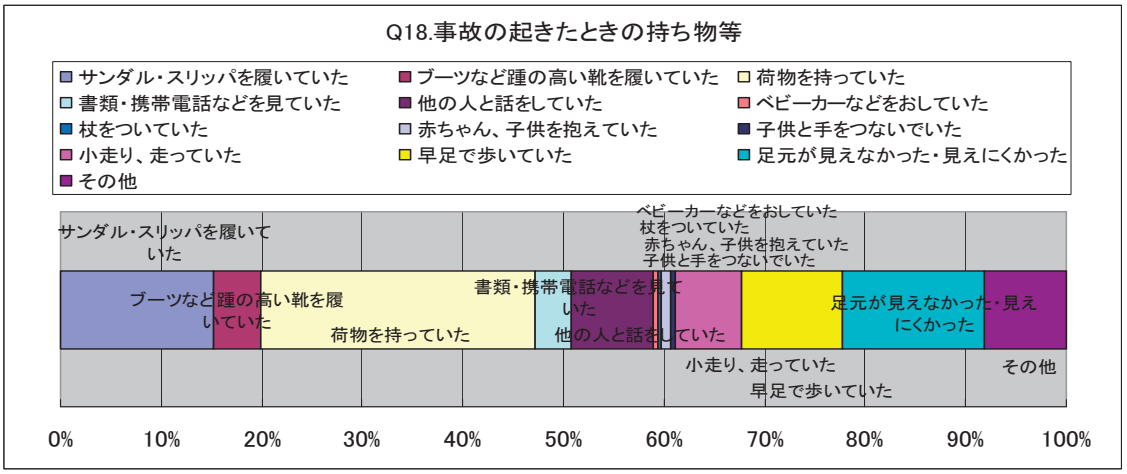
「エスカレーター」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したグラフである。

サンプル数が５件と少なく、特に明確な傾向は判断できない。

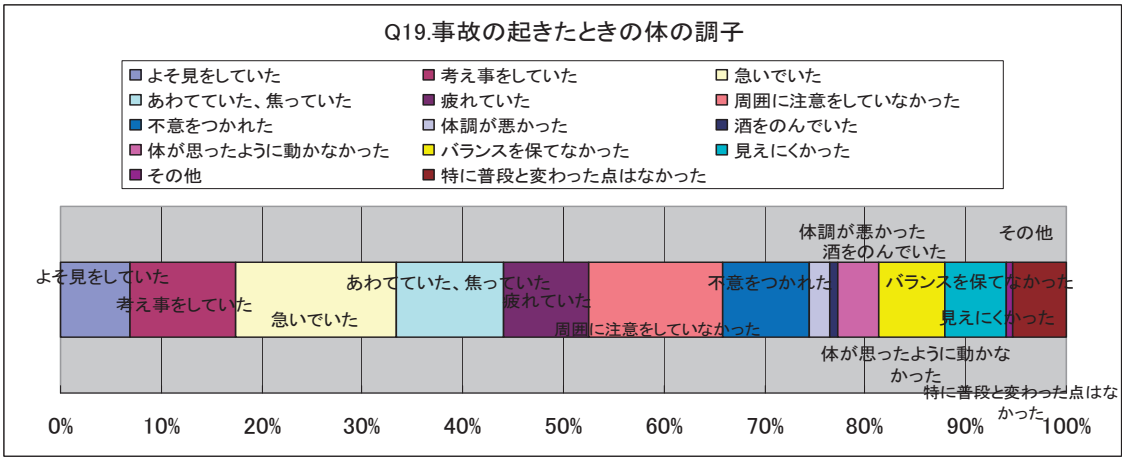


「自動ドア、手動ドア」で起きた事故について、事故に遭った状況を集計したものが上のグラフ。開閉のタイミングに関する要因が大きい。

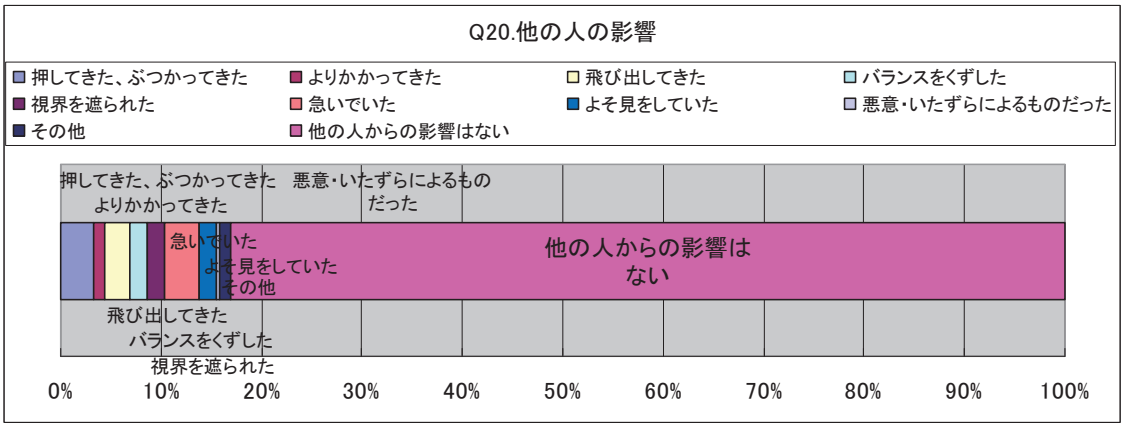
⑦　事故の状況や要因に関する設問の集計結果



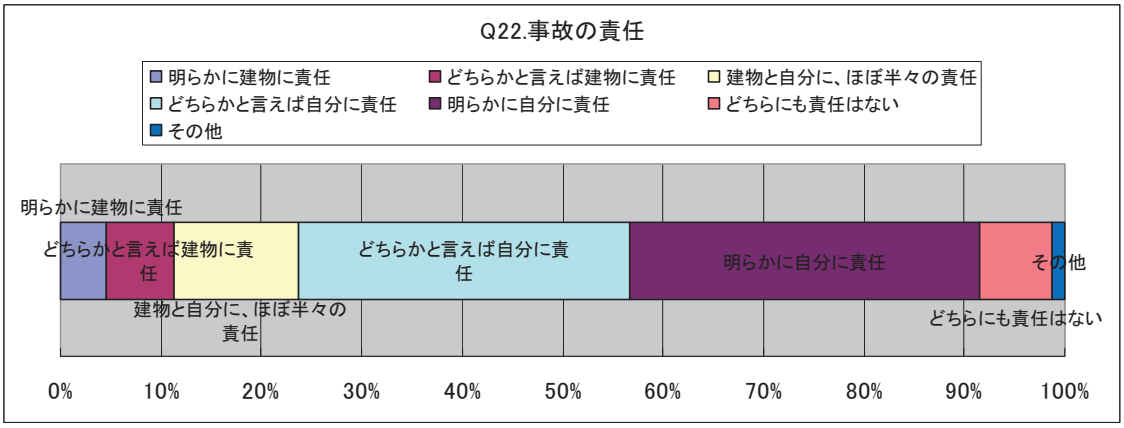
上図は、事故に遭ったときの状態のうち、持ち物や行動など本人以外でも認識・判別できる状態について集計したグラフ。荷物を持っている、履き物の形状、早足で行動している等が主な要因となっていた。



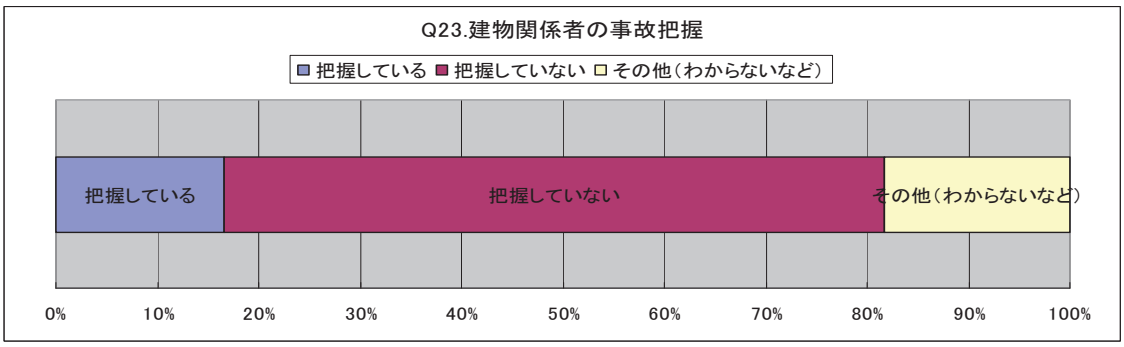
これは、事故に遭ったときの状態のうち、体の調子や気分・気持ちなど本人しか認識・判別しにくい状態について集計したグラフである。「普段と同じ」という回答は少なく、何らかの不具合が存在している状況が多いことが伺える。



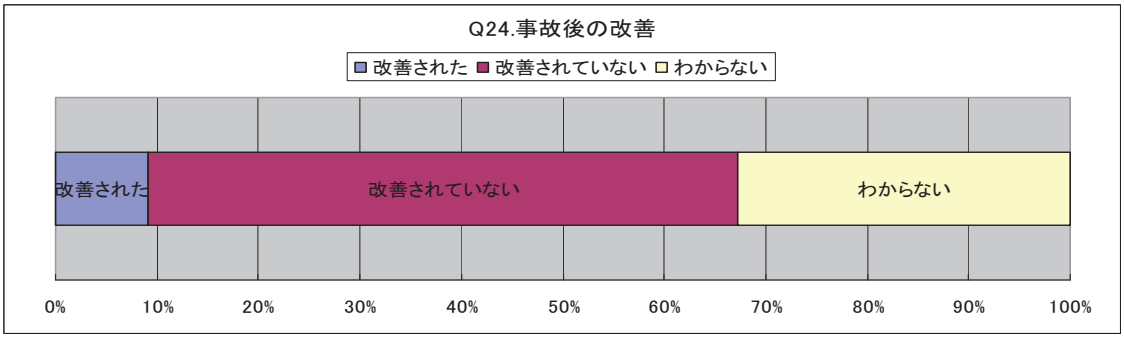
上図は、事故に遭った状況について他の人の影響があったかどうかを集計したグラフである。他の人の影響があるものは2割以下であったが、それらは他の人が「急いでいた」「よそ見をしていた」「飛び出してきた」という状況が多数みられた。



事故の起きた責任について、自分側にあるか建物側にあるかをたずね、集計したグラフが上図である。「自分に責任がある」と判断している者が７割程度であり、自分の不注意で事故が起こったと考える回答者が多かった。なお、「どちらにも責任はない」は第三者の影響によるものも含むと考えられる。



上図は、事故が起きた事実を建物管理者（所有者・管理者）が把握しているか否かを集計したグラフであり、「把握している」は２割弱であった。



これは、事故が起きた後、当該箇所が改善されたか否かを集計したグラフである。「改善された」は１割弱となり、Ｑ２３の建物管理者が把握しているものよりも低くなっている。

これは、日常行かない場所で事故に遭ったり最近事故に遭ったりして再度現地を確認していなことや、自己の不注意で事故が発生したものであり、管理側の方で改善すべきものがないと（回答者が）考えている結果ではないかと思われる。

2.2.4　「建物内の日常事故遭遇」本調査Ｂ結果

本調査Ｂ：本調査Ａで把握が難しい若年者、高齢者の経験を家族に尋ねて事故の特徴を把握する調査

①　調査概要

□ 調査日程　平成 18 年 11 月 20 日～29 日

□ 調査の流れ

○発信数　約 3000 件

対象者は予備調査で「詳細な事故の内容を、事故に遭った本人に聞かなくても知っている」と回答した約 3000 人に、自宅以外の事故であるか否か、予定の質問に答えられる程度まで知っているか否かを確認した上で最終発信。

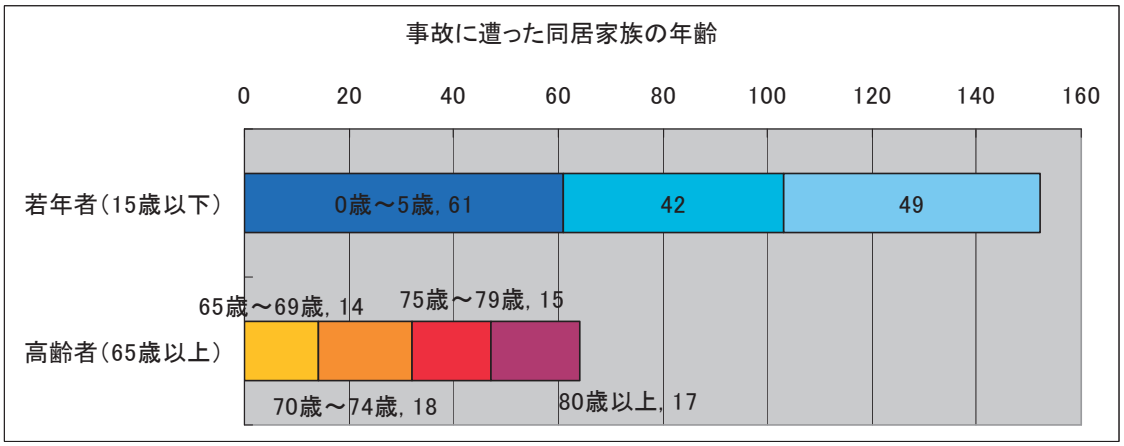
○回収数　若年者の事故事例　152 件
　　高齢者の事故事例　 64 件

○質問内容

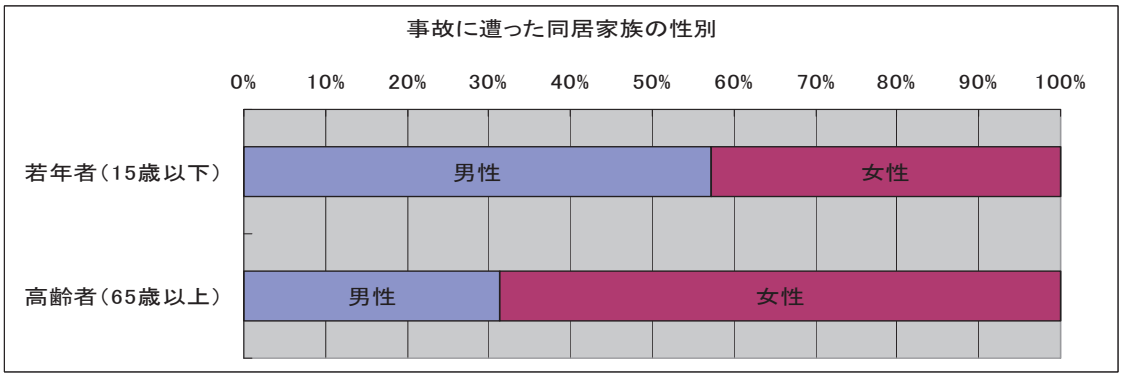
最も最近の事故 1 つについて質問（Q20 以外）

Ｑ１．事故に遭った家族の特定（若年者又は高齢者）
Ｑ２．若年者の年齢
Ｑ３．高齢者の年齢
Ｑ４．事故にあった家族の性別
Ｑ５．事故の種類
Ｑ６．事故の程度
Ｑ７．事故の時期
Ｑ８．事故の時間帯
Ｑ９．事故場所の日常性
Q10．事故発生時の日常性
Q11．Q10 の非日常性の内容
Q13．事故の起きた建物の種類
Q14．事故の起きた建物内の場所
Q15．事故の状況や原因（記述式）
Q16．事故の責任
Q17．建物関係者の事故把握
Q18．事故後の改善
Q19．改善の内容
Q20．建物内の危ないと感じる場所

② 事故に遭った人物の属性について

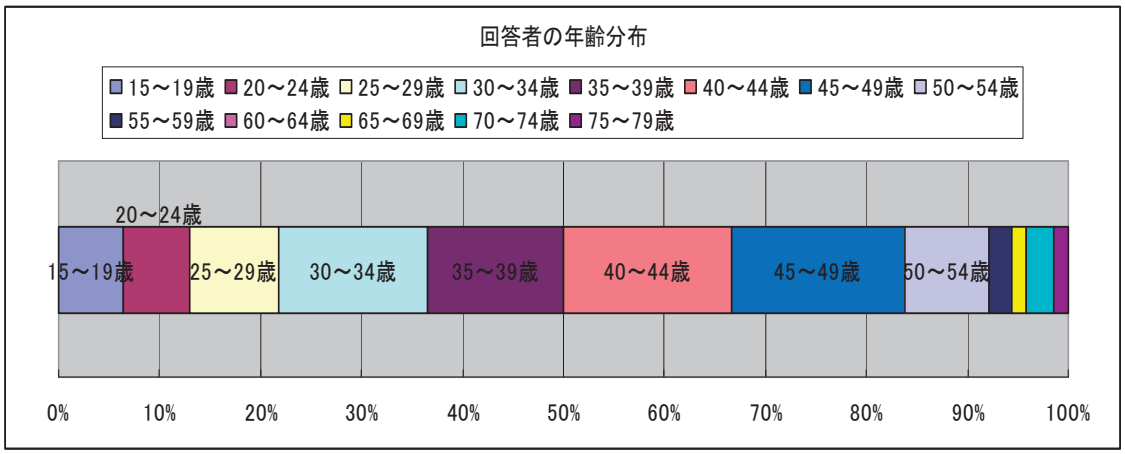


若年者（１５歳以下）１５２件、高齢者（６５歳以上）６４件の事故に遭った者の回答が集まった。



日本人全体では若年者の男性比率は５１％、高齢者の男性比率は３２％となった。ただし、これをもって高齢女性が事故に遭いやすいとまでは言えない。

<<参考：回答者の年齢分布>>

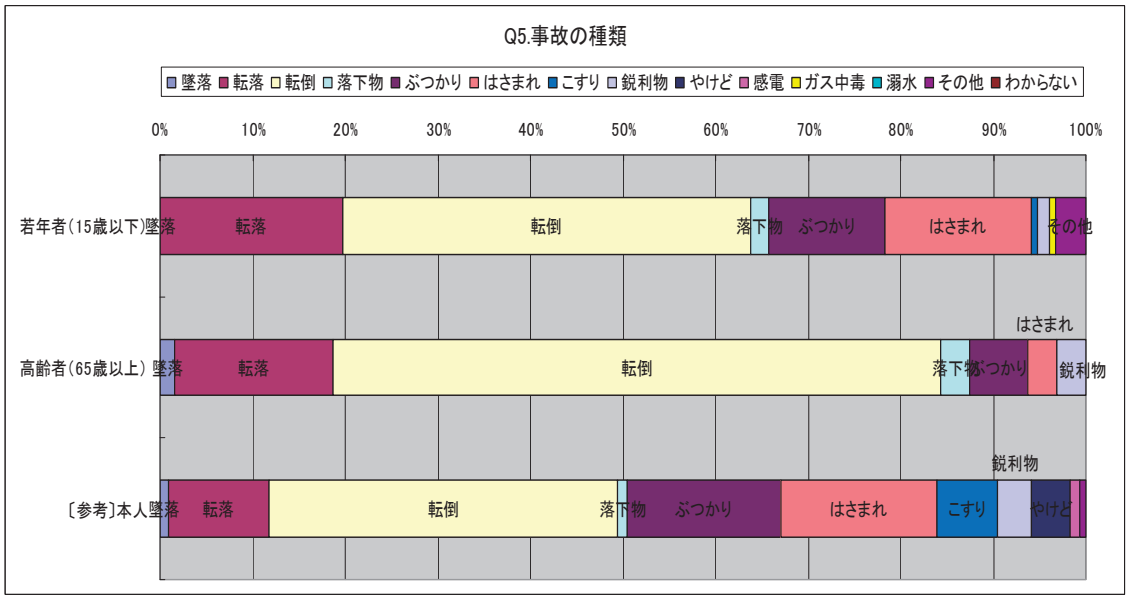


30 代、40 代の回答者が最も多く、子供の親、老親の子供が回答したケースが多いと思われる。

③　本調査Ｂの結果の全体集計及び考察

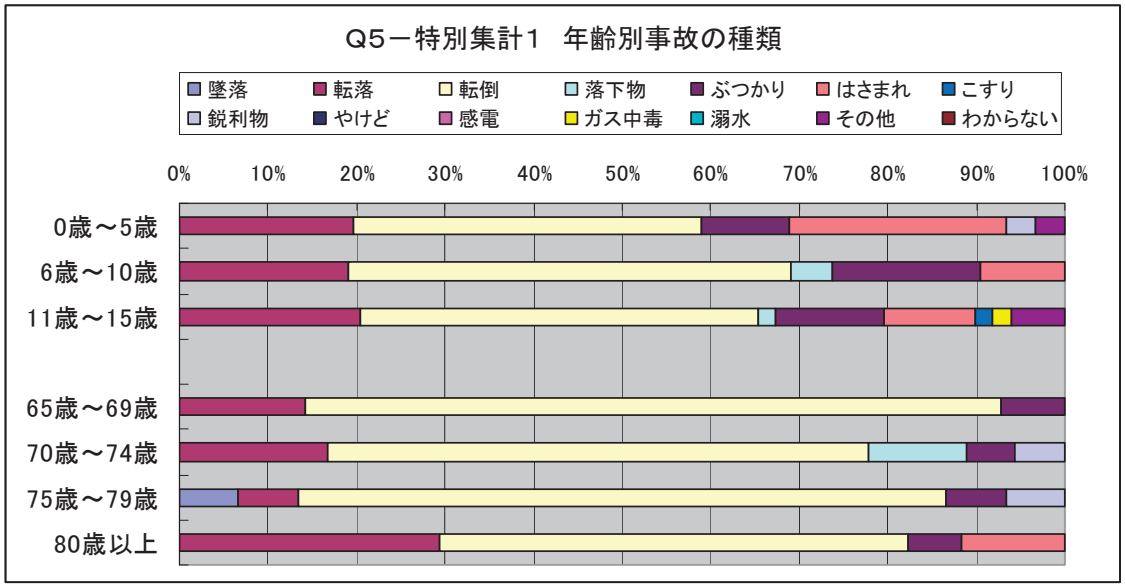
【全体的な留意事項】

家族を通じて事故の状況を尋ねているため、回答での出現頻度をそのまま実際の事故の発生頻度ととらえることはできない。

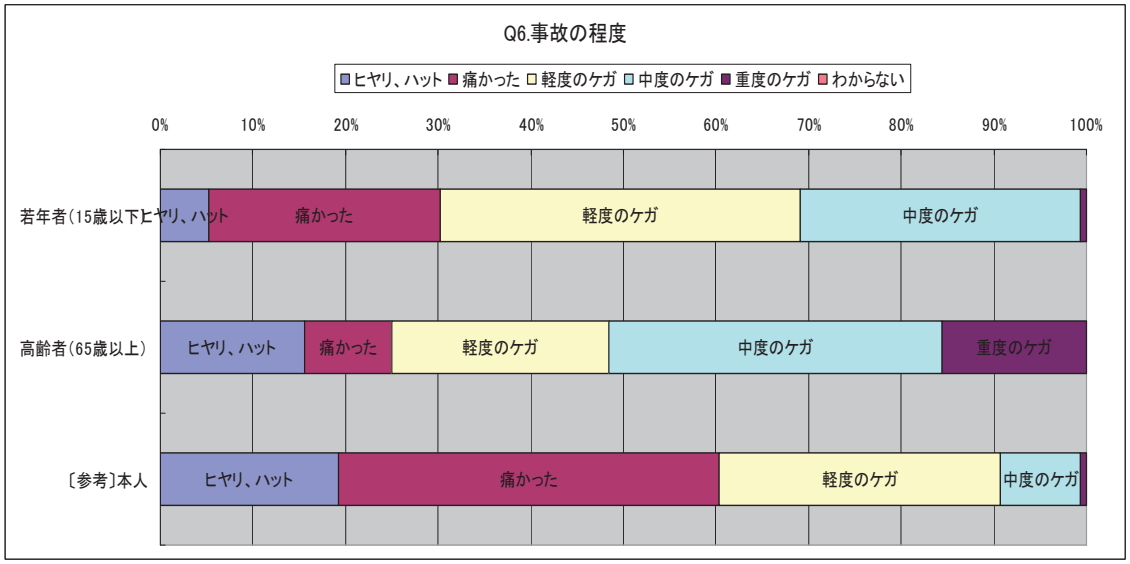


若年者、高齢者のそれぞれについて、事故の種類を集計したグラフである。家族聞取りによる本調査Ｂにおいても、本調査Ａ同様、「転倒」が最多となっており、特に高齢者の比率が高い。また、若年者でも「転倒」が最多となっていて、その他に、「転落」「ぶつかり」

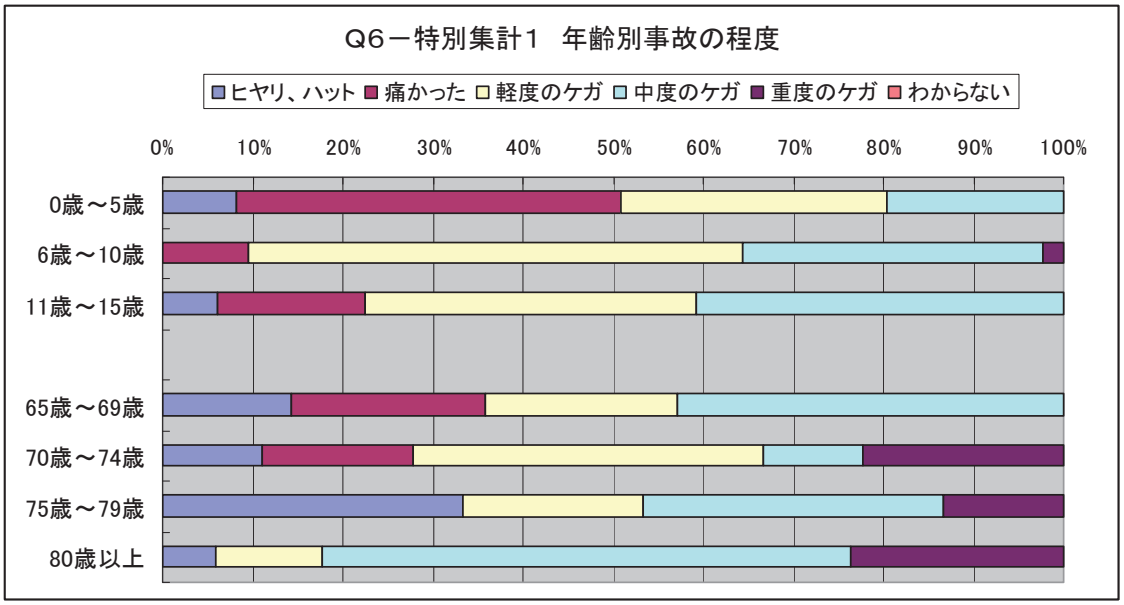
「はさまれ」が多い結果となった。



事故の種類を年齢別に集計したグラフである。0～5 歳の乳幼児では「はさまれ」がやや多い。6 歳～15 歳の少年では「ぶつかり」がやや多い。高齢者は各年齢層とも「転倒」が多い。

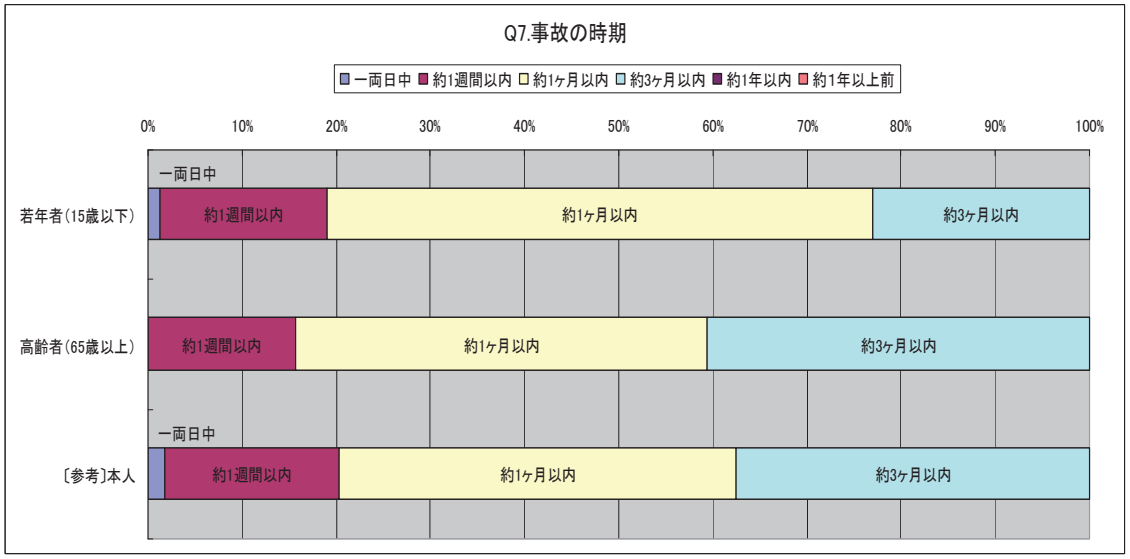


これは、事故の種類を、若年者、高齢者のそれぞれについて集計したグラフである。どちらの層も「軽度のケガ」以上の比率が高く、「ヒヤリハット」、「痛かった」については軽微な出来事でその場に居合わせなければ家族が把握しにくいためと思われる。



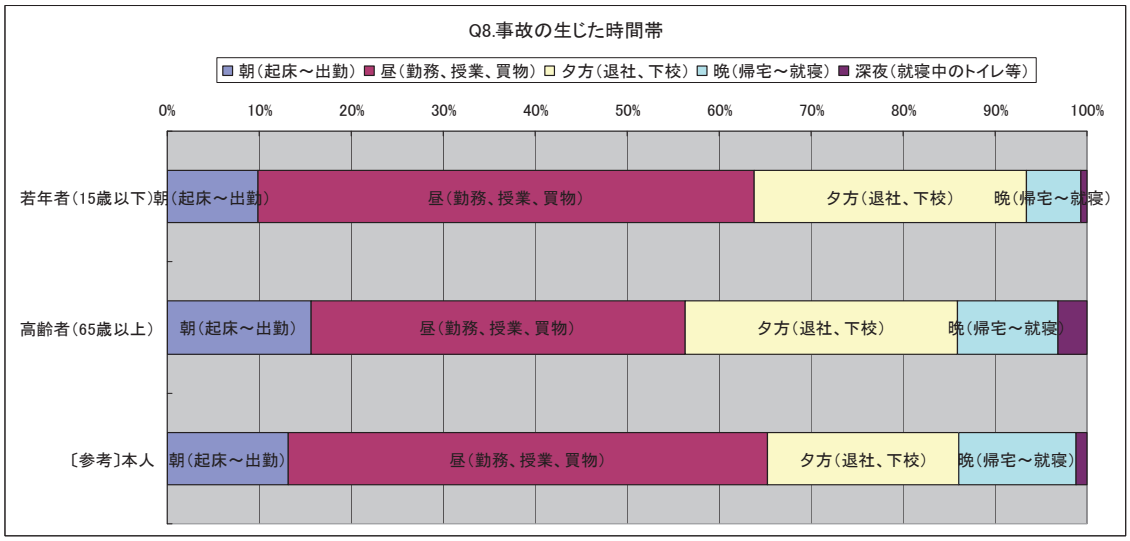
上図は、事故の程度を年齢別に集計したグラフである。0歳～5歳で「痛かった」の比率が高いのは親が一緒にいて事故に気づく場合が多いためと思われる。6歳以上では、「痛かった」の比率が大幅に減っており、一人で行動することが増え、ケガに至らないと周囲に伝わりにくいためと思われる。

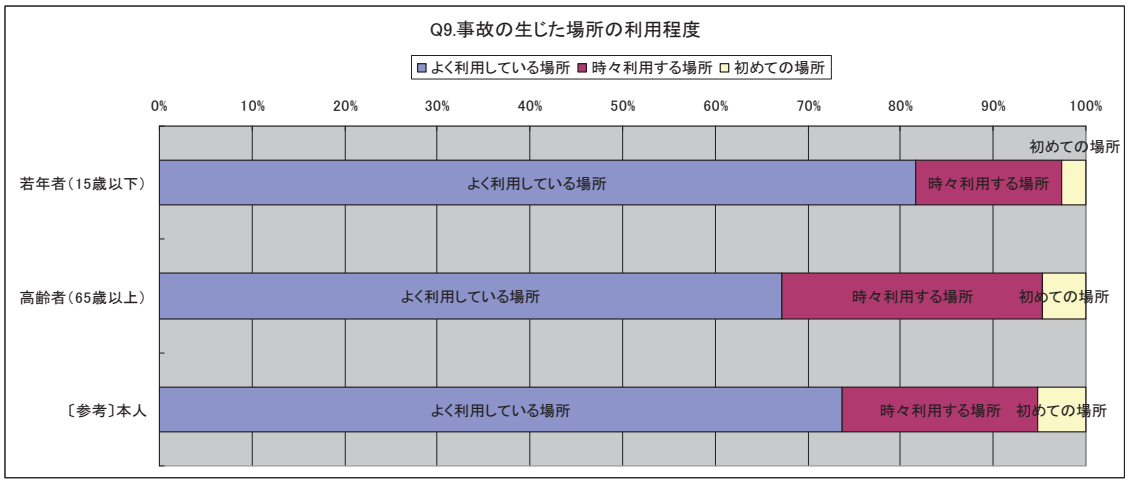
高齢者になると「中度のケガ」「重度のケガ」が多くなった。本調査Aで本人に尋ねたものでは軽度以上のケガが約半分だったことからみて、同居親族が把握しているものは実際にケガに至った事例に偏っていると見られる。

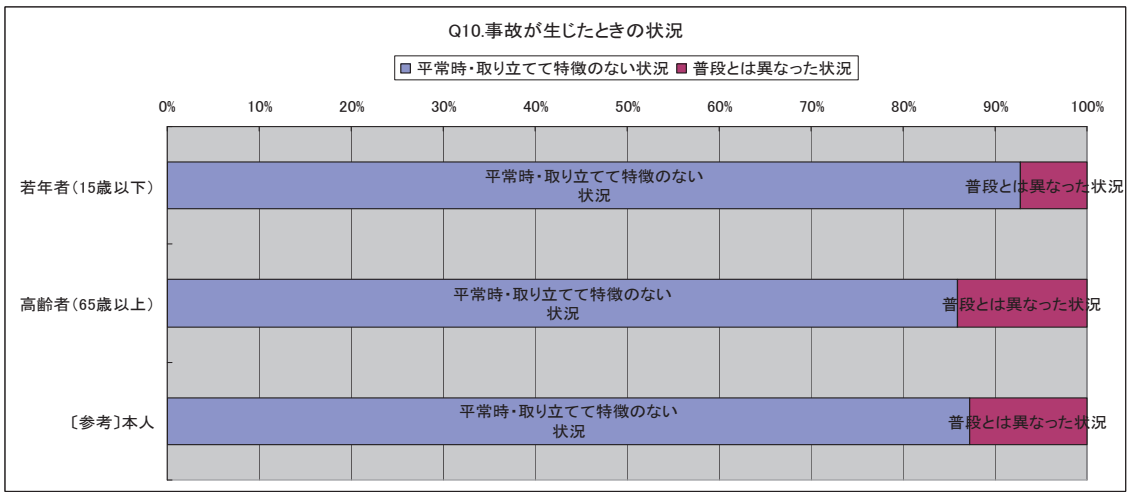


事故に遭った時期を、若年者、高齢者のそれぞれについて集計したグラフである。若年者に「約1ヶ月以内」未満の事故事例が多いのは、事故に遭う機会が多いためと思われる。若年者で本人に尋ねた場合（本調査A）よりも比率が高いことについても、同様の理由で

あると考えられる。

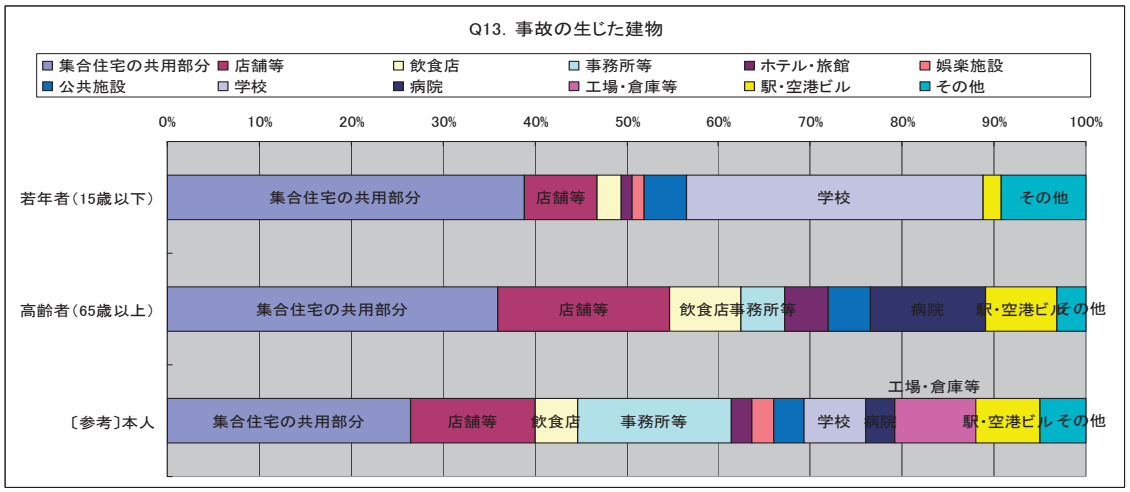

Q8.事故の生じた時間帯
朝（起床～出勤）
昼（勤務、授業、買物）
夕方（退社、下校）
晩（帰宅～就寝）
深夜（就寝中のトイレ等）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
若年者（15歳以下）
高齢者（65歳以上）
〔参考〕本人


Q9.事故の生じた場所の利用程度
よく利用している場所
時々利用する場所
初めての場所
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
若年者（15歳以下）
高齢者（65歳以上）
〔参考〕本人

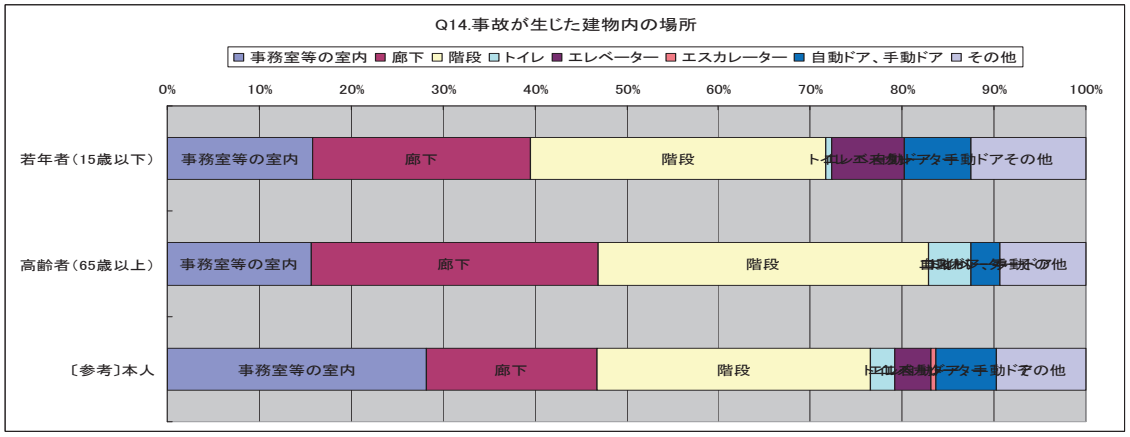

Q10.事故が生じたときの状況
平常時・取り立てて特徴のない状況
普段とは異なった状況
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
若年者（15歳以下）
高齢者（65歳以上）
〔参考〕本人

前ページの３つのグラフは、事故の生じた時間帯（Ｑ８）、事故の生じた場所の利用程度（Ｑ９）、事故が生じたときの状況（Q10）についての回答を集計したグラフである。

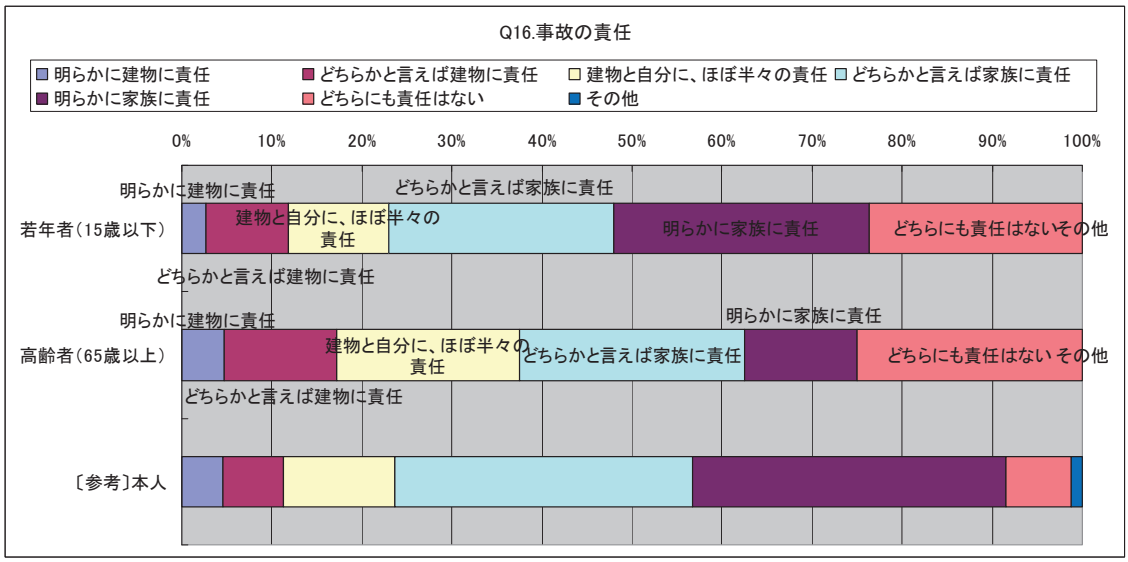
この３つの設問とも、属性による特徴は特段見られなかった。事故の生じた場所の利用程度についての設問であるが、各々の場所にどの程度の時間滞在しているかは不明であるが、慣れている場所でも事故は結構起こると考えられる。



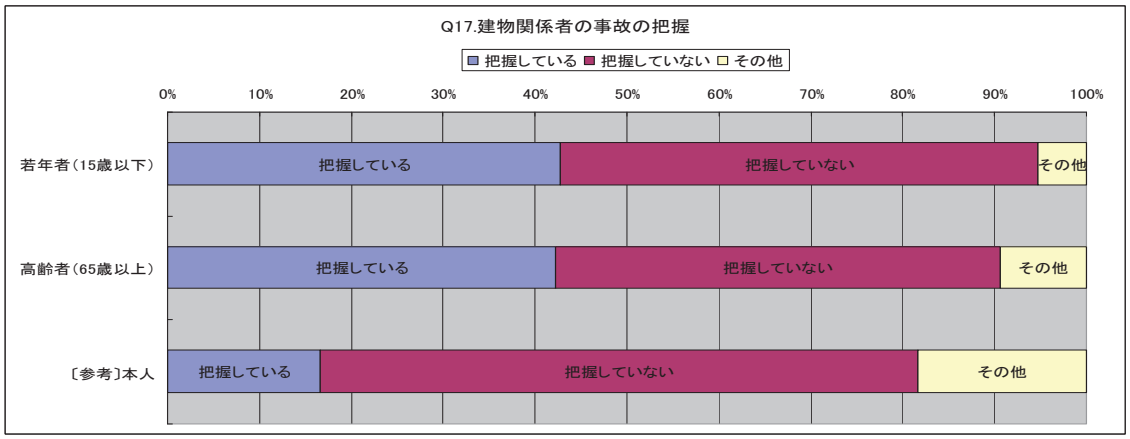
これは、事故に遭った建物の種類を集計したグラフである。若年者に学校が多く、高齢者に病院が多いのは生活行動上の特徴と見られる。いずれも集合住宅の共用部分が多いが、家族を通して尋ねたため、身の回りでの事故が反映されやすいものと思われる。



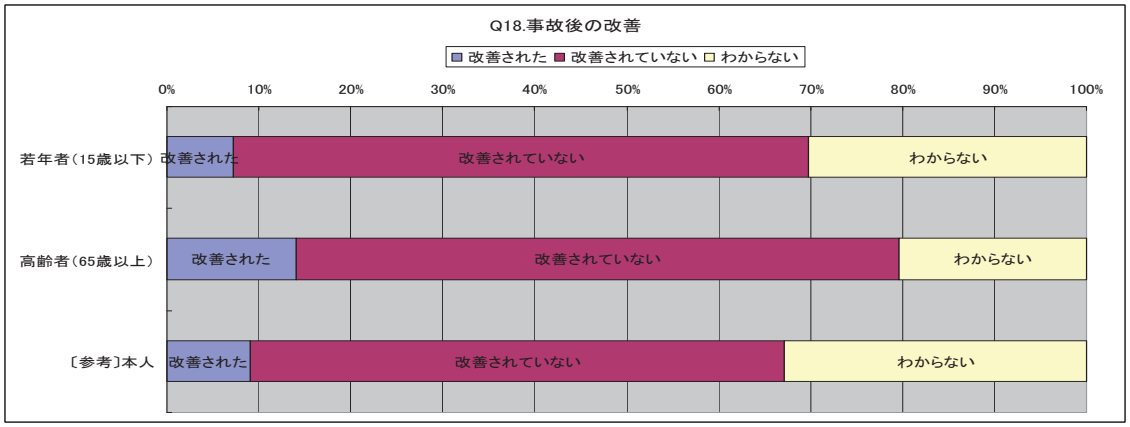
上図は、事故に遭った建物内の場所を集計したグラフである。室内、廊下、階段が多いのは本人の場合（本調査Ａ）と同様の傾向がみられる。若年者でエレベーターと自動ドア、手動ドアが多いのは、若年者の動作・行動特性が反映されている可能性がある。



これは、事故の起きた責任についての家族にあると思うか建物側にあると思うかを集計したグラフである。本人の場合（本調査Ａ）よりは建物側の責任と感じる者が多いが、それでも人間側に責任があるとする見解が多数を占めている。



事故が起きた事実を建物関係者（所有者・管理者）が把握しているか否かを集計したグラフである。建物関係者が把握しているとする比率が 4 割以上と本人の場合（本調査Ａ）より高くなっているが、「軽度のケガ」以上の事例が多いためと思われる。



これは、事故が起きた後、当該箇所が改善されたか否かを集計したグラフである。多少の差異はあるが改善されていない場合が多数みられる。

2.3　既往調査結果の分析

2.3.1　アンケート調査等の結果分析

前節のアンケート調査から、回答者属性と事故種別、事故程度、事故発生場所と時期などの日常事故の基本的な情報を分析することによって、事故の発生状況の概観が把握された。

本節では、事故メカニズム解明の手がかりを探索することを目的として、アンケート調査結果から、事故の原因と結果の関連に関する分析について報告する。分析方法は、既往のアンケート調査から得られたデータのうち、具体的な事故の発生状況とその事故が発生したと思われる要因などに関する自由記述式回答と、それに関連する選択式回答を分析対象として、それらの関連性を探るものである。

1）事故原因に関するキーワードについて（平成 17 年度アンケート調査より）

具体的な事故の発生状況と、発生要因と考えられる要因（回答者自身による回答）についての設問に対する自由記述回答からキーワードを抽出し、その出現頻度をまとめたものが図 2.3.1 のヒストグラムである。

さらに、当該分析結果それぞれにみられる事故の状況や要因を説明するキーワードについて、表 2.3.1 のように分類することができ、事故原因の大枠を捉えることができた。

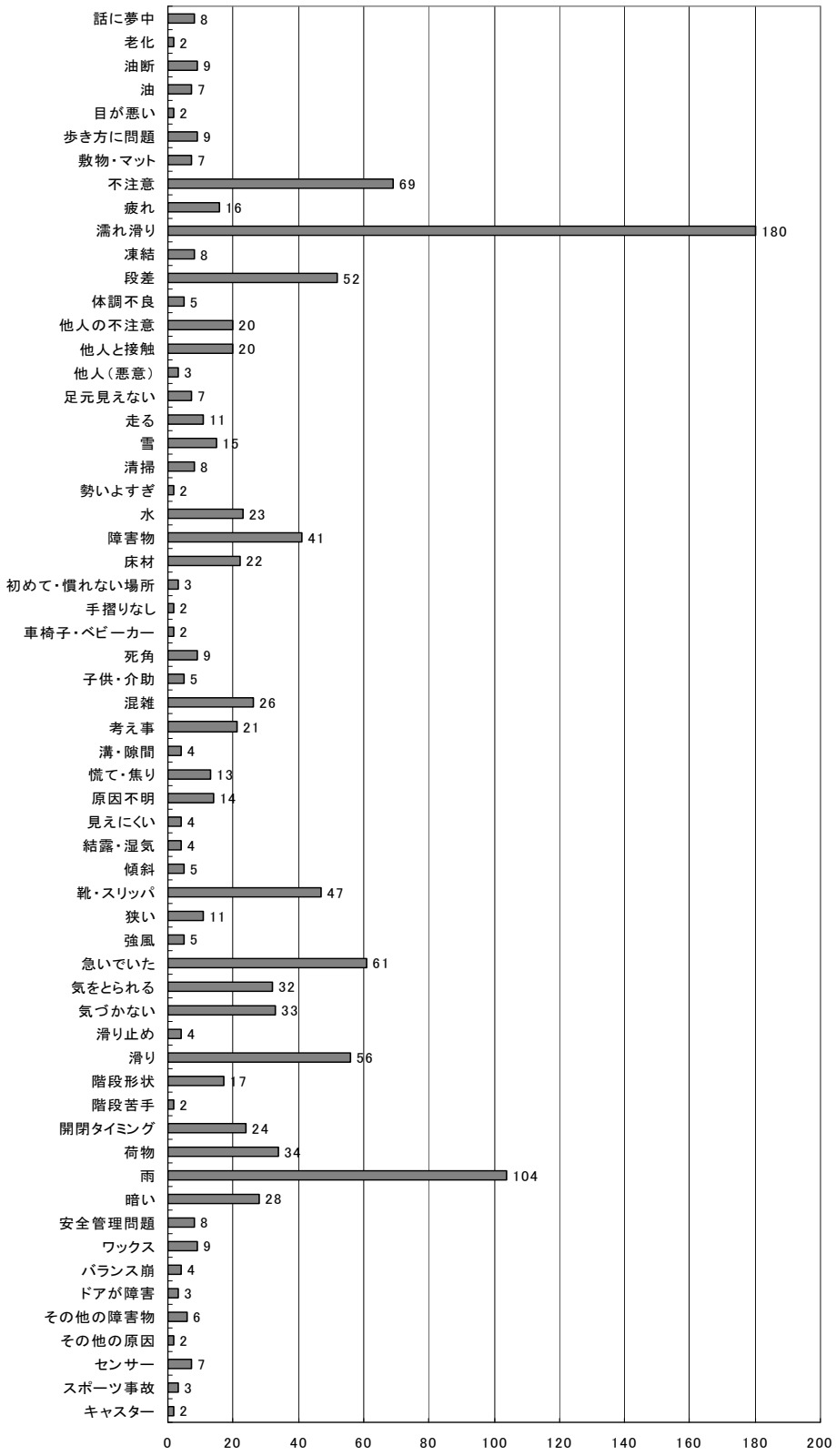


図 2.3.1　事故原因（キーワード）の出現頻度

表 2.3.1　キーワードの分類

キーワードの分類		具体的なキーワードの例
①	物の形状などに関連するキーワード	段差、障害物、死角、傾斜、暗い、床材、濡れ、溝・隙間　等
②	気象状況などに関連するキーワード	凍結、雪、強風、雨　等
③	回答者自身の行動などに関連するキーワード	靴・スリッパ（を履いていた）、荷物（を持っていた）、携帯電話を使っていた　等
④	回答者自身の体調や心理状態などに関連するキーワード	油断、不注意、疲れ、走る、考え事、慌てていた　等
⑤	他人等からの影響に関連するキーワード	他人と接触（ぶつかってきた、押された等）、混雑、いたずら　等

２）特定の場所と要因の関係の分析

次に、事故の起きる要因についてより子細な検討を行うため、事故の起こる場所を限定して分析を行った。平成 18 年度に実施したアンケート調査の結果をもとに、転倒が起こる場所と要因の関係について、三角図による出力で考察を行った（図 2.3.2）。

まず、三角図の読み方を「書類・携帯電話を見ていた」を要因の例にして説明する。「書類・携帯電話」が要因という記述は全部で 67 件あり、そのうち階段 17 件、廊下 14 件、室内 36 件であったが、三角図はその要因を三成分（階段／廊下／室内）の割合としてプロットしたものである（値は、階段=0.26、廊下=0.21、室内=0.53）。

この結果から解釈すると、頂点部分はその場所にしか当てはまらない項目を含むことを別として、その他の項目が比較的プロットが中央に集まっていることから、さほど「場所」による違いがみられないと言える。しかし、「ブーツ・ハイヒール」「荷物」「サンダル・スリッパ」などの要因が階段での事故で、「書類・携帯電話」「障害物・突起物」「ゴミ・埃」などの要因が室内での事故で、それぞれ割合が高くなっていることから、これらの要因がその場所での事故につながりやすくなっていると言える。

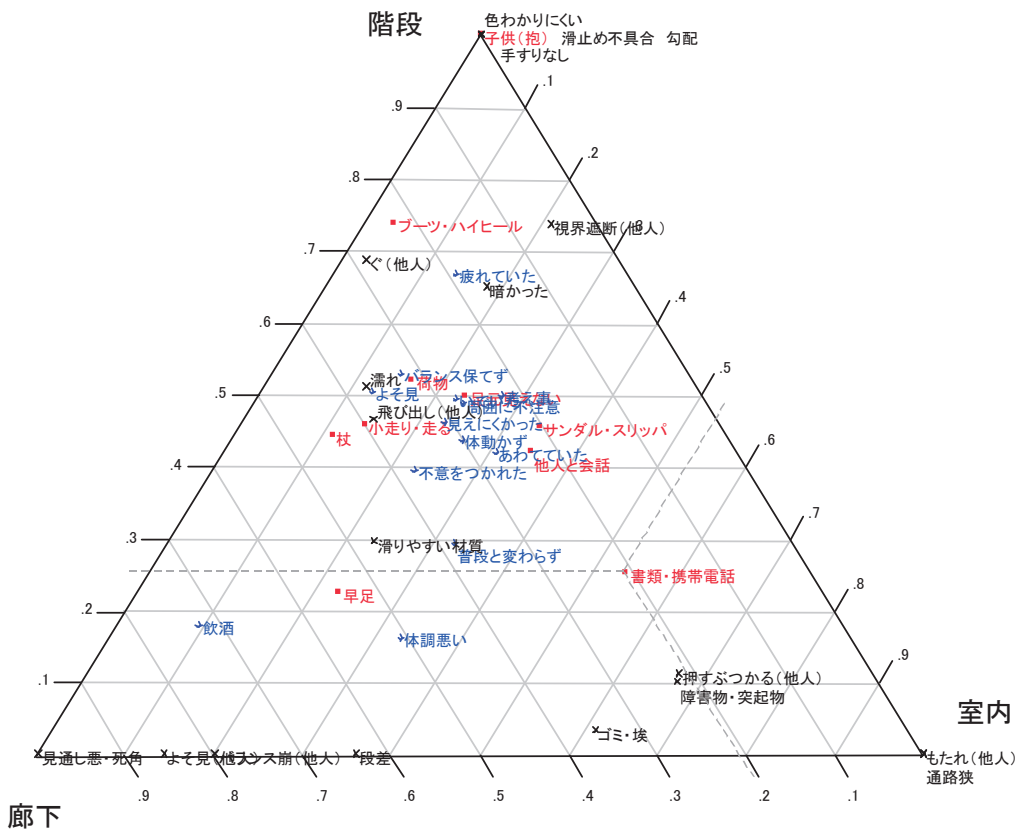


図 2.3.2　場所別の転倒要因・三角図

３）事故種別、場所及び要因系の項目の関連

「事故種別」と「場所」と「事故の要因」という３つの関係を探るため、平成 18 年度実施のアンケート調査より得られた事故情報のデータを対象として、「事故種別」、「事故の場所」、「要因系の項目」の多重クロス集計に基づき対応分析（コレスポンデンス分析）を行った。対応分析とは、クロス集計表の詳細分析であり、変量同士、項目同士の反応パターンの類似性から、それらの関連を視覚的、数量的に評価したり、知覚マップの作成やポジショニング分析などを行う際の分析手法である。

今回行った分析では、「事故種別」と「場所」を統合して「状況に関する項目」として、「事故の要因」を「事故要因の項目」としてグルーピングして、その状況を分析している。個々の項目については、表 2.3.2 の通りである。また、その結果（布置図）を図 2.3.3 に示す。

布置図の読み方にはいくつかの方法があり、①布置図の両端にプロットされたカテゴリ（項目）から軸（c1、c2）の解釈を行う、②近くに布置されたカテゴリ同士は関係性が近いものであるので、そのグループ（群・塊）を解釈する（原点付近を除く）、③原点からあるベクトル上に並ぶものも関係性が近いといえるので、そのグループ（群・塊）を解釈する、というものが挙げられる。ここでは、③の方法で布置図を解釈するものとし、図 2.3.3

上に示した点線の楕円を各グループとみなして関係を考察すると、下方の「階段」「転落」とその周囲に布置された要因系の項目は、前述の「特定の場所と要因の関係の分析」（三角図による出力）の分析結果と符合する。「廊下」については「段差」「見通し悪さ」という要因と「転倒」「こすり」などの結果に、また、「書類・携帯電話」「考え事」「よそ見」「他人の飛び出し」が「ぶつかり」の要因として関連づけられる。

表 2.3.2　分析に用いた項目

項目（グループ）	個別の項目
状況に関する項目	こすり／はさまれ／ぶつかり／階段／自動ドア、扉／室内／転倒／転落／廊下
事故要因の項目	あわてていた／ゴミ・埃／サンダル・スリッパ／その他／バランス保てず／バランス崩（他人）／ブーツ・ハイヒール／ベビーカー／もたれかかられる（他人）／よそ見／よそ見（他人）／暗かった／飲酒／押される・ぶつかる（他人）／荷物／滑りやすい材質／滑り止め不具合／急いでいた／急ぐ（他人）／見えにくかった／見通し悪・死角／勾配急／考え事／子供（手）／子供（抱）／視界遮断（他人）／手すりなし／周囲に不注意／書類・携帯電話／小走り・走る／障害物・突起物／杖／色わかりにくい／早足／足元見えない／他人と会話／体調悪い／体動かず／段差／通路狭／濡れ／疲れていた／飛び出してきた（他人）／不意をつかれた／普段と変わらず

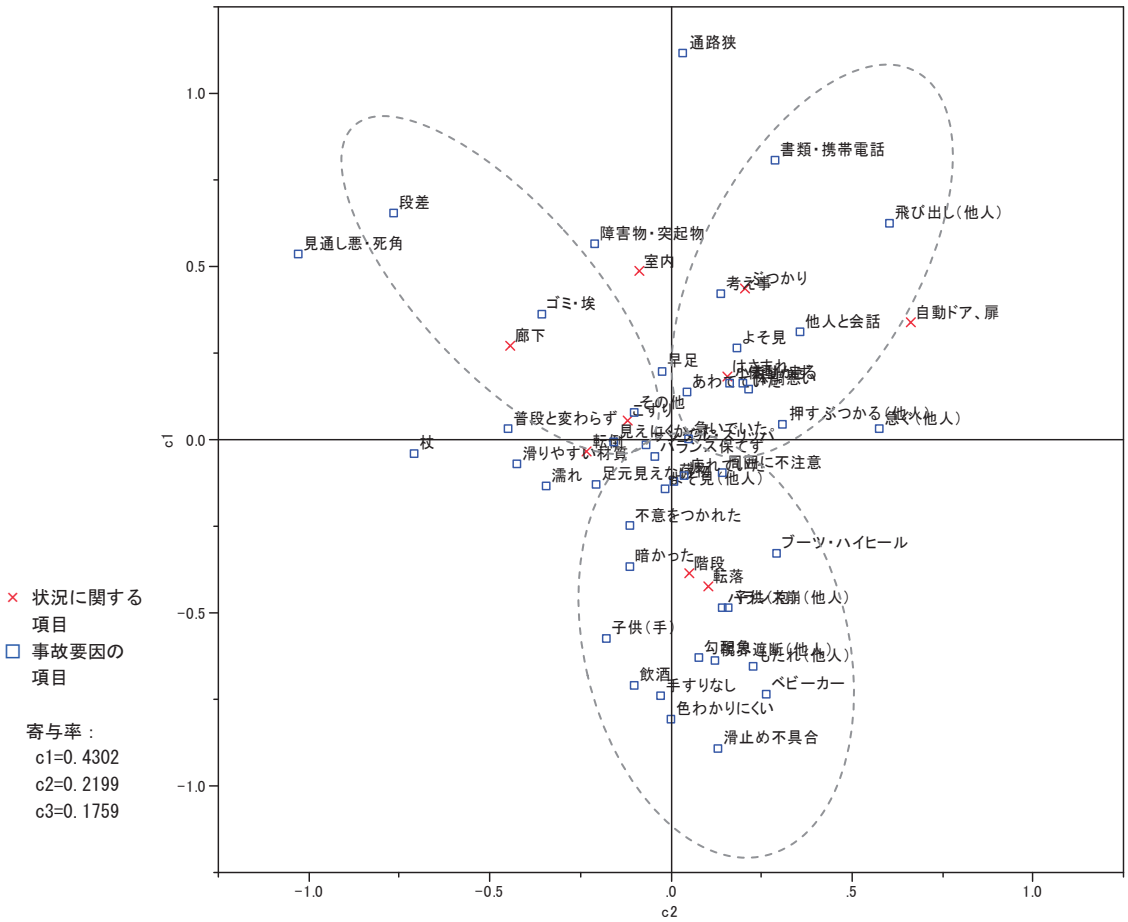


図 2.3.3　事故種別／場所／要因の対応分析結果

※注１：平成 18 年度実施のアンケート調査からの事故状況把握のための分析は、報告書「建築空間における事故データ分析及び事故リスクのモデル化に関する調査業務」（平成 19 年 2 月　財団法人日本建築防災協会）に記載されている。

※注２：これまで国土技術政策総合研究所で実施された日常事故に関するアンケート調査（いずれもインターネットによる調査）は以下の通りである。

・　平成 17 年度調査（予備的調査）；平成 18 年 3 月実施
・　平成 18 年度調査；平成 18 年 11 月実施

2.3.2　モニター調査比較分析

国土技術政策総合研究所では、アンケート調査とは別に、インターネット調査会社に登録している会員（モニター）を対象とした日常災害の体験に関する調査を実施した（以下、「モニター調査」とする）。平成 19 年 2 月と 10 月に同様に実施した、それらの調査の概要については以下の通りである。なお、調査票については巻末参考資料２を参照されたい。

＜調査概要＞

○ 調査目的・主旨

一般市民の自宅外での仕事や買い物等さまざまな生活行動の中にあらわれた、建物内における日常事故についてその概要をモニター方式で尋ねる。なお、地震や火災等の「非日常的な」ものによる事故はのぞき、「事故」にはケガには至らなかったけれども危険を感じた・びっくりしたという体験も含む。住宅内での日常事故は対象とはしない。

○対象　：マンションの共用部分（住戸外の廊下・階段・エレベーター等）駅前ビル、商業ビル、オフィスビル、病院、役所、ホール 等の建物内での事故

×対象外：自宅内、道路・公園・広場、駅のホーム、バス・電車の車両内 等での事故

○ 調査方法

インターネット調査会社に登録している会員のうち、100 名程度抽出する（これをモニターと呼ぶ）。調査は、このモニターに、調査期間中、日常事故に遭遇した・遭遇しそうになったことを、所定のフォーマット（アンケート調査票）に従って報告させるものである。その際、画像撮影が可能であれば、デジタルカメラ、携帯電話等で撮影した画像データを添付させる。

○ 留意事項

・　日常事故、特に軽微なものは把握方法が難しく、なるべく常時観察に近いモニター方式により実態に近いデータを収集すること。
・　日常事故発生現場についてなるべく画像データを収集すること。

○ 調査期間とデータ回収状況

・　第１回　H19年2月より約1ヶ月半／45名から107回答（事例）（2.4回答/人）／85画像
・　第２回　H19年10月より約1ヶ月半／168名から239回答（事例）（1.4回答/人）／145画像
○ その他
・　モニター対象者は、可能な限り各年代を含むが、60歳以上及び30歳以下に重点をおいた。
・　事故・危険の状況、原因について、自由記述式回答にて補足説明をしてもらった。
・　報告は事故ごとに１事例として整理（１回の報告で複数事例を１件として報告しない）した。

このモニター調査の最大の特徴は、事故が起こった（起こりそうになった）現場の状況の画像が収集できるところである。実際の状況が明確に理解しやすいため、これらの事故事例を収集することは、具体的な事故予防対策を講じる上で非常に有益なものとなった。モニター調査の事例の多くは、「建物事故予防ナレッジベース」の事故事例として掲載されている。

＜参考＞　設問内容

＜設問＞　Q1～5は、選択肢式回答
Q1. 事故の種類（危険を感じた・びっくりしたという体験も含みます。）はどのようなものですか。
Q2. 事故の程度はどのくらいですか。
Q3. 事故の発生時間はいつごろですか。
Q4. 事故が起きた建物の種類はどのようなものですか。
Q5. 事故が生じた建物内の場所はどのようなところですか。
Q6. 事故が生じた状況や原因について具体的にお答えください。
Q7. 事故が生じた現場の写真を添付してください。

＜調査結果概要＞

○ 回答者の属性
　２月調査：平均年齢47.6才　男性（割合）35.5%　女性（割合）64.6%
　10月調査：平均年齢36.3才　男性（割合）51.5%　女性（割合）49.9%
○ 事故の特性　９割程度は「ヒヤリ・ハット」と「痛みを感じる」　実際の「ケガ」については１割弱
　２月調査：転倒44.9%　ぶつかり17.8%　転落13.1%　その他11.2%　はさまれ9.3%
　10月調査：転倒36.4%　転落20.9%　ぶつかり16.3%　はさまれ13.0%
○ 事故事例の建物の種類・場所について
　２月調査：①店舗等22.4%　②駅・空港ビル15.0%　③集合住宅共用部分12.1%　④公共施設12.1%

10月調査:①集合住宅共用部分25.5%　②店舗等22.6%　③事務所等17.6%　④学校7.9%

○ 事故事例の種類・程度について

２月調査:①その他30.8%　②階段22.4%　③扉、ドア（手動）14.0%　④廊下11.2%

10月調査:①階段31.4%　②廊下17.6%　③室内13.4%　④その他11.7%

○ 建物と事故の関連について

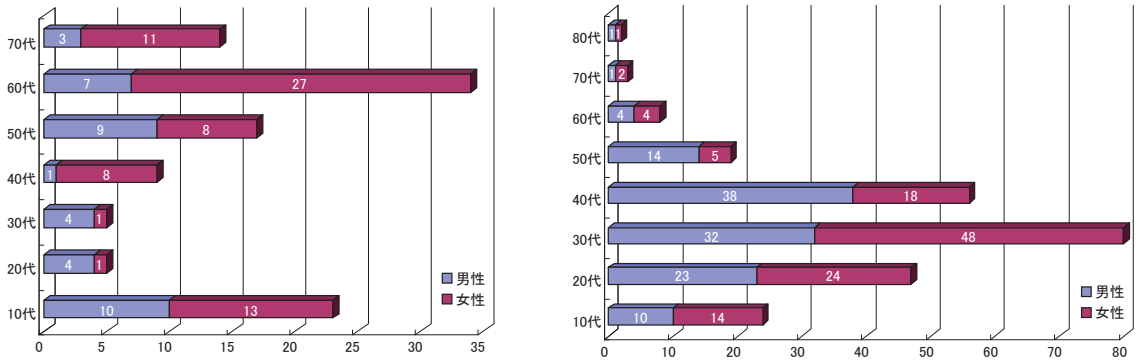
２月調査:「店舗等×階段」4.7%　「集合住宅共用部分×階段」3.7%　「学校×扉ドア（手動）」3.7%　「駅・空港ビル×階段」5.6%

※調査内容の誤解から、一定程度、屋外空間が混入したと考えられる。

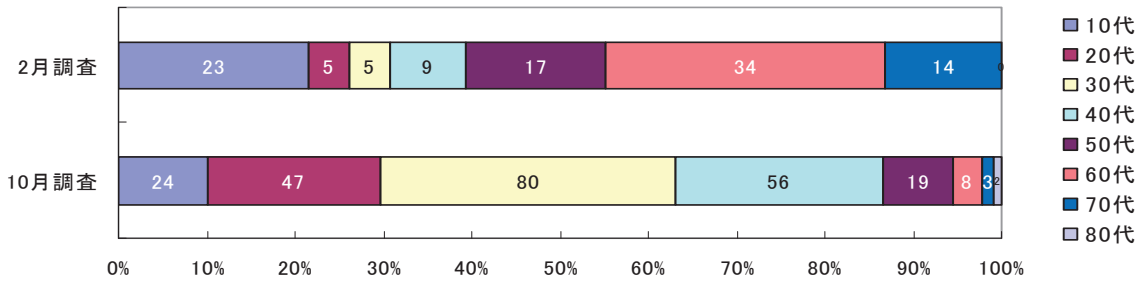
10月調査:「集合住宅の共用部分×階段」8.8%　「集合住宅の共用部分×廊下」7.5%　「事務所等×階段」5.9 %　「室内×階段」5.4%　「店舗等×階段」4.2%　「店舗等×廊下」4.2%

以下、分析結果を記載する。

１）回答者属性



※数字は実数（のべ人数）



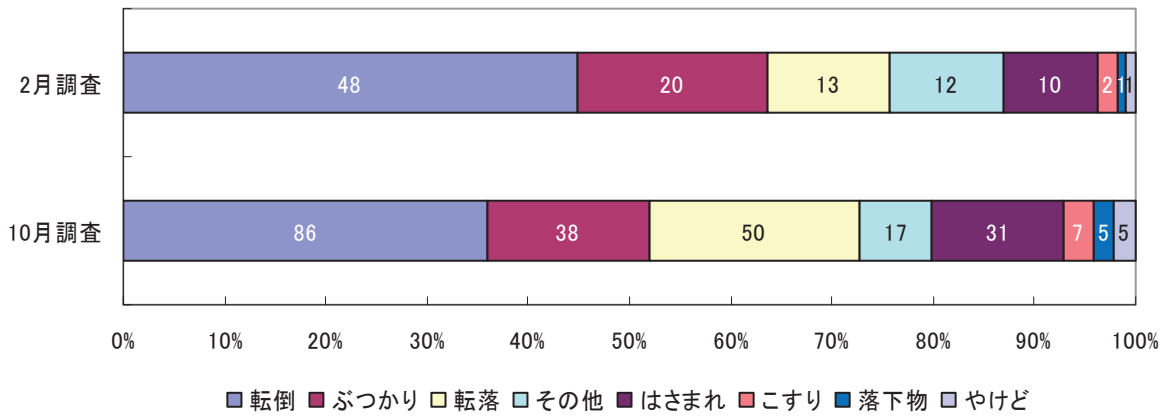
２月調査　　10 月調査

※数字は実数（のべ人数）

２月調査：平均年齢 47.6 才、男性 35.5%

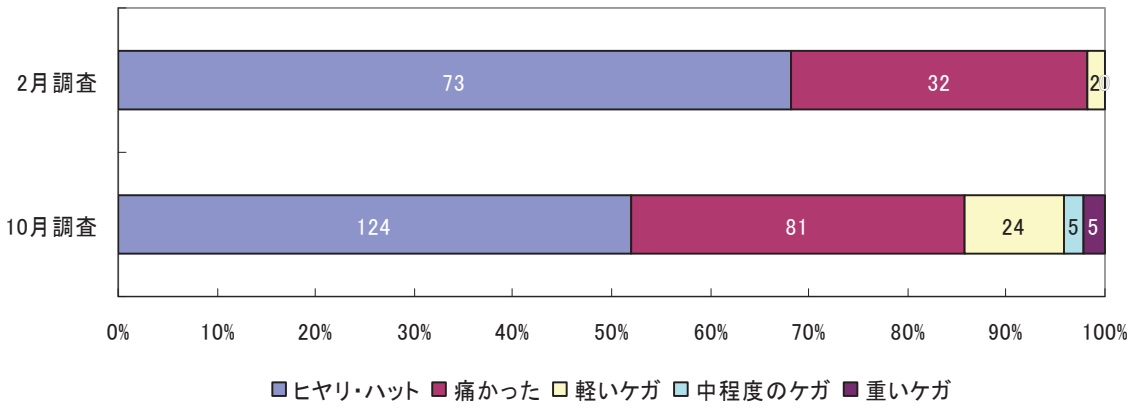
10 月調査：平均年齢 36.3 才、男性 51.5%

２）事故の種別



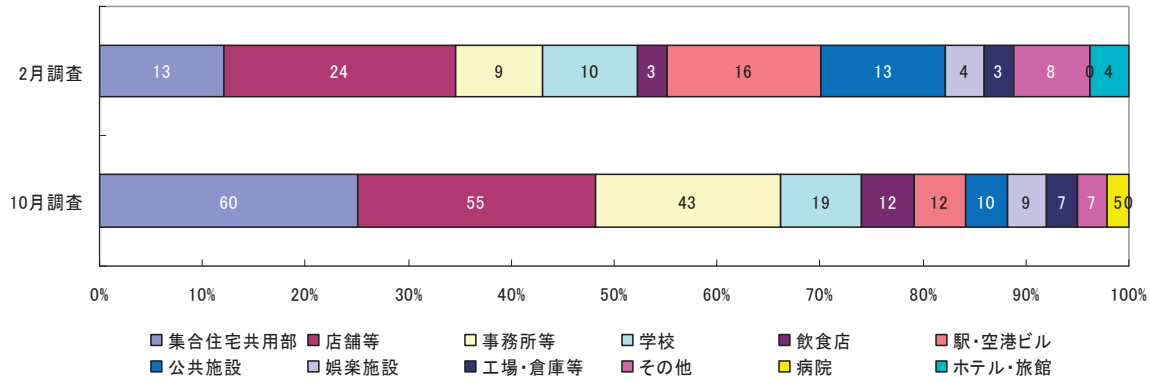
※数字は実数（事例数）

３）事故の程度



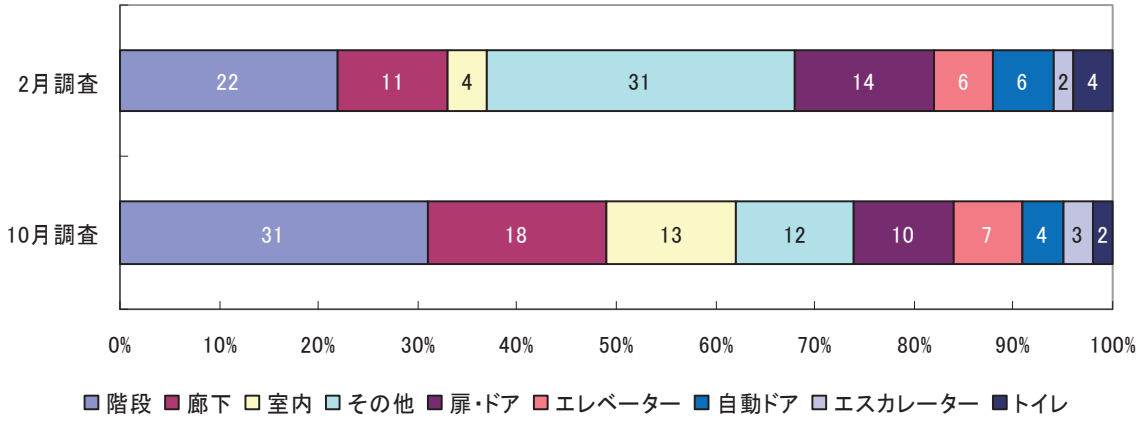
※数字は実数（事例数）

４）事故が起きた建物の種類



※数字は実数（事例数）

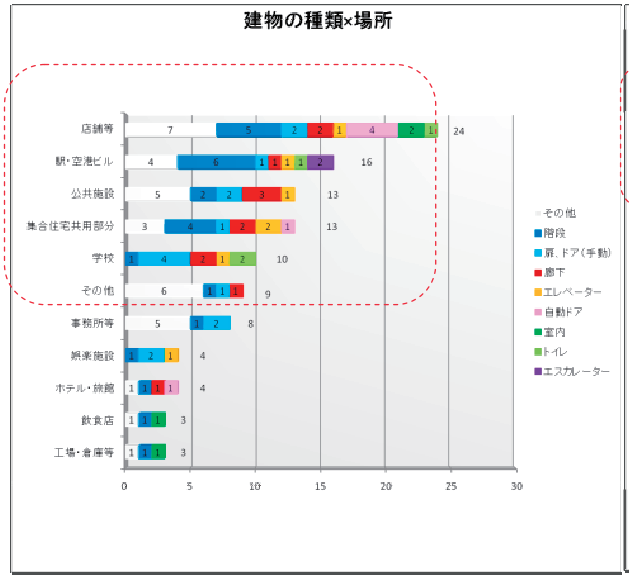
5）事故が起きた建物内の場所（部位）



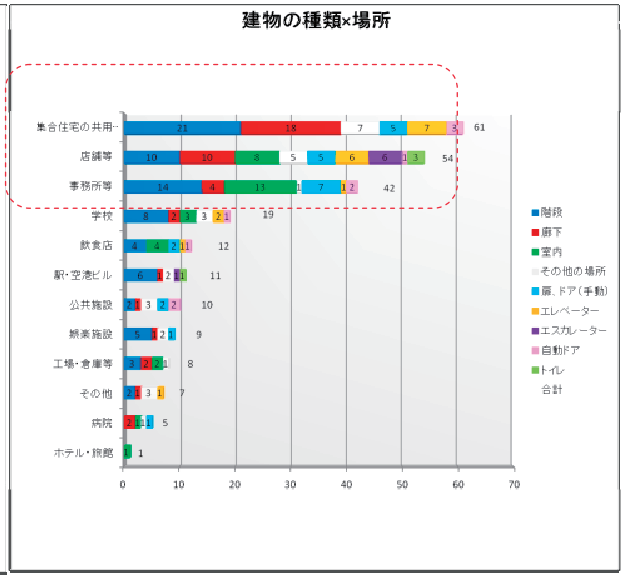
※数字は割合（%）

6）事故が起きた建物と場所の関係

＜２月調査＞



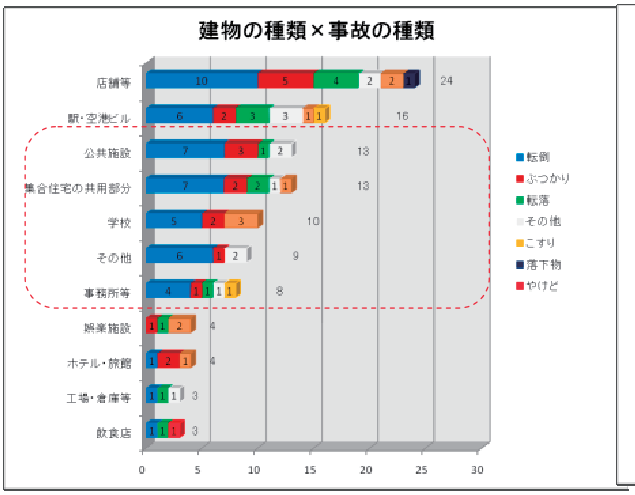
＜10 月調査＞



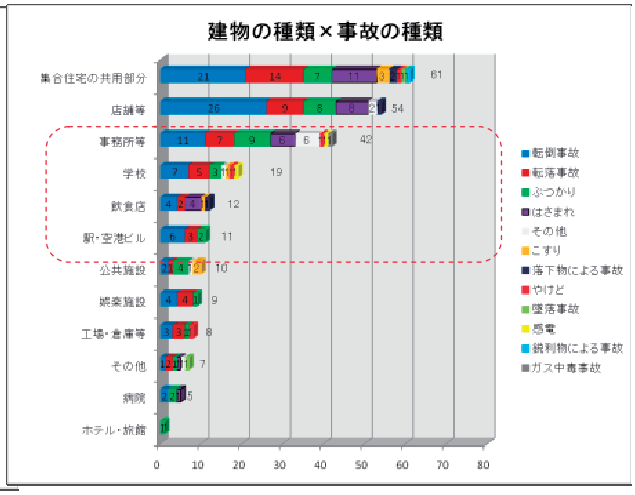
２月の調査で、「その他」の場所の回答が多いのは、屋外空間での事故についてのデータが混入したためと考えられる。

7）事故が起きた建物と事故の種類の関係

＜２月調査＞

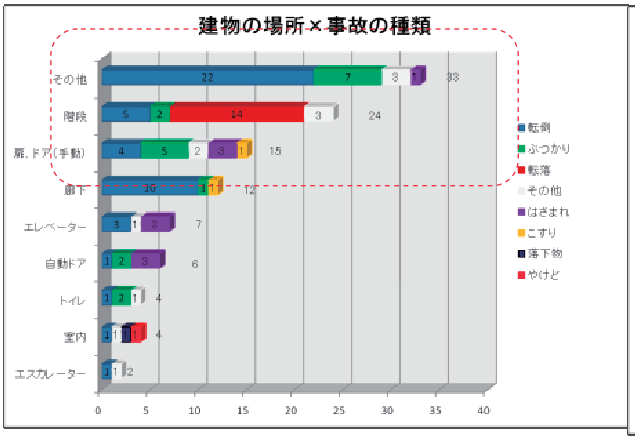


＜10 月調査＞

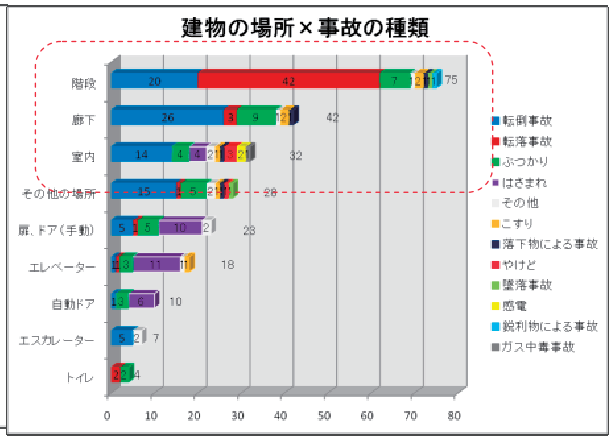


8）事故が起きた建物の場所（部位）と事故の種類の関係

＜２月調査＞

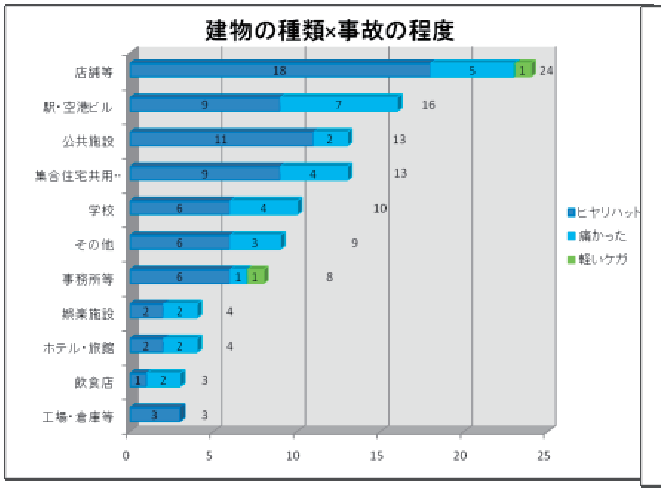


＜10 月調査＞

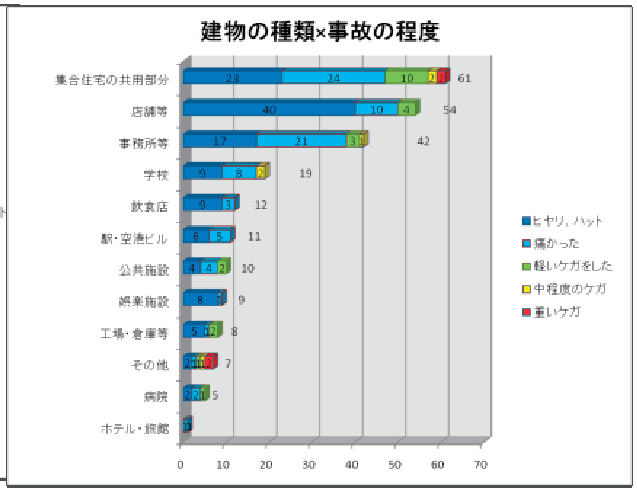


9）事故が起きた建物種別と事故の程度の関係

＜２月調査＞

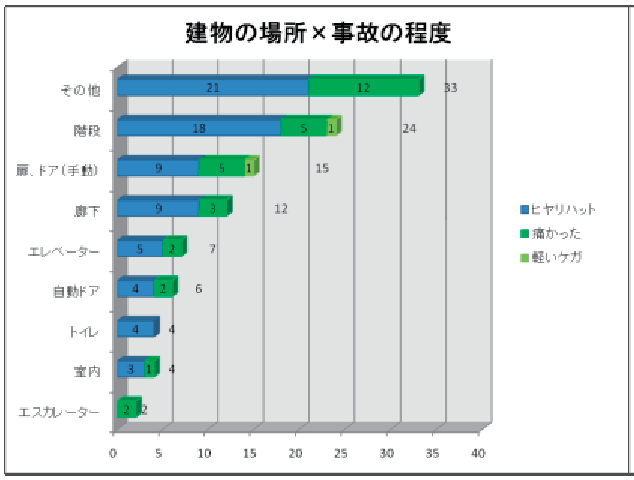


＜10 月調査＞

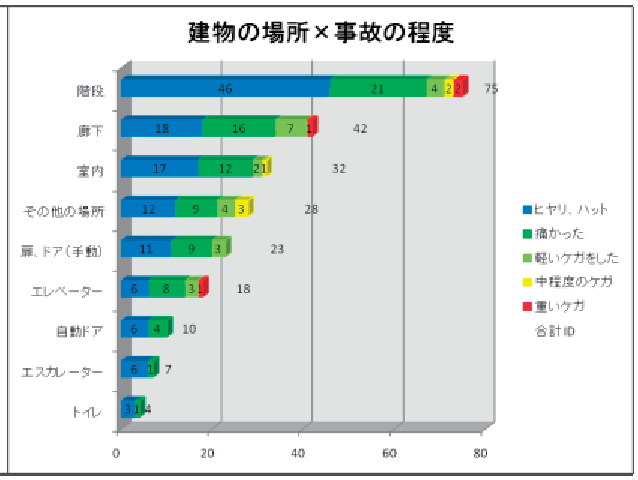


10）建物の場所と事故の程度の関係

＜２月調査＞

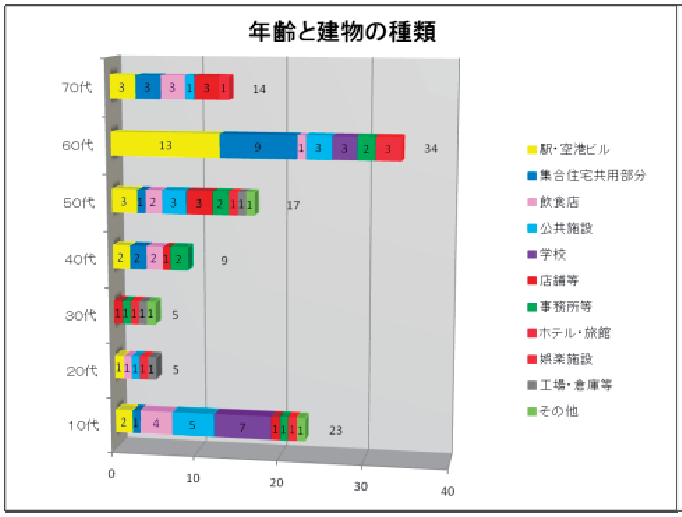


＜10 月調査＞

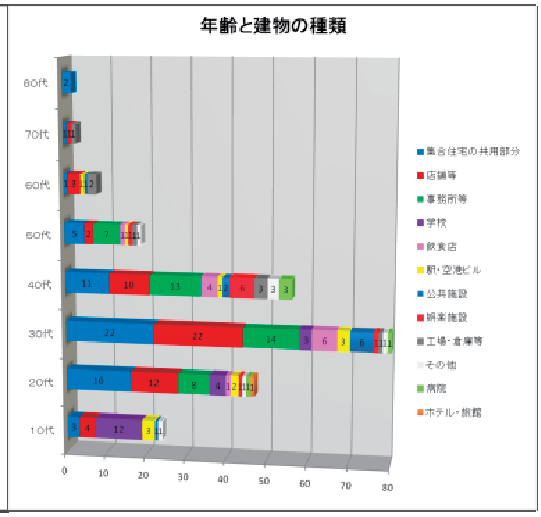


11）回答者の年齢と事故の起きた建物の種類の関係

＜２月調査＞

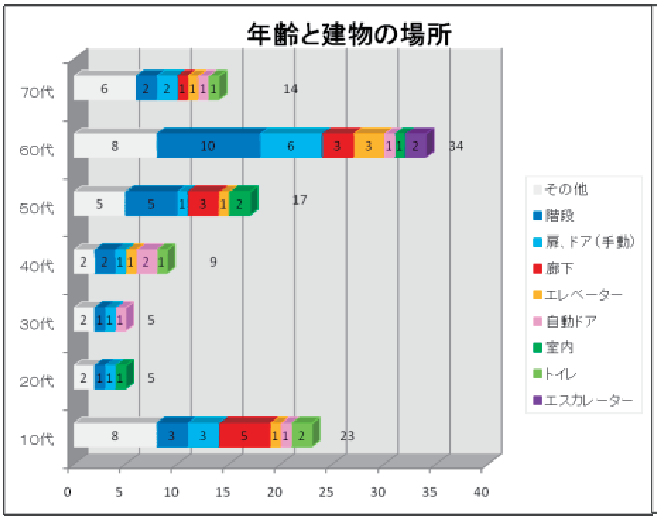


＜10 月調査＞

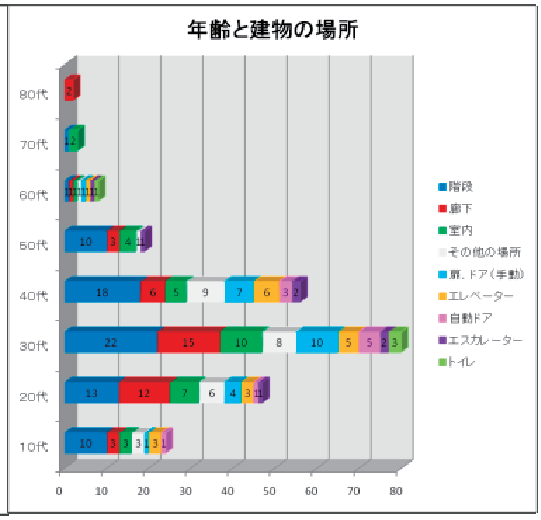


12）回答者の年齢と建物の場所（部位）との関係

＜２月調査＞

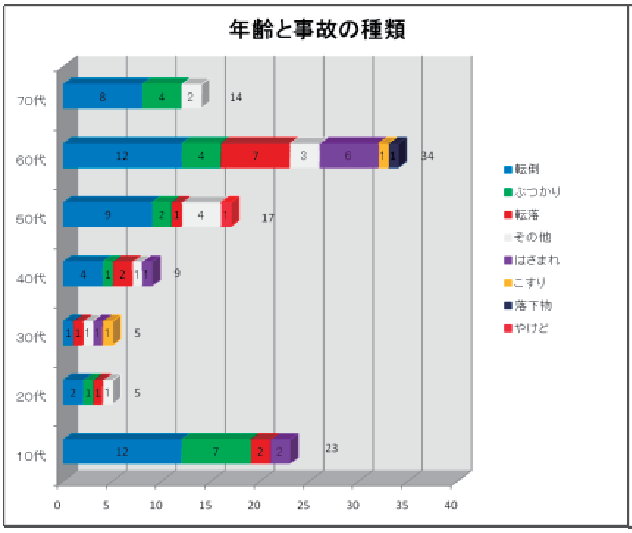


＜10 月調査＞

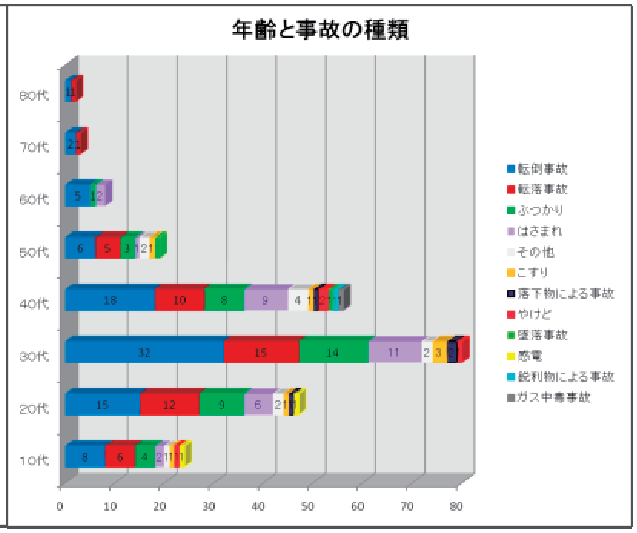


13）回答者の年齢と事故の種類の関係

＜２月調査＞

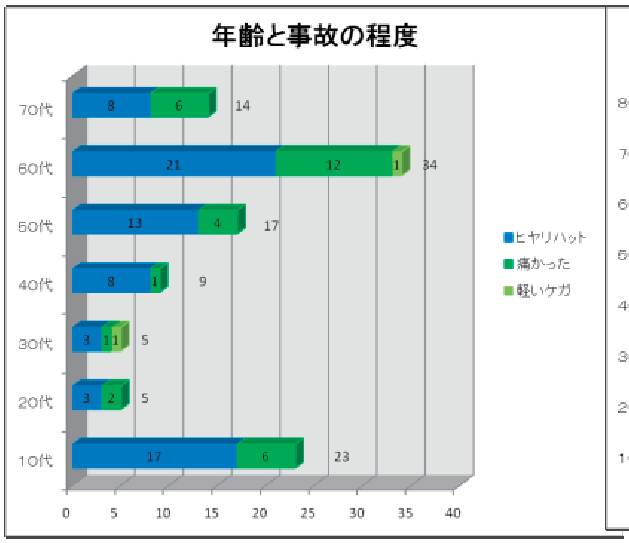


＜10 月調査＞

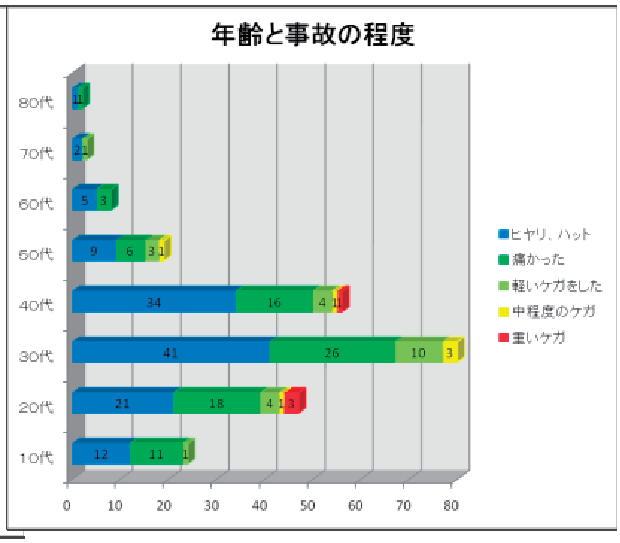


14）回答者の年齢と事故の程度の関係

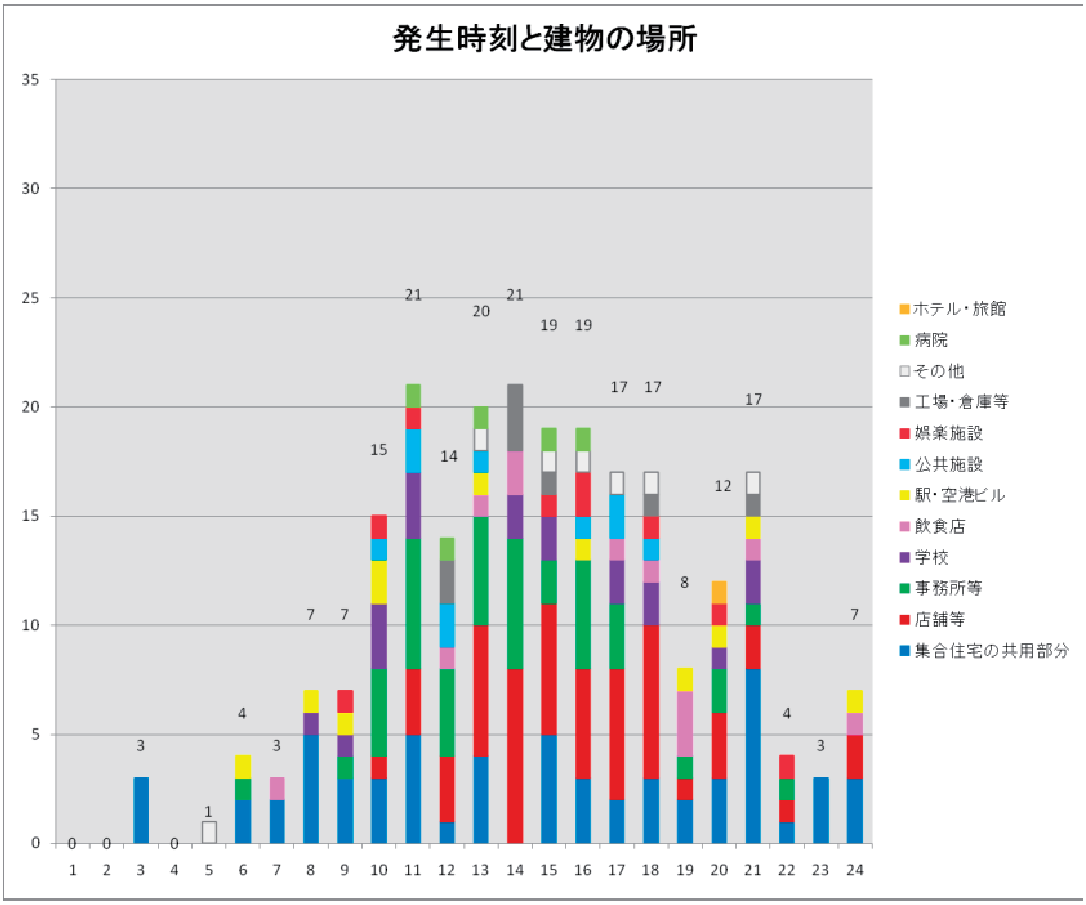
＜２月調査＞



＜10 月調査＞



＜参考＞　10 月調査より



2.4　実務者を対象とした日常安全に関する意識調査及びヒアリング

2.4.1　実施概要

設計業務または建物管理業務等に携る実務者を対象とした、日常安全に関する意識調査（アンケート調査）を実施した。主な質問項目は、①日常事故を経験する頻度と深刻さ、②日常事故に対する対策のとりやすさ、③日常事故防止に対する取り組みや情報の活用、④設計者管理者とのコミュニケーションなどについてである。

以下に調査内容の概要を示す。

調査は建築設計者、建物管理者を対象に以下の方法で行った。

１）建築設計者

社団法人日本建築士事務所協会連合会に許諾を取った上、各都道府県の建築士事務所協会（岐阜県を除く４６都道府県）にアンケート調査票を各３部ずつ配布し、回答を依頼した。

配布数：１３８部（3 部×46 都道府県）　　回収数：１０８部（回収率 78.3%）

２）建物管理者

社団法人日本ビルヂング協会連合会に依頼の上、発送先リストを頂いた会員宛にアンケート調査票を郵送し、回答を依頼した。

配布数：２４０部　　回収数：９３部（回収率 38.8%）

2.4.2　調査結果

回収されたデータについて、回答者の業務内容を確認し、建築設計者・建物管理者の属性別に分類した。建築設計者 100 名、建物管理者 61 名であった。

以下、調査票の各質問項目について、建築設計者と建物管理者別に平均を算出した結果を示す。

質問項目		設計者 （N＝100）	管理者 （N＝61）	合計 （N=161）
Q1　事故を経験する可能性 1：経験することはない 2：稀に経験する 3：時々経験する 4：かなり経験する 5：頻繁に経験する	01墜落	1.3	1.2	1.2
	02転落	2.0	1.7	1.9
	03転倒	2.2	2.0	2.1
	04落下物	1.4	1.3	1.4
	05ぶつかり	2.4	2.0	2.2
	06挟まれ	2.2	1.9	2.0
	07こすり	2.4	2.0	2.2
	08EV内の閉込	1.4	1.4	1.4
	09震度7地震	1.4	1.3	1.3
	10火災に巻き込まれる	1.4	1.4	1.4
Q2　実際に事故に遭った場合、怪我などの影響（深刻さ） 1：全く深刻ではない 2：どちらかといえば深刻ではない 3：どちらともいえない 4：どちらかといえば深刻である 5：非常に深刻である	01墜落	4.5	4.5	4.5
	02転落	4.0	4.0	4.0
	03転倒	3.1	3.1	3.1
	04落下物	4.0	4.1	4.1
	05ぶつかり	2.6	2.8	2.7
	06挟まれ	3.0	3.2	3.1
	07こすり	2.3	2.5	2.4
	08EV内の閉込	3.5	3.4	3.5
	09震度7地震	4.5	4.6	4.6
	10火災に巻き込まれる	4.6	4.6	4.6
Q3　その事故が起きないよう、設計時や管理運営時での対策の取りやすさ 1：非常に容易 2：容易 3：どちらともいえない 4：難しい 5：非常に難しい	01墜落	2.3	2.3	2.3
	02転落	2.8	3.2	3.0
	03転倒	2.8	3.3	3.1
	04落下物	3.3	3.2	3.3
	05ぶつかり	3.1	3.3	3.2
	06挟まれ	2.9	3.0	2.9
	07こすり	2.9	3.2	3.1
	08EV内の閉込	3.0	2.9	2.9
Q4　事故の防止には、「設計・建設時での事前対策」と「建物管理時での事後対策」のどちらが効果的か 1：事前対策 2：どちらかといえば事前対策 3：どちらともいえない 4：どちらかといえば事後対策 5：事後対策	01墜落	2.0	1.8	1.9
	02転落	2.4	2.2	2.3
	03転倒	2.6	2.6	2.6
	04落下物	3.1	2.6	2.9
	05ぶつかり	2.9	2.6	2.7
	06挟まれ	2.7	2.7	2.7
	07こすり	2.9	2.8	2.8
	08EV内の閉込	3.4	2.8	3.1
Q5　事故は、利用者の注意によってなくなるか 1：完全になくなる 2：かなりなくなる 3：半分程度なくなる 4：少しはなくなる 5：全くなくならない	01墜落	2.1	2.0	2.1
	02転落	2.4	2.2	2.3
	03転倒	2.6	2.4	2.5
	04落下物	3.9	3.9	3.9
	05ぶつかり	2.6	2.5	2.5
	06挟まれ	2.6	2.6	2.6
	07こすり	2.4	2.5	2.4
	08EV内の閉込	4.5	4.4	4.5

質問項目		設計者（N＝100）	管理者（N＝61）	計
Q6　日常事故の防止や、情報の活用等について、あなたご自身のお考えや、所属されている企業・組織での状況 1：とてもそう思う 2：ややそう思う 3：どちらともいえない 4：あまりそう思わない 5：全くそう思わない	01情報公開で、建物は安全になる	2.1	2.2	2.1
	02情報公開で、設計者や管理者の責任が増大	2.5	2.4	2.5
	03情報公開で、利用者の不合理な訴訟が増大	2.5	2.9	2.7
	04一律の基準で予防可能	4.0	3.5	3.8
	05一律の基準で規制すべき	3.8	3.5	3.7
	06設計者や管理者は事故情報を積極的に提供すべき	2.2	2.3	2.2
	11日常事故に対する建築設計者の認識や配慮は足りない	3.0	2.9	3.0
	12社内や組織で情報は蓄積・共有、設計に活用	2.3	2.8	2.5
	13発注者は、使用条件や留意すべき危険性を十分理解	3.2	2.9	3.1
	14管理者から事故情報のフィードバックが十分に得られている	3.2	3.1	3.2
	15日常事故に配慮しすぎると、過剰設計になるので好ましくない	3.2	3.2	3.2
	21建物管理者の認識や配慮は足りない	2.5	3.5	3.0
	22事故情報は記録・蓄積	3.0	2.3	2.6
	23事故情報は設計者へフィードバックしている	3.0	3.2	3.1
	24管理者は、使用条件や危険性を十分に把握し情報を引継	3.2	2.8	3.0
	25建物保守・管理サービス会社の事故防止対策の内容や質が評価されるべき	2.0	2.3	2.1
	26事故が生じずに長期間使用されている建物は、安全	2.9	2.9	2.9

Q7　建物に関する安全性や経済性について、設計側と発注・管理側との間で、通常の設計・施工業務で協議を行っている段階全てにチェック（複数回答）

■設計者（N＝100）	企画・計画段階	基本設計段階	実施設計段階	施工実施段階	竣工・維持保全段階	検討することはない	自身の業務と関係ない・わからない
建設コスト	80.4%	85.0%	77.6%	35.5%	8.4%	0.0%	0.0%
建物の耐久性（材料選定など）	37.4%	77.6%	84.1%	50.5%	8.4%	0.0%	0.0%
建物のメンテナンス性	29.9%	67.3%	81.3%	54.2%	29.9%	0.0%	0.0%
ライフサイクルコスト	40.2%	72.9%	54.2%	25.2%	22.4%	7.5%	0.0%
防犯・セキュリティ対策	29.9%	72.9%	80.4%	43.9%	27.1%	0.0%	0.0%
バリアフリー・UD対応	42.1%	87.9%	79.4%	43.9%	13.1%	0.0%	0.9%
火災時の避難計画	34.6%	86.9%	66.4%	29.0%	18.7%	0.0%	0.9%
地震に対する安全性	39.3%	81.3%	77.6%	24.3%	12.1%	0.0%	0.9%
日常事故対策	15.9%	45.8%	74.8%	47.7%	42.1%	3.7%	2.8%

■管理者（N＝61）	企画・計画段階	基本設計段階	実施設計段階	施工実施段階	竣工・維持保全段階	検討することはない	自身の業務と関係ない・わからない
建設コスト	50.5%	43.0%	35.5%	24.7%	10.8%	1.1%	29.0%
建物の耐久性（材料選定など）	35.5%	53.8%	32.3%	21.5%	9.7%	1.1%	28.0%
建物のメンテナンス性	22.6%	37.6%	38.7%	33.3%	32.3%	1.1%	24.7%
ライフサイクルコスト	30.1%	38.7%	32.3%	18.3%	26.9%	4.3%	29.0%
防犯・セキュリティ対策	30.1%	38.7%	40.9%	35.5%	38.7%	1.1%	23.7%
バリアフリー・UD対応	34.4%	41.9%	37.6%	28.0%	18.3%	2.2%	24.7%
火災時の避難計画	31.2%	40.9%	28.0%	18.3%	38.7%	1.1%	24.7%
地震に対する安全性	37.6%	48.4%	28.0%	18.3%	24.7%	1.1%	25.8%
日常事故対策	17.2%	20.4%	25.8%	26.9%	46.2%	4.3%	26.9%

質問項目	回答項目	設計者（N＝100）	管理者（N＝61）	合計（N=161）
Q8　日常事故に対する対策や検討を行なう際に、日常の業務の範囲で実際に障害となりえるものを全てお選びください。（複数回答）	a.対策や検討にコストをかけることができない	40.0%	54.1%	45.3%
	b.対策や検討に時間をかけることができない	18.0%	19.7%	18.6%
	c.対策や検討に人を割くことができない	16.0%	24.6%	19.3%
	d.日常事故の発生実態（どこでどのように起こっているか）が分からない	52.0%	19.7%	39.8%
	e.日常事故対策に対する知識・ノウハウがない（どのように防ぐか分からない）	25.0%	29.5%	26.7%
	f.関係者の日常事故に対する意識が低い、理解がない	42.0%	14.8%	31.7%
	g.他の建物性能（メンテナンス性など）とのトレードオフ	29.0%	9.8%	21.7%
	h.その他	3.0%	4.9%	3.7%
	i. 障害となるものはない	13.0%	18.0%	14.9%
	j. 分からない／自身の業務とは関係ない	2.0%	3.3%	2.5%

2.4.3　実務者ヒアリング

①目的

本調査業務の目的は、主として不特定多数が利用する建築空間内において、利用者等が日常的な生活行動の範囲で遭遇する事故事例や、事故に至る危険性を感じた状況の事例等を収集し、それらを防止または回避することを目的とした知識ベースを構築することにある。知識ベースは、事故の防止という観点から、設計者や施設管理者などの実務者にとって有用なものであることが前提である。そこでまず、知識ベースの構成を検討するにあたって、設計実務者および建物管理者にヒアリングを行い、それぞれの視点から日常事故に対する認識や検討する知識ベースに対するニーズなどの把握を試みた。

②設計実務者に対するヒアリング

実施日時　　：平成 19 年 12 月 10 日（月）　14:30～15:30
ヒアリング対象　：アトリエ系設計事務所　　代表

◆　日常事故・安全性に対する考え方：①設計者の意識

- 安全性についてのチェック等は、かつては施工者に任せていたが、現在は設計者責任が問われ、クレームになる。設計者が自衛しなければならないと思っている。
- 広さに余裕のある計画は、安全性に関する問題が起こりにくい。

◆　日常事故・安全性に対する考え方：②施主の意識

・　施主の意識が大きく反映されるものであり、施主によって重視するか否かが大きく違う。
　例 1）民間の保育園では非常に厳しくチェックされた。
　例 2）同保育園では、斜面は本来危険だが、子供がおもしろがるから良いと判断された。
　例 3）自治体の保育園では何も言われなかったが、今まで事故は起こっていない。

・　民間の施主の場合は、安全性をリスクヘッジとして考えているので、とてもシビアである。例えば、使用者がケガをした場合に、衝突したコーナーの角が丸かったか尖っていたか、といったことが問題となる。

・　安全性が高まればコストがかかる。リスクとコストのバランス問題だが、公共的施設では補助金絡みの物件も多いので、ケガをされるよりは少しコストがかかっても安全性に配慮した方が良いと判断されることが多い。

・　博覧会のパビリオンでは、900 人が 14 分で入り捌けし、延べ 185 万人が利用する計画であったため、様々な人を想定したチェックが行われた。どのくらいの人を相手にするかで安全性への厳しさは変わってくる。

◆　保育園など公共施設の設計を行う上で、日常事故や安全性に関する情報を参考にしているか

・　施主が持っているストック（事故になりやすい設計ディテールリスト）をつぶしていく。
　例）ドア形状（指つめ防止）／コーナー形状（角が丸いか）／仕上素材（コンクリートか木か）

・　小学校の手すりを設計する際、その強度について、何を参考にして良いか不明であったため、ベターリビングの指針等を調べ、一番安全な強度を採用した。

・　博覧会パビリオンでは、ユニバーサルデザインの専門家を加えてチェックを行った。
　例）弱視の人への安全性確保から、階段の踏み面と蹴上の色を変えた。

◆　日常事故・安全性に関する情報を求めているか（どのような形で欲しいか）

・　際限なく安全性を追求するのは難しい。規制でなく、客観的なデータを示してもらい、設計者が選択できることが望ましい。
　※現在の確認申請は設備図など、提出目的が不明なものがある。
　　ただの規制強化にしか思えない。

・　数値と性能がはっきり示されていると、施主に説明しやすい。客観的なデータがないと、施主の不安感を解消できず、過剰な設計や設計変更を強いられることになりかねない。
　例）手すりの種類毎に強度が明示される等、性能を数字・根拠から選択できると良い。

・　弱視、乱視の人など、ハンディキャッパーの特性に関する細かな情報がない。
　例 1）弱視の人は明度に大きな差がないと見分けられない。
　例 2）集成材の階段は、乱視の人にとっては怖い。

・　危ない例よりも、トラテープを貼られないよう工夫している「ポジティブな例」を参考にしたい。

案）コンペをすればノウハウが集まるのではないか。

◆ 事故を防ぐための具体的な空間的工夫

- トイレのドアの指つめ防止策や、コーナー部の処理などについて、ノウハウはあり、手すり、階段、窓の高さなど、問題にならないように配慮して設計しているつもりである。
- 建築基準法やハートビル法に準拠していくことをベースとしており、それ以上の配慮はしていない。

◆ 選定材料はどの時点でどのような基準で行うか（安全性はファクターになっているか）

- 安全性の確保は技術的に難しいことではなく、ディテールへの配慮により確保される。日常的なケアの積み重ねが大切で、常にディテールを意識している。
- 床の滑りやすさについては、商業施設でシビアである。施主にサンプルを見せ、「滑らないか？」と言われた場合は、滑らないものを選択するしかない。信頼できるメーカーのカタログ表記を参考に選定するが、想定外の事故も起こり得る。
  例 1）中華料理店のように、水と油が混ざった場合には滑りやすい。
  例 2）住宅の室内でチェッカープレートを採用したら、室内履きでワックスがけの際に滑った。
  *チェッカープレート：凹凸のある縞鋼板

◆ 事故事例集への感想

- 後から思えば安全性に欠けていた、という例はある。
- 事故予防のために何にでもトラテープを貼ってしまうというのはどうか。程度問題だと思う。
- 凝って作ったものにトラテープを貼られるのは心外なので、それは避けたいと思っている。想定できる危険性は排除するよう工夫している。
  例）頭がぶつかる可能性があった斜面には、両サイドに見えないようにラバーを入れた。
- 階段を上りきった後に一段下がる設計は、水を流さないためには建築側としては当然の配慮で、事故が起こりやすいという意識は持っていなかった。

◆ 昔と今と、日常事故等に関して、施主の意識や要請などに社会的変化を感じるか

- 昔に比べ、はるかに厳しくなったと思う。姉歯問題はきっかけだが、その前から、説明責任が注目されるようになっていた。安全性欠如へのクレームは今の方が厳しく、設計者の責任と考える場合が多い。
- ここ 10 年くらいで、事故の責任は施主にあるという考え方が主流になってきたため、施主は設計者に厳しい。段差等が建築の表現であった時代もあったが、今は基準が変わってきている。
- 現在、公共建築に関しては、安全性に関する要件が過剰であると思う。根拠のないことに対する要請が多い。
  例）手すりの高さが 1,100㎜ では不可で、1,500㎜ を求めるのは、意味がないと思う。

・ ファッションビルなどでは、以前は、コスト面での問題があるので、安全性を特に重視するという傾向はなかったが（個々のテナント工事に一任していた）、近年では事故発生のリスクヘッジのため、安全性についても厳しくなっている。

◆ その他、工夫していることなど

・ 設計を進める上で、プロセスは大事である。「言った」「言わない」の問題は必ず起こるため、打ち合わせの内容は必ず議事録を取り、関係者に渡すようにしている。

・ 安全設計は、いわゆる基本設計や実施設計とは別物のディテールである。施主も見るまでわからないので、最後に設計変更等が起こらないよう、途中の段階でも見てもらって、たびたびチェックするようにしている。

③建物管理者に対するヒアリング

実施日時　：　平成 20 年 2 月 12 日（火）　13:30～14:30
ヒアリング対象　：　建物管理会社　管理事務所　所長
建物管理会社　広報センター　所長

◆ 管理事務所の役割

・ 首都圏の私鉄沿線にあるショッピングセンターの管理業務をオープンから 11 年、その後は、同沿線上の複合施設（オフィス+商業施設）の管理業務をオープンから現在まで行っている。

・ 主として設備機器の管理であり、それ以外については、オーナー側の担当部署が対応する。

◆ 日常事故の種類について

・ 設備機器系の事故に比べ、空間系の日常事故の方が生命に関わるので重大である。
※設備機器は壊れれば直すか取り替えれば良いが、転んだ、頭を打ったという空間系の事故は、怪我をされた方への保障等の費用を要する。

◆ 日常事故防止策について　①ショッピングセンター

・ オープンの年、大雪が降った。エントランス床が磨きの大理石ですべりやすく、転倒事故が発生したため、石の表面に焼きを入れ、粗面化した。

・ 店内の床も濡れれば滑りやすい。風除室にマットを敷き水を取るようにするが、土砂降りの場合は吸収しきれない。
※アーケードなど、庇を長く取ってマットを置けば、水が取れるのではないかと思う。
※マット自体がすべる場合もある。
※ステンレスの浅いスノコや、昔、店舗前などにあったタワシのマットなどが、泥、雪、雨に対し、有効だと思う。

◆ 日常事故防止策について　②複合施設

・ インターロッキングブロックの凹凸を日々点検し、常に直している（歩行の際引っかかりやすい 5㎜ 以上浮いたブロックを、掘り起こして平らに埋め戻している）。お客様からのクレームは、インターロッキングに関することがほとんどである。

・ エスカレーター横にある斜面を子供が登ることがあるため、斜面の「歩行禁止」をプレートにより示している。
※プレートが割れた場合、そのままに放置すれば、管理者が責任を問われるのだろう。
※本当は親の責任だろうが、今は、学校でも先生が責められる風潮にある。

・ 自動扉の引き込み側に人を近づけないため、柵を設けている。
※子供は入ろうとすれば入れてしまう。
※電車の扉のように作り込み過ぎると、かえって手を引き込むなどの事故を起こしてしまう可能性があり、子供の行動については対策が難しい。

◆ 日常事故防止策について　③マンション

・ エントランスの床が滑るため、滑り止めシールを貼った例はある。
※本来は滑りにくい床材にすべきだと思う。
※滑り止めシールは安くて効果的だが、はがれやすい。見た目にわかりにくい、ゆるい傾斜などに、最近はよく貼ってある（中央林間駅、青葉台駅など）。

◆ 建物の経年変化による不具合について　①ショッピングセンター、複合施設

・ 修繕には費用がかかるので、5 年先まで経年劣化を見据えておく（予測しておく）必要がある。
※機器の保障期間が切れると修繕に費用が発生する。
※施設規模が大きいので、少し部品を変えるだけで、数千万円かかる。

◆ 建物の経年変化による不具合について　②マンション

・ 25 年の長期修繕計画、2 年ごとの必要工事レポート、半年ごとの点検報告を行う。
※細かく対応すると費用が高くつくので､12 年ごとの大規模修繕でまとめて対応することが多い。

・ 週一度は点検をし、緊急性のある事項については、管理組合の理事長に報告する。
※直すかどうかは、オーナー次第である。

◆ クレームについて

・ ショッピングセンターでは、1 階受付（インフォメーション）に寄せられたクレームを、その内容から、総務が担当部署に分り振る。

・ 複合施設は駅に付属しているので、クレームは駅側に届くことが多く、広報からメールで管理事務所へ通知される。

◆ 建築設計者・設備設計者への要望等

・ オーナー側も建物管理者も、設計士が作ったから間違いないという認識だが、使っ

てみて「滑る」というようなことはある。

- たとえば、「階段が見づらい」と指摘しても、オーナー側は意匠を優先する。
  ※事故が起きれば、管理者が責任を問われることになる。
  ※発言力のある管理側の社長の一言で、改善された例はある。
- 意匠を重視して、メンテナンスへの配慮が欠けた設計例は珍しくない。
  ※ランプ交換のできない高天井への照明器具設置など。
- 地下駐車場は雪の際、下階に水漏れすることがわかっているが、簡易防水で設計される。
  ※年に何回かしかないことに対し、費用がかけられない。

◆ 日常事故情報収集について

- 設備の日常点検を行う際に、床などの不具合を見つけることはある。また、警備や清掃担当者が不具合を見つけることもあり、早い対応ができている。
  ※クレームの方が早い場合もあり、点検等のタイミングは難しい。
- 事故などの報道があった場合には情報が上がってくる。対策が必要な場合は、現場で設備機器メーカー等と対応することとなる。

◆ 日常事故対策等の情報共有化について

- 消防・設備関係の日常点検マニュアルはあるが、危険対策マニュアルのようなものはないと思う。あれば役に立つかもしれないが、守ると過剰になるのではないか。
- 新人教育のための知識集的なものはある。
  ※「ドアを開けた瞬間に、まず匂いを嗅ぎなさい」と教育している。
  匂いで異常がわかることもあるが、なれると分からなくなってしまう。

◆ 日常事故防止策について　④その他

- エスカレーターの乗り場部分が水で滑りやすいことについては、表面を粗面化するか、滑りにくいシールを貼るしかないと思う。
  ※機械室の上なので、穴を開けることができない。
- ガラスを多用していることについては、ガラスの種類選択（強化ガラス、フィルム入り複層ガラス）により、重大な事故にならないよう配慮している。ガラスに傷がある場合は必要があれば取り替える。
  ※強化ガラスの傷については、専門業者を呼び、交換の必要性について確認する
  （面上の傷は問題が少ないが、角に傷のある場合は壊れやすい）。

第３章　「建物事故予防ナレッジベース」の構築について

本章では、「建物事故予防ナレッジベース」（知識ベース）の内容について取りまとめ、紹介するものである。3.1 節では、「建物事故予防ナレッジベース」のコンセプト及びシステムの全体構成、事故事例のデータソース（出典）について紹介し、3.2 節では、ウェブサイトの全体構成として情報の関連付けを示し、ウェブサイトの各構成要素について概説している。また、3.3 節では、利用目的別の操作ガイドを記す。さらに、事故パターン一覧「空間編」を、章末参考資料として付記する。

3.1　知識ベースの構成

3.1.1　知識ベースのコンセプト

社会の高齢化を反映し、建物の廊下で転ぶ、階段を転落するといった建物内での事故が増加しており、人口動態統計に基づいて行った試算によれば、それらの死者数は、今後、交通事故の死者数にも匹敵していくことが推定される状況となっている。

そうした事故は、建物の利用者の不注意で生じるケースもあるが、建物の設計者、管理者の責任による場合もあり、事故の事例をみると、利用者、設計者、管理者が、それぞれ、事故の危険性を認識し、少し配慮をするだけで本知識ベースは、こうした建物内やその周辺での、人々の日常生活でおきる事故を予防するため、ウェブサイト上で事故事例や安全対策、主な事故パターンに係る情報などを紹介するものである。

また、この知識ベースでは、収集した情報を提供するだけでなく、建物の利用者からの事故情報や、設計者、管理者による、建物を設計する上での工夫例や失敗例、建物を実際に管理していく上での工夫例や失敗例などの情報提供を受け付ける窓口機能も兼ね備えている。

＜本知識ベースで紹介する事例等の取り扱い方法等について＞

- 本知識ベースは、日常生活時の事故を対象としており、地震時、火災時等の特別な状況を対象としていない。
- 現時点において、住宅における事故については、マンション等の共有部分の事故を対象としているが、戸建て住宅やマンション等の専有部分における事故は、原則としては対象としていない。
- 建物における事故は、それぞれ原因や責任関係について個別の事情があり、本知識ベースで紹介する事例は、他の事故にそのまま当てはまるものではない。
- 本知識ベースで紹介する事例等で、行政的な対応が必要となる情報は、関係する行政機

関に情報提供する。

3.1.2　システム構成

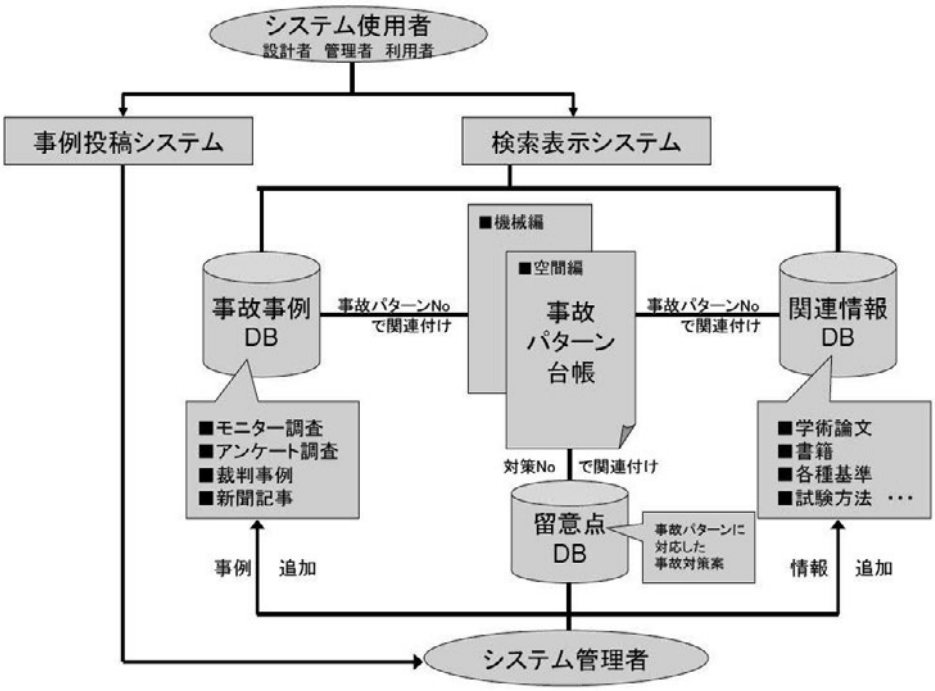
本項では、本知識ベースの基礎的な構成情報として、システムの概要、用語の説明、事故事例のデータソースについて整理する。

①システム概要

本知識ベースは収集・整理された「事故事例」および「関連情報」等のデータをウェブサイト上で検索・閲覧することができるユーザー生活行動安全知識ベースである。この知識ベースは、建築設計者や施設管理者を主なユーザー対象として、知識ベースにある事例の検索及び閲覧機能と、閲覧者による事例の投稿機能により、双方向的に情報を参照することができるものである。

システム構成図を図 3.1.1 に示す。収集された「事故事例」および「関連情報」等のデータは「事故パターン」及び「対策」で関連付けすることで、ユーザーが検索すれば関連する全ての情報が引き出せる構成としている。

また、事故事例などのデータは今後も随時追加更新されることが予想されるため、「事例投稿システム」より随時投稿できるようにし、投稿されたデータはシステム管理者によって新たに「事故事例データベース（以後、事故事例ＤＢ）」等のデータベースに追加することができるものとなっている。



②用語の説明

1）事故種別

用語	説明
墜落	ベランダや高所から落下すること
転落	階段から転がり落ちること
転倒	床の上で転ぶこと
落下物にあたる	上から落ちてきた物にあたること
ぶつかり	建物の部位や人に体をぶつけること
挟まれ	ドアや窓などの可動部に挟まれること
こすり	壁や体をこすること
鋭利物にふれる	割れたガラスやとがったものに触れること
その他	火傷・感電・溺水など

2）傷害の程度

用語	説明
ヒヤリハット	事故は起きなかったが、ヒヤリとした
ケガはしなかった	治療を要するようなケガはしなかった
軽度のケガ	自分で治療する程度のケガをした
中度のケガ	通院が必要なケガをした
重度のケガ	入院が必要なケガをした
死亡	治療の甲斐無く亡くなった

3）建物用途

用語	説明
店舗・娯楽施設等	物販店、飲食店、百貨店、ショッピングセンター、映画館、劇場など
住宅等	集合住宅の共用部など（ただし、住宅内部を除く）
公共施設	公民館、役所など

4）事故にあった方

用語	説明
子ども	乳幼児・小学生
高齢者	おおむね 65 歳以上の方
障害のある方	足、目、耳の不自由な方など
その他の方	おおむね 13 歳～65 歳未満の一般成人

③事故事例データソース（出典）

このウェブサイトで検索ができる事故情報は次の５つより収集した情報である。一般調査（画像有り・無し共に）は独自に収集した情報で、その他のものは各関連団体の情報を収集したものとなっている。データの詳細については、巻末参考資料３を参照されたい。

１）一般調査（画像無し）

平成 18 年（2006 年）10～11 月に実施されたインターネットによるアンケート調査の回答を元にしている（国総研から調査会社に調査を依頼）。調査では、10 代から 90 代の男女 1000 人の方を対象に（男性 48%、女性 52%）、遭遇した（遭遇しそうになった）事故について、怪我の種類、程度、事故の状況などについて回答させたものである。

２）一般調査（画像有り）

国土技術政策総合研究所から調査会社に調査を依頼し、調査会社に登録しているモニターが、調査期間中に遭遇した（遭遇しそうになった）事故について、写真を添えてその概要を回答させたものである。以下に示す３回の調査を行っている。

第１回調査：平成 19 年 2～3 月、参加者数 45 名

第 2 回調査：平成 19 年 10～11 月、参加者数 168 名

第 3 回調査：平成 20 年 12～平成 21 年 2 月、参加者数 228 名

３）新聞記事

2001 年から 2007 年までに、読売新聞、朝日新聞（それぞれ地方版を含む）に掲載された建物に関する事故の記事を収集したものである。

４）裁判判例

「最高裁判所裁判例情報」および、「判例秘書（市販データベース）」より、建築物事故に関する判例について、当ウェブサイトの主旨と合致したものを専門家（弁護士）に依頼し抽出したものである。

※「最高裁判所裁判例情報」URL；

http://www.courts.go.jp/search/jhsp0010?action_id=first&hanreiSrchKbn=01

５）学校事故事例

内田良氏（愛知教育大学教育学部講師）が主宰する「学校リスク研究所」（http://www.geocities.jp/rischool_blind/）に公開されている転落事故データベース（日本体育・学校健康センター『学校の管理下の死亡・障害』1998-2001 年、日

本スポーツ振興センター『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』2002-2006 年、より転落事故を抜粋したもの）に掲載されている事故事例を収集したものである。

※「学校リスク研究所」URL；　http://www.geocities.jp/rischool_blind/

3.2　ウェブサイトの構成

本ウェブサイトは事故事例および関連情報の検索、事故パターン一覧などの閲覧ページから構成されている。ウェブサイトのトップページ、構成をそれぞれ図 3.2.1、図 3.2.2 に示す。

全てのページにはトップページより閲覧等ができるようになっており、ウェブサイトの主要構成部分となる①事故パターン、及び②事故事例・関連情報、に関しては、必要に応じ相互リンクが設けられている。以下、図 3.2.1、図 3.2.2 中の①～⑥の番号順に、ウェブサイトの各構成要素について概説する。

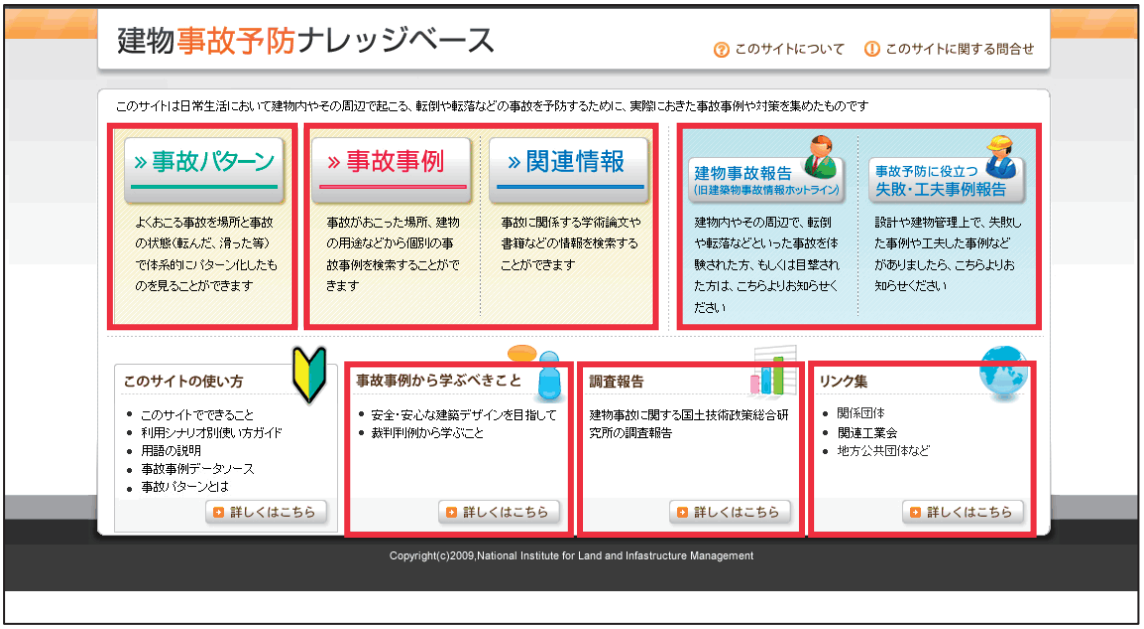


図 3.2.1　トップページ

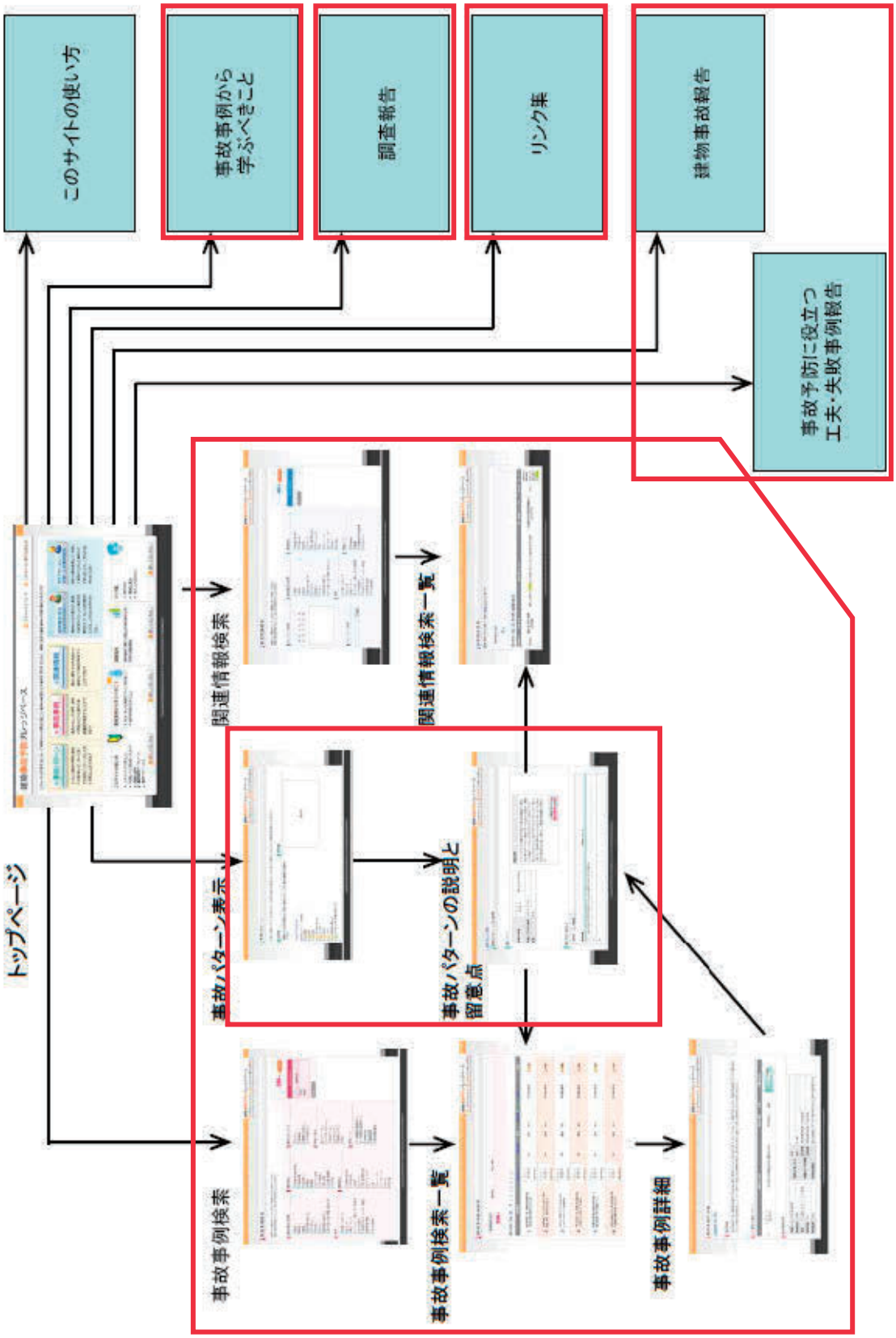


図 3.2.2　ウェブサイトの全体

①事故パターン

①「事故パターン」では、社団法人建築研究振興協会発行「安全情報共有に関する運用手法の検討報告書」（平成 18 年 2 月）および、建築技術平成 19 年 11 月号「建築に関する事故の種類と実態」を参考に、よく起こる事故についてその発生パターンを空間編と機械編の２つの区分で類型化したものの中から、ユーザーが必要とする情報を自由に閲覧することができる（図 3.2.3～図 3.2.5）。さらに、それぞれの事故パターンに対応して、設計や工事などの建設段階及び竣工後の施設運用などの管理段階の２段階における事故防止方策について記述している。表 3.2.1 にその一例を示す。

ここには、事故のパターン別に事故を予防するための対策案が掲載されているので、建物設計時や建物管理時に、事故が発生しそうな箇所のチェックリストとしても活用することができる。

また、当該ページには、適宜②「事故事例・関連情報」等の関連するページへのリンクが設けられており、ユーザーが必要とする情報を網羅することができるインターフェイスとなっている。

なお、当該事故パターン情報の全容については、章末参考資料「事故パターン一覧『空間編』」を参照されたい。

＜参考＞

空間編

空間のつくりが主な原因となって起きた事故のパターンである。

事故の発生プロセスに着目し「事故のきっかけ」→「事故につながる動作」→「結果」という３つの段階に分けて類型化している。「事故のきっかけ」とは事故の一義的な原因である建築的な不具合を、「事故につながる動作」とは前者によって引き起こされる人間の行動を、「結果」とは転落や墜落といった最終的に陥る事故の種類を指している。このようにプロセスに分解して整理することにより、１つの事故種別が複数のきっかけにより引き起こされていることが体系的に理解できるものと考える。

表 3.2.1　事故パターン別事故予防の留意点（例）

（例１）事故パターン	転倒（床の上で転ぶこと）＞すべる＞（床の）濡れ
事故予防の留意点	
建設段階の留意点	(1)　濡れても滑りにくい床材を使用する。 (2)　雨がかりとなる場所、濡れた靴、傘などが持ち込まれる場所を設計時に把握し、対策を講じる。 (3)　濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。
管理段階の留意点	(1)　濡れやすい・滑りやすい場所を把握し、雨天時には拭いて乾燥させるなどの適切に管理するとともに、仕上げ材の変更を検討する。 (2)　濡れた靴や傘などが持ち込まれないよう、マットや傘立てなどの措置を講じる。 (3)　濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。
（例２）事故パターン	ぶつかり＞体を動かして静止部分にぶつかる＞ガラス
事故予防の留意点	
建設段階の留意点	(1)　人が通り抜けようとしやすい動線上に、全面ガラスの壁は設けない。 (2)　ガラスが識別しやすい計画、意匠とする。
管理段階の留意点	(1)　ガラスに人が近づかないようにする。例）手前に手すりを設ける。 (2)　注意喚起を行う。 例）目印を貼る。一部を曇りガラスにする

図 3.2.3　事故パターン表示の例（図 3.2.2 中【①-1】）

図 3.2.4　事故パターン表示の例（事故種別のフォルダを開いたもの）（図 3.2.2 中【①-1】）

建物事故予防ナレッジベース

このサイトについて　このサイトに関する問合せ

←事故パターンへ戻る

事故パターンの説明

事故パターン

事故の原因		濡れ
事故につながる動作	すべる	
結果	転倒（床の上で転ぶこと）	

事故の例
雨が降っていて、会社の玄関前の石畳が濡れていて、滑った。
この事故パターンによる事故事例を検索

事故予防の留意点

建設段階の留意点

(1)	濡れても滑りにくい床材を使用する。
(2)	雨がかりとなる場所、濡れた靴、傘などが持ち込まれる場所を設計時に把握し、対策を講じる。
(3)	濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。

管理段階の留意点

(1)	濡れやすい・滑りやすい場所を把握し、雨天時には拭いて乾燥させるなどの適切に管理するとともに、仕上げ材の変更を検討する。
(2)	濡れた靴や傘などが持ち込まれないよう、マットや傘立てなどの措置を講じる。
(3)	濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。

予防関連キーワード

濡れ／床のかたさ／すべり／

この対策キーワードで関連情報を検索

Copyright(c)2009,National Institute for Land and Infastructure Management

図 3.2.5　事故パターンの説明と留意点（図 3.2.2 中【①-2】）

②事故事例・事故関連情報

②「事故事例・関連情報」では、発生した個別の事故事例に関する情報（下記、事故事例）及び事故に係る学術論文や書籍などの情報（下記、関連情報）を検索・閲覧することができる。(図 3.2.6～図 3.2.10)。当該事故事例の全容については、章末参考資料「事故パターン情報データベース」を参照されたい。

また、当該ページには、適宜①「事故パターン」等の関連するページへのリンクが設けられており、ユーザーが必要とする情報を網羅することができるインターフェイスとなっている。

事故事例：発生した個別の事故情報を検索し、閲覧することができる。本ウェブサイトでは、公共施設等で発生した事故を中心に取り扱っている。住宅等については、原則、居室での事故は対象とせず、集合住宅の廊下やロビー等といった共用部分についてのみ扱っている。

関連情報：学術論文や書籍、各団体の基準や評価指標、ホームページ等の情報を検索し、閲覧することができる。キーワードやフリーワードによる検索も可能である。

図 3.2.6　事故事例検索（図 3.2.2 中【②-1】）

図 3.2.7　事故事例検索一覧（図 3.2.2 中【②-2】）

図 3.2.8　事故事例の詳細（図 3.2.2 中【②-3】）

図 3.2.9　関連情報検索（図 3.2.2 中【②-4】）

図 3.2.10　関連情報検索一覧（図 3.2.2 中【②-5】）

③事故事例から学ぶべきこと

③「事故事例から学ぶこと」では、事故事例より学ぶべきこととして、事故につながる人間行動や建物における危険箇所の具体的事例を概観し、建物設計時に日常災害の防止に役立てることができる「安全・安心な建築デザイン」および建物内等で発生した事故に伴う過去の裁判事例を概観し、コンプライアンス、リスクマネジメントの参考となる「裁判判例」を取り上げている。なお、本稿の全容については、巻末参考資料４を参照されたい。

安全・安心な建築デザイン：事故につながる人間行動や建物における危険箇所の具体的事例を概観し、建物設計時に日常災害の防止に役立てることができる。

裁判判例：建物内等で発生した事故に伴う過去の裁判事例を概観し、コンプライアンス、リスクマネジメントの参考となるものである。

④調査報告

④「調査報告」では、建物事故に関する国土技術政策総合研究所の調査報告を閲覧できる。報告の内容としては、公共的空間における転倒・転落事故死者数を表す指標や将来の転倒・転落事故死者数予測などがある。

⑤リンク集

⑤「リンク集」では、関係団体、関連工業界、地方公共団体など、日常災害に関連するウェブサイトを閲覧できる。表 3.2.2 にその一例を示す。

⑥建物事故報告及び事故予防に役立つ失敗・工夫事例の報告

本ナレッジベースでは、各種データソースから収集した事故情報を掲載し、それらの事故をパターン化した上で、それを防止するための留意点について記載している。

そこで、⑥「建物事故報告及び事故予防に役立つ失敗・工夫事例の報告」では、さらに日常事故事例及び日常事故を予防するための方策を充実させるために、転倒や転落などといった事故の体験・目撃情報及び設計や建物管理上で失敗した事例や工夫した事例などを報告することができる。

以下、「事故予防に役立つ失敗・工夫事例の報告」（プロ向け投稿ページ）に係るウェブサイトの入力画面の詳細について示す。（図 3.2.11~図 3.2.13）

表 3.2.2　リンク集（例）

各種試験法・評価基準	
防火設備危害防止（ガイドライン・基準、Q&A）	(社)日本サッシ協会
耐熱板ガラス品質規格	(社)カーテンウォール・防火開口部協会
各種協会・工業会	
(財)日本建築防災協会	–
(財)日本建築設備・昇降機センター	–
国土交通省関連	
建築物等における事故・災害対策について	国土交通省
エレベーター事故対応関係	国土交通省
住宅の事故	
くらしの安全情報サイト（高齢者）	東京都
家庭内の事故防止	大阪市立住まい情報センター
地方公共団体の取り組み	
安全・安心な建物、宅地のページ	大阪府
埼玉県建築物安全安心実施計画に関すること	埼玉県
エレベーター・エスカレーター	
安全・快適にご利用いただくために	(社)日本エレベーター協会
エスカレーターに係わる事故防止対策検討委員会	東京消防庁
建築物の事故	
建物の安全・安心	(財)東京都防災・建築まちづくりセンター
(財)神奈川県建築安全協会	–
子どもと事故	
屋外遊具による事故を防ぐ	国民生活センター
CIPEC	子どもの傷害予防工学カウンシル

※項目毎に 2 例ずつ抜粋

「建築事故予防ナレッジベース」
投稿サイト

■「工夫・失敗事例」の概要についてお答えください

●場所 ※必須	工夫・失敗事例がある場所はどこですか。当てはまるものを1つ選択してください。 ○室内　○回転扉 ○廊下・通路　○窓 ○階段　○段差・スロープ ○エスカレーター　○ベランダ ○エレベーター　○塀・外壁 ○その他リフト等の昇降設備　○看板等の屋外設置物 ○開き戸　○ジェットコースター ○引き戸　○ウォータースライダー ○自動ドア　○その他の遊園地等の乗り物 ○シャッター　○不明・その他
●施設の用途 ※必須	工夫・失敗事例がある施設の用途について、当てはまるものを1つ選択してください。 ○住宅等（一戸建住宅、マンション、アパート、寮・寄宿舎） ○店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、飲食店など） ○事務所等 ○ホテル・旅館 ○娯楽・風俗施設 ○公共施設 ○学校 ○病院 ○工場・倉庫等 ○駅・空港 ○不明・その他
●想定されたけがの原因	けがの原因と想定できるもので、当てはまるものを全て選択してください。 □転倒しそう □転落しそう □墜落しそう □衝突しそう □挟まれそう □落下物にあたりそう □こすりそう □ぶつかりそう □鋭利なものにふれそう □不明・その他

図 3.2.11　入力画面 1

●具体的な「工夫・失敗事例」の概要をご記入ください。※必須

●「工夫・失敗事例」の具体的な図面、写真などをPDFに変換しアップロードしてください。
図面や写真が複数ある場合は、1つのPDFファイルにまとめて、アップロードしてください。

参照

■貴方のことを教えてください

●職業等 ※必須	○ビルメンテナンス業者 ○不動産業者 ○建物所有者 ○建築設計者 ○建築施工者 ○官公庁営繕部局 ○上記以外の方 ○その他（　　）

◆事例の詳細について問い合わせ等をさせていただける場合は、以下をご記入ください。

●お名前

●連絡先　都道府県　（指定しない）
市区町村
町名・番地
電話番号
E-mail

戻る　リセット　次へ（入力内容確認）

図 3.2.12　入力画面 2

●投稿完了いたしました。ありがとうございました。●

以下の内容で投稿されました。
このページを印刷し、保存しておくことをお勧めいたします。

印刷

事故の概要について		
発生場所※	段差・スロープ	
施設の用途※	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、飲食店など）	
想定されたけがの原因	転倒しそう	
工夫・失敗事故事例の具体的な内容について※		
友人が〇〇商店の敷地内で転倒し、手をすりむいた。 商店の敷地内には、斜面があり、しかも芝が敷いてある。当日は雨だったせいもあり、大変滑りやすくなっていた。		
アップロードしたファイル	工夫.pdf	
貴方のことを教えてください		
職業等※	建築関係者	
お名前	事故太郎	
連絡先	都道府県	東京都
	市区町村	中央区
	町名・番地	築地2-14-1
	電話番号	03-5565-6291
	E-mail	test@test.com

閉じる

図 3.2.13　完了画面

3.3　利用シナリオ別使い方ガイド

（ｉ）ある用途の建物で起こった事故をチェックする

＜建物用途で検索する＞

①事故事例検索画面を開き、「建物用途」の調べたい用途をチェックし、一覧表示をクリックする（ここでは「学校」と「病院」を選択）。

図 3.3.1　事故事例検索画面の使い方①

※事故事例は「建物用途」だけではなく、「場所」や「建築部位」「情報ソース」で絞り込み検索をすることができる。チェックしたい箇所を選択し、一覧表示をクリックする。

②「事故事例検索結果」に該当する事例が表示される。各事例の詳しい情報を知りたい場合は詳細ボタンをクリックする。

図 3. 3. 2　事故事例検索画面の使い方②

③「事故事例の詳細」が表示される。さらにこの事故の事故パターンとその留意点を見たい場合は事故パターンの詳細と留意点を見るをクリックする。

図 3. 3. 3　事故事例検索画面の使い方③

（ⅱ）よくある事故パターンから事故事例をみる

①事故パターンリスト画面を開き、左側にある 事故パターン 「空間編」の事故種別の一つをクリックする（ここでは「転落」を選択）。

図 3.3.4　事故パターン画面の使い方①

②「転落」するには「すべる」から「(人に) ぶつかる」までの５つの原因があることがわかりる。

さらに、「ぐらつく・ふらつく」をクリックすると詳細の原因が表示され、「ぐらつく・ふらつく」転落の原因は「滑り止めの不具合」、「水平でない踏面」であり、このいずれかをクリックすると、該当する事故原因を見ることができる。

図 3.3.5　事故パターン画面の使い方②

（ⅲ）事故防止に役立つ各種基準を見る

①関連情報を検索する

ここでは事故種別や場所、建物部位、情報ソースの一覧から該当する項目の情報一覧表示をすることができるほか、キーワード検索、フリーワード検索をすることができる。

②目的に適した検索方法を活用し、必要な情報を得る

＜各一覧から検索する＞

ａ）下の図の赤い四角で囲われた部分から、調べたい項目をチェックし、一覧表示ボタンをクリックする（ここでは事故種別：「墜落」・「転倒」。情報ソース：「学術論文」とし、学術論文の中の「墜落」と「転倒」に関係する論文を検索している）。

図 3. 3. 6　関連情報検索画面の使い方①

＜キーワード検索をする＞

ａ）下の図の赤い四角で囲われた部分から、調べたいキーワードの頭文字をクリックする。

図 3. 3. 7　関連情報検索画面の使い方②

ｂ）例えば、「床材料」を調べたい場合、「や」をクリックすると下の図のように表示される。

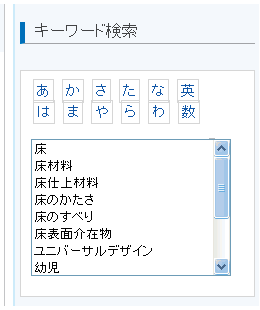


図 3. 3. 8　関連情報検索画面の使い方③

ｃ）さらに「床材料」をクリックすると右側に該当する関連情報の件数が表示されるので、一覧表示をクリックすると、著者や掲載誌などの情報がわかる。

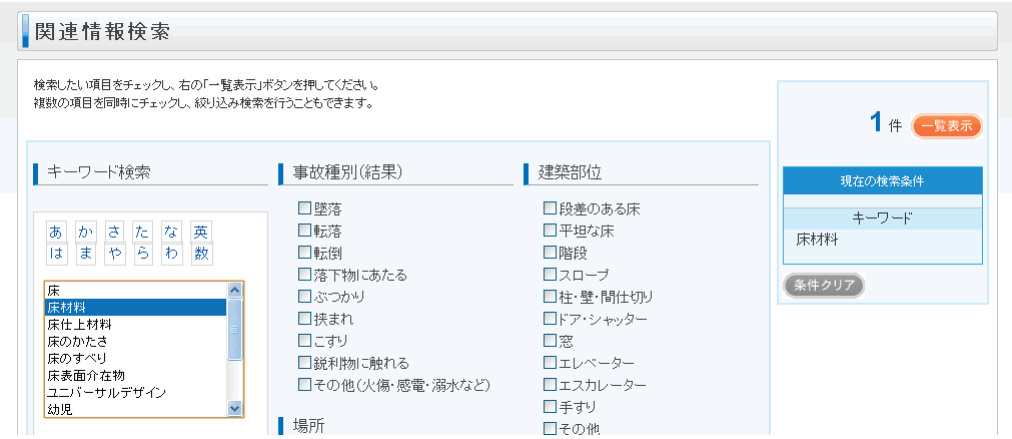


図 3. 3. 9　関連情報検索画面の使い方④

＜フリーワード検索をする＞

ａ）下の図の赤い四角で囲われた部分から、調べたい言葉を入力し、検索ボタンをクリックする。

ここでは「床」を入力している。

図 3. 3. 10　関連情報検索画面の使い方⑤

b）次のページではキーワードが「床」に該当する論文等の関連情報が表示される。

建物事故予防ナレッジベース
このサイトについて　このサイトに関する問合せ

対策関連情報

書籍に関するさらに詳しい情報は検索サイトをご覧下さい

検索条件へ戻る

35 件

表示件数: 10件　表示順: 情報媒体順　1 2 3 4 >>

情報媒体	著者・作者	書籍・論文タイトル	発行、掲載誌、ページ等	発行年	キーワード
学術論文	福田仁美 岩井今朝典 直井英雄	玄関上り框部分の床材料および段差寸法により生ずる違和感に関する実験	日本建築学会学術講演梗概集E-1 pp. 699-700	1995/7	違和感・経験的要素・玄関上がり框・段差寸法・床材料
学術論文	小野英哲 高橋宏樹 泉 譲太 高橋成明	高齢者の安全性からみた床および斜路のすべりの評価方法	日本建築学会構造系論文報告集 NO.484 P.21	1996/6	安全性・高齢者・斜路・すべり・評価方法・床
学術論文	小野英哲 落合 昇	素足での床のすべりの評価方法に関する研究	日本建築学会構造系論文報告集 NO.537 P.21	2000/11	新たなすべり片・素足・すべり抵抗・評価方法・床のすべり
学術論文	小野英哲 高橋宏樹 安田 稔 国生正人	疲労からみた床のすべりに関する考察	日本建築学会構造系論文報告集 NO.531 P.27	2000/5	バイオメカニクス・評価方法・疲労・床のすべり
学術論文	井戸川純子 小野英哲	安全性からみた手と床・壁のすべりの相対的評価方法(副題:手のすべりからみた建築部位・部材の安全性の評価方法に関する研究(その3)	日本建築学会構造系論文報告集 NO.526 P.25	1999/12	壁・すべり・妥当性・手・床
学術論文	小野英哲 及川夕季	安全性からみた床のすべりの視覚判断の妥当性に関する研究	日本建築学会構造系論文報告集 NO.514 P.43	1998/12	安全性・介在物・視覚判断・すべり・評価方法・床
学術論文	小野英哲 井戸川純子 吉田佳代	安全性からみた床と敷物のすべりの評価方法に関する研究	日本建築学会構造系論文報告集 NO.503 P.29	1998/1	敷物・すべり・すべり・評価方法・床のすべり
学術論文	佐々木直人 有川 智 三橋博三 野村希晶 小野英哲 三上貴正	床仕上材料のすべりやすさと歩行特性の関係に関する基礎的研究	日本建築学会構造系論文報告集 NO.501 P.19	1997/11	主成分分析・心理学的尺度・歩行動作・歩行特性・床仕上材料
学術論文	高橋宏樹 磯田信賢 小野英哲	足元の安定性からみた床および路面のかたさと凹凸の相対的評価方法に関する基礎的検討	日本建築学会構造系論文報告集 NO.494 P.37	1997/4	足元の安定性・凹凸・かたさ・評価方法
学術論文	小野英哲 井戸川 純子 高橋宏樹 Choi Sookyung	杖のすべりからみた床の相対的評価方法に関する基礎的研究	日本建築学会構造系論文報告集 NO.483 P.11	1996/5	すべり・相対的評価方法・杖

Copyright(c)2009,National Institute for Land and Infastructure Management

図 3. 3. 11　関連情報検索画面の使い方⑥

（ⅳ）裁判事例から責任関係を見る

①事故事例検索画面を開き、「情報ソース」の「裁判判例」をチェックし、「一覧表示」をクリックする。

図 3. 3. 12　裁判判例閲覧時の事故事例検索画面の使い方

②「事故事例検索結果」に掲載されている事故事例の「詳細」ボタンのうち、どれか一つをクリックすると、「事故事例の詳細」ページに移動する。特に、「事故事例の詳細」ページの下の四角で囲った部分に「瑕疵あり」と表示されていると裁判で設計者の責任が問われた事例となる。

建物事故予防ナレッジベース
このサイトについて　このサイトに関する問合せ

事故事例の詳細

←検索結果一覧へ戻る

事故概要

飲食店2階宴会場窓から酔客が転落し死亡した事故

判例の詳細

責任の所在

瑕疵あり

・宴会用に座敷を提供して酒類を提供する場合、通常の運動能力・注意力等が減退する酔客に対し危険を防止すべき設備を講じる義務がある。

・本件窓は、床から36センチの高さにある。

・手すりは設置されていない。

過失相殺

5割

・飲食店2階で宴会をする場合、窓から転落しないよう注意すべき義務があること

・被害者は酒によって寝ており、目が覚めた直後の事故であること

この事故の事故パターン

	事故のきっかけ		事故の過程	結果	詳細と留意点
1	人の立ち入りが想定される場所(ベランダなど)	イラスト準備中	手すりがない	墜落	事故パターンの詳細と留意点を見る

事故概要詳細

情報ソース	裁判判例
建物用途	店舗・娯楽施設等
場所	その他室内
建築部位	窓
障害程度	死亡

事故にあった方	年齢	
	性別	
考慮すべき事柄	設計段階	空間構成／利用者属性配慮／危険箇所の放置／安全教育／
	管理段階	空間構成／利用者属性配慮／危険箇所の放置／安全教育／
利用者要因		酔っていた

判例の解説

事案の概要

大学4年生が居酒屋において学友21名と共に懇親パーティを開催中、居酒屋の二階座敷の窓から表通りのアスファルト路上に転落し、死亡した。居酒屋の二階座敷の窓は、床上37センチメートルの高さであるにもかかわらず、手摺り(窓柵)がなかったことから、被害者の遺族が建物所有者でもある居酒屋経営者に対し、工作物責任に基づく損害賠償を請求した事案である。

なお、居酒屋経営者は、事故発生二日後、右窓には横270センチメートル縦47センチメートルの鉄製の手摺りが取付けた。

裁判所の判断

裁判所は、

① 一般に飲食店において宴会用に顧客に座敷を提供して、ビール、酒等のアルコール類を供する場合、飲食店の経営管理に当るものは、顧客の中には飲酒のため通常の場合より運動能力、注意力等が減退するものがあるから、その者等の動作上における危険を防止すべき設備を講じておくべきであるとし、

② 本件の窓はその高さが床から36センチメートルで、そのままアスファルト道路に面しているのだから酔客の動作する二階座敷の窓としては転落の危険性があり、それを防止するためには右窓の床上からの高度を一段と高め、あるいは手摺りの設備等の必要があったと考えられるから、右窓の高度は安全性を欠いていたものであって、所有者・占有者である居酒屋経営者には、工作物の設置に瑕疵があると認定した。

③ ただし、被害者は当時大学4年ですでに成人としての注意力、判断力等が備わっていたのであるから本件のような飲食店の二階で懇親パーティを行う場合窓から転落しない

ように自らも注意する義務があるとして、過失相殺(5割)している。

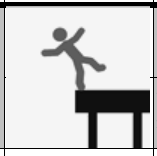
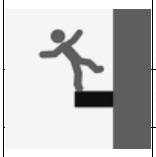
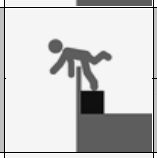
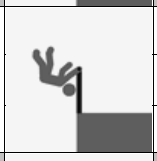
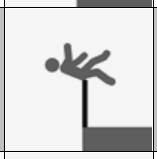
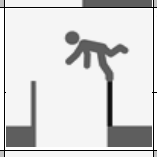
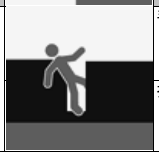
事件番号・判例時報	昭和41年(ワ)990
裁判年月日	昭和43年8月28日
事件名	損害賠償請求事件
裁判所名・部	名古屋地裁
判示	

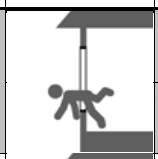
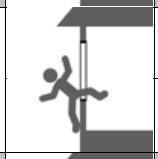
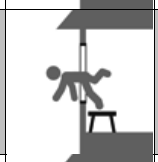
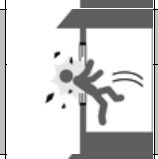
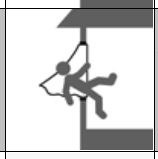
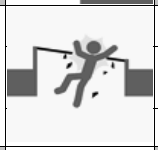
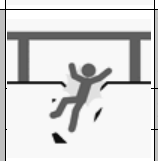
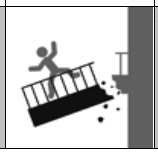
原審事件番号	
原審裁判所名	
原審結果	
被害者	利用客
天候等の状況	

Copyright(c)2009,National Institute for Land and Infastructure Management

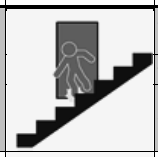
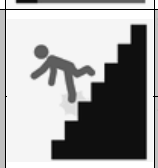
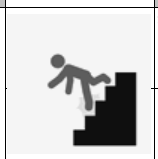
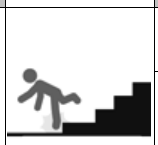
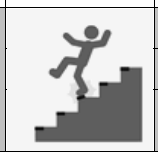
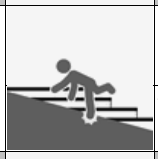
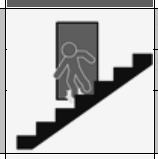
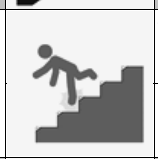
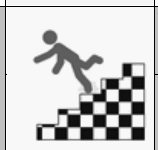
図 3. 3. 13　裁判判例閲覧時の事故事例詳細の見方

章末参考資料　事故パターン一覧　「空間編」

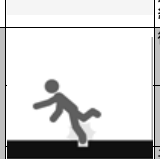
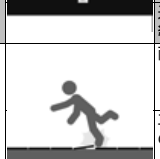
事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
墜落	手すりなどがなく落ちる	（人の立ち入りが想定される高所）		人の立ち入りが想定される高所には、適切な高さ、形状、強度の手すりを設ける。	人が立ち入る可能性のある高所を把握し、手すり等の未設置、不具合がないかを確認する。
				屋上などでは、人が手すりを乗り越えた場合でも、直ちに墜落しないように、手すりの向こう側にも床面が残るような位置に手すりを設置する。	
		（人の立ち入りが想定されない高所）		利用を想定しない高所には人の立ち入りを防止する措置を講じる。例）手すりのない屋上への出入り口には錠を設ける。奥行きのある庇に面した窓は庇に人が出入りできない開口形式とする。	想定外の高所に人が立ち入っている形跡がないか、定期的に確認する。
				容易に屋根等の高所に人が登れるような構造、形状としない。例）搭屋等のタラップは人の手の届かない高さから設置する。庇は人が乗れないよう傾斜した形状とする。	高所には、人に立ち入らせないような措置を講じる。例）屋上への出入口を施錠管理する。
					人が立ち入らないよう注意・警告、安全教育を行う。例）張り紙、サイン掲出など。
	手すりなどの上を越える	低い手すり・柵・腰壁など		状況に応じた適切な高さの手すり・柵を設ける。	手すりの高さを確認し、乗り越えられそうな場合には、適切な対策を講じる。
				バルコニー上にすのこなどを敷かれる場合も想定する。	人が乗り越えないよう、必要に応じて注意・警告、安全教育を行う。例）張り紙、サイン掲出など。
		足がかりになる形状		足がかりにならない形状とする。例）縦さんとする。窓台やバルコニーの立ち上がり部分は、足がかりとならないような高さとする。	手すり・柵に足がかりとなる形状がないか確認し、足がかりとなる形状である場合には、適切な対策を講じる。
				足がかりがある場合は、その上端から必要な高さの柵を設ける。	
		足がかりとなるものを置く		設備機器などをバルコニーに設置する場合は、手すりから十分に離す。	バルコニーの近辺に足がかりとなるようなものが設置されていないか、定期的に確認する。
				建物利用者が室外機などを手すり近くに設置しないように、設置場所を指定するなどの対策をあらかじめ講じておく。	建物利用者が室外機などを手すり近くに設置しないように、設置場所を指定する。
		手すりで遊ぶ		手すりに登って遊べないような形状とする。例）手すり上端の幅を狭くする。	手すりで遊べるような場所を把握、確認し、必要に応じて注意・警告を行う。
				階段の手すりはすべって遊ぶことのないような形状とする。	利用者（児童・生徒など）に対する安全教育を行う。
				階段の井戸になる部分には、墜落防止策を施す。例）ネットを張る。	
		手すりの上に腰掛ける		手すり上端は腰掛けられない形状とする。	手すりに腰掛けられるような場所を把握、確認し、必要に応じて注意・警告を行う。
		故意に乗り越える		特に子どもが利用する施設では、状況に応じて、落下時の傷害を軽減するため直下部の仕上げを柔らかくするなどの措置を取る。例）植え込みを設ける。また、2次災害に配慮し、直下部は人が通らないようにする。	利用者（児童・生徒など）に対する安全教育を行う。
				手すりを乗り越えさせないような工夫をする。例）天井までのFIXガラスとする。	
	（手すりなどを）押し倒す	手すりなどの強度不足		適切な強度で、耐久性のある手すりを設ける。	手すりの劣化、損傷、ぐらつきなどがないか、定期的に確認する。
				走ってぶつかる、複数人で押すなどの行為も想定して設計する。	
	手すりなどの隙間をすり抜ける	手すりにすき間がある		手すり子の間隔は幼児の頭が通り抜けない幅とする。	手すり子および足元部分のすき間を確認し、適切な対策を講じる。
				抜け落ちが起こらないよう足元部分のすき間も狭くする。	

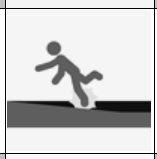
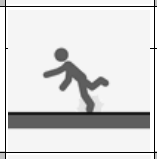
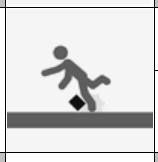
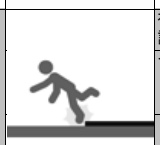
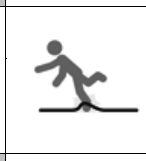
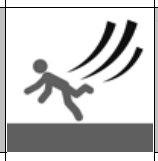
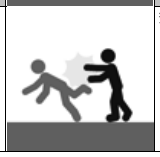
事故パターンと事故予防の留意点				2010年6月	
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
墜落	窓から落ちる	窓枠が低い		腰壁（下枠）の低い窓を設ける場合には、人が墜落することのないよう窓の開閉形式、開口幅に配慮する。	腰壁の低い箇所で、かつ、手すりが設けられていない場所がないか確認する。
				腰壁が低い場合には墜落防止用の手すりを設ける。	腰壁が低い場合には墜落防止用の手すりを設ける。
		窓枠にのぼる・腰掛ける		容易に腰掛けられる高さ、形状の窓には墜落防止用の手すりを設ける。	利用者（児童・生徒など）に、窓から身を乗り出せば墜落する可能性があることを教育する。
				墜落防止用の手すりはそれ自体が足がかりになって登られることのない形状とする。	
		椅子・机などにのぼる		ー	利用者（児童・生徒など）に対する安全教育を行う。
		窓際の据え付け家具などにのぼる		窓のそばには、足がかりとなる据え付け家具を設置しない。	足がかりとなる据え付け家具がある場合は撤去するか、上に上らせない対策を講じる。
		ガラスを突き破る		適切な強度のガラスを用いる。	人がぶつかる可能性のある箇所を把握し、適切な対策を講じる。
				特に大きな面積の窓は、割れることのない対策を講じる。例）合わせガラス、強化ガラスを用いる。強化フィルムを貼る、ガラス以外の素材を用いる等。	
		窓枠が外れる		強度、耐久性に十分配慮する。	窓枠にがたつきがないか、窓の開閉がスムーズにできるか、脱落の危険性が無いか確認する。
		カーテンなどで窓が開いていることが分からない		暗幕をはじめ、透過性の低いカーテンを使用する部屋の窓については、人が墜落することのないよう、手すりの設置、窓の開閉形式、開口幅について配慮する。	暗幕をはじめ、透過性の低いカーテンを使用する部屋の窓の高さ、開口幅を確認する。
	踏み抜く	天窓を踏み抜く		人が乗っても十分な強度の天窓とする。	天窓の上には登らないように、周知徹底する。
				容易に上に乗らない形状の天窓とする。	天窓に登らせないような対策を講じる。例）周辺に柵を設ける。周辺に植え込みを設ける。
					天窓の内側に防護ネットを設置する。
		天井板を踏み抜く		特に子どもの利用する施設では、容易に天井裏に入れないよう対策する。例）メンテナンス用通路を施錠管理できるようにする。タラップは子どもの手の届かない高さから設置する。	（子どもなどが）天井裏に進入した形跡がないか、定期的に確認する。
				天井裏に人が入ることを想定する場合には、歩行可能な部位を明示し、それ以外には立ち入らないよう措置する。	天井裏へ進入する事のないよう、点検口などが開放されていないか確認する。
					天井裏への進入を防止する措置を講じる。例）点検口やメンテナンス用通路などの施錠管理など。
		屋根を踏み抜く		容易に屋根に登らせないようにする。例）足がかりとなるものを周辺に設置しない。	（子どもなどが）屋根にのぼった形跡がないか、定期的に確認する。
					人が乗ることを想定していない駐輪場の屋根等については、乗ることが重大な事故につながることを十分理解させる。
					屋根周辺に足がかりとなるものが設置されていないか確認する。
	構造体ごと落ちる	構造体の強度不足		適切な強度、耐久性を確保する。	構造体の劣化、腐食などがないか、定期的に点検する。

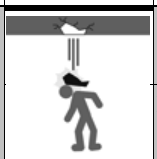
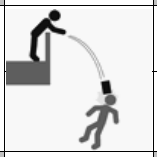
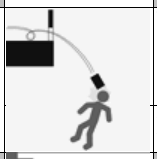
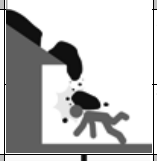
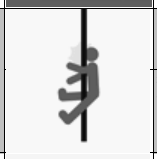
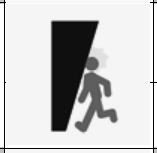
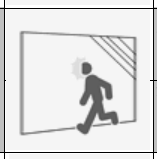
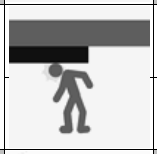
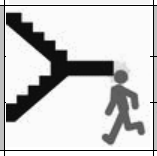
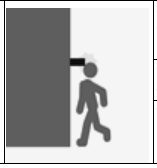
事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
転落	手すりがなく転落する	（手すりがなく体を支えられない）		適切な手すりを設ける。	適切な手すりを設ける。
	すべる	すべる素材		滑りにくい素材を用いる。	滑りやすい箇所がないか点検を行い、適宜補修をする。
				滑り止めを取り付ける。	滑り止めの点検を行い、適宜補修をする。
				万が一滑った場合でも、転落を防止するための手すりを設ける。	転落防止用手すりに不具合がないか点検を行い、適宜補修をする。
		濡れ		濡れても滑りにくい床材を使用する。	濡れやすい・滑りやすい場所を把握し、雨天時には拭いて乾燥させるなどの適切に管理するとともに、仕上げ材の変更を検討する。
				雨がかりとなる場所、濡れた靴、傘などが持ち込まれる場所を設計時に把握し、対策を講じる。	濡れた靴や傘などが持ち込まれないよう、マットや傘立ての設置などの措置を講じる。
				濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。	濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。
		凍結		屋外階段には、屋根などの雨雪除けを設ける。	雪や氷を除去する。
				転落防止用の手すりを設ける。	凍結箇所について注意喚起を行い、必要に応じて、立ち入り禁止・通行禁止措置をとる。
				凍結が頻繁に起こる恐れのある箇所については、凍結に配慮した滑り止めを施す。	転落防止用手すりに不具合がないか点検を行い、適宜補修をする。凍結が頻繁に起こる恐れのある箇所については、凍結に配慮した滑り止めを施す。
		汚れ、ごみ		外の砂や土ぼこりが階段内に入り込まない工夫を施す。例）階段に至る動線には土や砂などが靴に付着する仕上げを避ける。	エントランスにマットなどを敷いて砂・土埃の進入を防ぐ。
					清掃を適切に行う。
		すべりやすい塗布材		床材に適応した塗布材を使用する。	床材に適した塗布材を確認して使用する。
				適切な塗布材を管理者に明示する。	適切な塗布を施す。 例）塗布量の過多をなくす。適切に乾燥させる。
	つまずく・ぐらつく	蹴上寸法が大きい		適切な範囲の蹴上げ寸法とする。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
				高齢者や子どもに対して配慮する。	転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		踏面寸法が小さい		適切な踏面寸法を確保する。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
					転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		蹴上・踏面寸法が不規則		蹴上・踏面寸法が不規則な段を設けない。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
					転落防止用手すりの不具合箇所を点検・補修する。
		水平でない踏面		踏面は水平とする	水平でない踏面がある場合には補修する。
				施工不良のないよう監理をする	
		滑り止めの不具合		剥がれにくく、耐久性のある滑り止めを採用する	滑り止めの浮き・剥がれがないか日常的に点検を行う。
				剥がれた場合でも補修が容易なものを採用する	滑り止めの浮き・剥がれがある場合は直ちに補修する。
				滑り止めの設置において、踏面に不要な段差を設けない。	
		斜面と交差する階段		敷地に余裕のある場合は、交差させず、斜面に沿った階段を計画する。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
				階段と斜面の違いがはっきりわかるような工夫をする。例）材質を変える、境界部分に模様をいれるなど。	
				転落防止用の手すりを設置する。	

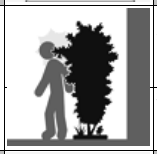
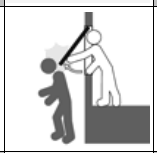
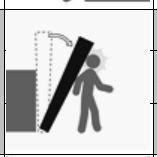
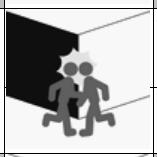
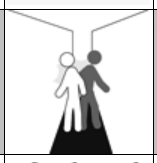
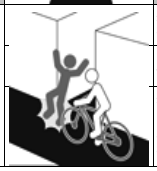
事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
転落	つまずく・ぐらつく	踊り場のない階段		踊り場を設ける。 ドアの開閉に係る部分には踊り場や引きの部分を設け	転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
				転落防止用の手すりを設ける。	
				万が一転落した際には、一気に転げ落ちるため、傷害程度が大きくなる。これを防ぐため、床材を柔らかいものとし、傷害の軽減を図る。	
		暗い		照明等で明るくする。	照明等で明るくする。
				段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）照度を上げる。色のコントラストをつける。	段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）テープを貼る。ただし、滑らない素材とする。
	踏みはずす	急勾配		適切な勾配の階段とする。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
				転落防止用の手すりを設ける。	転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		踏面寸法が小さい		適切な踏面寸法を確保する。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
					転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		蹴上・踏面寸法が不規則		蹴上・踏面寸法が不規則な段を設けない。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
					転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		最初（最後）の一段が異なる形状		全ての段が同じ形状となるようにする。	床部、その他の階段よりも目立つような工夫をする。
				床部、その他の階段よりも目立つような工夫をする。	
		滑り止めの不具合		剥がれにくく、耐久性のある滑り止めを採用する	滑り止めの浮き・剥がれがないか日常的に点検を行う。
				剥がれた場合でも補修が容易なものを採用する	滑り止めの浮き・剥がれがある場合は直ちに補修する。
				滑り止めの設置において、踏面に不要な段差を設けない。	
		斜面と交差する階段		階段と斜面の違いがはっきりわかるような工夫をする。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
				転落防止用の手すりを設ける。	転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
		踊り場のない階段		踊り場を設ける。 ドアの開閉に係る部分には踊り場や引きの部分を設け	転落防止用手すりに不具合がないか点検し、適宜補修をする。
				転落防止用の手すりを設ける。	
				万が一転落した際には、一気に転げ落ちるため、傷害程度が大きくなる。これを防ぐため、床材を柔らかいものとし、傷害の軽減を図る。	
		見えにくい段鼻		段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）材質、色、模様のコントラストをつける。	段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）テープを貼る。ただし、滑らない素材とする。
				照明等で明るくする。	照明等で明るくする。
		錯覚を起こす床材の模様		錯覚を起こすような模様の床材を選択しない。例）柄・目地の方向など。	階段の始まりが分かるような、工夫を施す。例）テープを貼る。ペイントする。ただし、滑らない仕上げとする。
		暗い		照明等で明るくする。	照明等で明るくする。
				段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）照度を上げる。色のコントラストをつける。	段鼻の視認性を高める工夫を施す。例）テープを貼る。ただし、滑らない素材とする。

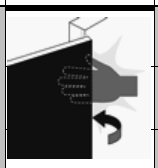
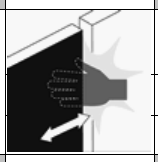
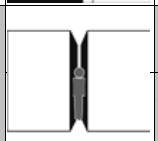
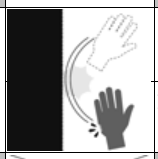
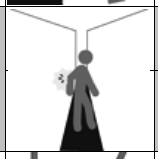
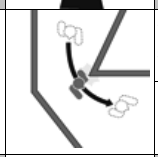
事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン				建設段階の留意点	管理段階の留意点
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ			
転落	踏みはずす	磨耗・破損		耐久性を考慮した材料選択を行う。	摩耗・破損した箇所がある場合には補修する。
				破損しやすい段鼻などの隅部の強度に留意した施工管理を行う。	摩耗・破損した箇所がある場合には、注意喚起を行い立ち入り禁止などの措置を講じる。
	人にぶつかる・押される	死角がある		死角となる壁配置は、極力避ける。	注意喚起を行う。標識を設置する場合は、階段を使う利用者の目につきやすい配置、配色、大きさとする。例）階段の途中だけでなく、昇降口にも設ける。背景と対比できる色とする。
				階段の出入りに係る部分には、踊り場や引きの部分を設ける。	死角をなくす処置をする。例）ミラー等の設置。
		階段幅が狭い		利用者数の予測を行い、それに見合った階段幅で設計する。	特定の時間、特定の階段に利用者が集中しないような管理・運営を行う。
				特定の階段に利用者が集中するような平面計画を避ける。	
		人が多い		利用者数の予測を行い、それに見合った階段幅で設計する。	特定の時間と階段に利用者が集中しないような管理・運営を行う。
				特定の階段に利用者が集中するような建築計画を避ける。	利用者が分散するよう誘導する。
	物にぶつかる	障害物が置かれている		階段周辺には物を置かせない計画とする。	階段上及び周辺に物が置かれていないか確認する。置かれている場合には撤去する。

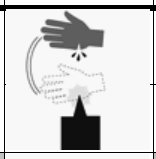
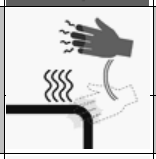
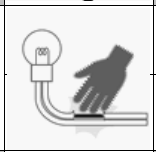
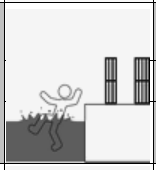
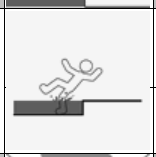
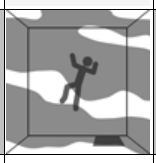
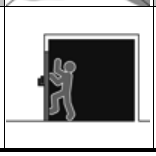
事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
転倒	すべる 01	すべる素材		滑りにくい素材を用いる。	滑りやすい箇所の把握及び補修をする。
				滑り止めを取り付ける。	滑り止めの点検及び補修をする。
				万が一滑った場合でも、転落を防止するための手すりを設ける。	転落防止用手すりの不具合箇所を点検・補修する。
		濡れ		濡れても滑りにくい床材を使用する。	濡れやすい・滑りやすい場所を把握し、雨天時には拭いて乾燥させるなどの適切に管理するとともに、仕上げ材の変更を検討する。
				雨がかりとなる場所、濡れた靴、傘などが持ち込まれる場所を設計時に把握し、対策を講じる。	濡れた靴や傘などが持ち込まれないよう、マットや傘立てなどの措置を講じる。
				濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。	濡れていることが分かり易くなるよう、照明などによって明るくする。
		凍結		屋外階段には、屋根などの雨雪除けを設ける。	雪や氷を除去する。
				転落防止用の手すりを設ける。	凍結箇所について注意喚起を行い、必要に応じて、立ち入り禁止・通行禁止措置をとる。
				凍結が頻繁に起こる恐れのある箇所については、凍結に配慮した滑り止めを施す。	転落防止用手すりの不具合箇所を点検・補修する。凍結が頻繁に起こる恐れのある箇所については、凍結に配慮した滑り止めを施す。
		汚れ、ごみ		外の砂や土ぼこりが階段内に入り込まない工夫を施す。例）階段に至る動線には土や砂などの仕上げを避ける。	エントランスにマットなどを敷いて砂・土埃の進入を防ぐ。
					清掃を適切に行う。
		摩耗		耐久性を考慮した材料選択を行う。	床材や滑り止めが摩耗して滑りやすくなっている部位が無いか確認し、補修する。
		すべりやすい塗布材		床材に適応した塗布材を使用する。	床材に適した塗布材を確認して使用する。
				適切な塗布材を管理者に明示する。	適切な塗布材を施す。 例）塗布量の過多をなくす。適切に乾燥させる。
	つまずく	一段の段差		視覚的に気付かれないことが多いので、一段の段差は設けない。	スロープ板などを設け、段差を解消することを検討する。
				やむを得ず段差を設ける場合は、段差が目立つような工夫をする。例）材質を変える、色・デザイン等で段差を気付かせるなど。	注意喚起を行う。段差にトラテープを貼っただけでは気付かれない場合がある。標識の設置などの方法も検討する。
		床面の凸、微小な段差		微小な段差は設けない	微小な段差は注意喚起することは難しく、段差を解消することを考える。例）床上の配線などは、経路を見直す。
				配線などが床上を通ることのないよう、事前に対応しておく。例）OAフロアとする。	床上にある配線カバーなどは外れることが多く、さらなる事故を誘発する可能性があるので、保守監理をしっかりと行う。
				通路脇の排水溝などは、段差が生じないように蓋などの納まりをする	
		床の凹、穴、溝		微小な段差は設けない	微小な段差は注意喚起することは難しく、段差を解消することを考える。例）床上の配線などは、経路を見直す。
					床上にある配線カバーなどは外れることが多く、さらなる事故を誘発する可能性があるので、保守監理をしっかりと行う。
				通路脇の排水溝などは、段差が生じないように蓋などの納まりをする。	
		タイル・インターロックの割れ・浮き		耐久性のある素材を選定する	タイル・インターロックの割れ・浮きがないか日常的に確認を行う。
				車両などが進入する箇所にはタイル・インターロッキングの使用を避ける。	タイル・インターロックの割れ・浮きがある場合は、速やかに適切な補修を行う。

事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
転倒	つまずく	床面の傾斜		動線上につまずくような微少な傾斜をつけない。	注意喚起を行う。例）傾斜している部分が目立つようなテープを貼る。ペイントする。ただし、滑らない仕上げとする。
		スロープの両脇に生じる段差		動線と交差するようなスロープは設けない	注意喚起を行う。足元だけではなく、目に付きやすい位置へ標識を設置する。
		床材の摩擦の変化		スロープと平坦な床の間で素材を変えない。同程度の摩擦係数の材料で仕上げる。	同程度の摩擦係数になるように改修する。例）表面に焼きを入れる。
		ひっかかる床材		ひっかからないよう適度な摩擦の床材を選定する。 サンダルなど柔らかい靴底の履物による床面への吸着、巻き込みに配慮する。	注意喚起を行う。足元だけではなく、目に付きやすい位置への標識の設置。
		マットやスノコの置き方		ー	捲れあがり、ずれなどについて対策を施す。 雨天時など、マットが水浸しになっていないか確認し、水分を絞るなどの対策を施す。 劣化や破損がないよう、適切に管理する。
		障害物が置かれている		動線上に物を置かせない計画とする。	物を置かない、置かせないよう管理・指示する。 注意喚起の標識や三角コーンなどが障害物となることがあるので、利用者の動線を十分に把握した上で設置する。
		車輪留め		駐車場においては、歩行者用動線を明確にする。 床と同じ色や素材とすることを避け、目立つような工夫をする。	駐車場においては、歩行者用動線を明確にする。 床と同じ色や素材とすることを避け、目立つような工夫をする。
		暗い		設計段階において、適切に照度の想定をする。 建設段階においては、夜間照明の確認をし、暗い部分があれば明るくする対策を取る。例）照明器具を追加する。仕上げ材の色を明るくする。	明るくする。例）照明器具を追加する。
	踏みはずす	段差		視覚的に気付かれない場合が多いので、一段の段差は設けない。 やむを得ず段差を設ける場合は、手すりなどを設置する。	スロープ板などを設け、段差を解消することを検討する。 注意喚起を行う。段差にトラテープを貼っただけでは気付かれない場合がある。標識の設置などの方法も検討する。 必要に応じて、手すりを設置する。
	ひっかかる	ケーブル類		ケーブル類が床上に現れない仕上げとする。例）OAフロアーとする。	動線上にケーブルなどが出ていないか、確認する。 一時的に配線する場合においては、保護カバーなどでケーブル類を固定する。また、注意喚起等を行って歩行者の安全に留意する。
	押される	強風		エントランスや建物の間の渡り廊下など、風の影響を受けやすい場所では、適切な防風措置を講じる。	強風時には、注意喚起を行う。
		人		多くの人が出入りする場所には、十分な広さを設ける	人が一時に集中しないような管理を行う。

事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
落下物にあたる	建物の一部が落ちる	自重・外力(地震、強風、震動等)による力		外装材等が脱落しないよう、経年劣化も考慮した、仕様の選定を行い、確実に施工する。	定期的に、建築物の屋根材や外装材の固定状況、コンクリートの剥離、鋼材の腐食、木部の腐朽の状況を確認し、問題があれば改修する。
				状況に応じ、物が落ちた場合に被害がでないよう、下庇、保護網などを設ける。	落下危険性が認められた場合は、落下危険箇所の立ち入りの禁止、脱落防止ネットに等による応急措置、注意書きなどによる警告措置等を講じる。
	物が落ちる	故意に落とす		不特定多数の者が立ち入る高所(供用外廊下、吹抜上部等)に、不用に物が置かれるような設計としない。置かざるを得ないものは安易に投下されないよう設置方法に配慮する。	不特定多数の者が立ち入る高所に、不用意に物が置かれていないか、定期的に確認する。
				下部空間に人が常に滞留、通行している建物の上部等において、人目が無く管理等が行われにくい場合には、物を落とすことのできないよう、開放した外廊下、吹き抜けなどはできるだけ設けない。	
		高所に物が置かれる		バルコニー等の花台、布団干し竿、冷房室外機置き場などは、強風等が吹いても、設置物が落下しない位置に設けるか、固定できるものとする。	手すり等よりも高い位置に落下危険物が置かれていないか、定期的に確認する。
				バルコニー、吹き抜け、階段室上部等の手すり、手すり壁の上端部を物が置かれるような形状にしない。	バルコニー、吹き抜け、階段室上部等の手すり、手すり壁の上端部に物が置かれている場合には、応急的に置かないよう表示等により注意喚起した後、置きにくい形状に改善する。
				状況に応じ、物が落ちた場合に被害がでないよう、下庇、保護網などを設ける。または、バルコニー、外部廊下などの直下に、人が立ち入らないよう、植栽等を施す。	落下防止の措置が損傷等していないか、定期的に確認する。
		物が落ちるような隙間がある		高所に設ける手すりなどの隙間は、できるだけ小さいものとする。	隙間を塞ぐ、若しくは小さくする応急的措置及び恒久的措置を講ずる。
				状況に応じ、物が落ちた場合に被害がでないよう、下庇、保護網などを設ける。	落下防止の措置が損傷等していないか、定期的に確認する。
	自動車が落ちる	操作ミス		立体駐車場、屋上駐車場等は、必要な強度、高さを持つ車止め、柵等を設ける。	立体駐車場、屋上駐車場等で、必要な強度、高さを持つ車止め、柵等が無い場合は、それらを設ける。
	雪・氷などが落ちる	降雪・結氷		屋根、ひさし等に積雪、結氷が生じる可能性のある建物は、人が滞留、通行する部分に落下させないよう配慮する。	落下危険箇所を把握し、人の立ち入りを抑止する。落雪防止措置、雪下ろし、融雪・融氷措置などを状況に応じて講じる。
				結露等が生じるなど結氷しやすい部位が無いか検討する。	
ぶつかり	体を動かして静止部分にぶつかる	独立した柱状のもの		動線上には独立柱をできるだけ設けない。	識別しやすい色に塗装する。
				独立柱を設ける場合には、基本的な動線は避け、目立つ色とするなど識別しやすいものとする。	注意喚起を行う。例)トラテープを貼る。
		斜め壁・柱・ブレース		人が通り抜ける可能性のある場所には斜め壁・柱等を設けない。	斜めになった部材の下に、人が入らないようにする。
				下に人が入らないような措置を施す。	柱の場合は足元をぶつける危険性もあるので、柱脚まわりにも近づけないようにする。
		ガラス		人が通り抜けようとしやすい動線上に、全面ガラスの壁は設けない。	ガラスに人が近づかないようにする。例)手前に手すりを設ける。
				ガラスが識別しやすい計画、意匠とする。	注意喚起を行う。例)目印を貼る。一部を曇りガラスにする。
		低い天井高		十分な高さにする。特に梁下や開口部上枠などの高さには注意する。	注意喚起を行う。例)トラテープを貼る。
					傷害軽減措置を施す。例)クッション材を貼る。
		階段下		人が通り抜ける可能性のある場所には段裏や踊り場が来ることのないようにする。	段裏、踊り場下に人が入らない、もしくは、近づけないように、柵等を設ける。
				段裏、踊り場下には人が入らないような措置を施す。	注意喚起を行う。例)トラテープを貼る。
				子どもや車椅子利用者の視点でも検討する。	傷害軽減措置を施す。例)クッション材を貼る。
		壁からの突起物		壁に突起物は設けない。特に、照明器具や衣装掛け、設備盤、消防用設備(消火器)などの設置位置には注意する。	突起物周辺に人が近づけないような措置を施す。
				子どもや車椅子利用者の視点(低い位置の突出物)でも検討する。	注意喚起(例)トラテープを貼る。)、傷害軽減措置を施す。(例)クッション材を貼る。)
				体の動作(座り位置からの立ち上がり、洗面時等の前かがみ、歩行中の手足の軌跡など)に留意する。	壁仕上げ材等が損傷、変形により突出していないか確認する。

事故パターンと事故予防の留意点				2010年6月	
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
ぶつかり	体を動かして静止部分にぶつかる	造り付け家具からの突起物		造り付け家具の設置位置、家具の扉の開閉位置、端部の形状などに留意する。	ぶつかりやすい造り付け家具は設置位置等を変更する。
				子どもや車椅子利用者の視点（低い位置の突出物）でも検討する。	
				体の動作（座り位置からの立ち上がり、洗面時等の前かがみ、歩行中の手足の軌跡など）に留意する。	家具等が損傷、変形により突出していないか確認する。
		車止め、誘導柵等の床からの突出物		できるだけ突出物は設けない、やむを得ず設ける場合は、昼夜間における十分な視認性を確保する。万一、ぶつかっても負傷等しない安全なしつらえとする。	
		動線上に物が置かれている		傘立てなど置かれやすい物を置く場所は動線外に確保する。	動線上に物が置かれないよう定期的に管理する。
		植栽		不要に動線上に植栽しない。敢えて植栽する場合は、昼夜間における視認性を確保し、万一、ぶつかっても負傷等しない安全なしつらえとする。	注意喚起を行う。通行量の管理を行う。
				植栽の成長に配慮した計画とする。	植栽の成長により、歩行空間が減少することなどに配慮し、適切に剪定等を行う。
	可動部分が体にぶつかる	開き戸		扉の開く範囲と動線の関係を適切に把握し、扉の位置、開閉形式、前後のスペースの確保等を計画する。	扉の前後に、注意喚起を表示する。
				扉の向こうに人がいることを認知しやすいように小窓等を扉に設ける。	事故が繰り返される場合は、建具を交換する。
				勢いよく開閉しないようクローザーなどを設ける。	
		押し出し窓		押し出す窓の動作範囲に、人の立ち入りが想定される場合は、押し出し窓を採用しない。	押し出し窓が開閉することの注意喚起と、その動作範囲の立ち入りを抑止する。
	倒れてきたものにぶつ	物が固定されていない		定常的に置かれる物は、建設段階で、配置、固定する。	一時的に物を立てかける場合は、動線の近くは避ける。
				一定の乱暴な使用や劣化等により、建具等が脱落して倒れることの無いよう、強度、耐久性に配慮する。	立てかけたものには適切な転倒防止策を講じる。例）ロープでしっかり固定する。
					建具等で劣化により、倒れそうなものが無いか、点検を行う。
	人にぶつかる	死角がある		エントランスや玄関などは、いきなり道路や通路に面することのないよう、十分な引きをとって設ける。	死角を生じる物品等が置かれないよう管理する。
				コーナー部は見通しが良くなるよう隅切りを設ける。	状況に応じ、カーブミラーなどを設ける。
		狭い		通行量を的確に想定し、必要なスペースを確保する。	スペースに見合った通行量となるよう管理する。
	車・自転車にぶつかる	動線の交錯		敷地内車路、建物内駐車・駐輪施設等では、歩行者動線を安全な防護措置により車路から分離する。	車路に接続する歩行者動線においては、十分な注意喚起をする。
				自動車、自転車の車路に接続する歩行者動線は、接続する位置の手前から車路の状況が見通せるようにする。	死角を生じる物品等が置かれたり、植栽が死角をつくらないよう管理する。
				敷地内車路においては車の運転者に十分な減速又は一時停止をさせる走路仕様とし、コーナーは見通しを良くしミラー、警告灯・ブザー等を状況に応じ設置する。自転車を降車させるための車止め等を設置する。	自動車、自転車の走行に関する注意喚起を行う。状況に応じ、走路仕様の改善、ミラー、警告灯・ブザー等の設置を行う。

事故パターンと事故予防の留意点				2010年6月	
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
挟まれ	可動部分に挟まれる	開き戸・窓		万が一挟まれた場合の傷害軽減のため、また、強風にあおられて挟まれることを防止するため、扉の閉まる速度を遅くする。例)ドアクローザーを設ける。	強風時の危険な扉の開閉の禁止等の管理、注意喚起を行う。
				万が一挟まれた場合の傷害軽減のため、不必要に扉の重量を重くしない。ドアに風圧等がかからないような計画にする。(例:風除室等)	ドアクローザーが正常に機能していることを点検する。
				吊り元側、金具等に指が挟まれないような防止策を講じる。	事故が繰り返し起こるような、建具、金物は交換する。
		引き戸・窓		取っ手を持った手が、ドア枠に挟まれたり、触れたりすることのない納まりとする。(例:十分な引き残しを確保する。)戸袋に手指を引き込まれるような隙間を設けない。	事故が繰り返し起こるような、建具は交換する。
				万が一挟まれた場合の傷害軽減のため、扉の閉まるスピードを遅くする。例)オイルダンパーなどを設ける。	挟まれ防止の注意喚起を表示する。
				万が一挟まれた場合の傷害軽減のため、不必要に扉の重量を重くしない。	
	すき間に挟まれる	挟まれるすき間がある		手指等が入る不要な目地、隙間、穴等は、壁等に設けない。	子供が指をいれるような隙間等が壁等にある場合は、目地棒などで塞ぐ。
				計画上、子供の体が挟まるような壁に挟まれた隙間ができる場合は、立ち入らないよう塞ぐ。	子供の体が挟まるような壁に挟まれた隙間がある場合は、立ち入り防止措置を講じる。
こすり	体の一部をこする	摩擦の大きい仕上げ材		歩行者等が壁に接触するおそれがある、特に狭い歩行空間、エスカレーターの側壁等においては、ざらざらした堅い素材等の仕上げは避ける。	接触に対する注意喚起を行い、接触しそうな位置での通行等を抑制する。
				転倒した際に、擦過傷、やけどを起こすような、摩擦の大きな床材を用いない。	事故を繰り返すような部位は、仕上げを変更する。
		狭い		十分な通路幅、滞留スペースなどを確保する。	一時に大人数が通行することのないよう通行管理を行う。
				万が一こすった場合の傷害軽減のため、壁面は粗い仕上げを避ける。	壁等に応急的なカバーをする。
		動線の配慮不足		廊下の角など、歩行者が歩行方向を変える部位等で、壁に体が接触しやすい部位については、コーナーの隅切りをするなど接触を抑止する。	事故を繰り返すような部位は、動線を変更する。
				万が一こすった場合の傷害軽減のため、壁面は粗い仕上げを避ける。	壁等に応急的なカバーをする。
		動作寸法の配慮不足		人が触って動かす部位は、手の動きや体のサイズを想定した適切な寸法を確保する。	適切なクリアランスが確保されず、体の一部をこする可能性がある部位に、緩衝材のとりつけなど適切な保護をする。
					繰り返し事故がおきる部位は、改善、交換する。

事故パターンと事故予防の留意点					2010年6月
事故パターン					
結果	事故につながる動作	事故のきっかけ		建設段階の留意点	管理段階の留意点
鋭利物に触れる	鋭利な部位に触れる	鋭利な建物部位が存在する		手すり、建具等、手に触れる金属部分は特に注意し角を丸める、面取りを行うなどの措置を行う。とがった物は設置しない。	手に触れる部分に鋭利な箇所がないか確認する。特に、金属仕上げの部分は要注意である。例）門扉（取手周辺、小口、兆番、面材部分）、手すり、家具など
				パンチングメタルの打ち抜き穴、金属切断面など、危険な加工部分は、適切に処理する。	危険部位の有無を点検する。
	損傷した物に触れる	割れたガラス等		適切な強度のガラス等を用いる。	割れたり、ひびが入ったガラスやプラスチック等がないか確認する。
				扉にガラスを設ける場合は、割れることのない対策を講じる。例）合わせガラス・強化ガラスを用いる。1枚あたりのガラス面積を小さくする。飛散防止フィルムを貼付する。	割れたガラスは早急に除去する。
		めくれた金属板		危険な形状に変形、損傷しやすい金属板などを、手に触れる部分に設けない。	内装仕上げ、サイン、その他に用いる金属板等について、めくれて鋭利な部分が生じる等の危険が無いか点検する。
その他	火傷する	触れられる場所にある高温部		高温の給湯管等は人が触れない場所にできるだけ配置し、やむを得ず人の触れる場所に設ける場合には、適切な保温材やカバーで覆う。	人が触れる場所に給湯管がないか確認する。ある場合には適切な保温材、カバーで覆う。
				人が触れることのできる範囲に、暖房設備、日光その他の熱により、高温になる部分を設けない。	高温となる部分がある場合は、カバー等により人の接触を防止し、注意換気を行う。
	感電する	むき出しのコード等		人が触れる位置に電力引き込み線や、屋内配線を設けない。	危険な配線がないか確認する。
				適切な絶縁処理を行う。	人の触れる範囲にある配線に劣化、損傷等の危険が無いか点検する。
	水の中に落ちる	貯水槽、プール、池などの管理		深い水面がある場合には適切な立ち入り防止策を講じる。特に、利用時間外の人的監視等がなされていない際の、子供の進入に配慮する。	柵やフェンスなど立ち入りを制限するものが適切に設置されているか確認する。進入の痕跡がある場合はすぐに改善する。
				万が一落ちた場合に、地上に上がれるような設備を設置する。例）はしごを設ける。	水があることを注意喚起する。
				グレーチング、貯水槽、排水溝等のマンホール、蓋については、吸い込み力や、溢水時の浮き上がり等も考慮した、安全なものを採用する。	グレーチング、マンホール等が外れていたり、外れる構造になっているようなものは、点検し、改善、交換する。
		認識しづらい水盤（人工池）		通常の路面と水面の間は明確な境界を設けて区別する。	水があることを注意喚起する。サインなどを掲示する場合には、利用者の視野（注視方向）を考慮する。 例）足元に設ける
				動線上に設けない。	水質の衛生にも留意する。
	一酸化炭素中毒	不完全燃焼・換気不足		設置機器に応じた適切な給排気経路を確保する。	機器や給排気経路に不具合や障害物等がないか定期的に確認する。
	閉じ込め	内側から開けられないもの		大型金庫、業務用冷凍室など閉じ込め危険性のある建物の空間は、内部からは外部に出ることができるような構造、仕様とする。	関係者以外の立ち入りを管理するとともに、扉のそばに物品を置くことなどによる閉じ込めが生じないよう管理する。

第４章　「建物事故予防ナレッジベース」のユーザビリティ向上及び普及方策について

第２章、第３章の報告にあるとおり、日常災害の実態把握、事例収集を行い、知識ベースの機能およびシステム構成、ウェブサイトの仕様について検討を行ったのち、平成 21 年（2009 年）8 月より「建物事故予防ナレッジベース」のウェブサイト上での公開を開始した。

本章では、公開を開始した後、ウェブサイトを運用しつつ、「建物事故予防ナレッジベース」へ改良を加えた事項と、日常災害の防止の啓発、及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及のための活動について報告する。4.1 節では、事故事例の収集のみならず、工夫事例の収集を積極的に行うことを目的として、実務者を対象としたヒアリング調査を行った結果をまとめた。4.2 節、4.3 節では、ユーザビリティ（使いやすさ）の向上とウェブサイトの機能を充実させる改善点について記した。また、4.4 節では、日常災害の防止の啓発、及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及のための活動として開催されたシンポジウムについて概説した。

なお、充実したウェブサイト運用を目標として、今後も定期的な事故事例収集調査の実施と、そこで得られた事例を「建物事故予防ナレッジベース」に反映させることや、コンテンツの拡張、ウェブサイト機能の改良等を行っていく方針である。

4.1　工夫事例の収集

4.1.1　予備調査

社団法人　日本建築士事務所協会連合会に依頼し、各都道府県の建築士事務所に対して、建物周辺での日常事故を予防するために取っている対策や意識していることの有無を尋ねるアンケート調査を実施した。

アンケート配布数：138 部（46 都道府県（岐阜県を除く）×３部）

アンケート回収数：108 部（回収率　78.3%）

調査票の内容については、巻末参考資料５を参照されたい。

結果：

・日常安全の観点で、何らかの対策や意識していることがあると回答した事務所
　77（71.3%）

参考として、自由回答の例を以下に示す。

・　10cm 前後の中途半端な段差を極力なくす。

- 建物と人の行き来のある通路の間に、植栽等を設けてタイル等の外壁の劣化による落下にそなえる。
- 死角を減らす計画とする。
- 顧客からのクレーム（日常事故を含む）については、設計スタッフにフィードバックして、会社全体として共有している。
- すべりやすい床材等は使用しないなど、床等の材質に留意する。
- 危険と思われるところに注意喚起を促すプレートを必ず提示する。
- 床材の仕上滑りにくさと美観メンテナンスのバランスを充分考慮する。
- 建物の出入り口に庇等の落下物を遮る要素を設置する。

4.1.2　工夫事例の収集

上記の調査結果より、実際の建物におけるより具体的な対策を聞き取ることができる設計者を抽出し、ヒアリング調査を行った。特に弱者等の利用が多いもの建物用途における事例を収集することとし、下記の５名の対象者を選定した。

設計者 A：学校建築の設計者
設計者 B：病院建築の設計者
設計者 C：病院建築の設計者
設計者 D：高齢者施設の設計者
設計者 E：高齢者施設の設計者

次ページに収集した工夫事例の一覧を示す。

No.	設計上の工夫	場所・部位	施設の用途	事故の種類	情報提供者
1	突き当りに開口部を設ける場合は、衝突防止のための手すりや格子などの防護柵、植栽などにより物理的に開口部に近づきにくくする。	廊下・通路	学校	ぶつかり	設計者 A
2	曲がり角や教室の出入口など、見通しが悪く出会いがしらの衝突事故が発生しやすい場所では、見通しを確保し余裕をもったスペースの計画とする。	廊下・通路	学校	ぶつかり	設計者 A
3	手洗い・流し等は廊下に面して配置されることが多いが、通行部分が濡れることのないように、アルコーブ状にする。	廊下・通路	学校	転倒	設計者 A
4	引き違い戸や引き違い窓における挟まれ事故を防止するため、扉と枠の間には衝撃吸収ゴム等を設置する。	引き戸（手動）	学校	はさまれ	設計者 A
5	天窓は、天窓の構造や設置状況等を把握した上で、周囲に防護柵を設置することや内側に落下防護ネットを設置すること等、安全な構造とする。	ベランダ・屋上	学校	墜落	設計者 A
6	柱は、衝突時の被害を最小限とするため、面取り処理やカバーの設置等の配慮をする。	室内	学校	ぶつかり	設計者 A
7	運動を行う室・空間の照明設備は、ボール等の衝突に対する破損防止措置を行う。	室内	学校	落下物	設計者 A
8	渡り廊下や駐輪場の屋根等は、容易に上ることができるような足がかりを設けない。	廊下・通路	学校	墜落	設計者 A
9	子供が多く利用する施設のため手すりは縦格のみとする。	ベランダ・屋上	病院	墜落	設計者 B
10	手すりの端部曲げとする。	廊下・通路	病院	ぶつかり	設計者 B
11	階段ノンスリップは段を明確にするものを設置する。	階段	病院	転落	設計者 B
12	子どもの転倒を想定し、柔らかい床材を採用する。	廊下・通路	病院	転倒	設計者 B
13	施設の出入り口は段差をなくし、それに伴い、雨仕舞いの工夫を行う。	廊下・通路	病院	転倒	設計者 B
14	こどもが立ち入るところでは掃き出し窓の開閉制限する（サッシ割りと管理面での工夫）。	窓	病院	墜落	設計者 B
15	手が触れるガラス面の端部には枠を設置する。	窓	病院	ぶつかり	設計者 B
16	こどもだけが利用する手すりは柔らかい材質にする。	廊下・通路	病院	ぶつかり	設計者 B
17	吹き抜け部には万が一墜落した場合に備え庇等を設け、最下階まで一気に落下することを防止する。	吹き抜け	病院	墜落	設計者 C
18	吹き抜けに面した手すりは手前に折り曲げ、子どもがよじ登ることを防止する。	吹き抜け	病院	墜落	設計者 C
19	出会い頭の衝突防止のため、躯体などで作られた階段の中壁は腰壁にするか目線の高さに開口を設ける。	階段	高齢者施設	ぶつかり	設計者 D
20	格子戸タイプのデザイン戸の場合、指をはさんでしまい怪我をすることがあるので、ガラスやアクリルなどを取り付ける。	引き戸（手動）	高齢者施設	はさまれ	設計者 D
21	廊下側に開いた扉にぶつかることがあるので、部屋の用途上支障がない限り、内開きにする。	廊下・通路	高齢者施設	ぶつかり	設計者 D
22	夜間、トイレへの歩行時に転倒することがあるので、足下灯を設けて、十分な明るさを確保する。	廊下・通路	高齢者施設	転倒	設計者 D
23	階段には万が一の転落時の障害を軽減するため、踊り場を設ける。	階段	高齢者施設	転落	設計者 E
24	階段には両側に手すりを設ける。	階段	高齢者施設	転落	設計者 E
25	開き戸の隣にカウンターを設けたが、その戸から出入りする人がその角に体をぶつけた。（失敗事例）	廊下・通路	病院	ぶつかり	設計者 C

表 4.1.1　収集した工事事例の一覧

4.2　ナレッジベースのシステム改善のためのユーザビリティ調査

「建物事故予防ナレッジベース」に関して、操作レベルの使いやすさ、分かりやすさを尋ねるユーザビリティ調査を行った。具体的には建物事故予防ナレッジベースにある「事故事例検索」「事故パターン検索」「関連情報検索」の３つの機能に対して、それぞれ検索操作のタスクを実行させ、使いやすさ、分かりやすさ、気付いたことなどを尋ねるものである。調査は建築関係者（建築士、研究員、建築系大学院生）を対象に対面調査として行った。

結果を以下に示す。

ユーザビリティ調査項目			Aさん		Bさん		Cさん		Dさん		Eさん	
	性別		女		男		女		男		男	
	職業		一級建築士		一級建築士		研究員		建築系大学院生		建築系大学院生	
事故事例検索	タスク1	事故事例検索	○	－	×	一覧表示ボタンを探せなかった	○	－	○	－	○	－
	タスク2	事故事例→事故パターンと事故予防の留意点の検索	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
	タスク3	事故予防留意点→関連情報の検索	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
	タスク4	事故事例検索の画面に戻れるか	○	－	×	トップページに戻れなかった	○	－	○	－	○	－
	出来なかったところ		タスク4を行う時、複数の別ウィンドウが開いてあったため、検索画面にうまく戻れなかった。		－		－		ウィンドウ開きすぎでどれがどれかわからない感じ。前のページに戻るのに時間がかかった		－	
	被験者の感想		開いているウィンドウが多すぎて分かりにくい。一覧表示のボタンが分かりにくい、気付きにくい		トップページに行っても別のウィンドウが開くため元に戻りづらい 一覧表示ボタンが気付きづらい		戻る⇒で戻りたいが、別ウィンドウが開くため戻れない 転倒と転落の違いが分かりにくい		きちんと分類されて調べやすい		事故事例を複数検索できるのが分からなかった 事故件数がかわるのが分かりづらい	
事故パターン検索	タスク5	事故パターンの検索	○	－	○	－	×	どの分類にあるのか分かりづらい全部入ってみないと分からない	×	フォルダの中に入れるのが分からなかった	○	ちょっと時間かかった
	タスク6	事故パターン→事故事例検索	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
	タスク7	事故パターン→関連情報検索 事故パタン画面に戻れるか	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
	出来なかったところ		－		－		－		－		－	
	被験者の感想		事故パターンのフォルダの中にまた何かがあるのが分からなかった。		自分の居場所が分かりづらい。検索している場面の前後が分かりづらい		ツリー構造が分かりづらい		文章がずらりと書いてあり、また似たようなものが多くて分かりづらかった		事故パターンのアイコンが同じようなものが出て、分かりずらい。全部同じのように見える	
関連情報検索	タスク8	関連情報検索	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
	出来なかったところ		－		－		－		－		－	
	被験者の感想		－		－		キーワード検索ボタンの工夫がいる		－		キーワード検索、フリーワード検索とチェックして検索部分を色などで区分した方がいいのでは。関連情報が論文ではなく、商品の詳細情報かなと思われた。	
トップページ	被験者の感想		建物事故報告と事故予防に役に立つ事例報告の違いが一目で分かりづらい		－		イラスト付きで分かりやすい		全体的に分かりやすい印象が強い		－	

表 4.2.1　システム改善のためのユーザビリティ調査結果

以上の結果を取りまとめると、以下の改善ポイントとなる。

1．検索する時複数の別ウィンドウが開き、検索しにくいこと

2．事故パターンの構成が分かりづらいこと

3．トップページで事故報告と事例報告の違いが分かりにくいこと

4.3　システム改善

4.3.1　ユーザビリティ調査結果の反映

4.2 でのユーザビリティ調査の結果を反映し、以下のような改善を行った。

（1）　建物事故予防ナレッジベースのトップページデザインの変更

トップページで事故報告と事例報告の違いが分かりにくいとの意見に対応して、「一般向け」「実務者向け」の説明を付けた（図 4.3.1）。また文字のサイズが変更できるようにした。その他事故事例の関連写真を入れることで、ウェブサイトに動きが出るようにした。

図 4.3.1　変更後の建物事故予防ナレッジベースのトップページ

（2） 検索画面デザインの変更

検索結果を表示するボタンが分かりづらいとの意見に対応して、ボタンの大きさと位置を変更した。

図 4.3.2 変更後の事故事例検索のページ

（3） 事故予防留意点画面のデザイン変更

建設段階の留意点、管理段階の留意点のタブを大きくすることで、検索しやすくした。

図 4.3.3　変更後の事故予防留意点のページ

（4） 事故パターンリストの変更

事故パターンの構成が分かりづらいとの意見に対応して、フォルダ部分とファイル部分に分け、選択したフォルダの一覧がアイコン付きで見えるようにした。

図 4.3.4 変更後の事故パターンリストのページ

(5) 各検索画面の遷移の変更：

複数の別ウィンドウが開き、検索しにくいとの意見に対応して、従前は、トップページから、事故パターン、事故事例検索、関連情報検索に行く際には別ウィンドウが開いていたが、これをとりやめた。

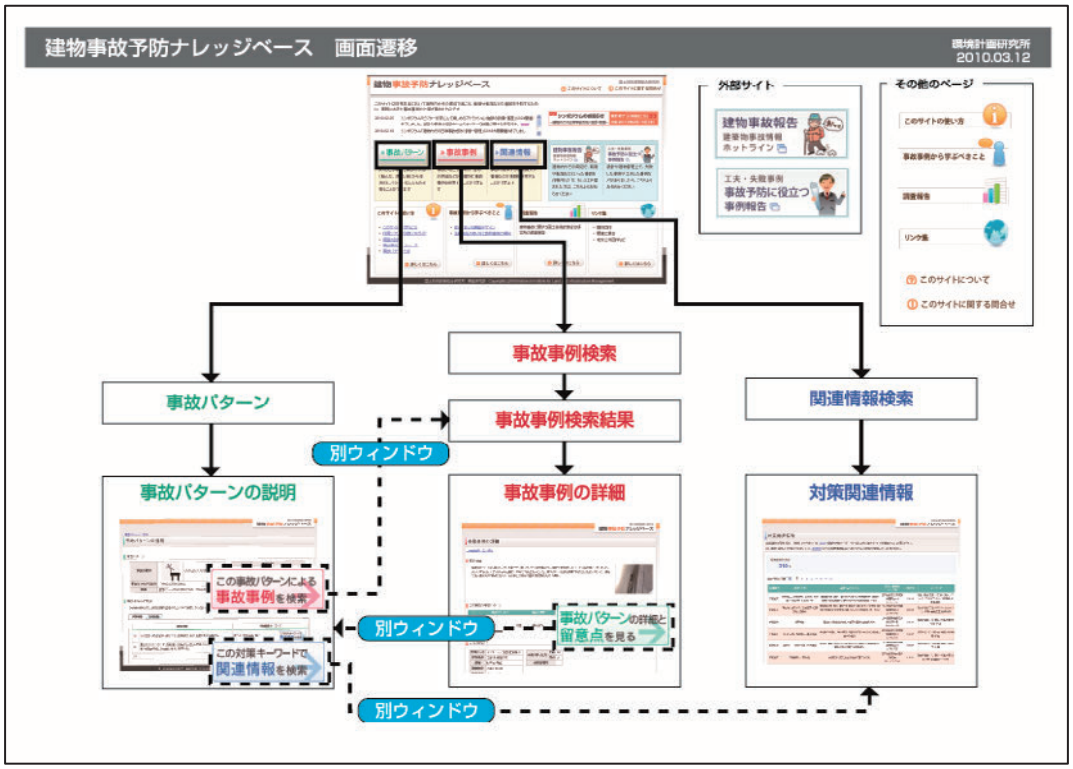


図 4.3.5　各検索画面の遷移の変更

4.3.2　建物事故予防ナレッジベースの各種機能等追加

（１）住宅内事故情報のリンク機能

従前、「建物事故予防ナレッジベース」では住宅内での事故については対象外としていたが、日常事故に関する情報提供ウェブサイトとしての充実を図るため、住宅内の事故に関する外部情報について整理し掲載する。

掲載するウェブサイトは、住宅内での事故に関する情報を掲載しているウェブサイトのうち、情報の出典と運営組織が明確なものとした。以下にそのリストを示す。

住宅・家・家庭内の安全や事故防止対策などの記述があるサイト（一部ＰＤＦもあり）
・商品、製品、住宅の宣伝・広報をかねたものは除外しています。

1	くらしの安全情報サイト（高齢者）	東京都	http://www.anzen.metro.tokyo.jp/senior_home_case.html
2	子ども部屋の危険	東京都	http://www.anzen.metro.tokyo.jp/house_kidsroom.html
3	家庭内の事故防止	大阪市立住まい情報センター	http://www.sumai.city.osaka.jp/media/public/download/No362_anie41kisotisiki.pdf
4	大阪市子育て安心マンション認定制度整備基	大阪市立住まい情報センター	http://www.sumai.city.osaka.jp/index/page/681850adf4748ed81bedfcc9cd5e444e/102/
5	住まいの安全・安心	（財）東京都防災・建築まちづくりセンター	http://www.tokyo-machidukuri.or.jp/sumai/
6	住まいの情報発信局	（財）住宅産業研修財団	http://www.sumai-info.jp/anzen/index.html
7	高齢者住居安定化モデル事業	高齢者住宅財団	http://www.koujuuzai-model.jp/
8	行政関係（情報リンク）	（社）住宅生産団体連合会	http://www.judanren.or.jp/admin/index.html#ad05
9	内装折戸の製品安全指針	（社）日本建材・住宅設備産業協会	http://www.kensankyo.org/kensan/report/oritoseihin-anzenshishin.pdf
10	住まい・まちづくりNET	（社）かながわ住まい・まちづくり協会	http://www.machikyo.or.jp/
11	開口部の安全設計指針	板硝子協会	http://www.itakyo.or.jp/kikaku/kinou1.html
12	住宅改修方法の基礎知識	保健福祉広報協会	http://www.hcrjapan.org/pdf/fukusikiki2_1.pdf
13	家庭内の事故の予防	全労災	http://www.zenrosai.coop/kurashi/kosodate/kosodate_katei.php
14	住宅内の事故予防	日本コープ共済生活共同組合連合会	http://coopkyosai.coop/inquiry/pdf/child_enjoy_02.pdf
15	子どもの事故予防工学カウンシル	独立行政法人　産業技術総合研究所	http://www.cipec.jp/#
16	住まいの安全を考える	ミサワホーム	http://www.misawa.co.jp/kodate/tokutyou/sumuhito/pop-up/safety/
17	あかちゃんのお部屋の安全チェック	ミサワホーム	http://www.babycome.ne.jp/category/house/safe/index.html
18	住まいづくりのライブラリー	東リ	http://www.toli.co.jp/m_library/safety_list.html
19	家庭内事故事例	株式会社イー・ケア・サポート	http://www.ecare-support.com/e_hanasi_gol/e_home.html
20	事故を防ぐ住まいの工夫	介護NET	http://www.care-guide.net/oukyuteate/jiko.html
21	インテリアの安全	Kagufan	http://www.kagufun.com/ich012.htm
22	安全暮らしマニュアル	（不明）	http://anzen.fn69.com/home/
23	暖房器具の安全対策	（不明）	http://www.danbokigu.com/tech/kiso_anzen.html

図 4.3.6　住宅内事故に関するウェブサイト

（２）動画閲覧機能

国土技術政策総合研究所で実施したシンポジウム等について、適宜編集を行い、講演者毎の講演やパネルディスカッションを個々のコンテンツに分けて、ウェブサイト上で閲覧できるような機能を追加した（当日のプレゼンテーション資料やプログラム、配付資料等についても、ウェブサイト上で配布している）。

「建物事故予防ナレッジベース」上における動画のインデックスページの例を以下に示す。

図 4.3.7　シンポジウム報告インデックスページ（例）

図 4.3.8　各講演者のページ（例）

図 4.3.9　パネルディスカッションのページ（３分割して収録）

（３）新着情報の閲覧機能

事例や関連情報の追加・更新やお知らせなど、ウェブサイトに関する情報をトップページに掲載する機能を追加した。

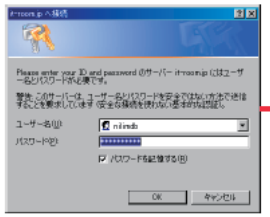
図 4. 3. 10　新着情報欄（赤い枠内の部分）

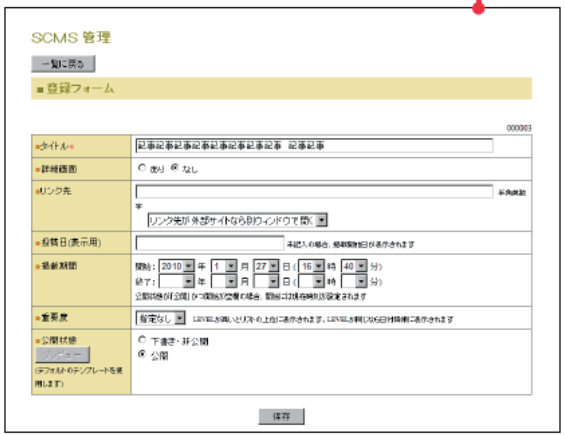
（４）投稿情報の管理機能

投稿された事故情報、工夫事例等を迅速かつ円滑に対応するための機能として、情報が投稿されたことを担当者にメール等で発信する機能、投稿された情報を担当者が読みとり、公開情報として掲載する機能を追加した。以下にそのシステム構成を示す。

■新着情報等の掲載機能

www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp





1

■ 投稿情報の管理機能

www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp

■ 新着情報の告知

・事故・ヒヤリハット・事故予防情報が投稿されたら指定されたメールアドレスに「投稿メール」が届く

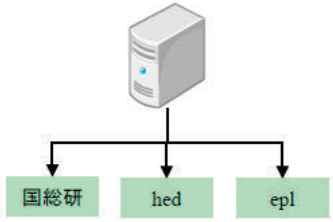
【 確認事項 】

・送信元のメールアドレス
・送信先のメールアドレス
（1アドレスに送り、複数担当者へ転送）
・メールサーバーの設置・設定
（電算室へ確認必要？）

【告知メール経路例】

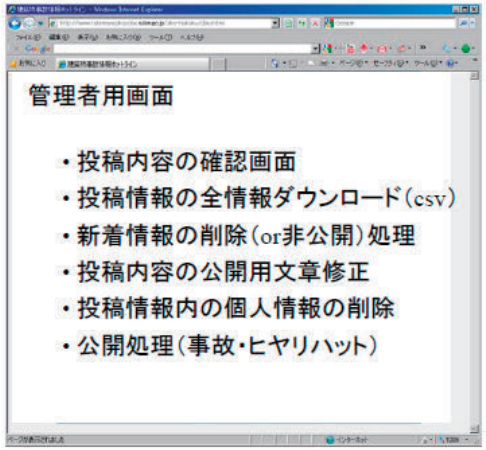
送信元：tatemonojikoyobo@nilim.go.jp

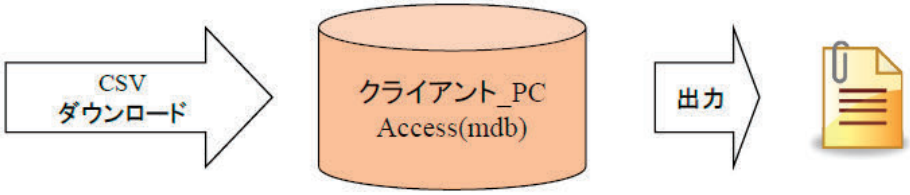
送信先：tatemonojikoyobo@epl.jp



■ 投稿内容の確認

管理画面の設置



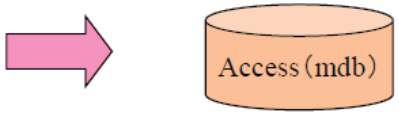


2

■ 公開までの流れ

www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp

1. CSVファイルダウンロード（差分バックアップ）



- 投稿されたオリジナルデータを蓄積
- 投稿のオリジナルデータの抽出

2. 投稿内容の確認（html / Access → word）
3. 投稿された内容が公開するに価する情報か判断
4. 公開する場合は投稿内容を公開用データへ修正
   （固有名詞・地区名等）
   ※紙面上で修正
5. 公開用データとして修正したデータで良いか確認作業
6. DB上のデータを公開用データに修正 ← Accessに正しくデータが取り込めたか確認
7. 個人情報の削除
8. 「速報」から「情報」へ切替

- データの保存環境としては、WebサーバーとDBサーバーは別構成になっており、DBサーバーは公開されていない。
- また、SSL認証も取っている。
- しかし、DB上に個人情報を残しておくことを考えると、クライアントPCでの保管が良いと考える。

4.4　シンポジウムの開催

ナレッジベースの普及、広報を目的とし、設計者、管理者、建築教育関係者等を対象としたシンポジウムを開催した、シンポジウムは東京と大阪において、それぞれ開催した。その報告を以下に記す。

■シンポジウム －建物内での日常事故を防ぐ設計・管理－　東京開催

開催日時：　平成 22 年 1 月 15 日（金）13:30～16:30
会　場：　弘済会館 会議室「萩」（東京都千代田区）
参加者数：　111 名

＜趣旨＞

社会の高齢化を反映し、廊下で転倒する、階段から転落するなど、日常生活における建物内での事故（日常事故）が多発している。国土技術政策総合研究所では、特に非住宅の建物内で、建物利用者の普段の生活や行動において発生した事故を対象として、それらの安全対策技術の開発を目標として、H18 年度よりプロジェクト研究として検討を進めてきた。その成果の一部として、日常事故事例や対策、関連情報等をまとめた「建物事故予防ナレッジベース」を、H21 年 8 月よりウェブサイト 上で公開している。本シンポジウムは、研究プロジェクトの成果及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及を目的として、建築設計者や建物管理者が留意するべき事故や安全対策の考え方について、有識者専門家から実例を交えた講演と、関係者によるパネルディスカッションにより、それぞれの立場から事故を予防するための方策について議論により、日常事故防止について広く啓発するために実施したものである。

＜プログラム＞

１．主旨説明：国土技術政策総合研究所より
２．基調講演：東京理科大学教授 直井英雄
３．安全・安心な建築デザイン：大阪工業大学教授 吉村英祐
４．建物事故をめぐる法的責任のあり方と裁判判例の傾向：佐藤貴美法律事務所 佐藤貴美
５．建物事故予防ナレッジベースについて：国土技術政策総合研究所
６．関係者によるパネルディスカッション
　パネリスト：直井英雄（前掲）、吉村英祐（前掲；パネルディスカッション進行）、佐藤貴美（前掲）、田鴎裕美（株式会社 建築プラス環境設計事務所）、碓氷辰男（東京建物株式会社）、高見真二（国土技術政策総合研究所）

＜概況＞

聴講者として、建築設計事務所、ハウスメーカー、ゼネコン、建材メーカー、設備機器メーカー、不動産・建物管理業、公共団体、公益法人など、建築に関係する幅広い職種の方々に、お越しいただき、会場はほぼ満席の状態であった。

パネルディスカッションでは、パネリスト自身のお立場から日常安全に対する所感を述べていただいたあと、① ガラスを多用した「見えない建築」、② 設計施工管理サイドの法的責任の今後のあり方、③ 過失相殺のケース、④「建物事故予防ナレッジベース」に関する意見、等について議論がなされた。また会場からの質疑応答も行い、活発な意見交換が行われた。

最後に、吉村教授から「安全性とデザインは必ず両立する」、直井教授から「建築物がある限り、事故は起こり続けるであろう。しかしながら皆がそれぞれの立場で配慮していれば、理不尽な事故はなくなるはずである。」というお言葉をいただき、シンポジウムは無事終了した。

写真 4.4.1　パネルディスカッション（大阪）の様子

写真 4.4.2　会場（大阪）の風景

■シンポジウム　ー建物内での日常事故を防ぐ設計・管理ー　大阪開催

開催日時：　平成 22 年 2 月 18 日（木）13:30～16:30

会　　場：　大阪府建築健保会館　6 階ホール（大阪市中央区）

参加者数：　93 名

＜趣旨＞

社会の高齢化を反映し、廊下で転倒する、階段から転落するなど、日常生活における建物内での事故（日常事故）が多発している。国土技術政策総合研究所では、特に非住宅の建物内で、建物利用者の普段の生活や行動において発生した事故を対象として、それらの安全対策技術の開発を目標として、H18 年度よりプロジェクト研究として検討を進めてきた。

その成果の一部として、日常事故事例や対策、関連情報等をまとめた「建物事故予防ナレッジベース」を、H21 年 8 月よりウェブサイト上で公開している。

本シンポジウムは、研究プロジェクトの成果及び「建物事故予防ナレッジベース」の普及を目的として、建築設計者や建物管理者が留意するべき事故や安全対策の考え方について、有識者専門家から実例を交えた講演と、関係者によるパネルディスカッションにより、それぞれの立場から事故を予防するための方策について議論により、日常事故防止について広く啓発するために実施したものである。

＜プログラム＞

１．開会挨拶：国土技術政策総合研究所

２．主旨説明：国土技術政策総合研究所

３．基調講演：東京理科大学教授　直井英雄

４．安全・安心な建築デザイン：大阪工業大学教授　吉村英祐

５．建物事故をめぐる法的責任のあり方と裁判判例の傾向：佐藤貴美法律事務所　佐藤貴美

６．建物事故予防ナレッジベースについて：国土技術政策総合研究所

７．関係者によるパネルディスカッション

パネリスト：直井英雄（前掲）、吉村英祐（前掲；パネルディスカッション進行）、佐藤貴美（前掲）、柳川陽文（株式会社 小河建築設計事務所）、佃敏晴（社団法人 大阪ビルメンテナンス協会）、入谷啓一（阪急阪神ビルマネジメント株式会社）、滑川秀明（大阪府住宅まちづくり部建築指導室）、高見真二（国土技術政策総合研究所）

＜概況＞

聴講者としては、東京会場と同様、建築設計事務所、ハウスメーカー、ゼネコン、建材メーカー、設備機器メーカー、不動産・建物管理業等、建築に関係する幅広い職種の方々に、お越しいただいた。また関西圏の地方自治体、地方整備局の方々の参加も目立った。

パネルディスカッションでは、まず、パネリスト自身のお立場から、日常安全に対する考え方や、取り組みについて述べていただいた。そこで、「建築基準法は最低基準であることを忘れず、小さなヒヤリ・ハット事例も教訓としながら設計を行うことが大切である」、「管理者として設計段階から関与するケースも多くあり、また商業施設などではオープン前に施設内を歩きまわり、入念なチェックを行う」、「まず、労働災害を減少させることが日常事故減少につながる」等のお話が伺えた。また、「建物事故予防ナレッジベース」に関する意見や活用方策についても議論された。最後に会場からの質疑応答も行い、活発な意見交換が行われ、シンポジウムは無事終了した。

なお、この時の様子は、「建物事故予防ナレッジベース」で記事としての掲載を予定している。

写真 4.4.3　パネルディスカッション（東京）の様子

写真 4.4.3　会場（東京）の風景

資 料 編

参考資料１　「建物内の日常事故遭遇について調査」－アンケート調査票
参考資料２　「建物内における日常事故のモニター調査」－モニター調査・調査票
参考資料３　「建物事故予防ナレッジベース」に納められたデータ
　①モニター調査
　②報道記事
　③判例
　④学校事故事例
参考資料４　「事故事例から学ぶべきこと」
参考資料５　「建物内での日常事故に関するアンケート調査」－意識調査・調査票

参考資料１　「建物内の日常事故遭遇について調査」－アンケート調査票

建物内の日常事故遭遇についての予備調査

【アンケート開始位置】

【ページ:1】

これから日常の事故に関する体験をお伺いいたします。
以下の日常事故の種類をご確認の上、アンケートにお答えください。
なお、本調査でいう日常事故には実際にケガをしたというものから危ないと感じた、ヒヤリ・ハットしたというものまでを含みます。

墜落事故：バルコニー・窓・吹抜などから落下する事故
転落事故：階段から転げ落ちる事故
転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故
落下物による事故：タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故
ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故
はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故
こすり：建物のざらざらした表面でこすって傷つけられる事故
鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故
やけど：ボイラーやストーブなどでやけどする事故
感電：コンセントなどで感電する事故
ガス中毒事故：ガス器具などで中毒する事故
溺水事故：浴槽などで溺れる事故
その他の事故：建物に関係する上記以外の事故

Q1 これまであなた自身が自宅・会社・外出時に建物内で、以下のような危ないと感じた体験・ケガをされたことがありますか。ある場合は、どのような事故が原因だったのか、種類もお答えください。
複数の体験・ケガがある場合は、もっとも最近のものをそれぞれ1つだけお選びください。

	墜落事故	転落事故	転倒事故	落下物による事故	ぶつかり	はさまれ	こすり	鋭利物による事故	やけど	感電	ガス中毒事故	溺水事故	その他の事故	体験はない・覚えていない
ヒヤリ、ハットしたことがある	[0030(1)] ○	[0030(2)] ○	[0030(3)] ○	[0030(4)] ○	[0030(5)] ○	[0030(6)] ○	[0030(7)] ○	[0030(8)] ○	[0030(9)] ○	[0030(10)] ○	[0030(11)] ○	[0030(12)] ○	[0030(13)] ○	[0030(14)] ○
痛かった出来事に遭ったことがある（特に処置しなかった）	[0031(1)] ○	[0031(2)] ○	[0031(3)] ○	[0031(4)] ○	[0031(5)] ○	[0031(6)] ○	[0031(7)] ○	[0031(8)] ○	[0031(9)] ○	[0031(10)] ○	[0031(11)] ○	[0031(12)] ○	[0031(13)] ○	[0031(14)] ○
軽いケガをしたことがある（救急箱で手当てした等）	[0032(1)] ○	[0032(2)] ○	[0032(3)] ○	[0032(4)] ○	[0032(5)] ○	[0032(6)] ○	[0032(7)] ○	[0032(8)] ○	[0032(9)] ○	[0032(10)] ○	[0032(11)] ○	[0032(12)] ○	[0032(13)] ○	[0032(14)] ○
中程度のケガをしたことがある（通院で治療した等）	[0033(1)] ○	[0033(2)] ○	[0033(3)] ○	[0033(4)] ○	[0033(5)] ○	[0033(6)] ○	[0033(7)] ○	[0033(8)] ○	[0033(9)] ○	[0033(10)] ○	[0033(11)] ○	[0033(12)] ○	[0033(13)] ○	[0033(14)] ○
重いケガをしたことがある（救急車で運ばれた、入院した等）	[0034(1)] ○	[0034(2)] ○	[0034(3)] ○	[0034(4)] ○	[0034(5)] ○	[0034(6)] ○	[0034(7)] ○	[0034(8)] ○	[0034(9)] ○	[0034(10)] ○	[0034(11)] ○	[0034(12)] ○	[0034(13)] ○	[0034(14)] ○

必須入力設定あり

Q2 Q1でお答えになった日常事故に遭われた時期をお選びください。
複数ある場合は最も最近のものを1つだけお選びください。（それぞれ1つだけ）

※Q1で「体験はない・覚えていない」を選択したものについては、Q2でも「体験はない・覚えていない」をお選びください。

	昨日（今日または昨日）	約1週間以内にあった	約1ヶ月以内にあった	約3ヶ月以内にあった	約1年以内にあった	1年以上前にあった	体験はない・覚えていない
ヒヤリ、ハットしたことがある	[0035(1)] ○	[0035(2)] ○	[0035(3)] ○	[0035(4)] ○	[0035(5)] ○	[0035(6)] ○	[0035(7)] ○
痛かった出来事に遭ったことがある（特に処置しなかった）	[0036(1)] ○	[0036(2)] ○	[0036(3)] ○	[0036(4)] ○	[0036(5)] ○	[0036(6)] ○	[0036(7)] ○
軽いケガをしたことがある（救急箱で手当てした等）	[0037(1)] ○	[0037(2)] ○	[0037(3)] ○	[0037(4)] ○	[0037(5)] ○	[0037(6)] ○	[0037(7)] ○
中程度のケガをしたことがある（通院で治療した等）	[0038(1)] ○	[0038(2)] ○	[0038(3)] ○	[0038(4)] ○	[0038(5)] ○	[0038(6)] ○	[0038(7)] ○
重いケガをしたことがある（救急車で運ばれた、入院した等）	[0039(1)] ○	[0039(2)] ○	[0039(3)] ○	[0039(4)] ○	[0039(5)] ○	[0039(6)] ○	[0039(7)] ○

必須入力設定あり

Q3 Q1・Q2でお答えになった危ないと感じた体験や事故（複数ある場合は直近のもの）はどのような建物で経験されましたか。
※Q1・2で「体験はない・覚えていない」を選択したものについては、Q3でも「体験はない・覚えていない」をお選びください。

	一戸建住宅、集合住宅（マンション、アパート、寮・寄宿舎など）の専有部分	集合住宅の共用部分（階段・廊下、エレベーターなど）	住宅以外の建物（店舗・飲食店、事務所、市役所、学校、工場、駅など）	体験はない・覚えていない
ヒヤリ、ハットしたことがある	[0040(1)] ○	[0040(2)] ○	[0040(3)] ○	[0040(4)] ○
痛かった出来事に遭ったことがある（特に処置しなかった）	[0041(1)] ○	[0041(2)] ○	[0041(3)] ○	[0041(4)] ○
軽いケガをしたことがある（救急箱で手当てした等）	[0042(1)] ○	[0042(2)] ○	[0042(3)] ○	[0042(4)] ○
中程度のケガをしたことがある（通院で治療した等）	[0043(1)] ○	[0043(2)] ○	[0043(3)] ○	[0043(4)] ○
重いケガをしたことがある（救急車で運ばれた、入院した等）	[0044(1)] ○	[0044(2)] ○	[0044(3)] ○	[0044(4)] ○

必須入力設定あり

【ページ:1】

【ページ:2】

Q4 3ヶ月以内に同居の家族等で日常事故に遭われた事例について具体的な内容をご存知ですか。

	詳細な事故の内容を、事故に遭った本人に聞かなくても知っている	事故に遭った本人に聞けばおおよそわかる	具体的な内容はわからないが、事例を知っている	知らない/特にない
高齢者（おおむね65歳以上）の事例	[0045(1)] ○	[0045(2)] ○	[0045(3)] ○	[0045(4)] ○
若年者（おおむね15歳以下）の事例	[0046(1)] ○	[0046(2)] ○	[0046(3)] ○	[0046(4)] ○
その他の家族等の事例	[0047(1)] ○	[0047(2)] ○	[0047(3)] ○	[0047(4)] ○

必須入力設定あり

【ページ:2】

【アンケート終了】

プレビューを終了する

Copyright (C) 2000-2006 Interscope Inc. All Rights Reserved.

建物内の日常事故遭遇についての本調査

【アンケート開始位置】

【ページ:1】

これまであなた自身が会社・外出時に建物内での生活行動の中で遭われた、日常事故についてお伺いします。複数ある場合はもっとも最近の事故1つ(事故の種類、軽重は問いません)について回答して下さい。
※本調査では、日常事故として、ケガには至らなかったけれども危険を感じた・びっくりしたという体験も含みます。
※地震・火災等の非日常的なものによる事故は除きます。
※住宅内での日常事故は除きますが、マンションの廊下・階段、エレベーターなど共用部分は含みます。

Q1 どのような事故でしたか。(1つだけ)

- [0030(1)] ○ 墜落事故:バルコニー・窓・吹抜などから落下する事故
- [0030(2)] ○ 転落事故:階段から転げ落ちる事故
- [0030(3)] ○ 転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故
- [0030(4)] ○ 落下物による事故:タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故
- [0030(5)] ○ ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故
- [0030(6)] ○ はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故
- [0030(7)] ○ こすり:建物のざらざらした表面でこすって傷つけられる事故
- [0030(8)] ○ 鋭利物による事故:窓ガラスなどで体を傷つけられる事故
- [0030(9)] ○ やけど:ボイラーやストーブなどでやけどする事故
- [0030(10)] ○ 感電:コンセントなどで感電する事故
- [0030(11)] ○ ガス中毒事故:ガス器具などで中毒する事故
- [0030(12)] ○ 溺水事故:浴槽などで溺れる事故
- [0030(13)] ○ その他【PRM0137】
- [0030(14)] ○ 事故に遭ったことはない

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:1】

【ページ:2】

Q2 どの程度の事故でしたか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

- [0031(1)] ○ ヒヤリ、ハットした
- [0031(2)] ○ 痛かった出来事に遭った(特に処置しなかった)
- [0031(3)] ○ 軽いケガをした(救急箱で手当てした等)
- [0031(4)] ○ 中程度のケガをした(通院で治療した等)
- [0031(5)] ○ 重いケガをした(救急車で運ばれた、入院した等)
- [0031(6)] ○ 事故に遭ったことはない

必須入力設定あり

【ページ:2】

【ページ:3】

Q3 いつごろの出来事ですか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

- [0032(1)] ○ 一両日中(今日または昨日)

- [0032(2)] ○ 約1週間以内
- [0032(3)] ○ 約1ヶ月以内
- [0032(4)] ○ 約3ヶ月以内
- [0032(5)] ○ 約1年以内
- [0032(6)] ○ 約1年以上前

必須入力設定あり

【ページ:3】

【ページ:4】

Q4 事故が生じた時間帯はいつ頃でしたか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

- [0033(1)] ○ 朝(おおむね起床から出勤・登校まで)
- [0033(2)] ○ 昼(おおむね勤務、授業、家事・買物中など)
- [0033(3)] ○ 夕方(おおむね退社、下校から帰宅まで)
- [0033(4)] ○ 晩(おおむね帰宅から就寝まで)
- [0033(5)] ○ 深夜(ホテルで就寝中、トイレ等で目覚めた時など)

必須入力設定あり

Q5 事故が生じた場所はあなたがよく利用する場所ですか。(1つだけ)

- [0034(1)] ○ よく利用している場所
- [0034(2)] ○ 時々利用する場所
- [0034(3)] ○ 初めての場所

必須入力設定あり

Q6 事故が生じた時の状況はどのようなものでしたか。(1つだけ)

- [0035(1)] ○ 平常時・取り立てて特徴のない状況
- [0035(2)] ○ 普段とは異なった状況

必須入力設定あり

【ページ:4】

【ページ:5】

Q7 普段とは異なっていた具体的な状況をお答えください。

【PRM0138】

必須入力設定あり

【ページ:5】

【ページ:6】

Q8 どのような建物で経験されましたか。(1つだけ)

- [0036(1)] ○ 集合住宅の共用部分(階段・廊下など)

[0036(2)] ○ 店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）
[0036(3)] ○ 飲食店
[0036(4)] ○ 事務所等
[0036(5)] ○ ホテル・旅館
[0036(6)] ○ 娯楽施設（ボーリング場、ゴルフ練習場、カラオケボックス、パチンコ店、映画館、劇場、バー・キャバレーなど）
[0036(7)] ○ 公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）
[0036(8)] ○ 学校
[0036(9)] ○ 病院
[0036(10)] ○ 工場・倉庫等
[0036(11)] ○ 駅・空港ビル
[0036(12)] ○ その他【PRM0139】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:6】

【ページ:7】

Q9 事故が生じた建物内の場所はどこでしたか。（1つだけ）

[0037(1)] ○ 事務室、店舗、学校等の室内
[0037(2)] ○ 廊下
[0037(3)] ○ 階段
[0037(4)] ○ トイレ
[0037(5)] ○ エレベーター
[0037(6)] ○ エスカレーター
[0037(7)] ○ 自動ドア、手動ドア
[0037(8)] ○ その他【PRM0140】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:7】

【ページ:8】

Q10 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0038] □ 滑りやすい材質（タイル、大理石など）だった
[0039] □ 床に段差があった
[0040] □ ゴミ・埃が落ちていた
[0041] □ 床に障害物・突起物があった
[0042] □ 床が濡れていた
[0043] □ 室内の通り道が狭かった
[0044] □ 暗かった
[0045] □ その他【PRM0141】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:8】

【ページ:9】

Q11 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0046] □ 滑りやすい材質（タイル、大理石など）だった
[0047] □ 廊下に段差があった
[0048] □ ゴミ・埃が落ちていた
[0049] □ 床に障害物・突起物があった
[0050] □ 廊下が濡れていた
[0051] □ 見通しが悪かった、死角ができていた
[0052] □ 暗かった
[0053] □ その他【PRM0142】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:9】

【ページ:10】

Q12 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0054] □ 滑りやすい材質（タイル、大理石など）だった
[0055] □ 手すりがなかった
[0056] □ 滑り止めがなかった、または滑り止めが割れていた、はがれていた
[0057] □ 階段の勾配が急だった（一段の水平面が狭かった、高さが高かった、を含む）
[0058] □ 階段の色がわかりにくかった
[0059] □ ゴミ・埃が落ちていた
[0060] □ 階段に障害物・突起物があった
[0061] □ 階段が濡れていた
[0062] □ 暗かった
[0063] □ その他【PRM0143】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:10】

【ページ:11】

Q13 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0064] □ 滑りやすい材質（タイル、大理石など）だった
[0065] □ 床に段差があった
[0066] □ ゴミ・埃が落ちていた
[0067] □ 床に障害物・突起物があった
[0068] □ 床が濡れていた
[0069] □ 室内空間が狭かった
[0070] □ 暗かった
[0071] □ その他【PRM0144】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:11】

【ページ:12】

Q14 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0072] □ エレベーターかご（エレベーター内）とフロアとの間に隙間・段差があった
[0073] □ 扉の開いている時間が短かった

[0074] □ 扉の開閉の速度が速かった
[0075] □ 扉が人の乗降中に作動した
[0076] □ 扉等のかげで外の様子が見えなかった
[0077] □ かごの床にゴミ・埃が落ちていた
[0078] □ かごの床が濡れていた
[0079] □ 暗かった
[0080] □ その他【PRM0145】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ：12】

【ページ：13】

Q15 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0081] □ エスカレーターの勾配が急だった
[0082] □ エスカレーターの速度が速かった
[0083] □ ステップが濡れていた
[0084] □ ステップにゴミ・埃が落ちていた
[0085] □ ステップの縦溝にひっかかりやすかった
[0086] □ 暗かった
[0087] □ その他【PRM0146】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ：13】

【ページ：14】

Q16 その場所の状況はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0088] □ 扉・ドアの入口の幅が狭かった
[0089] □ 周囲に障害物・突起物があった
[0090] □ 扉・ドアの開いている時間が短かった
[0091] □ 扉・ドアの開閉の速度が速かった
[0092] □ 扉・ドアが人の出入中に作動した
[0093] □ 扉・ドア周囲の床が濡れていた
[0094] □ 暗かった
[0095] □ その他【PRM0147】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ：14】

【ページ：15】

Q17 その場所がどのような状況（段差があった、濡れていた、暗かった等）であったか教えて下さい。

【PRM0148】

必須入力設定あり

【ページ：15】

【ページ：16】

Q18 事故が生じた時、持ち物や履物といったあなた自身の状況は、どのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0096] □ サンダル・スリッパを履いていた
[0097] □ ブーツ・ハイヒールなど踵の高い靴を履いていた
[0098] □ 荷物を持っていた
[0099] □ 書類・携帯電話などを見ていた
[0100] □ 他の人と話をしていた
[0101] □ ベビーカーなどをおしていた
[0102] □ 杖をついていた
[0103] □ 赤ちゃん、子供を抱えていた
[0104] □ 子供と手をつないでいた
[0105] □ 小走り、走っていた
[0106] □ 早足で歩いていた
[0107] □ 足元が見えなかった・見えにくかった
[0108] □ その他【PRM0149】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ：16】

【ページ：17】

Q19 事故が生じた時、あなた自身の身体の調子や心理的な状態はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0109] □ よそ見をしていた
[0110] □ 考え事をしていた
[0111] □ 急いでいた
[0112] □ あわてていた、焦っていた
[0113] □ 疲れていた
[0114] □ 周囲に注意をしていなかった
[0115] □ 不意をつかれた
[0116] □ 体調が悪かった
[0117] □ 酒をのんでいた
[0118] □ 体が思ったように動かなかった
[0119] □ バランスを保てなかった
[0120] □ 見えにくかった
[0121] □ その他【PRM0150】
[0122] □ 特に普段と変わった点はなかった

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ：17】

【ページ：18】

Q20 事故が生じた時、他の人の影響がありましたか。当てはまるものすべてをお答えください。

[0123] □ 他の人が押してきた、ぶつかってきた
[0124] □ 他の人がよりかかってきた・もたれてきた

[0125] □ 他の人が飛び出してきた
[0126] □ 他の人がバランスをくずした
[0127] □ 他の人に視界を遮られた
[0128] □ 他の人が急いでいた
[0129] □ 他の人がよそ見をしていた
[0130] □ 他の人の悪意・いたずらによるものだった
[0131] □ その他【PRM0151】
[0132] □ 他の人からの影響はない

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:18】

【ページ:19】

Q21 事故の状況や原因について、これまでの選択肢を補足して具体的に記述ください。
※例えば「知人のマンションを初めて訪ねた際、雨で濡れていた玄関ホールで足を滑らせ転倒して手首を捻挫し、医院で治療した。閉まりかけていたエレベーターに乗ろうと走りだしたところ、床は一部だけタイルだったので滑りやすいことに気づかず、傘と手提げカバンで両手が塞がっていたので体がうまく支えられなかった」など選択肢に含まれていない内容、選択肢からだけでは判別できない内容の補足に配慮してお答えください。

【PRM0152】

必須入力設定あり

【ページ:19】

【ページ:20】

Q22 事故の原因について、建物およびその管理者とあなた自身とでどの程度の責任があると感じていますか。考えに近いものを1つ選んでお答えください。

[0133(1)] ○ 明らかに建物およびその管理者に責任がある
[0133(2)] ○ どちらかと言えば建物およびその管理者側に責任がある
[0133(3)] ○ 建物およびその管理者と自分に、ほぼ半々の責任がある
[0133(4)] ○ どちらかと言えば自分に責任がある
[0133(5)] ○ 明らかに自分に責任がある
[0133(6)] ○ どちらにも責任はない
[0133(7)] ○ その他【PRM0153】

FA必須　　必須入力設定あり

【ページ:20】

【ページ:21】

Q23 あなたが事故・危険に遭われたことを建物関係者（所有者や管理者）は知っていますか。
※所有者や管理者には施設のスタッフ、学校の先生・職員等も含みます。

[0134(1)] ○ 建物関係者は把握している
[0134(2)] ○ 建物関係者は把握していない
[0134(3)] ○ その他（所有者や管理者が知っているかどうかわからないなど）

必須入力設定あり

Q24 その後、事故のあった箇所は改善されましたか。改善された場合は、その概要も改善点欄に記入してください。

[0135(1)] ○ 改善された
[0135(2)] ○ 改善されていない
[0135(3)] ○ 改善されたかどうかわからない

必須入力設定あり

【ページ:21】

【ページ:22】

Q25 事故にあった箇所はどのように改善されましたか。具体的にお答えください。

【PRM0154】

必須入力設定あり

【ページ:22】

【ページ:23】

Q26 身の回りの建物で日頃危ないと感じている場所、事故がよく起きる場所をご存知でしたら、どのような場所でどのように危ない状態であるかを教えてください。

【PRM0155】

[0136] □ 特になし

必須入力設定あり

【ページ:23】

【アンケート終了】

プレビューを終了する

Copyright (C) 2000-2006 Interscope Inc. All Rights Reserved.

建物内の日常事故遭遇についての本調査

【アンケート開始位置】

【ページ:1】

あなたの**若年(15歳以下)または高齢(65歳以上)の同居家族**が学校や外出時に建物内での生活行動の中で遭われた日常事故についてお伺いします。複数ご存知の場合はもっとも最近の事故1つ(事故の種類、軽重は問いません)について回答して下さい。

※本調査の「事故」は、日常事故として、ケガには至らなかったけれども危険を感じた・びっくりしたという体験も含みます。
※地震・火災等の非日常的なものによる事故は除きます。
※住宅内での日常事故は除きますが、マンションの廊下・階段、エレベーターなど共用部分は含みます。

Q1 事故に遭われたのは**若年(15歳以下)と高齢(65歳以上)の同居家族**のどちらになりますか。

※事故に遭われた方が複数いらっしゃる場合は、最も最近事故に遭われた方おひとりについてお答えください。

[0030(1)] ○ 若年(15歳以下)
[0030(2)] ○ 高齢(65歳以上)

必須入力設定あり

【ページ:1】

【ページ:2】

Q2 事故に遭われた**若年(15歳以下)の同居家族**の方の年齢をお答えください。

【PRM0031】

必須入力設定あり

【ページ:2】

【ページ:3】

Q3 事故に遭われた**高齢(65歳以上)の同居家族**の方の年齢をお答えください。

【PRM0032】

必須入力設定あり

【ページ:3】

【ページ:4】

Q4 事故に遭われた**同居家族**の方の性別をお答えください。

[0033(1)] ○ 男性
[0033(2)] ○ 女性

必須入力設定あり

【ページ:4】

【ページ:5】

ここからは、Q1～Q4でお答えになった、家族の方が遭われた事故についておうかがいします。

Q5 どのような事故でしたか。(1つだけ)

[0034(1)] ○ 墜落事故:バルコニー・窓・吹抜などから落下する事故
[0034(2)] ○ 転落事故:階段から転げ落ちる事故
[0034(3)] ○ 転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故
[0034(4)] ○ 落下物による事故:タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故
[0034(5)] ○ ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故
[0034(6)] ○ はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故
[0034(7)] ○ こすり:建物のざらざらした表面でこすって傷つけられる事故
[0034(8)] ○ 鋭利物による事故:窓ガラスなどで体を傷つけられる事故
[0034(9)] ○ やけど:ボイラーやストーブなどでやけどする事故
[0034(10)] ○ 感電:コンセントなどで感電する事故
[0034(11)] ○ ガス中毒事故:ガス器具などで中毒する事故
[0034(12)] ○ 溺水事故:浴槽などで溺れる事故
[0034(13)] ○ その他【PRM0047】
[0034(14)] ○ わからない

FA必須　　必須入力設定あり

Q6 どの程度の事故でしたか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

[0035(1)] ○ ヒヤリ、ハットした
[0035(2)] ○ 痛かった出来事に遭った(特に処置しなかった)
[0035(3)] ○ 軽いケガをした(救急箱で手当てした等)
[0035(4)] ○ 中程度のケガをした(通院で治療した等)
[0035(5)] ○ 重いケガをした(救急車で運ばれた、入院した等)
[0035(6)] ○ わからない

必須入力設定あり

Q7 いつごろの出来事ですか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

[0036(1)] ○ 一両日中(今日または昨日)
[0036(2)] ○ 約1週間以内
[0036(3)] ○ 約1ヶ月以内
[0036(4)] ○ 約3ヶ月以内
[0036(5)] ○ 約1年以内
[0036(6)] ○ 約1年以上前
[0036(7)] ○ わからない

必須入力設定あり

【ページ:5】

【ページ:6】

Q8 事故が生じた時間帯はいつ頃でしたか。最も近いものを1つお選びください。(1つだけ)

[0037(1)] ○ 朝(おおむね起床から出勤・登校まで)
[0037(2)] ○ 昼(おおむね勤務、授業、家事・買物中など)
[0037(3)] ○ 夕方(おおむね退社、下校から帰宅まで)
[0037(4)] ○ 晩(おおむね帰宅から就寝まで)

[0037(5)] ○ 深夜（ホテルで就寝中、トイレ等で目覚めた時など）
[0037(6)] ○ わからない

必須入力設定あり

Q9 事故が生じた場所は家族の方がよく利用する場所ですか。（1つだけ）

[0038(1)] ○ よく利用している場所
[0038(2)] ○ 時々利用する場所
[0038(3)] ○ 初めての場所
[0038(4)] ○ わからない

必須入力設定あり

Q10 事故が生じた時の状況はどのようなものでしたか。（1つだけ）

[0039(1)] ○ 平常時・取り立てて特徴のない状況
[0039(2)] ○ 普段とは異なった状況
[0039(3)] ○ わからない

必須入力設定あり

【ページ:6】

【ページ:7】

Q11 普段とは異なっていた具体的な状況をお答えください。

【PRM0048】

必須入力設定あり

【ページ:7】

【ページ:8】

Q12 事故が生じた場所は家族の方がよく利用する場所ですか。（1つだけ）

[0040(1)] ○ よく利用している場所
[0040(2)] ○ 時々利用する場所
[0040(3)] ○ 初めての場所
[0040(4)] ○ わからない

必須入力設定あり

Q13 事故はどのような建物で生じましたか。（1つだけ）

[0041(1)] ○ 集合住宅の共用部分（階段・廊下など）
[0041(2)] ○ 店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）
[0041(3)] ○ 飲食店
[0041(4)] ○ 事務所等
[0041(5)] ○ ホテル・旅館
娯楽施設（ボーリング場、ゴルフ練習場、カラオケボックス、パチンコ店、映画館、劇場、バ

[0041(6)] ○ ー・キャバレーなど）
[0041(7)] ○ 公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）
[0041(8)] ○ 学校
[0041(9)] ○ 病院
[0041(10)] ○ 工場・倉庫等
[0041(11)] ○ 駅・空港ビル
[0041(12)] ○ その他【PRM0049】
[0041(13)] ○ わからない

FA必須 必須入力設定あり

Q14 事故が生じた建物内の場所はどこでしたか。（1つだけ）

[0042(1)] ○ 事務室、店舗、学校等の室内
[0042(2)] ○ 廊下
[0042(3)] ○ 階段
[0042(4)] ○ トイレ
[0042(5)] ○ エレベーター
[0042(6)] ○ エスカレーター
[0042(7)] ○ 自動ドア、手動ドア
[0042(8)] ○ その他【PRM0050】
[0042(9)] ○ わからない

FA必須 必須入力設定あり

【ページ:8】

【ページ:9】

Q15 事故の状況や原因について、これまでの選択肢を補足して具体的に記述ください。
例えば「8歳の息子が友人のマンションに初めて遊びに行った際、雨で濡れていた玄関ホールで足を滑らせ転倒して手首を捻挫し、医院で治療した。閉まりかけていたエレベーターに乗ろうと走りだしたところ、床は一部だけタイルだったので滑りやすいことに気づかず、傘と手提げカバンで両手が塞がっていたので体がうまく支えられなかったという話である」など選択肢に含まれていない内容、選択肢からだけでは判別できない内容の補足に配慮してお答えください。

【PRM0051】

必須入力設定あり

Q16 事故の原因について、建物およびその管理者とあなたの家族の方とでどの程度の責任があると感じていますか。
考えに近いものを1つ選んでお答えください。

[0043(1)] ○ 明らかに建物およびその管理者に責任がある
[0043(2)] ○ どちらかと言えば建物およびその管理者側に責任がある
[0043(3)] ○ 建物およびその管理者と家族に、ほぼ半々の責任がある
[0043(4)] ○ どちらかと言えば家族に責任がある
[0043(5)] ○ 明らかに家族に責任がある
[0043(6)] ○ どちらにも責任はない
[0043(7)] ○ その他【PRM0052】

FA必須 必須入力設定あり

Q17 あなたの家族の方が事故・危険に遭われたことを建物関係者（所有者や管理者）は知っていますか。
※所有者や管理者には施設のスタッフ、学校の先生・職員等も含みます。

[0044(1)] ○ 建物関係者は把握している
[0044(2)] ○ 建物関係者は把握していない
[0044(3)] ○ その他（所有者や管理者が知っているかどうかわからないなど）

必須入力設定あり

Q18 その後、事故のあった箇所は改善されましたか。

[0045(1)] ○ 改善された
[0045(2)] ○ 改善されていない
[0045(3)] ○ 改善されたかどうかわからない

必須入力設定あり

【ページ：9】

【ページ：10】

Q19 事故にあった箇所はどのように改善されましたか。具体的にお答えください。

【PRM0053】

必須入力設定あり

【ページ：10】

【ページ：11】

Q20 身の回りの建物で日頃危ないと感じている場所、事故がよく起きる場所をご存知でしたら、どのような場所でどのように危ない状態であるかを教えてください。

【PRM0054】

[0046] □ 特になし

必須入力設定あり

【ページ：11】

【アンケート終了】

Select Contents

【PRM0031】

VALUE	caption
0	▼お選びください

1	0歳
2	1歳
3	2歳
4	3歳
5	4歳
6	5歳
7	6歳
8	7歳
9	8歳
10	9歳
11	10歳
12	11歳
13	12歳
14	13歳
15	14歳
16	15歳

【PRM0032】

VALUE	caption
0	▼お選びください
1	65歳
2	66歳
3	67歳
4	68歳
5	69歳
6	70歳
7	71歳
8	72歳
9	73歳
10	74歳
11	75歳
12	76歳
13	77歳
14	78歳
15	79歳
16	80歳
17	81歳
18	82歳
19	83歳
20	84歳
21	85歳
22	86歳
23	87歳
24	88歳
25	89歳
26	90歳
27	91歳
28	92歳

29	93歳
30	94歳
31	95歳
32	96歳
33	97歳
34	98歳
35	99歳
36	100歳 以上

プレビューを終了する

Copyright (C) 2000-2006 Interscope Inc. All Rights Reserved.

参考資料２　「建物内における日常事故のモニター調査」－モニター調査・調査票

NetMile
マイルを貯めてシアワセGET!
アンケートむるば

建物内における日常事故のモニター調査

1 問目／ 9 問

現在 11.1 %

0 % 50 % 100 %

本調査は、あなたご自身が普段の生活の中で、通勤・通学またはどこかへ出かけられた際に、
建物の中で起こった（あるいは、起こりそうになった）日常事故について、
その現場の写真画像を添付していただき、その事故の内容等について、ご回答いただくものです。

※ここでいう「日常事故」には、ケガには至らなかったけれども危険を感じた・びっくりしたという体験も含みます。
※地震や火災などの非日常的な状況による事故は除きます。
※自宅を含む住宅内での日常事故は除きますが、マンションの廊下・階段、エレベーターなど共用部分での日常事故は含みます。
屋外の事例や道路、広場、公園、交通機関関係の事例も対象外です。

写真画像については、お手持ちのデジタルカメラや携帯電話のカメラ機能等を利用して、可能な範囲での撮影をお願いします。
また、無理は行わず、あなた自身の安全確保、トラブル回避を優先させてください。

あなたが体験した日常事故（危険を感じた・びっくりしたという体験も含みます）についてお伺いします。

Q1 モニター期間中、事故が起こった日時についてお伺いします。
日時を忘れた方、よくわからない方は「月」・「日」の両方の空欄に「わからない」とご記入下さい。【必須】

（10文字以内）

月 月

日 （頃） 日 （頃）

Q2 事故が起こった時間帯はいつ頃でしたか。最も近いものを1つ選んで下さい。【必須】

- ○ 朝 （日の出から午前10時まで）
- ○ 昼中（午前10時から午後4時まで）
- ○ 夕方（午後4時から午後7時まで）
- ○ 夜 （午後7時から深夜12時まで）
- ○ 深夜・早朝（深夜12時から日の出まで）
- ○ 不明・定かではない

Q3 事故の種類はどのようなものですか。1つ選んで下さい。【必須】

- ○ 墜落事故：バルコニー・窓・吹抜けなどから落下する事故
- ○ 転落事故：階段から転げ落ちる事故
- ○ 転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故
- ○ 落下物による事故：タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故
- ○ ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故
- ○ はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故
- ○ こすり：建物のざらざらした表面でこすって傷つけられる事故
- ○ 鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故
- ○ やけど：ボイラーやストーブなどでやけどする事故
- ○ 感電：コンセントなどで感電する事故
- ○ ガス中毒事故：ガス器具などで中毒する事故
- ○ 溺水事故：浴槽などで溺れる事故
- ○ その他の事故：建物に関係する上記以外の事故 [ ]

Q4 事故の程度はどのくらいですか。近いものを1つ選んで下さい【必須】

- ○ ヒヤリ、ハットした

- 痛い思いをしたが、特に何もしなかった
- 軽いケガをした（救急箱で手当てした等）
- 中程度のケガをした（通院で治療した等）
- 重いケガをした（救急車で運ばれた、入院した等）

Q5 事故が起こった建物の種類はどのようなものですか。近いものを1つ選んで下さい。【必須】

- 集合住宅の共用部分（階段・廊下など）
- 店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）
- 飲食店
- 事務所等
- ホテル・旅館
- 娯楽施設（ボーリング場、ゴルフ練習場、カラオケボックス、パチンコ店、映画館、劇場、など）
- 公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）
- 学校
- 病院
- 工場・倉庫等
- 駅・空港ビル
- その他 [ ]

Q6 事故が起こった建物内の場所はどのようなところですか。近いものを1つ選んで下さい。【必須】

- 事務室、店舗、学校等の室内
- 廊下
- 階段
- 扉、ドア（手動）

- トイレ
- エレベーター
- エスカレーター
- 自動ドア
- その他の場所（具体的場所：）

Q7 事故が起こった場所は、あなたがよく利用する場所ですか。1つ選んで下さい。【必須】

- よく利用している場所
- 時々利用している場所
- 初めて利用する場所

Q8 事故が生じた状況や原因について具体的にお答えください。【必須】

例1）知人のマンションを初めて訪ねた際、雨で濡れていた玄関ホールで足を滑らせて転倒した。
手首を捻挫してしまったため医者に通った。
初めてで、きょろきょろしていて足元をよく見ていなかったのと、玄関ホールが石のタイルで、
もともと滑りやすかったのが原因だと思う。

例2）閉まりかけたエレベーターに、慌てて乗り込もうとしたところ、ドアに体が挟まれた。
結局ドアは開いたが、反応が悪く、また両手に荷物を持っていて手が使えなかったので
一瞬挟まったままの状態となり、怖かったし痛い思いもした。

（150文字以内）

これまでお答え頂いた、その事故が起こった（起こりそうになった）場所の写真画像を添付してください。

Q9 写真画像登録ページはこちらから　（別ウインドウで開きます）

添付が終わりましたら、「写真画像を添付した」を選択してこのアンケートは終了となります。

【必須】

「写真画像はあとで添付する」の方は、メールでご案内しているURLから、期間中にご応募ください。
「この事故についての写真は添付できない」方も、応募が可能になりましたらメールでご案内しているURLから
ぜひ応募をよろしくお願いいたします。

- ○ 写真画像を添付した
- ○ 写真画像はあとで添付する
- ○ この事故についての写真は添付できない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信　入力し直す

▲ページのTOPへ

Copyright (C) 2001-2009 NetMile, Inc. All Rights Reserved.

参考資料３　「建物事故予防ナレッジベース」に納められたデータ

①モニター調査

②報道記事

③判例

④学校事故事例

①モニター調査

2007年

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
1	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	2:廊下	古い文化施設の板張り廊下の継ぎ目に10ミリ位の段差があり、スリッパが引っかかって転びかけた。
2	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	2:廊下	床下の構造を見せるため、廊下の一部を切り取ってガラス張りにしてある場所があり、床がないかとヒヤリとした。
3	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	2:廊下	靴下だったので、急いでいてフローリング部分で滑ってころびそうになった。
4	63	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	3:階段	図書館の入り口階段の手前から地面が凍っていたので、滑って転びそうになった。
5	51	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	9:その他	JRの駅のプラットホームで、小雨に濡れた部分の視覚障害者向け停止線が少しへこんでおり、そこに水がたまっていて滑ってこけそうになった。こけると線路に落ちるかもしれなかった。
6	63	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	花屋の店頭でチューリップフェアを開催していて、花、宣伝の人、従業員、お客様などで、混雑し、自転車で通りかかったところ、危うく、人とぶつかりそうになりました。
7	51	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	12:その他	2:廊下	地下街の通路で、少しデコボコした石のように見えるタイルの部分があり、きれいに清掃されているのだが、やや擦り減ったようになっており、ツルツルで革靴では滑って歩きにくく、こけそうになった。
8	63	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	9:その他	社会教育センターの入り口が自転車で混雑していて、自動車駐車料の精算機もそばにあって、自転車を止めようとする時、自動車駐車料精算機を使用する人と自転車を駐輪する人がぶつかりそうになった。
9	17	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	4:事務所等	9:その他	歩いていたら突起のあるタイルで躓きそうになった。
10	42	女	13:その他	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	5:トイレ	トイレットペーパーを引き出す際に、切断用の歯に指が触れ指を切りそうになった。
11	61	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	4:扉、ドア（手動）	道の駅へ車で行き。中に入ろうと致しましたが、ガラスウインドウで危うくガラスにぶつかるところでした。
12	60	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	旅行中スーパーにあるトイレに入った後、廊下部分に出たときになだらかなスロープになっていて気が付かずにつんのめるような感じなった。その所にちょうどつなぎ部分があって(ステンレスの)そこの境目でつまずきそうになった。
13	75	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	この駐輪場の前は車道になっており、約10センチほど車道が高い段差になっている。ここでつまずき、もし転んでいたら車道に倒れてしまうところであった。
14	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	3:階段	出入り口の階段が斜めの段差になっているので、左側は段差なし、右側は段差ありで、気づきにくく、かかとが引っかかって転びそうになった。
15	50	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅共用部分	2:廊下	掃除業者の作業がいいかげんで、玄関ホールが濡れていて滑った。
16	61	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	夕方で少々暗い目であったので下の石畳(レンガ)の段差に気が付かなかった。引っかかって危うく転びそうになった。
17	63	女	2:転落	1:ヒヤリハット	7:公共施設	3:階段	階段を下りるときもう少しで踏み外すところだった
18	61	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	8:学校	2:廊下	ぼーっとしていて躓きそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
19	49	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	12:その他	4:扉、ドア（手動）	玄関から外に出ようとしたところ、しゃがんだ時にすべってしまし、コンクリートのに足をぶつけてしまった。はっとした程度でけがもなかったので、安心しました。
20	63	女	6:はさまれ	2:痛かった	6:娯楽施設	4:扉、ドア（手動）	フィットネスクラブの更衣室で扉のばねが強くて閉めるとき指をはさんだ。すごく痛かった
21	18	女	2:転落	1:ヒヤリハット	3:飲食店	3:階段	雨の日でヒールの高い靴で両手が塞がっていたので階段のめくれかかった部分に足をとられかけた
22	61	女	6:はさまれ	1:ヒヤリハット	8:学校	4:扉、ドア（手動）	引き戸であけようとしたところ、別の人が入ってこようとしていてぶつかりそうになった。
23	18	女	3:転倒	2:痛かった	12:その他	9:その他	玄関から出ようとした時に、滑った。
24	75	男	5:ぶつかり	2:痛かった	5:ホテル・旅館	9:その他	顔を洗おうと洗面盤の上に顔を出したところ、水栓が長く出ており、また洗面盤上方の小さな棚(石鹸などを置く棚）があったため、この棚に頭をぶつけた。怪我はなかったが、痛い思いをした。
25	64	男	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	階段を上っている時に段差につまずいて転びそうになった。
26	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	9:その他	スロープのタイルが濡れていて足を滑らした。転びそうでヒヤリとしただけ。
27	63	女	3:転倒	2:痛かった	11:駅・空港ビル	9:その他	次の列車に乗るためホームで立っていたら発車間際に乗ろうと走ってきた乗客に突き飛ばされて転んだ。並んでいる他の乗客が起こしてくれた。
28	44	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	4:事務所等	9:その他	ビルの地下駐車場への入口スロープを下ろうとしていた。雨が降ってタイルがぬれていたので滑りそうになってヒヤッとした。
29	63	女	2:転落	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	3:階段	階段を下りているとき荷物が重くてふらっとなりもう少しで落ちるところだった。手すりにつかまって何とか落ちないですみました。
30	63	男	13:その他	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア（手動）	ドアの近くに案内板やカート・段ボール等が置かれていて手に荷物を持って入ろうとしたところ通路が狭くなっていてぶつかりそうになった。
31	63	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア（手動）	ショッピングセンターで手動扉の近くがものを置く場所になっていてぶつかりそうになった。
32	20	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	9:その他	公共施設の自動ドアを出たところに段差があることに気付かず、転びそうになった。段差自体はあまり高くないけれど、段差の上下で色が同じで分かりにくく、踏み外してしまったため、びっくりした。
33	61	女	5:ぶつかり	2:痛かった	8:学校	3:階段	手すりの部分に腰をぶつけた
34	51	男	3:転倒	2:痛かった	5:ホテル・旅館	3:階段	妙にイレギュラーな構造の階段上り口でつまづいて膝を打撲した。
35	56	女	2:転落	1:ヒヤリハット	4:事務所等	3:階段	来客があったので、階段を急いで降りていこうとしたら、階段の下から2段目でもう一段あるのをきずかず、ずっこけてしまった。軽い捻挫ですぐに回復したが、以前(6年前)にも同じような状況で降りたところに、段差があり、足くるぶしの剥離骨折をしたこともあります。ついつい、急いでいたのと、手すりが鉄なので冷たくて頼らなかったのが、いけなかったようです。今後も、必ず手すりを利用するようにしなけらば危険と、つくずく思いました。
36	63	女	13:その他	1:ヒヤリハット	4:事務所等	9:その他	会社の通用門が階段になっていて、出入口は階段の一番下の段で、そのすぐそばは敷地内ですが、歩道と段差も境界もないため、大勢の人や自転車がその出入口付近の敷地内を歩道として、使用しています。出口から急いで階段を降りて出てくる人と、自転車に乗った人がぶつかりそうになりました。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
37	19	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	8:学校	5:トイレ	トイレの床が濡れていて踏んでしまい靴のソールが濡れてつるっと滑った。
38	50	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	用を済ませ、電車に乗るために駅に向かおうとエレベーターに歩いていった。エレベーターに近づく時エレベーターの現在位置を確認するために視線が上方にいき、足元に配線（蓋つき）があることに気がつかなかった。転びはしなかったがつまづいた。
39	18	女	5:ぶつかり	2:痛かった	7:公共施設	9:その他	自転車置き場の頭上に、階段の出っ張りがあり、頭を打った。
40	18	女	5:ぶつかり	2:痛かった	7:公共施設	9:その他	自転車置き場の境界のブロックが目立ちにくく、足を引っかけた。
41	53	男	9:やけど	2:痛かった	3:飲食店	1:室内	回転寿司屋で茶碗に給湯しようとしたところ「蛇口」の金属部分に右手の親指が触れて軽い火傷をした。
42	53	男	3:転倒	2:痛かった	4:事務所等	9:その他	事務所玄関の上がり框から降りようとしたら、踏み板が離れていたためつまずいた。
43	70	女	3:転倒	2:痛かった	12:その他	9:その他	銀行のドアから出てきて、歩道との境の金属の踏み板が渡してある。傾斜があったのですべって転んだ。写真では傾斜がよく映ってなかった。
44	44	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	4:事務所等	9:その他	雨が降っていて、会社の玄関前の石畳が濡れていて滑りました。
45	51	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	7:公共施設	4:扉、ドア（手動）	地域のコミュニティーセンターの学習室に私が入ろうとしたときに、出てきた人がいて、扉が外開きだったため、こちら側に開き、私にぶつかりそうになった。
46	50	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	7:公共施設	9:その他	雨がかなり強く降っていました。区の施設の出入り口あたりが滑りやすくなっていて、たくさんの荷物を持っていた私は、足下に余り気をつけていなかったので、ツルリ、と滑ってしまいましたが、転ぶことは有りませんでした。
47	63	女	3:転倒	2:痛かった	2:店舗等	9:その他	売り場のほうに入っていく通路が濡れていて滑った。柵につかまったとき手すりにうまくつかまれずに手すりで指を強打した。
48	70	女	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅共用部分	2:廊下	屋根のある廊下だが、外から雨がふりこんできて部分的に濡れている。うっかり通るとすべる。2年前にも同じ状況で尻餅をついて、第一腰椎圧迫骨折で入院した経験があるので、普段から気をつけているが、小ぬか雨だとめだたなくて、履物によってはすべる。今回はころんだけれど尻餅ではなかったので、骨折はまぬがれた。
49	27	男	3:転倒	2:痛かった	2:店舗等	9:その他	駐車場から店舗に入る連絡通路のコーンがずれて立っておりつまづいた。
50	63	女	7:こすり	2:痛かった	11:駅・空港ビル	2:廊下	駅の地下道のような通路を歩いているとき走ってくる人をよけるため壁に寄り過ぎてざらざらの壁に手をこすり痛かった。
51	70	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	3:階段	駅で通路を歩いてきて、階段にさしかかる前に、平らから少し高くなっていて段差のようにもちあがっている。同じリズムで歩いてくると靴がひっかかってつまずいてしまった。
52	52	女	13:その他	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	階段の端の滑り止めが一部分外れていて、それに靴が引っかかって、つんのめって落ちそうになった。
53	63	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	デパートの駐車場から歩いてエレベーターに入る前が段になっていてつまずいた
54	18	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	8:学校	5:トイレ	よそ見をしていて、後ろに下がったら軽くぶつかった。
55	32	男	7:こすり	3:軽いケガ	4:事務所等	4:扉、ドア（手動）	服を掛けていたのを取ろうとして指を切った。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
56	65	女	3:転倒	2:痛かった	11:駅・空港ビル	3:階段	両手が荷物でふさがっており、階段を踏み外した。
57	75	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	2:店舗等	5:トイレ	トイレに入ろうとしてドアの前に立ったところ、中から先にドアを開けて出てきた人がいたため、この人とほとんど鉢合わせになるところだった。なんとか回避したが、はっとしてしまった。
58	18	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	9:その他	コンクリートの柱と別に、金属の棒柱が出ており、暗い場所では見にくくぶつかりそうになった。
59	61	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	6:エレベーター	マンションの共用部分に、画鋲が数個落ちていて、薄暗かったので、それに足をとられて、滑りそうになりました。ひやりとしました。
60	64	男	2:転落	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	3:階段	レジャー施設の階段が急角度で、しかも薄暗かったので見づらくてひやりとした。
61	70	女	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅共用部分	4:扉、ドア（手動）	常に使っているドアの敷居に当たる部分が他のフロアと段差の高さが他とは少し違っていてつっかけて転んだ。
62	18	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	9:その他	非常通路の出口に消火栓があって通りにくく、足をぶつけた。緊急時だったらとても危ない。
63	50	男	13:その他	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	3:階段	夕方の突然の雨と、突風で、通路の階段が濡れていて転びそうになった。
64	70	女	3:転倒	2:痛かった	12:その他	9:その他	駐車場の一番端の場所に駐車したので、料金支払機と車との間がせまく施設のパイプなどにひっかかって転んだ。
65	17	女	6:はさまれ	2:痛かった	8:学校	4:扉、ドア（手動）	学校のドアで手をはさんだ。外の渡り廊下から学校の中へとつながるドアで、今日は強風だったのでドアが勝手に閉まり、思い切りはさまれた。
66	63	女	4:落下物	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	百貨店の食堂で食事をしていたときウエイトレスが注文を聞きに来たときもう一人のウエイトレスとぶつかりお盆を食器ごと落とし割れた食器の破片が飛んできた。足にあたったがズボンだったので難を逃れた。
67	63	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	4:事務所等	4:扉、ドア（手動）	雑居ビルで、駐車場に出ようとした時、そのドアが向こうへ開くようになっていたので、ドアの前にいた人にぶつけてしまいそうになった。手前に開くようになっていれば、良いのにと思った。
68	19	男	3:転倒	2:痛かった	8:学校	4:扉、ドア（手動）	久しぶりに雪が降った日で床が濡れていることに気づかず滑って転んでしまった。そのときに倒れて手を付いてしまい、捻挫かなって思うくらいの怪我をしてしまいました。
69	20	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅共用部分	3:階段	湿気でぬれていて階段で滑った。
70	39	男	3:転倒	2:痛かった	3:飲食店	9:その他	飲食店の玄関の階段が凍結していた。歩いて階段を上り玄関のドアを開けようとした時に滑って転んだ。
71	40	女	2:転落	2:痛かった	1:集合住宅共用部分	3:階段	季節外れの雪が降って、屋内の階段もぬれていた。普通の靴で勢いよく階段を登ろうとしたら滑って膝を打った。単なる打撲で特に治療の必要もなし。
72	70	女	5:ぶつかり	2:痛かった	2:店舗等	8:自動ドア	スーパーの出入り口付近でゆっくり歩いているとき、後ろから子供を乗せるカートを子供が乗らずに勢いつけて押してきて私に当たり、私はドアに思い切りぶつかった。過去に骨折していた背中や足が非常に痛かった。
73	19	男	5:ぶつかり	2:痛かった	2:店舗等	9:その他	量販店の出入り口付近の柱で体をぶつけました。買い物をして重い荷物を持っていたので、店に入ろうとする人とすれ違いよけたところであたった。
74	33	女	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	階段の幅（一段ごとの）が狭く、靴のかかと部分までおさまらないため、ヒールが階段に引っかかってこけそうになった。この階段は手すりがなく、段差も高いので、かなり危険に思う。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
75	19	女	2:転落	2:痛かった	1:集合住宅	3:階段	寝ぼけてふらふらしながら歩いてたら階段の踊り場から落ちかけました。
76	27	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	9:その他	競馬場のパドックで写真を撮っていたが、左右の人に押されバランスを崩し転びそうになってしまった。写真には撮っていないが、馬券売場でも押されて転びそうになった。
77	27	男	5:ぶつかり	2:痛かった	5:ホテル・旅館	1:室内	ホテルでのパーティーに出席したが、料理を求める人の行列に加わっていた所、割り込みにあってしまい、壁側だったため壁にぶつかってしまった(特に怪我はしていません)。この写真はそのパーティーでの様子です。
78	18	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	ペットショップの熱帯魚売り場で転びそうになった。こぼれていた水が放置されていた。その日は中日優勝のバーゲンで、店舗内はとても混雑していた。
79	39	男	9:やけど	1:ヒヤリハット	8:学校	1:室内	転倒したときに電気暖房機に誤って手を触れてしまい、必要以上に温度が高くなっていて、もう少しでやけどしそうだった。
80	52	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	公団住宅の外装工事中で階段を下りきったところに塗料による汚れを防止するためにシートが張ってあるが前日の台風の雨水が溜まっているのだが、シートの色が透明に近いブルーなために水のたまり具合がわからずに階段からシート上に下りた時に滑って転倒しそうになった。
81	52	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	渋谷のヨドバシカメラの2Fにあるマクドナルドの入り口の階段を上りきったところに若干の傾斜があります。登りでは気付きませんが、下る時にこの傾斜につまづくことでその先にある階段を踏み外しそうになりました。私以外にも同様な人がおりました。
82	84	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	2:廊下	ここから運送業者の運んでいたタンスが間違って下に落下、自分は何も被害はありませんでした。
83	43	男	3:転倒	2:痛かった	9:病院	9:その他	歯科医院でイスに座ろうとしたら、床にコンセントがあり足が少しさわったと思ったら、コンセントが出てきて躓いた。
84	70	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	普段、履き慣れていないヒールの高めの靴を履いていた為、滑り止めのマットの横で滑りそうになった。
85	38	女	3:転倒	4:中程度のケガ	8:学校	3:階段	階段を下りるときにつまずき、なべに入ったオイルが手にかかり火傷をした。
86	17	女	3:転倒	2:痛かった	8:学校	2:廊下	学校の廊下の溝にはめてあるアルミニウムのふたが外れて下に落ち込んでいた。その溝に足を取られてつまずき足をくじいた。
87	34	女	5:ぶつかり	3:軽いケガ	12:その他	9:その他	スイミングスクールの受付ロビーで背中の尾てい骨のあたりをケガした。他の保護者の方たちと同じく、壁際に並んで子供を待っていた。下の子が離れようとしたので、しゃがんで抱っこし、立ち上がろうとした時に、壁の角で腰をぶつけた。少し皮がむけ、血が滲んだ。
88	19	男	3:転倒	2:痛かった	8:学校	9:その他	通学時に通るエントランス前通路のタイルが一箇所だけ変に段がついてしまっており、右足のつま先を躓いた拍子に軽くひねってしまった。授業に遅れそうで急いで小走りだったため、焦っていたのも原因だ。
89	19	男	7:こすり	1:ヒヤリハット	8:学校	3:階段	耐震工事の関係で通常階段ではなく屋外非常階段を使用することになったのだが、手すり下が破損しているため、危うく踏み外して裸足だったので足を擦りそうになった
90	17	女	10:感電	1:ヒヤリハット	8:学校	1:室内	教室の黒板のところにあった延長コードがむき出しになっていて，感電しそうでひやっとしました。男の子たちが良くいたずらしているのを見ます。前に1回火花が出てショートしたところを見ました。怖かったです。
91	19	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	早足で階段を下りていたときに、壁があったので反対側からあがってきている人に気づかず、ぶつかりそうになり、よけようとしたら数段踏み外し落ちそうになった。
92	29	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	4:事務所等	1:室内	エレベーターホールから外に出る際、床が雨で濡れていた為滑った。段差もあり、自動ドアもありぶつかりそうになるし、転倒しそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
93	24	男	2:転落	3:軽いケガ	1:集合住宅	3:階段	集合住宅の階段で滑った。朝だったので、少し露があったせいもあり、滑りやすかった。軽く手をすりむいてしまった。
94	28	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	雨で濡れている階段で滑りかけた。夜で、暗いこともあり、足もとがはっきりしなかった。
95	19	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	8:学校	1:室内	教室の入り口でつまずいた慣れているので足元を見ずに教室へ入ろうとしたところ段差をまちがえてつまずいた
96	28	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	柱が邪魔で見通しの悪い場所で人とぶつかりそうになった。
97	28	男	2:転落	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	3:階段	タイルに沿って真っ直ぐ歩いていたら、階段がタイルに対して斜めに設置されていたので、錯覚を起こし、こけそうになった。
98	19	男	5:ぶつかり	2:痛かった	7:公共施設	4:扉、ドア	中にいた人が扉を開けて出てきたため、ちょうど扉の外側にいた私は、よけきれず扉に当たった。
99	36	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	2:廊下	夜電灯のみの明かりで歩いている時、建物のつなぎにある数センチの段差でつまずきかけた。以前にも同じような経験をしたことがある。
100	39	男	3:転倒	2:痛かった	4:事務所等	9:その他	雨で濡れた大理石部分が滑りやすくなっており転倒者が出た。
101	40	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	3:飲食店	3:階段	ワックスが滑り過ぎで転倒しそうになった
102	39	男	5:ぶつかり	2:痛かった	4:事務所等	4:扉、ドア	出入り口自動ドア脇の透明なガラス部分にガラスがないと思って激突。その後、対策としてガラスありますとういう風に丸いシルバーのシールを貼って注意を促すようにしている
103	39	男	2:転落	2:痛かった	4:事務所等	3:階段	階段の滑り止めが外れて転倒事故。幸い大した怪我も無かった。
104	37	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	9:その他	雨で床のタイルが濡れていたので滑って転びそうになった。
105	33	男	5:ぶつかり	2:痛かった	1:集合住宅	3:階段	天井が低すぎて階段を駆け下りた時に頭を擦った。
106	52	男	6:はさまれ	2:痛かった	4:事務所等	1:室内	事務机の引き出しの角に足がひっかかりズボンを損傷、軽い擦過傷を負う。
107	34	男	7:こすり	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	エレベーターを出てすぐに、こすった
108	42	女	4:落下物	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	アパートの階段の壁が崩れ、ボロボロ崩落してきた。しばらくして補修工事の足場が組まれたが、1ヶ月近く足場だけで作業が始まらず放置されていた。その後どのような工事がされるのかなと思ったら、崩れた部分の壁が塗り替えられただけだった。かなり古い建物なので、根本的な耐震強度やさらなる壁崩落があるのではないかと、現在も危険を感じています。
109	35	男	5:ぶつかり	2:痛かった	4:事務所等	1:室内	会社事務所内のドア近くに立っていて、他の者が事務所に入ろうとして勢いよくドアを開けたため、そのドアで背中を強打し、怪我まではしなかったが痛い思いをした。
110	35	男	6:はさまれ	2:痛かった	4:事務所等	1:室内	扉を開けて中の物を取ろうと腕をロッカー内に入れていた時、他の者が偶然扉にあたり勢いよく扉が閉まったため、腕を挟まれ痛い思いをした。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
111	37	男	13:その他	1:ヒヤリハット	4:事務所等	1:室内	事務所内のシュレッダーを掃除中に内部のクズを取り除く際、気が付いたら紙を裁断する入り口付近を触れており、一歩間違えば手を切っていたかもしれなかったとヒヤッとした。
112	26	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	急いで階段を下りるときにつまずいて落ちそうになった
113	26	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	床がぬれていてすべって転んだけど両手に荷物を持っていたので体を支えられずに顔を強く打った。
114	16	女	13:その他	2:痛かった	8:学校	2:廊下	学校からいつも帰るときにこれによく足が引っかかり、引っかき傷になった。
115	33	女	2:転落	1:ヒヤリハット	10:工場・倉庫	3:階段	階段でころげ落ちそうになった。階段がぬれていて、すべった。
116	42	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	が、階段のすべり止めの1段目が、接着だか両面テープで止めてあるだけのようで剥がれそうで、踏んだときグラッとした転ぶまでは行かなかったが、危ないと思った。2段目以降はちゃんとねじで止まっていた。雨の日などを考えると恐いと思った。
117	22	男	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	滑り止めがなく段差が分かりづらくて、階段を踏み外しそうになった。
118	22	男	2:転落	1:ヒヤリハット	8:学校	3:階段	階段が急な上に足の踏む面が小さいので、踏み外しそうになった。また、1階から2階までと、2階以上で階段の傾斜と踏む面の大きさが違うのも、こけそうになる一つだと思う。
119	42	女	2:転落	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	9:その他	階段が急で段差が大きく、階段板もやや水平ではなかったため、子どもを抱いて降りるときにバランスを崩して転落しそうになった。
120	33	男	5:ぶつかり	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	ボンベ庫と自転車置き場の間の通路を通って駐車場へ向かう途中、ボンベ庫と自転車置き場の屋根が接近していて通路が狭くなっている場所があり、自転車置き場の屋根に頭をぶつけた。普段は気をつけて通行しているが、その時は急いでいてうっかりぶつけてしまった。
121	24	男	5:ぶつかり	4:中程度のケガ	1:集合住宅	9:その他	駐車場の電気が消えており、駐車場に石が無かったため、バックしすぎて、塀に衝突し、鞭打ちになってしまった。
122	24	男	3:転倒	5:重いケガ	1:集合住宅	3:階段	雨が降っており、誰かが掃除をしており、水浸しで滑りやすい状態であっただけではなく、入り口付近のタイルが大変滑りやすい状態になっており、その上、小さな段差が多数見られるので、つまずいたり、滑ってしまい、頭を強く打ってしまった。
123	39	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	駐車場からマンションに入るのに何故か鍵を開けないと入れないドアの所に階段がありいつも荷物があったりすると鍵を開けながら階段を上り入らなければいけないので、つまづきそうになる。
124	44	男	9:やけど	2:痛かった	10:工場・倉庫	1:室内	水道の横にある温水器のを雑巾で拭いている時、熱湯が通っている金属の管に手が触れて軽いやけどをした。
125	44	男	5:ぶつかり	3:軽いケガ	10:工場・倉庫	2:廊下	ドアノブを左手で握って開けたら左側のドアと合わさる部分に手が当たって裂傷した。
126	32	女	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	5:トイレ	トイレをしようと子供を座らせていたら足を掛け立ち上がった為落ちそうになった。
127	32	女	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	5:トイレ	オムツを替えていたら子供が暴れた拍子に留めていたウエストのバンドがはずれ落ちそうになった。
128	40	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	3:階段	急いで走って下ろうとしたとき滑りそうになったが手すりがあったからたすかった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
129	42	男	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	大型テナントの2階と3階の間のテラス風のようなところの階段です。黄色いビニールテープ？で滑って段を踏み外しそうになって手すりで助かった。すべり止めなのか、夜用の反射用なのか、不明だが、石のままの方が滑らないと思った。雨が降ってはいってきたら、もっと滑るのではないかと思った。
130	35	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	9:その他	夜間で足元が暗い中で2センチ程度の段差が見えずに躓いて転倒した
131	35	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	玄関部分の階段で道路との取り付け部分が傾斜しており段差に気がつかず足を踏み外し転倒した傾斜の上の部分と下の部分で段差が極端にあったため
132	34	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	11:駅・空港ビル	5:トイレ	トイレの扉に突起物があり、子供の目の高さにある。子供が走った際に突起物が目に刺さりそうになった。
133	41	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	9:その他	雨の降る夜、買い物に行こうとサンダルを履いて歩いていたら、滑って転んだ。その他の日も雨で濡れると滑って危ない。
134	42	女	5:ぶつかり	2:痛かった	4:事務所等	4:扉、ドア	重たい鉄の扉ですがいつもラッチボルト（かんぬき部分）が掛っておらず、押すだけで開く状態でした。その為、当日もそのつもりで指で押し開けようとした所…この時に限ってしっかりかんぬきが掛っており、軽い突き指状態になりました。
135	43	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	2:廊下	雨の日、緩やかなスロープが濡れていて、走っていた子供が転びそうになった
136	43	男	2:転落	2:痛かった	6:娯楽施設	3:階段	緩やかな回り階段で、内側のステップが狭く、足を踏み外して、足をひねった
137	42	女	2:転落	1:ヒヤリハット	7:公共施設	3:階段	住んでいる町のセンターの階段で、段には2本の線が入っているのですが段の縁には何も印は無く、視力の悪い私にはどこが境目なのかが判りづらくはらはらします。お年よりも多く利用する施設なので、階段の縁に印をつけて欲しいと思います。
138	37	男	3:転倒	2:痛かった	4:事務所等	2:廊下	急いで荷物を片付ける時に躓いてこけた軽い打撲
139	40	男	13:その他	4:中程度のケガ	12:その他	9:その他	旧館から新館へ2人でテーブルを運搬中、門の角に手の甲を接触させてしまい、裂傷を負う。
140	28	女	6:はさまれ	2:痛かった	4:事務所等	1:室内	会社の事務室に入ろうとした時、強風が吹いて指をドアに挟んだ。
141	28	女	2:転落	1:ヒヤリハット	4:事務所等	3:階段	会社の事務室からポストに行こうとしたところ、階段が砂利で滑り、落ちそうになった。
142	27	男	13:その他	2:痛かった	4:事務所等	4:扉、ドア	ドアの向こう側に人がいて、ドアを開けたときにぶつけてしまった。
143	51	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	3:階段	鉄骨階段が低く（1.6mぐらい）、歩行時頭をぶつけそうになった。
144	38	男	2:転落	2:痛かった	4:事務所等	3:階段	事務所の従業員専用階段で足を滑らせそのまま転倒。雨が降っていた形跡があり、まだ降っているか雨雲を確認しながら階段を下りた。元々雨脚が強かったせいか靴置き場から濡れていたようで、下りる前から靴の底が濡れた状態になっていた。画面中央の場所から金属からコンクリートに変わるがその直前の金属階段の部分で足を取られそのままの勢いでずり落ちた。残りわずかな段数だったため大事には至らなかったが、上からだと最後がコンクリート階段なので、考えただけでもぞっとする。
145	38	男	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	4:事務所等	3:階段	事務所の従業員扉を出たところにある、喫煙場所になっている所の灰皿代わりに使用している缶に足を引っかけ中に入っている吸い殻やゴミが散乱し、階下にいた人間にかかってしまった。お昼休みの時間を過ぎ慌てて階段を上っているときに、いつもなら目に入る吸い殻入れを思いっきり蹴っ飛ばしてしまい。足は痛いは、ゴミは散乱するはで、散々でした。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
146	31	女	5:ぶつかり	3:軽いケガ	7:公共施設	9:その他	物を取りに行ったら消火器が入っている入れ物の角にぶつかって腕に切り傷を負った
147	44	女	8:鋭利物	2:痛かった	1:集合住宅	3:階段	疲れていたので、手すりを伝って歩いていたら、点字の表示板が貼ってあって、それがめくれていて手が切れそうになった。
148	47	女	3:転倒	2:痛かった	11:駅・空港ビル	9:その他	駅の改良工事中で自動改札機の中の床面が養生用のゴムマットで1段高くなっており、そこを過ぎれば平面だと思ってたら　改札機を出た途端に急にまた1段上がっていて　つまずいた。見ていると、何人もの人がつまずいていた。
149	44	男	13:その他	1:ヒヤリハット	4:事務所等	4:扉、ドア	現場は、隣接する事務室と作業室を仕切っているドア（作業室内に向かって開く）付近である。このドアには窓等が無く、ドア越しに別室の様子を窺うことは出来ない。また、作業室側では、このドアの近くまで壁収納が設置されている。事故は、作業室で壁収納に設置されている資料を参照（収納前で立ち見）していた者が、事務室側から開いたドアに当たり（押され）、資料ファイル（フォルダ）の角を壁収納のガラス戸に当ててしまいガラス戸が割れたというものである。
150	40	男	6:はさまれ	3:軽いケガ	1:集合住宅	4:扉、ドア	マンション共用部分の各戸の門扉において、幼稚園児の息子が手をはさんだ状態で、上の娘が勢いよく閉めたため、怪我をした。
151	52	男	5:ぶつかり	2:痛かった	4:事務所等	3:階段	階段を使って3階まで登って行く時に、階段部分にまで出っ張ったコンクリートの構造物（？）に頭と肩をぶつけた。
152	39	女	13:その他	1:ヒヤリハット	7:公共施設	9:その他	後ろのスタンドをちゃんとロックしていない自転車が、いっぱいになってきた自転車に押されてか、通りすがりにさわってか、後ろのスタンドがはずれ、たおれかかってきて、子供をおろそうとしていたときに、危険を感じた。
153	44	男	2:転落	1:ヒヤリハット	6:娯楽施設	4:扉、ドア	漫画喫茶の個室の扉から出るとすぐ階段があった。薄暗いためとても危険に感じた。
154	20	女	3:転倒	3:軽いケガ	1:集合住宅	3:階段	水浸しで滑ってしまった。階段はコンクリートでできており、端はタイルみたいなのがついており、雨の日はとても滑りやすい。手すりもなく、掴むところがないので、滑って後頭部を打ってしまった。幸い打ち所がよく、大事には至らなかった。
155	44	男	2:転落	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	3:階段	階段を踏み外し転げ落ちそうになった。
156	39	女	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	階段の上のところが濡れてすべって階段を落ちそうになった
157	48	男	13:その他	2:痛かった	4:事務所等	3:階段	朝、事務所のあるビルの階段を登っているとき、上から駆け下りてきた若い男性と踊り場の部分で正面衝突した。ビルの階段はコンクリートの壁に隔てられていて、踊り場の真ん中に立たないと上と下の階段部分を見通すことができない。見通しが利かないので、急いでいるとぶつかりそうになったことがこれまでにも何度かあった。私の頭が腹に当たって相手はかなり痛そうだったが、どちらも軽く詫びてそのまま別れた。かなり激しく頭が当たったので、しばらくは頭がフラフラしたが幸いそれ以上の怪我はなかった。
158	41	男	2:転落	1:ヒヤリハット	2:店舗等	3:階段	階段の踊り場の床に張り付けられた点字ブロックのシートが一部はがれて浮き上がっており、ここにつま先を引っ掛けて転倒しそうになった。手すりにつかまり転落は免れたものの、手すりに手が届かなかったら間違いなく階段から落ちていたと思われる
159	25	女	3:転倒	2:痛かった	4:事務所等	1:室内	つまづいて転び、しかもコンセントボックスでひざを打った。
160	41	女	6:はさまれ	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア	スーパーの女性トイレのドア。身障者でも開けられるようにスムーズな引き戸になっているのだが、引き戸の端の部分が建物側の部分と5センチほど重なり、しかもその両者の間がちょうど手が挟まる程度の隙間が空く構造になっている。そのため、扉の端を持って閉めようとすると、スムーズに動く造りのため余計にスーッと加速度が付いて閉まり、指が扉と建物との間に挟まってケガをしそうになった。
161	37	女	3:転倒	3:軽いケガ	1:集合住宅	2:廊下	床が濡れていて、滑って転び、お尻を打ち付け、横に倒れた際に柱で肘を打った。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
162	43	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	店舗フロア部分が傾斜があるものの一段高くなっています。店舗に入る人は色が違うこともあって認識できますが、そこはトイレから出てきたときに斜めに通り抜けれる場所でお年寄りがつまずきました。床が大理石風でもありこれからの季節、すべって余計に危険です。
163	29	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	ベビーカーを押しながらお店をみていたときに床の配線のカバーにつまづき転びそうになった
164	53	女	3:転倒	3:軽いケガ	4:事務所等	1:室内	床から配線が出ており、何かかぶせて「注意」の赤紙が貼ってある。普段は注意して避けて歩くが、急いでいる上に重い荷物を持っていて下が見えなかったため、つまづいた。ねん挫した。
165	53	女	13:その他	4:中程度のケガ	4:事務所等	1:室内	退去した同フロアの隣室の原状回復工事。工事をすることは聞いていたが、廊下で続いている隣同士で、工事の部屋もこちらもドアは開けたまま。窓はない。そこで壁・床などを剥がし、新たに張り直した。その過程でシンナー・有機溶剤と思われるものが流れてきて中毒した。通院中。
166	27	男	5:ぶつかり	2:痛かった	4:事務所等	3:階段	階段を駆け下りているとき、膝ぐらいの位置に出っ張っていた火災用のランプにぶつかって軽いアザが出来た。
167	24	女	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	友人宅(マンション)に遊びに行った際、階段を登りきった踊り場と廊下の境に1～2cmの段差があり、躓いてコケはしなかったが親指が凄く痛くて、恐怖心を感じた
168	32	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	2:廊下	1歳の子供が、柵から外を見ようとして柵に近寄り、溝の境に足を置いてしまいぐらついた。うまく柵が握れていなかったら、そのまま頭を柵にぶつけていたのではないかと思う。廊下の外側の壁は、壁・すりガラス・柵、になっていて、その端のほうには雨水などの排水溝がずっと続いている。1歳の子供が、よちよち歩きで廊下を歩いている時に、柵の部分で外が見えたので興味を持ち、近寄ったのだが、小さい子供なので両手で柵に捕まると、ちょうど足下が溝との段差にかかってしまうので、ぐらついた。なだらかなスロープならよかったのにと思う。
169	44	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	9:病院	1:室内	椅子のキャスターがはずれているのに気づかずに腰掛けて、椅子ごと倒れそうになった。バランスを崩したが、転びはしなかった。
170	42	女	5:ぶつかり	1:ヒヤリハット	9:病院	2:廊下	廊下の両方から物を運んだ荷台が来て、見通しが悪かったせいか、片方の人が壁側によけた時に曲がってきた荷台と壁の間に挟まれそうになった
171	25	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	雨が降っているとき床が濡れており緩い傾斜にもなっているのですべって転びそうになった。
172	30	女	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	マンション入り口のドアを入った所ですぐ右手側にあるインターホン側に向かったら段差があり、足首をくじいた。段差はドアを入る側からはタイルの目地の部分のためパッと見では分からなかった。
173	32	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	夜中に自転車で帰ってきて、家の中に折りたたんでしまう際に共用の廊下部分の電気が切れてしまっていたため真っ暗でつまずき転倒。折りたたみ自転車と床に手を挟み打撲。
174	37	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	雨が降っていて、床が傘の水滴でぬれていた。ゴム底の靴を履いていたのでつるっとすべって足と腰がかなり痛かった。
175	31	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	ショッピングセンターの売り場で、近くにある陳列棚の照明などの電気コードにつまずいた。コードの配線が何本も束ねてあり、他にコードがある場所と比べると、段差が大きくなっていた。
176	31	女	3:転倒	2:痛かった	2:店舗等	7:エスカレーター	ショッピングセンターのエスカレーター前に敷いてあるマットにつまずいて転んだ。めくれやすいマットで、これまでも何度かつまずくことがあった。乗降口の金属部分と店舗の床の材質が違うため、店舗側の部分に足を引っかけやすい。
177	31	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	9:その他	ショッピングセンターのカート置き場にあるマットの隙間につまずいた。雪が降っていて子供を抱っこしており、足下の隙間に気づかなかった。
178	33	女	6:はさまれ	2:痛かった	9:病院	4:扉、ドア	病院の引き戸で人差し指をはさんだ。ゆっくり閉まるタイプの引き戸だったので大きなケガはなかったが痛みがしばらく続いた。
179	38	女	7:こすり	2:痛かった	7:公共施設	3:階段	児童会館のような建物で、建物内の階段やその他に子供の興味を引くような仕掛けがされている。これもその仕掛けのひとつで壁を凹凸にして絵が描いてあり、「何に見えるか？」という仕掛けであったのだが、人をよけた方向が凹凸のある壁側だったので痛かった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
180	27	女	5:ぶつかり	2:痛かった	2:店舗等	2:廊下	よそ見をしながら歩いていたところ、前の柱に気づかず、そのまま衝突。顔や手の甲などをぶつけ、軽い打撲を負った。
181	27	女	3:転倒	2:痛かった	2:店舗等	1:室内	大型店舗の中の靴屋に入ろうとしたら、ちょっとした段差に気が付かず、つまずいてあやうく転びそうになった。子供を抱きかかえていたので、ひやりとした。
182	43	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	スーパーの売り場を見て歩いていたら、荷物を積んだ台車に足がひっかかり、つまづいて転倒しそうになった。通路に段ボールで商品が陳列されているのも危ないと思う。
183	33	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア	ピンヒールを履いていたとき、自動ドアの下の隙間にヒールがはまった。すぐに抜けたが、転びそうになりヒヤっとしました。
184	33	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	お店の中の通路部分に這わせてある配線のカバーにつまずいた。他の場所は配線が埋めてある部分に段差がなかったのですが、この部分は後に工事をした為なのか、盛り上がっていました。割れ物が展示してあるエリアで体のバランスを崩したのでヒヤっとしました。
185	33	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	1:室内	商店の床に敷いてあるマットの一部がめくれ上がっており、それに気付かずに、該当部分に足が引っ掛かり転倒しそうになった。
186	33	女	3:転倒	3:軽いケガ	7:公共施設	2:廊下	公民館の廊下を小走りしたところ、掃除の直後だったのか床がちょっと濡れていて滑ってひざをすりむいた。
187	33	女	2:転落	4:中程度のケガ	1:集合住宅	3:階段	通勤するときに急いで団地の階段を駆け下りたときに角に貼り付けてある金製の部分でヒールが滑って、10段ほどすべり落ちた。腰を打って打撲で通院した。
188	37	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア	本屋で買い物を済ませた後、つり銭を財布にしまいながら扉を開け、あまり足元に注意を払わずに外に出ようとしたとき、扉の下付近の段差にかかと部分だけが乗った状態になってしまい、危うく転倒しそうになってしまった。怪我には至らなかったが、段差が生じない構造であるほうが安全だと感じた。（写真は、店舗の外側から扉の下の部分を写したもの）
189	31	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	4:扉、ドア	スーパーの入り口で床が濡れていて滑った。子供を連れていたので怖かった。
190	43	女	5:ぶつかり	3:軽いケガ	1:集合住宅	9:その他	親戚の子供（7歳）を預かり家に帰宅した時に、郵便受けの扉が開いている物があり、子供が頭をぶつけた。角ではなかったため小さなコブ程度ですみましたが、もし角であったら裂傷を負っていたと思います。
191	32	男	4:落下物	2:痛かった	1:集合住宅	2:廊下	奥扉の自宅に向かっている時に、手前左のドアが急に開き、驚いて後ろに下がった際に左尻と消化器と衝突、消化器が落下した。
192	46	男	3:転倒	1:ヒヤリハット	1:集合住宅	9:その他	アスファルトがめくれ足が滑った
193	46	男	7:こすり	1:ヒヤリハット	7:公共施設	9:その他	自転車を押して歩いていたら通路の亀裂にハンドルを取られ転倒しかけた
194	36	男	3:転倒	2:痛かった	1:集合住宅	4:扉、ドア	非常に強い雨が降ってた夜で、廊下ですらどこもびしょびしょにぬれているような状態だった。自身の革靴で何気なく通った所、急いで通ったせいもあって勢いよく後方へ転倒した。
195	25	女	3:転倒	1:ヒヤリハット	2:店舗等	2:廊下	ショッピングセンターの従業員用通路はひび割れが多くあり躓いて転びそうになったことがある。

2008年

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2035	50	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	廊下	初めて利用したところで、つまずきすべりそうになった。 靴がすべりやすいのをはいていたからかもしれない。
2036	62	男	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	自宅前の児童公園で注意しても毎週ゴルフをする老人がいます。 事故にはなっていませんが、注意してもそのときだけで、子供達がいてもゴルフボールを打ち上げます。 写真はゴルフをしている老人としてかって写した物です。
2037	48	男	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	玄関ホールを出ると歩道が無くすぐに車道だが後ろからくる車に気がつかないで車道に 出ると非常に危険。先月不注意で危うくぶつかりそうになった。
2038	28	男	墜落事故：バルコニー・窓・吹抜けなどから落下する事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	窓を開けようとしたら、8階の高さから、すべって落ちそうになった。
2039	58	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	工場・倉庫等	階段	20kg位の荷物を両手で抱えて階段を降りていて、頭の中で階段を1段勘定間違えてしまい、そのままの姿勢で前のめりに頭から突っ込んでしまいそうになったが、かろうじて堪え、転倒せずにすんだ。
2040	51	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	濡れたエントランのタイルで滑って、腰をひねった。 コルセットを巻いている。 雨天時や廊下のカーッペット清掃時も濡れて滑る。
2041	60	男	はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	その他	扉、ドア（手動）	出かけるときに玄関ドアの蝶番側に指をかけていて、閉まって左左手指の爪の部分を挟まれた。隙間が全くなく内側で力が強く、大変痛かった。最初骨に影響あるかと思うくらいだったが、朱cっほの予定があるのどそのまま出かけた。爪の下が出血しさわれないほど痛かった。現在は爪の下の出血のみで回復している。
2042	18	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	病院	扉、ドア（手動）	引っかけてしまった
2043	22	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	駅・空港ビル	エレベーター	閉まりかけたエレベーターに挟まれたが特に怪我はなくすんだ。
2044	37	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	階段	駅からつながるビルの階段で 滑り止めのない石敷きの階段、ところどころ濡れていた 足が滑り、しりもちをつく形で転倒　打ち身にはなったが怪我はなし　経年で石が丸みを帯び、濡れたことで滑りやすく、私が履いていた靴の底が滑りやすかったのも原因かと。
2045	32	男	ガス中毒事故：ガス器具などで中毒する事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	自分の不注意
2046	51	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	廊下	雨で濡れた玄関スロープで滑った。
2047	60	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	夜、一階の階段下にある集合ポストに郵便物を取りに階段を降りる時に、考え事をしていて階段をよく見ていなかったために足を踏み外して転倒した。幸い、ちょっとすりむいただけで済んだが、打ちどころがわるければ、大怪我をしていたかもしれない。
2048	44	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	駐車場からエレベータに通じるドアのステップが三角形なので、足を踏み外して、両手に荷物を持っていたため、こけてしまい、軽い捻挫をした

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2049	65	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	階段	わが家の飼い犬がアレルギー性皮膚炎で、毛が沢山抜け落ちています。寒かろうと子供用の服を着せていますが、階段を下りるときに袖から足が外れていて、転げ落ちました。合わない服を着せたのが事故の原因だと思います。犬にとっては恐ろしい出来事だったと思います。
2050	65	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	事務室、店舗、学校等の室内	衣料品店舗の入ってすぐ右手にトイレがあり、そこを利用しようとして、雨でぬれていた床ですべり転倒しそうになった。ほかの人も同様に滑って転びそうになったのを目撃した。
2051	19	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	学校	事務室、店舗、学校等の室内	体育館で立とうとしたときふらついて後ろの壁に頭をぶつけた。
2052	41	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	事務室、店舗、学校等の室内	台所の上側の戸棚の扉を開けていたが、振り向いた際、扉の下の角に頭をぶつけた。
2053	60	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故 <text 20	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	その他	事務室、店舗、学校等の室内	エアバッグを段ボール箱に詰める作業を手伝っていたとき、元箱からエアバッグを出していたら突然腰に激痛がはしった。
2054	35	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	電源コードを隠す空間を覆う蓋のあいだにワックス、ゴミが詰まり、蓋が浮き上がった状態になり、そこに靴先があたりつまずいて よろけてしまった。
2055	41	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	事務所の窓を閉めようとして開閉ストッパーを操作した際にストッパーに指を挟まれた。
2056	45	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	階段	朝、慌てて出かけるときに
2057	63	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	階段	我が家の階段は、一段あたりの奥行きが19cmしかなく特にくだりが怖い。先日、新しい少し大きめのサンダル形上履きを履いて、降りるときに少しあわてていたせいか、滑って一段踏み外し、頭を壁に打ったが、とっさに横の手すりをつかんで事なきを得た。加齢とともにこのようなことが増えている。
2058	31	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	マンション9階から下に降りる時、横の階段でおりようとしたところ、つまづいて転落しそうになった。 階段の各段の先端にある(銀色の)金の部分が、靴に引っかかりやすくなっていることが原因。
2059	67	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	階段	はじめて訪れる場所な上に、ちょっと変わった階段だったので躓いてしまった。いつも使っている階段と段差が違うので、ひゃっとした。
2060	56	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	階段	自宅で2階から降りてくるときに、すべってしまた。
2061	32	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	廊下を歩いていて、段差のところにある鉄板が浮いて足をはさまれそうになった。前に人が歩いていて、鉄板の上に乗ったため鉄板が浮いてしまった。間に足を挟まれていたらと思うとこわかった。
2062	57	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	店舗から出たとき歩道を疾走する自転車と接触しそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2063	30	女	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	よく使う階段なのでいつものように階段を下りていたらブーツを履いていたので（いつもはスニーカー）靴裏がツルツルしているせいか、滑りかけて自分で手すりを持ってこけずにすんだ
2064	40	女	鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	ゴミ収集日にゴミ出ししたら、すでに出してあったゴミに中にアルミ缶が混ざっていて、取り出そうとしたら少し指を切った。
2065	66	女	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	朝急いでいて階段のオートロックドアが完全にあく前に足を出したら挟まれそうになった。
2066	49	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	自宅ビルで犬の散歩に行くときつまづきころびそうになった。犬を抱いていたため足元がみえづらく危なく転倒するところだった。
2067	26	女	はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	エレベーター	スノーボードでころびそうになった
2068	56	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	その他	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	会社の駐車場で夕方暗くなった時に足元が暗くて車止めに足を引っ掛けて転倒した。膝を擦りむいただけで済んだがとても痛かった
2069	46	男	事故：タイルやバルコニーの置物が落ちてきてぶつかる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）	エスカレーター	成田空港第二ビルの出国階に向うエスカレーター。5m程先の段に居たカップルのスーツケースがずり落ちて来た。後ろに家族連れや老夫婦も居たので体を呈して止めた。痛かったが怪我は無し、カップルの謝罪態度も良かったのでその場を離れて出国しました。
2070	45	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	工場・倉庫等	事務室、店舗、学校等の室内	粉砕機から粉体が鉄板の上に落ちており、その上を歩いたため 滑って転倒しそうになった
2071	52	男	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	住宅の間に低いコンクリート塀があり、バックで車両を駐車する際、ミラーに映らないため、車両側面と塀が接触する事が何度か発生した。
2072	59	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	夫がCD，パソコン、居間照明をつけっぱなしだったので、全部消して、真っ暗になった居間から寝室に戻ろうとした時、居間のドアにぶつかって転倒。その時に、ダイニングテーブルに頭をぶつけて 暫くは痛さで声も出なかった。
2073	68	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	娯楽施設（ボーリング場、ゴルフ練習場、カラオケボックス、パチンコ店、映	トイレ	トイレ内床の水はけのため、および靴のスパイク保護のために敷いてあると思われる、プラスチックの組み合わせマットの端がめくれあがり、変形して、復帰しない状態になっている。ここを通行する人が何度もつまずき、ますますめくれあがっており、不用意に歩くとつまずき、転倒しそうになりヒヤリハットした。
2074	43	女	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）	階段	ちょっと分かり辛い場所に有る階段なので、職員用なのか？薄暗い階段です。
2075	21	女	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	事務所等	扉、ドア（手動）	部屋の中に入ろうとした時に上に気付かずにぶつかってしまった。まさか飛び出ているとわ思わなかった。
2076	54	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	いつものように新聞を取りに、階段を下りた。新聞を取った後、ふつうに階段を登ろうとしたところ、2段目あたりでつまづいた。けっこう段差が大きいのが原因ではないかと思った。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2077	58	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20 must>	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	玄関で、かまちから足を降ろして靴を履こうとした。 靴が手前の方に入り込んでいたため、左足を入れられず、つま先だけ入れて靴を前に出そうとしたところつんのめって前に右足を踏み出した。 その時、かまちのせり出したところにアキレス腱のところを擦り付ける形になって、出血する程度の擦り傷を負った。
2078	54	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	廊下	点字ブロックと泥拭きマットの間の隙間でけつまずき転倒しそうになった、その時腰がギクッとなり暫く痛かった。
2079	48	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	学校	事務室、店舗、学校等の室内	コンピュータ室を、OAフロアにするために廊下より床が高くなっている。普段の出入口(前)は傾斜がつけてあるが、後ろの出入口は段差がある。コンピュータ室内の備品の入れ替えのために、後ろの出入口から入ろうとしたところ、段差で足先を打った。骨折等はしなかったが、転倒したら大事に至っていたかもしれない。
2080	44	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	自席で仕事中、足がPCに接続しているケーブルにひっかかり、顛倒した。幸い、特に怪我はなかったが、非常に驚いた。
2081	48	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	階段	夜間の階段でつまずいて転倒　よっていた関係もある。
2082	71	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	エレベーターが定期点検のため停止していたので、外側の非常階段をのもってきたところ、足を滑らせて膝を打ってしまった。膝は腫れていたかったが、何とか痛みは治まった。普段はエレベーターしか使わないので、不慣れが災いした。
2083	43	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	会社で普段から使っている机の床のプラスチック製の部品が割れてしまい、イスのタイヤが引っかかり、危うくひっくり返りそうになった。 原因は床という力がかかる場所に強化も何もしていないプラスチック部品を使ったことだろう。
2084	50	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	病院	廊下	粘着性のある清潔マットに足をとられて、転びそうになった。
2085	52	女	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	自転車の置き去りでよけられず壁に衝突
2086	67	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	階段	事務所の2階から段ボール箱を抱えて階段を下りていた時、階段の途中で靴の踵が階段のステップに引っかかり転落しそうになった。
2087	31	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	床が水で濡れていたのに気付かず普通に歩いたら滑って転倒しそうになった。魔法瓶ややかんを持っていたので転倒していたら大怪我をしていたかもしれない。
2088	37	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	銀行に行ったとき、雨で濡れていた出入り口(外側の自動ドアと内側の自動ドアとの間のスペース)で足を滑らせて、転びそうになった。出入り口の床が滑りやすいタイプの床だったからだと思う。
2089	24	女	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	扉、ドア(手動)	空き巣が入りそうになり、家にたまたまいて、ドアをこじ開けそうとしていて、大変恐ろしかった。
2090	47	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	階段	靴をきちんと履かないで階段を下りようとして途中で靴が脱げ階段から滑り落ちそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2091	54	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	会社の出入り口に10cmの段差があり、そこを踏み外し骨折した。1ヶ月弱会社を休みその後、ピッコを引きながら会社に通った。11月まで通院した。会社に訪ねてくる人も良く落ちるが、骨折まで至らない。
2092	49	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	知人のマンションに行くときに、石張りのエントランスホールで滑って転んだ。雨で、ぬれていたためと思う。
2093	26	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	道ばたを歩いていたら歩道と車道の段差があり、気がつかなくて転んでしまった。
2094	54	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	階段	階段を降りるとき、最後の色違いの一段目でつまづいた。
2095	18	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	飲食店	扉、ドア(手動)	前の人の後ろから、引き戸を引いて入ろうとしたら、手が滑りそのまま手をはさんでしまった。
2096	26	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	階段	階段を降りるとき、段の幅が狭く、足を乗せるとかかとの部分が階段に引っ掛かり、転げ落ちそうになった。過去3回程度発生している。
2097	30	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	ゆっくりスロープを降りないと、滑り止めが短いので滑りそうで怖い思いをします。
2098	37	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	学校	扉、ドア(手動)	雨の日、急ぎ足で建物へ入ろうとしたところ、入口の鉄製の土よけの上ですべり、もう少しで転倒しそうになったが、運良く転ばずにすんだ。
2099	34	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	エレベーター	朝、エレベーターを使おうと思ったところ、エレベーターの停止位置が正常な位置より下がってた。(逆に上がっていることもある。) 足下なのでぼんやりしているとつまづく危険性あり。
2100	44	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	廊下	駅構内の床が傘などからの雨水の持ち込みで濡れていて、革靴で滑って転びそうになった。床材がノンスリップ仕様でないので子供や老人も含めて非常に危険だと思った。
2101	62	女	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	扉、ドア(手動)	棚の出っ張りに頭をぶっつけた。
2102	61	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	扉、ドア(手動)	エレベーターの一斉点検日で階段を使用して移動しようと防火扉に近づいたところ急に扉が開いて防火扉に体をぶつけ更に防火扉を開けた人は扉におでこをぶつけてしまった。
2103	21	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	パソコンや、電話線保護のシートにつまづいた
2104	69	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	マンションの廊下(通路)にわずかな段差があり、それに気づかずに躓き転んだ。何度か同じことを繰り返している。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2105	55	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	病院	廊下	病院の廊下で、看病疲れで注意力が散漫になっていて、うっかり滑って手をつき、手首を捻挫。長く座っていたので、少々足がしびれ気味だったせいもあると思います。腫れて熱を持ち、痛みがひどいのですが、取り敢えず湿布とテーピングで絶えています。痛みが引いてこなければお医者さんにかかるつもり。
2106	23	女	はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	帰宅のさいに疲れていてドアノブに手を取られ、指を挟んでしまった。バネが強かったので結構痛かった。
2107	17	女	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	かがんだ時頭をぶつけた
2108	68	女	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	エスカレーター	エスカレーターの降り口が渋滞していて、降りられなかった。
2109	69	女	はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	供用保管室に入用・不用品の入れ替えに、手動ドアを開けて、階段を上ってものの持ち運びをするのですが、少し重いものをもって、体が不安定になっていたためか、階段通り抜けドアが、急に閉まり、体がよろけて、手を挟んでしまいました。腫れてきたので湿布をして様子を見ましたが、2,3日で直りました。
2110	34	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	階段	階段の一部が壊れており、テープで補強はしてあるのですがそれも補強しきれていないため、つまづいてこけそうになった
2111	70	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	事務室、店舗、学校等の室内	普通に歩いていたのに滑って転びそうになった。床がぬれていたりした訳ではない。
2112	62	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	ジャスコでみりんを買おうと思いみりん売り場を探してキョロキョロ歩いていたら、そこの場所だけマットが敷いてあり、そのマットの端がめくれ上がっていたので、つまずいて転びそうになりヒヤッとした。前に通った人のショッピングカートでめくれ上がったのだと思います。
2113	53	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	病院	廊下	知人と旅行に行き橋で転びそうになった
2114	19	女	やけど：ボイラーやストーブなどでやけどする事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	お湯が出てるのを知らなくて蛇口に触ったら火傷した
2115	36	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	廊下	下着を購入しようと思いイオンの下着売り場を見ていたら、下にコードがたくさん張り巡らしてあり、靴でコードをひっかけて転びそうになった。下着を選んでいて下を見ていなかったのと、ヒールの高いブーツを履いていたこと、あまり行かない下着売り場だったのでコードがあることを知らなかったのが原因。
2116	58	女	転落事故：階段から転げ落ちる事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	その他	階段	自宅でペットを抱いて、スキップフロアから階段を降りようとしたとき、足を踏み外して転倒した。ペットを下敷きにしないようにかばいながら転んだので、向かい側のエコカラットの壁に右腕をぶつけ切り傷と頭を思い切り床にぶつけた。ペットに気をとられたのでうっかり足を滑らせたことが原因。
2117	52	男	故：建物に関係する上記以外の事故<text 20 must>	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	事務所等	階段	自転車通勤のとき、職場の建物共用通路の端っこに自転車用のスロープの無いコンクリート階段を自転車を引き上げて登ろうとしたが、うまくいかず自転車のペダルが自分の右足の弁慶の泣き所にあたり、痛かった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2118	16	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	学校	事務室、店舗、学校等の室内	加湿器のそばがぬれていて滑った
2119	67	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	エスカレーター	スーパーに買い物に行って、エスカレーターを降りたところでマットにつまずき転びそうになった。前が美味しそうなパン屋だったのでパンに気をとられて下をよく見ていなかったことが原因。
2120	18	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	郵便受けから郵便物などを取り出したあと階段下部に頭をぶつけた。
2121	47	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	段差があるところ いつも気をつけてはいたが、夜で急いでいた 段差を踏み外し捻挫した
2122	50	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	学校	階段	建物の外階段を降りるとき、夜で暗く、また雨で濡れていたため、足を滑らせ転倒。切り傷のために通院した。
2123	64	男	墜落事故:バルコニー・窓・吹抜けなどから落下する事故	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	ベランダ上部の汚れを掃除中、強風に煽られ階下に転落する寸前の状態になってしまった。予想外の強風だったのが原因。
2124	33	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	事務所等	階段	事務所の階段を上っている最中、階段につまずき、階段に膝をぶつけた
2125	45	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	学校	廊下	通る時に特に暗い時は照明が行き届かず、他の通行も有り、こけそうになった
2126	39	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	自宅マンションのエレベーターがなかなか来なかったので階段で降りようとしたときに踏み外して転びそうになった。階段が濡れていて(掃除の後?)滑りやすくなっていた。幸い一段ずるっといっただけですんだが、かなりヒヤッとした。
2127	39	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	廊下	ショッピングセンターの通路にある観葉植物が置かれた区域の、ふちのれんがが盛り上がっており、その上に、めくれた人工芝がのっていた。ショッピングカートがひっかかり、つんのめってしまいました。
2128	62	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	廊下	モールの吹き抜け部分の廊下が一部、金属になっていて、その下が水路になっている。雨の日だったので、その部分がすべりやすく、とくにゴム底の靴だったので、かなりびっくりした。
2129	74	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	自宅のマンションの共有部分である非常階段を使って降りようとしたところ、雨で床が濡れていた為足を滑らせそうになった。とっさに手すりにつかまったので怪我にはならなかった。普段は清掃員が濡れた廊下を拭いてくれているが、このときは朝で、清掃前だったので雨水が溜まってしまっていた。
2130	68	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	廊下	公民館の廊下で血圧計の電源コードにつまずき、一瞬ヒヤットしました。
2131	64	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	駅・空港ビル	階段	駅構内の階段で足を踏み外して転倒した。電車に乗り遅れそうになり急いで駆け上がったのと、車掌の仕草 ばかりに気を取られ足元に注意をしていなかったのが原因だ。向う脛を打ったが大したことにはならなかった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2132	57	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	飲食店	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	入り口のマットの左側に外に設置してある看板の電源コンセントがあり，そこからの電線がマットのしたに潜り込み，左側のふちに近い当りがもりあがっていた為に，靴の先がひっかかり危うく転倒する所であった。
2133	30	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）	階段	階段を降りているときに、陽の光と階段の色が同じで段差がわからなくなり滑ってひやりとした。
2134	34	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	友人のマンションを訪れ帰宅しようとした際、階段で転んだ。特に怪我等はしなかった。階段の踊り場付近だった為、片方が狭くなっていたのが原因だと思おう。
2135	54	女	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	廊下	工事中の店舗内の段差で転んだ
2136	43	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	階段	ビルの階段を下りる際に、滑りそうになって、ヒヤッとした。靴底が雨で濡れていたうえ、階段の踏み段にゴムなどの滑り止めが無く、階段の材質が滑りやすかったことが原因だと思います。
2137	39	女	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	階段	降りていく時に階段の模様のせいで境目が分かりにくく踏み外しそうになったことが何度もある。1年ほど前に目印が付いたが相変わらず怖い。
2138	30	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	飲食店	階段	忘年会の二次会でよったスナックの階段が急で、行きはよかったのだが、帰りに踏み外しびっくりさせられた。
2139	52	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	廊下	床がぴかぴかに磨かれているのはいいのだが、雨の日には滑りやすく危ない。この日は滑って、転びはしなかったものの手に持っていたコーヒーカップを落としてしまい、コーヒー1杯を台無しにしてしまった。
2140	48	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	飲食店	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	店舗の入り口に木製のわずかな段差があり、つまずいてしまった。
2141	16	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	廊下	友人宅の玄関から出たところのマットがめくれていて、躓いて頃いそうになって、ひやりとした。
2142	31	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	廊下	店舗入り口のマットがかなり厚みがあり、足がひっかかる。また、前を歩いている人が、ベビーカーなどを引っ掛けて、急に立ち止まることもあり、ぶつかったことがある。
2143	51	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	階段	ショッピングセンターの階段を上がりきった所に靴拭きマットが有り、気が付かず、つまずいてヒヤリハットした。
2144	65	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	廊下	名産品売店で団体客に道を譲ったとき通路を踏み外し捻挫した。
2145	18	男	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	自宅マンションの勝手口のような出入口から出て行くときに、出てすぐのところに身長より低い場所にコンクリートの出っぱった部分があり、頭頂部をぶつけた。いつもは正式な自動ドアの出入り口を使うので、勝手口に危険な部分があるのを忘れていて、屈んで通らなかったのが原因である。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2146	61	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	階段	近くのショッピングセンター(アルパーク)の階段を急いで登っている時足が上がらずつまずいて転びかけた。若い時であればありえないことかもしれない、加齢をつくづく感じました。携帯で画素をあげて撮影しました。
2147	68	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	その他	階段	階段を踏み外して転んだ　急いでいたのが原因
2148	62	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	酒飲んでて　トイレに立った時　つい　テーブルの角に腿が当たり痛かった
2149	42	女	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	駅・空港ビル	階段	地下鉄乗り場への連絡口となっている階段にも関わらず、ゆとりのない幅のため人とのすれ違いが大変困難となっている。そのうえ見通しのきかない曲がり角ではよく衝突が起きている。大怪我をしたことはないが、バックやコートはよくキズがつくことがあるので困っている。
2150	66	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	重いケガをした(救急車で運ばれた、入院した等)	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	事務室、店舗、学校等の室内	居間にある食卓テーブルの回転椅子、掛け時計の電池交換に使いも乗ったときのバランス悪く、不意に回り始め飛び降りるまもなく転倒! 食卓テーブルの角に脇腹を打ち「肋骨2本」を折るハメに、全治一ヶ月余りかかる大変な痛い思いをしました。
2151	39	女	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	トイレ	会社内のトイレ個室内から出ようとしたときに、ドアに指を挟みそうになった。
2152	36	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	事務所等	扉、ドア(手動)	ビルの出入り口のドアが透明で、ビルの外側から内側に入ろうとした際、ドアが透明でドアの存在に気がつかず、額から激突して、額を3針縫う怪我をした。
2153	36	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	朝、ローヒールを履いて階段を降りてい¶た¶ところ、最後の3段くらいのところで踏み外し店頭。足を打撲。ヒールのかかとが階段にひっかかり、バランスを崩してしまったと思う。
2154	51	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	自動ドア	そんなにすごい勢いで歩いていたわけでもなく、開くものと思っている自動ドアが開かず、頭をぶつけた。もともとセンサーの反応が鈍いとは認識していたが、撮影した12月26日もドアの至近距離30センチに近づいてもドアが開かなかった。
2155	72	女	やけど:ボイラーやストーブなどでやけどする事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	夕食の準備中うっつかりと、鍋の淵に手をくっつけてしまい暑くて、ハットしましたが、火傷まではいきませんでした。
2156	31	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	階段	急いで歩いて階段を駆け上がったところ 最後の一段のみ段差が異なっていたため転びそうになった
2157	36	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	知人宅のマンションに行った際、玄関入り口(通路)のタイルが一部剥がれておりデコボコしていた。また凍結を相まって足が滑ってしまった。仮に凍結していなくてもタイル破損で段差があるので不用意だと転びやすいと思いました。
2158	51	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	雨が降っていて、路面はぬれている状態。道路とエントランスの間に、10センチほどの幅で埋められている石に乗った瞬間ツルッと滑ってしまった。すぐにとまったけれど、体勢がくずれるほどだった。
2159	18	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	階段が暗いので足元がよく見えないし とても急なので、降りる時はとても恐い
2160	64	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	階段	屋根裏収納への階段をスリッパを履き、荷物を持って昇っていていたら踏み外してしまったが、昇り初めてすぐに発生したので自己に発展しなかった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2161	39	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	雪が積もっていましたがその下が凍っていました
2162	52	女	墜落事故:バルコニー・窓・吹抜けなどから落下する事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	いつも利用しているので安心してしまいました
2163	30	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	アパートの階段には一番下のステップの先にもうひとつ小さな段差があり、また明かりもない為、夜暗いときに段を降りたとき思わず転げそうになってしまった。
2164	64	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	降雪のなか買い物に出かけ、駐車場に車を置き、店舗に入ろうとしたら、入口のタイルに雪が付着しており、滑って転びそうになった。駐車場はアスファルトで、雪があってもあまり滑りやすくはないため、足元にそれほど気をつける必要が無いため、タイルが滑りやすいかどうかにあまり気がむかず、油断しやすい状況であった。
2165	65	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	工場・倉庫等	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	事故の前日に　入口が少し坂になったコンクリートの上に塗装がされていた。当日　雨が降っていたので　危ないな　とも思いながら、上っていったところ見事にすべり　転倒しそうになった。原因は、表示のためとはいえコンクリート道路の上にペンキを塗ったためと思います。
2166	17	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	扉、ドア(手動)	ドアが重く、力を入れて開いて出ようとした時にドアが閉まり、挟まりそうになった。また、後ろの人にぶつかりそうになって危なかった。
2167	59	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	駐車場スペースより高くなっている廊下を歩いていたら足を踏み外し、廊下と車の狭いスペースに足を落としてしまった。びっくりするくらい、足がみるみる膨れ、重度の内出血を起こした。腫れが引いた後も皮膚内部が腐ったようになって、病院で壊死部分の切開削除を行い、そのあとは毎日消毒包帯交換のために通院。
2168	26	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	エレベーター	エレベーターに乗るときに，開くボタンを離したとたんに扉が閉まって，体ごと挟まれた．なぜ突然閉まったのかはよくわからず，再発することも十分に考えられる．
2169	38	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	中程度のケガをした(通院で治療した等)	駅・空港ビル	階段	通勤電車に乗り遅れまいと 階段を一段飛ばしで駆け下りたら 目測を誤り運悪く階段に足の側面で着地してしまい 足首を捻挫どころか骨折した
2170	58	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	廊下	寝ぼけてすべり転げ落ちそうになった。が、反応して転げずにすんだ。
2171	47	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	マンションの掃除のおばさんが年末の大掃除で階段を水で濡らして洗っていた。いつものように階段を下りるとつるりと滑った。短い階段だから大丈夫だったけど
2172	63	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	扉、ドア(手動)	家の冷蔵庫の上の引き出しを開けて物を取り出し終わり、立ち上がろうとしたところ、冷蔵庫の上のドアを家内が開けており、立ち上がったら、上のドアに頭をぶつけた。
2173	48	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	学校	扉、ドア(手動)	風が強く、ドアが煽られて急に閉まったので、ぶつかりそうになった。
2174	19	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	階段	電車の時間が迫っていたので急いで階段を駆け上っていたら、湿っていた床で滑った。朝冷えで手すりが冷たく、使わなかったので もし転んでいたら大変なことになっただろう。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2175	18	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	ホールに入り足拭きマットの先の床が濡れていて、すべって転倒しかけた。傘がおちていたので、跨ごうとして大またで一歩出たらすべって、踏ん張れなくて手をついた。
2176	64	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	運動のため、一日一回マンションの階段を昇り降りしている。ある日、考え事をしながら階段を降りていたら、最後の段を踏み外して前の壁に激突した。せめて、はずみで壁を乗り越え、下に落下しなくて良かった。
2177	52	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	集合住宅の駐車場に停車して、降りようとしたら、段差に足をとられ、捻挫した。今までも何度か同じような事があった。今回も幸い軽いものだったので、日常業務に支障はなかったが、夫も同じ箇所で転倒しそうになった経験が何度から有る。段差が微妙で、転倒しやすい危険な階段だと思う。
2178	38	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	エレベーター	閉まりかけたエレベーターに、乗ってくる人がいたので親切で扉を持って開けようとしたがセンサーのないところを持ってしまったため指が挟まってしまった。しばらくはさまったままだったが「開」ボタンで開放された。挟まって動けなかったのと、それ以上にそのまま動いて指がもげるんじゃないかと思い、怖かった。
2179	60	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	知人の事務所に挨拶に行った際、床のPタイルのはがれかけた部分にスリッパを引っかけバランスを崩し転倒しそうになった。そばには石油ストーブが着火してあり、もし転倒したら手をついた可能性が高かった。
2180	69	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20 must>	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	お風呂は自分が掃除して、水を入れ、LPガスタイマーを25分にセットして、沸かしていました。その日に別の用事で、遅くなり、お風呂を見にいきますと、ゴロゴロ音がしてます、タイマーが動いていませんでした。それ以来LPガスタイマーは信頼できないので、キッチンタイマーでガスを手動で切りに行ってます。
2181	33	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	階段を下りようとしたら踏み外してつまづいた
2182	28	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	事務室、店舗、学校等の室内	建物の中から外へ出ようとした時に、ドアを開けてすぐ(ドアのすぐ下)の段差で転びそうになった。
2183	40	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	エレベーター	良く行く家電量販店の入り口近くにある足拭きマットが、水分を含んで膨張し、浮き上がっていた。下手に四隅を固定してあったため直そうにも直せず、誰か転んでしまわないかとヒヤリとした。
2184	16	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	階段	都市部に出掛ける際に、電車を利用したかったので、最寄りの駅に行ったところ、駅舎反対側のホームに向かう階段の金属でできた部分に足を引っ掛けて転んでしまった。足元を気にかけていなかったし、ヒールを履いていて転んでしまった。
2185	37	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	階段	階段の段差がわからず転びそうになった。
2186	41	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	良く行く商業ビルの1階とその玄関外で、雨で濡れていた床に足を滑らせ転倒しそうになった。2種類のタイルが敷かれており、そのうちひとつがとても滑りやすい材質となっていることが原因。また、別のタイルが逆に滑りにくい材質であることも油断させることになり、より転倒事故を多くしているのだと思う。
2187	58	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	階段	3Fへの階段に進入禁止のためロープを張っている。小さい子供がそのロープで遊んでおり、ロープが切れたり引っかかったりして転ぶ等の危険性を感じた。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2188	30	女	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	娯楽施設(ボーリング場、ゴルフ練習場、カラオケボックス、パチンコ店、映	事務室、店舗、学校等の室内	映画の上映時間まで待機中、近くの窓から外を見ようと窓ガラスに顔を近づけたところ自分が思ったよりも近いところに窓ガラスがあったため顔面を強打し鼻血を出した 待っている疲労感と遠くに目を向けていたため窓ガラスとの距離感がつかめなかったのかもしれない
2189	53	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	大きなダンボールを持って歩いていたところ、段差に躓いて転んだ。外傷は無かったが青こぶができた。
2190	75	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	トイレ	初めて行った服飾専門店で、トイレのドアに気をとられ、足元のちょっとした段差に気づかずつまずいてしまった。ドアを持っていたので、幸いヒヤリとしただけで済んだが、ドア部分の段差は極力なくして、バリアフリーにしてほしいと思った。
2191	32	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	階段	お店が入っているビルの階段です。同じタイル目で見づらく石もちょっと出ているのでよくつまづきます。今回も子供と一緒に階段を下りていて私も子供もつまづきハッとしました。
2192	32	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	スーパーで買い物を終えて駐車場で車に乗る際、溝の段差に足をとらわれ、しりもちをついた。足を痛めたが、とくに捻挫などの怪我にはいたらなかった。 現場は暗く、段差に気付かなかったのが原因。
2193	31	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	マンションのエレベーターと駐車場の入り口を結ぶ渡り廊下が、若干坂になっているし、下がタイルなので、滑りやすくて、転んでしりもちをついた。
2194	56	女	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	自動ドア	いつも利用する郵便局は小規模なので、入り口すぐにATMの機械があり、利用者が多い時は郵便局の入り口付近に利用を待つ人々が並ぶので、人の出入りがある度に自動ドアが開閉し、待っている時にドアに体を挟まれそうになってヒヤッとした。
2195	69	男	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	その他	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	隔日で時計、反時計まわりでウォーキングの方向が決まっているが、反時計の日は見通しが悪く歩いている人と、出てくる人が衝突する。
2196	36	女	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	自動ドア	子供が自動ドアの脇に、手を付いていて、人が入ってきた時に、ドアが開き、子供の指が引き込まれそうになった。
2197	65	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	その他	トイレ	道の駅でトイレを使用後、水を流そうとしてコックハンドルを強く押し下げた際、ハンドルの根元付近を掴んでいたためハンドルが戻るときにハンドルとコック本体との隙間に指を挟み、激痛とともに指に内出血をした。
2198	53	女	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	飲食店	扉、ドア(手動)	庭でペットにえさをやろうとして噛み付かれかかった
2199	58	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	娘の住んでいるマンションで、階段を下りる時、7～8段ある階段の一番下の段だけなぜか色が違って、踊り場のタイルと同じ色で、もう踊り場に下りたと思ったのにもう一段あって、一段だけだが踏み外した。 はずみでよろけて向こうの壁に荷物を持ったままぶちあたった。
2200	40	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	事務所等	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	レンガ敷きの通路で、雨曝しの部分に苔のようなものが付いている。通路沿いに人工池。 雨の日、自転車に股がったまま通路を抜けようとしたら濡れたレンガで足が滑りバランスを崩し自転車ごと池に落ちそうになった。なんとか踏ん張り踏み止まったが、ペダルに足をぶつけ打ち身と擦り傷が出来た。
2201	38	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	引っ越しして初めて雨が降った日、エントランスから道路に出る通路がタイル張りなのを認識せず、スニーカーで歩いたところ滑りそうになった。壁に手をついて転倒は免れたが、それ以降は怖くて用心しながら歩くようになりました。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2202	59	女	鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故	ヒヤリ、ハットした	その他	廊下	狭い廊下を通る際、階段下の収納庫の金属の取っ手にひっかかり、衣服を破いた。あと少しで股に傷を負うところだった。
2203	37	男	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	道路から自転車置き場に入るところで人とぶつかりそうになった
2204	33	男	その他の事故：建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	飲食店	事務室、店舗、学校等の室内	正直びっくりしました。食事中に火事がおこったので、原因は不明です。
2205	19	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	学校	階段	階段を上っていたら、こけそうになった。結構高い階段なので、その高さについていけなかったのが原因だと思う。
2206	19	女	はさまれ：ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	学校	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	ハマった。溝に。ピンヒールが…それで靴が脱げて少しすりむいた…痛かった。
2207	39	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	PC入力するために背もたれ無しイスに座ろうとした所、バランスを崩し背面にあった別のPCデスク（PCは置いていない）の角に背中を殴打し切り傷（刺し傷？）を負ってしまった。
2208	40	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	事務所内カーペットのめくれに気が付かず、つま先を引っ掛け、転倒しそうになった。
2209	69	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	階段	外出の為急いで2階から階段を降りようとしたら、滑って転び、左膝と臀部を強く打ち付けしばらく起き上がれなかった。幸いに血がにじんだ打ち身で、骨折には至らなかった。これから、充分に気をつけなければ！
2210	62	男	鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	事務室、店舗、学校等の室内	近所の魚屋さんで買い物中、ワンボックスカーが、ガラスを打ち破り、店の中へ突っ込んできた。恐ろしかったが、人身事故には至らなかった。
2211	61	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	部屋の電気を消したのち事務室から退室する際に、埋め込みコンセントの蓋に躓き机にぶつかりかけた。
2212	65	男	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	自転車に乗るため、自転車置き場の奥にある自分の自転車を取ろうと入ったところ、自転車に接触それが倒れてきた。少し痛かっただけ。
2213	63	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	コンクリートの階段にアルミのフチが打ち付けてある。少しがたがあるので靴のかかとを引っ掛けて落ちそうになった。手すりにつかまり難を逃れました。
2214	44	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	事務所内で歩いている時、加湿器の配線が床をはっており、それに気づかず足がひっかかり、もう少しでころびそうであった。
2215	51	女	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	余所見をしていて踏み外した
2216	38	女	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	子供がかけて行ったので追いかけていてぶつかりそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2217	36	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	工場・倉庫等	扉、ドア(手動)	ドアを開けようとしたら反対側からもドアを開ける人が居て ドアにぶつかりそうになった。 お互いにびっくりした。 ドアが鋼製で向こうの様子が分らないので反対側から開ける人が 居てもわからない。
2218	41	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	工場・倉庫等	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	ドアの出っ張りがあり、わかっていながら引っかかってしまった。
2219	55	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	事務室、店舗、学校等の室内	商品の棚の下にひさしの様なスペースがあり、足を引っ掛けそうになりました。
2220	55	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	学校	事務室、店舗、学校等の室内	部屋の中央にあるカーテンを閉めようとして普段はあまり使わない通路(というより隙間)を通ってカーテンを閉めようとしたが 通路が狭すぎて床と畳の段差に足を取られて転びそうになり、ひやりとした。(教室の後方に畳が敷いてあり、その分、床との段差が生じている。危ないので児童には通らないようにさせている)
2221	39	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	扉、ドア(手動)	パンチングのドアのため、打ち抜いている裏側を不用意に触ると手を切りそうになる。 また、強風の際にマンションのビル風の影響もあり、扉が開かない、閉まらないことが時々あり、逆に勢いよく開くときもあり危険な思いをした事が何度もある。
2222	22	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	廊下から階段に通じる踊り場付近に差し掛かったところ、廊下と踊り場、階段の段差と曲がる側の壁に躓き、足をひねった。 けがは湿布を貼る程度であった。 夜であったのもあるが、風と雨で視界が悪かったのも原因であると思う。
2223	68	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	扉、ドア(手動)	自宅の庭から室内に入るとき、段差が50cmぐらい、敷居につま先を引っ掛け親指先を強く打った。
2224	58	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	その他	階段	二階テラスに干した布団を一階に運ぶとき、たれていたシーツを階段の途中で踏んでバランスを崩して四段ばかり踏み外してしまった。
2225	27	女	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	扉、ドア(手動)	いつも重くて開きづらい扉で、リバーサイドにあり、近くには高層マンションがいくつも建ちはじめ、自宅周りの風がかなり変わり、風のあまりない日も、帰宅すると強風に変わっていることもよくあります。ただでさえ重い扉が、強風であおられると、首をもはさまれて死ぬのではないかというような状況に陥ります。
2226	27	男	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	扉、ドア(手動)	私が通勤しているオフィスは最近移転したばかりの、新しいビルです。 そのおかげもあり、内装もとてもきれいです。 逆にきれいすぎて、自動ドアの向こう側も鮮明に見えるため、自動ドアに気づかず、そのまま自動ドアにぶつかりそうになりました。
2227	38	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	靴を脱がずに手を伸ばして机の上のものを取ろうとした時、マットがずれて転びそうになった。
2228	39	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	公共施設(市役所、公民館、図書館、美術館など)	事務室、店舗、学校等の室内	雨の降った日、時間に追われていた私は、急いで用事を済ませようと小走りに行動していました。そして方向転換したときに雨で濡れていた床で足を滑らせて派手に転倒してしまいました。下側になった腕が少々痛みましたが、それ以上に大勢の人に転んだところを見られたのが恥ずかしくて、いたたまれない気持ちになりました。
2229	52	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	飲食店	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	出口をでて暗くなっていたのでぶつかったり、転倒しそうになった
2230	19	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	雨等で床のタイルが濡れて非常に滑りやすくなる。 私はこけはしなかったが、実際にこけたり、こけそうになっているのも人も見る。 自転車なども通過するため、自転車も滑る。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2231	41	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	勤め先が入居しているビルの入り口で、雨でぬれた靴のせいで滑って転びそうになった。床はタイルで少し急いでいたことも原因だが、他の場所でもたまに同じようなことがあるので、一番の原因は靴だと思う。
2232	55	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	駅・空港ビル	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	人ごみを掻き分けて進むため、足元は確認不能。ちょっとした段差の違いでつまずく。つんのめり　人に迷惑。
2233	59	女	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	エレベーター	自宅のあるマンション(5階建て)のエレベーター。時々動きがおかしくなる。誰もいないのに4階で止まりとびらが開いたまま動かなくなることや、扉が閉まった後、なかなか動かないなど。動きがおかしいときはエレベーターを使わない。
2234	50	男	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	床に塗られたワックスが一カ所に固まっていて足を滑らせた
2235	70	女	その他の事故:建物に関係する上記以外の事故<text 20	ヒヤリ、ハットした	その他	扉、ドア(手動)	いつも使っている玄関を出ようとしてあわてていたので靴の紐が解けていたのにきづかず反対の足で踏んで転びそうになった、もう1度同じようになって箱に手をついて転ばないで済んだ
2236	30	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	扉、ドア(手動)	自宅に帰ってきたときに共用部分に雪の時期だけ滑り止めのためのマット(厚さ1cm)が敷いてあった 外出の疲れと荷物と寝た子供を抱っこしていて足が重く マットの厚さ分足が上がらずマットと床の間に足が挟まり 思いっきりつんのめりあやうく転倒するところだった
2237	30	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	年末の掃除でぬれていて滑ったが転倒には至らなかった。
2238	78	男	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	廊下	共同住宅の廊下の凸部のカバーに蹴躓いて転倒しそうになった。
2239	32	男	はさまれ:ドア・引き戸などに指などをはさまれる事故	軽いケガをした(救急箱で手当てした等)	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	事務室、店舗、学校等の室内	ショッピングカートに子供が立乗りして足の指を挟んだ。助ける時に格子の接合部分で手の皮を切った。子供の指は擦り剥けた程度。指切断などの惨事にだったらと思うとゾっとします。
2240	34	女	転落事故:階段から転げ落ちる事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	アパートの階段の縁が鉄骨のスチールむき出しで滑りやすい。雪が降ると靴裏に氷の固まりが付着してさらに滑る。主人が出勤時に踏み外して危なかった。
2241	17	女	ぶつかり:建物のどこかに体をぶつける事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	事務室、店舗、学校等の室内	不注意
2242	18	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	学校	その他の場所(具体的場所:)<text 20 must>	体育授業でバレーをしていた。いつもより床が滑りやすくなっており、ヒヤッとした。寒い日だったため空気中の水分が霜のように床で凍っていたのだろうかと思う。
2243	60	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	店舗等(百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など)	扉、ドア(手動)	ショッピングセンター内のスーパーに買出しに行った時、玄関のタイル張りの床が雨で濡れて滑りやすい状態になってたため、右足が滑って体をガラス戸にぶつけてあざができてしまいました。タイル張りの玄関は綺麗なのですが、雨の日には滑り止めマットのようなものが敷いてあれば危険は回避できたと思います。
2244	27	女	転倒事故:つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分(階段・廊下など)	階段	自宅で電気を点けずに軽やかに階段を下りていたらすべり、腰やおしりをうった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2245	53	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	自宅のマンションで、夜にゴミを捨てに行ったとき雨でぬれていた玄関の出口で滑りそうになりひやっとした。スリッパの底が平らだったので滑ってしまったことが原因だと思う。
2246	19	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	駅・空港ビル	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	電車の乗り換えに時間がなかったため急いでいたら、ブーツのヒール部分がタイルの欠けた部分に引っかかり転倒しかけた。また写真にあるような金属の床では滑り、同じく転倒しかけた。この場所はタイルの欠けた部分が多く、またその日は雨も降っており、早足だったので転倒しやすい状況だったと思われる。
2247	60	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	ホテル・旅館	階段	階段が急すぎて転びそうになった。
2248	42	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	事務室、店舗、学校等の室内	テナントとテナントの間の通路が坂になっている部分があった。多分、以前その店舗が二つの店舗で運営していたが今は1店舗となり、その分かれていた時の分のつなぎの部分と思われる。テナントに気を撮られていた所為か、躓いてしまいました。勢いがついて転ぶかとはっとしました。
2249	54	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	連続した模様（コントラストが悪い？）で階段の切れ目が認識しずらかったと思う。
2250	27	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	床に這わせてあるコードにつまずいた
2251	56	男	やけど：ボイラーやストーブなどでやけどする事故	軽いケガをした（救急箱で手当てした等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	廊下	石油ストーブがついていないと勘違いして天板に少しふれてしまい軽いやけどをした。
2252	33	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	事務所等	事務室、店舗、学校等の室内	会社内でOAフロアへしている部分としていない部分で段差があり、段差の角になる部分に貼ってある金属によく躓く。ひやりとする程度ではあるが、躓くその部分もキャビネットの間で狭く、その先もすぐにキャビネットに挟まれているので狭いため、転ぶと顔をぶつけそうで怖い。
2253	61	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	エスカレーター	下りのエスカレーターで歩いていたところ、つまづいて危うく転びそうになった。このエスカレーターは階段状ではなく平面で、勾配のある動く歩道とも言える。乗る面が特に滑りにくい構造となっているが、これが逆につまづく原因かと思う。歩かずにじっとしていれば問題はないが、歩く場合は注意が必要と思った。
2254	44	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	中程度のケガをした（通院で治療した等）	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	朝出勤のためマンションのエレベーターで1階に降りる時、指が2階の部分に触れてしまい2階に停止した。エレベーターの開閉時間を待つのがもどかしく2階で降りて階段で降りようとした。1階から2階の部分は玄関ホールと同じタイル張りでその日は雨で結露していたのか降りる途中で滑って転んだ。
2255	53	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	その他の場所（具体的場所：）<text 20 must>	マンションの入り口（玄関）から中に入ったら、雨でタイルがぬれていて、滑って、転びそうになった。
2256	25	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	公共施設（市役所、公民館、図書館、美術館など）	廊下	溝の上とかに置いてある金属製の蓋のようなものの（すいません、名前がわかりません）角4か所にネジが用の窪みがあるのですが、その窪みが大きく深いので靴のヒールなどがスポット入ってしまい、足を取られて転んでしまいました。
2257	30	男	転落事故：階段から転げ落ちる事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	階段	スーパーの駐車場にある金属製の階段（2～3段）が雨に濡れていて、滑って転びそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2258	45	男	鋭利物による事故：窓ガラスなどで体を傷つけられる事故	中程度のケガをした（通院で治療した等）	工場・倉庫等	事務室、店舗、学校等の室内	掴んでいた物が不意に急に動いたため、指に引っかかり、傷ついた
2259	28	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	洗濯物を取り込もうとしたら雨に濡れていてこけそうになった。
2260	56	男	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	事務室、店舗、学校等の室内	地下街の通路の端に寄ったところに細い柱が立っていて、携帯のメールなどを読みながら歩いているとぶつかる。よくぶつける人がいるのか、黄色いクッションが貼り付けてあります。
2261	61	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	廊下	これまでに何度か訪れたことのある知人のマンションで、その時は廊下で人が多く行き来していたせいもあり、端の方を歩いていたら、床にくぼみがあることに気付かず、足をつまずかせてしまった。人が多く通っていたのに無理に通ろうとした上に、足元をよく見ないで歩いていたことが原因だと思う。
2262	33	女	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	職場のあるマンションの外階段と道路の境目が緩い傾斜になっていて、材質がすべり易いため、よくハッとする。同僚が何人か転倒している。雨や雪で濡れた時は特に滑る。
2263	27	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	店舗等（百貨店、ショッピングセンター、日用品販売店、など）	廊下	夜、コンビニエンスストアを利用した際、店舗入口に滑り止め用のマットが敷いてあるが、この日は雪が多く、マットが水浸しになっており、その周辺の床も濡れていた。マットから床に足を踏み入れた際に、滑ってしまい危うく転倒しそうになった。
2264	37	男	ぶつかり：建物のどこかに体をぶつける事故	ヒヤリ、ハットした	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	扉、ドア（手動）	扉を開けようとしたところ、反対側から勢いよく扉を押されて腕を打ちそうになった。
2265	16	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	ヒヤリ、ハットした	その他	階段	フェリー乗車の際、階段にあった一番下の段差に気づかず、転倒しそうになった。注意しなかったこと、始めてこのフェリーに乗車したことが、原因だと思う。
2266	41	男	転倒事故：つまずいたり、すべったりして転ぶ事故	痛い思いをしたが、特に何もしなかった	集合住宅の共用部分（階段・廊下など）	階段	急いでいたので階段を駆け上がろうとしたところ、階段の淵の出っ張りに引っかかってしまい、危うく転びそうになりました。幸い怪我にはなりませんでしたが、足を踏み外したため、とても痛い思いをしました。

2009年

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
5335	40	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	室内	床のタイルがはがれて、滑った。
7673	40	男	ぶつかり	ヒヤリハット	事務所等	室内	通路の曲がり角で、外側に人が立っていたので、内側を通ろうとしたら、反対側から人が来てぶつかりそうになった。
22874	57	女	転倒	痛かった	その他	その他	浴室の洗い場の床がぬれていたため、ドアを開けて入ったとたんに滑ってて転倒した
29945	60	男	転落	痛かった	事務所等	階段	考え事をしていて一段ふみはずした。痛かったがさすっただけで，なにもしなかった。
33922	62	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	廊下	団地で外出しようとしてドアーを開けたら廊下を走行してきた自転車とぶつかった、幸い怪我はなかったが自転車のハンドルが曲がった。本来自転車乗り入れは禁止当然走行は問題外の場所。 写真を送ろうとしましたが送れませんでした、送れるようでしたら送ります
34570	44	女	こすり	軽いケガ	店舗等	階段	ぬれていた階段で足をすべらせかけ、手をついた時に少しすりむいた
65560	50	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	階段	階段を踏み外しそうになった。最後の１段が危ないです。
85636	42	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	知人のマンション宅のスロープ上の階段で、明かりもなかったのと、コケのようなものが生えていたのに気づかず、すべり、転んだ。手で支え、転落は免れたが、軽いうち身。
122805	46	女	転倒	軽いケガ	店舗等	階段	スーパーの２階から階段で1階に降りる時、１階の出入り口の出店に気をとられて最後の一段を踏み外し捻挫した。
127342	50	女	転倒	軽いケガ	店舗等	その他	ショッピングセンターの駐車場の（タイヤをとめる高さ10cmくらいの突起）に足をとられて転倒した。
128621	37	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	雨が降っていたので、階段も濡れており、滑り落ちそうになった。
129721	53	男	はさまれ	軽いケガ	事務所等	扉、ドア	扉に手をかけていたところ、知人が扉を閉めて、扉に手を挟まれた。
142691	39	男	転倒	ヒヤリハット	ホテル・旅館	その他	仕事で宿泊が発生したので利用した際、水で濡れていたのに気づかず滑った。 よく見なかったのが原因だと思う
146703	74	女	転倒	中程度のケガ	集合住宅	階段	階段で、手すりを持って降りていた時、 すべって、半分、滑り落ちて、足から腰にかけて打撲をしました。 軽いむちうちにもなっている。と、病院でゆわれました。
156938	42	男	はさまれ	ヒヤリハット	事務所等	扉、ドア	裏口（資材搬出入口）を押して開けて出ようとした時、扉が急に勢いよく閉まってきた。幸い閉まってきたことに気がついて押さえて止めることができたので、けがをすることはなかった。蝶番で外側に止まっていたが、外からの強い風と室内の負圧によって閉まってきたと思われる。
197744	48	男	鋭利物にふれる	ヒヤリハット	事務所等	室内	段ボール箱に商品を詰めて発送する作業をする際、縦置きされている折り畳んだ段ボール箱の束から1枚を取り出そうとした時に段ボール紙で指をスパっと切ってしまった
212008	74	男	はさまれ	軽いケガ	ホテル・旅館	扉、ドア	宿泊した旅館で、扉の枠に手をかけて立っていた所、急にドアーストッパーがはずれて扉が閉まり、指を挟まれた。
231164	59	男	転落	痛かった	その他	階段	妹の自宅で姪の誕生日のお祝いで会食していたところ、1階のトイレに行く際階段を踏み外してお尻を打った。
253447	48	男	転倒	中程度のケガ	駅・空港ビル	階段	階段を降りる所の、雨で濡れていた点字ブロックで足を滑らせて転倒し、階段の途中の踊り場まで転げ落ちた。 手・足首を捻挫してしまったため医者に通った。 急いで電車に乗ろうとして走ったのと、足元をよく見ていなかったのが原因だと思う。
310006	62	男	転倒	痛かった	飲食店	階段	階段の幅が狭くてすべった。
314985	57	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	階段	2Fの店舗の前のテラスから1Fへ降りる階段で、いつもここを降りるときは、階段のステップの幅が小さいので、こわいなと思っていたが、今朝は、降りているときに、階段を踏み外し、2，3段分すべったようになったが幸いケガをせずにすんだ
343596	43	男	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	雨上がりに上がりエスカレータ降りた直後タイルの床で滑った
344312	56	女	その他	ヒヤリハット	店舗等	その他	スーパー店舗入り口の床にマットが敷かれていたが、マットの下が一部凹んでいてつまづきそうになり、ヒヤッとした。
345435	69	男	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	トイレ	扉を急いでしめた
424301	43	女	ぶつかり	痛かった	駅・空港ビル	階段	駅中の階段でバランスを崩し、壁に肘を打ち付けた。
506761	47	男	はさまれ	ヒヤリハット	事務所等	トイレ	事務所トイレの清掃中に、誤ってドアのストッパーを外してしまい、ドアが閉まった。そのときに、たまたま指を挟んでしまった。指の置き所が悪ければ、切断の可能性もあった。
511616	36	男	落下物にあたる	ヒヤリハット	飲食店	室内	けてあるエアコンのパネルの一部分が脱落しており、宙吊り状態になっていた。 幸い脱落防止用の紐らしきものがくっついており落下には至らなかったが、万が一落下したらケガをすると思う。
541467	25	女	はさまれ	ヒヤリハット	店舗等	廊下	押すと書いてあるドアを開けて中に入ったら、いつもより早くドアがしまったので指を挟めそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
599262	52	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	ゴミ出しのためにゴミ袋を持って、マンションの入り口を おりかけた時、段差が見えずつまずきました。 階段は入居時から段がわかるような色分けがされておらず 近日中に理組合に申し立てをしたいと思います。
636494	49	男	その他	重いケガ	その他	その他	ひどい
666536	34	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	段差がわかりにくかった
770510	32	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	階段	朝、通勤時に凍結した路面で滑り、転びそうになる。 止まっている車とぶつかりそうになるが、避けた。
913071	51	男	転落	ヒヤリハット	店舗等	階段	て、落ちそうになった。慣れていない靴を履いていたためだった。
925117	17	女	転倒	ヒヤリハット	事務所等	階段	階段を下りてた。階の真ん中で左に回るようになっているところが、中央付近が狭く、外側が広くなっている。ここで中央付近を下りていたためかかとを踏み外し転びそうになった。手すりを持っていたために転ばずに済んだ。
934888	46	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	室内	ぼーっとしていた
935764	48	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	自動ドア	自動ドアから出ようとした時、足元に敷かれているマットの隅がめくれていて足が引っ掛かった。あやうく転びそうになった。
944092	42	男	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	くだり階段の色が同じ色で、段差の見分けがしにくく、急いでいると踏み外しそうになる
955271	53	男	転倒	ヒヤリハット	ホテル・旅館	廊下	初めて宿泊した温泉地のホテルで、宴会場から廊下に出るときに、敷居が削れて、かまぼこ状に丸くなっていたのに気づかず、また、たまたま靴下を履いていたため、敷居の上で足を滑らせ、しりもちをついた。
1006392	53	女	転倒	軽いケガ	その他	階段	階段を上がろうとして躓き、手を付いたが、左の薬指だけ縦の面についてしまった。しばらく曲がらず数日湿布をしていた。急いで歓談を上がろうとしていたが特に思い当たる節は無い
1095488	62	男	鋭利物にふれる	ヒヤリハット	その他	その他	台所の収納庫にある包丁さしに、使用後の包丁をしまおうとして うっかり穴に入れ違いすっぽりとそのまま足下に落下、危うく素足に突き刺さるところ、けがはありませんでしたがヒヤリとしました。写真はその時の再現です。
1099892	69	男	その他	ヒヤリハット	集合住宅	階段	た直後、業者が手抜きをしたため、手すりが階段のコンクリート面から外れた為手すり上下箇所が崩落した。もし手すり崩落前に知らずに手すりに身を寄せていたら落下、死亡が考えられる状態だった。
1181309	60	男	転倒	痛かった	事務所等	廊下	急いでいたから
1201308	55	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	朝の通勤ラッシュ時に、階段をあがっていくと後ろからおされてつまずいて転びかけ手をついた。 少し痛い程度で怪我らしいものはなかったが、降り階段で同じ様なことが起こると考えると、ヒヤッとした。 乗り換えのために先を急ごうとする人が、相手のことを考えずに殺到するためだと思う。
1223039	60	男	転倒	ヒヤリハット	学校	廊下	部屋に入るとき、ディスアビリティー用に造られた微少なスロープに有りがひっかっかり、転倒しそうになった。ディスアビリティー用のバリヤーフリーも、健常者が引っかけ転倒するようでは意味がない。
1241596	41	男	転落	痛かった	駅・空港ビル	階段	急いで電車に乗ろうとしていたとき、階段の最後の段を降りる際にあしを少しひねった。
1297979	66	女	転倒	痛かった	その他	その他	敷き石がありあるのは承知していたのですが前方に気を取られ 不覚にもつまずいた
1300357	65	女	転倒	ヒヤリハット	公共施設	自動ドア	いる時もあり、不注意で足下の確認をしないまま凍った上に足を置き、転倒はしないまでも出入り口の自動ドアに体をぶつけてしまった。
1305281	52	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	その他	スーパーの入口に敷かれているマットがめくれており、それに足が引っ掛かり、転倒しそうになった。マットはただ敷いてあるだけで、床に固定されず、その後も高い頻度でめくれ上がっていることがあった。
1336504	51	女	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	雨で濡れていた廊下で滑って転倒。 ちょっと打撲程度でした。滑りやすい靴を履いていたからだと思います。
1340132	50	男	ぶつかり	痛かった	ホテル・旅館	扉、ドア	ドアの閉まりが早くて、足を挟んだ
1460853	37	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	室内	荷物を持ったまま階段を登っているときに、段差につんのめった。
1497633	62	男	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	酔いもあり階段で躓いてしまった。
1497783	58	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	トイレ	滑った
1637243	56	男	転落	痛かった	集合住宅	階段	自宅の共同住宅の会談で踏み外し痛い思いをしたが、たいしたことは無かったので、そのままにしておいた。
1775360	18	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	階段を降りるとき、足を滑らせ、転げ落ちそうになった。
1863424	36	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	その他	雨でぬれていた玄関ホールで足を滑らせ危うく転倒しそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
1865085	39	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	廊下	エスカレータから通路にあがり急いていたので走ってた。少し大き目のサイズのパンプスを履いていたため盲人用の黄色い敷石につまつき転びそうになった。
1876551	73	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	エスカレーター前の床ですが、他の場所とは違う床材になっており、その部分に靴がのった瞬間に滑りました。
1971693	55	女	転倒	中程度のケガ	集合住宅	階段	自宅マンションの階段を踏み外し、足首を捻挫した。
1976639	50	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	地震がおきた
2005538	43	女	転倒	ヒヤリハット	事務所等	室内	に養生がしてあった。それに水がこぼれていたのか、一部が滑りやすくなっていた。そこを知らずに歩いていたら、足が滑った。
2036323	38	男	ぶつかり	痛かった	事務所等	室内	職場にて、よそ見をして歩いていたら壁にぶつかった。
2037683	37	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	室内	ぶつかりそうになった
2125288	60	男	転倒	ヒヤリハット	公共施設	その他	2. 入り口階段添ってあるスライダーの傾斜が雪が降ったり凍結　の場合転倒や車椅子などが滑る（今回ではないが前に見た）
2133994	46	男	転倒	ヒヤリハット	その他	その他	道を歩いていて転びそうになった
2141028	38	女	転倒	ヒヤリハット	病院	廊下	雨が降っていたため、入口すぐの濡れていた廊下で滑りそうになった。ちなみに、4歳の息子は転んで頭をちょっとだけ打った。診察時間があって若干急いで歩いていたため、滑りやすいことを頭に入れて歩いていれば防げたのかもしれない。
2316651	40	女	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	朝のゴミ収集に間に合うかどうかギリギリの時間だったのに、なかなかエレベーターが来なかったため階段で降りようとした。マンションの階段は普段あまり利用しないから慣れないせいか、急階段で足を滑らせてしまった。怪我はしなかったが両手にゴミも持っていたのですごく怖かった。
2343742	45	男	転落	ヒヤリハット	事務所等	階段	会社ビルの10階から9階に降りる時に1段踏み外した。転ばなかったが、怖い思いをした。
2395888	40	男	その他	ヒヤリハット	店舗等	室内	窓の近くでタバコを吸っていたら、風が急に強くなり、自分の方にタバコの火が飛んできて、服が焦げてしまった。
2435570	52	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	水にぬれていた床で滑りそうになった
2435791	41	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	自宅マンションの階段でうっすら積もっていた雪の影響で滑り、転びそうになった。雪の影響によるものだがもともと滑りやすいのも原因の一因である。
2437746	44	女	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	エレベータホールから共用廊下に向かう曲がり角付近が少し勾配しています。うっかり忘れて足を前に出すと「カクっ」と足首付近をひねりそうになるのです。多少お酒など入ると無防備に忘れてしまい、何度かいたい目にあっています。
2447088	57	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	その他	銀座線外苑前駅へ降りようとして床が斜めになっているのに気づかず滑ったが隣にいる友人に支えられて転ぶのは免れた。普段から乱視（コンタクトレンズで矯正はしている）で遠近感がつかみ難いのだが、モザイクタイルの床と明るいところから急に地下にはいって尚更見えにくかったように思う。
2452664	42	男	はさまれ	ヒヤリハット	その他	扉、ドア	縁側の出入口で出入りの時指を挟みそうになる事がたびたびある。
2512487	27	女	その他	痛かった	駅・空港ビル	その他	朝ラッシュ時、向かい側の人が見えずに、角のところでぶつかり、相手の鞄から出ている細い棒みたいなのが自分に突き刺さり、すごく痛い思いをしました。死角になってるので、すごく危ないと思います。
2543560	25	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	その他	自宅の玄関前に段差があり、照明が暗いので足を滑らせそうになった。
2548801	65	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	知人のアパートを訪ねた際、階段で足を滑らせて尻餅をついた。自分も少しあわてていたのと、階段のステップがなくなっていたのが原因だと思う。
2548830	27	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	廊下に薄い紙（売っている洋服の間に挟まっている紙）が落ちていて、それを踏んですべりそうになった。
2559118	51	男	転落	軽いケガ	集合住宅	階段	特になし
2559820	46	女	転倒	ヒヤリハット	飲食店	室内	床のめくれに突っかかった。酔っぱらっていたら転んでいたところだった。
2565145	62	男	その他	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	駅の階段を下りる時階段からフロアへ下りる時、右目に眼帯を付けていて片目で歩行していた。最後の階段とフロアがはっきり区別できず、つんのめりそうになった。
2568618	35	女	転倒	ヒヤリハット	公共施設	階段	雨が降っていて地面が濡れていた。素材がタイルだったので滑りかけた。子供を抱いていたのでヒヤッとした。
2591260	40	男	転倒	軽いケガ	集合住宅	廊下	段差に躓いて転んでしまった。
2597900	29	女	転落	ヒヤリハット	店舗等	階段	買い物をし、エレベーターが来なかったのでときどき使用している階段を利用した。下っている途中、すべって転倒しかけた。荷物で足元が見にくかったことだ原因だと思う

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
2626087	60	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	その他	部分の一部（青いところ）がちぎれて落ちていたのを気づかずに踏んでしまい　滑って転びかけたが台につかまって難を逃れた。
2628806	19	女	転落	ヒヤリハット	集合住宅	廊下	落ちそうになった
2705854	33	女	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	両手 に荷物を持ちながら階段を下りる際に足を滑らせて落ちそうになりました。電気は付けていたのですが夜の事だったので暗くて見えにくかった。加えて両手がふさがっており、持っていた資材が大きくて足元が確認できない状態だったことが原因だと思います。
2732188	37	女	転倒	ヒヤリハット	飲食店	室内	お店のドアを開けて中に入ったら、雪で床が濡れていて滑った。 押して開けるタイプのドアなので、転倒していたりしたら、かなり危険だと思う。 他にも滑っている人がいて、帰るときにはマットが敷かれていた。
2773775	60	男	転落	痛かった	集合住宅	廊下	いて背もたれに寄りかかった所オフィース用五本脚の脚が折れて仰向けに転倒した。幸いヘッドレストが有ったので大きな怪我にはならなかったが背中が今でも痛いです。購入先とハラチェアー製造元に知らせましたがお粗末な対応で文句を言う気が失せました
2788891	54	男	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	工場の事務所、鉄扉のため開閉がわからない
2798076	62	男	ぶつかり	ヒヤリハット	店舗等	その他	百貨店の売り場でエスカレーター脇の柱との狭い隙間を通過するのに、バランスを崩すと体がぶつかりそうでヒヤリとした。
2799920	46	女	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	が壊れているのか、常に勢いよくバタン！と閉まる。よく荷物を挟むし、子供ならいつ指を挟んでもおかしくない。また、ドアを開けてすぐ車道なので、ふいに出ると車に引かれそうになる危険がある。
2806399	27	女	ぶつかり	痛かった	事務所等	トイレ	洋式のトイレのドアを開けて入ろうとしたところ、ドアの開け方が不十分だったのにも関わらず、そのまま中に入ろうとしてドアの端に左目の上～おでこの範囲を強打した。
2809642	31	男	はさまれ	ヒヤリハット	店舗等	自動ドア	商業ビルの回転ドアにはさまれそうになった。
2822839	51	男	その他	軽いケガ	事務所等	室内	やかんのふたがはずれ水蒸気でやけど
2874904	23	女	墜落	ヒヤリハット	公共施設	廊下	吹き抜けが高くて目が回りそうになった
2877172	27	女	はさまれ	痛かった	飲食店	廊下	ドアが想像以上に重かった
2880044	54	男	ぶつかり	痛かった	店舗等	トイレ	雪で滑りそうになり、慌てて壁にぶつかる。
2881464	32	男	転倒	痛かった	その他	その他	前日に雪が降り、解けずに残った雪が寒さで凍結していた。 自転車で凍った雪に乗り上げたところ、前輪が滑って自転車ごと転倒してしまった。
2900125	44	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	廊下	雨で床がぬれて滑りやすくなっていた
2963405	53	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	室内	いつもどおり買い物しようとして近所のドラッグストアに出向き、入口フードを通り過ぎ、カーペット上から売場に入ったところで滑ってこけそうになりました。靴に付いている雪が解け落ちる場所なので、そうなったと思います。
2982554	65	男	その他	ヒヤリハット	集合住宅	その他	友達のマンション駐車場にあるマンホールの蓋の釘がガタつきに より頭が2センチほど飛び出して車のタイヤに突き刺さりそうになってひやりとした。
3052874	45	女	その他	ヒヤリハット	集合住宅	階段	マンションにはEVも付いています、普段は階段を使用します。幅が狭い螺旋階段なので…階数表示に良く頭をぶつけそうになります。 毎回…ハッと驚きますが…頭をぶつけたら恐いですね（ちなみに私は168cmですが…男性で背の高い人は絶対にぶつけていると思います（恐い恐い）
3053560	52	男	鋭利物にふれる	痛かった	その他	扉、ドア	浴室のドアに設置しているタオル掛けが破損しその留め具のねじがむき出しになったままになっており怪我の恐れがある。
3066997	72	男	落下物にあたる	ヒヤリハット	娯楽施設	扉、ドア	偶にいく商店に庇から暖気で解けた氷の塊が体ののそばに落ちて危うく直撃するところでした。
3076956	22	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	その他	雨が降った翌日の朝、マンションのエントランスには不動産のチラシが散らばっていた。（郵便ポスト付近に置かれている不要広告物入れに入っていたチラシが、風で散らばったものと思われる） 雨の影響でチラシは濡れていた。 気をつけてはいたが、思わず踏んでしまい、滑りそうになった。
3077995	71	男	落下物にあたる	ヒヤリハット	集合住宅	その他	井の蛍光灯カバーにあたる。カバーは10等分程度に分割されており、一見プラスチックかと思っていましたが、金属でできたカバーの一部が落下、直接当たれば大けがをするところでした。
3104277	49	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	自宅マンションで足を滑らせて転びそうになった。 当日、雨が少し降ったのもあるが、湿気が酷く階段を上がる手前のタイル部分が濡れていた。 雨は降っていなかったので、濡れているという感覚がなく、暗いところから入ったので、濡れていることに気がつかなかった。
3128371	26	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	ケータイを手にして歩いていたら踏み外しそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
3142240	25	男	ぶつかり	痛かった	駅・空港ビル	廊下	電車の乗り換えのために急いで走って移動しているときに、天井の低い部分におでこが当たり痛い思いをした。走っていて急いでいたのと、低い天井が多いことが原因だと思う。
3162271	37	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	階段を下りていたが、躓いて踏み外しそうになり、ヒヤリとした。
3170195	36	男	転倒	痛かった	事務所等	その他	薄暗い状況でタバコをすっていたら、非常はしごの収納スペースに躓いた。膝を突いてしまったが、特に怪我は無かった。
3170491	38	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	地下駐車場と1Fの高低差が少なく動く歩道タイプの通路でつながっているが、勾配がきつくただ立っているだけでは不安定になりがちでベルトも金属製のため滑りやすく、ハイヒールを履いていると特に危険を感じる。
3194028	36	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	ぼーっとしながら降りたときにバランスを崩して転びそうになった。
3198215	59	女	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	階段	2階から舗道に面した1階の鉄製のドア（舗道側の外側に向かって開く）に向かう非常階段を利用。ロックを外しながらドアを開けた時に、舗道を走って来た自転車にぶつかりそうになった。自転車は急ハンドルを切って転びそうになった。
3200737	74	男	落下物にあたる	中程度のケガ	集合住宅	室内	テレビの不具合を治そうとしていた時、身体が滑ってテレビごと壁にぶつかった。そのとき壁に掛けてあった写真の壁掛け時計が、落下して眉間にあたり、目の上を切るけがをして、皮膚科に駆け込んだ。木枠の壁掛けが、角が鋭角になっていたことと、引っかけがいいかげんだったと、反省している。
3223569	56	女	ぶつかり	痛かった	その他	その他	スポーツクラブのお風呂から出て、脱衣室に行くドアのところでよろけ、棚の角に肩をぶつけ、体勢を崩して頭も打った。
3239267	61	男	その他	痛かった	その他	階段	階段を降りる時タイルに足を乗せたところ、タイルが剥がれて尻餅をついた。
3258073	39	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	ドアを開けて一段下がった所で、つまずいて転倒しそうになった。段差が思ったよりあったのと、大きな荷物を抱えていたせいで、足元が見えにくかった。
3263898	39	男	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	階段に使われている色のコントラストが非常に低く、段差が分かり辛いため何度も転びそうになった。私が強度の色弱のため、普通の人には十分なコントラストでも、夕方や夜において明かりが暗いと、かなり段差の判別が難しいためだと思う。
3264571	48	女	その他	軽いケガ	事務所等	室内	お湯を使う度に水をポットに足していた。沸騰している最中、何気なく蓋に手を掛けたら、蒸気口（目に見える蒸気はなかった）に左手薬指を乗せてしまい、指先に痛みを感じた すぐ水道水で冷やしたが痛みが続くので、冷凍庫の保冷剤にずっと指先を当てていた
3269113	50	女	転落	ヒヤリハット	娯楽施設	階段	階段の踊り場に敷いてあったマットの端が実際の床よりはみ出ていて、それとは知らず端を踏んでしまい、階段上部から落ちそうになった。
3285557	40	女	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	電気がつかず暗い中足を踏み外しそうになった
3295281	51	男	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	エントランスから外廊下への扉が、強風のためドアクローザーが利かず、目の前でバタンと閉まり、怖かった。
3303067	19	女	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	両手で大きな荷物を持って共同廊下を歩いていたら、雨で濡れていたせいか足を滑らせて転倒した。 強かお尻を打ちつけ荷物は散乱したが、大事には至らなかった。 足を滑らせたのは廊下を繋ぐ？銀のプレートで、以前から滑りやすいことを知っていたが、注意力が欠けてたのと荷物で視界が狭まっていたのが原因だと思う。
3323320	32	女	ぶつかり	軽いケガ	店舗等	室内	子供が主人と店内でじゃれあっていたらバランスを崩し、商品棚にぶつかって頬を切る怪我をした。
3334471	40	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	廊下	マンション通路（曲がりしな）に、脚立が放置されていた。マンションのメンテナンスに使用したのだと思われるが、 思いがけない場所に思いがけない物が置いてあり、 ぶつかりそうになった。 今回のことは、単なる不注意だと思う。 歩行する際は、よそ見をしないようにしよう。
3335123	31	男	転倒	痛かった	駅・空港ビル	階段	駅の階段のへりが一部欠けており、そこに足を引っ掛けて転倒した。
3343569	27	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	廊下	雨が降っている日にその場所を歩いていたら滑った
3351843	37	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	階段	階段を踏み外し手すりにぶつかった。
3353342	52	男	ぶつかり	痛かった	集合住宅	その他	初めて伺った家で、知らずに通ろうとしたら、欄間が低い位置にあり、頭をぶつけてしまった。
3361261	29	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	急に人が出てきた
3367179	51	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	その他	玄関マットが固定されておらず、すべった。
3374371	50	男	ぶつかり	ヒヤリハット	店舗等	廊下	壁にぶつかったらとっきぶつがあった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
3378807	40	女	転倒	痛かった	店舗等	廊下	れんが風の廊下部分で、一部大理石が使われているところが、掃除のあとだったのか濡れており、ツルツルになっていた。かかとのある靴を履いていたので、すべって転んだ。
3382346	50	男	転落	痛かった	駅・空港ビル	階段	駅のホームから改札へ続く階段が雪で凍結していたため、急いで降りようとしたときに足を滑らせ転んでしまった。足元をよく見ず焦って降りようとしたのが原因だと思うので、それ以降は注意して降りるようにしている。
3387713	33	女	転倒	軽いケガ	その他	その他	別の部屋から居間へ布団を運んでいたところ、フローリングの上に敷いた畳との段差に躓いて、足をねんざしてしまった。数日前に、畳を敷いたので、段差があることが頭になかったのが原因だと思う。
3387726	60	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	廊下	われるが、黒の御影石の為床が濡れると滑りやすくなり危険を感じる
3415717	29	女	転倒	中程度のケガ	集合住宅	階段	自宅マンションの外階段で、段差のところで足をくじき捻挫した。1か月ほど通院した。 もともと、ビニルの段差で滑りやすかったので起きたのだと思う。
3443964	36	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	室内	いた。お客様は殆ど入り口マットから一歩前に進むまでの移動で用事は済むけど自分はそのマットから右へ左と動いている。マットの上にいる限りは滑り止めになるのですべることはないが、どたどた歩くと、マットのないクッションフロア上でつるりと滑りやすい。
3448223	43	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	雨が降っていてその雨が建物内まで吹きかけてちょっと滑って怪我はしなかったがはっとして命拾いした感じ。
3485173	35	男	転倒	痛かった	事務所等	扉、ドア	事務所に入った際、雨で滑ってころんだ。
3487504	29	女	ぶつかり	ヒヤリハット	飲食店	扉、ドア	自動ドアではない扉で他の人が先に行ったが、ドアが思ったより早くしまったため、ぶつかりそうになった。
3491423	45	男	転倒	ヒヤリハット	その他	階段	メゾネット式の集合住宅にすんでるが、階段の照明が暗く角度が 急なため時々つまずく。
3508115	52	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	夜で雨が降っていて階段の段がわからなかったのでつまずいてしまった。階段の途中に会社の道具があり邪魔となっていた
3513233	50	男	転落	ヒヤリハット	学校	階段	職場で仕事中に無意識に階段を中途半端に踏み外した。
3514731	60	女	転落	ヒヤリハット	学校	階段	階段を急いで駆け下りようとして、階段をすべり落ちた。
3528625	61	女	落下物にあたる	中程度のケガ	その他	室内	引越し前日徹夜でSOHOの整理。バカラの花瓶を持上げた時、口の部分に割れ目があったらしく落下！右足首にあたって床に！血が噴出す。ハンカチを当て荷作りテープでぐるぐる巻きにして止血。未明、痛みをこらえて、スタッフが翌朝来てから救急へ。必死になりつつ妙に冷静だった自分：傷跡が痛々しい。
3530194	56	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	階段をあがる時、柱につまずいて転んだ。 さびていたし、季節もあり滑りやすかった。
3533820	52	男	鋭利物にふれる	ヒヤリハット	事務所等	室内	仕事先でカッターを使っていたら定規から滑って手を切りそうになった
3535843	28	男	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	かんよろめいたりもしたが、なんとかバランスは保てたので大事には至らなかった。 滑り止めの床を設置するなどの対応が欲しい。
3545805	25	男	転落	痛かった	公共施設	階段	屋外の階段が濡れて凍っていたので滑りやすく、階段を踏み外し下まで落ちて転んでしまった。
3552951	67	男	ぶつかり	ヒヤリハット	店舗等	廊下	かった。これは隔壁が、透明でできており、また横からアプローチもできその上通路のど真ん中にあるためぶつかりやすい。位置の設定が悪いし、不透明隔壁なら問題ないはずである。
3608916	54	男	転倒	ヒヤリハット	ホテル・旅館	室内	雪が靴の底に付着し、非常に滑り易い状況になっていた
3625287	60	女	転倒	軽いケガ	駅・空港ビル	廊下	雨が降ったり雪が降ると非常にすべりやすくなる場所で、いつも気をつけるようにしているのですが、足を滑らせて転んで怪我をしてしまいました。
3642251	51	男	転倒	痛かった	店舗等	廊下	段差の無い床でつまづいてころび、ひざを強打した。
3646061	38	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	扉、ドア	１００円ショップの出入り口に敷いてあるマットにつまずきそうになった。
3686065	61	男	ぶつかり	痛かった	店舗等	廊下	柱と螺旋エスカレーターの裏側との間に人が通過できる狭い空間があり、よく人が通っている。間を通ろうとした時に、つい脇見をしてしまい斜めになっているエスカレーター裏側の角の部分に頭をぶつけた。他にもぶつかった人がいるらしく、角にへこみと汚れがあった。
3706050	60	男	その他	ヒヤリハット	その他	その他	交差点で一時停止のほうから、自転車が2台飛び出して来ました。お互いの急ブレーキで間一髪セーフでした。
3711999	32	女	転落	ヒヤリハット	飲食店	階段	初めて行ったカフェが吹き抜けの急な螺旋階段で、おしゃれなお店なのですが、階段の手すりが簡単なもので、子供がよろけて落ちそうになった。こちらが気をつけるべきなのですが、色々なお客さんがいるので、せめて手すりの下からは抜けられない様にして欲しいです。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
3714424	19	男	転倒	ヒヤリハット	飲食店	トイレ	居酒屋で酔っ払っている状態でトイレに行ったら床がぬれていて足を滑らせた。間一髪壁に手を着き難を逃れたが、一歩間違えていたら頭を打っていた。
3725601	19	男	ぶつかり	痛かった	飲食店	室内	でこぼこした、ところどころチクチクしている土壁に、手をすった。痛みを感じ、擦り傷を負い、軽い出血もした。
3731251	32	女	ぶつかり	痛かった	学校	室内	トイレの中で、頭をぶつけた。
3764750	64	女	転落	痛かった	集合住宅	階段	自宅マンションの階段で、最後の一段のところで足を踏み外し、滑り落ちてしまった。子供を連れていて、そちらに気をとられていたのが原因だと思う。
3768254	29	男	転落	痛かった	集合住宅	階段	りもちをついた。 踏み出した瞬間に階段の滑り止めが外れて、滑った。
3774434	23	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	その他	雨が降った寒い朝に、ホームの端で滑りホームから転落しそうになった。
3778140	40	女	転倒	ヒヤリハット	事務所等	その他	玄関の入口付近に段差がある。特に注意書きもなく、段があることがわかりにくいため、踏み外してこけそうになった。
3779866	41	男	転落	軽いケガ	集合住宅	階段	かも下が未舗装で砂利だったため犬か猫が糞をしていて踏んだ・・・
3780810	36	男	転倒	痛かった	事務所等	階段	ていたので滑って尻餅をついてしまいました。健康の為、下りは歩いて降りるようにしていることが仇になってしまいました。階段面が小さく以前から危ないとは思っていましたが、実際に滑るとは。それ以降、上り下りはエレベーターを使用するようにしています。
3791978	46	男	転倒	痛かった	店舗等	自動ドア	スーパーで買い物をしようとして入口の自動ドアを通ろうとしたら、ドアの前に敷いてあったマットの一部がめくれあがっていて、そこの足を突っ込んでしまい、転びそうになった。転倒はしなかったがつんのめったため足首が少し痛くなった。
3803460	50	男	転倒	ヒヤリハット	飲食店	その他	駐車場の車止めの縁石でつまずいて転びそうになった。 駐車場がアスファルト色でなく塗装されており、縁石との区別がつきにくかった。
3810177	21	男	転倒	ヒヤリハット	公共施設	階段	雪の後で濡れていて滑った。
3832816	67	男	転倒	軽いケガ	その他	その他	トを敷き、その上にこたつを置く積もりだった。カーペットをどう敷こうかと思案中、宅配便がやってきた。急ぎ玄関へ向かおうとしてカーペットを踏んだ瞬間見事に滑り転倒した。滑り止めシートを敷かなかった事が原因。左手肘を思い切り床にぶつけた。
3843082	68	男	転倒	ヒヤリハット	その他	その他	夕方仙台市の歩道を歩いていたとき　躓き車道側に転びそうになった。歩道と車道を分ける縁石が　横断歩道のところで徐々に低くなっていて　目立たないため躓いた。
3845380	34	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	その他	今月から会社で借りている新しいビルの駐車場で、ターンテーブル回転中に、ちょうど境目を踏んでしまったため片足だけターンテーブルに持っていかれて転送しそうになった。
3848173	33	女	ぶつかり	軽いケガ	事務所等	室内	りがあって、忘れ物（傘）を取ってすぐ出ようと思ったらドアがバタンと閉まって足首を強打した。 ケガもしたし、痛くてしばらく歩けなかった。
3863941	40	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	としたところ、中から勢いよく扉が開いてきて、ぶつかりそうになった。
3864416	52	男	はさまれ	痛かった	集合住宅	扉、ドア	自転車でマンションの駐輪所に入る時、ドアに指が挟まれた。痛かった。
3864424	29	男	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	雨が降っていたので、地面が滑りやすかった。スニーカーを履いて滑った。
3867093	40	男	ぶつかり	ヒヤリハット	事務所等	階段	オフィスビルの階段。非常階段だが、通常の階段としても使用。 オフィス(廊下)側から階段側に開くが、相手側が見えず、比較的勢いよく開く(廊下側からは押す)ため、階段側に人が歩いている場合、勢いよくドアがぶつかるかってしまう。階段の狭い踊り場なので、階段を落ちるリスクもある。
3869147	48	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	室内	ケーブルのカバーに躓いてこけそうになった。
3875216	49	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	その他	自動ドアの先に敷いてあるダスキンの床マットがめくれあがっており、つまづいて転倒しそうになりました。
3884701	68	男	その他	ヒヤリハット	集合住宅	階段	古い公団の建物で階段の段差が大きく足を高く上げないと 階段で躓く。
3896653	48	男	転倒	ヒヤリハット	公共施設	室内	タイルがずれてすべり、足がとられそうになった
3900332	35	男	転倒	軽いケガ	その他	廊下	た。
3900857	52	男	こすり	軽いケガ	事務所等	扉、ドア	ドアノブがドアの端に近く、しかも押して開けるため、ドアを開けるときにドアノブと壁のサッシの隙間が狭くなります。このため、ドアノブを握っている指をサッシの角で擦って、擦り傷を負いました。普段は気をつけているのですが、その時は考え事をしていたので、うっかりしてしまいました。
3910649	19	男	落下物にあたる	中程度のケガ	学校	室内	部室で休憩していたところ、突然瓶が落ちてきた。
3928318	19	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	廊下	地下鉄の通路を清掃している最中に通り、床が濡れていたため滑って転びそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
3947037	34	男	ぶつかり	ヒヤリハット	駅・空港ビル	廊下	改札口に向かって歩いているときに天井からぶら下がっている監視カメラに頭をぶつけそうになった
3950336	44	女	転倒	痛かった	飲食店	その他	雨の日に飲食店に向かっている所、道路がでこぼこしていて店舗の敷地もブロックが崩れていた為気をつけて歩いていたのに、その先のブロックが雨で滑り足をくじいてしまった。
4019285	42	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	廊下	カーペットの床を歩いていて、靴先がひっかかり転びそうになったが、何とか持ちこたえた。
4020681	71	女	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	室内	はっとして
4024757	83	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	自動ドア	自動ドアの入り口の床が点字ブロックになっていてそれにひっかかった
4026916	42	男	転倒	痛かった	飲食店	室内	某、ハンバーガー屋で少し勢いをつけて走っていたら、滑って転んだ。外は、雪が降っていてそれが室内で溶けたのでそれが原因だと思われる。
4033179	24	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	トイレ	トイレの出入り口が狭く見通しが悪かったので、他の人と接触しそうになった。すれ違いのできない構造になっている。
4036052	35	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	雨で水たまりが出来ていた階段の踊り場で滑り、あぶなく転びそうになった
4036099	28	男	墜落	中程度のケガ	その他	その他	お客様のお宅でベランダから脚立を立てて屋根の上に上ろうとしたときに脚立がすべり倒れ、背中を強打しました。一日様子を見たが痛みが治まらないので病院に通う予定。脚立の足に室内用の足袋を取り付けてつるつるしたベランダだったのですべったのだと思います。怖いと言うよりびっくりしました。
4037342	49	女	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	ついているので、一階の扉は急に開くことがある。一階に居住するわたしは、つい傍を通ってしまい、ぶつかりそうになったり以前はぶつかったことがある。驚いて、声をあげてしまうことも度々。
4040851	18	女	転倒	ヒヤリハット	娯楽施設	その他	舞台で仕込みの手伝いをしているときに、床に転がっていた棒に躓いてこけそうになった。そしてそのままこけていたら落ちていた釘が目に入っていたかもしれない。そう思うとぞっとした。
4041861	50	男	転倒	軽いケガ	集合住宅	その他	現場内で履いているスリッパ足にあっていなかったため 急いで歩いた際足をくじいた
4045378	28	女	転落	ヒヤリハット	事務所等	階段	ハイヒールが階段に引っかかり、つまずきそうになった。階段幅が狭いので、つま先がひっかからないように昇っていたら、かかと部分のほうが怖かった。
4045771	63	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	冷え込んできた凍結してきた時間であったことと、靴底にも雪が付着していて滑ってしまった。幸い大事には至らなかった。
4056607	23	男	転倒	ヒヤリハット	公共施設	室内	延長コードが壁際に配置されているのではなく、壁から少し離れたところにあったため、つまづきそうになった。
4062495	38	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	扉、ドア	店舗に入ったらカーペットが滑り、転びそうになった。
4068035	61	男	転倒	痛かった	公共施設	階段	児童館の階段を三人の子供と固まって下りていて、踊場の手前で一人の子供が足を滑らせ落ちかけたのを、止めようとして一緒に踊場に倒れこんだが、幸いに怪我もなかったのでそのまま帰宅した。
4072159	60	男	ぶつかり	痛かった	店舗等	トイレ	トイレから一般通路に出る扉（中側に開く）を開けて出ようと近づいた所、突然に強い力で扉が開き膝を強く打った。たまたま膝が出ていてぶつかったが、頭部・顔面であれば大怪我であった。扉にはすりガラスの窓がついていたが、反対側に人が居る事はわからなかった。
4076305	35	男	落下物にあたる	軽いケガ	事務所等	室内	事務所の電気配線を壁に這わせるケーブルカバーが有る壁に手をついたところ カバー表面が外れてしまい、さらに嵌め込み部（コの字の壁側に張り付いている部分）の上部で手を切ってしまい出血をした。
4076721	28	男	ぶつかり	痛かった	その他	扉、ドア	ドアにぶつかった
4085862	24	男	ぶつかり	痛かった	飲食店	廊下	倒しそうになった。けがはなかったが、その場には飾り物の石がたくさんあったので、転んで頭を打っていたらと思うとぞっとする。
4094747	38	男	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	買い物袋を両手に持って、自宅のアパート階段を上って家のドアを空けようとした際に、階段を踏み外しそうになった。両手が塞がっており、電灯がきれたままだったことに加えて、急に寒くなって風が非常に強かったのが原因。
4104653	17	男	ぶつかり	痛かった	学校	廊下	があり、影になってて見えなかったこともあり、ぶつかってしまった。
4107012	42	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	会社が入っているビルの階段を急いで上がっていたところ、一段踏み外し、膝小僧を階段に強打した。慌てていたため、足元をよく見ていなかったからだと思う。膝小僧に青アザができた。
4117728	60	女	転倒	痛かった	集合住宅	その他	の階段があるため、通路の真ん中にそれがある。自転車のタイヤがグレーチングふたで滑り、ハンドルを取られて毎回転倒しそうになる。分かっているので自転車を降りて、押していても2つのふたの間にタイヤが挟まったりして転倒したことが数回ある。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
4152484	33	男	転倒	痛かった	その他	その他	会社で出かける時、職員玄関から出ようとしたところ、タイルが凍っていて転んでしまった。おしりをぶつけて痛かった。
4159090	61	男	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	開閉ドアの隙間（結構大きい）挟まれそうになった。
4164553	38	男	ぶつかり	ヒヤリハット	公共施設	廊下	ぶつかった
4165512	31	男	転落	ヒヤリハット	事務所等	階段	階段ふみ違い
4165679	72	男	転倒	軽いケガ	集合住宅	その他	雨でぬれた靴でエントランスで足を滑らせて転倒した。
4177815	31	男	ぶつかり	ヒヤリハット	事務所等	扉、ドア	更衣室のドアを開けると直ぐに廊下がある。ドアは廊下側に開くため、気を付けて開けないと人に当たってしまう。
4184948	32	男	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	電車の乗り換えをするため連絡通路にある階段を上っていると、逆に降りてくる人が多く、真ん中を歩いていた私はその波に巻き込まれ危うく転倒しそうになった。
4187675	37	男	転倒	痛かった	集合住宅	室内	朝起きて、寝室から居間に移動した際、床の段差に足を引っ掛け転倒した。いつも歩いているが注意散漫だったと思われる。
4188532	36	女	転落	ヒヤリハット	店舗等	階段	子供を連れていて、荷物もたくさん持っていて階段でつまづいて落ちそうになったが、間一髪で持ちこたえた。
4200931	51	男	転倒	痛かった	集合住宅	階段	すべって階段を踏み外した
4201292	38	男	はさまれ	痛かった	駅・空港ビル	その他	朝の通勤時にホームで電車待ちをしていたところ、後ろから押されホームと電車の間に足を挟んでしまった。 特に痛みは無かったので手当てはしませんでした。
4208813	29	男	ぶつかり	軽いケガ	飲食店	廊下	きづいたら前に壁があった
4216098	60	女	転倒	ヒヤリハット	その他	その他	近所の人の家に　回覧を届けに行った。 雨が残っていて　レンガの入り口が　滑った。 よく見ると　黒い　コケのうようなものが　ついていた。 大変怖い思いをした。
4221462	31	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	室内	椅子につまずいた
4222004	59	男	転落	軽いケガ	集合住宅	階段	外部の廊下から階段が続いており、玄関の扉から、階段までは2m程度の距離。あさ、新聞を取る為に外へ出たところ、急に冷え込んだため、廊下の上が結露しており、滑って、階段を頭を下にして、滑り落ちたが、片足が、手すりに引っかかり、頭を下に、階段に背中から落ちたが滑り落ちないですんだため、
4229981	51	男	その他	ヒヤリハット	事務所等	室内	電気ストーブが、接触が悪かったのか点灯していなかった。ところが電熱は熱くなっていて、うっかりそこに手のひらを乗せてしまって、うわっ！と手をひっこめました。
4236109	45	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	階段	雨で濡れたタイルで滑って転倒しそうになった
4237758	39	男	転倒	ヒヤリハット	事務所等	その他	事務所のビルの軒下。 少し、傾斜がついていて、ぬれると滑りやすい。
4240747	63	男	転倒	ヒヤリハット	その他	階段	夜暗く、段差が急なため踏み外してバランスを崩した
4246091	60	女	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	犬を避けようとして転んだ
4247271	24	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	扉、ドア	入り口の　ドアのところに　マットがおいてあり　こけやすい
4252144	31	男	転倒	軽いケガ	その他	廊下	廊下を歩いていて足がすべり転んでしまった。
4254159	17	男	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	なってしまった。 下の方には人がいなかったので余計に怖かった。
4254606	55	男	ぶつかり	ヒヤリハット	その他	廊下	開けた扉にぶつかりそうになった
4256612	18	女	その他	ヒヤリハット	公共施設	廊下	あまりしたを見ていなかった
4258894	37	男	ぶつかり	ヒヤリハット	事務所等	トイレ	トイレの入り口。外から中が見えにくいよう、パーテーションで入り組んだ造りにしているため、見通しが悪く、中から急いで出てきた人と出会い頭にぶつかりそうになった。
4263368	29	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	扉、ドア	コンビニを利用しようと店内に入ったところ、雪で床が濡れており普通に歩いていたが勢いよく滑ってしまった。
4264241	61	男	転倒	痛かった	その他	その他	狭い部屋にベットを置いてある、自分で取り付けた物が若干の突起がある。別途の横に服を脱ぎすててあった。服を踏みつけないようにベットサイドを通りぬけた、その時突起に足をこすり付けひざの上を切ってしまい出血しました。
4273995	22	男	転倒	痛かった	集合住宅	階段	自宅マンションの入口の階段でつまずいてヒザをぶつけた。
4275950	51	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	踊り場隅にあるストッパー？の様な金具の所を傘立て代わりに使用。幅約90センチ程の狭い空間に開いた傘が凶器の様に突き立っていて邪魔で危険。階段を降りる時、雨で滑って転び危うく傘に刺さりそうで冷やっとした事がある。幼児、宅配達人にも支障あり。
4282493	21	女	転落	中程度のケガ	娯楽施設	階段	急いでいたので階段を駆け下りたら、足が滑って思いっきりねじってしまい、捻挫した。全治3ヶ月で、痛いわ、普段の生活に支障はでるわで最悪だった。
4291552	39	男	転落	ヒヤリハット	公共施設	階段	夜だったので暗い階段を上ろうとしたら最後のあたりで踏み外して落ちそうになった

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
4294825	77	女	はさまれ	軽いケガ	公共施設	扉、ドア	コーラスの練習で、市の施設を訪れた際、ドアアームのばねが全く利かなくなっており、風でいきなり閉まってしまい、手を挟まれてしまい、切り傷を負った。
4297286	47	男	転倒	痛かった	店舗等	その他	通常通っているところに車が止まっていたので滑りやすいところを通るしかなく転倒した
4298616	48	男	はさまれ	痛かった	その他	その他	トラックタイヤに足が挟まる
4302908	17	女	転落	痛かった	店舗等	階段	階段で転んでしまった。
4318349	26	男	はさまれ	痛かった	その他	扉、ドア	ドアが閉まっているのに気が付かず、手をドア付近に触れたままで指を挟まれた。
4320112	44	女	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	けてきてちょっとふらついたとき、階下に吸い込まれそうで怖かった。
4322141	44	女	はさまれ	痛かった	店舗等	扉、ドア	本屋に子供と一緒に行った時、いつもは扉の片側はロックされていて動かないようになっているのに、その日は扉の両側が開くようになっていました。偶然、入ろうとした時に反対側の扉から出てきた人がいて、勢い良く扉を開けたので、反動で両扉の間に子供が軽く挟まれてしまいました。
4332688	26	男	転落	ヒヤリハット	店舗等	階段	段が濡れていた。その上を長クツで歩いたら滑ってヒヤリとした。
4333431	39	女	こすり	痛かった	飲食店	その他	車から降りた際狭かったため手を擦りむいた。
4337397	27	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	その他	自宅マンションに帰ろうとしたとき、雨で濡れていた為入り口ホールで転倒しそうになった。この日だけでなく、この場所では何度か同じ経験がある。
4340937	66	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	その他	トランスの段差で、つまずきそうになり足を踏ん張った時に、足を滑らせ、転倒ししそうになり、庇った腕を強打した。医者には行かなかったが市販の湿布薬で治療した。治るのに1週間くらい掛った。
4341155	29	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	雨の日にコンビニに行ったらフロアがものすごく滑りやすくなっていた。あやうくそこで滑って転びそうになった
4344232	18	女	転落	軽いケガ	学校	階段	電灯がつかず、手元のライトで歩いていたところ足を踏み外した。幸い、2段ほど落ちて尻餅をつくだけ、打撲で済んだ。
4349022	51	女	転倒	中程度のケガ	学校	階段	捻挫した。ぼんやりしていて、階段がまだ2段あるのに1段しかないと勘違いしたため。　保健室で応急処置をしてもらった後、整形外科でレントゲンを撮ったが、骨には異常がなく、捻挫と診断された。
4359941	32	男	転落	ヒヤリハット	事務所等	階段	階段の幅が狭くてつまずきそうになった
4363435	27	男	転落	軽いケガ	公共施設	階段	建物から出ようとして階段を下りていて下りかけの所で滑り落ちてしまい捻挫してしまった。
4364438	28	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	掃除している最中の廊下を通った時に滑って転んだ
4369534	34	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	朝、急いでいて駅の 階段を下りる時に階段の滑り止めがはげかかっていて 階段が終わったと思い、そのまま歩いてしまった。（空中を歩く感じ）転びそうになってよろけてしまった。
4370541	61	女	はさまれ	ヒヤリハット	娯楽施設	扉、ドア	ロツカールームに行く際に、ドア開けようしたら反対側からも開けておたがいにぶつかりそうになりビッゥリした
4373547	33	男	ぶつかり	痛かった	事務所等	室内	仕事先の客先事務所にて。事務所の作りが特殊で、低い天井でありさらに突起物（天井に段差）があった為、頭が2度ぶつかった（頭の当たった箇所は違った為、痛い思いだけで済んだ…と思われる。）
4375217	43	男	その他	中程度のケガ	集合住宅	階段	急いでいて、マンションの階段を飛び降りたら、その衝撃で肋骨下の軟骨にヒビが入った。
4381973	67	男	転倒	痛かった	駅・空港ビル	階段	西武新宿駅出勤中
4383668	17	男	転倒	痛かった	店舗等	廊下	歩いていて、突然つまずいた　すぐに立ち上がった　こけるようなものがなかったので、自分の足が原因だろう
4387819	37	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	その他	シャッターの支柱を立てるための穴が穿ってある。安全のために閉まるような構造になっているが、その上をピンヒールなどで踏むと動いてしまい引っかかって転びそうになったり、開いたままになって次の人が危ない。
4390815	22	男	ぶつかり	ヒヤリハット	店舗等	室内	引き出しが全開になっているのに気付かずに脛を強打した。
4393062	19	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	歩いていたら滑った
4400845	60	男	その他	痛かった	事務所等	室内	何年か前の暮れに、キャスター付きの椅子に乗り高い所（神棚）の掃除をしていた時椅子から落ちた
4402035	19	女	転倒	痛かった	集合住宅	階段	自宅マンションの階段を上っていて、つまづいて転びそうになった。
4403088	52	男	転倒	痛かった	集合住宅	その他	アパートの共用玄関。夜に郵便受けに郵便を取りにいくと、御影石の床に雨が吹き込んでいて塗れていた。ビーチサンダルだったのですべり転倒。構造的に外部とオープンになっていて、強い風と雨の日は床が濡れる。御影石の場合、雨が吹き込む可能性のある場所はジェットバーナー仕上げのようにして滑らない構造にすべき。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
4419797	58	男	鋭利物にふれる	軽いケガ	集合住宅	その他	マンションの集会室の廊下でじゅうたんの縁の部分のおさえ部分の金属が浮き上がり鋭利になっていて足に切り傷を負いまいました。（軽傷） 数ミリだけれども浮き上っているのに気がつきませんでした。 管理人さんに早速修理してもらいました。
4421207	60	男	その他	中程度のケガ	集合住宅	その他	高電圧のプラヅマ発生電極に手が近づき過ぎて感電して手を火傷した。
4430291	72	女	転倒	痛かった	駅・空港ビル	階段	発車間際の電車に乗ろうと大急ぎで階段を上っていた時、階段の高さに足が上がってなくて階段につまずいた。 思いっきり向こうずねを階段の端にぶつけて前に倒れた。
4431582	67	男	転倒	痛かった	その他	その他	靴を脱いで後ろ向きに上がったところ、少しヒールの高い上履きが脱ぎ捨ててありそれを踏んで足首を捻挫した。転倒はどうにか免れ大事にはいたらなかった。
4434893	54	男	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	で転んでしまった。前の人が遅い一方、後ろから多くの人が来たため、足が詰まって転んでしまった。階段はあと数段だけだったので、けがはなかった。降りる速度があまりに遅い人がいたのが原因で、このような人はそれなりの配慮をしてもらわないと困る。
4436511	46	男	ぶつかり	ヒヤリハット	集合住宅	階段	集合ポストに届いた郵便物を見ながら階段を上がろうとしたとき、2階に登る階段に頭をぶつけそうになりあわてて首をすくめた。 普段から危ないとは思っていたが、郵便物を見ながらだったので注意力が足りなかった。
4438462	16	男	転落	痛かった	駅・空港ビル	階段	駅での電車の乗り換え時に乗り換え客が多く後ろから押され階段で転倒した。膝と手を打った。
4439797	44	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	から外通路への出口ドアで転倒しそうになった。工場内側から外へはドアを開けて出るのだが、外通路が建屋より15cmほど低くなっており、夕暮れ時で暗かったこともあって同じ高さで通路があると思いこんで踏み出したため、前のめりになって転倒しそうになった。
4444589	18	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	廊下	急いで学校へ向かおうと階段を降りようとして、階段の前の段差を忘れていた。
4447395	34	男	転倒	痛かった	集合住宅	階段	深夜に帰宅して思いゴミを下の集積所に出しに行こうとしたところ、一段踏み外してヒザを痛めた。
4448474	74	女	転倒	痛かった	事務所等	室内	事務室にかばんが置いてあったのに気がつかないで転んだ
4458484	30	男	ぶつかり	軽いケガ	その他	扉、ドア	玄関のドアの角に足をあて、裂傷。
4459250	30	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	歳があってつまづいてしまった。また、入口のところが水がたまっていつも雨の日は滑りやすい状態になっていて、ひやひやする。
4459477	16	女	転落	軽いケガ	集合住宅	階段	自宅マンションの階段で足を踏み外し転倒した。手首を少々傷めたが医者に行く程でもなかった。 通学電車に乗り遅れそうなり慌てたことが原因だとと思う。
4473930	51	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	廊下	エスカレーターに乗ろうとして少し前にマットが敷いてあり私の不注意でもありますがマットの角に足が引っかかりつまずいてしまい転びそうになりハッとした。
4476890	19	女	転倒	中程度のケガ	集合住宅	室内	何かに足が引っかかり転んで肩を脱臼した
4478508	34	男	ぶつかり	痛かった	集合住宅	扉、ドア	ドアのストッパー（突起物）に足をぶつけ痛い思いをした
4483002	37	女	ぶつかり	痛かった	集合住宅	廊下	廊下の出窓の下で物をとったときに上の出窓に頭を少しぶつけてしまった
4484527	17	男	転倒	痛かった	事務所等	階段	職場へと通じる階段のフロアマットを踏んだ時にずれて足をひねった。転びはしなかったが、少し足が痛かった
4486204	30	男	ぶつかり	痛かった	学校	室内	1、下のほうに設置してある棚の中の荷物をとりだそうとかがんだ。 2、荷物を取り、立ち上がった。 3、棚の上部に出っ張りがあり、頭をぶつけた。
4491400	51	男	ぶつかり	軽いケガ	その他	扉、ドア	障子を開けた所の柱に足の小指をぶつけて出血しました。
4493393	33	女	転倒	痛かった	店舗等	階段	話をしながら階段を下っていた時に、1番下の段で滑り止めに足を引っ掛けて床に転んだ。
4495540	19	女	転倒	痛かった	学校	階段	前に雨の日に、急いでいて思いっきりすべってしりもちをつき、痛い思いをしたことがある。以後ゆっくりと降りるように気をつけるようにはしていたが、今回もまた同じような事が起こってしまった。油断していた自分にも原因はあると思うが、せめて手すりぐらいは手の届く範囲にちゃんとつけてほしいと思う。
4502929	35	男	転落	痛かった	駅・空港ビル	階段	駅の階段で立ちくらみをして足を踏み外して落ちた
4502948	27	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	階段	すべりやすという張り紙があっても、タイルが滑りそうでとても怖い思いをした。 また、階段に手すりがなく困った。
4504758	34	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	階段の高さが低いのかタイルの模様で目の錯覚が起こるのかわからないけど、そこの階段はいつも踏み外しそうでヒヤリとしてて よく転げ落ちそうになります。友達ともここの階段はなんか怖いよねって話をしてます。
4506626	49	男	ぶつかり	中程度のケガ	その他	その他	ゴミ箱のごみがあふれそうなので、手で押して圧縮た時に、付指のような感覚があり、後日通院した結果、腱断絶していた
4508640	52	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	外階段を降りている際、足を滑らせた。 夕暮れ時だったので足元が不注意になっていたためだが、鉄製で滑り易く従来から危ないところではあった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
4510108	16	男	転倒	痛かった	集合住宅	階段	階段の電気が切れかけていて暗く階段を降りる際、一番下を踏み外した
4511632	32	男	はさまれ	ヒヤリハット	集合住宅	扉、ドア	自分の不注意で、手をはさみかけた。
4512777	25	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	慌てて階段を駆け下りていたら一段踏み外し、転倒はしなかったものの体勢を崩した。
4518058	53	女	転倒	軽いケガ	集合住宅	階段	足元がすべったか、からぶみをしたか、よくわからないけど、滑り落ちた
4518293	45	男	転倒	ヒヤリハット	飲食店	階段	昼食の為、出店しようとした時雨にぬれた階段を降りるとき、フロアーマットを外れた部分を歩いていたとき足が滑りしりもちをついた
4519576	19	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	溶けた雪が凍った階段で滑って転びそうになった。
4521815	52	女	転倒	痛かった	店舗等	扉、ドア	パン屋さんの入り口のマットが折れてたので、そこに足を引っ掛けて転んでしまった。
4527757	64	女	転倒	軽いケガ	事務所等	階段	サンダルがつっかかり転倒した
4528878	19	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	その他	学校帰りに、乗り継ぎの駅に行こうと歩いていた最中に つまずいて転んだ。
4529504	57	男	転倒	軽いケガ	集合住宅	廊下	スーパーの玄関前の雨に濡れているタイルで滑って転んだ。走り込んでいたため滑って頭を打った。こぶが出来たので帰宅後シップで対処した
4530395	61	男	墜落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	階段を滑りそうになった。歳で足がもつれた。
4531810	19	女	転倒	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	階段を登っていたら、つまずいた 混んでいたので、ほかの人にぶつかりそうで怖かった
4532884	25	男	転落	痛かった	事務所等	階段	階段で酔っ払っていて転落した
4534310	59	男	転倒	痛かった	娯楽施設	その他	浴槽に入る際、段差に気づかずつまづいた。もともと、右膝の靭帯を痛めていたこともあって、かなり痛い思いをしたし、右足小指を強く打って一時痛みは退かなかった。こういうスパを利用するときには、コンタクトレンズを外すため、極度の近視が災いしたこともある。
4539792	18	女	はさまれ	ヒヤリハット	公共施設	自動ドア	閉まりかけた自動ドアを通ろうとしたら、開く反応もせずそのまま自動ドアが閉まる動作を続けた
4541504	27	男	転落	ヒヤリハット	集合住宅	階段	階段を降りている時に着地点が悪く、足を滑らせてしまい二段程落ちてしまった。
4542348	16	女	その他	ヒヤリハット	その他	その他	海外旅行に初めていったとき、大きな穴（下に水が入っている）が鉄の板でふさがっていて その上を歩いていたら、板が動いて落下して、びしょびしょになった、以外と穴の中は深かったけれど、父親がすぐに助けてくれたので 助かった。
4544633	45	女	転落	ヒヤリハット	その他	階段	用事があって使ったことのない階段を降りようとした所、階段と先にある壁（30m程度先）が同じ灰色であったため階段の位置が把握できなくなった。年齢的なものか、景観を優先してデザインされた建物や高齢者を意識していない建造物など、階段や段差を識別できなくなってしまうことが多いと感じている。
4549045	17	女	転倒	痛かった	学校	廊下	雨上がりで吹きさらしの渡り廊下を通って急いで教室に帰ろうとしたとき、校舎内のつるつるの廊下で思い切り滑ってしりもちをついた。学校で許可されるスリッパが滑りやすいのに加え、渡り廊下が雨にじかに降られるし、廊下もつるつるで滑りやすいことが問題だと思う。
4552258	19	男	転倒	ヒヤリハット	店舗等	階段	店舗から出ようとして段差に気づかなかった。そしたらつまづいた。
4552473	40	女	その他	痛かった	集合住宅	その他	暗かったのでよく見えない中、車を出庫する際に立体駐車場の鉄筋部分に（突起出ているところ）乗車する際に頭をぶつけた。また鉄骨部分と乗車する際の通路が狭いのでよく見えなかったためぶつかった。何回かあるのでいたかった
4552511	19	男	転倒	ヒヤリハット	学校	階段	よそ見しながら階段を降りてたら1段踏み外して落ちそうになってヒヤッとした。
4561400	69	女	転落	痛かった	集合住宅	階段	新築の建物で、ワックスをかけて間もない頃だったためか、滑りやすく、階段を滑って転落してしまった。
4562162	16	女	その他	ヒヤリハット	集合住宅	廊下	朝起きたのがたまたま・・・
4563193	19	女	転倒	ヒヤリハット	学校	扉、ドア	エレベーターンに人が多く乗るときに後ろから押されて溝に躓きそうになった
4563961	63	男	転倒	軽いケガ	その他	その他	踏石と地面の段差に足を取られて足首の捻挫
4565069	39	男	転落	痛かった	店舗等	室内	店を出ようとしたら段差ですべりこけた。痛かった。
4570546	51	男	転落	ヒヤリハット	病院	階段	通院した病院の階段から、松葉杖の入院患者が転げ落ちた。大事に至らずホッとした。
4571360	42	女	転倒	ヒヤリハット	飲食店	その他	ビルの2階にある飲食店に行く際、階段を登るのだが、階段の頂上が外にオープンになっていて、時間が午前11時頃なのでとても明るい。そこから暗い廊下に入る所が、わずかに段差があって、（ちゃんとちいさなスロープでうめてあるのだか）それに靴の裏がひっかかって転びそうになった。

ID	年齢	性別	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故概要
4573137	22	男	転倒	痛かった	集合住宅	廊下	雨の日にアパートの駐輪場から、道路に出る廊下で滑って後ろに転んだが、怪我は無かった
4573403	29	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	扉、ドア	建物入り口に敷いてあるマットがずれてたわんでいたところにつま先が引っかかって転びそうになった。
4583395	39	女	転落	ヒヤリハット	公共施設	階段	市役所のレストランに行った帰りエレベーターがなかなか来ないので階段を使ったが、上層階だったため途中で足が疲れ膝が笑ってしまった。足に力が入らなくなり、転げ落ちそうになった。2，3段で止まったので大事にはならなかった。
4594094	19	女	転落	軽いケガ	公共施設	階段	階段を降りる際、駆け足で下っていたら足首をひねって階段を踏み外し転落した。
4596551	63	女	その他	ヒヤリハット	飲食店	その他	ファミレスで昼食を取っていた時に、小さな子供がフリードリンクコーナーにやってきて、よじ登ってボタンを押した。熱いコーヒーが出てきて、手にかかったらしく慌ててその子を抱き上げた。親が放置をするにも、程があると思った。
4598182	19	女	転落	ヒヤリハット	駅・空港ビル	階段	階段を登り始めたときに、電車が来てしまい、あわてて階段を駆け上がって行ったら、足が滑りそうになって怖かった。
4599656	28	男	転倒	痛かった	その他	階段	自宅の階段でつまずいた。（上っている途中）ひざをぶつけて痛い思いをしたが、特に治療などはしなかった。
4605161	17	女	転倒	ヒヤリハット	学校	トイレ	微妙な高さの段差がありころびそうになった。
4607740	24	女	その他	ヒヤリハット	公共施設	自動ドア	死ぬかと思った
4611261	31	男	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	余所見をして不注意だった
4619200	66	女	転倒	ヒヤリハット	店舗等	その他	店内の床に僅かな段差がある。
4623985	16	男	転落	ヒヤリハット	学校	階段	まっくらで電気がついていなかったときに床にある点字板が段差に見えて転びそうになった
4633348	39	女	転倒	ヒヤリハット	集合住宅	階段	濡れていたのですべって転びそうになった

②報道記事

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
970901-1	1997/9/1	精神科に入院中の患者が、心電図検査を受ける前に階下のトイレに行こうとして階段で足を踏み外して転落、脳挫傷などで寝たきり状態になった。	78	転落	重傷	病院	階段	北海道	旭川市
000200-1	2000/2/上旬	精神科に入院中の患者が病院を抜け出し、近くの公営住宅の階段の窓から転落し死亡。	43	墜落	死亡	公営住宅	階段窓	山形県	山形市
000813-1	2000/8/13	ホテルの玄関に設置されている自動回転ドアで2000年8月、女性客が手を挟まれて骨折する重傷を負っていたことが31日、わかった。		挟まれ	重傷	ホテル	回転扉	兵庫県	尼崎市
0000907-1	2000/9/7	府営住宅で階段の手すりが外れ、住民が転落してけが		転落	軽傷	公営住宅	階段	大阪府	大阪市堺区
001201-1	2000/12/1	3階建てセンターの屋上に設けられた屋外遊び場の広場から、高さ1・21メートルの手すりを乗り越えて建物の屋根に出て、約10メートル下に転落死。	8	墜落	死亡	児童センター	屋上	埼玉県	戸田市
001212-1	2000/12/12	泥酔者が、外部階段2階と3階の間の踊り場で転落、全身マヒ	46	転落	重傷	警察署	階段	沖縄県	浦添市
001226-1	2000/12/26	小2の児童が市立児童センター（3階建て）の屋上北側のコンクリート製手すり壁（高さ約1．2メートル）を乗り越え、約10メートル下の非常階段の踊り場に転落。頭などを打って死亡した。	8	墜落	死亡	児童センター	屋上	埼玉県	戸田市
010101-1	2001/1/1	カウントダウンをするため、多数の若者らが地下鉄入り口のガラス製の屋根に上っていたところ屋根が崩れ落ち、男女4人が重傷。	17～23	その他	重傷	渋谷駅	屋根	東京都	渋谷区
010109-1	2001/1/9	利用客が改札口に集中し転倒、2人がけが。	67 35	転倒	重傷 軽傷	登戸駅	改札口	神奈川県	川崎市多摩区
010126-1	2001/1/26	酔ってホームから転落した男性を、居合わせた男性二人が助けようとして。3人とも電車にはねられ死亡。		転落	死亡	新大久保駅	ホーム	東京都	新宿区
010126-2	2001/1/26	氷まつり会場内で児童ら数十人が将棋倒しになり、一年生男児が下敷きになった。男児にけがはなかった。	7	転倒	無傷	公園	階段	北海道	帯広市
010201-1	2001/2/1	ホームから線路に飛び降りた高校生を助けようと、男性二人が続いて飛び降り、ホームに無事引き揚げた。男性一人が、飛び降りた際ひじを脱きゅう。	19 30 62	転落	軽傷	鶴舞駅	ホーム	愛知県	名古屋市中区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
010209-1	2001/2/9	男性が線路に転落しているのを別の男性客が見つけ、駅員に連絡。男性を空洞に避難させたため、転落した際の軽いけがで済んだ。	65	転落	軽傷	宇多津駅	ホーム	香川県	宇多津町
010217-1	2001/2/17	荷物運搬用のエレベーターと防護さくの間に首を挟まれて死亡。	31	挟まれ	死亡	倉庫	エレベーター	三重県	名張市
010228-1	2001/2/28	隊員宿舎の7階窓から、女性隊員が転落、建物から突き出た玄関のコンクリート製ひさしの上に落ちて全身を打ち、病院に運ばれたがまもなく死亡。同隊警務隊は事故と自殺の両面で調べている。	21	墜落	死亡	寮	窓	茨城県	阿見町
010307-1	2001/3/7	家庭裁判所で、審判を受けていた無職の少年が審判終了後に脱走、間もなく同支部すぐそばの14階建てマンションの駐車場で血を流して倒れているのが見つかり、収容先の病院で死亡が確認された。	18	転落	死亡	集合住宅	階段	福岡県	久留米市
010405-1	2001/4/5	業務用エレベーターに乗って遊んでいた男児が、エレベーター上部の骨組みと建物2階部分の床との間に上半身を挟まれ、肝臓を損傷し重傷。	10	挟まれ	重傷	工場	エレベーター	滋賀県	近江八幡市
010502-1	2001/5/2	全盲の男性と弱視の妻がホームから線路上に落下し、他の乗客らに救助された。男性に軽い怪我。	76 70	転落	軽傷	黒川駅	ホーム	愛知県	名古屋市北区
010505-1	2001/5/5	住み込み従業員が、4階のエレベーター乗降口から転落、死亡。	54	墜落	死亡	店舗	エレベーター	愛媛県	今治市
010510-1	2001/5/10	エレベーターが上昇中、突然、約2メートル落下し、乗っていた女性客(25)が足首を骨折、女性従業員(20)も腰の骨を折るなど重傷。	25 20	エレベーター落下	重傷	雑居ビル	エレベーター	大阪府	大阪市北区
010522-1	2001/5/22	中学生が学校から帰宅したところ、家族が外出中で玄関が施錠され、かぎを持っていなかったため、屋上に上ってひさしにぶら下がり、最上階の自宅ベランダに入ろうとして、誤って約30メートル下の駐車場に転落し、死亡。ひさしでこすったような傷が両腕にあった。玄関前には通学用のリュックサックが置かれていた。	12	墜落	死亡	集合住宅	屋上	愛知県	名古屋市守山区
010524-1	2001/5/24	駐車場で、男性が倒れているのを近くの住人が見つけた。男性は死亡.駐車場南東側の11階建てマンション10階の外付け階段付近から落ちたとみて、自殺と事故の両面で調べている。	30～40	墜落（？）	死亡	集合住宅	階段	北海道	札幌市白石区
010605-1	2001/6/5	中年タクシードライバーが自宅で転倒、死亡。	50	転落	死亡	個人住宅	階段	岐阜県	岐阜市
010612-1	2001/6/12	小学3年生が、エレベーターの側面の壁と1階天井の間に挟まれた。直後に約4・5メートル下の作業場の床に転落。頭の骨が折れるなどして約2時間後に死亡した。		墜落	死亡		エレベーター	滋賀県	甲南町

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
010627-1	2001/6/27	階段から転げ落ちたとみられる70代の男性が救急車で病院に運ばれた。男性は頭などにけが。	70代	転落	軽傷	野球場	階段	北海道	札幌市豊平区
010704-1	2001/7/4	マンションにある屋外立体駐車場で、主婦（26）が点検作業のため隣の駐車スペースのパレット（床）が移動して開いた穴から、約1・8メートル下の地下に転落。	26	墜落	重傷	集合住宅	立体駐車場	滋賀県	大津市松山町
010706-1	2001/7/6	渋谷駅の正面改札前にある階段通路の入り口付近で、天井のしっくいの塊がはがれて落ち、通行人の男女4人が足や頭などに軽いけがを負い、病院に運ばれた。		落下物	軽傷	渋谷駅	天井	東京都	渋谷区
010716-1	2001/7/16	定時制1年の男子生徒が4階建て校舎の外階段から転落し、両脚骨折の重傷	15	転落	重傷	高校	階段	熊本県	八千代市
010808-1	2001/8/8	自宅建物にはしごをかけてトイレファンの取り付け作業中、はしごからコンクリート敷きの通路に転落し、頭などを強く打ち間もなく死亡。	71	墜落	死亡	個人住宅	はしご	青森県	大鰐町
010907-1	2001/9/7	1階外来ホールから2階に上がる階段の踊り場で、男性が約1・4メートル下のフロアに転落し、死亡。	55	転落	死亡	病院	階段	秋田県	大館市
010909-1	2001/9/9	91歳女性、能楽堂地下倉庫に迷い込み、転倒、骨折するが、1日半後に救出。	91	転倒	重傷	能楽堂	階段	愛知県	名古屋市
010913-1	2001/9/13	女児が、直径1.45mのアクリル製ドーム型天窓が割れた際に、7.6m下に落下。現在リハビリ中		墜落	重傷	小学校	窓	神奈川県	横須賀市
011005-1	2001/10/5	生後1年4カ月の赤ちゃんが、2階の公民館ベランダから約5・4メートル下のコンクリートに転落し重傷。	1歳4ヶ月	墜落	重傷	公民館	ベランダ	山梨県	竜王町
011015-1	2001/10/15	NHK解説主幹が、転落死	55	転落	死亡	放送局		東京都	渋谷区
011025-1	2001/10/25	市議の娘、校庭内の階段で遊んでおり、約2.8メートル下の1階床に転落。頭を打ち、硬膜外出血で死亡。	8	転落	死亡	小学校	階段	高知県	安芸市
011109-1	2001/11/9	自宅階段からの転落により死亡。	65	転落	死亡	個人住宅	階段	埼玉県	さいたま市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
011206-1	2001/12/6	自宅ビルの急な階段において女性が足を滑らせ転落し、死亡。	74	転落	死亡	個人住宅	階段	滋賀県	大津市
011200-1	2001/12/	園児が幼稚園の階段で転落、大けが	4	転落	重傷	幼稚園	階段	富山県	富山市
020113-1	2002/1/13	小学3年の男児が、荷物などを運ぶ小型のエレベーターと出入りロドア付近に挟まれ、死亡。	9	挟まれ	死亡	障害者センター	エレベーター	大阪府	大阪市東住吉区
020322-1	2002/3/22	体育館と校舎をつなぐ通路付近で女子児童が倒れているのを別の児童が見つけた。女子児童は病院に運ばれたが、頭がい骨骨折と脳挫傷で重傷。	11	転落	重傷	小学校	階段	新潟県	栃尾市
020328-1	2002/3/28	建物の2階部分でエレベーターと壁の間に挟まれ、死亡。	27	挟まれ	死亡	会社	エレベーター	福岡県	福岡市博多区
020330-1	2002/3/30	線路上に男性が倒れているのを駅員がみつけ、緊急停止ボタンを押した。男性は頭に軽いけがをしただけですんだ。酒に酔っており、ホームから転落したらしい。	51	転落	軽傷	小木津駅	ホーム	茨城県	日立市
020402-1	2002/4/2	めまいを覚えてホームへ降りる階段でよろめき、線路上に転落したが、レールの間にはまりこんで倒れ込んだため、奇跡的に助かった。	62	転落	無傷	今里駅	ホーム	大阪府	東成区
020420-1	2002/4/20	9階建てマンション最上階の自宅出窓から転落、死亡。転落防止の手すりが25センチ間隔で2本取り付けられていた。	4	墜落	死亡	集合住宅	窓	愛知県	名古屋市熱田区
020427-1	2002/4/27	8階の自宅の窓から約20メートル下の、マンション専用の物置と建物の間の砂利を敷いた地面にうつぶせになって転落。	3	墜落	軽傷	集合住宅	窓	青森県	青森市
020508-1	2002/5/8	地下3階の駐車場から軽自動車を乗せて上昇中だったエレベーターが約5.5メートル下まで落下、乗っていた男性3人が腰や首などに1週間の軽傷。		エレベーター落下	軽傷	ホテル	エレベーター	愛知県	名古屋市中区
020518-1	2002/5/18	市長がクラブハウスで階段で足を滑らせて転倒、骨には異状はなく軽い打撲と診断。	71	転落	軽傷	クラブハウス	階段	北海道	札幌市
020605-1	2002/6/5	商業施設で、男子児童が、上りエスカレーターの手すりベルト部分に外側からぶら下がり、2階から約7メートル下の一階床に転落。左足の骨を折るなど重傷を負った。	10	墜落	重傷	商業施設	エスカレーター	兵庫県	神戸市東灘区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
020713-1	2002/7/13	駆け込み乗車をしようとした男性が電車とホームの間に足を挟まれ、4，5m引きずられた後線路上に転落。男性は頭の骨を折り即死。	61	転落	死亡	藤沢駅	ホーム	神奈川県	藤沢市
020715-1	2002/7/15	手動式車いすに乗った女性がホームから線路に落ち、頭に軽いけが。	72	転落	軽傷	日野駅	ホーム	東京都	日野市
020729-1	2002/7/29	上昇中のエレベーターが四階付近から1階まで約13メートル落下し、乗っていた女性2人が腰や足などに2週間のけが。	53 76	エレベーター落下	軽傷	集合住宅	エレベーター	愛知県	名古屋市 中川区
020903-1	2002/9/3	市役所の地下ボイラー室に続く階段で市職員が転落し、死亡。	52	転落	死亡	市役所	階段	北海道	士別市
021021-1	2002/10/21	歩道と地下商店街を結ぶ連絡階段に油のようなものがまかれており、男性が指に軽いけが。	29	転落	軽傷	地下街	階段	福岡県	福岡市 博多区
021023-1	2002/10/23	荷物と従業員兼用エレベーターの3階から非常勤講師が転落、死亡。	69	墜落	死亡	倉庫	エレベーター	愛知県	名古屋市 北区
021111-1	2002/11/11	中1女子がエレベーターに挟まれ死亡。	12	挟まれ	死亡		エレベーター	三重県	伊賀町
021209-1	2002/12/9	5階建てマンションの屋上で雪合戦をしてた男児が、約15メートル下の路上に転落し、全身を打って意識不明の重体。		墜落	重傷	集合住宅	屋上	神奈川県	横浜市 保土ヶ谷区
021214-1	2002/12/14	螺旋階段付近から、約6メートル下の地下1階部分に転落し、死亡。	58	墜落	死亡	商業施設	階段	福岡県	福岡市 博多区
030122-1	2003/1/22	70代男性がエスカレーターで転倒、軽傷。	70代	転倒	軽傷	駅	エスカレーター	千葉県	船橋市
030215-1	2003/2/15	倉庫の解体現場から出火、鉄骨2階建て同倉庫延べ約3500平方メートルを全焼した。この火事で火災の様子を見ていた近所の女性が転倒し、頭や腕にけがをした。	45	転倒	軽傷			神奈川県	川崎市 高津区
010223-1	2003/2/23	米国のプロスノーボーダーが、ホテルのらせん階段の手すりに腰を乗せて滑り降りる際、約15メートル下の1階床に転落、頭を強打し脳挫傷で間もなく死亡。	23	墜落	死亡	ホテル	階段	長野県	木島平村

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
030322-1	2003/3/22	車いす対応のエスカレーターで階下の駅ホームに降りようとしてバランスを崩し車いすから転落、エスカレーターの階段を約1.3m落ち、胸の骨を折るなど全治一カ月の重傷。	60	転落	重傷	いずみ野駅	エスカレーター	神奈川県	横浜市泉区
030325-1	2003/3/25	小学1年生の男児が、大型の自動回転ドアにかかとを挟まれ転倒。右太ももの骨がねじれて割れる「らせん骨折」を負った。	7	挟まれ	重傷	商業施設	自動回転扉	神奈川県	横浜市西区
030401-1	2003/4/1	大阪地裁堺支部で、視力障害者が階段で転んで右ひじの骨を折る大けが。	56	転倒	重傷	裁判所	正面玄関階段	大阪府	堺市
030509-1	2003/5/9	県営住宅の敷地内で女性が倒れており、女性は頭などを強く打ち死亡。13階と14階の間にある階段踊り場から転落したとみられ、事件と事故の両面から調べている。	15～25	転落	死亡	公営住宅	階段	宮城県	仙台市
030517-1	2003/5/17	校舎屋上の階段室屋根で高校生が応援旗をしまう作業をしていた際、３．８メートル下の屋上に転落、死亡。	16	墜落	死亡	高校	階段室屋根		
030628-1	2003/6/28	ペンションの閉館式にて木製テラスが倒れ、テラス上の30人が折り重なるように倒れた。この事故で74歳の女性が右腕の骨を折る大けがをしたほか、4人がけがで入院、21人が軽傷を負って病院で手当てを受けた。		転倒	重軽傷	ペンション	テラス	北海道	ニセコ町
030918-1	2003/9/18	女児が上り電車にはねられ死亡。下り電車の車掌は、ランドセルを背負い「けんけん」をしながらホームを進む女の子を見ていた。	7	転落	死亡	潮見駅	ホーム	東京都	江東区
030925-1	2003/9/25	視覚障害者の女性が盲導犬とともにホームから誤って転落。高校生3人に助けられ、けがはなかった。	37	転落	無傷	石山駅	ホーム	滋賀県	
031017-1	2003/10/17	地下歩道のエレベーターが、ドアにベビーカーを挟んだまま上昇。母が救出するも、エレベーターから落下した幼児が軽傷。	1	墜落	軽傷	地下道	エレベーター	福島県	本宮町
031207-1	2003/12/7	小学5年女児が4階部分の足場から転落、左腕を折る重傷。	11	墜落	重傷	建設現場	足場	宮崎県	宮崎市
040101-1	2004/1/1	認知症の女性が介護施設の非常階段から転落し死亡。	79	転落	死亡	介護施設	階段	北海道	
040124-1	2004/1/24	駅構内で、改札口からホームへつながる階段の踊り場に会社員女性が倒れているのを駅員が見つけた。病院に運ばれたが、頭を強く打ち意識不明の重体。	25	転落	重傷	坂出駅	階段	香川県	坂出市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
040326-1	2004/3/26	回転扉に6歳の男の子がはさまれ、頭を強く打って死亡	6	挟まれ	死亡	商業施設	回転扉	東京都	港区
040501-1	2004/5/1	3歳女児、エスカレーターに長靴を挟まれるも、安全装置作動で無事。	3	挟まれ	無傷	商業施設	エスカレーター	大分県	大分市
040518-1	2004/5/18	車いす男性が、介助用エスカレーターで、車いすから転落、頭や足など負傷。	55	転落	軽傷	名古屋港駅	エスカレーター	愛知県	名古屋市港区
040528-1	2004/5/28	エスカレーターで遠足の小学生のグループが将棋倒しになり、男子児童4人、女子児童2人がけが。		転倒	軽傷	天王洲アイル駅	エスカレーター	東京都	品川区
040603-1	2004/6/3	児童が天井から下りてきた防火シャッターに首を挟まれ、一時意識不明の重体だったが、同日夜意識を回復した。	7	挟まれ	重傷	小学校	防火シャッター	埼玉県	所沢市
040604-1	2004/6/4	盲学校に通学途中の男性が、駅のプラットホームから転落。腹やひざに打撲。		転落	軽傷	岡山駅	ホーム	岡山県	岡山市
040605-1	2004/6/5	気分が悪くなって退席しようとし、階段から転落。胸に痛みと気分不良を訴えているが、大きなけがはなく、意識はしっかりしている。	62	転落	軽傷	神社	階段	大阪府	藤井寺市
040609-1	2004/6/9	ホテルのエスカレーターに乗車中、手すりベルトだけが停止し利用客が折り重なるように転倒し12人がけが。このエスカレーターでは2003年9月にも同様に客数人が転倒、3人が軽傷を負う事故が発生。		転倒	9人軽傷 3人重傷	ホテル	エスカレーター	静岡県	掛川市
040611-1	2004/6/11	警察署で、相談に訪れていた市内の男性が倒れ、搬送先の病院で死亡。倒れていた場所が1階の階段付近だったことから、階段から転落したらしい。		転落(?)	死亡	警察署	階段	香川県	高松市
040627-1	2004/6/27	2歳男児が4階から吹き抜けに設けられたエスカレーターの手すりから10メートル下の2階特設売り場に転落。頭を強く打っており、死亡。	2	墜落	死亡	商業施設	エスカレーター	兵庫県	西宮市
040709-1	2004/7/9	農道わき側溝(深さ50センチ)で、電動車いすごと転落し死亡しているのを通行人が発見。死因は窒息死。転落して車いすと側溝に首を挟まれたらしい。	73	その他	死亡	道路	側溝	三重県	白山町
040716-1	2004/7/16	作家が酒を飲んだあと、階段で足をすべらせて転落。脳挫傷などのため神戸市内の病院で死亡。		転落	死亡	店舗	階段	兵庫県	神戸市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
040729-1	2004/7/29	3階建てマンションの階段脇で、若い男性が頭から血を流して倒れているのを住民が見つけ通報。男性は頭の骨などを折り死亡。	20代前半	転落	死亡	集合住宅	階段	茨城県	牛久市
040824-1	2004/8/24	駅エスカレーターで将棋倒し2人けが。	65	転倒	重傷	河内山本駅	エスカレーター	大阪府	八尾市
040830-1	2004/8/30	道路側溝の上に電動車いすごと倒れ込んでいるのを通行中の男性が発見。病院に運ばれたが、約1時間後に死亡。	76	転倒	死亡	道路	側溝	長野県	駒ケ根市 東伊那
041006-1	2004/10/6	男子児童が3階から落下。プランターがクッションとなり、大事には至らなかった。	9	墜落	無傷	小学校	窓	徳島県	八万町
041011-1	2004/10/11	電気店で、同市内に住む男児がエスカレーターのベルトの送り込み部分に、左手を巻き込まれ、甲にやけどなどのけが。	3	挟まれ	軽傷	店舗	エスカレーター	岩手県	盛岡市
041013-1	2004/10/13	複合施設エスカレーターで遠足の小学生ら10数人が次々と転倒、1人重傷、数人がけが。	6	転倒	重傷	児童施設	エスカレーター	大阪府	大阪市 北区
041112-1	2004/11/12	社長の母が、荷物用エレベーターに挟まれ死亡。	83	挟まれ	死亡	店舗	エレベーター	岐阜県	関市
041113-1	2004/11/13	電動車いすの男性がエスカレーター最上部から車いすごと転落、肋骨(ろっこつ)骨折のけが。	51	転落	重傷	八幡宿駅	エスカレーター	千葉県	市原市
041113-2	2004/11/13	自宅に設置された荷物運搬専用のエレベーターに乗り、誤って建物の壁とエレベーターのすき間に挟まれて死亡。	83	挟まれ	死亡	個人住宅	エレベーター	岐阜県	関市
041122-1	2004/11/22	巡査長がうつぶせで倒れているのを見つけた。頭を打っており、死亡。四階通路から転落したとみて詳しい状況などを調べている。	25	墜落	死亡	寮	通路	福岡県	福岡市 博多区
041218-1	2004/12/18	3歳幼児、マンションベランダから20m下へ転落、フェンスに助けられ、頭部骨折のみで命に別状なし。	3	墜落	重傷	集合住宅	ベランダ	大阪府	大阪市
050105-1	2005/1/5	飲食店階段で足を踏み外して約2メートルの高さから転落。頭を強く打ち死亡。	47	転落	死亡	店舗	階段	宮崎県	高千穂町

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
050111-1	2005/1/11	上りエスカレーターに母親と一緒に乗っていた児童が、ステップの間の隙間に靴を引き込まれ、指を骨折する重傷。	11	挟まれ	重傷	商業施設	エスカレーター	青森県	八戸市
050115-1	2005/1/15	14階建てマンションに隣接する駐車場で、男性が倒れているのを見つけ110番通報。男性は頭を強く打って即死したとみられ、自殺と事故の両面で調べている。	60～70くらい	墜落	死亡	集合住宅		愛知県	東海市
050126-1	2005/1/26	浴場の屋根崩落により2人死亡。	62一	落下物	死亡	旅館	浴場	新潟県	小千谷市
050203-1	2005/2/3	小学3年生の男子児童がプールに落ち、凍死。	9	その他	死亡	小学校	プール	新潟県	見附市
050213-1	2005/2/13	上りエスカレーターの降り口付近で、先頭にいた乗客のかばんのひもが引っかかり、乗客が次々と倒れ、13人が打撲や擦り傷などの軽傷。	15～17	転倒	軽傷	塩釜口駅	エスカレーター	愛知県	名古屋市天白区
050407-1	2005/4/7	4階建てビルから中学3年生の女子生徒が落下。全身を強く打ち死亡。階段の踊り場から過って落ちたのではないかとみている。	14	墜落	死亡	雑居ビル	踊場	長崎県	長崎市
050418-1	2005/4/18	スカイダイビングを疑似体験するアトラクションに乗っていた、両足の不自由な無職男性が高さ約5メートルの地点から転落、全身を打ち間もなく死亡。男性は大柄で太っていて安全ベルトが締まらず、係員が無線で責任者に相談し、責任者は安全バーだけの運行を了承していた。	30	墜落	死亡	屋内型娯楽施設	スカイダイビング疑似体験アトラクション	東京都	港区
050507-1	2005/5/7	マンション外側にある階段の3～4階部分の屋根から、約9メートル下の植え込みに転落。右腕の骨を折るなどの重傷。	10	墜落	重傷	集合住宅	屋根	奈良県	天理市
050508-1	2005/5/8	盲目夫婦の妻がホームより転落、額を切るなどの怪我。	52	転落	軽傷	新山口駅	ホーム	山口県	小郡町
050703-1	2005/7/3	複合商業施設内において養護学校に通う男子生徒が、下りエスカレーターの手摺を滑って遊んでいるうちに、3階乗り場付近から約6メートル直下の2階乗り場付近に転落。生徒は頭などを強く打ち、重体。	15	墜落	重傷	商業施設	エスカレーター	愛知県	三好町
050707-1	2005/7/7	従業員と客の男女3人がドアが開いた1階エレベーターに乗り込もうとしたところ、エレベーター本体は4階に止まっており、そのまま約1.5メートル下のくぼみに落下、打撲や擦り傷などの軽傷。		墜落	軽傷	雑居ビル	エレベーター	愛知県	名古屋市
050715-1	2005/7/15	高校2年の男子生徒(16)ら4人が建物の屋根に上って遊んでいたところ、採光部分が破れ、1人が約20メートル下の館内の床に転落、死亡。	16	墜落	死亡	体育館	屋根	東京都	世田谷区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
050725-1	2005/7/25	団地の5階に住む男児が建物脇で倒れており、重傷。窓から約13メートル下の地面に転落したとみて調べている。	3	墜落	重傷	集合住宅	窓	群馬県	桐生市
050824-1	2005/8/24	1歳10カ月の女児が、スーパーのエスカレーター手すりから約4メートル下の床に転落し、頭蓋骨(ずがいこつ)骨折の重傷。	1歳10ヶ月	墜落	重傷	店舗	エスカレーター	東京都	足立区
050828-1	2005/8/28	アリーナの屋根に上っていた市内の高校生3人が、足を滑らせて転落。2人が腰の骨が折れるなどの重傷、1人が軽傷。	16～17	墜落	2人重傷 1人軽傷	アリーナ	屋根	長野県	長野市
051202-1	2005/12/2	研究所のフェンスを乗り越え侵入し、実験棟の屋根で遊んでいたところ、足元の耐火用ボードが壊れ、中学生が落下し死亡。	13	墜落	死亡	実験施設	屋根	東京都	調布市
051213-1	2005/12/13	ビル5階の階段の踊り場で頭から血を流して倒れているのを見つけられたが、頭の骨を折るなどして死亡。事件と事故の両面で調べている。	58	転落	死亡	雑居ビル	階段	東京都	大田区
060100-1	2006/1/	老人福祉施設のエレベーターが建物の2階で床より約30cm高い位置で停止、入所女性が転倒、腕を骨折	82	転倒	重傷	老人福祉施設	エレベーター	広島県	広島市
060116-1	2006/1/16	建物の屋根に積もった雪が滑り落ち園児2人が生き埋めになり、1人死亡、1人は意識不明だったが回復し軽いけが。他に近くにいた園児も固まった雪が頭にぶつかり、頭を切るけが。	5～6	その他	1人死亡 2人軽傷	保育所	園庭	福島県	下郷町
060311-1	2006/3/11	エスカレーターに乗っていた男児が、頭を1階のコンクリート床にぶつけた後、エスカレーターとの間に挟まれた。エスカレーターは自動的に停止し救助されたが、こめかみを切り1か月のけが。	5	挟まれ	重傷	店舗	エスカレーター	福岡県	北九州市
060406-1	2006/4/6	おがくずをためたサイロに転落し、窒息死。	21	その他	死亡	工場	サイロ	福岡県	筑前町
060522-1	2006/5/22	4階に住む女児が自宅ベランダから約10メートル下の建物と自転車置き場のすき間(幅約1メートル)に転落、腹部を打つなど大けが。	4	墜落	重傷	集合住宅	ベランダ	大阪府	大阪市平野区
060523-1	2006/5/23	小学4年生の女児が、自宅マンション(11階建て)から転落死。	9	墜落	死亡	集合住宅		宮城県	仙台市
060603-1	2006/6/3	団地敷地内で、新聞配達員が頭から血を流して倒れているのを見つけられ、病院に運ばれたが間もなく死亡。5階建て団地の階段下に倒れ、転落した可能性もある。	59	転落(?)	死亡	集合住宅	階段	神奈川県	横浜市港南区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
060603-2	2006/6/3	エレベーターがいきなり上昇を始め、出入り口の天井部分と、エレベーターの床部分との間に挟まれ死亡。	16	挟まれ	死亡	公営住宅	エレベーター	東京都	港区
060610-1	2006/6/10	「動く歩道」で、男児が右手をベルトに挟まれ、手のひらに軽傷。	4	挟まれ	軽傷	小倉駅	動く歩道	福岡県	北九州市
060616-1	2006/6/16	外壁部分の排水パイプにつかまって遊んでいた近くの小学1年男児、7階付近から敷地内のアスファルトに転落した。男児は病院に運ばれたが、同日夜死亡した。男児は排水パイプをつたって8階から降りてきていたところ7階付近で落下した様子。		墜落	死亡	集合住宅	排水パイプ	神奈川県	藤沢市
060617-1	2006/6/17	アパートの階段下に倒れているのを、散歩中の男性に見つけられたがすでに死亡。酒を飲んで帰宅し、アパートの2階から階段を誤って転落したらしい。	45	転落	死亡	集合住宅	階段	長崎県	対馬市
060618-1	2006/6/18	外出しよう4階の自室（個室）のベランダから非常階段に飛び移ろうとした際、誤って8/5メートル下に転落し、死亡。	19	墜落	死亡	寮	ベランダ	福岡県	北九州市
060619-1	2006/6/19	小学生男児が、自宅すぐ近くの会社の門扉と門柱に挟まれて死亡。	9	挟まれ	死亡	会社	門	佐賀県	神崎市
060624-1	2006/6/24	エレベーターが約10センチ高い状態で止まって扉が開き、乗ろうとした80歳代の女性がつまずいて転倒。手や足に軽いけが。	80代	転倒	軽傷	公営住宅	エレベーター	静岡県	静岡市
060702-1	2006/7/2	鉄製の扉（高さ約2メートル、幅約1メートル）が突然倒れ、小学生が体育館の階段との間に足を挟まれた。右ひざのじん帯を切る重傷。	12	挟まれ	重傷	体育館	扉	鳥取県	日吉津村
060704-1	2006/7/4	1階から2階へ上るエスカレーターの手すりから身を乗り出して遊んでいた小学3年の男児（8）が、0階の天井と手すりの間に頭などを挟まれ重体。	8	挟まれ	重傷	商業施設	エスカレーター	福岡県	福津市
060704-2	2006/7/4	旧町役場で遊んでいた少年が屋上に設置されたプラスチック製採光窓を突き破り、約7．2メートル下に転落した。少年は病院に運ばれたが重体。	14	墜落	重傷	旧町役場	天井採光窓	千葉県	旭市
060708-1	2006/7/8	エレベーター1基が1階から上昇した後、2階付近で止まり、突然降下、乗っていた男性1人が、むち打ちの症状。		その他	軽傷	複合施設	エレベーター	福岡県	福岡市中央区
060719-1	2006/7/19	劇場の2階席から男性が転落し、1階席にいた女性2人が巻き添え。計3人が負傷。	79 62 65	墜落	重軽傷	劇場	客席	愛知県	名古屋市中区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
060727-1	2006/7/27	住民の女児が、6階と5階の間にある階段踊り場（高さ約13メートル）から転落し、真下に駐車していた保冷車の荷台屋根に転落。アルミ製の屋根がクッション代わりになったらしく、女児は全身を打撲したが、軽傷。	8	墜落	軽傷	集合住宅	踊場	兵庫県	宝塚市
060730-1	2006/7/30	宿泊に訪れた男児が、2階外側の階段踊り場（高さ2・7メートル）の壊れていた柵のすき間から転落。コンクリート舗装の地面で頭を打ち、脳挫傷などの大けが	4	墜落	重傷	宿泊施設	柵	山口県	秋芳町
060811-1	2006/8/11	木造一部2階建ての自宅兼事務所の屋根に立てかけたはしごから、転落し死亡。	67	転落	死亡	個人住宅	はしご	秋田県	大仙市
060813-1	2006/8/13	多目的ホールで、2人が倒れているのを発見。座席最上段に通じる2階の入り口の扉から中に入ったところ、階段状で可動式のいす席がホールの壁面に格納されていたため、4メートル下のフローリングの床に転落したとみられる。	436	墜落	重傷	多目的ホール	入口	大分県	佐伯市
060813-1	2006/8/13	小学2年の男児（8）が、エスカレーターの手すりベルトと天井に右足を挟まれ、右太ももに打撲。	8	挟まれ	軽傷	集合住宅	エスカレーター	徳島県	石井町
060815-1	2006/8/15	陸橋の階段で、女性が頭と口から血を流して死亡しているのを発見。自殺、事故の両面で捜査。	20	転落	死亡	陸橋	階段	新潟県	湯沢町
060818-1	2006/8/18	誤作動で緊急停止し、乗っていた住民1人が転倒。頭などを打って約1週間のけが。ブレーキを感知するスイッチが故障したらしい。	30代	転倒	軽傷	公営住宅	エレベーター	和歌山県	御坊市
060822-1	2006/8/22	エレベーターから降りる際、男児が内側の扉のすき間に腕を挟まれ、約10分後に救助された。かすり傷と、手が赤く腫れる軽いけが。	3	挟まれ	軽傷	公営住宅	エレベーター	山口県	山陽小野田市
060827-1	2006/8/27	家電量販店で、母親らと来ていた男児（2）がエスカレーターの手すりベルトの収納口に右手の指先4本を挟まれた。	2	挟まれ	軽傷	商業施設	エスカレーター	熊本県	八千代市
060924-1	2006/9/24	駅のホームで、東京都品川区内の女性が男に倒されて、頭などに軽い打撲傷	64	転倒	軽傷	東神奈川駅	ホーム	神奈川県	横浜市神奈川区
060925-1	2006/9/25	マンションで入り口付近で、2歳男児が頭から血を流して倒れているのを住民が発見。	2	墜落（？）	死亡	集合住宅	廊下	東京都	練馬区
060926-1	2006/9/26	8階で飼い犬がエレベーターの外に飛び出し、飼い犬をつないでいた麻製のロープをはさんだまま、エレベーターが扉を閉じて上昇。女性はロープを握ったまま離さず、左手の親指を除く指4本が切断された。	95	挟まれ	重傷	ビル	エレベーター	東京都	品川区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
061025-1	2006/10/25	恐喝容疑で逮捕された女の容疑者(18)を護送していた熊本県警山鹿署の会計担当の女性事務職員が、エレベーターに乗り込む際に事故に遭い、左手の甲から先を切断。	25	挟まれ	重傷	地検	エレベーター	熊本県	熊本市
061029-1	2006/10/29	エレベーターが本来の停止位置より15センチ低く止まり、女性がエレベーターに乗ろうとしたところ、段差に気付かずにバランスを崩し、足をひねる。		転倒	軽傷	公営住宅	エレベーター	東京都	港区
061107-1	2006/11/7	博物館で、小学生がエスカレーターで折り重なって倒れ、11人がけが。		転倒	軽傷	博物館	エスカレーター	東京都	墨田区
061125-1	2006/11/25	エスカレーターに車いすの男性を乗せていた駅員がバランスを崩して倒れ、男性が約2メートル落ち顔などにけが。	34	転落	軽傷	新岩国駅	エスカレーター	山口県	岩国市
061208-1	2006/12/8	電動車いすの男性がエレベーターを降りた後に、近くの階段から転落、頭を打ち死亡。	52	転落	死亡	琴似駅	階段(エレベーター近く)	北海道	札幌市西区
061213-1	2006/12/13	老人ホームに入所していた男性が2階窓から誤って転落し死亡。	78	墜落	死亡	老人ホーム	2階窓	愛知県	名古屋市北区
061223-1	2006/12/23	老人ホーム入所者の男性が仰向けに倒れているのを見つけ119番通報。男性は頭を強く打っており、運ばれた病院で死亡。男性が窓からベランダに出て、手すりを越えて、約5メートル下に転落した可能性が高いとみて調べている。	78	墜落	死亡	老人ホーム	ベランダ	愛知県	名古屋市北区
080131	2008/1/31	小学5年の女児が、1階屋上のガラス製の採光窓に乗ったところ、ガラスが割れ約3.6m下の多目的教室に転落、手足に打撲の軽傷。		墜落	軽傷	小学校	1階屋上の採光窓	群馬県	桐生市
0802	2008年2月	駅舎のエスカレーターを駆け上がろうとしてステップを踏み外し、転倒。	43	転落	―	駅舎	エスカレーター	東京都	府中市
080216	2008/2/16	私立高校で1年生の男児が、4階建て校舎南側のコンクリート通路に倒れているのが見つかった。生徒は全身を強く打ち、意識不明の重体。	15	墜落	重体	高校	4階の窓(階段とひさしの間)	兵庫県	神戸市
080222	2008/2/22	スーパーのエスカレーターで37歳の主婦と1歳10か月の男児が転倒。男児はエスカレーターの踏み台と側面のすき間に右手を挟まれ、親指以外の4本の指を骨折する重傷。	1歳10ヶ月	転倒	骨折	スーパー	エスカレーター	神奈川県	厚木市
080223	2008/2/23	ホテルの吹き抜けになっているらせん階段で、24歳の母親に抱かれていた生後7か月の女児が、母親の腕をすり抜け、3階付近から1階のフロアに転落、頭などを強打して死亡。	生後7ヶ月	墜落	死亡	ホテル	らせん状の階段	愛知県	名古屋市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
080303	2008/3/3	スーパーのエレベーターが、床面より20cm高い位置に停止し、段差に気付かず降りようとした79歳の女性が転倒、左肩骨折の重傷。	79	転倒	骨折	スーパー	エレベーター	愛媛県	松山市
080310	2008/3/10	県立高校で1年生の男児高校生が、窓をふいていた際バランスを崩し、4階教室の窓から約10メートル下の中庭の芝生に転落、全身を強く打ち、死亡。	16	墜落	死亡	高校	4階窓	高知県	室戸市
080315	2008/3/15	駅のエスカレーターで、75歳の男性が手すりをつかみ損ねて後方に転倒、後方にいた71歳の妻と57歳の女性が巻き込まれたが、夫婦は頭部を切るなどの軽傷。女性の足に軽いけが。	75 71 57	転倒	軽傷	市営地下鉄	エスカレーター	愛知県	名古屋市
080330	2008/3/30	マンションの9階から2歳の男児が24メートル下の地上に転落、右足骨折の重傷を負ったが、マンション近くにある木と植込みが2段階でクッションとなり，一命を取り留めた。	2	墜落	重傷	マンション	ベランダ	大阪府	大阪市
0804	2008年4月	スーパーマーケットのエスカレーターで、3歳児が履いていた長靴がステップと側面の「スカートガード」の間に挟まれた。	3	はさまれ	―	スーパー	エスカレーター	東京都	江東区
080402	2008/4/2	木工会社の荷物搬送用エレベーターで、48歳の社員が、エレベーターの手前にある安全柵とエレベーターの天井の間に頭を挟まれ、意識不明の重体。	48	はさまれ	死亡	木工会社	エレベーター	大分県	日田市
080408	2008/4/8	スーパーのエスカレーターで、1歳4か月の女児が転倒、人が乗る鋼鉄製の踏み板と床板の間に薬指を挟まれ、第一関節から上を切断する大けが。	1歳4か月	転倒はさまれ	切断	スーパー	エスカレーター	神奈川県	平塚市
080409	2008/4/9	集合住宅の3階のひさしの外壁が約1.5m下の歩道と車道の一部に落下したが、けが人はなかった。	―	落下物	―	集合住宅	3階のひさしの外壁	静岡県	静岡市
080419	2008/4/19	駅ビルで4歳の男児が、エスカレーターの手すりの引き込み口に手をはさまれ、軽傷。	4	はさまれ	軽傷	商業施設	エスカレーター	東京都	立川市
080423	2008/4/23	飲食店の外壁タイル約300枚がはがれ落ちているのが発見されたが、けが人はなかった。	―	落下物	―	JR神戸駅の飲食店街	外壁タイル	兵庫県	神戸市
080509	2008/5/9	駅構内の上りエスカレーターが突然止まり、緊急停止した衝撃やエスカレーターが逆回転したことで乗客が次々に重なるように倒れ、11人が軽傷。	25～59 26,27	転落	軽傷	市営地下鉄	エスカレーター	愛知県	名古屋市
080519	2008/5/19	市営団地で、男子中学生が屋上の採光用天窓から9.2m下のコンクリート製物置に転落し、あごと右手首などを骨折する重傷。	―	墜落	骨折	団地	屋上	青森県	五所川原市蓮沼

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
080522	2008/5/22	小6年生の男児が体育館の天井裏に入ったところ、天井の板が抜け落ち転落、死亡。	11	墜落	死亡	小学校	天窓	山梨県	笛吹市
080526	2008/5/26	4階建ての雑居ビルで、窓枠のモルタルがはがれ落ち、ビル前に駐車中の軽乗用車に直撃したが、けが人はなかった。	–	落下物	―	雑居ビル	4階の化粧窓枠	宮崎県	宮崎市
080526	2008/5/26	市営住宅の外壁のコンクリートが、はがれ落ちているのが発見されたが、けが人はなかった。	―	落下物	―	市営住宅	8階バルコニーの外縁部	大阪府	大阪市
080609	2008/6/9	9階の外壁からモルタル片3，4個がはがれ、約30m下の入り口付近に落ちたが、けが人はなかった。	―	落下物	―	市民交流施設	外壁のモルタル	長野県	長野市
080610	2008/6/10	駅改札内の下りエスカレーター付近に、天井から石こうボードが落ちているのが発見されたが、けが人はなかった。	―	落下物	―	駅改札内	エスカレーター付近	広島県	広島市
080611	2008/6/11	商業施設のエスカレーターの降り場で、3歳の女児が、手すりベルトと、巻き込み防止用の安全装置とのすき間に右手の指をはさまれ、指4本を圧迫される軽いけが。	3	はさまれ	軽傷	商業施設	エスカレーター	京都府	宇治市
080612	2008/6/12	中学校で女性教諭が、男児生徒が閉めた非常階段の鉄製扉に右手の人さし指を挟まれ、切断する大けが。	―	はさまれ	切断	中学校	非常階段の鉄製扉	大阪府	堺市
080613	2008/6/13	校舎の2階廊下の天井からモルタル材がはがれ落ちたが、けが人はなかった。	―	落下物	―	小学校	2階廊下の天井	岡山県	岡山市
080613	2008/6/13	市営住宅で外壁のモルタルがはがれ落ち、1階にある私立保育所のひさしを突き破って園庭に落ちたのが見つかったが、けが人はなかった。	―	落下物	―	市営住宅	外壁のモルタル	大阪府	大阪市
080618	2008/6/18	6年生の男児が3階建て校舎の屋上の天窓から1階に転落、頭などを強く打って、約4時間後に死亡。	―	墜落	死亡	小学校	天窓	東京都	杉並区
080624	2008/6/24	小学校で、体育館と校舎をつなぐ渡り廊下から、外にいる人に声をかけるため、横開きのサッシを開けたところ、一枚が外れ落下したが、けが人はなかった。	―	落下物	―	小学校	体育館と校舎をつなぐ渡り廊下	愛知県	三好町黒笹
080701	2008/7/1	母親と買い物に来ていた3歳の女児が、4階にある上りエスカレーターの手すりの巻き込み口に左手を一時挟まれたが、自力で手を抜き、軽いけが。	3	はさまれ	軽傷	商業施設	エスカレーター	大分県	大分市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
080803	2008/8/3	展示場の1階と4階を結ぶ上りエスカレーターが急停止し、60人が転倒。21人が手や足などの痛みを訴え、うち10人が足を切る軽傷。	―	転落	軽傷	展示場	エスカレーター	東京都	江東区
080812	2008/8/12	百貨店のエレベーターで、2歳の女児が、左手を戸袋に巻き込まれ、手首に軽いけが。	2	はさまれ	軽傷	百貨店	エレベーター	栃木県	宇都宮市
080814	2008/8/14	水族館の3階の下りエスカレーターで、小学1年生の男児がステップのすき間にサンダルを巻き込まれ、右足の親指と人さし指に打撲傷。	6	はさまれ	打撲	水族館	エスカレーター	愛知県	名古屋市
080818	2008/8/18	商業施設のエスカレーターで、2歳の女児がステップと側壁の間に左足のサンダルをはさまれ、親指がはれる軽傷。	2	はさまれ	軽傷	商業施設	エスカレーター	神奈川県	横浜市
080824	2008/8/24	大型商業施設のエスカレーターで、小学1年生の男児が、頭を手すりと天井の間に挟まれ、前歯を2本折るなどのけが。	7	はさまれ	歯を折る	商業施設	エスカレーター	沖縄県	西原町
080906	2008/9/6	市生涯学習センターで5歳の男児が4階の窓から約14m下のコンクリート地面に転落、意識不明の重体。	5	墜落	重体	生涯学習センター	4階の窓	長野県	伊那市
080923	2008/9/23	ホテルのエスカレーターで、5歳の男児のサンダルがはさまれ、左足の人差し指を4針縫うけが。	5	はさまれ	4針縫う	ホテル	エスカレーター	大分県	別府市
081101	2008/11/1	市民センターで、女子中学1年生が天窓から約13m下の1階に転落、両手首を骨折するなど重傷。	13	墜落	重傷	市民センター	天窓	兵庫県	西脇市
081102	2008/11/2	公園の突堤で、転落防止用の鉄製の柵が折れ、33歳の女性が1.6m下の消波ブロックの間に転落、腰などを打つけが。	33	墜落	腰を打つ	公園の突堤	柵	愛媛県	伊予市
081208	2008/12/8	マンションで、扉が開いたままエレベーターが突然降下し、50歳の女性が床とのすき間に右足を挟まれ、重傷。	50	エレベーターの降下はさまれ	重傷	マンション	エレベーター	京都府	京都市
0808 0906	2008年8月 2009年6月	90歳代の女性が倒れたドアで足を骨折 60歳代の女性が脇腹に打撲を負う事故	90代 60代	はさまれ	骨折			大阪府	大阪市
081218	2008/12/18	屋外のコンクリート製ベンチが約半分が崩れ落ち、重さ約90キロのコンクリート塊が近くにいた小学2年の女児(7)の足を直撃した。女児は爪がはがれるなどして、10日間通院。	7	落下物	爪のはがれ	市営住宅	室外のコンクリート製ベンチ	宮崎県	宮崎市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
090103	2009/1/3	陸上自衛隊官舎において、45歳男性連隊長が階段で足を滑らせ転倒、頭を強打し死亡。	45	転倒	死亡	陸上自衛隊官舎	階段	北海道	千歳市
090117	2009/1/17	熊本市役所2階において、階段の清掃中の62歳男性が約3m下の階段踊り場付近に脚立ごと転落、頭などを打ち意識不明の重体。	62	墜落	死亡	市役所	階段	熊本県	熊本市
090117	2009/1/17	ビル建設工事現場において、地下1階部分エレベーターの軌道内で作業をしていた男性が、降下してきてエレベーターと側壁の間に挟まれ、頭を強く打ち死亡。		はさまれ	死亡	工事現場	エレベーター	東京都	目黒区
090119	2009/1/19	マンション6階と7階の踊り場から、13歳男子中学生が転落、死亡。	13	墜落	死亡	マンション		福岡県	福岡市
0902	2009/2/1	工場において、荷物運搬用エレベーターに作業中の女性が挟まれ死亡。		はさまれ	死亡	工場	エレベーター	兵庫県	姫路市
090205	2009/2/5	小学校において、5年生の男子児童は階段を踏み外し、バランスを崩して高さ約95cmの手すりをの上を越えて転落、頭部骨折の重傷。	11	墜落	頭部骨折	学校	階段	山形県	山形市
090216	2009/2/16	ビルの扉を手動で開けて乗降するタイプエレベーターにおいて、74歳男性が扉を開けて中に乗り込んだところ、かごが到着しておらず、、エレベーター内の約4m下の地下1階に転落、全身を強く打ち意識不明の重体。	74	墜落	意識不明の重体	ビル	エレベーター	東京都	新宿区信濃町
090225	2009/2/25	工場の荷物運搬用エレベーターにおいて、57歳女性従業員がソフトクリーム用のコーンを台車に載せ、2階から1階に下ろす作業中に、かごが2階に着いていないのに気づかず、誤って転落しかごと側壁の間に挟まれ死亡。	57	はさまれ	死亡	工場	エレベーター	兵庫県	姫路市林田町
090226	2009/2/26	ビルのエレベーターにおいて、かごが到着していない状態で扉が開き、74歳男性が転落、死亡。	74	墜落	死亡	ビル	エレベーター	東京都	新宿区信濃町
090306	2009/3/6	駅構内のエスカレーターにおいて、57歳女性の身に着けていたストールの両端がそれぞれ最上部のくし板に巻き込まれ、首が閉まり死亡。	57	はさまれ	意識不明の重体	駅	エスカレーター	茨城県	
090327	2009/3/27	男性が建物から転落、死亡	30～50	墜落	死亡			愛知県	一宮市
090329	2009/3/29	マンションの4階において、4歳の幼稚園男児がテーブルなどを踏み台にして、高さ約1.3mにある子ども部屋の窓の敷居に座っていたところ、網戸が外れ窓から約12m下のコンクリートの地面に転落、額を切る軽傷。	4	墜落	軽傷	マンション	窓	大阪府	住之江区

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
090405	2009/4/5	10階建てマンションおいて、14歳男子中学生が友人3人と屋上部分の屋根にのぼて遊んでいたところ、住人に注意されたため屋根から下りようと建物の壁などを伝って8階部分の非常階段にど飛び移ろうとしたが足を滑らせ転落、死亡。	14	墜落	死亡	マンション	屋上部分の屋根	静岡県	浜松市南区西伝寺町
090516	2009/5/16	下水処理場・水処理棟屋上にあるレクリエーション広場において、中学3年男子が植え込み内のドーム型天窓の上に乗り飛び跳ねるなどしていたところ、天窓が割れ約5m下の1階コンクリート床に転落、腰を打撲する軽傷。	14	墜落	軽傷	下水処理場・水処理棟	屋上植え込み内のドーム型天窓	香川県	高松市屋島西町
090524	2009/5/24	知的障害者授産施設において、火災に備えた避難訓練中に入所者の56歳男性が2階から1階へ降りる途中で転倒、頭を打ち意識不明の重体、後に死亡。	56	転倒	死亡	知的障害者授産施設	階段	千葉県	銚子市
090528	2009/5/28	知的障害者授産施設において、夜間の避難訓練をしていた50歳代の男性入所者が2階から階段を降りる際に足を踏み外し転倒、意識不明の重体、後に死亡。	50代	転倒	死亡	知的障害者授産施設	階段	千葉県	銚子市
090602	2009/6/2	ホテルにおいて、一酸化炭素中毒により、26歳男性カメラマンが死亡。	26	一酸化中毒	死亡	ホテル		山口県	美祢市
090610	2009/6/10	家電量販店内のエスカレーターにおいて、女児が手すりの巻き込み口に指を挟まれ、けがを負った。		はさまれ		家電量販店	エスカレーター	北海道	帯広市
090612	2009/6/12	23歳女性が歩いていたところ、店先の装飾用のバルコニーが落下し、下敷きとなり、右かかとを骨折。	23	落下物	骨折	店舗	装飾用のバルコニー	長崎県	長崎市南山手町
090615	2009/6/15	市営住宅において、屋上のひさしの一部がはがれ、モルタル片が約13m下の敷地に落下、けが人なし。				市営住宅	ひさし	大阪府	平野区
090616	2009/6/16	市道脇の鋼管製電柱が根元から折れ、近くの平屋棟割り住宅に倒れ込み、幅2メートルの市道をふさぐように横たわり、住宅の屋根の一部を破損、けが人なし。				住宅	屋根	大阪府	守口市藤田町
090619	2009/6/19	市営住宅4階において、エレベーターが定位置よりも40cm上で止まり、66歳女性が外に出ようとしたところ、足を踏み外し転倒、股関節の骨を骨折する重体。	66	転落	骨折	市営住宅	エレベーター		神戸市
090629	2009/6/29	市営住宅4階で、エレベーターが通常よりも約40cm上で停止し、66歳女性が降りようとしたところ、転倒、骨折。その直後に上昇したエレベーターが最上階（7階）を行き過ぎて最上階50cm上にあるストッパーに衝突、乗っていた20歳男性が腰やひざを打撲する軽傷。	66、20	転倒	骨折、軽傷	市営住宅	エレベーター	大阪府	吹田市
090714	2009/7/14	4歳男児が市営住宅5階の高さ約60cmの手すりを乗り越え窓から約12mしたの地面に転落、左腕と左足を骨折するなどの重傷。	4	墜落	骨折	市営住宅	5階窓	北海道	小樽市

ID	事故発生月日	事故概要	年齢	事故の種類	事故の程度	建物の種類	建物内の場所	事故発生所在地都道府県	事故発生所在地市区町村
090819	2009/8/19	工場の建物内にある4階非常階段出入り口付近において、男性社員が誤って約4m下の踊り場付近に転落、頭を強打し死亡。	38	墜落	死亡	工場	非常階段	福岡県	北九州市八幡西区
090824	2009/8/24	マンション12階と13階の間にある踊り場において、中学1年の女子生徒が墜落防止用の高さ約1.2mの壁を乗り越え転落、死亡。	12	墜落	死亡	マンション	踊り場	秋田県	秋田市
090829	2009/8/29	マンション5階の階段踊り場において、脚立に乗って天井の清掃中にバランスを崩し、高さ1.1mのフェンスを超えて約15m下に転落、死亡。	63	墜落	死亡	マンション	階段踊り場	奈良県	奈良市西木辻町
090908	2009/9/8	建設中の住宅において、建物の外側に組まれた足場3階部分において、外壁の塗装中に転落、死亡。	57	墜落	死亡	建築工事現場	足場	愛知県	名古屋市
090910	2009/9/10	解体工事現場において、高さ約23mの足場で作業していた男性作業員が、足場のうち「危険」の張り紙があった部分に踏み入り、腐食していた床部分が抜け転落、死亡。	24	墜落	死亡	工事現場	足場	福岡県	北九州市戸畑区
090913	2009/9/13	駅のホームにおいて、81歳女性が乗った車いすから付き添いの長女が手を離したところ、車いすが勝手に約4.7m動いてホームから約1.2m下の線路に転落、頭を強く打って死亡。	81	墜落	死亡	駅	ホーム	東京都	大田区
090917	2009/9/17	男性が府営住宅から転落、棟の脇の通路を歩行中の56歳女性会社員に接触、男性は死亡、女性は軽傷。	不明、56	墜落	死亡、軽傷	府営住宅		大阪府	堺市堺区戎島町
091004	2009/10/4	県営住宅4階の和室の窓から女性が転落、死亡。	37	墜落	死亡	県営住宅	4階の窓	島根県	江津市
091013	2009/10/13	古書店内で本棚が倒れ、中学3年女子と妹の小学5年女子、従業員の3人が、崩れ落ちてきた本などに体の一部が挟まれ、姉と従業員は軽傷、妹は胸などを打って意識不明の重体。	19、14、19	はさまれ	軽傷、意識不明重体	書店	本棚	北海道	札幌市東区本町
091016	2009/10/16	公民館にある農機具倉庫の屋根において、建物保険調査をしていたJA東びわこの男性職員がスレート部分を踏み抜き地上へ落下、頭を強打し死亡。	27	墜落	死亡	公民館（倉庫）	屋根	滋賀県	彦根市
091025	2009/10/25	近くの自転車置き場の屋根にに落ちたため軽傷。 ○3歳女児が集合住宅の6階の高さ約1.3mのベランダの柵を乗り越えて転落、死亡。 ○3歳男児がマンション9階ベランダの柵を乗り越え転落、死亡。	5	墜落	軽傷	マンション	ベランダ	愛知県	名古屋市
091120	2009/11/20	建設現場において、57歳作業員が手すりを設置するために鋼管3本を一人で運んでいたが、仮設の階段を登る途中でバランスを崩し、約3.1m下のコンクリート床に転落、右太ももを骨折する重体。	57	墜落	骨折	建設現場	仮設階段	島根県	松江市鹿島町

③判例

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
1	ある住宅に引かれた高圧線の電路と立木とが接触発火し、近隣住宅に延焼した。 火災が起きた当日は風が強く、自然力との競合の問題も生じた事案。	昭和28（ネ）1313 9巻3号13 OK頁 最高裁HP	昭和31年2月28日	損害賠償請求事件	東京高裁	近隣住民	電路を管理している電力会社	工作物責任あり
2	進駐軍要員（電気工）として雇われた者が、国が所有者から賃貸し進駐軍に転貸していたビルにおいて、管理事務室の窓のよろい戸が捲き上げられたまま降下しなくなったので、右管理事務室の者から依頼され、右よろい戸を降下させるため、長さ一約メートルの鉄製パイプを使用してよろい戸をこじ開けたところ、よろい戸の電気回路を流れる電流が右鉄製パイプを通じて感電し、これによって死亡した。	昭和32年（ネ）61 10巻12号 671K頁	昭和32年10月26日	慰藉料損害賠償請求事件	東京高裁	修理工員	国（ビルの間接占有者）	工作物責任あり
3	東北配電株式会社が施設し所有していた3500ボルト以下の高圧架空送電線（五粍のゴム被覆硬銅線）のゴム被覆がひどく古損し、感電事故が生じた。	昭和33年（オ）510 最高裁HP	昭和37年11月8日	損害賠償並びに慰謝料請求事件	最高裁第1小法廷	所員	工作物の所有者（電力会社）	工作物責任あり
4	公立中学校三年生の生徒が、授業中同級生が、他の同級生に貸そうと持っていた定規を半分に折ったところ、その破片が生徒の右眼に当り負傷した。	昭和35ワ 266	昭和38年1月12日	損害賠償請求事件	宇都宮地裁	生徒	市（学校設置者）	国家賠償責任・営造物責任いずれもなし
5	農業経営者が電力会社所有の農業用動力線引込用電柱の支線を利用し、針金製枠の雀威し用凧を吊る針金の一端を右支線上方に結び、他方水田上方に張りめぐらした雀威し用の針金の一端をその支線の下部に結ぶような施設をしていた。ところが、その針金の一方が切れ、凧の枠が右電柱に施された引下線の被覆が破損している部分と接触し、引下線に通じていた電気が凧の枠、凧を吊る針金、支線、雀威し用針金と流れたため、右雀威し用針金に触れた第三者が感電死した。	昭和36年（ネ）314 最高裁HP	昭和39年8月13日	損害賠償請求事件	高松高裁	住民	工作物所有者	不法行為責任あり
6	建物において貸席業を経営しその付属施設の一として浴場を設け、無償で提供していた者が、演芸場に来集した客に送風する目的で演芸場に続く約六〇畳の板の間に長さ二米六〇糎の軍用飛行機用木製プロペラを二馬力モーターで廻転させている送風機を設置稼動していたところ、客として入場した西村文子（当時六年六月）がこれに近付き、頭部をプロペラに接触し負傷の結果死亡する事故が発生した。	昭和35（う） 2478	昭和37年2月8日	公衆浴場法違反、業務上過失致死事件	東京高裁	利用客	建物所有者・占有者（貸席経営者）	業務上過失致死傷罪成立
7	羽田国際空港ビル二階待合室を出て一階東京税関旅具検査場に至る階段上の踊り場の、階段降り口向かって右手の手摺りの間から、小さな子供が階下に転落負傷した。	昭和38年（ネ）801 最高裁HP	昭和40年3月24日	損害賠償請求事件	東京高裁第5民事部	利用客	国	営造物責任なし
9	大学四年生が居酒屋において学友21名と共に懇親パーティを開催中、居酒屋の二階座敷の窓から表通りのアスファルト路上に転落し、死亡した。居酒屋の二階座敷の窓は、床上37センチメートルの高さであるにもかかわらず、手摺り（窓柵）がなかった。	昭和41年（ワ）990	昭和43年8月28日	損害賠償請求事件	名古屋地裁	利用客	建物所有者・占有者（居酒屋経営者）	工作物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
10	温泉旅館において自動エレベーターを5階で利用しようと備え付けのボタンを押し戸が開くのを待って進退を内部に乗り入れたところエレベーターのかごがなく、14メートル下の地下室に落下して死亡した事故である。本件エレベーターの施錠装置は摩滅によって完全ではない状態であった。ただしエレベーターの扉が開いたのは、被害者らが酔って激しく戸をたたくなどの外力を加えたことによる。）	昭和42（ワ）4194215－168	昭和42年9月28日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者（温泉旅館経営者）	工作物責任あり
11	ホテルに宿泊していた当時満四才のこどもが、宿泊していた部屋に隣接する階段を昇り、二階の大広間に遊びに行き、誤って窓からその腰板の上部より七・三六メートル下の未舗装、砂利混じりの道路に転落して負傷した。	昭和44（ワ）6848656号73頁	昭和46年9月14日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者（ホテル経営者）	工作物責任あり
12	2歳のこどもが、父母に伴われて本件温泉センターに赴き、同所二階の浴場で入浴後、一階大食堂で食事をとるべく右食堂入口付近まで来た際、母が瞬時目を離したすきに、同所より約二間離れた駆動中のエスカレーターに近づき、これに乗ろうとして、エスカレーターの階段部分と右側壁との間に生じていた約一センチの空隙に、左足親指と人差指とを噛込まれ、下腿義足を必要とする重傷を受けた事故である。	昭和44年（ワ）162708号79頁	昭和48年2月19日	損害賠償請求事件	松山地裁	利用客（幼児）	建物占有者（温泉センター経営者）	工作物責任あり
13	被告自動制御装置メーカーの研究所の正面表門に電動式自動扉を設けた。この自動扉は、深夜閉鎖されているときに、正門を通行するには、守衛に告げ、守衛にリモートコントロールスイッチを操作して貰って出入する必要があったが、以前から社員の中には、それがわずらわしいため、西側門柱にある試験用スイッチを自分で操作して出入する者や、自動扉を乗り越えて出入する者があったところである。試験用スイッチボックスは、以前から施錠されておらなかったし、被告会社は、社員に対し、無断操作を禁じる趣旨の貼り紙をするなどして警告したことはなかった	昭和44年（ワ）293300号280頁	昭和48年9月7日	損害賠償請求事件	京都地裁	従業員	建物所有者・占有者	工作物責任あり
14	都市公園内にあり、周囲を遊歩道が取り囲み、一・五メートルないし二メートル間隔に丸木の杭を打った木柵（木柵の間をくぐり抜ける等して柵内に侵入することが可能）が設置されていた古い沼池（監視員なし）で、子供らが池の柵の横棒をくぐり抜けて入り、氷の上で遊んでいるうちに中央部の氷の薄い部分が割れて水中に落ち溺死した。	昭和44年（ネ）303423巻4号525K頁	昭和45年12月21日	損害賠償請求事件	東京高裁	利用者	市	国家賠償責任・営造物責任ともになし
15	郵政省職員の厚生施設として国が設置管理していたプールで、利用していた子供が大人用プールで遊泳中に溺死した。本件プールは子供用プールと大人用プールとにわかれており、両者の間にはベンチを兼ねたコンクリート製の高さ〇・三メートル幅〇・六四メートル長さ二五メートルの仕切壁以外には往来を阻害する設備はなされていなかった。	昭和44（ワ）6990昭和44年（ネ）303418巻12号	昭和47年11月15日	損害賠償請求事件	大阪地裁東京高裁	利用者	国	営造物責任あり
16	賃貸マンションの専用部分内の浴室において当専有部分居住者（13歳）が入浴中、都市ガスの不完全燃焼による一酸化炭素中毒により死亡した。	昭和45年（ワ）9863793号74頁	昭和50年4月30日	損害賠償請求事件	東京地裁	賃借人（入居者））	建物所有者	工作物責任あり
18	デパート屋上に備え付けてあった顧客サービス用のアルミパイプ製デッキチェアーに腰を掛けようとした者が、左手で本件デッキチェアーの脚のせ部分のパイプをつかみ、体を支えるようにして後向きに腰をおろしたところ、その左手第四指がパイプの部分とデッキチェアーの角度調節部分パイプとの間にはさまり、その先端部約一センチメートルが切断され、左手第四指第一指関節切断の傷害を受けた。	昭和46年ワ4147298号390頁704号70頁	昭和47年12月11日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者（デパート経営者）	工作物責任・不法行為責任ともになし
19	7歳1ヶ月の子供が大人用プールに入り溺死した事故。大人用プールと子供用プールの間には往来防止柵が設置されていなかった。	昭和46ワ661302号230頁	昭和47年12月28日	損害賠償請求事件	福岡地裁小倉支部	利用客	工作物所有者・占有者（プール経営者）	工作物責任なし過失責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
20	ホテルの室内で宿泊客の子供（2歳）が、遊んでいるうちに誤って窓から約三・五メートル下の一階渡り廊下の屋根の上に転落し、このため左頭頂部陥凹骨折の傷害を負った。 事故があった部屋は、窓は一か所にのみ存したこと、窓がまちの巾は三八センチメートルあって、その内側から一七センチメートルのところに八センチメートル巾でアルミサッシの戸が取り付けられていたこと、窓の外側には木製の網戸がはめこまれていたが、この網戸は虫よけのための設備であって容易に取りはずしができ、人の転落を防止する機能を有するものではなかった	昭和46年（ワ）1258704号70頁	昭和47年7月28日	損害賠償請求事件	札幌地裁	利用客	建物所有者・占有者（ホテル経営者）	工作物責任あり
21	河川に設置されていた水門設備上で昆虫採集をしていた者（小学4年生）が、足場が悪いため、何らかのはず勾で転落して「からみ」をこえてその下流の深入に移動したか、あるいは川の浅瀬に立入っているうちに深みにはまり、脱出不能となって溺死した。	昭和47ネ97 第26巻5号494K頁	昭和48年12月21日	損害賠償請求事件	高松高裁	小学生	国	営造物責任あり
22	道路上を歩行中の通行人が、折から通りかかった自動車をさけるため道路脇の積雪の上に登った際、建物屋根上から長さ約九メートル、幅約七〇センチメートル、厚さ約一五センチメートルの氷盤が同人の頭上に落下したことによって死亡した。	昭和48年（ワ）3736号88頁	昭和48年11月15日	損害賠償請求事件	旭川地裁稚内支部	通行人	建物所有者	工作物責任あり
23	子供2人（当時七才と三才）が母親とともに百貨店の三階から四階に至るエスカレーターからおりたときに、三歳の子供が履いていたゴム長靴がエスカレーターにはさまれて脱げたことから、7歳の子供がエスカレーターにはさまれたゴム長靴を取り出そうとして長靴に左手をかけていたところ、左手がゴム長靴とともにエスカレーターのステップとコームの間にはさみ込まれ、負傷した。	昭和48年ワ3222815号70頁	昭和50年9月30日	損害賠償請求事件	大阪地裁	利用客	建物所有者・占有者（デパート経営者）	工作物責任あり
24	母親と子供2名（当時1歳11月、当時3月）が感冒の診察を受けさせるため病院へ来院していたところ、下の子にミルクを飲ませている隙に、上の子供が廊下へ出て階段で遊んでいるうち、右階段の上から二、三段目付近隙間から身を乗り出して下をのぞくなどしたところ、重心を失い、その直下約三・四メートルの一階床面に墜落し死亡した。 階段手摺りには縦が最大四五センチメートル、最小二一センチメートル、横が八四センチメートルのカギ型の直線によって囲まれた不整型の空間があり、各階とも吹き抜けの構造で防護網等は設置されてなく、床面は	昭和49（ワ）24329号180頁	昭和50年6月25日	損害賠償請求事件	長野地裁諏訪支部	患者	市（病院設置者）	工作物責任あり
25	訪問先のアパートの二階便所の非常口から外部に転落し負傷した。 本件アパートは、もともと本造平家建建物であったものを二階を増築してアパートに改築したのであるが、その際、大工の助言によって二階便所の奥にそこから非常事態発生の際には外部に脱出できる非常口を設けた。非常口の戸には普段差し込みの錠が付けられているが、その錠は留め金式であるため手で操作しないかぎり容易にはずれるようなことはなく、また、便所には夜間でも使用しやすいように六〇ワツトの電球が一個付けられていた。	昭和49年（ワ）5497334号264頁	昭和50年11月25日	損害賠償請求事件	東京地裁	訪問者	建物所有者	工作物責任・不法行為責任ともになし
26	旅館の宿泊者が、窓の他には換気設備のない四畳半一間の本件客室において、煙突の付いていないガストーブを点火したまま就寝し、翌朝一酸化炭素中毒に罹患した状態で発見され、その後死亡した。	昭和49年（ワ）487845号94頁	昭和51年8月30日	損害賠償請求事件	札幌地裁	利用客	建物所有者・占有者（旅館主）	工作物責任あり
27	子供（当時3歳11ヶ月）が、午後二時二〇分ころ、分譲地内に設置された住居近くの汚水処理場の施設正門の通用扉を押し開けて施設内に立ち入って、遊んでいるうち、曝気槽に誤って転落し、溺死した。	昭和49年（ワ）783352号263頁	昭和51年9月9日	損害賠償請求事件	横浜地裁	幼児	工作物占有者	工作物責任あり
28	子供（4歳）が母親とともに午前八時五分頃、国道の歩道上を歩行していたところ、本件国道に接して、これに棟が平行して建てられた建物の屋根から、積雪が2人の頭上に落下し、子供が死亡した。また、当時本件建物前歩道上には大きな雪堤が存在していた。	昭和50年（ネ）125号141号850号43頁	昭和51年8月23日	損害賠償請求控訴事件	札幌高裁	歩行者	建物占有者・国	建物占有者に工作物責任あり 国に営造物責任あり
29	大人から幼児までを入場の対象とするプールで、子供（5歳）が、プール内から一旦出て、西側のプールサイドを通り、ロープを潜り抜けて危険区域とされていたところに入り、大人用プール内に自ら入るかあるいは誤って落ち込むかして溺死した。	昭和50年（ネ）314号	昭和50年12月25日	損害賠償請求事件	福岡高裁	利用者（幼児）	工作物所有者・占有者（プール経営者）	工作物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
30	レストラン従業員が、飲酒後、レストラン所有の建物一階の浴室（約一六・二八平方メートル、一〇畳位）に設置されたプロパンガス風呂に入浴中、一酸化炭素中毒により死亡した。	昭和51年（ネ）1510897号72頁	昭和53年2月28日	損害賠償請求事件	大阪高裁	従業員	建物所有者・占有者（レストラン経営者）	工作物責任あり
31	8月1日午後5時頃、大阪市有のプールに遊泳に来ていた者（14歳）が、五〇メートルプールにプールサイドから飛込んだところ、プール底部に頭を打ちつけて負傷した。	昭和52（ワ）976384号147頁	昭和54年1月26日	損害賠償請求事件	大阪地裁	利用客	市（プール設置者）	営造物責任なし
32	子供（10歳）が、友人とともに、デパートに設置された四階から五階へ通じる上りのエスカレーターに乗り、エスカレーターの進行方向に向って右側手すりのベルトから外側へ身体を乗り出したため、同ベルトと四階天井にはさまれ死亡した。	昭和52年（ワ）67470号141頁	昭和57年1月14日	損害賠償請求事件	山形地裁酒田支部	利用客	建物所有者・占有者（デパート経営者）	工作物責任あり
33	観光ホテルの入浴客が8階大浴場の窓からベランダに出たところ、ベランダから転落して死亡した。	昭和52ワ17号934号99頁	昭和54年3月14日	損害賠償請求事件	福岡地裁八女支部	利用客	建物所有者・占有者（ホテル経営者）	工作物責任あり
34	子供（5歳）が、友達らと、他人所有のマンションの門扉を押したり引いたりして、門扉をレールの上で動かしながら遊んでいたところ、門扉の戸車がレールから外れてしまい、そのため門扉は、子供の重みで傾きながら動き出し、門扉の上枠が中間支柱のガイドローラーから外れて倒れ、子供が下敷きになり圧死した。 門扉は、事故発生の前までは、レールから外れて倒れるようなことが起こらなかったが、近所の子供たちがしばしばマンションの敷地に入り込んだり、出入口付近の傾斜部分にたむろしたりして遊んでいた。	昭和53年（ワ）4231035号110頁	昭和56年9月28日	損害賠償請求事件	浦和地裁	幼児	建物所有者	工作物責任あり
35	ビル内に入店している飲食店の従業員が、深夜、ビルのシャッターを開けようとしてその外側から腕を差し入れてシャッターボタンを押したところ、シャッターの鉄格子の間隔が狭いこととシャッターが上昇し始めたため、腕が抜けなくなり、そのまま身体全体を吊り上げられ、シャッターと戸袋に挟まれて負傷した。	昭和53（ワ）4861068号90頁	昭和57年9月29日	損害賠償請求事件	浦和地裁	従業員	建物所有者・占有者（飲食店経営者）	工作物責任・債務不履行責任ともになし
36	子供（2歳8月）が、居住する市営住宅の敷地内の防火用水槽に転落して死亡した。 事故当時、右水槽には蓋がなく側壁の高さが30糎で金網が破れたままになっていた。	昭和53（ワ）18989号74頁	昭和55年4月30日	損害賠償請求事件	福岡地裁八女支部		市	営造物責任あり
38	ホテル内でのプロパンガス爆発に伴う死傷事故が発生した。ガス配管の分岐工事に携わっていた配管工が、工事箇所からのガスの漏出を発見しながら、ガスの元栓を閉じただけで、ホテル内で火器類を使用していた作業員らにその事実を通報しなかつた事実が認められる。	昭和54年（わ）9713巻3号271頁	昭和56年3月27日	業務上過失致死傷被告事件	釧路地裁網走支部		ガス配管工	業務上過失致死傷罪成立
39	子供（当時5歳）が、買物のために両親とスーパーマーケットを訪れ、三階から二階に降りるエスカレーターに乗っていたところ、サンダルのボタンをとめようとして、前かがみになったところ、前に倒れ、左手を本件エスカレーターの左側の側板と踏段との間にはさみ込んだ結果、左手を負傷した。	昭和54（ワ）51441026号105頁	昭和56年8月7日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者（スーパー経営者）	工作物責任なし
40	子供（当時三歳）が母親・祖母とともにデパートを訪れ、二階から一階へ降りる本件エスカレーターに乗つたとき、その左足が、エスカレーターの進行方向に向かい右側のスカートガードとステップのライザー部分のすき間に巻き込まれ負傷した。	昭和55（ワ）12409 1096号120頁	昭和57年12月24日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客（幼児）	建物所有者・占有者（デパート経営者）	工作物責任・不法行為責任ともになし
41	子供（当時11才）が、被告会社の工場建物の屋根のスレート板から転落して死亡した。	昭和55年（ワ）60号1061号81頁	昭和57年5月17日	損害賠償請求事件	浦和地裁	子ども	建物占有者（工場経営者）	工作物責任あり
42	子供（当時五才）が母とともに訪れた建物の一階から地下一階へ通じる下降専用エスカレーターに乗っていたところ、履いていたゴム長靴の右足先端がステップの間に巻き込まれ、負傷した。	昭和55年ワ1048 1042号115頁	昭和56年10月28日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客（5歳）	建物占有者	工作物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
43	賃借人の同居人が、居室で起床し、雨戸を開けるべく一枚目の雨戸を左側の戸袋に納め、二枚目の雨戸を開けようとした際、重心を失なつてよろけ、本件居室の窓の外側に設置されていた目隠し用の手すりに触れたところ、築後二〇年余を経て老朽化していたことから右手すりが基部（取付部分）から外れ、そのはずみで約三・七メートル程下の地上に転落し負傷した。	昭和56年（ワ）590466号144頁	昭和56年10月8日	損害賠償請求事件	東京地裁	賃借人同居人	建物所有者	工作物責任なし
44	保養所の一階にある食堂（以下「本件食堂」という。）内にいた子供が、食堂のガラス戸を通して庭に父親が立っているのを認め、ガラス戸が開放されているものと信じてガラス戸に向かって走りより、そのまま激突して死亡した。	昭和57年（ワ）922496号92頁1096号95頁	昭和57年12月27日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者	工作物責任なし
46	デパートの歩行客専用のエスカレーターで商品を運搬中の納入業者が、二階床に至る直前で、エスカレーターの左側ベルトが下に巻き込んでいく部分に、手押車に乗せたダンボール箱をつかえさせ、エスカレーターの進行にもかかわらず前進することができない状態になり、足踏みを何回か繰り返して停止した。そこに同じエスカレーターに乗って2階に昇行中の客が接触し、転落の危険を感じるなどのショックを受け、高血圧性脳症といわれる病症を呈した。	昭和58年（ワ）2921 1179号96頁	昭和60年7月19日	損害賠償請求事件	名古屋地裁	利用客	建物所有者 納入業者	建物所有者には不法行為責任なし 納入業者には不法行為責任あり
47	マンションの住人の一人である当時15歳の女性が、深夜、友人二名とマンションの屋上に上り、下の階へ降りようとしていたとき、最上階にいたほかの住人の一人が、突然大きな声で「そこにいるのは誰だ」と怒鳴ったことから、その声に驚いて体のバランスを失った屋上から転落し死亡した。	昭和58年（ワ）55540号215頁	昭和59年9月5日	損害賠償請求事件	浦和地裁	住人	建物所有者 住人	建物所有者の工作物責任なし 住人の不法行為責任なし
48	デパートが出火原因不明の火災により、多数の死傷者が出た事故が発生した。	昭和58年（う）333 1309－14	昭和63年6月28日	業務上過失致死、傷害被告事件	福岡高裁	利用客	デパート経営者（代表取締役）	業務上過失致死傷罪成立
49	生後二年余の幼児が、サンダル履きで三輪車に乗り、近所のアパート山中荘の敷地内に入り込み、同敷地内（空地部分）に掘られていたごみ焼却用の穴（本件焼却穴）に転落し、両手足に火傷を負った。	昭和59年（ネ）35 昭和59年（ネ）96544号136頁	昭和59年9月13日	損害賠償請求事件	東京高裁	幼児	建物所有者 直前にゴミを焼却した者	建物所有者の工作物責任なし 直前にゴミを焼却した者の不法行為責任あり
50	まだら痴呆状態の患者が　病室の東側アルミサッシ窓のクレセント錠を外して一五センチの間隔に開けたか、或いは、既に右間隔開けられていたか何れかの状態にあった本病室の東側アルミサッシガラス窓に体当りをするなど異常な力を加えてこれをこじあけ下部レールより突き出し、更に、同様方法で網戸も下部レールより外し窓の外に自ら飛び出し死亡した。	昭和59年（ワ）3931 660号180頁	昭和62年6月24日	慰謝料請求事件	名古屋地裁	患者	建物所有者 病院	建物所有者の工作物責任なし 病院の債務不履行責任なし
51	自宅の二階の窓の手すりで、居住者の子供（5歳）が、窓近くにあった家庭への引込電線に触れ、感電死した。 事故当時、引込み線の黒コードには亀裂が生じていた。	昭和60年（ワ）1427 780号208頁	平成3年9月20日	損害賠償請求事件	浦和地方裁判所	幼児	電気事業者	工作物責任・債務不履行責任ともにあり
52	居酒屋で仲間と飲食をしていた大学生（当時3年生）が、仲間と写真撮影の後、テーブルの方に向き直らずに後ろ向きのまま左足でテーブルを跨いで自分の席に帰ろうとしたが、跨いだ瞬間体のバランスを失ってよろめき、約四〇センチメートルの広さに開いていた本件窓から道路に転落し死亡した。 本件店舗はビルの三階にあり、太郎が転落した窓（以下本件窓という。）は、道路に面していて、床から約四〇センチメートルしかない腰壁に設置され、手すり等の防護設備は何らなされていなかつたこと、本件窓は自由に開閉できる状態にあり、常にカーテンが	昭和60年（ワ）3396 1256－51 652－182	昭和62年1月16日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物占有者（居酒屋経営者）	工作物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
53	観光ホテルの六階の一室において、新婚旅行のため投宿中の妻が客室の窓（手すり無し）から約一八メートル下のコンクリート敷路面に転落して死亡した。	昭和61年（ワ）12004 1288号108頁 680号195頁	昭和63年2月26日	損害賠償請求事件	大阪地裁	利用客	建物所有者・占有者（ホテル経営者）	工作物責任なし
54	閉店後工事が行われていたデパートビルの3階から火災が発生し、多量の煙が七階で営業中のキャバレーの店内に流入しため、多数の死傷者が生じた火災事故が発生した。	昭和62年（あ）148044巻8号871頁	平成2年11月29日	業務上過失致死傷被告事件	最高裁	利用客	デパート営業課長 キャバレー支配人 キャバレー経営者代表取締役	いずれも業務上過失致死傷罪成立
55	大規模ホテルでの火災。 本件ホテルでは、防火管理者等は選任されていたが、その経営形態や意思決定等は社長のワンマンの様相を呈しているなどの特異な事情があった。	昭和62年（う）1154 13090ー136	平成2年8月15日	業務上過失致死傷被告事件	東京高裁	宿泊客	ホテル経営者代表取締役	業務上過失致死傷罪成立
56	業務中のデパート内の2階から3階への階段の上がり口付近で火災が発生し、3階店内に延焼して各階に燃え広がり防火管理体制が不備であったため、店内の多数の者が死傷した火災事故が発生した。	昭和63（あ）1064 最高裁HP	平成3年11月14日	業務上過失致死傷被告事件	最高裁	利用客	デパート取締役人事部長 3階売り場課長	ともに業務上過失致死傷罪不成立
57	子供から大人までを対象として、市民の水泳スポーツの振興のために建設された市営の屋内の温水プールにおいて、高校水泳部のクラブ活動としてスタートダッシュの練習をしていた生徒が、飛び込みをした際プールの底に頭部を打ちつけて負傷した事故が発生した。	平成1年（ワ）602 825号140頁	平成5年4月23日	損害賠償請求事件	浦和地裁	利用客	市（プール設置者）	工作物責任あり
58	マンションの一室のベランダに溜まって溢れた雨水が室内に浸水し、その 雨が同室真下に位置する別の住戸に浸水し、その住戸の居室、家財に被害が生じた。	平成1年（ワ）15430 平成2年（ワ）4549 1142号126頁 809号182頁	平成4年3月19日	損害賠償請求事件		階下住人	マンション所有者 マンション占有者（賃借人）	ともに工作物責任あり
59	住居専用のマンション1階玄関の出入口（オートロックシステムのドア）において、住人（75歳）が、来訪者を待っていたところ、突然ドアが閉まり始め、左手にぶつかり、転倒して負傷する事故。	平成2年（ワ）13077 868号217頁	平成6年3月29日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建築請負業者	不法行為責任・債務不履行責任ともになし
60	ディスコの照明装置の電動昇降装置に使用されていたローラーチェーンが疲労破断して照明装置が落下し、死者3名、負傷者13名を出した事件。	平成2年刑（わ）138 800号275頁	平成4年2月26日	業務上過失致死被告 事件	東京地裁	利用客	照明装置の設計・製作・設置業者	業務上過失致死傷罪成立
61	建物の三階にある美容室を訪れた客が、子供（2歳）を店内に設けられた育児室で遊ばせ、整髪終了後会計の際、店員と2～3分話をしている隙に、子供が、踊り場の手すりの隙間から落下転落して負傷した事故。 踊り場に設置されていた手すりは、道路に面する幅約二・四一メートルの部分に設置され、笠木（手すりの上の横棒）のおよそ真中に設置された手すり子（手すりの縦の棒）によって分けられた左右の部分にそれぞれ×字型の鉄製の格子が設けられており、このため、本件手すりの笠木の下には底辺約一一二センチメートルないし一一六センチメー	平成2（ワ）265 802号181頁	平成4年9月1日	損害賠償請求事件	福岡地裁小倉支部	利用者	建物所有者	工作物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
62	ホテルの客室から出火し、スプリンクラー設備やこれに代わる防火区画が設置されておらず、従業員らにおいても適切な初期消火活動や宿泊客らに対する通報、非難誘導等ができなかったため、多数の宿泊客らが死傷した火災事故が発生。	平成2年(わ)138	平成5年11月25日	業務上過失致死傷被告事件	最高裁	利用客	ホテル経営者代表取締役	業務上過失致死傷罪成立
63	入院中の患者(71歳)が、病室(六人部屋)の窓から地面に落下し、頭蓋骨骨折等により死亡した。 病室の窓は地面から一〇メートル余りの高さがあったが、被害者が寝ていたベッド(上半身部分を斜めに起き上がらせることができた)は窓枠の下に縦方向を壁に接着して配置されており、ベッドの窓側の手すりも取りはずしてあり、窓にも格子や手すりは取り付けられていなかった。	平成3年(ワ)67号 881号183頁	平成7年3月23日	損害賠償請求事件	東京地裁	入院患者	建物所有者(病院)	工作物責任あり
64	子供(小学校一年生)が、友人らと自宅近くにあるスナック等が多数人居する一〇階建のビルの一階から二階に上がるエスカレーターに乗って遊んでいたところ、建物の天井部分と本件エスカレーターとの間に左眼付近を挟まれ負傷した事故が発生した。 当時利用者に身体等が挟まれる等の事故防止の目的で建物上部から吊り下げ設置されているプラスチック製の三角部ガード板が脱落していた。	平成3年(ワ)782 平成4年ワ686 860号212頁	平成6年1月25日	損害賠償請求事件	岡山地裁	子ども	建物所有者 エスカレータ保守点検業者	建物所有者の工作物責任なし エスカレータ保守点検業者の不法行為責任なし
65	廃品回収業者が、取引先の工場内の作業用エレベーターに乗り込もうとして手動式外扉に手をかけて横に引いたところ容易に開いたため、そこにエレベーターのかごが来ているものと信じて足を踏み出したところ、かごが来ていなかったため、足を踏み外して3・8メートル下の昇降路底部コンクリート床面に落下し、約4ヶ月の傷害を負った事故。	平成4年(ワ)8614号 1508号138頁	平成5年10月25日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者(工場経営者)	工作物責任あり
67	アパートの外階段の崩落により居住者を訪問するため昇っていた者が負傷した事故	平成6年(ワ)8799 1623号103頁	平成9年2月10日	損害賠償請求事件	東京地裁	訪問者	アパート所有者の責任が認められ、管理人の責任が否定された	
68	高層賃貸マンションの消火器が何者かにイタズラで隣家(X所有建物)の屋根に投げ捨てられ、屋根が損傷した。	平成5年(ワ)12181 1525号95号 873号200頁	平成6年8月19日	損害賠償請求事件	大阪地裁	隣家所有者	建物所有者	工作物責任あり
69	建物の居室に居住していた者が、居室の和室東側窓の窓枠から手摺がはずれ、原告は地面に転落し負傷した。 本件窓は、床上約四〇センチメートルから開口し、開口部の幅が約一七〇センチメートル、高さが約一四〇センチメートルである。また、本件手摺の笠木と本件建 物外壁との距離は一三・五センチメートルである。	平成6年(ワ)2810号 1631号96頁	平成9年4月15日	損害賠償請求事件	東京地裁	居住者	工作物責任あり	
70	新聞配達員が、新聞を配達するため、市の設置・管理する施設の敷地構内に原動機付自転車で進入しようとしたところ、市の施設職員が同所に設置した鎖に引っ掛かって転倒し、死亡した。					来訪者	市	工作物責任・不法行為責任ともになし
71	スポーツクラブの正会員が、当該クラブのプールで行われた水中体操に参加後、水着のままロッカールームに通ずる廊下を歩行中転倒して負傷した。 本件事故当時、前記コンクリート壁の端付近の箇所は、何らかの原因のために、利用者の身体から落ちた水滴が集まって小さな水たまりができやすかったこと、この箇所に水がたまっていると、滑りやすかった。	平成7年(ワ)18345 1627号129頁 953号208頁	平成9年2月13日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用者	建物所有者(スポーツクラブ経営者)	工作物責任あり
73	台風による多量の降雨の結果、道路斜面に盛土された大量の土砂が崩壊し，斜面下方にあった居宅を倒壊させた。	平成8(ネ)294	平成13年12月25日	損害賠償請求事件	仙台高裁	住民	県	営造物責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
76	阪神淡路大震災により賃貸マンション1階部分が倒壊し、1階部分の賃借人が死亡した。	平成8年(ワ)1533 1716号105頁	平成11年9月20日	損害賠償請求事件	神戸地裁	居住者	建物所有者	工作物責任あり
78	スイミングスクールの受講生が同スクールに設置されているプールで逆飛び込みをし頭部をプールの底にぶつけて負傷した。	平成9年(ワ)152 1792号62頁	平成11年8月20日	損害賠償請求事件	奈良地裁葛城支部	受講生	工作物所有者・占有者(プール経営者)	工作物責任あり
80	Xは、Yの経営するレストランの自動ドアを通過しようとした際、本件ドアが閉まり始め、右上半身及び右腕部がドアに当たり、店舗外側に転倒し、左大腿骨頸部を骨折する障害を負った。	平成9年(ワ)21352	平成13年12月27日	損害賠償請求事件	東京地裁民事49部	利用客	建物占有者(レストラン経営者)	工作物責任あり
82	公営住宅に居住していた者(当時1歳)が、居室内のベッドから窓の外に出て、自宅6階バルコニー(避難路としての使用を想定)の柵のすき間から落下して死亡した。 バルコニーに出る窓には、窓の腰壁が床面から約七三・五センチメートルあり、その上に約一六・六センチメートルの間隔で、約三・四センチメートルのパイプが二本渡してあって、上端の高さで床面より一一四センチメートルの横さん型式の手すりが設置されている。	平成9年(ワ)1169 1696号131頁	平成11年8月27日	損害賠償請求事件	熊本地裁	入居者	市 建物設計・監理者	市の営造物責任、建物設計・管理者の不法行為責任ともになし
86	入院患者が、病院内で廊下を歩行中、子供が同病院廊下の壁に沿って設置されていた防火扉の取っ手に触れたことから、同扉が閉じ始め、接触し転倒して負傷した。	最高裁HP 平成10 (ワ)135	平成12年8月31日	請負代金請求事件	福島地裁会津若松支部	入院患者	建物所有者・占有者(病院経営者)	工作物責任あり
87	アパートの賃借人が一酸化中毒で死亡した。 本件湯沸器のコントロールボックスの制御基盤のはんだ付け部分にはんだ割れが生じたことにより通電しなくなり，そのため，本件湯沸器に内蔵されている強制排気ファンが，その回転を停止した状態になっていたこと、さらに本件湯沸器については，何者かによってコントロールボックスの端子台に追加配線を取り付ける改造が施されておりはんだ割れによる不通電にもかかわらず，点火燃焼が可能な状況になっていたこと、その結果，本件湯沸器は，強制排気ファンが停止したにもかかわらず，不完全燃焼を続けた。	平成10年(ネ)319 最高裁HP	平成14年2月7日	損害賠償請求控訴事件	札幌高裁	住民	ガスの販売業者 賃貸人	ガス機器販売業者の不法行為責任あり 賃貸人の債務不履行責任なし
92	北海道に所在する大規模小売店の店外階段が、雪で凍っており、その階段を利用した顧客が転倒し負傷した。	平成11年(ワ)591 1707号150頁 1063号174頁	平成11年11月17日	損害賠償請求事件	札幌地裁	利用客	建物所有者 管理会社	ともに不法行為責任あり
93	玩具等を展示する資料館を経営していた者が，資料館に隣接して設置されていた自動販売機から出火した火災により，資料館の展示物等が焼失した。	平成10年(ワ)2010 最高裁HP 平成11(ワ)2010	平成14年5月29日	損害賠償請求事件	広島地裁	設置者	自動販売機の所有者・占有者	工作物責任なし。
99	会社の従業員であった原告が，会社の営業所の2階に開口していた穴(2階は倉庫であり，商品等を鉄製の荷物乗せ台に乗せて1階から2階へ搬入するために縦幅88．5センチメートル，横幅1メートル28センチメートルの開口部が設けられている)ら1階に転落して負傷した事故。	平成12年(ワ)183 最高裁HP	平成13年12月3日	損害賠償請求事件	福岡地裁	従業員	会社(使用者)	債務不履行責任あり
103	店舗来客者が、店舗敷地内の通路部分に設置された車両進入防止用の鉄パイプに足を取られて転倒するという事故により負傷した。	平成13年(ネ)940 最高裁HP	平成14年8月22日	損害賠償請求控訴	名古屋高裁	利用客	建物占有者(店舗経営者)	
104	ホテルに宿泊した客の一人(幼児　当時　歳)が、ホテル内の流水プールで遊んでいたところ溺死した。	平成13年(ワ)73 最高裁	平成14年10月18日	損害賠償請求	長崎地裁	利用客(幼児)	建物所有者・占有者(ホテル経営者)	不法行為責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
105	遊技場の開店時、七，八十人の客が順番待ちで押し合うような状況になっていたところ、出入口ドアが開放されたので，大勢の客とともに店内に入ろうとした客の一人が他の客に押し倒されて転倒し，負傷した事故。 本件遊技場では，これまでにも開店前に入場客が密集状態となって待機し，開店時に入場客が転倒して負傷したことが数回あったこと、本件事故の直前にも，被害者の知人らは，遊技場の従業員に対し，数度，入場客の整理誘導等をするよう申し入れていたが，聞き入れられなかった。	平成１３年（ワ）１１６ 最高裁HP	平成14年9月5日	損害賠償請求	岡山地裁倉敷支部	利用客	建物所有者・占有者（遊技場経営者）	不法行為責任あり
106	男子中学生（当時１２歳）が，木工所工場内に設置されたエレベーターに乗って昇降スイッチを操作して搬器を上昇させ，２階で停止させ、その数秒後，再び昇降スイッチを操作して搬器を1階に降下させようとした際，昇降路2階の出入口の床面と搬器の出入口の上部枠との間に胸部を挟まれ意識不明の状態となった。 なお、本件エレベータは、クレーン等安全規則・エレベーター構造規格の基準を満たしていなかった。	平成１３年（ワ）４３０ 最高裁HP	平成15年3月14日	損害賠償請求事件	徳島地裁	中学生	建物所有者・占有者（工場経営者）	工作物責任あり
107	統合失調症で入院中の患者が、病院5階にある病室内の窓ガラスを自ら割って飛び降り死亡した。	平成１３年（ワ）１４４９ 最高裁HP	2004/03/31 2003/03/14	損害賠償請求	広島地裁	入院患者	建物所有者 病院	建物所有者の工作物責任なし 病院の債務不履行責任・不法行為責任ともになし
108	民宿旅館の浴室において，客が、木製の洗い場の床に生えていた苔ないし苔状のもので足が滑って転倒して負傷した。	平成１３年（ワ）３２２７ 最高裁HP	平成14年10月30日	損害賠償請求	名古屋地裁	利用客	建物所有者・占有者（旅館経営者）	債務不履行責任・不法行為責任ともになし
109	検査入院していた患者が，不眠のためハルシオンを服用後、右手に点滴用スタンドを持った状態で転倒し負傷した。 事故当時、トイレの出入口スロープ部分が水に濡れていた事実が認められている。	平成13(ワ)13363 平成13年（ワ）１３３６３ L最高裁HP	平成14年5月17日	損害賠償請求	東京地裁	入院患者	建物所有者・占有者（病院）	工作物責任なし
111	豪雨の際，国道の側溝に設置された集水ますのグレーチング蓋が浮き上がり，歩道からそこに立ち入り，浮いている本件グレーチング蓋を足で押したり，開口部から溢れ出る水を蹴ったりしていた中学生のひとりが、突然，本件集水ますの開口部に足のほうから吸い込まれ，他の少年らが救助しようとしたが奏功せず，死亡した。 本件集水ますの開口部は，容易に人がはまり込む大きさで，底部は深く，下流暗渠の径は人を呑み込むに充分な大きさであり，本件グレーチング蓋が外れれば，人が転落し，流れがあれば暗渠に吸い込まれることが容易に予測できた	平成１４年（ネ）４７４ 最高裁HP	平成15年7月15日	損害賠償請求控訴事件	福岡高裁長崎支部	小学生	国	営造物責任あり
112	介護老人保健施設に入所していた当時９５歳の老人女性が，自室のポータブルトイレ中の排泄物を捨てに行こうとして自ら汚物処理場に赴いた際に，仕切りに足を 引っかけて転倒し，負傷した。 本件トイレ内に本件処理場が併設されているところ，そこでは排泄物を流すだけでなく，その容器を洗うこともできたこと、本件仕切りは，本件処理場内の汚水等が処理場外に流出しないための仕切りであり，本件処理場に出入りするためには，これを跨がなくてはならない構造になっていた。	最高裁HP 平成14(ワ)1158	平成15年6月3日	損害賠償請求事件	福島地裁白河支部	入所者	建物所有者・占有者（施設経営者）	工作物責任あり
115	大学の学生（3年生。当時２０歳）が、校舎3階において清掃活動を行っていた際，窓ガラスの外側を拭くため，靴を脱ぎ靴下を履いた状態で窓のサッシに上り，両足を窓のサッシ部分に置いて，右手にゴム手袋をした状態で，タオル及び窓拭きスプレーを 持って窓ガラスを拭く作業をしていたところ，足を滑らせて落下し，庇の立上り部分を乗り越えて，転落し，頭部を強打して死亡した。	平成１４年（ワ）１８７５ 最高裁HP	平成15年9月25日	損害賠償請求事件（国家賠償）	名古屋地裁	生徒	国(「大学設置者）	債務不履行責任あり

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
116	脳梗塞の治療及びリハビリテーションのため入院中の患者が、病院内階段の2階と3階の間の踊り場に設置されていた窓から転落し，頭蓋骨骨折，脳内出血及び慢性硬膜下血腫の傷害を負った。 転落した窓は，上下2枚，左右2枚の合わせて4枚のガラスからなる窓であって，本件事故当時，閉められてクレセント錠で施錠されていたこと、窓枠下枠は，通常のものよりも低い位置にあったが，落下防止のバーが設置されており，下の2枚の窓ガラスには，「危険ですからあけないで下さい」との貼り紙がされていた。	平成14（ワ）22018 最高裁HP	平成15年11月19日	損害賠償請求	東京地裁	患者	建物所有者・占有者 病院	工作物責任・債務不履行責任ともになし
118	保育園の屋上に設置された駐車場から乗用車が転落し、園庭にいた園児に直撃し死亡した。 本件駐車場は，本件保育園の職員や保護者の運転する自動車の駐車や方向転換の目的で設置されたものであるところ，本件駐車場柵の南側は，約95センチメートル突き出た本件南側園舎の庇があるのみで，庇の上端から垂直に2．95メートル（本件駐車場柵の基礎上端からは約3．6メートル）本件園庭に落ち込んでいる。また、過去にも同様の落下事故が生じていた（負傷者なし）が、その後特段の措置は講じられていなかった。	平成15年（ワ）611 1898号87頁	平成17年3月29日	損害賠償請求事件	名古屋地裁	園児	建物所有者・占有者（保育園経営者）	工作物責任あり
119	賃貸マンションの一室において、居住者が室内湯沸し器を使用していたところ、不完全燃焼による一酸化炭素中毒により死亡した。 賃貸マンションは老朽化し，各戸の設備・備品として，各居室内に設置されていたガス瞬間湯沸器及び各居室の天井裏を経て戸外へ通じる燃焼ガスを排出するための金属製排気筒の多数について，同排気筒が腐食して穴が開くなどしていて十分に排気することができないなどの状況であったこと、自主点検により、事故が発生する危険性と、事故を防止するため全排気筒を交換することが必要であるとの指摘を受けていた。	平成15（わ）1185 1198－296	平成16年9月27日	業務上過失致死被告事件	札幌地裁	入居者（賃借人）	建物所有者（代表取締役）	業務上過失致死傷罪成立
120	建物の解体工事に伴いガス本管から建物内につながるガス引込管に残留するガスを吸引して排出するなどの工事に際し，同工事を請け負った会社からの要請によりこれに立ち会っていたガス設備工事会社の従業員が，ガス臭等から機械室内に相当量のガスが滞留していると認識していたのに，開栓したガス管末の閉栓作業中にライターを点火したため，滞留していたガスに引火して，爆発させ建物を全焼させるとともに近隣の店舗等を延焼させ作業員に傷害を負わせた。	平成15年（わ）8139 1191－342	平成17年3月17日	業務上失火，業務上過失傷害被告事件	大阪地裁	作業員	ガス設備工事会社従業員	業務上過失致死傷罪・業務上失火罪成立
121	店の食事室付近の従業員専用の通用口にある鉄製の防火用ドア付近を，本件ドアを閉めて清掃していた従業員の一人（足が少し不自由）が，他の従業員が食事室側から無理やりドアを押し開けて出たため，転倒し負傷した事故。 事件の現場となった更衣室に入るための本件ドアのある場所（踊り場）は，大変狭く，鉄製ドアを開け閉めするための最低限のスペースしかなく，開けた時は人1人 が立つことができないくらいの広さ（約1平方メートル）しかなかった。	平成16年（ハ）9528 最高裁HP	平成16年12月3日	損害賠償請求事件	東京簡易裁	従業員	従業員	不法行為責任あり
124	子供（当時7歳）が団地内の公園に設置された箱形ブランコで遊戯中に受傷して死亡した。 ブランコは、地中のコンクリートによって基礎の固定された4本の鉄パイプ支柱（地上高1800ミリメートル）があり，その最上部に鉄パイプの水平棒が四角に組まれ，これに揺動する箱形のブランコが取り付けられている。また、本件ブランコは，座席に座り，若しくは座席や足置板に立ったままで揺らすことができるが，一方の，若しくは両方の座席の後ろの背もたれをつかまえて揺らすこともできる構造になっている。	平成16年（ワ）412 最高裁HP	平成17年11月16日	損害賠償請求事件	那覇地裁（棄却）	利用者	工作物設置管理者	工作物責任なし
129	ビルに設置された大型自動回転ドアに児童が挟まれて死亡した。	平成17年（わ）1121	平成17年9月30日	業務上過失致死被告事件	東京地裁刑事13部	利用客	メーカー製造設置責任者 管理会社責任者	いずれも業務上過失致死傷罪成立

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
130	保育園の屋上に設置された駐車場から乗用車が転落し、園庭にいた園児に直撃し死亡した事故。 事故がおきた年の2月にも、同様の落下事故が生じていた（負傷者なし。以下「本件2月事故」という。）が、その後特段の措置は講じられていなかった。	平成17年（ネ）391 最高裁HP	平成18年2月15日	業務上過失致死被告事件	名古屋高裁	園児	保育園代表理事 保育園園長	いずれも不法行為責任あり
131	Aがサウナ風呂に入浴中、火災が発生、Aは逃げ遅れて一酸化炭素中毒により死亡した。	昭和46年（ワ）第1969号 判時975号52頁	昭和55年4月25日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物占有者（サウナ風呂経営者） 販売会社	建物占有者に工作物責任あり 販売会社に不法行為責任あり
132	昭和53年に発生した宮城県沖地震によりブロック塀が倒壊し、通行人が下敷きになって死亡した。	昭和53年（ワ）1076 1020号1 95頁	昭和56年5月8日	損害賠償請求事件	仙台地裁	通行人	ブロック塀所有者・占有者	工作物責任なし
133	台風のため屋根瓦が飛散し、隣家の敷地内に落下し、隣家の建物や車庫の外壁に当たって損傷。	昭和55年（ネ）155	昭和55年7月31日	損害賠償請求事件	福岡高裁	隣家所有者	建物所有者・占有者	工作物責任あり
134	老朽化した建物の屋根が台風により破壊され、その破片の一部が近くに駐車中の自動車に当たって自動車が破損した。	昭和61年（ワ）181	平成元年6月29日	損害賠償請求事件	福岡地裁久留米支部	自動車所有者	自動車所有者	工作物責任あり
136	エレベーターのワイヤロープが切断したことにより傷害事故が発生した。	平成3（ネ）158	平成5年4月14日	損害賠償請求事件	大阪高裁	従業員	エレベーター製造設置業者	所有者に対し求償責任あり
137	宿泊客が豪雨による浸水後、泥水に足をとられて旅館内の便所で転倒して負傷した。	平成6（ワ）16962	平成8年9月27日	損害賠償請求事件	東京地裁	宿泊客	建物所有者・占有者（旅館経営者）	債務不履行責任あり
138	阪神淡路大震災により、ホテルが倒壊し、宿泊客が倒壊した建物の下敷きになって死亡した。 本件建物は、増築が重ねられ、東棟、南棟及び西棟の三つの棟から構成されていたが、基礎や地下部分の構造・建築時期を異にし、地上部分を支持する柱・梁といった基礎的構造体も別々に有するものとなっていた。	平成8年（ワ）884 1009号2 07頁	平成10年6月16日判決	損害賠償請求事件	神戸地裁	宿泊客	建物所有者・占有者（ホテル経営者）	工作物責任あり
140	店舗内で火災が発生した。出火場所は、焼肉店に設置されたダクト式無煙ロースターであった。 本件事故発生前に製造業者は本件ロースターのメンテナンスを行い、その際に、全ての排気ファンが油でかなり汚れており、分解洗浄を要する状態であるなど、ロースター内の清掃ができていない状況が確認できたため、火災の原因にもなるから、こまめに清掃をするようにと店舗側に伝えていた。	平成16年（ワ）第13 827号 1982号1 25頁	平成18年10月20日	損害賠償請求事件	大阪地裁	店舗経営者	製造業者	製造物責任・債務不履行責任・不法行為責任のいずれもなし

判例整理番号	事故概要	事件番号・判例時報	裁判年月日	事件名	裁判所名・部	被害者	責任の所在	判示要旨
141	４人がエレベーターから降りた際、最後に降りようとした被害者がエレベーターの扉にはさまれて負傷した事故。	平成17年（ワ）1300８号 1971号133頁	平成18年9月26日	損害賠償請求事件	東京地裁	利用客	建物所有者・占有者（温泉施設経営者）	工作物責任あり
142	９階建ての共同住宅。店舗として建築された建物をその建築主から購入した上告人らが、当該建物にはひび割れや鉄筋の耐力低下等の瑕疵がある。	平成17年（受）第702号 1252号120頁	平成19年7月6日	損害賠償請求事件	最高裁判所第2小法廷判決	購入者	設計・管理会社 施工会社	いずれも不法行為責任あり
143	7歳の女児が、自転車を運転して，歩道を走行していたところ，車道上に転倒し，進行していた自動車の左後輪に轢過され、死亡した。 被害者が転倒したのは、歩道部分に沿って栽植された生垣の枝が張り出していたため、それを回避しようとしたことに起因する。	平成17年（ワ）第2477号 1251号283頁	平成19年5月9日		大阪地裁	子供	生垣所有者	工作物責任あり
144	洗濯物を干すときには，2階の窓（窓までの腰高は約73センチメートルで，手すりはない。）の外に取り付けてあった竿受け金具に物干し竿を渡し，その竿に干していたところである。 被害者は、洗濯物を干している時に本件窓から転落し，死亡した。	平成18年（ネ）229号	平成19年3月20日	損害賠償請求控訴事件	福岡高裁	居住者	建物所有者	工作物責任あり
145	都市ガスを燃料とする風呂窯の設置された浴室において、アパートの居住者（賃貸人）がこの浴室内において、一酸化中毒炭素により死亡した。		昭和55年10月31日	損害賠償請求事件	東京地裁	居住者	賃貸人 建築業者 建物販売業者	賃貸人の債務不履行責任あり 建築業者・建物販売業者の不法行為責任あり
146	ビルの賃借人の一人が行っていた改装工事を請け負っていた工事関係者の一人の煙草の不始末が原因で火災が発生し、多数の犠牲者を出した事件。		昭和56年1月26日	損害賠償請求事件	大阪地裁	賃借人	建物所有者	債務不履行責任あり
147	Y1はY2所有の店舗を賃借し、そこでレストランを営んでいたが、Y3から業務用のオーブン付ガスレンジを購入し、Y3の従業員が店舗内のベニヤ板の壁に接して設置したところ、ガスレンジの熱がレンジ背面の鋼板、磁気タイルを通じベニヤ板の壁に伝わり、長期低音加熱により発火することになり、火災が発生。		昭和61年12月18日	損害賠償請求事件	東京地裁	近隣建物所有者	建物所有者・占有者 設備設置業者	建物所有者・占有者の工作物責任なし 設備設置者の不法行為責任あり
149	Yの所有するビル内の飲食店で食事をした後、同ビルの共用部分である通路を歩行中に足を滑らせ、通路上に転倒し左足を骨折するなどの傷害を負った。		平成13年11月27日	損害賠償請求事件	東京地裁	一般客	建物所有者	工作物責任あり
151	小学校6年生の生徒が水泳の授業中にプールサイドから逆飛び込みを行ったところ、頭部をプールの底にぶつけて負傷した事故。		平成11年8月27日		松山地裁			
999	多数の店舗が入居している商業ビル内の食堂街の通路を歩行中の者が、通路に付着していた油等によって転倒、負傷した事故	平成12年（ワ）2052 1794号82頁	平成13年11月27日	損害賠償請求事件	東京地裁		ビルの所有者の土地工作物責任が肯定された	

④学校事故事例

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
265	1989（平成 1）	墜落	中 1男			卓球部活動時，途中休憩に入ったさいに窓際に座りもたれたとき，窓があいたため中庭に転落した。
268	1990（平成 2）		中 1男		1.35m	サッカーの部活動中，別館 1階の窓枠にボール防御のために立っていたとき，貧血を起こし，高さ 135センチメートルの所から落ちた。そのさい，排水口のふたと地面との間で口部の強打した。
116	2004（平成 16）		高 2男	サンルーム屋根	4.8m	バスケットボール部の部活動が始まるまでの間，他の部員と体育館 2階で遊んでいた。鬼ごっこの最中，本生徒が鬼から逃げるために窓から外へ出て，壁を使ってサンルームの屋根の隅を歩いて体育館へ戻ろうとして屋根のガラス部分に乗ったところ，ガラスが割れ，約 4.8m下のタイル床へ転落した。
68	1991（平成 3）		小 1女	テラス	4.4m	休憩時間に，かくれんぼをして遊んでいるとき，本児が窓を乗り越えて校舎外壁に突き出しているテラスを歩くうちに足を踏み外して 4.4メートル下に落下した
110	1986（昭和 61）		小 6男	テラスの屋根		小運動会が終了したので放送用具の片付けをしていたとき，1階テラスの網入ガラス屋根に物を落としたので，その上に上がり取ろうとしてガラスが破れ落下し，腰部を強打した。
204	1991（平成 3）		小 6女	トイレの窓	3F	いつもと同じように友人と登校した本児は，教室にかばんを置くと，「トイレへ行く」と言って教室を出ていったが，戻らないので担任に連絡。担任が捜しながら教室へ向かうと，捜していた児童から 3階トイレに鍵がかかっていたので声を掛けたが返事がないとの報告を受けた。他の教員と児童で手分けして捜したところ，3階トイレ下のコンクリートたたき部分に倒れている本児を発見したが，額から多量の出血，意識不明だった。3階の鍵のかかったトイレの窓には，遺書めいた内容が指で書き留めてあった。救急車で移送されたが 5日後に死亡した。
239	2004（平成 16）		中 2男	トイレの窓	4F	放課後，三階視聴覚室で生活指導を受けているとき，本生徒は「トイレにいきたい。」といって部屋を出たが，そのまま戻らないため，探していた。4階手洗い場の窓が開いているのに気づき，下をのぞいてみると，本生徒がうつぶせに倒れていた。直ちに救急車を要請するとともに，名前を呼びながら心臓マッサージを行った。救急車により医療機関に搬送されたが，発生から一時間後に死亡が確認された。
291	1994（平成 6）		中 2女	トイレの窓	2F	休憩時間中，2階女子トイレで上級生から暴行を受け，恐怖のため窓から飛び降り両足を骨折した。
307	1998（平成 10）		小 6男	トイレの窓		昼食時休憩時間中，同じクラスの友達とかくれんぼをしていて，2人でトイレに隠れ，2人のうちの 1人がトイレの窓を開け，窓から犬走りに降りようとして足を踏み外し，1階トイレ前の防球ネットと校舎の間に転落した。
258	1988（昭和 63）		中 3男	トイレの窓	3F	休憩時間中，3階のトイレで，ペイントマーカーでいたずらされた髪や額を洗っていたさい，またいたずらされた。洗い落としたが，意識がもうろうとして発作的に 3階トイレの窓から下の空地へ落下し意識不明になった。
207	1993（平成 5）		高 1男	トイレの窓	4F	バレーボール部活動中，校舎西側便所の下に本生徒が転落して，うつ伏せに倒れ出血しているのを発見され救急車で病院へ移送，治療されたが，4時間半後に死亡した。4階の便所の窓から転落したものと考えられている。
192	1988（昭和 63）		高 2男	トイレの窓	4F	授業中，本生徒は遅刻して登校。4階トイレより転落，意識不明となり，応急処置により呼吸は戻ったが，てんかんの発作が始まった。救急車で病院へ移送したが死亡。なお，てんかんの発作により転落したと思われる。
211	1993（平成 5）		高 2女	トイレの窓	5F	本生徒は，当日，夏季休業中の委員会活動（図書室当番）で登校したが，委員会活動の図書室には行かず，午前 10時 20分頃 5階便所から校庭に飛び降りた。事故発生後，直ちに救急車を手配，病院で治療を受けたが，翌日死亡した。
235	2003（平成 15）		中 2女	トイレの窓	6F	当日，本生徒は登校後，校舎 6階の女子トイレの窓から，2階廊下（バルコニー）に転落した。2階にいた教諭が，「ドスン」という音を聞き，室外に出てみると，本生徒が倒れていた。すぐに駆けつけ，近くにいた教諭に救急車要請を依頼した。救急車により医療機関に搬送されたが，本生徒は呼吸停止，出血性ショックの状態であり，その後の治療でも血圧は上昇せず，全身状態が悪化して，発生から 5日後に死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
35	1987(昭和 62)		高定時3女	トイレの窓→ひさし	4m	休憩時間中午後 8時頃，本生徒がトイレに行ったところ，クラスメート 3名が煙草を吸っていた。本生徒は，冗談に「先生が来るよ」と言った。3名はあわててトイレに入った。本生徒も冗談を言った手前，隠れようとトイレの窓からひさしにでたはずみと思われるが，誤って 4m下のコンクリート床面に転落し，頭部を打ち意識不明となり，病院へ移送，手当を受けたが死亡した。
39	1989(平成 1)		小 6男	トイレの窓→ひさし	4F	清掃時間中，本児は分担場所を離れ， 4階女子トイレで当番の女子児童とふざけていた。そのやりとりを聞いた男子トイレの当番の男子児童に「なんで女子トイレに入っているのだ。入り口を閉めるよ」と言われ，本児はいきなり高窓に登りひさしに降りた。男子児童がその高窓に駆け寄ったときには転落しており，あおむけに倒れ，左ふくらはぎ列創，左耳出血，呼吸不規則，意識不明であった。応急処置後，救急車で県立病院へ移送したが 16日後死亡した。
206	1992(平成 4)		中 2女	トイレの窓または屋上	5F	国語の授業時，本生徒はトイレに行く許可を得て教室を出たが， 5分もたたないうちに校舎(5階の窓又は屋上)から飛び降りて，裏庭に落下したと思われる。保健室に居た養護教諭がその物音を聞き，うつ伏せ上体で発見したが意識不明であった。救急車で病院へ移送したが，意識が回復のないまま 3週間後に死亡した。
44	1991(平成 3)		小 6男	ひさし	8m	清掃時間中，本児は分担の清掃を終えて教室に戻り，友人と 2人で教室の窓の安全柵を乗り越えひさしに降り，さらに下の階の友人に「今からそっちへ行く」と言ってひさしに両手でぶら下がり，下の階のひさしに飛び降りたが，バランスを崩し約 8メートル下の花園へ転落した。
57	1986(昭和 61)		高 2女	ひさし	3F	全校大掃除の時間に，窓ふきで 3階ひさしに上がり，バランスを失い，中庭へ転落した。
51	1998(平成 10)		小 6女	ひさし		放課後，本児を含むアルバム委員が教室が残っていた，本児は教室の手すりを乗り越え，窓から外のひさしの部分に出た。周りの児童が止めたにもかかわらず，ひさしに乗り手を振った。いったん教室に戻り再び塀に乗った。本児の姿が見えなくなったので，転倒したことに気づいたほかの児童が，教頭に通報した。転倒した本児は，頭から血を流して左側頭部を上に向けて倒れていたので，救急車で病院に搬送し手術が行われたが，15日後に死亡した。
54	1983(昭和 58)		小 4男	ひさし	3.8m	体育館南のといをよじ登り，ひさし(高さ 3.8m,幅 45cm)上に上がり，ひさしの上を小走りに走っていて足をすべらせ，横向きの状態で地上に落下し，コンクリートの縁石で脇腹を強打した。肝臓，脾臓破裂により，摘出手術が行われた。
56	1986(昭和 61)		中 1女	ひさし		昼食後，部活動に入る前，友達とかくれんぼをした。本生徒は窓を乗り越えてひさしに出て，柱の陰に隠れたが，見つけられまいとして中腰でひさしを通って逃げた際，足を踏みはずし転落した。
50	1998(平成 10)		中 1男	ひさし	3F	昼の休憩時間中，教諭が自転車置き場で大きな音がしたので振り向いてみると，本生徒が倒れていた。本生徒は 3階校舎のひさしから転倒した。本生徒はハナから少し血を流し，脈拍と呼吸はあったが意識はなかったので，救急車を要請し病院に搬送したが，8日後に死亡した。
58	1987(昭和 62)		小 4男	ひさし	6m	始業前の自習時間，鉄筋コンクリート 3階建ての教室を通り抜け他の教室に行き高さ 80cmのガラス窓を乗り越えて，ひさし(68cm)を歩いていたが，途中柱がでていて狭くなっていて，脚を踏みはずし 6m下のコンクリート道路へ転落し頭を強打した。
62	1988(昭和 63)		高 1女	ひさし	2F	授業終了後の特定時間中，級友がふざけて 2階ひさしの上に置いたかばんを取ろうとして，校庭に転落した。
64	1990(平成 2)		小 6男	ひさし		休憩時間中，鬼ごっこをしていた。そのとき誰かが窓のところから雨どいをつたって出口の上のひさしに登り，そこから飛び降りた。それを見て本児もやってみたら失敗した。
71	1992(平成 4)		高 2男	ひさし	3F	休憩時間時，本生徒は便所で喫煙中，「こらー」という声を先生の巡回と間違えて窓の外に出て 3階のひさし伝いに渡り廊下に出ようとして転落した。
78	1995(平成 7)		小聾 2男	ひさし	3F	4時限終了後の休憩時間中， 3階教室でかくれんぼ中，鬼となって窓の外のひさしに降りて顔を伏せ数を数えて顔を上げたところ，隠れるはずの児童が窓際に立っていたので驚き，バランスを崩して転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
80	1995（平成 7）		高 2女	ひさし	2F	大掃除（学校行事）中，校舎 2階廊下窓外のひさしに出て窓ガラスをふこうとした 2人が接触し，2人とも転落した。
87	1997（平成 9）		小 6男	ひさし		児童会運動会のための応援団活動時，4階の理科室で活動中，窓から窓下のひさしに降りたところ何かの拍子にそこから 3階の屋上へ落下し，頭部等を強打し聴力が低下した。
90	1999または2000（平成 11ま		中 1男	ひさし	4F	社会の授業中，本生徒はトイレに行くことを担任に告げ，教室を出たがトイレには行かず教室の隣の学年教員室に入った。その窓から庇に出て，庇伝いに教室に渡っているとき足を踏み外し，4階の庇から 1階昇降口のコンクリートの屋根に転落し，頭部を強打した。
92	2002（平成 14）		高 1男	ひさし	4F	校内スポーツ大会中，4階の教室に無断で外窓から入ったが，担任が施錠確認に来たので見つからないように窓からひさしに出て隠れようとしたところ，誤って外庭に転落した。
94	2002（平成 14）		中 2女	ひさし	3F	5校時目終了後の休憩時間中，本生徒は 3階の教室の窓からひさしに出た。周りにいた生徒が「危ないよ！」と言っている間に，足を滑らせ転落した。落下した場所がアスファルトであったため，ダメージがだいぶ大きいものとなった。
97	2004（平成 16）		高 1男	ひさし	2F	授業開始後まもなく，本生徒と他生徒が教師に許可をもらい，2階のトイレに行った。他生徒が用を足している最中，ドンという音がし，窓から外を見ると本生徒が転落していた。本生徒は当時の記憶はないが，ふざけて外のひさしの上に乗り移り，滑り落ちたのではないかと思われる。
74	1993（平成 5）		中 2女	ひさし	3F	昼休み，3階のトイレの窓から出て，ひさしをつたって隣の教室をのぞこうとしたとき，バランスを失い落下した。
37	1988（昭和 63）		中 3女	ひさし	8m	合唱部の練習開始前，暑さをしのぐため窓を乗り越えひさしへ出ていた。活動を始めようとしたさい，本生徒はまだ室内に入っておらず，室内の窓際の机にうつむいていた友人にいたずらのつもりで頭をたたいたあと，ひさしに出っ張っている柱に隠れようとしたのか，足を踏み外し約 8メートル下の花壇と側溝の間に転落した。救急車で病院に移送し，快方に向かったかに見えたが 20日後に死亡。
36	1987（昭和 62）		高 1女	ひさし	4m	吹奏楽部の合同練習時，本生徒は，他の部員と 2人で楽器にたまる唾を拭く布を取りに，3階の倉庫に行ったが鍵がかかっていたので，本生徒 1人が隣の教室の窓からひさしに下り，約 4m歩いて悪から倉庫の中へ入った。なかなか出てこないので部員が不審に思い，窓の下を見たところ本生徒が倒れていた。直ちに病院へ移送したが，死亡した。本生徒は布が見つからず，帰ろうとした際，ひさしから足を滑らせ転落したらしい。
33	1986（昭和 61）		高 1男	ひさし		放課後，居残って製図をしていた。本生徒は友人とふざけていたが，その後，幅約 80cmの窓下のひさしに降り，足を滑らせたのか転落した。
32	1986（昭和 61）		中 2男	ひさし	4F	授業終了後，4階教室で友人と卓球をしていたが，そのうち本生徒は窓を乗り越え，ひさし（幅約 60cm）を伝わって隣りの教室へ行こうとし，再び戻ろうとしてバランスを崩し転落した。
31	1984（昭和 59）		高定時2男	ひさし		学校祭準備のため，生徒研究室で実行委員会が開かれ本人はクラス代表として出席した。本生徒の班（4人）は，午後 8時 20分頃討議が終了したので，他の班の終了を待つ間，蒸し暑いのでタ涼みをしようと生徒研究室の南側に付設された幅 80cm程のひさしの上に乗り，校庭の方へ足を投げ出したかっこうで腰を下ろした。この列へもう一人の生徒が割り込んできて腰を下ろすや「先生が来たぞ」と叫ぶ声に全員暗やみに隠れた。それから仲間 4人は室内に戻ったが，本生徒一人がとり残され，誰も気付かなかった。その後「アッ」という声が聞こえ
27	1983（昭和 58）		中 3男	ひさし	3F	休憩時間に 8人ほどの生徒が 3階の教室，廊下，窓の外のひさしで鬼ごっこをしていた。6校時のチャイムの鳴る直前に，本生徒は鬼から身を潜めようとひさしのない部分（右図のように）を渡ろうとして手か足をすべらせて下のアスファルトに転落，頭を打って 11日後に死亡した。ひさしとひさしの間には，幅 78cmの柱があり，これを抱きかかえるようにして渡っていた。
41	1990（平成 2）		高 3女	ひさし		放課後，級友 6人と教室に残り，一人一人記念写真を交代で撮っていた。本生徒は，自分のカメラで窓外の風景を撮っていたようで，窓からひさしに出て転落したとみられる。救急車で病院へ移送したが 7日後死亡した。
40	1989（平成 1）		高 3女	ひさし	3F（7m）	文化祭の準備中，3階の教室で作業をしていて，ひさしの陽の当たるところで乾燥させていた物を取り入れるために，窓からひさしに出て 1mほど歩いたところで，約 7m下のグランドに転落した。反対側の校舎にいた生徒が目撃し，教師に連絡，直ちに救急車で病院に移送したが死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
38	1989(平成 1)		中 3女	ひさし→教室	3F (6.8m)	昼食時休憩時間中，3階の教室よりの合唱室で友人 5人と雑談をしていて 5校時授業開始 5分前の予鈴が聞こえたので，窓の下の幅 85cmのひさし伝いに教室へ帰ろうと高さ 80cmの窓枠を乗り越えたとき，バランスを崩し約 6.8m下のコンクリート通路に転落。意識不明となり，救急車で病院へ移送したが死亡した。
91	1999または2000(平成 11または		中 2男	ひさし→窓	3F	休憩時間中，外部非常階段の手すりを乗り越え，北館 3階廊下東，非常階段横，中庭側の窓の外側のひさしに足をかけ，窓から校舎に入ろうとしたが，誤って落下した。
52	2001(平成 13)		高 3男	ひさし→防球ネット	3F	休憩時間中，友人とジュースを飲みながら話をしていて，校舎庇屋根へ 3階の教室の窓から降りた。目前にある防球ネットに飛びついたときネットが破れそのまま地面に転落した。溝に頭が落ち込み体幹を強打し肋骨を骨折した。意識がないため，直ちに病院へ搬送したが肋骨が肺を圧迫していて脳挫傷により死亡した。
1	1984(昭和 59)		幼 4歳男	ベランダ	2F	新学期中のため，各教師は遊具の使い方や危険性，友達との遊び方，教師とのスキンシップ等を重視しつつ，午後の自由遊びを行っていた。午後 1時 20分頃，2人の園児が教室下の犬走り上に意識不明の状態で倒れているところを発見された。直ちに救急車の出動を要請し病院へ移送，入院治療を受けたが，翌 27日死亡した。なお同じく意識不明であった他の園児は，5月 3日死亡した。本児は，2階ベランダで遊んでいるうち過って転落したものと推定されている。
11	1988(昭和 63)		小 6女	ベランダ	2F	始業前の特定時間中，2階ベランダの手すりにつかまりベランダから身を乗り出す格好で頭を下げていたため，いったんぶら下がった状態で足から落下した。
9	2003(平成 15)		中 3男	ベランダ		朝の会を終えて、クラスごとに終業式会場の体育館に行くために廊下に整列しているとき、本生徒は 1人で教室のベランダに出ており、ベランダから身を乗り出すようにして、下の花壇部に転落した。意識も浅く出血も多かったことから、救急車を要請し、自動酸素蘇生器を使用、毛布で保温するなどの処置を行った。医療機関に搬送され治療を受けたが、事故後 1週間ほど危篤状態が続いた。その後、手術を数回にわたって行い、治療とリハビリにより多少の食事や呼びかけへの反応が出来る時期もあったが、発生から約 4年 3ヶ月後に多臓器不全で死亡し
8	2001(平成 13)		中 2男	ベランダ	3F 10m	始業前の特定時間中、3階教室のベランダより 10m下のコンクリートの土間に転落し、頭部を強く打った。呼吸及び心臓は停止していなかったが、病院へ搬送後容態が急変し死亡した。
7	2001(平成 13)		高 2男	ベランダ	4F	始業前、4階ベランダ伝いに音楽室の前に行った。その際転落し、全身を打撲する。救急車で病院に搬送したが、即死の状態だった。
6	1998(平成 10)		中 3男	ベランダ	4F	休憩時間中，次校時の理科の授業のため，4階の理科室の前で本生徒は他の生徒と待っていた。生徒の一人が窓のスラブ(手すりのない小さなベランダのようなもの)に出て戻ってくるのを見て，本生徒も 4回東側から窓のスラブに出ようとして飛び上がった瞬間，左足が窓枠に引っ掛かり，バランスを崩して地面に転落した。救急車で病院に搬送してあてを受けたが死亡した。
5	1995(平成 7)		高 2男	ベランダ		始業前の特定時間中、朝の課外授業に参加するために登校した本生徒は、教室への近道である非常階段に直行したが、入り口が閉まってたので隣接するベランダの手すりを渡ろうとして転落した。目撃生徒により連絡を受けた教職員が駆けつけ、救急車で病院に搬送したが、即死していた。
3	1990(平成 2)		小 6男	ベランダ	4F	下校時後も 4階の教室に残って遊んでいて，ベランダの飾りパイプにまたがろうとして，地上通路に転落し，救急車で病院へ移送したが 4日後に死亡した。
18	1991(平成 3)		中 3女	ベランダ	4F	冬休み中，清掃当番で登校した際，清掃終了後に友達と 4階のベランダ手すりに腰掛け話をしていたとき，バランスを崩し転落した。
2	1987(昭和 62)		小 6男	ベランダ	4F	本児は，視力左右 0．1，難聴児で，特殊学級に所属していたが，4階の教室で友人とふざけながら図書館のベランダに出て，「入れろ」「入れない」の押し問答を繰り返しているうち，突然本児は手すりの中段に足をかけ，登ろうとしたので，3人が注意し，手すりから引き離し図書室へ入ったところ，ついてくるどころか，手すりに馬乗りになり，手すりを越えようとしていた。3人が担任に知らせに走り出した途端，本児は地上の側溝の鉄蓋上に転落し，病院へ運んだが死亡していた。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
4	1995（平成 7）		小 6男	ベランダ	3F 3.4m	給食準備中、本児は、3階のベランダの手すり（高さ 1．24メートル）に腹部を乗せ上半身を手すりの外側に出し、両手で手すりをつかんでいたが、左手が外れバランスを崩し約 3．4メートル下の 2階のベランダに転落した。応急手当を行い救急車を待つが心停止となり心臓マッサージを行い、救急車で病院に搬送した。自発呼吸がなく人工呼吸器をつけ経過を見たが、2日後脳死状態となり死亡した。
12	1989（平成 1）		中 2男	ベランダ	4.5m	授業終了後の特定時間中，2階の教室を清掃中に，ベランダの柵で鉄棒の腕立て支持のようなかっこうをして手を滑らせ，約 4.5m下の地面へ転落した。
13	1989（平成 1）		高 2男	ベランダ	3F	学校祭当日，3階ベランダより転落し，下に駐車場の乗用車のフロントガラスに当たってバウンドし地上に落下，全身を打撲した。
14	1990（平成 2）		小 6男	ベランダ	3F	清掃時間中，本児は 3階のベランダで，他の児童がフェンスに手をかけ，足を持ち上げる遊びをしているのをまねたところ，勢い余ってかバランスを失い下の階のベランダへ落下した。
16	1990（平成 2）		中 3女	ベランダ	2F	休憩時間中，2階のベランダの手すりの上にかがんで友人と話をしていた。友人が教室へ入ったので本人も後を追おうとして，スカートのすその後ろを踏み，睡眠不足，暑さも加わってふらっとなり落下した。
19	1992（平成 4）		中 2男	ベランダ	2F	2階の教室で自習時間時，本生徒は目を盗んでベランダに隠れたが，教師に気付かれ隣のベランダに逃げようとした際，体のバランスを失って転落した。
20	1992（平成 4）		中養 3女	ベランダ	2F	学級指導時，本生徒は 2階のベランダの立ち上がりに寄り掛かって，小学部の遊戯の練習を見ているうちに，体が前のめりになって地上に転落した。
21	1993（平成 5）		小 3男	ベランダ	2F	休憩時間中，2階のベランダから身を乗り出して階下の友人に声をかけていた際，級友に教室の窓越しにほうきの柄でしりを突かれてバランスを崩し，階下のコンクリート面に転落した。
22	1995（平成 7）		中 3女	ベランダ	2F	昼食時休憩時間中，校舎 2階のベランダからグラウンドにいる友達に話しかけようとして手すりから身を乗り出したところ，バランスを崩して花壇近くに頭から落ちた。
23	1997（平成 9）		高 2男	ベランダ	3F	放課後，文化祭の準備中，することがなく遊んでいてベランダに出ようとしたところ，足が窓枠に引っ掛かって，3階から中庭へ転落し負傷した。
24	2001（平成 13）		高 1女	ベランダ	12.5m	休憩時間中，友人を誘ってベランダへ出た。本生徒は突然ベランダ中央部にある細い隙間に入ろうとした。友人は止めたが，本生徒はそのまま隙間に入っていったので，あわてて腕をつかんだが，そのまま 12.5m下に落下した。
26	2005（平成 17）		高 1女	ベランダ		文化祭撤去作業中，展示物を固定していた木とガムテープをはがす作業を始めたところ，本生徒がベランダに出た直後，バランスを崩し，1階の排水溝部分に転落する。
15	1990（平成 2）		小 6女	ベランダ	3F	始業前に，3階教室のベランダに出て手すりを乗り越え，手すりの外側にぶらさがったらしい。このとき，登校中の中学生が目撃し「あぶない」と叫びながら職員室に入ってきたが，転落した後だった。
101	1988（昭和 63）		中 1男	レンガ造り倉庫屋根		昼食時休憩中，レンガ造り倉庫の屋根に登り中央でジャンプしたところ崩れ，レンガの下敷きとなり死亡。
47	1994（平成 6）		高専 3男	雨どい	11m	本学生は，午前6時頃，学校寮第3棟前の通路に倒れて死亡しているのを発見された。本学生は，他県生で，寮の2人部屋に居住していたが，推定によると，寮の部屋が午後11時に消灯になったので，隣の談話室の電源を使おうと雨どいにつかまり移動中，約11メートル下の通路に転落したものと思われる。当日は同室の学生が不在で転落に気づいた寮生はいなかった。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
114	1994(平成 6)		高 3女	屋根	5m	吹奏楽部活動時，友達のタオルが 3階渡り廊下から 2階スレート屋根に落ち，それを取りに屋根に出たところ，スレート屋根が抜けて，5メートル下のコンクリート上に叩きつけられた。
109	2008年6月 18日		小 6男	屋上	12m	東京都杉並区の区立小学校で、6年生の男子が屋上の明かり取り用窓から1階に転落。救急車で病院に運ばれたが，頭などを強く打っており，約4時間後に死亡が確認された。この児童のクラスは，算数の授業の一貫として屋上で歩幅を測るなどしていた。屋上の床面にある明かり取り用窓の上に男児が乗った際，強化プラスチックとガラスが割れ，約12メートル下の1階床に落ちた。窓の下は吹き抜けになっていた。 明かり取り用窓は，屋上の中央付近に3つ並んで設置され，囲いなどはなかった。
152	1991(平成 3)		小 6女	階段		児童朝会で運動場に集合する際，本児は，4階の手すりの上に乗り滑り降りようとしたとき，過ってバランスを崩し 3階の階段に転落した。
153	1991(平成 3)		中 1男	階段		部活動が終了し，道具を収納した後，階段の手すりを滑降中に過って 4階から 1階の吹き抜けを転落した。
154	1992(平成 4)		小 2男	階段		始業前に本児は 2階教室へ行く際，階段最上部でランドセルを置き階段の手すりにまたがったとき，手が外れて下の段まで落ちてしまった。
155	1992(平成 4)		中 3男	階段		休憩時間中，本生徒は校舎 5階の階段の手すりに乗って足を伸ばしてバランスを取ろうとした際，4階の階段に落ちて転び，下の 4階のおどり場に転落した。
156	1993(平成 5)		小 4女	階段		放課後，滑って降りるため 3階階段の手すりに飛び乗ろうとした際，勢いがつき過ぎて飛び越し，手すりにぶら下がったが，手袋をしていて滑り易く支えきれなくなって 2階階段に落下し，顔面と左膝を強打した。
157	1993(平成 5)		小 5男	階段		休憩時間中，3階の階段手すりに乗って滑り降りようとしたところ，過って 2階の階段へ転落した。
158	1993(平成 5)		小 6男	階段		理科の授業時，教室を出て階下の理科室へ用具を取りに行く途中，3階の階段の手すりにまたがって降りようとして体のバランスを失い，2階に落下して頭部を強打した。
117	1983(昭和 58)		小 3男	階段	5.6m	当日は運動場で 1学期の始業式後，児童会(朝会)が行われた。予定より少し遅れて終了し，1年生，2年生，3年生の順に下足箱まで担任が引率して上ばきとはきかえ，本館 3階の教室へ入った。本児は，級友といっしょに 2階便所へ行こうと厳禁されていた階段の金属性の手すりにまたがり，3階から 2階まですべり降りようとして，高さ約 1mの手すりに直角に身を乗り出したため，重心を失い 5.6m下のコンクリート床へ転落死亡した。
160	1995(平成 7)		中 2女	階段		始業前，ブラスバンド部の朝練習後教室へ行く途中，階段の手すりを滑り降りバランスを崩して落ち床で口唇部を強打した。
162	1996(平成 8)		小 3男	階段		放課後，下校しようとランドセルを担いで 2階から階段を降りていた時，下から 5～ 6段のところから手すりを腹部で滑り降りようと体を乗せたところ，ランドセルの重みでバランスを崩し，頭から下の職員玄関に転落し階段に歯を打ちつけた。
150	1990(平成 2)		中 3男	階段		学級会活動時，体育館で先生を待っているさい，ギャラリーへ昇る階段を手で昇っていったところ，友達がふざけて足を引いたため階段から転落し負傷した。
164	1997(平成 9)		小 3男	階段		放課後，下校する際に階段でランドセルをしょったまま階段の手すりに腹ばいになり滑り降りようとしたところ，勢いがつきすぎてバランスを崩し，反対側の階段に落下して歯を負傷した。
149	1990(平成 2)		中 2男	階段		昼食後，友だちと遊んでいて，階段の手すりを滑り落ち，足腰を骨折した。
165	1998(平成 10)		小 4男	階段	2.7m	国語授業終了直前，片付け後，階段を通り校庭へ遊びに出ようとした。階段を降りる際，手すりに腹ばいになった状態で滑り降りようとした。その後，バランスを崩し 2.7メートル下の階段に転落し，頭部と腹部を強打した。左腎に裂傷を負い，摘出した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
161	1996（平成 8）		小 5男	階段	3.3m	昼食時休憩時間中，4階の自教室からグラウンドへ向かう時，階段の手すりを腹ばいになって滑り降りていたところ，手が滑ってバランスを崩し，約3.3メートル下の階段に落下し，さらに 3階踊り場まで転がり落ちた。左橈･尺骨･骨折および脾臓破裂の負傷をした。
166	1998（平成 10）		小 4女	階段		放課後，2階から 1階に降りる階段で，中央の踊り場を越えてから，ランドセルを背負ったまま，手すりに腹を当てて滑り降りていたが，加速がつき，1階の廊下の階段側に落ち，顔面と腹部を打った。
167	1998（平成 10）		小 4女	階段	4m	放課後，下校の準備をして階段に来た時，本児はランドセルを背負い，スキー用手袋をしたまま，手すりを腹部を下にしてまたがったところ，バランスを失い，手すりをすべることなく約 4メートル下の階段に転落し，腹部と顔面を強打した。救急車で病院に搬送後，左腎臓と脾臓を摘出した。
168	1998（平成 10）		小 5男	階段		放課後，4階から 3階へ降りる際，途中の踊り場まで伸びている手すりを伝って滑り降りようと，手すりに後ろ向きに馬乗りになる姿勢でまたがった。その際，身体のバランスを崩し，手すりの向こう側に傾き落ちそうになった。辛うじて両手が手すりに引っ掛かり，ぶら下がるような姿勢となった。本児は少しでも高さを縮めるために手すりを伝って下方向へ体をずらしていたが，途中で力尽き落下した。
169	たは 2000（平成 11または		小 2男	階段	2.5m	遠足に出発する前の休憩時間中，本児は 1人で 2階から 1階へ降りる階段の手すりをまたいで滑り降りようとしたところ，誤ってバランスを崩して階段と反対側へ 2.5m落下した。
170	たは 2000（平成 11または		小 2女	階段	4.4m	放課後，本児は，低学年棟 2階階段上部の高さ 80cmの手すりからランドセルを背負ったまま身を乗り出し，左手が手すり上で滑ったため，バランスを崩し，4m40cm下の 1階に頭から落下した。
171	2002（平成 14）		小 5男	階段		階段を下りる際，本児童は手すりに腹這いになって滑り降りようとしてまたがったところ，勢い余って 3m下の階段へ転落し，腹部及び上肢をコンクリート製の階段の角で強く打ち，そのまま 5～ 6段階段を転がり落ちた。
172	2003（平成 15）		小 6男	階段		清掃終了時，3回から 2階に向かって降りていた。その際，本児童は手すりに腹ばいになり滑っていて，バランスを崩し，頭部から，その下の階段中腹に落下した。その後自力で 2階踊り場まで移動し，横向きに倒れているところを発見された。
163	1996（平成 8）		小 4女	階段		放課後，階段で友人とふざけて手すりにぶら下がって遊んでいたところ，手が滑って床に転落し，口部を打ちつけ，歯を破折した。
138	1988（昭和 63）		小 3男	階段		下校時，2階から 1階へ降りる階段の手すりから下をのぞこうとして，バランスを崩して落下した。
123	1997（平成 9）		小 3男	階段	3F 4m	給食準備中，本児は他の児童と 3階の階段付近で遊んでいた。階段の手すりに腹ばいになって滑り降りようとして，1メートル程下降したところでバランスを崩して 4メートル下の 2階階段部分に落下し頭部を強打した。担任が駆けつけたが，けいれんを起こし意識もうろうの状態だった。救急車で病院へ搬送されたが 4時間後に死亡した。
125	1998（平成 10）		高専 1男	階段	6F	始業前，8時ごろ，登校してきた生徒が，駐車場に倒れていた本生徒を発見した。前期末試験の最終日，いつもと変わりなく家を出た。4回にある教室にはにもつが置いてあり，6階の階段横の柵を乗り越えた跡があった。直ちに救急車を要請したが，死亡していた。
126	2001（平成 13）		小 3女	階段		昼食時の休憩時間，校舎内階段で手摺りにお腹をあてて滑り降りようとしていた。途中でバランスを崩し，体がでんぐり返しになった後，片足が下の階段の手摺りにひっかかり，片手が上の手摺りの支柱を握っていたが，手が離れ 1階まで落下した。病院へ搬送したが容態が急変し，死亡した。
128	2003（平成 15）		中 3女	階段	3F	昼食時休憩時間中，校舎内 3階の階段で他生徒と話をしていた際，本生徒は階段の手すりに向かって，上半身を軽く打ちつけるように動いていたが，ふとした拍子に足がすべり，前のめりに回転し，一度は手すりをつかんだが，1階と 2階の間の踊り場に転落した。直ちに救急車で病院に搬送されたが，5日後に死亡した。
129	1983（昭和 58）		小 4男	階段		昼休みに校舎の階段の手すりにまたがって滑り降りようとしたところ，勢い余って向こう側の階段下に転落し，前歯 3本を失う負傷をした。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
130	1984(昭和 59)		小 4男	階段	4m	本児は，早目に学校に到着したので，階段付近で遊んできた。ランドセルを背負ったまま，2階の玄関へ上がる外階段の上部の手すりにまたがったところ，バランスを失って 1回正面玄関左横のたたき(約 4m)まで顔面から落下した。顔面，頭部を打撲するとともに，前歯 2本を欠損した。
131	1986(昭和 61)		小 5男	階段		始業前，階段の上から下にいる友達とお手玉を投げ合っていたが，相手の子に当てようとして階段の手すりから身を乗り出したとき，体のバランスを崩して下側の廊下へ転落した。
132	1986(昭和 61)		中 3女	階段	2.5m	帰宅するため友人と 2階から 1階に至る階段を降りる途中，手すりに寄りかかった瞬間，バランスを失い 2.5m下の階下へ転落した。
134	1987(昭和 62)		小 3女	階段		昼食時休憩時間中，2階より階段を降りる時，3～ 4段踏みはずし転落した。
135	1987(昭和 62)		小 6男	階段	3.5m	休憩時間中，3階踊り場付近で陣とりゲームをしていた。鬼が近付いたので逃げようとして階段の手すりを越え(3.5m下)うつ伏せの状態で転落した。
120	1993(平成 5)		幼 4歳男	階段	2F	保育終了後，本児と他の 1人の児童は，母親の引き取りが遅くなるので居残っていた。本児は，教師にことわって 2階に行ったが，誰もいなかった。5分程して転落音を聞いた教師が振り向くと，本児が階段下の床に鼻血を出して倒れていた。救急車で外科医へ移送，治療したが 12日後に死亡した。
151	1990(平成 2)		高 1女	階段		休憩時間中，体育の授業に行く途中，4階階段の手すりに足を掛けて滑り降りようとして，過って手すりの向こう側へ転落した。
137	1988(昭和 63)		小 3男	階段		昼休み，階段の手すりに身を乗り出して滑っていたところ，誤って転落し，床に前歯を強く打ちつけた。
121	1994(平成 6)		小 2男	階段	2F 4.5m	昼食時休憩時間中，本児は，校舎2階階段の手すりにまたがり，後ろ向きに滑ろうとし，バランスを崩して約 4.5メートル下の1階へ転落，階段1段目あたりで後頭部を強く打った。後頭部から出血し，意識もなかったため，救急車で病院へ運び治療を受けたが，9日目に死亡した。
118	1985(昭和 60)		小 3男	階段		乗り出した。このとき傘を手に下げていたためかバランスを崩し，階段の外側へ転落し，下駄箱に当たり，床に転落した(1年生の話では手すりで滑って降りたともいう。)。病院で診察の結果，吐き気が出たら来院するようにと指示され帰宅したが，翌日りんごのすりおろしを飲んだところ嘔吐し帰りの会を済ませ，児童は各に，下校していた。本児は，かばんを背負って 2階の教室を出た。そしてかばんを背負ったまま階段の手すりから身をたので，再度来診，頭蓋骨骨折が判明し，その後容態が悪化した。翌朝意識不明となり，6日後死亡した。
139	1988(昭和 63)		小 5男	階段		昼休み，階段の踊り場の手すりにつかまって遊んでいるとき，体を滑らせ足から落下し，顔面を階段に打ちつけた。
140	1988(昭和 63)		小 6男	階段		授業終了後の特定時間中，2階から階段の手すりを滑り降りていて転落し，右肘を骨折した。
141	1988(昭和 63)		中 2男	階段		昼休みに，運動場へ出るため 2階の階段の手すりにまたがって 1階へ滑り降りようとしたとき，身体のバランスを崩し落下して，廊下の床で左腕と口唇部を強打した。
142	1989(平成 1)		小 4男	階段	4-5m	放課後，階段の手すりに飛びつき腹面で滑り降りようとしたさい，とびついたときの勢いとランドセルの重みで体のバランスを失い，約 4～ 5m下の床に頭から転落した。
143	1989(平成 1)		小 4女	階段		体育授業のため運動場に出ようと階段を降りていたが，本人は階段の手すりを滑ろうとジャンプしたさい，過って手すりを越え踊り場に転落した。
144	1989(平成 1)		小 5男	階段		休憩時間に階段の手すりにうつぶせになり滑って遊んでいたところ，バランスを崩し上り口の手すりに落下した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
145	1989（平成 1）		小 6女	階段	4m	下校するために 3階から 2階に降りるさい，手すりを滑り降りようとして手すりにまたがったが，約 4m下の階段に落下した。
146	1989（平成 1）		小 6女	階段		放課後，ランドセルを背負ったまま，階段の手すりに腹部をつけて滑りだした。途中ランドセルが頭部のほうにかぶさるようになり，その重みで下の階段に落下した。
147	1989（平成 1）		高 2男	階段		休憩時間中， 3階の階段手すりを横滑りしだしたさいにバランスを失い，真下の 1階用具置き場の上に転落して頭蓋骨等を骨折した。
148	1990（平成 2）		小 5男	階段		放課後，早く帰ろうと教室から走り出て， 2階に降りる階段の手すりに左足をかけて，滑り降りようとしたところ，バランスを崩し階段から落ち，顔面を床にぶつけた。
136	1987（昭和 62）		高 1女	階段		放課後，友人 3人で学期末試験の勉強後， 4階，階段の手すりに寄りかかり話をしているうちに，バランスを失い 3階フロアーまで転落した。
159	1995（平成 7）		小 2男	階段		休憩時間中，階段の手すりに足を掛け滑って降りようとしたところ，過って踊り場下の階段の中ほどに転落し，腹部と大腿部を強打した。
199	1989（平成 1）		中 3女	階段の窓	4F	遅刻して来た生徒がコンクリートの通路にあおむけに倒れている本生徒を発見し，職員室に連絡。直ちに現場に駆けつけ救急車で病院へ移送したが翌日死亡した。当日は学年集会のため校庭に集合することになっており，本生徒は登校後かばんを教室に置き，最後に教室を出たが屋上へ向かい， 4階から屋上への踊り場の窓の下に上履きをそろえて置き，窓から飛び降りたものと思われる。
200	1990（平成 2）		小 3女	階段の窓	3F 10m	階段の清掃後，反省会を行うため 3階から屋上に通じる踊り場へ集まったとき，窓に取り付けてある転落防止用の鉄パイプの上に腰掛けたところ，バランスを失って約 10メートル下のコンクリートの地面に転落した。意識不明，呼吸は聞き取れず，脈も弱く，救急車で病院へ移送されたが死亡した。
194	1988（昭和 63）		小 6男	階段の窓	14m	放課後，お別れ会の準備練習のあと，校舎 4階より屋上へ出る階段の踊り場で遊んでいた男子 3名のうち本児は，窓の桟（腰高 1,15m）で水平バランスを取ろうと，跳び上がり，はずみで 14メートル下の地面に転落。病院へ移送したが死亡。
266	1989（平成 1）		高 2女	寄宿舎の窓	3F	寄宿舎で，前夜解熱剤を飲んで就寝したが，早朝苦しそうに小走りで 2階の部屋を出て 3階へ行き，窓から転落した。
305	1998（平成 10）		高養 2男	寄宿舎の窓	2F	寄宿舎で配膳の準備中，本生徒は 1階ホールにいたが，昼食のためにテーブルに着いたとき，本生徒はその場にいなかった。職員が捜したところ，窓の下にうずくまって倒れていた。自室の窓が開いていたことから家に帰りたい一心で 2階の窓から外へ出ようとして落下してしまったと思われる。
242	1985（昭和 60）		小 2女	教室の窓	4.7m	1人で窓の近くにある教師用本箱やその上に置かれたテレビを，上靴を脱ぎ，児童用腰掛けに乗り掃除をしていた。ところがどうしたはずみか，窓より 4.7m下のコンクリートの「犬走り」上に頭部より転落，意識不明となった。同室で一緒に清掃していた 35名の児童及び指導に当たっていた教師も全く気づかないうちの事故で，転落時の様子は不明である。直ちに救急車で市内の病院へ移送，多発性頭蓋骨骨折・脳挫傷・頭蓋内出血，左外眼筋麻痺の治療を受けたが障害を残した。
250	1987（昭和 62）		中 3男	教室の窓	9m	放課後，教室の窓から運動場にいる友達を大声で呼んでいるうちに，窓枠を持っていたが手が滑り，約 9m下の地面に転落し，全身打撲を負った。
287	1993（平成 5）		高 3男	教室の窓	4F	文化祭準備中，クラス展示物の宣伝用垂れ幕をつるす作業を 4階実験室でしていた際，腰掛けていた窓枠から過って生徒玄関の屋根に転落した。
249	1987（昭和 62）		中 1男	教室の窓	3F	清掃中，窓の内側を拭いていたが，そのうち窓の下のそでに足をのせて拭いていたが手を滑らせバランスを崩し 3階の校舎から転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
288	1993（平成 5）		保 3男	教室の窓		保育中，鬼ごっこをしていて保育室内を走り回っているうち，窓際に設置してあるロッカーの上に上り，開いていた窓から窓下の犬走りに転落し，コンクリートに左耳上側頭部を打ち付けた。保母が傷の手当をしているとき母親が迎えに来て引き渡したが，母親は，降園中に子供の異常に気付き，帰宅後，救急車で病院へ移送，急性硬膜下血種の診断で 5年にわたり治療を受けた。
248	1987（昭和 62）		小 2男	教室の窓	1.6m	学級会活動を実施中，本児が平屋木造教室の窓から外に転落し， 1.6m下のコンクリート溝で前頭部を強打した。
247	1986（昭和 61）		小 6女	教室の窓	5m	休憩時間中，教室横廊下側の窓に体を乗り出し気分を紛らわそうとしていたとき，めまいがして約 5m下の中庭に落ちた。
289	1994（平成 6）		小 1女	教室の窓	1.1m	清掃時間中，高さ 1.1メートルくらいの教室の窓をふいているうちに，過って転倒，顔面を打った。
246	1986（昭和 61）		小 5女	教室の窓		清掃の時間になり，お別れ会の飾りつけを外すために窓際の棚へ上がったとき，その上の箱につまずき，開いていた窓から戸外へ転落した。
245	1986（昭和 61）		小 1女	教室の窓		帰りの会が終わり，教室の窓を閉めようとしたが，古くなって閉まらないので力を入れたところ，窓がはずれ，これを押さえようとして一緒に戸外へ転落した。
251	1987（昭和 62）		中 3男	教室の窓		実験実習終了後，先に実験室をでた生徒が鍵をしめたので，本生徒は小窓によじ登り，廊下側にとび下りた時，カーテンが足にひっかかり落下し，顔面を強打した。
243	1985（昭和 60）		小 3男	教室の窓	2F 5m	二階の教室で児童全員が待機していた。3～ 4名の児童が窓側の台の上に運動場側を背に手すりを持ち，腰掛けていたが，その中の 1人である本児は体のバランスをくずし，手すりを後ろまわりし，約 5m下の校庭に転落し，視野障害，神経症状を残し治癒した。
229	1998（平成 10）		高 1男	教室の窓		4時限の授業が終了し，係が「起立」の号令を書けたとき，本生徒が廊下側の席から教卓の前を通り窓の向かって行き，窓枠を踏み台にして飛び降り教室前の花壇に転落した。教師は突然のことで止める間もなかった。救急車で病院へ搬送したが， 2時間後に死亡した。
271	1990（平成 2）		高 3女	教室の窓		放課後，教室で校庭側の窓際の棚に教室内に向かって腰かけて外を見ていたとき，校庭に転落した。部活動に不満を抱いて精神的に興奮状態であり，午前中欠席し，午後登校していた。
241	1984（昭和 59）		中 3男	教室の窓	1.5m	休憩時間中に友達と鬼ごっこをしていた。本生徒は逃げる側となり，教室の窓から外へ逃げようと机を踏み台にして窓枠にまたがろうとしたところ，膝が窓枠にひっかかり，飛び込むようなかっこうで，外側の 1.5m下のコンクリート地面へ逆さまに落ちて，頭を強打し，急性硬膜外血種のため，左上・下肢の機能障害，歩行障害が残った。
238	2004（平成 16）		小 2男	教室の窓	3F	5時限目の国語の授業で，3階にある図書室へ行く。授業担当者が，本の貸借の手続きをパソコンでしている間，児童はパソコンのあるカウンターの前に並んでいた。その時，本児童は「図書カードを配らせてほしい」と授業担当者に頼み，窓際にある本棚に座って図書カードを配っていた。配り終えると，本棚の上に立って，窓の枠にまたがった。その際バランスを崩して転落した。
237	2004（平成 16）		小 6男	教室の窓	4F	本児童は大雨の中登校して，靴下が濡れたので4階教室の窓側に張ってあった針金に干していた。設置してある転落防止用の手すりの上に上がって，その靴下を取ろうとしたところ，誤って足を滑らせ開いていた窓から落下し，一回の屋根にバウンドして地上に転落した。
293	1994（平成 6）		高 1男	教室の窓	2F 5.4m	放課後， 2階更衣室で制服に着替えていたとき，窓から 5.4メートル下の玄関前コンクリート上に転落した。
234	2002（平成 14）		高 2男	教室の窓	4F	始業前の特定時間中，本生徒は校舎 4階の教室より中庭に転落した。救急車にて病院に搬送されたが，両大腿部開放性骨折，右腕骨折，あご，鼻骨骨折，肺挫傷等により，発生から約 5時間後に死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
233	2001(平成 13)		中 3女	教室の窓		授業終了後の特定時間中，教室で友人と話をしていた。友人がトイレに行った間に，教室の窓の手すりを乗り越えて飛び降り全身を打った。直ちに救急車で病院へ搬送されたが死亡した。
230	1999または2000(平成 11または		小 1男	教室の窓	3F	児童会行事で仮装大会の練習中，3階の音楽室で児童のみ 28名で練習を行っていた。本児は自分の出番が終わったため窓枠(高さ 87cm，幅 7cm)の上をガラス伝いで外向きに横歩きしていた。6年生児童が注意したが，たまたまガラス戸が開いていた窓から外側に転落した。直ちに病院に搬送されたが死亡した。
244	1985(昭和 60)		保 2女	教室の窓	1.07m	2名の保母が担当してトンカチ遊びとままごと遊びをしていたが，その内 3名の幼児が高さ 60cmの出窓に上がり，あそんでいた。その内に本児は窓の外(107cm)に転落し，前額部割創の負傷をした。治療の結果，醜状瘢痕を残した。
282	1992(平成 4)		中 2男	教室の窓	4F	4階視聴覚室での 3年生を送る会の劇の練習後，本生徒は窓から外を見ていて生徒手帳を落としたので，拾ってもらおうと身を乗り出した際，過って転落し，頭部及び胸部を強打した。
267	1990(平成 2)		小 1男	教室の窓		昼休み中，窓から外を見ていたら，周囲の子におされて転落し，後頭部を足洗い場のコンクリートで打った。
264	1989(平成 1)		小 2男	教室の窓		清掃中，窓ガラスをふくため通風窓の敷き居に腰掛けていたところ，バランスを失って外に転落した。
263	1989(平成 1)		小 2男	教室の窓	2F	授業中，担任に作文を添削してもらった後，担任や他の児童が気づかないうちに 2階の本児の教室の窓から中庭に落ちた。
262	1989(平成 1)		小 1女	教室の窓	1m	始業前に，教室の窓から身を乗り出して中庭の様子を見ているうちに，約 1mの高さからコンクリート製の排水溝の上に転落した。
274	1991(平成 3)		小 5男	教室の窓	3F	清掃中，3階教室で窓桟を水ぶきしているとき，足を滑らせ中庭花壇に転落した。
261	1989(平成 1)		小 1男	教室の窓		大掃除中，教室と廊下との間の窓の腰に乗ってガラスをふいていて，足を滑らせ廊下側へ落ち，床から高さ 70cmのところに取り付けてあった円型のねじくぎに左陰のうをひっかけてしまい，痛さのために急に強く引っ張ったため，陰のうが破れて左側の睾丸がちぎれた。
275	1991(平成 3)		中 1男	教室の窓	4F	昼食時休憩中，4階教室の窓の手すりに腰掛けていた際，バランスを崩し転落した。
259	1988(昭和 63)		高 1男	教室の窓	5F	文化祭の後片付けをしていたとき，5階教室の日よけカーテンを取り付けようとしたさい，手すりから足を滑らせて窓から外に転落し，腰以下に重傷を負った。
278	1991(平成 3)		中 2男	教室の窓	2F	休憩時間中，2階教室窓側のロッカーの上に上がって遊んでいたとき，カーテンにもたれかかったところ，窓が開いていたため，窓から墜落し右腹部を地面で強打した。
286	1993(平成 5)		小 4女	教室の窓	3F	昼休み，3階の児童会室でおんぶ鬼ごっこをしていて，おんぶしていた児童に窓際のたなの上に座らせられた際，立ち上がってバランスを崩し，開いていた窓から転落した。
281	1992(平成 4)		小 3男	教室の窓		清掃時間中，本児は児童会室で清掃をしないで窓を開け，窓縁に腰を掛けていた際，窓から転落し負傷した。
253	1987(昭和 62)		幼 5男	教室の窓		保育中，遊戯室で遊んでいた。踏み台を上がり，脚を折り畳んだ滑り台に上がって遊んでいるうちに，バランスを失ってたまたま開いてた窓から園庭に転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
257	1988(昭和 63)		中 2男	教室の窓	3F	清掃中，3階教室の窓から身を乗り出したさい，バランスを崩して落下し，腰を強打した。
256	1988(昭和 63)		中養 1女	教室の窓		学級会活動中，会議室で七夕音楽祭の再学習のビデオを見ているさい，机の上に上がり，隣の机に飛び移り，その机から窓際に設置してあるスチームコンベクターに飛び移ったときに，バランスを崩し窓から転落した。
283	1992(平成 4)		高 1女	教室の窓		保健体育の時間，視聴覚室でビデオを視聴中，本生徒は席を離れて窓際に行き，外を眺めていたが，突然木製の椅子に足を掛け窓から飛び降りた。
255	1988(昭和 63)		小 6男	教室の窓	3F	放課後，部活動前に教室で友達と遊んでいたとき，ふざけて窓枠に乗ったはずみで滑り，3階の教室から転落した。運よく植込みの「かいづかいぶき」の上に落ち，それがクッションとなり地面に落ちた。
285	1993(平成 5)		小 4男	教室の窓	3F	清掃時間中，3階の教室の窓側の観察台に上がり，窓下の手すり室内を見るようにして腰掛け，手すりを逆手につかんで体の安定をはかっていたところ，バランスを崩して窓から下の地面まで落下した。
240	1984(昭和 59)		小 2男	教室の窓	1.2m	昼の作業時間で，本児は，教室の二重窓部分の持ち出しに上がって窓の掃除をしていた。外側のガラス窓が閉まっていると思い後ろに下がったところ，ガラス窓が開いていたため，体の左側を下にして，窓下 1.2mの水洗い場のコンクリートに転落し，腹部を強打した。受診の結果，脾臓を摘出した。
270	1990(平成 2)		高 2女	教室の窓	9m	放課後，音楽準備室で友人と雑談中，夜景がきれいだったので，もっとよく見たいと椅子を開いていた窓際へ運び，その上に立ったところ，バランスを崩してよろけ，9メートル下の地面へ転落した。
269	1990(平成 2)		中 3女	教室の窓	3F	掃除の時間，ふざけて 3階の窓枠に手をつき，腹を乗せる格好をしたとき，手が滑り外につんのめった。近くにいた友達がとっさにスカートをつかんだが支えきれず，頭から転落した。
252	1987(昭和 62)		高 1女	教室の窓	5m	文化祭の準備中，指人形の舞台となる窓際の暗幕を直そうとしていた。そのさい誤って 5m下の中庭に転落し，頭蓋骨骨折，意識不明の重傷を負った。
280	1992(平成 4)		小 2女	教室の窓		放課後，本児は教室の転落防止用欄干に座っていたとき，後ろの窓ガラスが開いているのに気づかずもたれようとして転落し頭部を強打した。
183	1986(昭和 61)		高 1女	教室の窓		文化祭の行事は全て終了し，後片付けに入ったが，外してあったカーテンにつり金具を取り付けているうち，疲れて窓枠に腰かけようとして，過ってバランスを崩し転落したものと推定される。
201	1990(平成 2)		高 2男	教室の窓	3F	昼休み中，出窓の棚床に両手をつき倒立をしようとしたところ，バランスを崩し，ガラスを突き破り，3階から地上に落下した。救急車で病院へ移送したが死亡した。
198	1989(平成 1)		小 5男	教室の窓	8m	昼食時休憩時間中，廊下窓側壁面に鉄製のパイプで固定してある高さ 70cmの傘立てにのぼり相手を落とす遊びをしていて，本児は相手を落とした反動で自分もバランスを崩して右肩から窓を突き破って，約 8m下の地面に頭から落下。救急車で病院に移送したが死亡した。
174	1984(昭和 59)		小 6男	教室の窓	2F	当日は，新 6年生全員が，入学式場及び各教室づくりのため，午前 8時 50分に登校，清掃する教室，内容，方法等について教師から指示(窓ふきは指示していない)があり，本児ほか 4人は，2階 1年の教室を担当することになった。本児は清掃終了のチャイムが鳴った後，教室の正面黒板から 2つ目の窓の転落防止用の手すりに腰を掛けていて，過っていぬばしりのコンクリート上に落下した。知らせで，救急車の手配をするとともに，養護教諭の指示で毛布その他で体の保温に努め，救急車の到着を待ち，病院へ移送し，手当てを行ったが，死亡
308	1998(平成 10)		小 5男	教室の窓	4F	放課後，担任が出張のため，5年の担任が鍵を締めて帰るよう指示したが，鍵を締める前に友達とかくれんぼをしようということになった。本児が教室に入り，他の児童がその後教室に入った時には，本児の姿が見えなかった。同じ頃，下の階の教室で 1年の教諭が学年会議をしていて，窓の方を向いていた教師が下に落ちている児童を見つけ，すぐ現場に駆けつけたが本児は気を失っていた。かくれんぼをしていて，4階の教室の窓から転落したものと思われる。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
176	1984(昭和 59)		小 3男	教室の窓		2校時終了後，教室で友達と忍者ごっこをして遊んでいた本児が，教室の後ろの掃除道具収納箱の上にあがったところ友達も続いてあがってきた。そこから教室南側窓下にある観察台(幅 28cm)に飛び移り，台上を先に行きかける友達に対し，自分が先に行くといって友達の前をすり抜け， 70～ 80cm先へ行ったところで振り向いた。そのとき，窓に手を着くようなかっこうとなってバランスを失い，窓から転落した。直ちに救急車で病院へ運んだが，即死の状態であった。
296	1995(平成 7)		小 5男	教室の窓	3F	学級活動時， 3階の教室で余った時間に遊んでいた際，窓際のロッカーに乗り，窓の腰壁を歩いていたところ，窓に腰かけるような格好になって開いていた窓から 1階犬走りに転落した。
178	1985(昭和 60)		中 1男	教室の窓	7m	清掃を終え，学級活動の時間が始まる前，教室内で遊んでいた。本生徒は 2棟 3階の教室東北端の窓辺のロッカーの上から，棟続きの 3棟の防護壁の上の手すりに飛び移ろうとした。そのとき足を滑らせ落下。約 1.3m下のひさし(幅 94cm)でバウンドし，そのまま，約 7m下に転落。コンクリート製の側溝で頭を強く打った。救急車で病院に移送するも 12日後，死亡する.
292	1994(平成 6)		高 1男	教室の窓	5F	休憩時間中， 5回の教室で窓際にあるストーブの上に立ち，窓枠に手を掛け，校舎下の通路にいた友達と話をしていた際，手が滑り地面に転落した。
179	1985(昭和 60)		小 6男	教室の窓	4F 12m	本児は友人 4人とかくれんぼをしていた。教室南窓下の飾り棚に上がり，まとめてあったカーテンに隠れようとした。他の児童に注意されたが，本児は「平気だよ」と言って棚の上に上がりカーテン裏に隠れたが，換気のため 30cm位開けてあった 4階の窓(約 12m)から転落した。直ちに，救急車で病院に運ばれ治療を受けたが死亡した。
180	1985(昭和 60)		小 2女	教室の窓	4.75m	本児は，級友 4人と 2階のプレイルームで「あがり鬼」をして遊んでいた。(「あがり鬼」は，鬼から高いところに上がって逃げる。鬼は下から追ってタッチしたら交代する遊びである。)プレイルームには窓の内側に棚があり，本児はその棚に上がって逃げていたが，誤って窓下(4.75m)コンクリート製足洗いに転落し，頭部を打った。救急車にて病院に運び，手術を受けたが翌日死亡した。
202	1990(平成 2)		中 3女	教室の窓		美術の自習時間，友人 2名から「話があるから教室に居て欲しい。」と手紙を受けとった直後，「さよなら」と手紙を書いて，誰にも言わず教室を飛び降り救急車で救急医療センターに移送されたが死亡した。
182	1985(昭和 60)		小 3女	教室の窓	2F 4.8m	昼休み後の清掃時間(13: 20～ 13: 35)に本児は担当場所である 2階図工室へいった。そこで防音窓のガラスを拭こうとして，窓際に設けられている観察展示台(高さ 68.5cm奥行き 55.5cm)に上がり，半ば座ったような姿勢で，左手で窓の柱につかまり窓が半分開いているところから右手を伸ばし，外側のガラス窓をふこうとしてバランスを崩したものと思われる。窓(展示台より15cm高い)から 4.8m下の U字溝に転落し，右前頭部を強打した。救急車で病院へ移送し処置が行われたが，午後 5: 30脳死の状態
177	1984(昭和 59)		中 1男	教室の窓		音楽の時間に教師が来るまで， 3， 4人の生徒が，窓側に並べてある椅子に飛び乗って遊んでいた。本生徒は，机の上に飛び乗ったとき，窓に背を向けたかっこうでバランスをくずしたので，後方の窓につかまろうとしたが，窓が開いていたため，そのまま窓の外に転落した。転落後，直ちに救急車の出動を要請すると共に，養護教諭等が，毛布等で体の安静と保温に努め，救急車で病院に運び手術が行われたが，午前 11時 45分死亡した。
313	2003(平成 15)		中 1男	教室の窓		教室の窓の転落防止のパイプにのしかかっていて，手が滑り，窓の外に転落した。 1階の屋根から出ているコンクリートのひさしに衝突し，そのまま地面まで落下した。
185	1986(昭和 61)		小 6男	教室の窓	4F	休憩時間中， 4階理科室で遊んでいたが，暑くなったのか，しばらくして窓を開け窓レール部分に座った。しかし突然，後ろ向きにひっくり返り，校庭の花だん横に転落した。
186	1986(昭和 61)		小 4男	教室の窓	3F	休憩時間中， 3階の教室で，窓枠の内側に取り付けてある防護用の手すり(床上 1m)に腰かけ，足を伸ばしてゆすっていたが，バランスを失い転落した。
187	1986(昭和 61)		小 4男	教室の窓	3F	学級終会をしていた時，本児は自席を離れ，床上 61cmの暖房具の上に乗り，転落防止用手すりに腰をおろした。注意され自席に戻ろうとしたが，体のバランスを崩し後方へ倒れ， 3階教室から中庭に転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
314	2003(平成 15)		小 3女	教室の窓	3F	放課後，残って宿題をしていた他の児童を待っていたところ，本児童は窓枠に乗り，手すりの上に乗ろうとした。手すりの上にしゃがんだ瞬間，バランスを崩し，校舎 3階の窓から落下転落した。本児童は一旦ひさしに当たってから地面に落ちた。
189	1987(昭和 62)		高 1男	教室の窓	5F	放課後，合唱コンクールの練習時，本生徒は 5階教室の窓枠に腰をかけ，腹筋運動をするから足を持ってくれと頼んだ。友人は危ないからと断ったが本生徒は，カーテンにつかまり上半身を乗り出したところ，カーテンレールが曲がってバランスを崩し，カーテンから手がはなれ 5階から 2階のベランダに落下した。直ちに病院へ運び，手当をしたが死亡した。
190	1987(昭和 62)		小 4男	教室の窓	3F	当日は，水泳教室が実施され，終了後，児童等は，3階の教室へ戻り着替えを行った。その時トンボがはいってきたのをみつけパンツ姿で追い掛けたところカーテンに止まった。これを見た本児は，窓側の整理棚に上り，つかまえようとしてバランスを崩し，3階の教室の窓から転落した。病院へ移送，手術を行ったが意識を回復することなく死亡した。
191	1988(昭和 63)		高通 2女	教室の窓	13m	休憩時間中，次のスクーリングに行くため母親と一緒に教室を捜して 4階の廊下を歩いているうち，突然教室に入り窓に腰を掛けるようにしたので母親がスカートをつかまえ止めようとしたが，身を投げ約 13メートル下に転落。自発呼吸はあるが意識不明。応急処置を行い救急車で病院へ移送したが死亡。なお，本生徒は 7年前より精神分裂病を発症し，通院加療中で母親が付き添って登校していた。
197	1989(平成 1)		中 2男	教室の窓	3F 9.3m	始業前，3階の教室でふざけて窓から外へ出て上部の枠に手を掛け，13cmの幅のサッシの外枠伝いに窓一つ分移動しようとして隣の窓に手を掛けたところ，バランスを崩し 9.3m下のコンクリート上に転落。救急車で病院へ移送されたが死亡した。
193	1988(昭和 63)		中 1男	教室の窓	4F	給食準備の時間，本生徒は 4階廊下の窓の内側に転落防止のために設けてあるパイプに飛び乗り，内側を向いて腰を掛けようとして手を滑らせ落下，3階の外壁に当たったあと，すぐ下のプール更衣室のコンクリート屋根に激突，右前頭部を強打した。救急車で病院へ移送したが間もなく死亡。
317	2004(平成 16)		中 3男	教室の窓	3F	大掃除の時間中，教室南側の窓ガラスを雑巾で拭こうとして，誤って 3階教室から転落した。
181	1985(昭和 60)		小 6男	教室の窓	4F 12m	清掃終了直後，教室で友達と遊んでいた。本児は掲示用の窓際の机の上にいたが，ふざけ気味に友人が近づいて来たので立ち上がり，後ろに反ったところ，バランスを崩し，カーテン越しに開いていた 4階の窓より(約 12m)転落した。直ちに救急車を手配，病院に移送。集中治療室で 17日間治療を施されたが死亡した。
216	1994(平成 6)		高 1女	教室の窓	4F	当日のホームルームで，翌月行われる予餞会の出し物について話し合われた。3案が出て採択されたが，本生徒の提案には賛成者がいなかった。本生徒が机に顔を伏せて泣き出したので，教師は，本生徒が冷静になるのを待つため，会議の進行などについて指導の後，本生徒に近づいて様子を見た。すると本生徒は，立って廊下に出，4階の窓を開けて頭から地上に飛び降り，U字溝にはまった。教師は，その後を追い，押さえようとしたが間に合わなかった。直ちに救急車を要請し，病院で治療を行ったが，事故から2時間後に死亡した。
225	1998(平成 10)		高定 2女	教室の窓	8F	試験終了 1時間後，8階から中庭に落ちる黒いものを事務職員が目撃した。人体と確認され，直ちに救急車で病院に搬送し処置を受けたが，2時間後に死亡した。本生徒は，長期欠席をした後だったため，ホームルームで次年度の受講指導を受け，その後，期末試験を受けていた。
224	1997(平成 9)		高定 1男	教室の窓	12m	理科授業時・教室で他の生徒がいすの上に立って窓から外を見るような態度をとっていたので教師が注意したところ，机の上に寝ていた本生徒が「こうやるんだ」と言い，その生徒の前の席のいすに立ち上がりカーテンに隠れる素振りをしたため，危険を感じた教師が注意しようと近づこうとしたところ，誤って 12メートル下のアスファルトに転落した。救急車を要請したが，後頭部を強打しており即死状態だった。
297	1996(平成 8)		高 3女	教室の窓	3F	3時限の途中から気分がすぐれず，休憩時間中 3階視聴覚室の床から 1メートルのほどの窓にもたれていたところ，4時限の授業がはじまった。その直後にめまいがして校庭に転落し，頭部・顔面を強打した。
298	1996(平成 8)		小 2男	教室の窓	3F 9.9m	清掃中，校舎三階音楽室の窓の手すりに腰掛けていたところ，体のバランスを崩し 9.9m下の土の上へ転落し，頭部外傷，脳挫傷等の負傷をした。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
221	1996(平成 8)		中 3女	教室の窓	4F	バレーボール部活動の早朝練習のためいつものように午前 7時ごろ登校し，途中同級生に会い一緒に登校し，学校到着後は部活動はやらずに教室へ行くと言い同級生と別れた。その後の足どりは不明であるが，2階の自教室へ行き机上に荷物を置き 4階へ上がり窓から投身したと思われる。午前 8時に発見後，救急車を要請したが，病院へ搬送できない状態であり，現場を保存し警察へ連絡した。
203	1991(平成 3)		中 2男	教室の窓	2F	放課後清掃終了後，2階の渡り廊下で，教室にいる生徒に話しかけようと安全手すりにのぼり，窓の中心で回転する窓を開け取っ手に足を掛けて登ったと思われ，何かの拍子に窓枠の上部にぶら下がった状態になり，その窓枠とともに落下して，花壇のコンクリート枠に頭部を強打した。
299	1996(平成 8)		小 6男	教室の窓		清掃時，教室上段の窓枠に上りガラスをふいていた際，バランスを崩し窓下のカラーボックスの上に落ち，さらに床に転落し，左脇腹を打撲し脾臓を負傷した。
301	1996(平成 8)		中 1男	教室の窓	2F	休憩時間中，次時限が家庭科であるため 2階の家庭科教室に移動し，そこで友人のおもちゃを取って逃げている時，窓のといを伝って非常階段に飛び移ろうとしたところ，足元が滑り地面に落下し，頭部，背部を打ち，側頭骨骨折により耳を負傷した。
217	1995(平成 7)		中 3男	教室の窓	12.5m	始業前の特定時間中，本生徒は，教室に備え付けられた傘立て(高さ約 60センチメートル)の上に足を掛け，窓から下をのぞいていてバランスを崩し，約 12．5メートル下の植え込みに落下した。
226	1998(平成 10)		高 1男	教室の窓	5F	部活動終了後，午後 7時に解散した。午後 8時 25分ごろ，学校職員が，校舎 5階から校庭に転落したと思われる本生徒を発見した。直ちに救急車で病院へ搬送し治療を受けたが，翌日死亡した。
215	1994(平成 6)		小 5男	教室の窓	1.5m	全校清掃(学校行事)中，本児は，7人の児童と廊下の窓ふきを行っていた。児童たちは，教師の指示で閉めてある窓を内側からふいていたが，本児は最初にふき始めた窓から桟の上を歩いて4枚目に移動して窓を開け，教室にいる友達に呼びかけた直後，開いている窓に背中から寄りかかる格好で約1 .5メートル下のコンクリートの足洗い場へ，頭から後ろ向きに転落した。すぐに救急車を手配，病院へ運んで治療が行われたが，事故から10日目に死亡した。
302	1996(平成 8)		小 3男	教室の窓	5m	放課後，紛失した靴下を昇降口の屋根の上に見つけ，教室南側の窓からそこへ移ろうとして誤って約 5メートル下の芝生の上へ落下し，両下顎骨骨折，頭部打撲の負傷をした。
205	1992(平成 4)		高 3男	教室の窓	9m	昼食の休憩時間中，本生徒は「暑い」と言って教室の窓際へ行き，窓枠に室内を向いて座っていたが誤って 9メートル下の通路へ転落した。救急車で病院へ移送したが死亡した。
303	1997(平成 9)		小 5男	教室の窓	3F	清掃終了直前，3階家庭科室で掃除を終えた児童同士で遊んでいた。本児童はアイロン台の上に乗り，窓枠に腰掛けようとはずみに後ろ向きに窓からコンクリート上に落下し負傷した。
304	1997(平成 9)		養中 1女	教室の窓		移動教室時，本生徒は精神薄弱等の問題があったため睡眠指導では 1人の教諭が付いていた。指導に当たり，本生徒にガラスを叩く等の行動が見られたので安全のために二重窓の内窓を外し，ドアの施錠，窓の 2か所のロックも確認し，本生徒が眠りについたのを確認したあと指導教諭も仮眠に入った。2時間半後，本生徒の声で指導教諭が目を覚ましたところ，本生徒が高さ 85センチメートルの窓に登って 2か所のロックを開けて窓から転落しているのを発見し，歯を負傷していた。
209	1993(平成 5)		中 1女	教室の窓		水泳部のミーティングを行うため，教室で先輩を待っている間，本生徒は，教室の窓の手すりにつかまりながら窓に腰を掛けて外を見ていた。気付いた男子生徒が「危ないよ。」と声を掛けたが返事はなかった。やがて，他の女子生徒が窓のひさしに出たので，手すりにつかまりながらひさしに手を滑らせ校舎わきの道路上に転落したもようである。直ちに救急車を手配，病院で治療を受けたが，5時間後に死亡した。
227	1998(平成 10)		小 3女	教室の窓	3F 9m	清掃時間中，本児は 3階ホールの清掃を始めた。北側の窓の下には高さ 80センチメートルの棚が設置されており，床より 90センチメートル，窓枠の下部から高さ 30センチメートルのところには，転落防止用パイプが設置されていた。本児は窓に背を向け，棚に足を置いて転落防止用パイプに腰を掛け，片手で雑巾を持っていたが，突然，バランスを崩し，開いている窓から 9メートル下のコンクリート製の側溝に転落した。救急車で病院に搬送したが，1時間後に死亡した。
212	1993(平成 5)		高専3男	教室の窓	3F 9m	休憩時間に本学生は，3階教室の窓から突然飛び降り，約 9メートル下のアスファルトの通路に転落，病院へ運ばれ，治療を受けたが 5時間後に死亡した。〔手術所見〕硬膜下血腫，くも膜下出血，肺挫傷，肺出血

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
214	1994(平成 6)		小 5女	教室の窓	3F 9m	放課後，3階教室に担任と数名の児童が残っていた。担任は，プリント等の整理をしていたが，本児は，窓の内側の整理棚の上に上がり，友達と雑談をしていた。話が終わり，下へ降りようとして窓に右手をついた際，窓が開いていたためバランスを崩して左肩から9メートル下の地面に転落した。担任は，直ちに現場へ急行，校長他に連絡を取るとともに救急車を要請，病院へ移送したが，事故5分後に死亡した。
210	1993(平成 5)		小 4男	教室の窓	4F 12m	始業前，本児は，4階教室の窓の転落防止用手すりに腰掛けていて，バランスを崩し転落(約 12メートル)，校舎外のコンクリートのタタキで頭を強打した。応急処置を行い救急車で病院へ移送，治療を受けたが 2時間後に死亡した。
218	1995(平成 7)		小 5男	教室の窓		休憩時間中，教室の片づけをしていて，本児は，運動場側の窓枠に上がり飾りを外そうとして，足を滑らせ転落した。人工呼吸，心臓マッサージを行い，救急車で病院に搬送，治療を受けたが約 8時間後に死亡した。
81	1996(平成 8)		中 2女	教室の窓→ひさし	2F	清掃時，2階教室の窓ガラスをふこうとひさしに飛び降りたところ，バランスを崩し尻から地面に転落し，脊柱や脊髄等を負傷した。
85	1997(平成 9)		中 3男	教室の窓→ひさし	8m	清掃中，友人がプロレスごっこをしていたのでやめるように言い背中をけったところ，その友人に追いかけられた。途中，清掃担当の教諭に見つかって注意を受けたがそのまま続け，視聴覚室に入って本生徒が窓にかけ上がり，下のひさしに降りようとしたところ，本生徒を捕まえようとした相手の手が結果的に背中を押したようになって，そのまま本生徒は 8メートル下の地面へ落下し下肢等を負傷した。
83	1996(平成 8)		中 3男	教室の窓→ひさし	4F(7.8m)	昼食時休憩時間中，音楽室に入室し喫煙中，音楽室に来た教師に驚き慌てて高さ 1.2mの窓の手すりを乗り越え 3階のひさしに出ようとしたところ，7.8メートル下の 1階玄関のひさしに転落し，脾臓，腎臓を負傷した。
75	1993(平成 5)		高 2男	教室の窓→ひさし	2F	清掃時，2階の教室のひさしの上に落ちている傘を拾おうと窓からひさしに降りようとした際，バランスを崩して下のコンクリートの上に転落し，頭部を打った。
28	1983(昭和 58)		中 1男	教室の窓→ひさし	1m余	当日は，中間テストの 2日目に当たり，終了のチャイムで試験監督教師が答案を集めて，職員室(1階)に降りた直後，風船に水を入れて遊んでいた本生徒が，同教室の斜め下の玄関屋根の上級生から「風船を渡してくれ」と声をかけられ，高さ 1m余の窓枠を越えてひさし(幅 85cm)に出ようとバランスをくずし転落，地面の手洗場(足洗場)のコンクリート角か，玄関周囲の段(4段)に激突したものと考えられ，出血多量で死亡した。
77	1994(平成 6)		中 3男	教室の窓→ひさし	4F(10m)	放課後，4階の美術室にいて，入口の錠をさわる音がしたため，慌てて窓から出て，幅 43センチメートルのひさしから足を滑らせ，10メートル下の地上に転落，左肘を強打した。
69	1991(平成 3)		小 2男	教室の窓→ひさし	2F	休憩時間に 2階音楽室へ 6人の児童が入って，鬼ごっこをして，本児は高窓へ飛び乗り，ひさしのほうへ隠れようとして転落した。
98	2004(平成 16)		小 6男	教室の窓→ひさし		休憩時間中，友人が投げた筆箱が窓からひさしに落ち，それを取ろうとして教室の小窓から運動場に腹を向ける格好で，窓の桟に手を掛けて，鉄棒にぶら下がるようにひさしに降りようとした際，ジャンプして勢いがつき，ひさしに右足だけつき，左足を踏み外して，地面に体を打ち付ける。
70	1992(平成 4)		中 1男	教室の窓→ひさし	2F	休憩時間中，本生徒は 2階教室で友達と洗濯挟みでふざけて遊んでいた際，洗濯挟みが窓からひさしの上に落ちた。それを取りに行こうと，窓からひさしに向って飛び降りたとき，足が滑り昇降口横のコンクリート上に転落した。
82	1996(平成 8)		高 3男	教室の窓→ひさし	4F(4m)	清掃中，4階教室廊下の窓ふき作業で窓枠からひさしに降りて窓ガラスをふこうとしたところ，足を滑らせ約 4メートル下のベランダに転落し，頭部等を負傷した。
30	1984(昭和 59)		中 2女	教室の窓→ひさし	7.65m	放課後の委員会活動の始まる前，3階の自教室で級友と雑談していたとき，本生徒は窓の敷居に鉛筆を見つけ取ろうとしたところ，鉛筆がひさしに落ちてしまった。本生徒は，鉛筆を取るため，窓からひさし(幅 55cm)に出て鉛筆を取ろうとした。このとき足を滑らせ，7.65m下の地面に転落し，頭部及び全身を強く打った。直ちに救急車で病院に移送，治療を受けるが死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
46	1993(平成 5)		中 2女	教室の窓→ひさし	3F (7.5m)	奉仕活動行事での清掃作業中，本生徒は，3階教室の窓を外側からふこうとし，外側のひさし(幅 53.8センチメートル)に降りようとして転落(7.5メートル)した。救急車で病院に移送し治療を受けたが翌日死亡した。
60	1987(昭和 62)		中 3男	教室の窓→ひさし		祝日のテニス部活動の登校で，友人の帽子を教室のひさしに投げておいた。その帽子を取りに，ひさしに降りたところ，バランスを崩し階下の排水溝に転落し，顔面を負傷した。
59	1987(昭和 62)		中 2男	教室の窓→ひさし		休憩時間中，机を足場にして窓をこえて，窓外のコンクリートのひさしにでようとして，誤って足を窓わくにひっかけ，バランスを崩し転落した。
55	1984(昭和 59)		中 2男	教室の窓→ひさし	3F(8m)	本生徒は 3階教室の窓ガラスの外側をふいていた。そして友達と話しながら窓の外側のひさし(幅 60cm)に飛び降りた。このとき，ひさしの段差のある所に足をついたため，体のバランスを崩し，約 8m下の自転車小屋の屋根に落ち，バウンドをして，さらにコンクリート舗装の通路に転落した。全身打撲，急性硬膜下血種と診断，治療が行われたが，視力障害，左上下肢の運動障害等が残った。
49	1995(平成 7)		高 3女	教室の窓→ひさし	4m	放課後，教室で紙風船で遊んでいた際，風船が窓下のひさし(幅 90センチメートル)に落ち，本生徒はそれを拾うため，友達がひさしの上に置いた椅子の上に乗ろうとしてバランスを崩し，4メートル下のコンクリートに落下した。救急車で病院に搬送したが 26日後に死亡した。
48	1994(平成 6)		高 2女	教室の窓→ひさし	3F (7.7m)	放課後，本生徒は，3階の教室で友達数人とトランプをしていた。そのうち，他生徒が外から本生徒に声をかけてきて，窓越しに話をしていたところ，手に持っていたトランプを校舎の外のひさしに落とした。本生徒が窓からひさしに降りかけたところ，後ろ向きに高さ 7.7メートル下に転落，頭部，全身を強打した。救急車で病院へ搬送し，手当てを受けたが，事故から2時間半後に死亡した。
45	1992(平成 4)		高 1男	教室の窓→ひさし	4F (12m)	4階普通教室で担任教諭指導のもと，LHRを行っていた。配布されたプリントを同じ班の生徒が窓の外へ落としたので，本生徒はそれを拾おうとして窓からひさしに出ようとしてバランスを崩し 12メートル下のアスファルト舗装の路面に落下した。救急車で救急医療センターに移送されたが死亡した。
43	1991(平成 3)		中 1男	教室の窓→ひさし	4F (11m)	放課後，陸上部の準備のため 4階の教室にいたが，スパイクのピンを直すためひさしに出ていて，落としたピンを拾おうとしてバランスを崩し約 11メートル下のアスファルト舗装の上に転落し，意識不明となった。救急車で病院へ移送したが死亡した。
42	1991(平成 3)		中 3男	教室の窓→ひさし	13m	自習中，自分の教室を抜け出し隣の教室にいたところ，担任が捜しに着たのに気づき，隠れようとして窓から幅 60センチメートルのひさしに降りようとして 13メートル落下，ショック状態で口から出血していた。救急車で病院へ移送したが死亡した。
61	1987(昭和 62)		高 1女	教室の窓→ひさし	3F	大掃除の時，3階の教室の窓を外側から拭こうとして，ひさしに足を踏み出した時，足を滑らしアスファルト道路に転落した。
67	1990(平成 2)		高 3女	教室の窓→霜よけ	4F	大掃除終了後の休憩時，4階の教室の窓の外にある霧よけに出ようとして，窓下の壁を越え霧よけに足を着けたところ，身体のバランスを失って中庭に落下し，脾臓破裂を起こした。
65	1990(平成 2)		中 3男	教室の窓→霜よけ		清掃時間中，友人とふざけあっていて教室の外側にある霜よけに置かれた自分の靴を取ろうとしているうちに過って外へ落ちた。
84	1996(平成 8)		高 2女	教室の窓→霜よけ		放課後，教室の窓から露よけ部分に降りようとしたところ，窓枠に左足首が引っ掛かり下の芝生に落下し，左肘関節脱臼骨折等の負傷をした。
76	1994(平成 6)		中 2男	犬走り→教室	3F	清掃時間中，校舎 3階の犬走りに降り，自分の学級へ戻ろうと走りかけた際，手を滑らせ落下し，はしごの段に前歯を当てた。
99	2004(平成 16)		中 1女	犬走り→窓	2F	大掃除の時間中，窓の外の犬走りに降りてごみを拾って戻ろうとした際，足を踏み外し 2階から校庭に転落した。背中から首を強く打った。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
53	1983(昭和 58)		小 4男	校舎外壁の出っ張り	3F	友達数名と鬼ごっこ遊びをしていて，土の上に足がつくと鬼になるので，高い所を渡り歩いているうちに，校舎外壁の出っ張りの部分(高さ 1.1mのコンクリートの台)を見つけて登った。その上でよそ見をして 2～ 3歩歩いたとき，足を踏み外して下のコンクリート面に落下した。そのとき，両腕を出して顔面を保護できず，口，鼻を強打したため，歯が動揺し，2歯を欠損した。
133	1987(昭和 62)		小 3男	校内歩道橋		授業終了後，校内歩道橋の手すりに腹部をのせ滑り降りようとしたところ背中のカバンが重心をくずし，落下した。
93	2002(平成 14)		中 3男	柵 →ひさし		大掃除の時間中，トイレ上部のベランダにたまっていた水を排除するため，ベランダに出ていたが，その後移動する際，通常の出口を通らず，柵を乗り越えて 2階上部のひさしに足を下ろそうとしたところ，失敗し，トイレ横の側溝と砂利石の部分に落下した。
89	1998(平成 10)		高 3男	柵 →ひさし		昼食時休憩時間中，友人と昼食を取るため，実習棟の非常階段を上がり，柵を越えて日陰になっている下のひさしに降りようとしていた。その際，足を柵に引っかけ，バランスを崩し地面に落下した。
100	1985(昭和 60)		中 1男	自転車置き場屋根	2.35m	友人 11人と「警どろ遊び」をしていて，自転車置き場の屋根に隠れた生徒を追う側になっていた本生徒が，追いかけ屋根に上がった。相手を捕まえた後，他の生徒は屋根から降り，その後本生徒は屋根の上を歩いていて，スレート屋根を踏み抜き，高さ 2.35mの所からコンクリート地面に落下した。救急車で病院に移送し治療を受けたが死亡した。
316	2003(平成 15)		養高 1男	窓	3F	夕食後，本生徒は，寄宿舎に戻らずに体育館へ行き，3階踊り場へ上がっていった。踊り場の窓を開けて外へ出たり入ったりを繰り返した後，中に戻りかけたが，突然振り返って窓に向かって走り出すと，窓枠をまたいでアスファルトの地面へ飛び降りた。
312	2003(平成 15)		中 2女	窓	4F	合唱部の練習後，他の生徒数人と 4階の音楽室(練習場所)に残った。その後，本生徒は 1人で窓際にあった机にあがり，窓枠上部に両手をかけ，1階にいた生徒と会話中に，誤って地上に転落した。
279	1991(平成 3)		高 3男	窓		大掃除の窓ふきで体を外に出して行ったところ，窓枠をつかんできた左手が滑り，窓外の地面に転落した。
315	2003(平成 15)		中 3男	窓	中二階	清掃時間終了後，本生徒は，遊んでいて，校舎の中二階の窓から中庭に飛び降りた際，足を壁に取り付けてあったパイプに引っかけ，腰から落下して，そのまま動けない状態になった。
319	2005(平成 17)		中 3男	窓	3F	授業終了後，一緒に下校する他の生徒を待っていた本生徒は，外で雨が降り始め，教室に傘を置いたままであることに気がついた。3階の教室に傘を取りに戻ったが，鍵がかかっていたため，隣の教室の窓づたいに入ろうとした際，バランスを崩して，3階の教室の窓から転落し，腰と顎を骨折してしまった。
272	1990(平成 2)		保 5男	窓	1.65m	保育中，窓際で遊んでいて，窓から外に落下(約 1メートル 65センチメートル)して，花壇の縁石に頭を強打し頭蓋骨骨折をした。
273	1991(平成 3)		小 2女	窓	3F 9m	奉仕活動の一環として，3階の窓ガラスふきをしていたとき，敷居に足を掛けてふいている際，過って約 9メートル下のアスファルト路面に転落した。
318	2005(平成 17)		小 3男	窓	3F	休憩時間中，校舎 3階にある教材室でかくれんぼしている際，開いている窓から転落した。頭部を強く打ち，脳挫傷となってしまった。
95	2002(平成 14)		中 3男	窓 →ひさし	3F	授業終了後，他の生徒 4人と校舎の 3階へ上がり，ボールで遊んでいる途中，窓の外のひさしに一人が出たので，本生徒も出ようとした際に窓枠に靴のかかとが引っかかり，ひさしの上でバランスを崩し，地上に転落した。ひさしの上で転んだ時に肩を打ち，地上には足から落下したため，右足首を骨折した。
34	1986(昭和 61)		高 1男	窓 →ひさし	4F (11m)	休憩時間中，手を洗った水滴がノートにかかったため，4階のひさしにそのノートを立てかけ干した。次授業後，ノートを取ろうと窓枠を乗り越えようとしたため，足が窓枠にひっかかりバランスを崩し，約 11m下に転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
63	1989（平成 1）		高 1男	窓→ひさし		授業終了後の特定時間中，文化祭の劇の練習を行っているさい，ボールペンが窓の外のひさしの上に落ちたので，窓から体を乗り出してひさしの上に上がり取ろうとしたとき，バランスを崩して落下した。
73	1993（平成 5）		中 2女	窓→ひさし		大清掃中，ひさしに降りようとして，過って転落したものと思われる。
79	1995（平成 7）		高 2男	窓→ひさし	3F	昼食時休憩時間中，暑さのため 3階窓外のひさしで涼もうとして飛び出したところ，バランスを崩し校庭に転落した。
72	1992（平成 4）		高 3男	窓→ひさし		特活の大掃除中，本生徒は棒ぞうきんの取れた金具を拾おうと窓を跳び越えひさしに降りたところ，雨でぬれていたため滑って中庭の芝生へ転落し，右足首を強打した
66	1990（平成 2）		高 1女	窓→ひさし	3F	放課後，3階のひさしの所に落ちた問題集を拾おうとして窓から身を乗り出したさい，体のバランスを失いひさしに続いて中庭に転落し，脾臓破裂を起こした。
86	1997（平成 9）		高 1女	霜よけ	4F（1.5m）	学園祭の準備中，4階の教室でクラスの準備中，地上にいた友人に用事を頼もうと窓をまたいで幅 1メートルの露よけに出ようとしたところ，左足が窓枠に引っ掛かって 1.5メートル下に落下し，一度車のボンネットにバウンドしてから地面に落下した。
102	1988（昭和 63）		小 5男	体育館の屋上		休憩時間中，前日に児童が体育館の軒天井に上げてしまったボールを取ってやることになり，担任がはしごを支え，機敏で場に応じた行動のできる児童を登らせた。それを見ていた本児童は担任及び他児童の制止を聞かず登ってしまい，ボードが破れ，体育館外のコンクリートのたたきに転落。病院に移送したが，意識不明のまま 2日後に死亡。
284	1992（平成 4）		中 1女	体育館の窓		本生徒は，他校で行われたバレーボール部の指導者講習会に補欠として参加したが，ベンチに入れないため，体育館ギャラリーで応援していたとき，後方の下の窓のカーテンにもたれかかったところ，窓が開いていたため後ろ向きに転落し，頭部と背中を強打した。
310	2001（平成 13）		小 5女	体育館の窓	5m	昼食時休憩時間中，教諭がいないときには，使用禁止になっている体育館で，友達と窓際に重ねてあった 5枚のウレタンマットに上がり，ジャンプをするなどして遊んでいた。その内の 1人の身体が温まったため，窓を開けた模様である。その後，本児がバランスを崩し，窓から約 5m下に転落し，頭部と背部を強打した。
300	1996（平成 8）		小 6女	体育館の窓		休憩時間中，体育館の 2階の窓から高跳び用マットへ飛び降りる遊びをしていたところ，友人に早くするように言われて慌てて落ちたのか押されて落ちたのかはっきりしないが，マットの上に落下し右大腿骨を骨折した。
228	1998（平成 10）		中 1女	体育館の窓	2F	バレーボール部活動時，体育館で対人パスを 3人で実施中，ボールがそれて外に出た。仲間の一人が外に出てボールを本生徒に渡し，外に出た仲間を驚かそうとして，本生徒は 2階のギャラリーに上がり暗幕の陰に隠れた。中にいた仲間が「ばれている」と，声を掛けたが降りて来なかった。周辺を捜したところ，見つけることができなかった。本生徒は片側窓を全開していた窓の外に出て隠れ，誤って転落したものと思われる。
290	1994（平成 6）		中 2男	体育館の窓	2F	バレーボール部活動時，練習準備中，体育館で 2階の窓を開けはしごを降りる際，手を滑らせ落下し，はしごの段に前歯を当てた。
184	1986（昭和 61）		中 1男	体育館の窓	3.92m	昼食時休憩時間中，体育館で友人と「助け合いジャンケン」遊びに夢中になり，ギャラリーに登りコンクリートの柱に隠れ，暗幕のかげで体を小さくしたところ，体のバランスを失い，開いていた窓から 3.92m下のコンクリート上へ落下した。
195	1988（昭和 63）		小 5女	体育館の窓	2F	清掃活動中，本児は体育館 2階ギャラリーの窓の転倒防止用鉄製柵の上より，誤って落下した。救急車で病院に移送したが 5日後死亡。
232	2001（平成 13）		中 1男	体育館の窓	2F 5.3m	体育館 2階の掃除が終わり，他の生徒が担当教諭に終了の報告をするまでの間，暗幕のカーテン越しに腰壁に座ろうとしたが，窓ガラスが開いていたため，5m30cmしたのコンクリートに転落した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
108	＜最新情報＞2008年5月 22日MSN産経ニュース		小 6男	体育館の天井	12m	小6男児，体育館で12メートル転落し死亡 　22日午後1時15分ごろ，山梨県笛吹市境川町小黒坂の市立境川小学校で，6年生の男児（11）が体育館の天井裏から約12メートル下の床に転落した。男児は病院に搬送されたが，同日夜，出血性ショックで死亡した。 笛吹署などの調べでは，当時は昼休み中で，男児は体育館で約10人の同級生らと遊んでいた。1人で2階のはしごを上って天井裏に入り，天井のボード（厚さ1～2センチ）が抜け落ちた。 同小によると，体育館は通常施錠されているが，この日は窓が開いていたため，男児らは窓から体
111	1987（昭和 62）		小 6男	体育館の天井	3m	昼食時休憩時間中，体育館で鬼ごっこをして遊んでいるうち，天井裏に上がり逃げようとしたところ天井板の弱い所に乗り，3m下に落下した。
112	1987（昭和 62）		中 2男	体育館の天井	6.8m	学校祭の準備中，ステージの天井へ看板を取り付けて，ステージ前の張り出し天井に降りるさいクロス張りベニヤ板の継ぎ目が破れ，6m80cm下の体育館床へ転落した。
113	1991（平成 3）		中 2男	体育館の天井	5m	当校を会場として行われた郡市体育大会に卓球部で参加し，団体戦終了後，友達と体育館ステージ上の天井に登り遊んでいて，約 1.3メートル下の天井を目指して飛び降りたところラスボードの天井板及びそれを支えているアルミの桟が折れ，同時に 5メートル下に転落した。
103	1989（平成 1）		中 1男	体育館の天井	4.3m	バスケットボール部員の本生徒は，当日冬休み練習のため登校した。まだ部員も顧問もそろっていなかったので，数人の部員と体育館で雑談していたが，本生徒が「床下から天井に登る道がありそうだから探検しよう」と言いだし，同級生 4名で工事の点検用ふたを開け床下に潜り込んだ。やがて側面に天井裏まで通じる空間を見つけ天井裏まで登ったが，本生徒は更に壁を登り「もう行けんから降りる」と降り始め，途中天井裏に飛び降りたところ，石膏ボードの天井板を突き破り約 4.3m下のセメント通路に落下。直ちに近くの病院へ運ばれたが，頭を強打
107	2001（平成 13）		高 3男	天窓	5F	昼食時の休憩時間中，友人と 4階屋上に行き，そこから 3,7m高い，明り取り窓が設置してある 5階屋上に，樋を足場にして登った。食事をした後，スプーンを投げ，バット代わりの棒で打つ遊びをしていた。そのうち，明り取り窓のガラスに片足を乗せ踏み込んで打とうとしたとき，ガラスが割れ，1階まで転落した。全身を強く打ち，意識不明のため，直ちに病院に搬送したが，意識回復することなく死亡した。
106	1999または2000（平成 11または12）		高 2男	天窓	7m	昼休み中，中庭にある明かり取り窓（トップライト）を囲むベンチに腰掛けて生徒 5～ 6人が話をしていた。次第に人数が増え，本生徒はトップライトのカバー（ポリカーボネイト製）の上に腰を降ろしていた。そこへ友人がやってきて同じようにカバーの上に腰を下ろしたところ，カバー及び網入りガラスが割れて 2名は 7m下の地下小体育館の床に落下した。直ちに病院に搬送され，救急処置が行われたが死亡した。
104	1997（平成 9）		中 2男	天窓	3F（5.4m）	帰りの学級活動前の休憩時間中，本生徒は 3階フロアと同面にあるベランダに出て，他の生徒と走ったりして遊んでいた。そのうちの 4名がフェンスを乗り越えてトップライト（天窓）の周囲に行き，1名がトップライトの上にあがり一方のトップライトに飛び移ろうとしたが失敗したので，本生徒が試みようとしトップライトに飛び移ったがそのまま突き破ってしまい 5．4メートル下へ転落した。大きな音を聞いた教師が駆けつけたが，右側頭部及び鼻孔から出血しており，病院へ搬送されたが即死に近い状態であった。
105	1997（平成 9）		高 1女	天窓		放課後，本生徒は友人と 2人でバルコニーで会話をしていてトップライトのアクリル製の覆いの上に登ったところ，覆いの部分が割れてしまい 1階の集会室に転落した。転落した場所がステージとフロアーの境界部分だったので脚部がステージの先端にあたり，その弾みで後頭部からフロアーに落下して強打し，ほぼ即死状態であった。
175	1984（昭和 59）		小 3男	渡り廊下	5m	給食当番であった本児は，当番数人と並んで，給食室へ食器を返しに行った。そのあと，1棟 2階へ通じる渡り廊下を通って帰る途中，過って，高さ 94cmのてすりを越え，約 5m下のアスファルト舗装の地面に転落した。1階渡り廊下付近にいた児童が落下したのをみつけ，近くの保健室へ知らせた。たまたま居合わせた担任と養護教諭が駆けつけ，安静を保ちながら救急車で整形外科病院へ運び，手当を受けた。夜半ごろ急に容態が悪化したため，翌日他院へ転送。脾臓の破裂が判明，手術を行い病状は一進一退であったが，29日午後 2時 0
220	1996（平成 8）		中 2女	渡り廊下	4F 12m	昼食時休憩時間中，渡り廊下の 4階部分で友人と遊んでいたところ，高さ 1.4メートルの手すりから 12メートル下のコンクリートの裏庭へ転落した。救急車で病院へ搬送し，両足骨折，前頭部の挫創の負傷をしたが精密検査で命に別状なしと診断された。複雑骨折の右足手術後，集中治療室に移され面会した両親の呼びかけにも応じていたが，翌日容態が急変し小脳から出血があり人工呼吸器を装着したが，翌々日の朝死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
25	2003(平成 15)		中 3男	渡り廊下	4F	合唱コンクールの放課後練習のため，4階音楽室に入る前に渡り廊下の柵を使って，鉄棒のように体を支えて遊んでいた。そのうちバランスを崩し，前回りをした形になって，柵につかまり壁を背にして窓の外に宙ずりになった。手が離れて，足から地面に転落した。
10	1986(昭和 61)		中 1女	非常はしご		休憩時間中，2階ベランダから非常はしごを伝わり，1階ベランダに降り，小犬と遊んだが，教室へ戻るため，再び非常はしごを一人ずつ登り始めた。本生徒が途中まで登ったとき，はしごが折れ，はしごをつかんだまま地上に倒れた。
122	1995(平成 7)		高 1女	非常階段		生物の授業時，本生徒から気分が悪いので保健室にいきたいとの申し出があり，気をつけていくように指示されたが，保健室には行かず，非常階段の踊り場で柵にもたれかかるなどして，誤って転落したと推測される。教室から出て約 30分後，転落しているのを生徒が発見し，救急車で病院に搬送したが，4時間後に死亡した。
119	1993(平成 5)		中 3男	非常階段	3F	休憩時間中，本生徒は，3階建て本館南端給食室裏の非常階段下の通路に倒れているのを発見され，救急車で病院へ移送され，蘇生法が行われたが死亡した。
127	2001(平成 13)		高 2女	非常階段		事務職員が，校内の倉庫と非常階段との間の通路に本生徒が倒れているのを発見した。発見当時，本生徒は靴を履いていなかったので，非常階段上を確認したところ，踊り場に上履きが揃えて置かれていた。
124	1998(平成 10)		高 2男	非常階段		始業前，本生徒は朝の課外指導を受けるため登校し，本来昇降すべき中央階段を上らず，非常階段から教室に入ろうとしたが，入り口が施錠されていたため，非常階段のコンクリート塀から隣接するアルミ製の棚へ乗り移ろうとして，バランスを崩して転落し死亡した。
173	1983(昭和 58)		中 3男	便所の窓	3F	第 5校時終了後，掃除担当場所である校舎 3階の便所に行った。他の生徒が来ていないこともあって，便所の窓にのぼり，西隣の音楽室ベランダに飛び移ろうとして窓枠に足を取られ，コンクリート軒下に転落，左側頭部を強打し，溝に転げ落ちた。直ちに入院，治療を続けたが 9日後に死亡した。
115	2003(平成 15)		小 6女	明かり採りドーム		屋上での応援練習終了後，明り採りのドームに乗って遊んでいた本児童が飛び跳ねた瞬間，ドームが割れて，階段下に落下した。
196	1988(昭和 63)		高養 2男	寮	2F	生活の授業中，担任が給食の配膳準備をしながら，他の生徒の指導をしていて，目を離したすきに本生徒が見えなくなり，学校内外を捜したが見当たらず，近くの工場の従業員寮で倒れているとの連絡があり，急行する。本生徒は，寮の 2階より転落し頭部を強打したようで，救急車で病院に移送され手術等を受けるが死亡。
17	1991(平成 3)		中 3男	連絡通路側壁	3F	休憩時間中，3階連絡通路の側壁を乗り越え，2階の教室へ降りようとしたところ，手が外れ 1階の芝生の上へ後頭部から落下した。
96	2004(平成 16)		小 6男	廊下→ひさし	3F	水泳指導中，水泳準備のため教室へ入る途中，3階廊下の手すりを乗り越えてひさしに降りようとした際，バランスを崩し地上の足洗い場に転落した。
309	2001(平成 13)		高 3男	廊下の窓	4F	休憩時間中，普通教室棟 4階廊下の窓から外を見ていた。誰かが下で呼んでいるような気がして見下ろしたとき，身体のバランスを崩してアスファルト敷地面に落下した。そのとき，足から手をついて落ちたため，全身打撲した。
276	1991(平成 3)		中 1女	廊下の窓	4F	授業終了後の特定時間中，4階廊下の窓に腰掛けようとした拍子に，体のバランスを崩し，2階の屋根に転落した。
188	1987(昭和 62)		中 2女	廊下の窓	4F	授業終了後，本生徒は，友達 4～ 5名と 4階教室の黒板に落書きをしながら話していた。友人がふと気がつくと本生徒の姿が見えないので，廊下に出て探したところ，4階から転落しコンクリートの上に落下した。目撃者によると本生徒は，廊下の手すりの上にあがり，前に倒れるような形で落ちたとのことである。
277	1991(平成 3)		中 2男	廊下の窓	3F	1か月ほど登校拒否をしていた本生徒は，教師の説得を受け，当日朝早めに父親とともに登校し，始業まで職員室で待つうちに 1人で 3階教室に鞄を置きに行き，3階廊下の窓から転落した模様である。始業前の部活動に参加するため自転車で登校し，たまたま下を通った生徒の自転車のハンドルの上に本生徒は落下し，首や頭を打って意識を失った。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
311	2002(平成 14)		定高 1男	廊下の窓	3, 4F	本生徒は体調不良を訴え，精神的にも不安定であったため，教頭・学級担任・養護教諭の 3人で話し，医療機関受診の話や体調不良を回復させることなどを指導し別れた後，渡り廊下 3, 4階付近から転落した。
254	1988(昭和 63)		小 6男	廊下の窓		昼食時休憩時間中，3階の教室でふざけていたさいに，追い駆けられて廊下の窓のそばに置いてあった机に飛び乗り後ろ向きになったときにふらつき，開いていた窓から 2階の渡り廊下(コンクリート)に転落して，全身・左側頭部を強打した。
306	1998(平成 10)		小 2男	廊下の窓	2F	昼食時休憩時間中，2階の教室前の廊下で棚の上に上がり，手すりに腰を掛けた瞬間，後ろに倒れ 1階の側溝に落ち負傷した。
295	1994(平成 6)		高通信4女	廊下の窓	2F	球技大会時，2階通路で応援中，スパイクされたバレーボールが飛んできたのでよけようとしたところ，後転して通路の窓から階下のたたきに転落した。
222	1997(平成 9)		高 2女	廊下の窓	3F	本生徒は，不登校であったため専門医にかかり，服薬治療を受けていた。当日は 親の車で登校し，課題を提出したり，翌日の学習の約束をしたりして普通の様子であった。その後 3階廊下の窓に腰掛けていた状態から転落した。本児の不注意による転落事故と思われるが，過去の経緯から精神障害による突発的な自殺の可能性もあると考えられる。
294	1994(平成 6)		高 2男	廊下の窓	4F 12m	休憩時間中，4階の廊下の窓に外に向って腰掛けていて過って約 12メートル下のアスファルト舗装の地面に転落した。
231	1999または2000(平成 11ま		中 3男	廊下の窓	12,3m	音楽の授業中，音楽室を退室し，自学室へ向かう途中，通路の窓枠の上に乗り，バランスを崩し 12, 3メートル下のコンクリートに転落した。直ちに病院に搬送されるが，8時間後に死亡した。
208	1993(平成 5)		中 3男	廊下の窓	4F 12m	清掃終了後，本生徒は 4階廊下の手洗場上の窓から危険防止の鉄棒(2本)を乗り越え，友人が止めるのもきかず，50センチメートル離れたベランダに渡ろうとして，足を滑らせ 12メートル下に転落，救急車で病院へ運ばれ，治療を受けたが，死亡した。
223	1997(平成 9)		中 1女	廊下の窓	3F 8.5m	帰りの会の始まる前の休憩時間中，本生徒は校舎 3階の廊下の窓から約 8. 5メートル下のコンクリートの側溝に転落し，頭部と全身を強打して意識不明の重体となった。病院に搬送され治療が続けられたが，13日後に死亡した。
213	1994(平成 6)		高 3女	廊下の窓	3F	放課後，本生徒は，高校総体について部活動の顧問教師と相談しているとき，持病の喘息の発作の兆候が出てきたので，顧問が家庭へ送る準備のため中座している間に姿が見えなくなった。捜したところ中庭に倒れているのを発見，救急車で病院へ運び手当てをしたが，発見から1時間半後に死亡した。本生徒は，中学時代に発作で意識もうろうとなり，2回ほど，救急車で運ばれたことがあり，今回も喘息の症状が進み，薬を取りに走って，3階の渡り廊下から過って転落したのではないかと考えられている。
219	1995(平成 7)		小 4男	廊下の窓	4F	休憩時間中，4階廊下の窓から転落したと見られるが，目撃者はない。教室移動のため，廊下に整列中の 1年生の「人が落ちた」の叫び声で，1年担任教師が現場に駆けつけ，本児を抱き起こし，一緒にいた介助職員が事故を急報した。
260	1988(昭和 63)		高 1女	廊下の窓	4F	始業前特定時間中，4階の廊下で歩行中に無意識状態に陥ったらしく，廊下側の窓から外庭に転落した。なお，本生徒は，ときどき無意識状態になるため，医師の指示で精神安定剤を服用していた。
236	2003(平成 15)		中 3男	廊下の窓	4F	当日，本生徒は登校後，他の生徒に自殺をほのめかす内容などを記した封書，メモ等を手渡した。その後，本生徒は生徒棟 4階の廊下窓から中庭に飛び降りた。職員が本生徒が落ちる寸前を目撃し，直ちに校長及び数名の職員が現場に直行した。本生徒はコンクリートの地面に激しく体をぶつけた様子で，体を伸ばした状態でうつぶせに倒れていた。直ちに救急車を要請し，保護者に連絡するとともに，そばに付き添って声掛けをした。救急車が到着し，医療機関に搬送されたが，発生から約 2時間30分後に死亡した。

ID	事故発生月日	事故の種類	属性	建物内の場所	高さ	事故概要
29	1983（昭和 58）		小 6男	廊下の窓→ひさし	3F	帰りの会終了後，教師は係活動のある児童には，居残って係活動を続け，その他の児童は帰るよう指導したが，本児は，廊下の窓付近で遊んでいた。そのうち，本児は，窓枠から外のひさし部分に降り，廊下に戻って，再び，隣りの窓枠に上ったので，他の児童が制止したが 1回目と同じように飛び降りた。ところが，ひさし部分でバランスをくずし，1階出入口のひさしに転落，救急車で移送，手当てを受けるも死亡した。
88	1998（平成 10）		高 3男	廊下の窓→霜よけ	3F（10m）	休憩時間中，友人が本生徒のシャープペンシルを窓のところで投げ捨てるまねをして，実際は投げずに廊下の窓枠の外に置いたが，3階の露よけの上に落ちてしまった。本生徒はシャープペンシルを取りに行くと言って，窓枠に手を掛け，露よけに降りようとしたが着地できず，10メートル下の砕石の敷いてある地面に落ちてしまった。病院へ搬送したが，翌日になっても大量の血が腹部にたまり，手術し，脾臓の亀裂が判明，脾臓を摘出した。

参考資料４　「事故事例から学ぶべきこと」

事故事例から学ぶべきこと

※「建物事故予防ナレッジベース」より転載

（A）安全・安心な建築デザイン（吉村英祐　大阪工業大学教授）

1）序：安全・安心な建築デザインを目指して

(1) 安全と安心

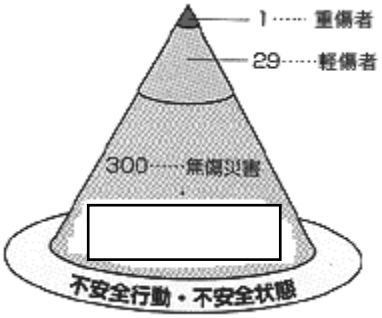
安全とは、人とその共同体への損傷、ならびに人、組織、公共の所有物に損害がないと客観的に判断されること、安心とは組織や人の間で信頼が築かれており、自分が予想していないことは起きない、何かあったとしても受容できると信じている状態である（注 1)。すなわち、安心とは個人の主観的な判断に大きく依存するものであり、安全だけで安心は担保されない。

さて、従来、建築の安全といえば地震、台風、洪水、火災（防火・避難）を思い浮かべることが多かった。だが、附属池田小学校事件（2001 年 6 月 8 日、児童 8 人が殺傷)、明石花火大会事故（2001 年 7 月 21 日、高齢者 9 人・子ども 2 人の計 11 人が死亡)、六本木ヒルズ自動回転扉事故（2004 年 3 月 26 日、6 歳男児 1 人が死亡）などの事件・事故が頻発するようになり、生活環境の安全・安心への社会的関心が今までにない高まりをみせている。

(2) ハインリッヒの法則に学ぶ

アメリカの損害保険会社の技師であったハインリッヒは、自社の統計資料を分析した結果、「ハインリッヒの法則」を見いだした（Industrial Accident Prevention-A Scientific Approach、1931 年)。ハインリッヒの法則には、「ドミノの法則」（注 2）と「1:29:300 の法則」の二つがあるが、日常安全の分野では、後者がよく引き合いに出される。

「1:29:300 の法則」とは、災害を起こす可能性がある事故件数 330 のうち 300 件は傷害の発生がなく、29 件が軽傷を起こし、1 件が重傷あるいは永久労働不能となるというものである（図 1)。この 300 件は「ヒヤリハット」（ひやりとした、はっとした経験）とも呼ばれ、事故の要因分析や事故の発生予測に不可欠な情報である。しかし、「ヒヤリハット」の情報は報告するまでもないささいなこと、あるいは本人のミスが原因であるとして積極的に収集・分析されることはなく、また、その上の段階の重大な事故もニュースにならない限り、社会に知られることはなかった。だが、事故情報が共有されないと、有効な対策が講じられず、同様の事



故が繰り返されることは、自動回転扉での事故例を見れば明らかであろう（注3)。

2）建築デザインと日常災害

(1) 危険なデザインが生みだされる背景

われわれの生活環境には、日常災害を引き起こす危険なデザインが潜んでいる(図2)。このようなデザインが生み出される背景としてまず考えられるのが、設計者の危険予測能力の欠如である。これは、人体寸法・動作領域・運動能力・認知能力・視野・視点の高さ等の人間工学に関する基礎知識や、それぞれについて個人差があることを十分に理解していないこと、一般成人と比べて危機対応能力が低い子ども、高齢者、障害者等への配慮不足などが背景にある。また、人間の行動法則（近道行動など）や行動心理に反するデザイン、うっかりミス・思いこみ・勘違いを誘発するデザインも少なくない。

次に、設計者の関心が見た目の美しさに集中し、ユーザーの立場に立った使いやすさや安全性への配慮が著しくかけていることがあげられる。だが、いくら見た目に美しいデザインでも、いったんそれに起因する事故が発生すると、危険箇所に警告シールを貼る、目立つよう色を塗る、改修・撤去するなどの事後対策が講じられた結果、見苦しくなった例は、枚挙にいとまがない。

(2) アフォーダンスと安全・安心

アフォーダンスとは、「利用者によって発見される環境の資質、情報（行為の可能性)」（J.J. Gibson）である（文2)。水平面、斜面、横桟、格子、階段は、歩く、上る、座る、横になる、置く、登るなどの、人間のさまざまな行為を“アフォード”する。

人は、水平部分に物を置いたり上ったりする。吹き抜けに面した手すり壁の天端には荷物や飲み物が置かれやすいが、うっかり物を落としたときには、きわめて危険である（図3)。その事後対策として、水平面を傾斜させたり丸めたりする事後対策が講じられるが、最近ではあらかじめ危険を予測し、事前対策を講じた事例が見られるようになった（図4)。

アフォーダンスの考え方は、防犯対策にも有効である。登る・おりるという行為を“アフォード”する形態は、家屋への侵入行為を誘発する（図5)。防犯設備を設置する以前に、まず侵入されにくいデザインを工夫すべきであり（防犯環境設計)、防犯設備頼みの設計は本末転倒である。

(3)矛盾する要求条件

建築の安全に対する要求条件が、対立・矛盾する場合がある。その解決には、相互の関係や目的をふまえた総合的な判断が求められる。

① 避難安全と防犯対策の矛盾

バルコニーや屋外避難階段は災害時の重要な避難経路であるが、外部からの侵

入経路にもなる。また、病院の病棟部のバルコニーは、患者が発作的に飛び降りるおそれがあるとして、ふだんは出られないように、扉や窓の開閉を制限しているところがある。窓や扉の施錠管理を厳重にすればするほど避難時の解錠が困難になるという矛盾は、ホテルや病院の設計において、しばしば問題になる。

② バリアフリーと日常安全の対立

高齢者や障害者のために設けた手すりに、子どもが足をかけて墜落する事故が起こっている。ある高齢者施設のバルコニーは、屋内との段差をなくして車いすでも出られるようにし、条例にしたがって二段手すりを取り付けたが、足がかりとなって危ないとの指摘を受け、手すりが使えないように「改善」された。

車いすを考慮して歩道のコーナー部の段差を車道に合わせて切り下げると、視覚障害者が歩道と車道の区別がつきにくく、警告用点字ブロックがないと、そのまま車道に出てしまうおそれがあり、また歩道切り下げは、歩道上への違法駐車を誘発する。点字ブロックの凹凸は、車いすの通行に支障をきたす、歩行者がつまずいたり足を滑らしたりすることがある。

(4) 消去のデザインの流行

倉敷にある大原家の勝手口は土塀と完全に同化しており、観光客はほとんど気付いていないであろう。消す対象は扉、窓、壁、柱、階段、手すり、枠、点検口、目地、幅木、スイッチ・コンセント類、照明器具、スピーカ、防災設備機器、溝蓋、文字・サイン、そして建築本体にいたるまで多岐にわたるが、きれいに消すためには、高度なデザインセンスと洗練されたディテールが必要である。

「デザイン上、階段には手すりがない方が美しい」(文 3)、「抽象的に見せるためには、ピカピカ仕上げにしたいことは、よくあると思うのです。・・・壁だったらできるだけ薄くしていく。透明な空間は、できるだけ透明な表現で統一したい。その欲望は常にあるはずです」(文 4) 等の建築家のことばに代表されるように、デザイン要素を極力減らす・なくす・消すことがデザインの潮流となっている。そうして生まれるデザインは抽象性が高く、見た目にもすっきりしているため、一般にも人気が高い。

(5) 消去のデザインの危険性

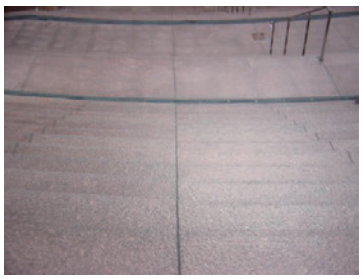
消去のデザイン手法には、「同化」、「透明化」、「省略化」があり、目的に応じて使い分けられる。問題は、ユーザーにその存在が知られていなければ、ユーザーの安全が損なわれることである。特に、一刻を争う場合や、瞬間的な判断が迫られる場合に必要なものの存在を消すデザインは、危険要因となりうる。

① 同化による危険性

防火扉、屋内消火栓、消火器ボックスの扉を周囲の壁と完全に同化させると、緊急時にそれらの存在に気付きにくく、また平常時は扉の前に物を置く行為を誘発する。（写真）

周囲にとけ込ませて存在を消そうとするデザインも、使う場所によっては問題が生じる。ステンレス鏡面仕上げの柱に車がぶつかる、シャッターのガイドレールを納めたステンレス仕上げの柱に人がぶつかるなどの事故が、その一例である。（写真）

同じ素材・仕上げ・模様のパターンで仕上げることも、危険要因となる。段鼻が見えない階段、床面と同じ仕上げのボラード（車止め）、池の底と池の縁や周囲と同じ仕上げにしてある水深の非常に浅い池は、それぞれ踏み外す、はまる（踏み入れる）、ぶつかる原因になる。



点字ブロックは、見えすいように黄色にしている場所が多いが、背景の色との関係からは必ずしも黄色が最善とは限らない。また、黄色のラインは周辺の環境になじまない、床のデザインを「破壊」するなどの批判がある（文 5)。かといって、完全に床に同化させるとラインが見えにくくなり、またその結果、ライン上に物が置かれると視覚障害者の通行を妨げる。

白で統一したデザインにも問題がある。ある公共施設では、真っ白の壁に真っ白の箱文字で施設名が書かれてあった。また、ある集合住宅では、白いインテリアに合わせて消火器まで白く塗ってあったが、火災という一刻を争う時に必要な物を目立たせなくてよいのだろうか。

② 透明化による危険性

建築の透明化の潮流は、窓や外壁だけでなく、内壁・床、浴室の扉にまでガラスを使う傾向として現れている。しかし、ガラスは使う部位を間違えると危険であり、使用にあたっては細心の注意が必要である。ガラス壁があるのに壁の向こう側と空間的につながっているように見えるデザイン、近道行動を誘発するデザインは、ぶつかり事故発生の要因となる。

③ 省略化による危険性

平成 14 年に建築基準法施行令第 25 条が改正され、「階段等における手すりの設置の義務化」が明確に示されたが、改正以降も明らかにこの規定に違反している建築（多くは個人住宅）がメディアに堂々ととりあげられている（注 4)。

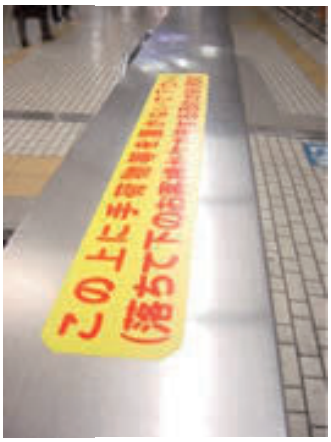
また、違反ではないが、縦桟・横桟の間隔が広い、支柱だけで桟がない階段の手すりや吹き抜けに面した手すりをよく見かける。個人住宅の場合、階段に手すりをつけるか否かは、施主の了解の上での自己責任であり、法律がそこまで介入するのはなじまないとの意見を耳にするが、小さな子どもや高齢者がいる家ではどうか、急勾配やすべりやすい階段、墜落・転落時の落差が大きい階段でもなくてよいのか。手すりは安全だけでなく、安心のためにもあったほうがよいし、安全な手すりをどうデザインするかが、プロの建築技術者やデザイナーの腕のみせどころではないだろうか。

3）典型的事故パターン

(1) アフォーダンスと日常災害

アフォーダンスとは、「利用者によって発見される環境の資質、情報（行為の可能性）」（J.J. Gibson）である（文5）。水平面、斜面、横桟、格子、階段は、歩く、上る、座る、横になる、置く、登るなどの、人間のさまざまな行為を“アフォード”する。

人は、水平部分に物を置いたり上ったりする。吹き抜けに面した手すり壁の天端には荷物や飲み物が置かれやすいが、うっかり物を落としたときには、きわめて危険である。その事後対策として、水平面を傾斜させたり丸めたりする事後対策が講じられるが、最近ではあらかじめ危険を予測し、事前対策を講じた事例が見られるようになった。

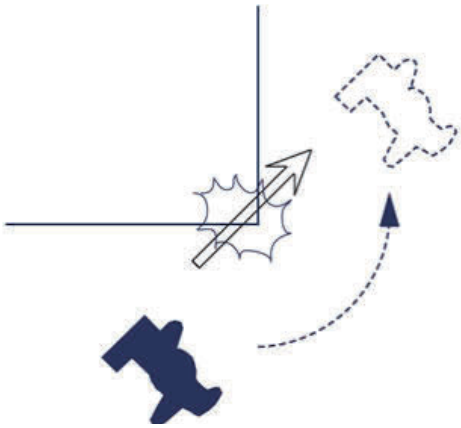


(2) 事故発生につながる行動的要因

① 近道行動

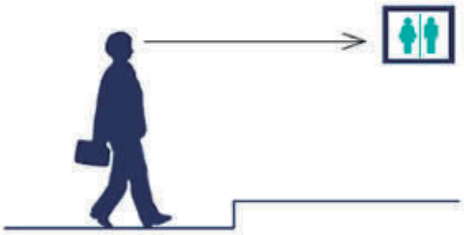
人は前方にコーナー部分や障害物がある場合、できるだけ内側を歩こうとするが、障害物の位置・大きさ・形状を見誤ると、身体の一部がそれに接触する

ことがある。特に、視野外にある足元や頭上付近の出っ張りにつまずきやすい。



② 注視させるものの存在

景色に目を奪われたり、目標とする場所が前方に見えていたりして、注意がおろそかになりやすい場所に段差や突起物などの障害がある場合、段差につまずくなどの事故が起こりやすくなる。



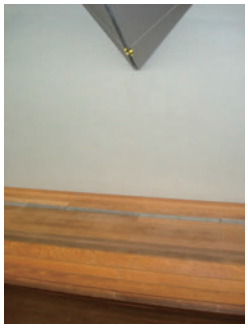
③ 視野死角

頭上付近と足元付近の視野外に障害物があってはならない。大人の目線で視野内にある障害物でも、子どもや車椅子利用者にとっては視野死角に入ることがある。

(3) 建物における典型的な危険箇所

・足がかりになる形状

・ベンチの上の突起物



・床面の凹凸

・低い梁下・開口部上枠

・一段の段差

・わかりにくい段差

・斜めの柱

4）安全・安心な生活環境の実現に向けて

危険なデザインの再生産という悪循環を断ち切るためには、設計者が危険なデザイン事例やそれに起因する事故情報、事故をめぐる裁判事例等を共有し（注 5)、デザインに起因する事故発生の可能性を設計段階で予見して、事故の未然防止に努めなければならない。その一助として、たとえば事故情報や、安全に配慮したデザイン事例のデータベースを構築し、広く一般に公開していくことはできないだろうか。安全を軽

視したデザインに起因する事故を起こすたびに規制が強化されることは、設計者が自分で自分の首を絞めることにつながる。建築のデザインに法的規制はなじみにくいが、自動車や家電製品は、厳しい安全基準をクリアしつつ、美しく使いやすく安全なデザインを実現している。建築のデザインにも、安全に関する規制や基規準を逆手にとる逆転の発想により、新しいデザインを生み出す攻めの姿勢が必要である。

ユーザーや社会が要求する安全のレベルは、年々高まる一方である。建築技術者は、それに誠実かつ的確にこたえ、安全性とデザイン性の両立に向けて努力することで、安全・安心な生活環境をデザインしなければならない時代を迎えている。

参考文献

1) 安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会：「安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会」報告書、2004 年 4 月

2) 設計者の自邸に「手すり無し」は可能か、日経アーキテクチュア 2005 年 5 月 30 日号、pp.83-87

3) 第 15 回　新 現代建築を考える○と×、GA JAPAN 64、A.D.A. EDITA　Tokyo、2003 年 9 月

4) 田中直人、岩田三千子：サイン環境のユニバーサルデザイン　計画・設計のための 108 の視点、学芸出版社、1999 年

5) 高橋鷹志＋チーム EBS 編：環境行動のデータファイル、彰国社、2003 年

（B）建築空間内での事故をめぐる法的責任のあり方と裁判事例の傾向

（佐藤貴美　弁護士）

＜はじめに＞

近時は、建築物内で発生した事故に伴い、その所有者や管理者、設計者、施工者等に対する法的責任の有無等が大きく報道される機会が多い。一見新たな事故に見えるような事案も、過去の裁判事例では、類似の事案において判断が示されているケースも少なくないところである。

本稿では、生活環境、とりわけ建築物内等で発生した事故に伴う過去の裁判事例を概観し、コンプライアンス、リスクマネジメントの参考にしていただければと考える。

1）建築空間内で事故が発生した場合の責任の概要①（法的根拠別）

(1) 民事責任

① 工作物責任

土地上の工作物（建物等）に瑕疵（通常有すべき安全性の欠如）があり、その瑕疵と事故による損害との間に因果関係が認められれば、建物所有者・占有者は当該損害を賠償すべき責任を負う。この責任のことを「工作物責任」という。

工作物責任が問われるのは、第１次的には占有者であり、占有者が過失がないこを証明できたときには、第２次的に所有者が責任を負う。この場合の所有者の責任は無過失責任であり、建物の設置管理等に過失はない（十分に注意を払っていた）場合でも責任を負う。

②一般不法行為責任

建物所有者等が、建物等の安全性に配慮すべき義務（安全配慮義務）を怠った過失に基づき損害が生じや場合、一般不法行為として損害を賠償すべき責任を負う。

次の債務不履行責任と異なり、建物所有者等に注意義務違反の過失があることなどは、被害者側で証明しなければならない。

③ 債務不履行責任

建物所有者等との間に一定の契約関係にある者が事故により損害が生じた場合、当事者間の契約関係で建物所有者等が負っている安全配慮義務に違反したと評価されるとき、その義務違反と損害との間に因果関係が認められれば、損害を賠償すべき責任を負う。

前の一般不法行為責任と異なり、被害者側が建物所有者等に債務不履行があることを証明すれば足り、建物所有者側で過失がないことを証明できなければ、責任が成立する（無過失であることが債務者の免責要件となっている）。

	原　因	契約関係	過　　失	使用者の責任
工作物責任（民法 717 条）	建物等の瑕疵（通常有すべき安全性の欠如）	不要	① 所有者　不要（無過失責任） ② 占有者　免責要件（無過失を立証できれば免責される）	
一般不法行為責任（民法 709 条）	特定の人の行為	不要	必要　帰責要件（被害者側で過失を証明する必要あり）。	使用者責任（民法 715 条）が問われることがある。
債務不履行責任（民法 415 条）	特定の人の行為	必要	必要　免責要件（過失がないことを債務者側で証明すれば責任をのがれる）	履行補助者の責任として、使用者も責任を問われることがある。

※国賠責任

ちなみに、事故が発生した建物等が国、地方公共団体の設置・保存に属する場合には、国家賠償法に基づき国等の責任が問われることになる。

・工作物責任　　⇒国家賠償法２条（営造物責任）

・一般不法行為責任⇒国家賠償法１条

建物等の瑕疵や安全配慮義務違反の内容については、これらの国家賠償法に基づく責任にかかる裁判例等も参考になる。

(2) 刑事責任

事故原因につき加害者側の落ち度が大きく、法令で定められた犯罪に該当する場合には、加害者が刑事責任を問われることもありうる。建物等に起因する事故につき問われる可能性のある刑事責任には、次のようなものが考えられる。

ア　業務上過失致死傷（刑法２１１条）

刑法２１１条　業務上必要な注意を怠り、よって人を死傷させた者は、５年以下の懲役若しくは禁錮又は５０万円以下の罰金に処す

イ　業務上失火罪（刑法１１７条の２）

刑法１１７条の２　第１１６条（失火罪）の行為又は前条第１項（激発物破裂罪）の行為が業務上必要な注意を怠ったことによるとき、又は重大な過失によるときは、３年以下の禁錮又は１５０万円以下の罰金に処する。

ウ　個別法違反

（例）消防法　補修命令義務違反

→２年以下の懲役又は２００万円以下の罰金

これは、行政刑罰という形で課されることが多く、その場合は、行政責任と刑事責任とが競合していることになる。

(3) 行政責任

建物所有者等が、建物等の管理につき一定の業務を行なうに当たり行政の監督を受ける立場にある場合、事故等がその業務遂行上の問題などに起因する場合において、監督官庁などから当該業務の停止命令や、資格剥奪等の処分がなされることがある。このような、当該業務を所管する行政庁から処分などを受けると言う形で責任を問われる場合が、行政責任の問題である。

２）　建築空間内で事故が発生した場合の責任の概要②（責任主体別）

(1) 所有者の責任

①一般不法行為責任（対第三者。対賃借人の関係でも成立するが、この場合(3)の債務不履行責任が問われることが多い）

被害者が建物等をたまたま利用していた第三者（一般客など）である場合には、契約関係はないため、客に対する安全配慮義務違反等に対する一般不法行為責任が問題となる。

②工作物責任（対第三者）

事故の原因が建物等の工作物の瑕疵に基づくものであった場合、所有者は、占有者（テナントなど）に責任がある場合を除き、工作物責任を負う。この場合、前述したように、所有者が工作物の設置・保存に十分に注意していたという「無過失」を主張しても、責任はのがれられない。その意味で、極めて重い責任が課されることになる。

③債務不履行責任（対テナント・特別な場合には対第三者）

テナント自体に被害が生じた場合は、賃貸借契約上の責任が問題となりうる。また、特別な場合においては、所有者は第三者との間で具体的な安全保持義務（安全配慮義務）を負うとし、その義務違反という形で債務不履行責任が問題となる場合もありうる。

④その他

民事責任のほかに、消防法などの規定に基づき行政責任を問われることがある。また、自らの過失行為により人を死傷させた場合などでは、刑事責任も発生しうる。

(2) 占有者（賃借人等）の責任

①一般不法行為責任（対第三者）

被害者が建物等をたまたま利用していた第三者（一般客など）である場合には、契約関係はないため、客に対する安全配慮義務違反等に基づく一般不法行為責任が問題となる。

②工作物責任（対第三者）

事故の原因が建物等の工作物の瑕疵に基づくものであった場合、瑕疵がある部分を占有している者は、工作物責任を負う。ただし、所有者の場合と異なり、工作物の設置・保存につき過失がなかったことを証明できれば、責任をのがれることができる。

③債務不履行責任（対第三者）

特別な場合においては、所有者は第三者との間で具体的な安全保持義務（安全配慮義務）を負うとし、その義務違反という形で債務不履行責任が問題となる場合もありうる。

④その他

民事責任のほかに、消防法などの規定に基づき行政責任を問われることがある。また、自らの過失行為により人を死傷させた場合などでは、刑事責任も発生しうる。

(3) 管理業者の責任

①所有者及び管理者が法的責任を負い損害賠償をした後に、管理業者に求償すること

所有者等が第三者やテナントに対し工作物責任に基づき損害賠償責任を負担した場合、その所有者等は、他に瑕疵を存在せしめた原因者があるときは、その原因策出者に対し「求償」することができるとされており（民法７１７条３項)、管理業者が原因作出者である場合には、この規定に基づき所有者等から求償されることがある。ただし、この場合、管理業者等の行為が被害者との関係でも一般不法行為に該当すること（注意義務違反等の過失があること）が必要であるとされている。

②所有者又は管理者が、設計者・施工者に対し契約上の責任を追及すること

建物所有者等と管理業者との間には管理委託契約が存在することが一般的であり、その法的性質は、委任ないしは準委任契約と解されている。

この場合、所有者との関係では、管理委託契約の内容に基づく契約責任か、一般不法行為責任が生じうる。所有者等に何らかの損害が生じた場合（上記のように被害者との間で法的責任を負った場合を含む)、契約上の義務違反行為等があるとして契約責任（損害賠償責任）を追及される場合がある。

③被害者が直接に、管理業者に対し一般不法行為責任を追及すること

対テナントや一般客との関係は、契約関係にないため、一般不法行為責任のみが問題となる。この場合、管理業者として、一般客等に対する安全配慮義務違反の有無が問題になることが多い。

④その他

民事責任のほかに、自らの過失行為により人を死傷させた場合などでは、刑事責任も発生しうる。

(4) 設計者・施工者の責任

①所有者及び管理者が法的責任を負い損害賠償をした後に、設計者又は施工者に求償すること

イ　建物等の工作物の瑕疵を起因とした事故に対しては、工作物責任により、占有者又は所有者が損害賠償責任を負うことが多い。しかし、当該責任に基づき被害者に対し責任を果たした所有者等は、他に瑕疵を存在せしめた原因者があるときは、その原因策出者に対し「求償」することができるとされており、設計者または施工者が原因作出者である場合には、所有者等から求償されることがある。

ロ　ただし、この求償が成立するのは、設計者等の行為が被害者との関係でも一般不法行為に該当すること（注意義務違反等の過失があること）が必要であるとされている。したがって、設計者等において事故発生に関連する過失がない限り、当該責任は負わない。

②所有者又は管理者が、設計者・施工者に対し契約上の責任を追及すること

設計者又は施工者は、建築物等の所有者との間で、委任契約または請負契約関係にある。所有者等に何らかの損害が生じた場合（上記のように被害者との間で法的責任を負った場合を含む）、契約上の義務違反行為等があるとして契約責任（損害賠償責任）を追及される場合がある。

③被害者が直接に、設計者・施工者に対し一般不法行為責任を追及すること

被害者も、直接設計者・施工者に対し、不法行為を根拠に損害賠償請求をすることが可能である。従来は、設計者または施工者は、重大な違法性がない限り、直接に責任をとわれることはないとの下級審判例があっところである。

しかし、平成１９年７月６日、最高裁は、「建築物の建築に携わる設計者、施工者は、建物の建築に当たり、契約関係にない居住者等に対する関係でも当該建物に建物としての基本的な安全性が欠けることがないように配慮すべき注

意義務を負うとするのが相当である」とし、「設計・施工者等がこの義務を怠ったために建築された建物に建物としての基本的な安全性を損なう瑕疵があり、それにより居住者等の生命、身体又は財産が侵害された場合には、設計・施工者等は、不法行為の成立を主張する者が上記瑕疵の存在を知りながらこれを前提として当該建物を買い受けていたなど特段の事情がない限り、これによって生じた損害について不法行為による賠償責任を負うと言うべきである。」と判断した。

すなわち、建物としての基本的な安全性を損なう瑕疵がある場合には、被害者との間でも不法行為責任が成立すると解すべきであるとし、違法性が強度である場合に限って不法行為責任が認められるとの見解を否定したところである。

④その他

民事責任のほかに、建築士法などの規定に基づき行政責任を問われることがある。また、自らの過失行為により人を死傷させた場合などでは、刑事責任も発生しうる。

3）裁判事例の傾向

(1) 「瑕疵」の捉え方

建築物等内における事故の場合、建物に瑕疵（通常有すべき安全性の欠如）があるかどうかが法的責任の有無に大きくかかわってくる。

そして、この瑕疵の有無は、一般的抽象的に捉えるのではなく、具体的・個別的に判断されている。

例えば、最高裁判所も、営造物責任の事例などで、営造物の設置又は管理の瑕疵とは，営造物が通常有すべき安全性を欠いていることをいい，これに基づく占有者・所有者の責任については，その過失の存在を必要としないとしつつ、営造物の設置又は管理の瑕疵があったとみられるかどうかは，当該営造物の構造，用法、場所的環境及び利用状況等諸般の事情を総合考慮して具体的，個別的に判断している（国家賠償法２条に関する最高裁判所昭和４５年８月２０日第一小法廷判決）。

これにより、建物等内での事故に係る裁判事例では、瑕疵の有無の基準、すなわち安全性の欠如の有無の基準は、建物等の利用目的による属性（例えば住居など特定の者のみの利用が想定されるものか、商業ビルなど不特定多数の者の利用が想定されるものかなど）、利用客の属性（例えば専ら高齢者などが使用するのか、酔客の存在が当然予想されるのかなど）、予想される利用態様（例えばスポーツ施設において、単純なレジャー用か、本格的な練習での利用が前提とされているかなど）によって、異なっ

ている。

(2) 安全配慮義務の捉え方

建物等内で事故が発生した場合、建物所有者等の責任根拠としてもう一つ挙げられるのが、安全配慮義務違反である。

安全配慮義務違反は、

① 事故の予見可能性をまず判断し、

② それが認められれば、結果回避可能性があるか（どのような措置をすれば結果が回避できたか）を考慮し、

③ その結果として、当該結果回避の義務を怠ったことが過失に該当する

と判断されることから、ここで配慮が求められる「安全」性についても、抽象的一般的に決まるものではなく、具体的に、事故の態様や事故が発生した建物等の属性に応じて検討されるものである。

(3) 建物等の利用目的・態様により要求される安全水準の相違

以上のように、建物等内での事故が発生した場合の責任の有無を左右する「瑕疵」及び「安全配慮義務」のいずれにおいても、求められる安全水準は性の基準は、その建物等の利用目的や利用態様等により異なる。以下に、利用目的や利用態様ごとに、その大まかな傾向を整理してみよう。

①住居内

安全性の基準は、通常予測される居住者等の行動を基準として危険防止の設備をすれば足りるのが原則とされる。より具体的には、次のような判断が示されている。

イ 訪問者は想定されるが、特に居住者に対する以上に、訪問者に対して高度の注意義務のもとに安全性の確保が要求されるものではない。

ロ 住居設備は、利用の多様性、居住の快適性、便宜性といった要請を満たす必要があること、居住者自身の自由な選択を前提とするものである。したがって、住居としての通常の用法からは容易に予期しえない危険が生じる場合や、予期された危険を防止するため日常生活の場としての利用が著しく妨げられたり、その防止に加重な負担を強いられるなどの特段の事情がない限り、「入居者の危険回避行動を期待し、それを前提として施設設備の安全性を検討すること」は許容される。

ハ 専ら身障者、高齢者等の利用に供する目的で設置されている建物ないし設備でない場合には、専らこれらの者が利用するという特段の事情ないし合意が

ない限り、これらの者の安全性を完全に確保した施設設備までは要求されない。

②マンション敷地など、住居に附属し、不特定多数人が比較的自由に利用できる箇所

(1) よりも高度な注意義務が課され、例えば目的・用途外使用の実例が過去に多くある場合などには、万が一遊びに使用された場合でもそれに対する安全性を確保するための設備を施したり、使用禁止等の注意・警告がないと、瑕疵や安全配慮義務違反の過失が認められることがある。

③商業施設・ホテル等

多数の顧客の出入が予想される以上、利用される顧客に対し安全性が確保された設備を用意し、あるいは安全性を確保するように管理して建物設備等を提供すべきであるとて、それを満たさない場合には瑕疵ないし過失ありとされる傾向が強い。

とりわけ、酒等を提供する施設等（ホテル・旅館・居酒屋等）の場合は、一般の事務所用ビルとは異なり、酩酊客の存在なども想定した安全対策を施しておくことが要求される傾向にある。

④病院

一般の事務所等とは異なり、様々な疾病や怪我等により日常の行動能力を有さない利用者の存在を前提に、高度の安全性が要求される。ただし、患者が通常は予測できないような行動にでるを想定しての安全性までは要求されない。

⑤プール等の遊戯・スポーツ施設

利用客の属性（大人専用か、幼児等も入場可能か)、予想される利用態様（例えば飛び込み台を設置し飛び込み練習での利用を前提としているかなど）などの具体的事情に応じて、個別的に安全性を評価する傾向にある。

(4) 過失相殺（被害者側の過失の斟酌）

一般的に、被害者が当該施設を通常の使用方法に従って使用していた場を除き、何らかの落ち度があることが多い。この場合、損害に対する責任の公平な分担の観点から、被害者側の過失を考慮し、「過失相殺」として、賠償額を減額することになる。

一般的に、２割程度の過失相殺が認められる傾向があるが、下記のようなケースではさらに被害者側の過失割合が多くなり、５割以上の過失相殺となる傾向にある。

ただしその一方で、建物等の瑕疵ないし安全配慮義務違反の程度が大きい場合には。公平の観点から、被害者側に多少の過失があったとしても過失相殺をしない場合もある。

①被害者が幼児の場合

幼児の場合には親の監視監督義務が強く要求され、目を放した隙に事故にあった、あるいは一人で行動している幼児を放置していた場合には、当該義務違反として重大な過失として斟酌される。

②被害者が未成年の場合

小学生の段階では、例えば施設設備を本来の目的以外の遊具として使用して事故にあった場合などにおいては、親権者がそのような行為をしないよう注意をし、現実に当該行為をしようとする場合には止めるなどの措置を講じなかったことが、重大な過失として斟酌される。

一方中学生以上であれば、自身も十分に危険を予見して回避する等の事理分別能力があるとして、自身の過失が斟酌され、自ら危険を招くような行動に対しては、重大な過失として斟酌される。

③被害者が飲酒状態の場合

飲酒酩酊により通常の注意能力、運動能力を欠いている状況にあるときに事故にあった場合、飲酒と事故との間に因果関係があれば、重大な過失として斟酌される。

④被害者が高齢者の場合

日常的に、あるいは事故に遭遇した行動時において一定の介助が必要とされていた場合においては、当該介助行為がなかったことが被害者側の重大な過失として斟酌される。

(5) 因果関係

①自然力との競合

事故の発生が大地震や大型台風などの通常予測できない自然力により直接的には事故が発生したとしても、建物等に瑕疵が存在していれば因果関係は否定されない。自然力と瑕疵の存在のそれぞれの損害に対する寄与度を検討し、責任割合が決定される。

過去の裁判例では、自然力と競合した場合、当該自然力の「損害への寄与度」を５割と評価し、損害賠償額を５割減額するという判断がなされる例がある。

②被害者側の異常行動

被害者側に異常行動があって事故が発生した場合であっても、施設設備の瑕疵等があれば、損害との因果関係は否定されない（法的責任は認められる）。

ただし、被害者側の異常行動は、瑕疵（通常有すべき安全性の欠如）の有無の判断において、「当該異常行動を前提とした安全性を有することまでは求めることはできない」として瑕疵または過失の存在を否定する要素として検討される。また、瑕疵の存在が認められた場合でも、上記４の過失相殺の中で相当程度評価される。

(6) 裁判所が所有者、管理者等の側で講じた安全対策として評価する事情

裁判所は、事故が発生した場合、法的責任の根拠となる施設設備側の瑕疵又は過失の有無を評価するに当たっては、施設設備側がどのような安全対策を講じているかを検討する。安全対策として評価するのは、主に以下のような項目である。

ア　建築関連法規等にしたがっていること

イ　業界内で共通認識されている基準等にしたがっていること（業界団体の指針、監督官庁の通達、ガイドラインなど）

ウ　具体的な事故対策（危険防止）の取り組み

・危険箇所への立ち入りが容易にできないような設備の設置

・危険行為の禁止等の警告・注意書の掲示等

・高度な危険が内在する施設設備においては、人的な監視体制の確保

・専ら特定の会社等の従業員等のみの利用に供される施設等であれば、安全教育の実施状況

・その他建物の利用目的、利用状況に応じ通常予想できる範囲内での危険への対処

実際に事故が発生し、その法的責任の有無を問う場合、まずはアの建築関連法規に従っていることが求められ、建築関連法規の基準すら満たしていない場合には、瑕疵ないし過失が認められる。

一方で、建築関連法規に従っているからといって、それだけをもって責任が否定されることはなく、更にウの具体的な取り組み状況を精査した上で責任の有無、瑕疵ないし過失の有無が判断されるる。その際には、具体の安全対策のレベルとして、イの基準も考慮される。

(7) 過去に同一施設で同種の事故があった場合

なお、上記の安全対策の評価において一般的には瑕疵ないし過失はないとされるケースにおいても、過去に同一施設で同種の事故（ヒヤリ・ハットを含む）が発生して

いた場合には、事故発生の予見可能性ありとされることになり、それに対する十分な対策を講じていないことが瑕疵ないし過失ありとされることがあることにも留意する必要がある。

参考資料５　「建物内での日常事故に関するアンケート調査」－意識調査・調査票

・意識調査－社団法人日本建築士事務所協会連合

建物内での日常事故に関するアンケート調査

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部では、建物内での日常事故予防に関する研究活動の一環として、「建物内での日常事故に関するアンケート調査」を行うこととなりました。

このアンケートは、日常事故について設計や建物管理に従事されている方が日頃お感じになっていることや、持たれている意識についてお尋ねし、事故予防に役立てることを目的としています。調査の結果は、統計的に処理し、回答者の個人情報が公開されることは一切ありませんので、どうぞご協力くださいますようお願いいたします。

※日常事故とは、日常生活時に建物内や建物の周辺で利用者が転倒したり、階段から転落したりなどといった事故に遭遇することを言います。

Q1 ご自身やご家族が、実際に下記の事故を経験する可能性はどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

	経験することはない	稀に経験する	時々経験する	かなり経験する	頻繁に経験する
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5
震度7の地震にあう	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

1/8

Q2 ご自身やご家族が、実際に下記の事故に遭った場合、怪我などの影響（深刻さ）はどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	全く深刻ではない	どちらかといえば深刻ではない	どちらともいえない	どちらかといえば深刻である	非常に深刻である
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5
震度7の地震にあう	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

Q3 下記の事故について、その事故が起きないよう、設計時や管理運営時での対策の取りやすさはどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	対策を取ることは非常に容易	対策を取ることは容易	どちらともいえない	対策を取ることは難しい	対策を取ることは非常に難しい
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5

2/8

Q4　以下の事故を防止するためには、「設計・建設時での事前対策」と、供用開始後の「建物管理時での事後対策」のどちらが効果的（より重要）だと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	設計・建設時での事前対策	どちらかといえば設計・建設時での事前対策	どちらともいえない	どちらかといえば建物管理時での事後対策	建物管理時での事後対策	わからない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5	0
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5	0
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5	0
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5	0
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5	0
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5	0

Q5　下記のそれぞれの事故は、利用者の注意によって防ぐ（なくす）ことは可能と思われますか？様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	利用者が注意すれば完全になくなる	利用者が注意すればかなりなくなる	利用者が注意すれば半分程度なくなる	利用者が注意すれば少しはなくなる	利用者が注意しても全くなくならない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5

Q6　日常事故の防止や、情報の活用等についてお尋ねします。あなたご自身のお考えや、所属されている企業・組織での状況について、近いものに○を付けて下さい。自身の業務と関係なく判断ができない場合は、「わからない」に○をつけて下さい。

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	わからない 自身の業務とは関係ない
● 日常事故の予防に関して						
情報が蓄積され公開されると、建物は安全になっていく	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、設計者や管理者の責任が増大する	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、利用者からの不合理な訴訟が増える	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で予防できる	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で規制すべきである	1	2	3	4	5	0
事故予防のために、設計者や管理者は公的機関に事故情報を積極的に提供すべきである	1	2	3	4	5	0
● 建築設計に関する事項について						
日常事故に対する建築設計者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
社内や組織の中で、日常事故に関する情報は蓄積・共有されて、設計に活かされている	1	2	3	4	5	0
発注者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について、十分理解している	1	2	3	4	5	0
設計時に管理者から事故情報のフィードバックが十分に得られている	1	2	3	4	5	0
日常事故に配慮しすぎると、過剰設計になるので好ましくない	1	2	3	4	5	0
● 建物管理に関する事項について						
日常事故に対する建物管理者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は記録・蓄積している	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は設計者へフィードバックしている	1	2	3	4	5	0
管理者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について十分に把握し、情報を引き継いでいる	1	2	3	4	5	0
建物保守・管理サービス会社における事故防止対策の内容や質が評価されるようにすべきである	1	2	3	4	5	0
事故が生じずに長期間使用されている建物は、安全と見なして良い	1	2	3	4	5	0

Q7　建物に関する安全性や経済性に関する以下の項目について、設計側と発注・管理側との間で協議を行うことがありますか。通常の設計・施工業務での進行段階において、協議を行っている段階全てにチェックをしてください。

※ 戸建て住宅以外の建物での協議を想定して下さい。様々な建物用途が想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	企画・計画段階	基本設計段階	実施設計段階	施工実施段階	竣工・維持保全段階	検討することはない	わからない 自身の業務とは関係ない
（記入例）基本設計・実施設計・施工段階で協議を行う場合	□	☑	☑	☑	□	□	□
建設コスト	□	□	□	□	□	□	□
建物の耐久性（材料選定など）	□	□	□	□	□	□	□
建物のメンテナンス性	□	□	□	□	□	□	□
ライフサイクルコスト	□	□	□	□	□	□	□
防犯・セキュリティ対策	□	□	□	□	□	□	□
バリアフリー・UD 対応	□	□	□	□	□	□	□
火災時の避難計画	□	□	□	□	□	□	□
地震に対する安全性	□	□	□	□	□	□	□
日常事故対策	□	□	□	□	□	□	□

UD：ユニバーサルデザイン

Q8　日常事故に対する対策や検討を行なう際に、以下の項目が障害となるようなことはありますか。日常の業務の範囲で実際に障害となりえるものを全てお選びください。

□ 対策や検討にコストをかけることができない
□ 対策や検討に時間をかけることができない
□ 対策や検討に人を割くことができない
□ 日常事故の発生実態（どこでどのように起こっているか）が分からない
□ 日常事故対策に対する知識・ノウハウがない（どのように防ぐか分からない）
□ 関係者の日常事故に対する意識が低い、理解がない
□ 他の建物性能（メンテナンス性など）とのトレードオフ
□ その他（　　）

□ 障害となるものはない
□ 分からない／自身の業務とは関係ない

Q9　国土技術政策総合研究所で公開している「建物事故予防ナレッジベース」についてお尋ねします。

9－1．このアンケート以前に、「建物事故予防ナレッジベース」を知っていましたか？

○　知っていた　　→　以下の設問にお答えください。
○　知らなかった　→　Q10 にお進みください。

9－2．「建物事故予防ナレッジベース」をどこで知りましたか？

○　新聞・雑誌の記事
○　国土交通省のプレスリリース
○　他の関連サイト（日本建築防災協会など）
○　ネット検索
○　社内の広報
○　知人の紹介
○　その他（　　）

9－3．このアンケート以前に、「建物事故予防ナレッジベース」を使ったことがありますか？

○　使ったことがある　→　以下の設問にお答えください。
○　使ったことはない　→　Q10 にお進みください。

9－4．使った目的はどのようなものでしたか？

9－5．必要な情報は得られましたか？

○　得られた　→具体的に得られた情報をお教えください。

○　得られなかった
　→必要な（知りたかった／欲しかった）情報はどのようなものでしたか？

Q10　普段の業務の中で建物周辺での日常事故を予防するために取っている対策や心がけていることがありましたらお聞かせください。

Q11　日常事故を予防するために有効であると思われる方策がありましたら、お聞かせください。

Q12　あなた自身についてお尋ねします。あてはまるものを、チェックして下さい。

12－1．会社の業種をお選びください

□設計事務所　□ゼネコン・工務店　□建築設備会社　□住宅メーカー
□建材・機器メーカー　□不動産・開発会社　□ビル管理会社　□保険会社
□コンサルタント　□研究教育機関　□官公庁　□公益法人
□その他（　　）

12－2．ご自身の業務内容（職種）をお選びください

□建築・構造設計　□内装設計　□建築施工・施工管理　□設備設計・施工
□技術開発　□商品開発　□企画・調査　□営業
□保守・保全　□建物経営管理・ＦＭ　□研究教育　□学生
□行政　□その他（　　）

Q13　後日、日常事故に対する取り組みやお考えに関して、メール等で個別にお伺いしてもよろしいでしょうか。
（お伺いした内容や結果は無断で公表することはありません）

□　はい　　→下記に連絡先をご記入ください
□　いいえ

会社名：

部署名：

ご氏名：

ご住所：

E-mail：

アンケートは以上です。

お忙しいところご協力くださり、本当にありがとうございました。

このアンケートは3月5日（金）までに、返信用封筒に入れ投函して下さい。

調査実施事務局
有限責任事業組合 人間環境デザイン研究所
〒153-0061　東京都目黒区中目黒 1-8-8　Ｆ２ビル４階
TEL 03-5843-7826　FAX 03-3791-7744
office@hed-lab.jp（担当：添田）

・意識調査－社団法人日本ビルヂング協会連合会

建物内での日常事故に関するアンケート調査

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部では、建物内での日常事故予防に関する研究活動の一環として、「建物内での日常事故に関するアンケート調査」を行うこととなりました。

このアンケートは、日常事故について設計や建物管理に従事されている方が日頃お感じになっていることや、持たれている意識についてお尋ねし、事故予防に役立てることを目的としています。調査の結果は、統計的に処理し、回答者の個人情報が公開されることは一切ありませんので、どうぞご協力くださいますようお願いいたします。

※日常事故とは、日常生活時に建物内や建物の周辺で利用者が転倒したり、階段から転落したりなどといった事故に遭遇することを言います。

Q1 ご自身やご家族が、実際に下記の事故を経験する可能性はどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

	経験することはない	稀に経験する	時々経験する	かなり経験する	頻繁に経験する
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5
震度7の地震にあう	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

1/7

Q2 ご自身やご家族が、実際に下記の事故に遭った場合、怪我などの影響（深刻さ）はどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	全く深刻ではない	どちらかといえば深刻ではない	どちらともいえない	どちらかといえば深刻である	非常に深刻である
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5
震度7の地震にあう	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

Q3 下記の事故について、その事故が起きないよう、設計時や管理運営時での対策の取りやすさはどのくらいだと思われますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	対策を取ることは非常に容易	対策を取ることは容易	どちらともいえない	対策を取ることは難しい	対策を取ることは非常に難しい
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5

2/7

Q4　以下の事故を防止するためには、「設計・建設時での事前対策」と、供用開始後の「建物管理時での事後対策」のどちらが効果的（より重要）だと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	設計・建設時での事前対策	どちらかといえば設計・建設時での事前対策	どちらともいえない	どちらかといえば建物管理時での事後対策	建物管理時での事後対策	わからない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5	0
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5	0
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5	0
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5	0
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5	0
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5	0

Q5　下記のそれぞれの事故は、利用者の注意によって防ぐ（なくす）ことは可能と思われますか？様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	利用者が注意すれば完全になくなる	利用者が注意すればかなりなくなる	利用者が注意すれば半分程度なくなる	利用者が注意すれば少しはなくなる	利用者が注意しても全くなくならない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5

Q6　日常事故の防止や、情報の活用等についてお尋ねします。あなたご自身のお考えや、所属されている企業・組織での状況について、近いものに○を付けて下さい。自身の業務と関係なく判断ができない場合は、「わからない」に○をつけて下さい。

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	わからない 自身の業務とは関係ない
● 日常事故の予防に関して						
情報が蓄積され公開されると、建物は安全になっていく	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、設計者や管理者の責任が増大する	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、利用者からの不合理な訴訟が増える	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で予防できる	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で規制すべきである	1	2	3	4	5	0
事故予防のために、設計者や管理者は公的機関に事故情報を積極的に提供すべきである	1	2	3	4	5	0
● 建築設計に関する事項について						
日常事故に対する建築設計者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
社内や組織の中で、日常事故に関する情報は蓄積・共有されて、設計に活かされている	1	2	3	4	5	0
発注者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について、十分理解している	1	2	3	4	5	0
設計時に管理者から事故情報のフィードバックが十分に得られている	1	2	3	4	5	0
日常事故に配慮しすぎると、過剰設計になるので好ましくない	1	2	3	4	5	0
● 建物管理に関する事項について						
日常事故に対する建物管理者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は記録・蓄積している	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は設計者へフィードバックしている	1	2	3	4	5	0
管理者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について十分に把握し、情報を引き継いでいる	1	2	3	4	5	0
建物保守・管理サービス会社における事故防止対策の内容や質が評価されるようにすべきである	1	2	3	4	5	0
事故が生じずに長期間使用されている建物は、安全と見なして良い	1	2	3	4	5	0

Q7　建物に関する安全性や経済性に関する以下の項目について、設計側と発注・管理側との間で協議を行うことがありますか。通常の設計・施工業務での進行段階において、協議を行っている段階全てにチェックをしてください。

※ 戸建て住宅以外の建物での協議を想定して下さい。様々な建物用途が想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	企画・計画段階	基本設計段階	実施設計段階	施工実施段階	竣工・維持保全段階	検討することはない	わからない 自身の業務とは関係ない
（記入例）基本設計・実施設計・施工段階で協議を行う場合	□	☑	☑	☑	□	□	□
建設コスト	□	□	□	□	□	□	□
建物の耐久性（材料選定など）	□	□	□	□	□	□	□
建物のメンテナンス性	□	□	□	□	□	□	□
ライフサイクルコスト	□	□	□	□	□	□	□
防犯・セキュリティ対策	□	□	□	□	□	□	□
バリアフリー・UD 対応	□	□	□	□	□	□	□
火災時の避難計画	□	□	□	□	□	□	□
地震に対する安全性	□	□	□	□	□	□	□
日常事故対策	□	□	□	□	□	□	□

UD：ユニバーサルデザイン

Q8　日常事故に対する対策や検討を行なう際に、以下の項目が障害となるようなことはありますか。日常の業務の範囲で実際に障害となりえるものを全てお選びください。

□ 対策や検討にコストをかけることができない
□ 対策や検討に時間をかけることができない
□ 対策や検討に人を割くことができない
□ 日常事故の発生実態（どこでどのように起こっているか）が分からない
□ 日常事故対策に対する知識・ノウハウがない（どのように防ぐか分からない）
□ 関係者の日常事故に対する意識が低い、理解がない
□ 他の建物性能（メンテナンス性など）とのトレードオフ
□ その他（　　）

□ 障害となるものはない
□ 分からない／自身の業務とは関係ない

Q9　普段の業務の中で建物周辺での日常事故を予防するために取っている対策や心がけていることがありましたらお聞かせください。

Q10　日常事故を予防するために有効であると思われる方策がありましたら、お聞かせください。

Q11　あなた自身についてお尋ねします。あてはまるものを、チェックして下さい。

11－1．会社の業種をお選びください

□設計事務所　□ゼネコン・工務店　□建築設備会社　□住宅メーカー
□建材・機器メーカー　□不動産・開発会社　□ビル管理会社　□保険会社
□コンサルタント　□研究教育機関　□官公庁　□公益法人
□その他（　　）

11－2．ご自身の業務内容（職種）をお選びください

□建築・構造設計　□内装設計　□建築施工・施工管理　□設備設計・施工
□技術開発　□商品開発　□企画・調査　□営業
□保守・保全　□建物経営管理・FM　□研究教育　□学生
□行政　□その他（　　）

Q12　後日、日常事故に対する取り組みやお考えに関して、メール等で個別にお問い合わせていただいてもよろしいでしょうか。
（お問い合わせの内容や結果は無断で公表することはありません）

□　はい　　→下記に連絡先をご記入ください
□　いいえ

会社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

部署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

アンケートは以上です。

お忙しいところご協力くださり、本当にありがとうございました。

このアンケートは3月17日（水）までに、返信用封筒に入れ投函して下さい。

国土技術政策総合研究所プロジェクト研究報告
PROJECT RESEARCH REPORT of ＮＩＬＩＭ
Ｎｏ．37　　February　2012

編集・発行　©国土技術政策総合研究所
本資料の転載・複写の問い合わせは
〒305-0804 茨城県つくば市旭１番地
企画部研究評価・推進課　TEL.029-864-2675